法律関係雑誌記事索引

INDEX TO LEGAL PERIODICALS

第6号　昭和35・36年

No. 6　1960・1961

法務図書館編

Ministry of Justice Library

Tokyo Japan

March 1963

法律関係雑誌記事索引第6号正誤表

頁	誤	正
44P左39段	清・水・敬・次	きよながけい 清永敬次
49P右37段		
50P左19段		
164P1列23段	カナダの証券取引所	カナダの証券・取引所
223P右25段		
85P右37段	Siemens	Siemes
170P4列39段	隅・崎・渡	【キ】を入れる
296P左20段		隈・崎・渡
205P下段	隅・崎・渡	
210P左46段		
290P左47段	末弘厳太郎先生と私	末弘厳太郎先生と私

法律関係雑誌記事索引

INDEX TO LEGAL PERIODICALS

第6号　昭和35・36年

No. 6　1960・1961

法務図書館編

Ministry of Justice Library

Tokyo Japan

March 1963

法律関係雑誌記事索引

INDEX TO LEGAL PERIODICALS

第6号　昭和35・36年

No. 6　1960・1961

法務図書館編

Ministry of Justice Library

Tokyo Japan

March 1963

320.39
H617h

国立国会図書館
38.5.23
図書納本

609179

凡　　例

（1）　収録の範囲

この索引は，昭和35年1月から昭和36年12月までの間に発行された定期刊行物及び記念論文集であつて，法務図書館収蔵のものを主とし，その法律関係の記事について作つた。また，前号に漏れた記事についても収録した。

（2）　構　　成

この索引は，事項別索引及び執筆者別索引の二編に編集し，末尾に収録雑誌一覧を載せた。なお，執筆者別索引には座談会等は除かれている。

（3）　排　　列

事項別索引の各項目中の論題並びに執筆者別索引の執筆者名及び論題の排列は五十音順とし，同じ読み方をする同一の頭字を一カ所に集め字画順とした。

（4）　記 載 順 序

各編の記載は次の順序に従つた。

（イ）　事項別索引

(1) 論題　(2) 執筆者　(3) 誌名　(4) 巻号　(5) 発行年月

例：　婚姻予約解消の正当事由
　　唄　孝一　民商法雑誌　42－3（'60－6）

（ロ）　執筆者別索引

(1) 執筆者　(2) 論題　(3) 誌名　(4) 巻号　(5) 発行年月

例：　鴨　良弼（かも・よしすけ）
　　交互尋問制度：法律時報　33－12（'61－11）
　　真実発見と法技術：法学　25－11（'61－3）

（5）　省 略 用 語

記入上の省略は次のとおりである。

10－1……10巻1号

20　1/2……20巻1，2号合併号

30－1～3……30巻1号から3号まで

（'60－1）……1960年1月

総　目　次

事項別索引 …… 1

事項別索引目次 …… 3

本　　文 …… 9

執筆者別索引 …… 157

執筆者別索引目次 …… 159

本　　文 …… 171

収録雑誌一覧 …… 297

事項別索引

事項別索引目次

法　律　学 …… 9
法　制　史 …… 15
憲　　法 …… 21
行　政　法 …… 33
司法制度 …… 50
民　事　法 …… 55
商　事　法 …… 73
刑　事　法 …… 85
民事手続法 …… 103
刑事手続法 …… 109
経済産業法 …… 119
無体財産権 …… 123
農林業・漁業法 …… 124
労　働　法 …… 127
社会厚生法 …… 139
文　化　法 …… 141
国　際　法 …… 141
政　　治 …… 147

法　律　学

法哲学・法律学史・法思想史 …… 9
法律学一般・解釈学・法学教育 …… 10
　法律学一般 …… 10
　法解釈学 …… 11
　法学教育 …… 11
法社会学 …… 11
　実態調査報告 …… 12
立法・立法学 …… 12
外国法律学 …… 12
雑　　集 …… 14
　伝記・追悼 …… 14
　国際会議 …… 15

法　制　史

法制史一般 …… 15
ローマ法 …… 16
日本法制史 …… 16
　上世・中世 …… 16
　近世 …… 17
　明治 …… 18
中国法制史 …… 19
西洋法制史 …… 20
古代法制史 …… 21

憲　　法

公法一般・国法学 …… 21
　法の支配 …… 21
　抵抗権 …… 22
憲法一般 …… 22
日本国憲法 …… 23
　日本国憲法一般 …… 23
　第一章　天皇 …… 24
　第二章　戦争の放棄 …… 24
　第三章　国民の権利義務 …… 24
　第四章　国会 …… 26
　第五章　内閣 …… 26
　第六章　司法 …… 27
　第七章　財政 …… 27
　第八章　地方自治 …… 27
　第九章　改正 …… 27
　第十章　最高法規 …… 27
　憲法裁判 …… 27
皇室法 …… 29
外国憲法 …… 29
国会法 …… 31
選挙・政党法 …… 32
外国国会・選挙法 …… 33

行　政　法

行政法一般 …… 33
行政機構 …… 34
公務員法 …… 34
行政作用法 …… 35
行政訴訟・訴願法 …… 35
国家賠償法 …… 36
都市計画・土地収用関係法 …… 36
河川・水質保全・災害関係法 …… 38
原子力関係法 …… 38
警察行政 …… 39
　警察法一般 …… 39
　警察的取締 …… 39
　公安関係 …… 40
自衛隊 …… 41
出入国管理 …… 42
財政法 …… 42
税　　法 …… 42
　税法一般 …… 42
　課税・徴収・国税通則 …… 43
　租税犯・訴訟 …… 44
　法人税法 …… 44
　所得税法 …… 44
　関税法 …… 44
　地方税法 …… 44
　諸税法 …… 44
地方自治法 …… 45
　地方議会・議員 …… 46
交通・運輸・通信法 …… 46
　道路交通法関係 …… 46
　鉄道関係法 …… 47
　海上関係法 …… 47
　航空関係法 …… 47
　郵便電波関係法 …… 47
外国行政法 …… 48

司　法　制　度

司法制度一般 …… 50
　司法試験・法曹教育 …… 51
裁判所・裁判官 …… 51
検察庁・検察官 …… 52
弁護士 …… 53
公証人 …… 53
外国司法制度 …… 54

民　事　法

民事法一般 …… 55
民法総則 …… 55
物　　権 …… 56
　入会権 …… 57
担保物権 …… 57
債　　権 …… 58
　総　　論 …… 58
　契約・事務管理 …… 59
　不当利得 …… 60
　不法行為 …… 60
親族・相続 …… 61
　親族・相続一般 …… 61
　婚　　姻 …… 61
　離　　婚 …… 62
　親子・親権・後見 …… 62
　養　　子 …… 63
　扶　　養 …… 63
　相　　続 …… 64
　遺　　言 …… 65
民事特別法 …… 66
　借地・借家・住宅関係法 …… 66
　不動産登記法・台帳法関係 …… 67
　財団抵当 …… 68
　供託法 …… 68
　信託法 …… 69
　戸籍法 …… 69
　其の他の民事特別法 …… 69
外国民事法 …… 69

商　事　法

商事法一般 …… 73
　商法改正問題 …… 73
商法総則 …… 74
会社法 …… 75
　会社法一般 …… 75
　会社の設立 …… 76
　株　　式 …… 76
　株　　主 …… 78
　会社の機関 …… 78
　会社の計算 …… 79
　社　　債 …… 79
　罰　　則 …… 79
商行為法 …… 79
保険法 …… 80
海商法・航空運送法 …… 80
有価証券法 …… 82
商事特別法 …… 83
　証券取引法 …… 83
　信託業法 …… 83
　資本充実・資本組入法 …… 83
外国商事法 …… 83

刑　事　法

刑事法一般 …… 85
　改正刑法準備草案 …… 86
刑法総論 …… 88
　刑法総論一般 …… 88
　構成要件該当性 …… 88
　違法性 …… 89
　責　　任 …… 90
　未　　遂 …… 90
　共　　犯 …… 90
　併　合　罪 …… 91
　罪　数　論 …… 91
　刑 …… 91
刑法各論 …… 92
　騒　擾　罪 …… 93
　名誉毀損罪 …… 93
　不動産侵奪罪 …… 93
刑事学 …… 94
　少年問題・犯罪 …… 97
矯正・更生保護 …… 98
刑事特別法 …… 99
　行政刑法 …… 99

経済刑法 …… 99
労働刑法 …… 99
治安関係法 …… 99
売春防止法 …… 101
交通犯罪 …… 101
外国刑事法 …… 101

民事手続法

民事手続法一般 …… 103
民事訴訟法 …… 104
民事訴訟法一般 …… 104
当事者 …… 104
訴・訴訟手続一般 …… 104
訴訟物 …… 105
証拠 …… 105
裁判・既判力 …… 105
上訴 …… 106
強制執行・保全訴訟法 …… 106
人事訴訟手続法 …… 107
非訟事件手続法 …… 107
行政事件訴訟特例法 …… 107
特別手続法 …… 108
破産法 …… 108
競売法 …… 108
各種調停 …… 108
外国民事手続法 …… 109

刑事手続法

刑事手続法一般 …… 109
刑事裁判事件 …… 111
松川事件 …… 111
砂川事件 …… 112
平事件 …… 113
弁護士制裁事件 …… 114
其の他の事件 …… 114
刑事訴訟法 …… 114
刑事訴訟法一般 …… 114
勾留 …… 115
捜査 …… 115
証人尋問・鑑定・証拠 …… 116
自白 …… 116
公訴・告訴・公判 …… 116
訴因 …… 117
上訴 …… 117
再審・非常上告 …… 117
陪審法 …… 117
少年法 …… 117
人身保護法 …… 118
外国刑事手続法 …… 118

経済産業法

経済産業法一般 …… 119
割賦販売法 …… 119
商工会社 …… 120
独占禁止法 …… 120
産業法 …… 120
鉱業関係法 …… 120
工業関係法 …… 121
中小企業関係法 …… 121
貿易関係法 …… 121
金融関係法 …… 121
国際経済関係法 …… 122
外国経済産業法 …… 122

無体財産権

無体財産権一般 …… 123
工業所有権法 …… 123
工業所有権法一般 …… 123
特許法 …… 124
意匠・商標法 …… 124
著作権法 …… 124
外国無体財産権 …… 124

農林業・漁業法

農業法一般 …… 124
農業法人 …… 125
農業基本法 …… 125
農業関係団体法 …… 126
農地法 …… 126
森林法 …… 126
漁業法 …… 126
外国農業法 …… 126

労働法

労働法一般 …… 127
国際労働条約 …… 128

労働基準法 …… 129
労働基準法一般 …… 129
懲戒・解雇 …… 130
賃金 …… 130
労働時間・休暇 …… 130
就業規則 …… 130
臨時工 …… 131
労働関係団体法 …… 131
労働委員会 …… 131
労働組合 …… 131
団結権・団体交渉権・職場斗争 …… 132
不当労働行為 …… 132
労働関係調整法 …… 133
労働協約 …… 133
労働争議 …… 133
病院スト …… 135
労働者災害補償 …… 135
失業補償 …… 135
特殊労働法 …… 135
公労法関係 …… 136
船員法 …… 136
家内労働・中小企業労働問題 …… 136
労働裁判問題 …… 137
外国労働法 …… 137

社会厚生法

社会厚生法一般 …… 139
社会福祉法 …… 139
公衆衛生法 …… 140
社会保険法 …… 140
外国社会厚生法 …… 140

文化法

文化法一般 …… 141
教育関係法 …… 141
外国文化法 …… 141

国際法

国際公法一般 …… 141
条約問題 …… 142
平時国際法 …… 142
領空 …… 143
公海・海洋法 …… 143
南極条約 …… 143
日米間条約 …… 143
国際紛争処理法 …… 145
戦時国際法 …… 145
第二次大戦関係 …… 145
国際連合 …… 145
国際私法・国際商事仲裁 …… 146
国籍法 …… 147

政治

政治学 …… 147
政治思想 …… 148
日本政治史・政治事情 …… 149
政治史 …… 149
政治事情 …… 150
外国政治史・政治事情 …… 151
政党・選挙 …… 152
政党 …… 152
選挙 …… 152
外国政党・選挙 …… 152
議会 …… 152
行政 …… 153
外国行政 …… 153
国際政治・外交史 …… 153

法　律　学

法哲学・法律学史・法思想史

アルフレッド・フェアドロス著「西洋法哲学」──史的にみたその基礎と主要問題【書評】
水波　朗　法政研究　26－4（'60－4）

イェーリング（近代法思想をめぐる人々）
日沖憲郎　綜合法学　28（'60－11）

イギリスにおける「法実証主義的思考にもとづく法哲学」の成立と発展
八木鉄男　同志社法学　12－5（'61－2）

ウルリヒ・クルーク著「法理論」第2版【紹介】
碧海純一　法学協会雑誌　76－4（'60－5）

エールリッヒの法人理論について
福地俊雄　法と政治　12－3（'61－11）

家族──法哲学の一章として
平野秩夫　法政論集　17（'61－8）

家族の法哲学と「家族法」
平野秩夫　法律時報　33－9（'61－9）

学界回顧　1960年──法哲学，法社会学
千葉正士　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年──法哲学
天野和夫　法律時報　33－13（'61－12）

海外法学界における分析哲学の影響──特にスカルペリ著「分析哲学と法学」の紹介を中心として
碧海純一　法学協会雑誌　78－4（'61－10）

カントにおける法と倫論──近代法思想展開の問題性＜1＞
三島淑臣　法学論叢　70－3（'61－12）

カントの法哲学における自然法──法律的立法の道徳性と適法性
花谷　実　哲学　11（'59－9）

近代における自然法思想と租税の理論──近代的自然法の生成と租税の理論
大渕利男　日本法学　26－5（'60－12）

近代自然法思想の展開に関する一考察＜1，2＞
野地洋行　三田学会雑誌　53－3，12（'60－3 12）

近代的自然法理念の社会的前提
畑　穣　富士論叢　6（'61－11）

現代自然法の性格──砂川事件の最高裁判所の判決に関連させて
石橋　信　警察研究　31－2（'60－2）

「権利」概念の論理分析──スカンジナビアン・リアリズム法学を中心に
佐藤節子　青山法学論集　3－2（'61－12）

小林直樹「法理学」上【紹介】
井上　茂　国家学会雑誌　74－11/12（'61－10）

小林直樹著「法哲学」上【書評】
阿南成一　法律時報　32－7（'60－6）

古代自然法の変容過程の研究＜1～4完＞
石橋　信　自由と正義　12－7～10（'61－7～10）

サヴィニーにおける意思・法律行為について＜1～3＞
山下末人　商大論集　42～44（'61－7，9，12）

自然法の論理
稲垣良典　法哲学年報　1960年（'61－8）

自然法と法存在論──アルトゥール・カウフマン「自然法と歴史性」を中心として
野口　寛　法哲学年報　1959年（'60－9）

自然法と歴止性
久保正幡　ソフィア　7－3（'58－9）

自然法研究の問題点
阿南成一　法学雑誌　7－3（'60－12）

市民社会の法と道徳──晩年のカントの社会思想
難波田春夫　東京都立商科短期大学論集　6－1（'60－3）

自由な体系としての法哲学
平野秩夫　法政論集　14（'60－5）

シェリング「自然法の新演繹」訳
平野秩夫　法政論集　15（'60－12）

ジョン・ヘンリィ・ウィグモア（近代法思想をめぐる人々）
平　良　綜合法学　28（'60－11）

ジョン・ロックの「自然法論」研究への序＜1＞
大谷恵教　拓殖大学論集　27（'61－6）

ジンツハイマー（近代法思想をめぐる人々）
小椋利夫　綜合法学　28（'60－11）

史的唯物論と史的心理主義
Veccio, G. del　法学協会雑誌　77－2（'60－12）

新自然法学の暗しよう
池田　栄　法学論集　10－3（'60－12）

正義について──ケルゼンをめぐって
宮沢俊義　立教法学　1（'60－3）

正義の理念に関する探求
田村幸策　法学新報　68－5（'61－5）

制度・象徴・認識──正義を手がかりとして
尾形典男　立教法学　2（'61－2）

租税利益説の先駆フーゴー・グロチウス（近代法思想をめぐる人々）
大渕利男　綜合法学　28（'60－11）

デュルケムにおける法の定義
海原裕昭　社会科学論集（高知）　10（'61－　）

哲学および法学における因果関係
碧海純一　法律時報　32－12（'60－12）

トマス・アクイナス法について
沢田和夫　聖心女子大学論叢　15（'60－10）

日本在来の法思想の源流
増田福太郎　法経学会雑誌　10－1（'60－6）

ノモス──ギリシアにおける法哲学，その前史
当津武彦　大阪経大論集　27 ('60-2)

ハンス・バルト「秩序の理念」
栗城寿夫　法哲学年報　1960 年 ('61-8)

比較法学の概念及び対象
Saleilles, R. 立教法学　2 ('61-2)

プロテスタント神学と自然法
稲垣良典　世紀　132 ('61-5)

ヘーゲル ── 法哲学史のための一考察
平野秩夫　法政論集　15 ('60-12)

ヘーゲルの法理論とマルクス主義 ── 実践における意志の対象化の問題
三浦つとむ　思想　438 ('60-12)

ベンサムの「自然法批判」
神成嘉光　同志社法学　12-1 ('60-4)

ベンサムの法目的論の意義 ── とくにその「自然法批判」と関連して
神成嘉光　東北法学会雑誌　11 ('61-12)

ベンサムの法思想（近代法思想をめぐる人々）
山主政幸　綜合法学　28 ('60-11)

法価値としての合目的性と世界観 ── グスタフ・ラートブルッフの見解を中心として
原　秀男　法哲学年報　1959 年 ('60-9)

法実証主義弁護
恒藤武二　同志社法学　12-5 ('61-2)

法哲学（誌上読書指導）
井上　茂　法学セミナー　50 ('60-5)

法哲学 ── 法律学 15 年の回顧と展望
碧海純一　ジュリスト　217 ('61-1)

法哲学 ── 1960 年代・法の将来と課題
碧海純一　ジュリスト　193 ('60-1)

「法の効力」概念の論理分析 ── A.ロスの所説を中心に
佐藤節子　青山法学論集　3-1 ('61-7)

法の範疇的構造 ── ケリモスの所説をめぐつて
影山日出弥　国際問題研究所紀要　30 ('60-12)

法の精神についての再論＜１，２完＞
恒藤　恭　法学雑誌　7-1,2 ('60-7,9)

法の相対的独自性について＜１，２完＞
宮川　澄　立教経済学研究　15-1,3 ('61-6,12)

「法」の存在論
木村慎造　理想　340 ('61-9)

法と道徳
清岡雅雄　福岡学芸大学紀要第２部　9 ('59-12)

法と道徳についての一考察 ── 特に両者の相違点を中心として
善家幸敏　法学研究（愛知）　4-1 ('61-12)

法命題の論理的分析について ── W.W.クックのストオリー批判を中心に
佐藤節子　青山法学論集　2-2 ('61-3)

法理論と社会の変遷＜１～５完＞
松尾敬一　神戸法学雑誌　10-2~4,11-1,2 ('60-9,12, '61-3,6,9)

ラテン・アメリカの法哲学＜１～３＞
沢井　澄　神戸外大論叢　11-1,4 ('60-6,12), 12-2 ('61-6)

若きロックの自然法思想＜１，２＞
平井俊彦　経済論叢（京大）　85-1,2 ('60-1,2)

A.H.ポストの民族法学と共同体理論＜１，２＞
江守五夫　法律論叢　35-1,2 ('61-7,8)

B.F.ブラウン編「自然法入門」
稲垣良典　法哲学年報　1960 年 ('60-8)

H．バティフォル「法哲学」
小西美典　法哲学年報　1960 年 ('61-8)

R.M.マッキーヴァー（近代法思想をめぐる人々）
秋永　肇　綜合法学　28 ('60-11)

法律学一般・解釈学・法学教育

法律学一般

あたらしい法律家，あたらしい裁判所【座談会】
潮見俊隆，小田成光，金谷利広，富森啓児，中野辰二，花田政道，松井康浩　法学セミナー　51 ('60-6)

悪法もまもらなければならないか
玉城　肇　月刊社会教育　5-5 ('61-5)

経済と法律と技術
柴山　昇　名城商学　10-1 ('60-9)

現代の法と法学の課題＜１～３完＞
渡辺洋三　法学セミナー　60~62 ('61-3~5)

これからの法律学【座談会】
我妻　栄，宮沢俊義，鈴木竹雄，田中二郎，兼子一，石井照久，団藤重光　ジュリスト　217 ('61-1)

国家と法の相互関係について
水飼幸之助　三重法経　10 ('60-3)

ジェサップ「超国家法」1956【紹介】
山本敬三　政経論叢（広島）　10-1 ('60-4)

市民革命と法律家
長谷川正安　法学セミナー　57 ('60-12)

社会主義的合法性の保障 ── 権力濫用に対する権利救済の制度
畑中和夫　立命館法学　39/40 ('61-12)

生活遺産としての法律
柴山　昇　名城商学　9-4 ('60-3)

日本法に対する一考察
Hurlbut, S.B. 比較法研究　21 ('60-10)

判例における社会通念＜１，２完＞
石井良三　判例評論　31,32 ('60-10,11)

法学の現状と課題 ── 1960 年の法と政治をめぐつて【座談会】
片岡　昇，吉川経夫，長谷川正安，渡辺洋三　法学セミナー　58 ('61-1)

法学入門＜22～24＞
赤塚政夫　民事研修　33,36,39 ('60-1,4,7)

法学入門（誌上読書指導）
長谷川正安　法学セミナー　49 ('60-4)

法原則の作用について
斉藤朔郎　ジュリスト　217 ('61-1)

法的世界像と政治的世界像
吉富重夫　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

法と経済の関係
関根万之助　明治大学短期大学紀要　5 ('60-11)

法と国家の関係 ── ヘルマン・ヘラーの理論より
関根万之助　明治大学短期大学紀要　4 ('60-3)

法と政治
今井仙一　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

法と人間
海原裕昭　同志社法学　12-5 ('61-2)

法と暴力
渡辺洋三　思想　438 ('60-12)

法による世界平和
横田喜三郎　法の支配　5 ('61-8)

法の基盤
上山義昭　駒沢大学商経学部研究紀要　19 ('61-3)

法の継受
沢木敬郎　立教法学　3 ('61-6)

法の自然的構成と社会的要因＜２，３＞
河津恭雄　パテント　14-1,4 ('61-1,4)

法の定義について
早川武夫　法律時報　33-4 ('61-4)

法の適用
一円一億　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

法の適用における難点 ── 事実の認定と法の解釈を中心として
末川　博　立命館法学　34 ('60-9)

法の適用・欠缺・類推の論理
川崎武夫　神戸外大論叢　12-4 ('61-10)

法の適用の理論 ── 法の一般理論の研究＜１，２＞
中塩谷九一郎　北海道学芸大学紀要　10-1,2 ('59-7, '60-2)

法の見方，事実の見方の種々相と法曹の立場
小林俊三　司法研修所報　25 ('60-7)

法の理念と政治の現実
峯村光郎　法学セミナー　64 ('61-7)

法律家の見た資本主義国と社会主義国【座談会】
内藤功，山本進一，松岡三郎　綜合法学　36 ('61-7)

法律家の任務と役割り
永田菊四郎　綜合法学　41 ('61-12)

法律家の任務と役割り【座談会】
松岡三郎，和田英夫，宮崎繁樹，銀冶良堅，玉田弘毅，鈴木俊光，保住昭一　綜合法学　41 ('61-12)

法律の正しさと技術の正しさ
柴山　昇　名城商学　10-3/4 ('61-3)

「法律は法律だ」というスローガンの意味と機能について ── 大衆社会における法の効力と法の尊守序説
矢崎光圀　法学セミナー　64,65 ('61-7,8)

明治社会における法意識
鹿野政直　史観　61 ('61-3)

リーガル・ナレッジとリーガル・マインド
柚木　馨　法学セミナー　49 ('60-4)

わかり易い法律とわかりにくい法律
宮崎清文　警察公論　16-11 ('61-10)

和と法律について
永田菊四郎　法学紀要　3 ('61-6)

和の原理と法律
永田菊四郎　日本法学　27-4 ('61-11)

渡辺洋三「法というものの考え方」【書評】
伊藤道保　法社会学　11 ('61-5)

法解釈学

学説の法解釈と実務における法解釈 ── 司法修習生諸君に
中野次雄　書斉の窓　76 ('60-2)

市民社会の発展と法の解釈
石本雅男　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

「事物の本性」と法の解釈
阿南成一　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

戦後日本における法解釈論の検討
碧海純一　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

統一法の解釈と比較法的解釈方法
大木雅夫　立教法学　1 ('60-3)

日本における法解釈学の一つの主源流
熊谷開作　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

法の解釈における主観主義と客観主義 ── 憲法主義に於ける法解釈の問題
田畑　忍　同志社法学　13-1 ('61-4)

法律行為の「解釈」の構造と機能＜１，２完＞
穂積忠夫　法学協会雑誌　77-6,78-1 ('61-5,7)

法律の解釈ということ
林　修三　時の法令　368 ('60-11)

法学教育

高校生の法及び権利意識 ── 法教育研究序説
高山次嘉　教育学研究　28-1 ('61-3)

司法研修所における教育の実態 ── これから司法修習生となる人のために
河合伸一　法律のひろば　13-4 ('60-4)

法学教授法の科学的研究のために
早川武夫　神戸法学雑誌　9-1/2 ('59-10)

法学と社会科教育
小寺幸正　法政論叢　8 ('58-6)

法学徒の運命 ── 法律学への序章（法律学をいかに学ぶか）
沼　正也　綜合法学　22 ('60-5)

法律学勉強の態度と方針 ── 新入生諸君のために
下村康正　綜合法学　21 ('60-4)

法　社　会　学

学界回顧　1961 年 ── 法社会学
山主政幸　法律時報　33-13 ('61-12)

公法学における法社会学の意味するもの ── その理論形成のため
下山瑛二　法社会学　11 ('61-5)

社会学的法学
金山正信　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

ティマシエフ「法社会学の成長と範囲」【紹介】
及川　伸　法と政治　11-1 ('60-2)

人門法社会学＜１～７＞
渡辺洋三　法学セミナー　49~51,54~57 ('60-4~6,9~12)

フリードマンの社会学的法学論
及川　伸　法と政治　11-2 ('60-6)

法規範の「当為性」の経験科学的意味 ── 法社会学の基礎づけのために
川島武宜　法社会学　11 ('61-5)

法社会学的調査への一視角 ── アメリカにおける若干の動向を中心に
及川　伸　法と政治　12-1 ('61-3)

法社会学の課題（1960年・法の将来と課題）
川島武宜　ジュリスト　194 ('60-1)

法社会学の課題 ── 法解釈学との関連において
石本雅男　法社会学　1 ('61-5)

法社会学の方法と「法」の概念構成
江守五夫　綜合法学　37 ('61-8)

法社会学発展史の一視角
千葉正士　法哲学年報　1960年 ('61-8)

渡辺洋三著「法社会学と法解釈学」【書評】
加藤一郎　思想　427 ('60-1)

実態調査報告

海女部落の法社会学的研究 ── 山口県大津郡油谷町向津具の場合
不破勝敏夫　山口経済学雑誌　12-1 ('61-5)

鹿児島県農村調査覚書＜3＞ ── 旧郷士制村落の社会構造＜上＞
磯田　進　社会科学研究　13-2/3 ('61-12)

学区の設定による村落共同体の解体再編成
千葉正士　東京都立大学法学会雑誌　1-1 ('60-11)

家父長制労働関係の法社会学的考察＜4＞
内山尚三　法学志林　57-3/4 ('60-1)

漁業における協同組織の発展（漁業協同組織の研究 ── 三重県九木浦）
村長利根朗　法経論集（愛知）　30 ('60-3)

漁村における扶養形態（分家）の実体調査報告 ── 岩手県久慈市久喜・小袖部落
佐藤隆夫　政経論叢（国学院）　9-4 ('61-3)

漁村の共同組織と養子（漁業協同組織の研究 ── 三重県九木浦）
玉城　肇　法経論集（愛知）　30 ('60-3)

五島の末子相続について
大原長和　法政研究　27-2/4 ('61-3)

社会規範としての通過行事＜1，2＞
千葉正士　法学志林　58-3/4，59-1 ('61-3，9)

但馬山村における親族扶養の実態と意識 ── 村岡町内の大糠地区，高井地区，寺河内地区の場合
法と政治　11-4 ('60-12)

日本村落に於ける祖先崇拝と相続の実態
前田　卓　社会学評論　10-2 ('60-2)

農村における公的意思決定の方式（共有林分割をめぐる事例研究 ── 三重県鳥羽市松尾町における実態調査
中村菊男，中村勝範，堀江　湛　法学研究　34-1 ('61-1)

父分家制に関する一考察 ── 和歌山県東牟婁郡本宮町渡瀬の場合
山本　登　社会学評論　10-1 ('60-1)

立法・立法学

官報による法令公布の時期（判例百選）
成田頼明　ジュリスト　200 ('60-4)

法というものは ── 林修三「法令解釈の常識」と，渡辺洋三「法というものの考え方」を読んで想うこと
植松　正　法学セミナー　48 ('60-3)

法の平易化と罰則の付記
谷中　実　ジュリスト　205 ('60-7)

「法の平易化と罰則の付記」について
福永与一郎　ジュリスト　209 ('60-9)

法令の公布と施行の時期
渡辺龍策　中京商学論叢　6-2 ('59-9)

法令の公布の方法及び時期
園部　敏　立命館法学　35 ('60-12)

法令用語の送りがな批判
松下史生　言語生活　109 ('60-10)

立法技術の一断面
川口頼好　時の法令　350 ('60-5)

外国法律学

諸　国

アメリカ，イギリスおよびフランスにおける議員立法
下田久則　レファレンス　11-8 ('61-8)

学界回顧　1960年 ── 外国法
五十嵐清　法律時報　32-14 ('60-12)

学界回顧　1961年 ── 外国法
五十嵐清　法律時報　33-13 ('61-12)

諸外国の官報発行制度の概要 ── 法令公布の方式と手続，その機関紙など＜1～8＞
近藤金広　時の法令　400~408 ('61-9~12)

アメリカ

アメリカ法入門＜1～12完＞
伊藤正己　法学セミナー　49~60 ('60-4~'61-3)

外国書講読 ── アメリカ法＜1～12完＞
早川武夫　法学セミナー　49~60 ('60-4~'61-3)

最近のアメリカ法学界の一面＜1～3＞
平　良　綜合法学　23~25 ('60-6~8)

司法過程における社会科学 ──アメリカの法的思考の一つの傾向
早川武夫　法哲学年報　1960年 ('61-8)

ジョン・マーシャルの法思想 ──アメリカ裁判官の系譜
桜田勝義　法学　24-3 ('60-8)

米国法学教育の省察
小原喜雄　ジュリスト　223 ('61-4)

ロー・スクール教科課程
Landman,J.H.　自由と正義　12-7 ('61-7)

Legal Process
アメリカにおける立法学の一つのかたち＜1，2完＞
田中英夫，谷川　久　ジュリスト　225,227 ('61-5,6)

イギリス

イギリス・アメリカ法概論序説

長谷川元吉　青山法学論集　3-2 ('61-12)

イギリス自然権思想の一特質
山崎時彦　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

イギリス分析法学派の法解釈理論
八木鉄男　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

英法の「権威書」の意義＜1，2＞
末包留三良　法学（近大）　9-2 ('60-12)，10-1 ('61-5)

英国衡平法の渕源＜4～6完＞
海原文雄　金沢法学　6-1,2 ('60-6,11)，7-1 ('61-7)

英国法の精神＜4完＞
Radbruch,G.　司法研修所報　25 ('60-7)

英米法における推定理論＜2，3＞
楠本英隆　早稲田法学　36-3/4,37-1/2 ('61-3，12)

外国書講読 ──イギリス法＜6～8完＞
内田力蔵　法学セミナー　46~48 ('60-1~3)

コモンローとエクイティ＜1～3＞
砂田卓士　綜合法学　22~24 ('60-5~7)

「自然法の再生」とイギリス法理学
八木鉄男　同志社法学　11-6 ('60-3)

末延三次著「英米法の研究」【書評】
早川武夫　法学協会雑誌　77-2 ('60-12)

先例拘束性とDistinguishingの機能＜2，3完＞
新井正男　法学新報　67-10,11 ('60-10,11)

判例法主義の課題
新井正男　綜合法学　27 ('60-10)

ソビエト

「資本論」における社会法学の基本問題
柳　春生　産業労働研究所報　19 ('59-12)

社会主義国家における法の役割と法律関係 ── ソ同盟における財産法を主として
三宅　優　九大法学　4 ('58)

初期ソビエトにおけるマルクス主義法理論の展開＜1＞
藤田　勇　社会科学研究　12-5 ('61-3)

ソヴェト法学における「法の適用」の理論
松下輝雄　神戸法学雑誌　9-1/2 ('59-10)

新段階におけるソビエト立法
胡麻本蔦一　法経論集（愛知）　32 ('60-10)

ソビエト法ありのまま
福島正夫　法学セミナー　60 ('61-3)

ソヴェト法入門＜9～11完＞
福島正夫　法学セミナー　46~48 ('60-1～3)

パシュカーニス法理論の評価と批判
柳　春生　法政研究　27-2/4 ('61-3)

マルクス・レーニン主義による国家と法の理論＜1，2＞
Kleiyer,H.　国際問題研究所紀要　30 ('60-12)，31 ('61-7)

中　国

10年以来の新中国法学発展の回顧
周　新民　北九州大学商学部紀要　8 ('61-1)

新中国法学発展10年の回顧
周　新民　法律時報　33-2 ('61-2)

戦後における中国法関係文献目録
平野克明　法学志林　58-3/4 ('61-3)

中国の人民公社
米沢秀夫　レファレンス　10-2 ('60-2)

中国法律家代表団講演 ── 東京弁護士会における法律時報　33-6 ('61-6)

法の本質と社会主義的適法性
浅井　敦　社会科学研究　12-3 ('61-1)

ドイツ

シュパイエル行政学院
長浜政寿　法学論叢　68-5/6 ('61-3)

ドイツ国法理論における法律の概念について
栗城寿夫　法政研究　26-3 ('60-2)

ドイツにおける法治国の思想
高田　敏　法律時報　33-4 ('61-4)

ドイツにおける法律家層の形成過程 ── 教授法成立の序説として＜1～3完＞
上山安敏　法学論叢　69-3,5,6 ('61-6,8,9)

ドイツ法的思考の形式について
山田　晟　法哲学年報　1960年 ('61-8)

ドイツ法律文化東漸百年 ── ラードブッフと日本
常盤敏太　法律のひろば　14-4 ('61-4)

西ドイツの当面の法律問題 ── 帰朝報告＜上，下＞
斉藤秀夫　ジュリスト　215,216 ('60-12)

西ドイツにおける法学教育について
田上穣治　大学資料　15 ('60-2)

西ドイツにおける法体制のネオ・ファシズム
平野義太郎　人権のために　10 ('61-6)

西独における法体制のナチ化と民主的権利 ──
デュセルドルフ裁判事件の証人として出廷して
平野義太郎　法律時報　32-6 ('60-5)

西独法制こぼれ話
市原昌三郎　時の法令　340 ('60-1)

東独における最近の法科学の動向
影山日出弥　国際問題研究所紀要　29 ('60-3)

東ドイツにおける司法の政治的背景 ── 刑法典補充法は刑罰の緩和か＜1，2＞
山田　晟　国家学会雑誌　73-6,9 ('60-3,5)

比較法教室 ──ドイツ＜1～4＞
鈴木重武，田中館照橘　時の法令　402~405 ('61-10,11)

プロイセン普通国法の精神的基礎 ──C.G.スアレッの講義
石部雅亮　経済論叢　33-3 ('60-9)

ホイエル「プロイセン一般国法と階級斗争」【書評】
磯村　哲　法学論叢　69-4 ('61-7)

法律と命令との関係 ──19世紀前半のドイツに焦点を合わせて
小林昭三　早稲田政治経済学雑誌　170 ('61-8)

フランス

オーリューと経験主義
三代川潤四郎　法学　25-1 ('61-3)

フランスで法社会学はいかに評価されているか
飛沢謙一　法社会学　11 ('61-5)

フランスにおける最近の法思想
野田良之　法哲学年報　1960年 ('61-8)

フランスの自由法論
飛沢謙一　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

雑　集

イギリス人の生活と法
山本正太郎　綜合法学　18 ('60-1)

イギリスの刑法学者
団藤重光　法学教室　1 ('61-7)

一自然科学者から法律学者へ
山崎英二　綜合法学　39 ('61-10)

沖縄の表情
中川善之助　法学セミナー　59 ('61-2)

思出と感想の若干 ── 司法部在職40年を顧みて
斉藤直一　判例時報　244 ('61-1)

外交・条約・政治性
鵜飼信成　法律時報　32-4 ('60-3)

学者の政治的発言
中村　哲　法学セミナー　50 ('60-6)

董仲舒と司法試験
山主政幸　綜合法学　25 ('60-8)

経済政策と法律学
松本暉男　綜合法学　39 ('61-10)

憲法のヤミについて
宮沢俊義　判例時報　244 ('61-1)

裁判と言語
山岸長嘯　言語生活　102 ('60-3)

「裁判ものがたり」への誘い
平出　禾　法学セミナー　54 ('60-9)

シュトルムにおける法律と文学
五木田浩　日本法学　26-3 ('60-10)

条例の横書き
大森誠二　時の法令　372 ('60-12)

社会政策と法律学
稲垣正明　綜合法学　39 ('61-10)

多数決の原理
横田喜三郎　法曹時報　13-1 ('61-1)

大衆娯楽【鼎談】
中川善之助，宮沢俊義，鵜飼信成
法律時報　32-1 ('60-1)

退官の弁＜1～6完＞
伊達秋雄　判例時報　263~267,270 ('61-7~9)

「只」の法理
沼　正也　時の法令　401 ('61-10)

ドイツ便り＜2～4完＞
団藤重光　ジュリスト　193~195 ('60-1,2)

年間回顧　1960年
石川吉右衛門，加藤一郎，金子　宏，新堂幸司，杉山恵一郎，竹内昭夫，池田政章，寺沢　一，星野英一，松尾浩也，三ケ月章，矢沢　惇
ジュリスト　216 ('60-12)

春の学会＜1～3完＞
我妻　栄　ジュリスト　203~205 ('60-6,7)

比較法研究所 ── 比較法学会での感想
我妻　栄　ジュリスト　229 ('61-7)

被告人も裁判所を裁いている
戒能通孝　社会改良　5-3 ('60-4)

法学界回顧と展望【座談会】
橋本公亘，川添利幸，下村康正，染野義信，横井芳弘，大野実雄，立石芳枝，桑田三郎，新井正男
綜合法学　18 ('60-1)

法と歌・法律家の歌
東　季彦　綜合法学　25 ('60-8)

法と人
真野　毅　人事院月報　124 ('61-6)

法の日について
吉川大二郎　時の法令　365 ('60-10)

法の日，法の支配，法秩序の確立
小林俊三　法の支配　3 ('60-7)

法律案作成の過程 ── 比較法学会のシンポジウム
我妻　栄　ジュリスト　228 ('61-6)

法律および法律家の世界【座談会】
西村孝次，淀野隆三，山田坂仁，木下信男，西垣脩，山本進一　綜合法学　39 ('61-10)

法律学と経済学
米津昭子　綜合法学　39 ('61-10)

法律学と社会学
田村五郎　綜合法学　39 ('61-10)

法律学と政治学
田畑　忍　綜合法学　39 ('61-10)

法律家の論理＜3～5＞
加藤子明　法学セミナー　46~48 ('60-1~3)

印の話
斉藤金作　綜合法学　25 ('60-8)

ヨーロッパ君主制印象記＜1～4完＞
佐藤　功　ジュリスト　207~211 ('60-8~10)

歴史学と法律学
中村吉三郎　綜合法学　39 ('61-10)

忘られた法令
高橋勝好　法曹　121 ('60-11)

伝記・追悼

ある司法官物語
木口広志　世界　185 ('61-5)

回想のグスターフ・ラードブルッフ
Radbruch,R.　法律のひろば　13-7 ('60-7)

回想の法学者＜3＞
滝川幸辰　綜合法学　20 ('60-3)

雉本朗造（日本の法学を創つた人々）
染野信義　法学セミナー　47 ('60-2)

久保岩太郎教授の退官に際して ── 人および学者としての久保教授
田中誠二　一橋論叢　43-1 ('60-1)

最高裁長官嵐の10年
田中耕太郎　文芸春秋　39-1 ('61-1)

裁判官としてのカルドーゾ＜3完＞
桜田勝義　法学　24-1 ('60-3)

佐々木惣一（日本の法学を創つた人々）
小林孝輔　法学セミナー　49 ('60-4)

ジーベルト教授の訃
成富信夫　ジュリスト　196 ('60-2)

ジェローム・フランクの追憶

鵜飼信成　法学セミナー　66 ('61-9)

末弘厳太郎（日本の法学を創つた人々）
片岡　昇　法学セミナー　53 ('60-8)
戒能通孝　法学セミナー　55 ('60-10)

末弘厳太郎先生と私
横田正俊　ジュリスト　217 ('61-1)

田中耕太郎論 ── わが国における典型的保守イデオローグの思想状況
小林孝輔　法律時報　33-1 ('61-1)

父と子と ── グスタッフ・ラードブルッフのばあい
日沖憲郎　綜合法学　25 ('60-8)

トウリオ・アスカレリ教授
野田良之　法学協会雑誌　77-1 ('60-9)

鳩山秀夫（日本の法学を創つた人々）
鈴木禄弥　法学セミナー　48 ('60-3)

ボェーマー教授の80歳の賀について
成富信夫　ジュリスト　238 ('61-11)

穂積先生の有閑法学と思出
千種達夫　判例時報　230 ('60-8)

穂積重遠（日本の法学を創つた人々）
山主政幸　法学セミナー　52 ('60-7)

穂積八束論 ── 明治期官僚憲法学者の典型
和田英夫　綜合法学　37 ('61-8)

美濃部達吉（日本の法学を創つた人々）
小林直樹　法学セミナー　50 ('60-5)
和田英二　法学セミナー　51 ('60-6)

横田喜三郎論 ── その法イデオロギー
恒藤武二　法律時報　33-1 ('61-1)

横田喜三郎論 ── その国際法学（戦前の研究活動を中心に）
寺沢　一　法律時報　33-1 ('61-1)

横田喜三郎論 ── その国際法学（戦後の研究活動を中心に）
高野雄一　法律時報　33-1 ('61-1)

国際会議

いわゆる隣接権の保護 ── 国際会議をめぐつて
阿部浩二　法学　25-2 ('61-5)

刑法と人権 ── 国連アジア地域人権セミナーに出席して
森川金寿　法律時報　32-9 ('60-7)

国際刑事警察機構第28回臨時総会及び麻薬密貿に関する東南アジア地域会議について＜上，下＞
宍戸基男　警察学論集　13-5,6 ('60-5,6)

国際連合アジア地域人権セミナールについて
津田　実　法曹時報　12-10 ('60-10)

国連アジア会議と売春問題
佐藤　豁　捜査研究　76 ('58-3)

国連の人権セミナーについて
平野竜一　自由と正義　11-5 ('60-5)

国連人権ゼミナールに対する報告書
大塚喜一郎　自由と正義　11-5 ('60-5)

今日の時代の少年問題とその背景 ── 国連の会議とヨーロッパの国々に見る
森田宗一　家庭裁判月報　13-2 ('61-2)

シカゴにおける刑事法運用に関する国際会議
安倍治夫　法律時報　32-9 ('60-7)

人権の保護における刑事実体法の役割 ── 国連アジア地区人権セミナーの討議をめぐつて
＜1，2＞
長島　敦　ジュリスト　204,205 ('60-6,7)

世界各国の少年犯罪とその対策 ── 第2回国連犯罪防止世界会議に関連して
検察月報　133 ('60-6)

世界人権規約と一事不再理の原則 ── 国連第14回総会第3委員会に出席して
久米　愛　自由と正義　11-5 ('60-5)

第2次国際海洋法会議
小田　滋　ジュリスト　204 ('60-6)

第4回国際犯罪学会議
小川太郎　季刊刑政　9-4 ('61-12)

第7回国際民主法律家会議について
胡麻本蔦一　国際問題研究所紀要　31 ('61-7)

第8回国際刑法学会
平野竜一　ジュリスト　237 ('61-11)

第24回万国海法会総会報告 ── 原子力船運航者の責任に関する条約案を中心として
谷川　久　海法会誌　8 ('60-10)

短期自由刑の問題 ── 国連会議に出席して
小川太郎　ジュリスト　214 ('60-11)

ドイツだより ── 二つの刑事会議
平野竜一　ジュリスト　229 ('61-7)

ドイツ民事訴訟法担当者会議に出席して
中村宗雄　綜合法学　26 ('60-9)

犯罪予防及び犯罪者の処遇に関する国際連合ロンドン会議
市川秀雄　ジュリスト　219 ('61-2)

「犯罪の防止と犯罪者の処遇」に関する国際連合会議の報告
浦辺　衛　法律時報資料版　3 ('61-1)

「犯罪の防止および犯罪者の処遇」に関する国連ロンドン会議
浦辺　衛　法曹時報　12-11 ('60-11)

犯罪の防止および犯罪者の処遇に関する第2回国連会議
小川太郎　刑政　72-1 ('61-1)

二つの人権会議に出席して
西原道雄　法律時報　32-12 ('60-10)

ヘーグ国際私法会議のはなし
野本新一　時の法令　377 ('61-2)

法による世界平和アジア会議
自由と正義　12-11 ('61-11)

民主的法律家の任務と活動 ── 第7回国際民主法律家会議に参加して＜上，下＞
内藤　功　労働法律旬報　426,429 ('61-8,9)

列国議会同盟会議について
小沢俊郎　ジュリスト　214 ('60-11)

法　制　史

法制史一般

学界回顧　1960年 ── 法制史

高柳真三，石川　武　法律時報　32-14 ('60-12)

学界回顧　1961年——法制史
牧　英正，石川　武　法律時報　33-13 ('61-12)

教材法史学＜3＞
西本　顕　名城法学　10-1 ('60-6)

メイン死後百年
Newell,W.H.　法律時報　33-13 ('61-12)

ローマ法

古代ローマ法におけるusus-auctoritasの規定について
吉野　悟　専修大学論集　24 ('60-9)

古典期ローマ法における訴訟と実体関係——カーザーの研究を中心として
奥田昌道　法学論叢　69-2 ('61-5)

「拿捕」のふるさと
矢田一男　法学セミナー　47 ('60-2)

「農民法」研究の新段階
渡辺金一　一橋論叢　43-5 ('60-5)

不当徴収返還請求アキリア法（紀元631—2年紀前122—1年）大要＜2完＞
矢田一男　法学新報　67-1 ('60-1)

法律と数学
田中周友　法学セミナー　48 ('60-3)

ユスチニアヌス帝学説彙纂第23巻邦訳＜1～6＞
京都大学西洋法史研究会　法学論叢　66-4,6, 67-2, 4, 6, 68-2('60-1, 3, 5, 7, 9, 11)

ユスチニアヌス帝学説彙纂第24巻邦訳＜1～5＞
京都大学西洋法史研究会　法学論叢　68-4,69-2, 4,6,70-3 ('61-1,5,7,9,12)

ローマ遺言相続法
岩田健次　法学論集　10-2 ('60-9)

ローマ初期における刑法と国家権力——とくに刑罰権の所在と国家・社会の構造との具体的対応関係について
片岡輝夫　法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

ローマ法後期における自力救済
明石三郎　法学論集　9-5/6 ('60-3)

Bona vacantiaについて
岩田健次　法学論集　9-5/6 ('60-3)

Causa usucapionisの成立過程
吉野　悟　専修大学論集　27 ('60-10)

SENATUS POPULUSQUE ROMANUS——ローマ元首政時代における刑事裁判作用の諸類型＜1～3完＞
柴田光蔵　法学論叢　69-1,70-1,2 ('61-4,10, 11)

日本法制史

上世・中世

イネと古代法＜2＞
鍋田　一　法律論叢　34-1 ('60-8)

大伴家持の能登巡行——その制度史的，軍事史的考察
滝川政次郎　政経論叢（国家院）　10-3 ('61-12)

格の法源的研究
梅田義彦　芸林　11-4 ('60-8)

鎌倉幕府の国家的権力と幕府法の刑罰体系
牧　英正　法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

契沖阿闍梨校合本「令義解」——岩崎美隆手写＜1＞
石尾芳久　法学論集　10—6(' 61—9)

狂言に見えた婚姻
高梨公之　日本法学　27-1 ('61-4)

検非違使庁下の左獄
滝川政次郎　刑政　71-4 ('60-4)

現存平安時代戸籍の考察
泉谷康夫　日本史研究　39 ('58-11)

古代籍帳における夫婦別籍と夫婦別居＜上，下＞
洞　富雄　日本歴史　130,131 ('59-4,5)

戸令・戸籍・計帳＜上，中，下＞
竹内理三　日本歴史　151~153 ('61-1~3)

雑供戸考
滝川政次郎　法制史研究　10 ('60-3)

正倉院戸籍調査概報＜2＞
竹内理三　史学雑誌　69-3 ('60-3)

承和13年僧善雛訴訟事件に関する覚え書
薗田香融　関西大学文学論集　10-1 ('60-4)

十七条憲法の構造聯関的理解
八木格治　芸林　9-4 ('58-8)

水利に関する律・条例と「共同体」規約
好並隆司　史学研究　77/79 ('60-10)

墾割考
滝川政次郎　日本上古史研究　5-3 ('61-3)

大宝律令と「古答」について
利光三津夫　日本上古史研究　4-11 ('60-11)

太政官と唐の三省
石尾芳久　法学論集　9-3/4 ('60-3)

谷垣守手写本「残律」
石尾芳久　法学論集　10-4 ('61-6)

谷垣守自筆稿本「残律抄」
石尾芳久　法学論集　10-5 ('61-7)

中使考——越後上杉氏領国制の一考察
小林　宏　法学論叢　69-4 ('61-7)

天智天皇と近江令
田中　卓　神道史研究　8-6 ('60-11)

日本古代の刑罰体系
石尾芳久　法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

日本中世法成立の前提——平安時代の相続法を中心として
阿部　猛　日本史研究　45 ('59-11)

日本法史における人身売買について
滝川政次郎　政経論叢（国学院）　10-2 ('61-9)

農地の移動に関する領主法規制——阿波藩農民統治法研究の一齣
大竹秀男　神戸法学雑誌　11-3 ('61-12)

百官進薪の制と飛鳥浄見原令
滝川政次郎　政経論叢（国学院）　9-3 ('61-1)

平安期荘園領主権の一考察——東寺領を中心に＜1，2＞
中沢巷一　法学論叢　69-3,70-1 ('61-6,10)

平安時代の家司制度——律令における主従制の研究＜2＞
大饗　亮　法経学会雑誌　10-3 ('60-12)

平安時代の私的保護制度——古代社会組織と主従制＜1＞
大饗　亮　法経学会雑誌　11-1 ('61-6)

平安時代の郎等制と家人制——古代社会組織と主従制＜2＞
大饗　亮　法経学会雑誌　11-2 ('61-9)

封建制度の成立
石尾芳久　法学論集　9-5/6 ('60-3)

牧英正著「人身売買の研究」【書評】
前田信二郎　法律時報　33-9 ('61-9)

黛弘道氏「冠位十二階考」【書評】
喜田新六　日本上古史研究　3-7 ('59-7)

黛弘道氏「冠位十二階考」を読む
時野谷滋　日本上古史研究　3-7 ('59-7)

室町幕府訴訟制度「意見」の考察
笠松宏至　史学雑誌　69-4 ('60-4)

養老令の由来と令義解の撰修
会田範治　日本法学　26-5 ('60-12)

律と贓——令の食膳制と医制との研究＜3完＞
滝川政次郎　政経論叢（国学院）　9-1 ('60-5)

律令官人の考叙法
野村忠夫　法制史研究　11 ('61-3)

律令制村落の形成
八木　充　日本史研究　52 ('61-1)

律令体制の成立について
北山茂夫　立命館法学　39/40 ('61-12)

「令集解」講読覚書＜1～6＞
田中　卓，奥村郁三　日本上古史研究　3-8,9 ('59-8,9),4-1,4,8 ('60-1,4,8),5-2 ('61-2)

令前の租法と田積法の変遷
田中　卓　芸林　9-4 ('58-8)

令の獄制
滝川政次郎　刑政　71-3 ('60-3)

令の喪制と方相氏
滝川政次郎　日本上古史研究　4-1 ('60-1)

我が古代の救恤法——養老律令における身体障害者保護法
利光三津夫　政治公論　14（　）

我が律令の源流
曾我部静雄　日本歴史　147 ('60-9)

近　世

一撥史料としてみた幕府刑事裁判史料——御任置例類集・諸処刑調書について
森田雄一　歴史評論　125 ('61-1)

伊勢・伊賀・志摩・紀伊の諸藩に於ける近世五人組制度の研究＜2～4＞
武藤和夫　三重法経　8,9 ('59-3,10),10 ('60-3)

家と村落社会の政治構造——近世末期の信州木間村を中心に
黒崎八州次郎　人文論究　20 ('59-12)

板倉籠屋証文＜1，2完＞
猪熊兼繁　法学論叢　67-2,3 ('60-5,6)

隠地禁制について——徳川幕府土地法制の一側面＜1＞
見城幸雄　法経論集（愛知）　36 ('61-9)

江戸時代鉱山労働者の身分規制
熊谷開作　阪大法学　37 ('60-12)

江戸時代における農民の「家」の構造＜1，2＞
大竹秀男　神戸法学雑誌　10-4,11-1 ('61-3,6)

江戸時代における農民の相続序列
大竹秀男　神戸法学雑誌　9-1/2 ('59-10)

江戸時代の嫁資制度
熊谷開作　阪大法学　34 ('60-2)

江戸時代法と書式——書式の戯書
春原源太郎　自由と正義　11-2 ('60-2)

江戸初期の刑政
滝川政次郎　刑政　71-6 ('60-6)

江戸の歴史——江戸における刑罰
川崎房五郎　選挙　13-9 ('60-9)

穢多非人等関係文書——法制史資料集録＜1，2＞
中央大学法制史料研究会　法学新報　67-10,12 ('60-10,12)

縁切寺——東慶寺の場合＜1～3完＞
石井良助　法学協会雑誌　76-4,77-2,4 ('60-5, 12,'61-2)

おさん茂兵衛に寄せて
隈崎　渡　時の法令　395 ('61-8)

尾張藩「御糺類書抜」＜1＞
林　董一　法学研究（愛知）　4-1 ('61-12)

尾張藩の失踪制度
林　董一　法学研究（愛知）　3-1 ('60-12)

御定書とその刑罰
滝川政次郎　刑政　71-7 ('60-7)

御触書集覧と御公令謹身録
布施弥平治　日本法学　26-4 ('60-11)

大阪道修町三丁目の町法について
中埜喜雄　法と政治　12-1 ('61-3)

大島郷戸籍の一断面——門脇論文についての補註的批判
藤間生大　日本史研究　44 ('59-9)

悔返考
布施弥平治　日本法学　26-6 ('61-2)

鍵——名古屋の古法にみえたる一つの用語
林　董一　同朋学報　7 ('60-1)

行刑吏と獄舎
滝川政次郎　刑政　71-8 ('60-8)

近世債権法上における証書の機能＜3＞
服藤弘司　金沢法学　6-1 ('60-6)

近世村法と領主権＜1＞
大出由紀子　法政論集　18 ('61-11)

近世大和の繰綿問屋定法の研究
吉田太二郎　史泉　20/21 ('60-12)

謹賀新年（法史夜話）
猪熊兼繁　法学セミナー　46 ('60-1)

芸藩における出奔帖外について——賀茂郡広村の実情
金指正三　法制史研究　11 ('61-3)

古法漫筆——続江戸時代＜1～25完＞
石井良助　時の法令　350~376 ('60-5~'61-1)

鉱山役夫と人足寄場
滝川政次郎　刑政　71-12 ('60-12)

墾田永世私財法について

丸山忠綱　法政史学　13 ('60-10)

十悪八虐考
布施弥平治　法学紀要　3 ('61-6)

重追放から過料まで
滝川政次郎　刑政　71-11 ('60-11)

信濃国小県郡辰ノ口村史料
前田正治　法と政治　11-1 ('60-2)

鈴ケ森と八丈島
滝川政次郎　刑政　71-10 ('60-10)

川柳にあらわれた馬喰町の公事宿
滝川政次郎　自由と正義　11-1 ('60-1)

関所関係文書＜1，2＞——法制史資料集録＜5，6＞
中央大学法制史料研究会　法学新報　68-9,11 ('61-9,11)

続古法制雑考＜2＞
石井良助　国家学会雑誌　73-9/10 ('60-7)

大名の官位
布施弥平治　綜合法学　27 ('60-10)

大名の刑罰権
平松義郎　法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

頼母子の史的過程——頼母子からみた江戸期の世相
松下胤信　バンキング　143 ('60-2)

通貨偽造罪史考
隈崎　渡　法学新報　67-2 ('60-2)

都市行政上における賤民集落の存在形態——江戸・弾左衛門囲内の近代町制化するまでの場合
荒井貢次郎　東洋法学　4-2 ('61-3)

徳川幕藩体制下における刑法思想＜1＞
熊倉　武　法経論集（静岡）　10 ('60-10)

徳川幕府刑法における過失犯
石塚英夫　法政研究　27-2/4 ('61-3)

徳川幕府刑法における共犯＜3＞
石塚英夫　法政研究　27-1 ('60-7)

日本近代民法史に挑むために
中村吉三郎　社会科学討究　7-1 ('61-12)

人足寄場における心学講話——刑務所における教悔の濫觴＜1～3＞
滝川政次郎　刑政　72-9~11 ('61-9~11)

抜荷と刑罰
隈崎　渡　時の法令　382 ('61-3)

藩法関係文書　彦根藩＜1，2＞——法制史資料集録＜3，4＞
中央大学法制史料研究会　法学新報　68-4,6 ('61-4,6)

肥後藩の給知制——肥後藩武士相続法研究序説
鎌田　浩　法文論叢　12 ('60-10)

平松義郎「近世刑事訴訟法の研究」【紹介】
石井良助　国家学会雑誌　74-9/10 ('61-7)

広島藩の「六会法」について
青木　茂　史学研究　77/79 ('60-10)

武家の厳刑
滝川政次郎　刑政　71-5 ('60-5)

保科正之の教令——御法慶書と家訓を中心として
布施弥平治　日本法学　26-2 ('60-6)

封建社会における村落共有林と村落構造——役山・名主山・年寄山に関する資料
井ケ田良治　同志社法学　12-5 ('61-2)

封建的村落共同体と村掟——丹波国保津村五苗集団の村落支配＜1～4＞
井ケ田良治　同志社法学　11-6 ('60-3)，12-3，4 ('60-8，10)，13-1 ('61-4)

法の公示方法の沿革
石井良助　法学教室　2 ('61-11)

密通の任置と内済——江戸時代における婚姻規制の一側面
山中永之佑　阪大法学　38 ('61-2)

美濃国大垣藩藩法典「定帳」成立考——近世藩法の一存在形態
安沢秀一　法学研究　33-9 ('60-9)

明治民法施行以前における妻の姓
洞　富雄　日本歴史　137 ('59-11)

津・藤堂和泉守領分の刑事法——津藩の刑事法＜1＞
武藤和夫　三重法経　11 ('60-10)

琉球科律について
宮城栄昌　日本歴史　155 ('61-5)

領主法上の刑罰権と村制裁権との関係
前田正治　法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

牢屋敷の戒護と給養
滝川政次郎　刑政　71-9 ('60-9)

明　治

愛知自由党の地租綱領
黒田展之　法政論集　16 ('61-3)

秋田県立志社暴動事件判決書（明治16,17年）
手塚　豊　法学研究　34-10 ('61-10)

維新前後の公議制度
水木惣太郎　日本法学　26-6 ('61-2)

監獄則時代の獄制と小原重哉
滝川政次郎　刑政　72-2 ('61-2)

監獄法ができるまで
滝川政次郎　刑政　72-3 ('61-3)

既刊治安裁判所記録
城戸　毅　史学雑誌　69-8 ('60-8)

近代日本建設の父フルベッキ博士
尾形裕康　社会科学討究　7-1 ('61-12)

元老院議官佐野常氏の遷都意見書——明治法制史料雑纂＜5＞
手塚　豊　法学研究　34-7 ('61-7)

元老院内における新律綱領，改定律例復活反対意見書
明治法制史料雑纂＜9＞
手塚　豊　法学研究　34-11 ('61-11)

元老院内における集会条例改正意見書（明治16年）
明治法制史料雑纂＜7＞
手塚　豊　法学研究　34-9 ('61-9)

元老院の「教会条例案」—明治法制史料雑纂＜10完＞
手塚　豊　法学研究　34-12 ('61-12)

元老院の「専売免許条例」草案——明治法制史料雑纂＜6＞
手塚　豊　法学研究　34-8 ('61-8)

公会条例および公会罰則草案——明治法制史料雑纂＜2＞
手塚　豊　法学研究　34-4 ('61-4)

公議所雑考
丹羽友三郎　三重法経　9 ('59-10)

拷問廃止に関連する諸法律案——明治法制史料雑纂＜1＞
手塚　豊　法学研究　34-3 ('61-3)

国家的刑罰権と非国家的刑罰権——明治前期の場合に関する一未定稿
手塚　豊　法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

司法省修補課（明治12，13年）関係資料—明治法制史料雑纂＜3＞
手塚　豊　法学研究　34-5 ('61-5)

自由党飯田事件の裁判に関する一考察
手塚　豊　法学研究　34-1 ('61-1)

集会条例質問録——明治法制史料雑纂＜4＞
手塚　豊　法学研究　34-6 ('61-6)

新見吉治著「壬申戸籍成立に関する研究」【書評】
牧　健二　史学雑誌　68-10 ('59-10)

地租改正法の成立
福島正夫　東洋文化研究所紀要　24 ('61-3)

地租改正法の展開——地価算定の問題を中心として
近藤哲生　経済科学　8-3 ('61-3)

日本資本主義創成期における会社制度の形成——その法人制度の史的研究の一齣
森泉　章　法学　25-2 ('61-5)

日本民法史研究における一つの問題
牛尾茂夫　法学（近大）　10-2 ('61-11)

ヘルマン・ロエスラーと日本における独逸国法の採用
Siemens，J.　ソフィア　10-1 ('61-4)

法学における仮説と験証——明治初年における離縁状慣行を素材としつつ
沼　正也　法社会学　11 ('61-5)

松岡康毅と日本大学
山主政幸　日本法学　26-2 ('60-6)

明治維新政府の成立
原口　清　歴史学研究　258 ('61-10)

明治期における仲裁裁判の先例＜1，2＞
石本泰雄　法学雑誌　7-4,8-1 ('61-3,7)

明治権力と言論・出版等の自由
鈴木安蔵　産業と科学　7 ('61-　)

明治初年における地方軽犯罪法制の研究＜2完＞
神谷　力　愛知学芸大学研究報告社会科学　10 ('61-2)

明治初年における藩政改革——江藤新平の民政仕組書について
杉谷　昭　法制史研究　11 ('61-3)

明治初年におけるフランス法の研究
野田良之　日仏法学　1 ('61-　)

明治初年の甲斐における刑事法と行刑
手塚　豊　法学研究　33-12 ('60-12)

明治初年の戸籍から見た山村の婚姻及び養子縁組——熊本県五木村の場合
桜井丸雄　熊本大学教育学部紀要　9 ('61-12)

明治初年の氏——明治4年戸籍法成立の前提
山中永之佑　阪大法学　35 ('60-6)

明治初年の妻の地位——婚姻届出制との関連における
松本暉男　法制史研究　10 ('60-3)

明治前期堺県家族関係法令＜4＞
山中永之佑　阪大法学　34 ('60-2)

明治前期における後見制度＜1～3完＞
青木　博　綜合法学　21,25,27 ('60-4,8,10)

明治前期の雇傭法
服藤弘司　金沢大学法文学部論集法経篇　8 ('61-3)

明治前期における民事訴権の形成
細川亀市　専修大学論集　26 ('61-6)

明治法制史のあらまし
中村吉三郎　早稲田法学　36-3/4 ('61-3)

明治民法施行前の婚姻法と養子法——じゆうらいの諸研究の批判のうえに
沼　正也　私法　22 ('60-10)

民法典論争＜1～6完＞
中村菊男　綜合法学　22~27 ('60-5~10)

民法典論争の思想史的意義＜1，2＞
中村雄三郎　法律論叢　33-6,34-3 ('60-3,11)

明治6年の監獄則のできるまで
滝川政次郎　刑政　72-1 ('61-1)

明治10年の地租減額事情
藤村　通　茨城大学文理学部紀要　10 ('59-10)

抑圧令を中心とした明治初期における出版機構の展開
山下　武　社会科学討究　5-2 ('60-8)

領事関係と免除——明治期における先例＜2＞
国際法先例研究会　法学論叢　69-5 ('61-5)

わたくしの明治法制史
中村吉三郎　社会科学討究　5-2 ('60-8)

中　国　法　制　史

近年における漢唐法制史研究の歩み
守屋美都雄　法制史研究　10 ('60-3)

魏律「序略」についての二，三の問題＜下＞
内田智雄　同志社法学　11-5 ('60-2)

常陰比事の中から
布施弥平治　日本法学　27-4 ('61-11)

宗法の成立事情
鈴木隆一　東方学報　31 ('61-3)

朱子学——その歴史的性格の素描
守本順一郎　法政論集　17 ('61-8)

スタイン敦煌発見の唐宋家族法関係文書
仁井田陞　東洋文化研究所紀要　17 ('59-3)

清朝時代の刑事裁判——その行政的性格，若干の沿革的考察を含めて
滋賀秀三　法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

清末における民・商事草案の編纂について——本学諸先学の業績を偲んで
島田正郎　法律論叢　34-6 ('61-3)

前漢の法の変動と法思想——刑法を中核として＜1＞
成宮嘉造　法学研究（愛知）　2-1/2 ('60-3)

唐代裁判手続法
奥村郁三　法制史研究　10 ('60-3)

唐代の大赦に就いて
根本　誠　早稲田大学大学院文学研究科紀要 6 ('60-12)

唐律および徳川刑法における「準正犯」——東洋法制史上の一つの「ひろば」
西村克彦　法律のひろば　14-3 ('61-3)

唐律の刑罰
奥村郁三　法学雑誌　8-2 ('61-9)

中国旧社会の構造と刑罰権——国家的・非国家的とは

何か
仁井田 陞 法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

中国古代の禁錮
鎌田重雄 綜合法学 24 ('60-7)

中国土地立法の史的考察——土地国有原則から農民的所有原則へ
山本秀夫 農業総合研究 15-3 ('61-7)

廟制統考——祧の本質と文・武二祧説
池田末利 広島大学文学部紀要 16 ('59-9)

仁井田 陞「中国法制史研究」
旗田 巍 歴史学研究 237 ('60-1)

再び魏律「序略」について——滋賀教授の私信に答えて
内田智雄 同志社法学 12-4 ('60-10)

再び魏律の篇目について——内田智雄氏の批判に答えて
滋賀秀三 法制史研究 11 ('61-3)

北宋元豊の官制改革と元豊官志について——台湾採訪新資料研究
島田正郎 法律論叢 34-2 ('60-9)

民族的憑信と現実法——絞斬の所以に就いて
柿沼末太 法学(近大) 10-1 ('61-5)

訳注・魏書刑罰志(未定稿)<1>
内田智雄 同志社法学 13-3 ('61-11)

訳注・唐律疏議<3>
滋賀秀三 国家学会雑誌 74-3/4 ('61-2)

訳注・晋書刑法志<5～11>
内田智雄 同志社法学 11-5,12-2~4,6,13-1,2 ('60-3,6,8,10,'61-3,4,10)

両税法の基本的四原則
日野開三郎 法制史研究 11 ('61-3)

両税法成立の由来
曾我部静雄 社会経済史学 26-1 ('60-5)

両魏の戸籍と唐の差科簿との関係と課の意味の変遷
曾我部静雄 東洋史研究 17-4 ('59-3)

西洋法制史

アングロ・サクスン法窃盗防止法の発展に於る国王と領主
林 深山 法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

イギリス「職人法令」の衰滅過程——賃金裁定制の解体過程<1>
岡田与好 経済学 21-1 ('59-7)

英国における1795年の賃金補助制度の成立とその本質——スピーナムランド法について
大前朔郎 経済学論究 14-3 ('60-10)

英国古代における(7世紀以降)土地保有(封建的土地所有)成立史論<6完>
佐藤隆夫 政経論叢(国学院) 9-1 ('60-5)

英国における教会法と教会裁判所<1,2>
鈴木敏和 法学研究(愛知) 2-1/2 ('60-3) 4-1 ('61-12)

カトリック教会法典(Codex juris Canonici)を和訳するに当つて
Civisca,Luig 上智法学論集 3-2 ('59-10)

海上保険発顕地考<3～6>
寺田四郎 上智法学論集 3-2 ('59-10),4-1,2 ('60-5,11),5-1 ('61-4)

教会法における法的思惟
阿南成一 法哲学年報 1960年 ('61-8)

クレッシエル「ゲルマン法におけるジッペ」【紹介】
石川 武 法学会論集 11-4 ('61-7)

ゲルマン時代の婚姻について
三浦澄雄 九大法学 8 ('60)

ゲルマン法における自力救済——ドイツ民法の制定まで
明石三郎 法学論集 10-5 ('61-7)

刑事裁判手続と国王権力——クラーレンドン条例を中心として
海原文雄 法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

古ゲルマン社会についての一考察
吉田徳三郎 日本法学 26-3 ('60-10)

国王自由人学説とその問題点——中世初期ヨーロッパ国制史研究への一つのアプローチ<1>
石川 武 北大法学論集 12-2 ('61-12)

国学および教会法とその限界
Civisca,L. ソフィア 9-3 ('60-10)

国家的刑罰権と非国家的刑罰権について——ドイツ
吉田道也 法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

穀物法撤廃法案についての第2読会におけるサー・ロバート・ピールの演説訳
堀 晋作 政経論叢(国学院) 9-3 ('61-1)

ザクセンシュピーゲル(ラント法)邦訳<6,7完>
久保正幡 国家学会雑誌 74-1/2 ('60-11), 74-7/8 ('61-6)

シュワーベンシュピーゲル邦訳<7>
田中周友,上山安敏 法と政治 11-2 ('60-6)

ジョン・ロックと1669年の北米カロライナ基本憲法
大谷恵教 拓殖大学論集 25 ('60-11)

15世紀末～18世紀中葉イギリスにおける農民的土地所有の法理論
Lavrovski,V.M. 土地制度史学 3-2 ('61-1)

19世紀における英国会社法の会計規定<2>
稲垣富士男 商学論纂 1-3 ('61-1)

1777年ニューヨーク憲法の構造的特質と其の成立基盤
仲田 光 文化科学紀要 3 ('61-3)

中世イギリスに於ける計算訴訟と衡平法理
海原文雄 金沢大学法文学部論集法経編 7 ('60-3)

パッサウ司教聖堂(バイエルン)所領の研究<4>
伊藤 栄 政経論叢(国学院) 9-3 ('61-1)

反穀物法同盟の成立
堀 晋作 政経論叢(国学院) 10-1 ('61-6)

フランス法史上の権力と刑事法
塙 浩 法制史学会創立10周年記念論文集 ('60-4)

ホロープ所有についての法史的一考察
石戸谷重郎 奈良学芸大学紀要人文社会科学 10-1 ('61-3)

ランゴバルド部族法典附加勅令邦訳<1～7>
塙 浩 神戸法学雑誌 9-4 ('60-3),10-1~3 ('60-6,9,12),11-1~3 ('61-6,9,12)

ロシヤにおける農奴解放令編纂の経過
増田富寿 早稲田政治経済学雑誌 170 ('61-8)

古代法制史

インカ帝国の政治と法律
賀川俊彦 法学研究 33-2 ('60-2)

キュレネ都市国家法と神託法及び神殿法
古林祐二 法制史研究 10 ('60-3)

古代ギリシヤ刑法に於ける過失責任論と刑法思想
古林祐二 法学論叢(福岡) 6-1/2 ('61-12)

ヘブライズム法思想史の研究序説<1,2>
赤井 節 法と政治 12-2,3 ('61-7,11)

田辺繁子「マヌ法典の家族法」【書評】
仁井田 陞 法律時報 32-13 ('60-11)

マヌ法典における扶養
田辺繁子 専修大学論集 22 ('60-1)

ワクフについて
遠峰四郎 法学研究 33-8 ('60-8)

憲　　法

公法一般・国法学

栄典制度についての考察
諸橋 襄 自治研究 36-12 ('60-12)

加藤弘之の立憲思想(近代法思想をめぐる人々)
鵜沢義行 綜合法学 28 ('60-11)

議会制度の生理と病理
宮沢俊義 公法研究 23 ('61-10)

議会制民主主義に関する実定法上の基本点
篠岡 博 公法研究 23 ('61-10)

議会制民主主義の諸問題【シンポジゥム】
公法研究 23 ('61-10)

議会制民主主義の理念と技術
黒田 覚 公法研究 23 ('61-10)

権衡憲法と議会主権——長期議会に関する一考察
隅田哲司 西洋史学 39 ('58-10)

権力分立と立法国家
杉山逸男 法学紀要 3 ('61-6)

現代議院内閣制
杉原泰雄 公法研究 23 ('61-10)

公法——今年の判例を顧りみる
和田英夫 法律時報 32-14 ('60-12)

公法学者の任務と役割り
小林孝輔 綜合法学 41 ('61-12)

公法関係における私法規定の適用
原竜之助 恒藤先生古稀祝賀記念論文集 ('60-5)

国民意志表示
宮田 豊 法学論叢 66-6 ('60-3)

国法学の形式的対象——ドイツ公法学派の終幕
水波 朗 法政研究 27-2/4 ('61-3)

多数決原理の公法的側面——一つの試論
和田英夫 法律論叢 35-2 ('61-8)

統治構造における自由主義と民主主義の矛盾——統治行為をめぐつて
杉田憲治 海上保安大学校研究報告第1部 ('61-3)

日本における議会制民主主義の基礎構造
島田英男 公法研究 23 ('61-10)

日本における立憲主義と議会主義——穂積八束と美濃部達吉
佐藤 功 法学セミナー 69 ('61-12)

ハンス・ヘルフリッツ「一般国法学」【書評】
田畑 忍 同志社法学 12-2 ('60-6)

法原理としての平等
竹内雄一郎 高崎経済大学論集 3 ('60-3)

「立憲主義」ということば——近代憲法の原理
佐藤 功 法学セミナー 68 ('61-11)

わが議会制度問題点の一考察
小林孝輔 公法研究 23 ('61-10)

法の支配

議会主義と法の支配
山下博久 政経論叢(広島) 9-3/4 ('60-3)

コウクと法の支配
田中英夫 法律時報 33-4 ('61-4)

社会主義的合法性と法の支配
畑中和夫 法律時報 33-4 ('61-4)

世界における法の支配をめざして
Douglas,W.O. 法律時報 33-4 ('61-4)

日本における法の支配
高柳信一 社会科学研究 12-3 ('61-1)

法支配に関するダイシーの最近の処論
瀬戸山登一 八幡大学論集 12-1 ('61-7)

法治主義と法の支配
高柳賢三 民事研修 49 ('61-5)

法の支配
石田和外 自由と正義 11-10 ('60-10)

法の支配
藤田八郎 法の支配 4 ('61-1)

法の支配を阻むもの【座談会】
小野沢知雄,河井信太郎,相田猪一郎,加藤 晃,鍋鹿義明,江村高行,平尾東策,馬場東作
自由と正義 12-12 ('61-12)

「法の支配」の基礎にあるもの
我妻 栄 法の支配 4 ('61-1)

「法の支配」の消極的側面
清水 誠 法律時報 33-4 ('61-4)

法の支配について
出射義夫 警察時報 16-1 ('61-1)

「法の支配」について
平野義太郎 人権のために 5 ('60-5)

「法の支配」と自然法
田中耕太郎 ジュリスト 193 ('60-1)

法の支配と司法の本質——田中博士の「法の支配と自然法」に対する疑義

石橋　信　ジュリスト　195 ('60-2)

法の支配と自由な言論
伊藤正己　思想　438 ('60-12)

法の支配と国民の自律精神
法の支配　3 ('60-7)

「法の支配」と法治主義
田中精一　法学教室　2 ('61-11)

法の支配と人の支配
渡辺洋三　学鐙　57-6 ('60-6)

「法の支配」の現代的意義
杉村敏正　法学論叢　69-6 ('61-9)

「法の支配」のヴェールを剝ぐ
風早八十二　人権のために　5 ('60-5)

「法の支配」への警鐘—— I.E. 社争議事件判決の意義（沖縄）
大野正男　法律時報　32-1 ('60-1)

抵　抗　権

近世以後における国家と抵抗権
橋本公亘　法律時報　32-1 ('60-1)

現代における抵抗権
天野和夫　法律時報　32-1 ('60-1)

ジョン・ロックの抵抗権思想
山崎時彦　法学雑誌　8-1 ('61-7)

抵抗権と抵抗義務について—— 日本国憲法に於ける抵抗権と抵抗義務
田畑　忍　法哲学年報　1959年 ('60-9)

抵抗権の問題
宮沢俊義　法哲学年報　1959年 ('60-9)

暴君と抵抗権——中世及び近世における
林田和博　法律時報　32-1 ('60-1)

プフィスター・ヒルトマン共編「抵抗権と国家権力の限界」【書評】
栗城寿夫　法哲学年報　1959年 ('60-9)

ラードブルッフにおける政治的抵抗と法理論の変遷
松尾敬一　法哲学年報　1959年 ('60-9)

ルタアにおける抵抗権の問題
野田良之　法哲学年報　1959年 ('60-9)

憲　法　一　般

学界回顧　1960年——憲法
作間忠雄　法律時報　32-14 ('60-12)

学界回顧　1961年——憲法
小林孝輔　法律時報　33-13 ('61-12)

「学習憲法学」と「憲法基本問題の研究」【書評】
田畑　忍　同志社法学　12-1 ('60-4)

緊急権 ——立憲体制と危機政府の問題
小林直樹　宮沢俊義先生還暦記念論文集1 ('61-1)

憲法——法律学15年の回顧と展望【座談会】
宮沢俊義，小林直樹，池田政章　ジュリスト　217 ('61-1)

憲法（誌上読書指導）＜1，2完＞
池田政章　法学セミナー　51,52 ('60-6,7)

憲法（法律学をいかに学ぶか）
水木惣太郎　綜合法学　22 ('60-5)

憲法解釈における論理と現実 ——ソウワア教授の所説によせて＜上，下＞
和田英夫　法律のひろば　14-1,2 ('61-1,2)

憲法学における論理主義的法実証主義の現代的意義
小林孝輔　青山法学論集　3-2 ('61-12)

憲法学の方法について——伝統的憲法学への反省と一試論＜3，4完＞
黒田了一　法学雑誌　6-4,7-2 ('60-3,9)

憲法研究入門＜1，2＞
佐藤　功　法学セミナー　66,67 ('61-9,10)

憲法裁判に関する一考察
川北洋太郎　学習院大学政経学部研究年報　7 ('61-2)

憲法秩序の変遷
鵜飼信成　宮沢俊義先生還暦記念論文集　1 ('61-1)

憲法と政治（1960年の法および政治の分析）
田畑　忍，土井多賀子　綜合法学　29 ('60-12)

憲法について思うこと
佐藤　功　法学セミナー　58 ('61-1)

憲法の解釈
黒田了一　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

憲法の解釈についての省察
大里　垣　法政論叢　2-2 ('61-5)

憲法の精神について——日本国憲法に即して見た法の精神
恒藤　恭　法学雑誌　8-1 ('61-7)

憲法の知識と意識
井上　茂　法学セミナー　62 ('61-5)

憲法の変遷
清宮四郎　世界　186 ('61-6)

憲法の保障
佐藤　功　宮沢俊義先生還暦記念論文集　1 ('61-1)

憲法の法的特質
清宮四郎　宮沢俊義先生還暦記念論文集　1 ('61-1)

憲法の学び方
清宮四郎　法学セミナー　49 ('60-4)

「憲法変遷」にかんする清宮教授の見解について
田畑　忍　同志社法学　13-1 ('61-4)

「憲法理論の基本問題」——尾吹「批判」への反論
小林直樹　法律時報　33-8 ('61-8)

憲法理論の基本問題——小林教授の「反論」に答える
尾吹善人　東北法学会雑誌　11 ('61-12)

憲法理論の基本問題　小林直樹著「憲法の構成原理」を読んで
尾吹善人　法律時報　33-6 ('61-6)

コンラード・ヘッセ「憲法の規範力」【紹介】
小林直樹　国家学会雑誌　73-5 ('60-2)

根本規範論考——小林直樹「憲法の構成原理」の評価
菅野喜八郎　法経論集（新潟）　11-1 ('61-12)

佐々木惣一博士の憲法論
田畑　忍　同志社法学　12-5 ('61-2)

資本主義と社会主義の憲法
中谷敬寿　綜合法学　36 ('61-7)

世界人権規約と一事不再理の原則——国連第14回総会第3委員会に出席して

久米　愛　自由と正義　11-5 ('60-5)

天皇機関説について
今井直重　奈良学芸大学紀要　9-1 ('60-2)

パンジャマン・コンスタンの中立権の理論
深瀬忠一　法学会論集　10-1/4 ('60-3)

場序と支配の形成
藤田嗣雄　上智法学論集　4-1 ('60-5)

歴史の教訓
家永三郎　世界　188 ('61-8)

和田英夫著「憲法の現代的側面」【書評】
小林孝輔　法律時報　33-9 ('61-9)

C.シュミットの憲法改正限界論についての一考察
菅野喜八郎　法学　24-2 ('60-6)

H.ネフの憲法改正限界論
菅野喜八郎　法経論集（新潟）　9-3/4 ('60-3)

日　本　国　憲　法

日本国憲法一般

アメリカにおいて展開された日本憲法論について
大宮武郎　紀要（愛知県立女子大）　11 ('61-1)

安保斗争と憲法の諸問題
長谷川正安　法律時報　32-11 ('60-9)

議会政治と大衆行動民主主義・法の支配と暴力【対談】
渡辺洋三，吉谷　泉，佐々木守雄　労働法律旬報　385 ('60-7)

議会主義を守るために（民主政治を守る講演会）
宮沢俊義　世界　176 ('60-8)

基本的人権，財政，地方自治 ——「憲法運用の実際」解説
佐藤　功　法律時報　33-14 ('61-12)

権力分立
大西芳雄　法学セミナー　55 ('60-10)

憲法意識の一般構造——日本人の憲法意識
小林直樹　思想　434 ('60-8)

「憲法意識」の分析
小林直樹，中村隆英　社会科学紀要（東大）　9 ('60-3)

憲法運用の実際 ——三つの委員会の報告書全文
法律時報　33-14 ('61-12)

憲法を守ることの意味
宮崎竜介　法学セミナー　62 ('61-5)

憲法をめぐる矛盾と相剋
恒藤　恭　法律時報　33-11 ('61-10)

憲法改正論における佐々木説と美濃部説
田畑　忍　同志社法学　12-6 ('61-3)

憲法学覚書
盛　秀雄　経済研究（大阪府大）　10 ('59-3)

憲法制定経過あちこち＜上，下＞
高柳賢三　時の法令　404,405 ('61-11)

憲法制定権力
芦部信喜　宮沢俊義先生還暦記念論文集　1 ('61-1)

憲法尊重の義務
宮沢俊義　法学セミナー　48 ('60-3)

憲法体制の曲り角
星野安三郎　法学セミナー　68 ('61-11)

憲法断片
今井直重　法政論叢　8 ('58-6)

憲法的自由の問題状況
小林直樹　ジュリスト　216 ('60-12)

憲法調査会の窓から見た日本国憲法の成立過程
大石義雄　法学論叢　67-2 ('60-5)

憲法と安保体制 ——1961年の立法動向とその背景
渡辺洋三，兼子　仁，吉川経夫，中山和久，星野安三郎　法学セミナー　69 ('61-12)

憲法と教育の政治的中立
田辺勝二　法政論叢　2-1 ('60-11)

憲法と国民教育——憲法からみた日本の政治と教育
小林直樹　思想　442 ('61-4)

憲法の理念と現実
佐藤　功　法学セミナー　64 ('61-7)

憲法保障制度——憲法の実効性を保障するしくみについて
黒田了一　綜合法学　18 ('60-1)

憲法論争の15年
星野安三郎　法律時報　33-11 ('61-10)

降伏終戦の時の御前会議 ——憲法雑記帳から
吉田一枝　法政論叢　9 ('58-11)

国会と内閣——「憲法運用の実際」解説
黒田　覚　法律時報　33-14 ('61-12)

近衛案の発見——日本憲法史の一挿話
佐藤達夫　時の法令　404 ('61-11)

三権分立
一円一億　綜合法学　37 ('61-8)

自然法と日本国憲法の再建
藤田嗣雄　上智法学論集　5-2 ('61-11)

司法 ——「憲法運用の実際」解説
田中和夫　法律時報　33-14 ('61-12)

司法上の人権 ——「憲法運用の実際」解説
植松　正　法律時報　33-14 ('61-12)

世界的に見た日本国憲法の性格
高柳賢三　自由　3 ('60-2)

1960年における憲法の将来と課題
小林直樹　ジュリスト　193 ('60-1)

尊法と抵抗
末川　博　思想　433 ('60-7)

多数決原理の法的政治的基礎理論
太田益男　法政論叢　2-2 ('61-5)

天皇・戦争放棄・最高法規 ——「憲法運用の実際」解説
佐藤　功　法律時報　33-14 ('61-12)

特別権力関係の理論と日本国憲法
磯崎辰五郎　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

日本国憲法——逐条資料
法律時報　33-11 ('61-10)

日本国憲法の成立に関する法理的考察
小森義峰　法政論叢　9 ('58-11)

日本国憲法の平和的性格＜2完＞
中山健男　名城法学　10-1 ('60-6)

日本国憲法の法的地位

三瀦信吾　高崎経済大学論集　2 ('60-1)

日本国憲法の理想と現実
小林直樹　中央公論　75-6 ('60-6)

平和憲法と幣原首相
平野三郎　世界　186 ('61-6)

宮沢俊義著「憲法Ⅰ」【書評】
清宮四郎　法律時報　32-5 ('60-4)

宮沢俊義「憲法Ⅱ」【書評】
小林直樹　国家学会雑誌　73-9/10 ('60-7)

私たちの憲法感覚（民主政治を守る講演会）
竹内　好　世界　176 ('60-8)

第一章　天皇

皇位の継承
清宮四郎　法学教室　2 ('61-11)

象徴天皇制の法意識 ——日本人の憲法意識
小林直樹　思想　436 ('60-10)

天皇
一円一億　法学セミナー　50 ('60-5)

天皇制
高柳賢三　時の法令　345 ('60-3)

天皇制について——憲法問題研究会で報告
谷川徹三　世界　181 ('61-1)

天皇に関する憲法主要条項の解釈
盛　秀雄　経済研究（大阪府大）　20 ('61-9)

天皇の憲法上の地位 ——英仏の元首との比較
木村常信　比較法研究　21 ('60-10)

天皇の地方巡幸をめぐる諸問題 ——象徴規定解釈の一試論
藤田和海　法政論叢　8 ('58-6)

第二章　戦争の放棄

軍事基地の違憲性
堀　堅士　法学論集　9-3/4 ('60-3)

警察予備隊違憲訴訟（判例百選）
池田政章　ジュリスト　200 ('60-4)

憲法第9条ができるまで
中野好夫　世界　188 ('61-8)

憲法9条2項の成立過程とその憲法規範的価値に関する考察
清水虎雄　東洋法学　4-1 ('60-6)

さまよえる憲法第9条
荒瀬　豊　婦人公論　46-6 ('60-6)

自衛権概念の魔術
田畑茂二郎　中央公論　75-1 ('60-1)

戦争の放棄
橋本公亘　法学セミナー　51 ('60-6)

日本国憲法と第9条と海外派兵
小森義峰　京都学芸大学学報人文　A17 ('61-1)

日本国憲法と中立主義
前芝確三　世界　175 ('60-7)

日本の永世中立について ——日本国憲法第9条と永世中立主義
田畑　忍　同志社法学　13-2 ('61-10)

百里原「自衛隊違憲訴訟」について ——不動産所有権確認等訴訟に関連して
渡辺良夫　人権のために　4 ('60-1)

第三章　国民の権利義務

違法な犯罪捜査に対する保護についての若干の考察 <1～4完>
安倍治夫　警察研究　31-6～9 ('60-6～9)

科刑行為の憲法的構成<1，2>
篠岡　博　法学論叢　69-1,5 ('61-4,8)

基本権の位置
井上　茂　法学教室　1 ('61-7)

基本権の保障
田上穣治　一橋論叢　45-3 ('61-3)

基本的人権
俵　静夫　法学セミナー　52 ('60-7)

基本的人権と国家及宗教との関係について
三瀦信吾　神道宗教　23 ('61-3)

基本的人権の限界——自然法上の権利たる人権の保障と制限の内容
土屋正三　日本及日本人　11-4 ('60-5)

基本的人権の公共利用責任と道徳教育<1，2>
和田鶴蔵　研究集録（神戸）　23 ('60-3),25 ('61-3)

勤労の権利
追矢正己　社会福祉評論　19 ('60-7)

義務教育の無償——憲法の理想と現実
川添利幸　時の法令　391 ('61-6)

行政上の取締と不利益供述強要の禁止——特に道交法違反を中心として<1，2>
高田卓爾　法学雑誌　6-3,4 ('60-1,3)

刑事訴訟と人権
平野竜一　国家学会雑誌　73-5 ('60-2)

刑法と憲法 ——基本的人権の立場からみた改正刑法準備草案
橋本公亘　法律時報　32-8 ('60-6)

刑法と人権 ——国連アジア地域人権セミナーに出席して
森川金寿　法律時報　32-9 ('60-7)

憲法が保障する「信教の自由」の無条件的性格とその実態
高坂直之　北海道学芸大学紀要　10-1 ('59-7)

憲法第21条第1項の限界の基準をめぐる論争
芳野　勝　社会科学論集（高知）　10 ('60-　)

憲法21条とホームズ原則
大谷正義　明治大学短期大学紀要　6 ('61-12)

憲法第26条第2項後段の解釈について——高知の教科書不買運動に関連して
教育委員会月報　13-3 ('61-6)

憲法第28条に関する最高裁判所判例の研究<1，2完>
横川　博　甲南論集　7-5,6 ('60-2,6)

憲法31条とdue process of law
下山瑛二　法律時報　33-4 ('61-4)

憲法と労働基本権
菊池勇夫　世界　192 ('61-12)

憲法と労働権の保障
近藤常夫　大阪府立大学紀要人文・社会科学 9 ('61-3)

憲法における基本権の保障と「私的権力」による侵害
柏木　駿　九大法学　7 ('60)

憲法25条の法意（判例百選）

小島和司　ジュリスト　200 ('60-4)

現代における自由の問題
佐藤　功　政治経済論叢　10-4 ('61-3)

言論を護るもの侵すもの
日高六郎　世界　184 ('61-4)

言論自由の思想的根拠
矢内原忠雄　世界　184 ('61-4)

言論の自由と営利目的
尾吹善人　法律時報　33-5 ('61-5)

皇居外苑使用不許可処分取消請求事件（判例百選）
南　博方　ジュリスト　200 ('60-4)

公共の福祉
有倉遼吉　法学セミナー　53 ('60-8)

公共の福祉と公共の秩序——福祉国家と警察国家<2>
堀　堅士　法学論集　9-2 ('60-1)

公共の福祉に関する憲法調査会の論議
田上穣治　法曹時報　13-12 ('61-12)

公共の福祉の概念内容の転換——若干の法思想的考察
落合　勇　法政論叢　9 ('58-11)

公職選挙法252条と憲法14条（判例百選）
林田和博　ジュリスト　臨時増刊　('60-10)

公務員と憲法28条（判例百選）
杉村敏正　ジュリスト　200 ('60-4)

「国際連合アジア地域人権セミナール」について
津田　実　法曹時報　12-10 ('60-10)

国税犯則取締法3条1項と憲法35条（判例百選）
小島和司　ジュリスト　臨時増刊　('60-10)

国連人権セミナールに対する報告書
大塚喜一郎　自由と正義　11-5 ('60-5)

国連の人権セミナールについて
平野竜一　自由と正義　11-5 ('60-5)

子どもたちの人権
市川秀雄　時の法令　387 ('61-5)

裁判を受ける権利
田中和夫　時の法令　364 ('60-9)

裁判所において裁判を受ける権利
千種達夫　判例時報　233 ('60-9)

裁判批判と言論の自由
伊藤正己　新聞研究　100 ('59-11)

死刑と憲法第31条
伊藤栄樹　警察研究　32-9 ('61-9)

思想表現の自由と法的規制
鈴木房太郎　宮城学院女子大学研究論文集 19 ('61-　)

私人間における基本権の保証
豊田悦夫　人文（京大）　6 ('59-11)

自由な言論と苦情処理
山田年栄　法律時報　33-6 ('61-6)

自由な言論の責任
伊藤正己　世界　184 ('61-4)

出入国管理令第25条の合憲性
太田益男　公法研究　22 ('60-8)

集団行進・集団示威運動をめぐる憲法上の論点
高田　章　明治学院論叢　60-2 ('61-2)

譲渡担保権者に物的納税責任を認めた新国税徴収法と憲法違反の問題
井上勝馬　バンキング　145 ('60-4)

人権概念の憲法学的考察
太田益雄　新潟大学教育学部紀要　2-2 ('60-12)

人権の見地からみた憲法
森川金寿　法律時報　33-11 ('61-10)

人権の条件
鵜飼信成　社会改良　4-3 ('59-2)

人権の保護における刑事実体法の役割並びに刑事制裁の諸目的及びその適正な限界
小野清一郎　自由と正義　11-5 ('60-5)

人権の保障
田中精一　綜合法学　41 ('61-12)

人権擁護の立場からみた名誉並びにプライバシーの侵害について
鈴木才蔵　法律時報資料版　7 ('61-5)

政治活動をしないことを条件とする雇傭契約と基本的人権（判例百選）
久保田きぬ子　ジュリスト　200 ('60-4)

政治と宗教——信教自由の一考察<2，3>
相沢　久　上智法学論集　3-2 ('59-10),4-1 ('60-5)

税関検閲と憲法21条——関税定率法21条の改正
伊藤正己　ジュリスト　223 ('61-4)

税関検閲の違憲性
奥平康弘　ジュリスト　240 ('61-12)

税関検閲の合憲性
山内一夫　ジュリスト　232 ('61-8)

生存権の憲法的保障
小林孝輔　経済学季報　9-1/2 ('59-11)

世界人権規約と一事不再理の原則
久米　愛　明治大学短期大学紀要　4 ('60-3)

正当な補償の意義（判例百選）
山田幸男　ジュリスト　200 ('60-4)

「正当な補償」の対象の範囲を中心とする日本国憲法第29条第3項に関する試論——特に土地収用法との関係<1，2完>
高村　晋　松山商大論集　11-4 ('61-1),12-1 ('61-4)

「正当な補償」の量的範囲を中心とする日本国憲法第29条第3項に関する試論——土地収用法上の問題点に及ぶ
高村　晋　松山商大論集　12-2 ('61-7)

大衆の集団行動と憲法28条（判例百選）
佐藤　功　ジュリスト　臨時増刊　('60-10)

団体規制の憲法的意味——政治的暴力行為防止法案に関して
有倉遼吉　法律時報　33-8 ('61-8)

斗争の権利について
沼田稲次郎　恒藤先生古稀祝賀記念論文集 ('60-5)

統制価格と正当な補償——農地買収対価の合憲性に関する判例を契機として
今村成和　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　('60-3)

道路交通取締法の事故内容の報告義務と憲法第38条の黙秘権——道路交通取締法違反に関する東京高裁判決に関連して
沢井　勉　法律のひろば　13-4 ('60-4)

日本国憲法における人権
鈴木才蔵　人権擁護局報　35 ('61-8)

日本国憲法における人権
鈴木才蔵　自由と正義　12-6 ('61-6)

破防法と表現の自由
宮内裕　法律時報　32-1 ('60-1)

判例にあらわれた憲法第31条違反の問題点 ——とくに同条の「法律の定める手続」に関する最高裁判所刑事判例を対象として
土井多賀子　公法研究　22 ('60-8)

表現の自由と公共の福祉
伊藤正己　新聞研究　111 ('60-10)

表現の自由について
有倉遼吉，田中満洲男　綜合法学　40 ('61-11)

不敬罪と憲法第14条
時の法令　391 ('61-6)

プライバシーの権利
戒能通孝　世界　188 ('61-8)

プライバシーとその範囲
戒能通孝　法律時報　33-5 ('61-5)

プライヴァシーと報道の自由
小堀憲助　法学教室　2 ('61-11)

文芸作品とプライバシー侵害
四宮和夫　法律時報　33-5 ('61-5)

文芸作品の社会性【座談会】
植松　正，加藤一郎，阿部知二，奥野健男
法律時報　33-1 ('61-1)

平等の権利——日本国憲法第14条第1項の解釈を中心として
松本米治　京都短期大学論集　2 ('61-　)

補償の後払と憲法第29条第3項
時の法令　389 ('61-6)

法とプライヴァシーの諸問題
山田徹彦　山口大学教育学部研究論叢　9-1 ('59-12)

法の下の平等
長谷川正安　法学セミナー　54 ('60-9)

法の下の平等——日本国憲法第14条第1項の解釈
服部秀一　岐阜大学学芸学部研究報告人文科学 8-1 ('59-12)

法律上の利益を欠く訴訟と憲法32条
斉藤秀夫　判例評論　35 ('61-3)

報道機関等による人権侵犯事件について
法務省人権擁護局　法律時報資料版　7 ('61-5)

モデル小説とプライバシー問題
幾代　通　法律時報　33-5 ('61-5)

モデル小説とプライバシー【対談】
阿部知二，伊藤正己　朝日ジャーナル　3-14 ('61-4)

黙秘権の保障と行政手続
杉田憲治　海上保安大学校研究報告第1部 ('61)

臨検同意書と人権擁護局
我妻　栄　ジュリスト　196 ('60-3)

労働者の権利に関する判例の動向
横川　博　公法研究　22 ('60-8)

第四章　国会

解散権論議の回想
佐藤達夫　ジュリスト　217 ('61-1)

強行採決と憲法
伊藤正己　朝日ジャーナル　2-24 ('60-6)

議員特権，国会自律権および裁判権
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　32 ('60-10)

憲法第56条第2項議院の表決について
清水　睦　綜合法学　19 ('60-2)

国会と予算審議権
安沢喜一郎　綜合法学　39 ('61-10)

国会における予算の議決に関する一考察 ——予算の議決における問題点の比較制度的考察
大渕利男　日本法学　27-4 ('61-11)

国会の最高機関性
大石義雄　法学セミナー　56 ('60-11)

国会の条約修正権
田岡良一　ジュリスト　199 ('60-4)

国会の条約修正権について
田上穣治，中村　哲，蠟山政道　日本及日本人 11-3 ('60-4)

国会の条約修正権について
佐藤達夫　ジュリスト　199 ('60-4)

国会論議に失望する
中野好夫　世界　184 ('61-4)

国権の最高機関の意味
今井直重　法政論叢　9 ('58-11)

国政調査権の限界について
中条　博　東洋法学　4-1 ('60-6)

衆議院と参議院との関係
水木惣太郎　綜合法学　36 ('61-7)

署名のすんだ条約の批准は義務的か
経塚作太郎　ジュリスト　197 ('60-3)

条約修正権
我妻　栄　ジュリスト　198 ('60-3)

条約修正権問題の論点＜上，下＞
時の法令　347,348 ('60-4)

条約の批准
皆川　洸　法律時報　32-4 ('60-3)

続・国会と決算
林　道雄　法律時報　33-5 ('61-5)

多数決の白票
今村成和　法学会論集　10-1/4 ('60-3)

日本国憲法における解散——その法理と実際
大島三郎　新潟大学教育学部長岡分校研究紀要 6 ('59-12)

批准国会と国民——むしろ国民投票法の制定を
辻　清明　世界　172 ('60-4)

立法過程と国民の力
渡辺洋三　世界　173 ('60-5)

第五章　内閣

閣議決定の方法と効力
佐藤達夫　法学教室　1 ('61-7)

議院内閣制と内閣の責任
佐藤立夫　綜合法学　33 ('61-4)

行政権
田上穣治　法学セミナー　57 ('60-12)

憲法第66条第2項
宮田　豊　法学論叢　69-4 ('61-7)

首相国民投票制について
田畑　忍　同志社法学　13-3 ('61-11)

苫米地判決（判例百選）
清宮四郎　ジュリスト　臨時増刊　('61-10)

日本国憲法における総理大臣の地位
吉村　正　早稲田政治経済学雑誌　163 ('60-6)

認証官と認証式
時の法令　396 ('61-8)

第六章　司法

いわゆる統治行為と最高裁判所の最初の判例
森　順次　彦根論叢　70/72 ('60-10)

違憲審査制について
清水　望　早稲田政治経済学雑誌　162 ('60-4)

違憲判決の効力
橋本公亘　綜合法学　22 ('60-5)

会議の公開と裁判の公開
磯崎辰五郎　甲南法学　2-3 ('61-12)

憲法第82条小論
吉岡紹直　名古屋大学教養部紀要　4 ('60-3)

憲法判例の変更
伊藤正己　公法研究　22 ('60-8)

最高裁判所の違憲立法審査権
有倉遼吉　法学セミナー　46 ('60-1)

裁判権と国会の自律権
佐藤　功，兼子　一，斉藤秀夫，鈴木安蔵
ジュリスト　204 ('60-6)

司法権の限界
時岡　弘　拓殖大学論集　24 ('60-5)

司法権の優位
水木惣太郎　法学セミナー　58 ('61-1)

弾劾制度について
佐藤立夫　綜合法学　40 ('61-11)

日本国憲法第81条をめぐる一考察
森　省三　法学論集　11-1 ('61-10)

表現の自由の制約と違憲審査基準
杉田憲治　海上保安大学校研究報告第1部 34年('60-3)

令状裁判官と法令審査権
高田卓爾　ジュリスト　204 ('60-6)

第七章　財政

憲法第89条の公金支払の制限
安沢喜一郎　綜合法学　33 ('61-4)

憲法の財政条項について
杉村章三郎　自治研究　36-4 ('60-4)

私学に対する補助と憲法第89条
時の法令　376 ('61-1)

日本国憲法第89条の理念
新井隆一　税法学　120 ('60-12)

予算と国会——財政における国会中心主義
長谷川喜博　ジュリスト　221 ('61-3)

予算と法律
中谷敬寿　法学セミナー　59 ('61-2)

第八章　地方自治

区長公選をめぐる憲法問題
有倉遼吉　法律のひろば　14-11 ('61-11)

憲法第95条の特別法——「一つの地方公共団体のみに適用される特別法」についての考察
今井　実　時の法令　338 ('60-1)

憲法調査会における地方自治関係の論点について
志村静男　地方自治　147 ('60-3)

地方自治法から見た日本国憲法
伊藤　満　政経論叢（広島）　10-4 ('61-4)

地方自治の本旨
和田英夫　法学セミナー　60 ('61-3)

第九章　改正

改憲問題と民衆の憲法意識
小林直樹　朝日ジャーナル　3-45 ('61-11)

憲法改正の限界に関する私見
中山健男　名城法学　11-2/3 ('61-12)

憲法改正の限界性
黒田　覚　法学セミナー　62 ('61-5)

憲法改正問題の現段階
佐藤　功　法律時報　33-11 ('61-10)

憲法研究会の憲法草案起草および憲法制定会議＜2完＞
鈴木安蔵　法経論集（愛知）　31 ('60-6)

憲法調査会のあゆみ
武岡憲一　自治時報　14-9 ('61-9)

憲法調査会の任務——「憲法運用の実際」解説
高柳賢三　法律時報　33-14 ('61-12)

憲法調査会の報告書——概要と問題点＜1～12＞
佐藤　功　ジュリスト　227~238 ('61-6~11)

憲法調査会への批判と課題——改憲機関か調査機関かをめぐる対立と熱の冷めた政府与党
諏訪正人　日本及日本人　11-2 ('60-3)

公聴会における公述内容の分析の概要
憲法調査会　法律時報資料版　13 ('61-10)

農民と憲法問題——憲法改正論議に関連して
諸橋　襄　農村研究　11 ('59-11)

第十章　最高法規

違憲条約の効力——条約締結手続の法理から
杉江栄一　同志社法学　12-1 ('60-4)

違憲条約の効力にかんする覚書
杉江栄一　三重法経　9 ('59-10)

憲法第98条第2項についての一考察——疑問と臆測
吉岡紹直　法政論叢　8 ('58-6)

憲法と条約
林田和博　法学セミナー　63 ('61-6)

憲法と条約の関係について——日本国憲法第98条，とくに其の第2項の解釈を中心としての試論
田畑　忍　同志社法学　12-3 ('60-8)

憲法と条約の効力関係
森　省三　法政論叢　12 ('60-7)

条約と憲法の衝突
杉江栄一　三重法経　11 ('60-10)

新安保条約強行と主権者
和田英夫　法律時報　32-9 ('60-7)

日本国憲法98条2項
今井　威　法政論叢　12 ('60-7)

憲法裁判

（砂川判決）

憲法9条解釈の論点と最高裁——平和理想と現実の矛盾解決の能力を欠く憲法の番人

木村哲也　日本及日本人　11-2 ('60-3)

憲法の戦争放棄の限界 —— 砂川判決に照して
横田喜三郎　国際法外交雑誌　59-1/2 ('60-7)

憲法の番人のあり方
斉藤秀夫　ジュリスト　臨時増刊　('60-1)

最高裁判所の砂川判決について —— 安保条約第3条に基く行政協定に伴う刑事特別法違反事件に於ける最高裁判所決定の違憲性について
田畑　忍　同志社法学　11-5 ('60-2)

15対0への疑問 —— 砂川事件最高裁判決をめぐつて
【討議】
鵜飼信成，橋本公亘，渡辺洋三，大野正男
中央公論　75-2 ('60-2)

条約の違憲審査権 —— 砂川判決を中心として
<1，2>
横田喜三郎　国家学会雑誌　73-7,8 ('60-5,8)

条約の違憲審査権の限界
黒田　覚　ジュリスト　臨時増刊　('60-1)

条約の違憲審査と違憲とされた条約の効力
河原畯一郎　ジュリスト　臨時増刊　('60-1)

条約の合憲性 —— 砂川判決と関連して
藤田嗣雄　上智法学論集　4-2 ('61-11)

新日米安保条約と憲法の一断面
堀　堅士　ジュリスト　臨時増刊　('60-1)

砂川事件（判例百選）
黒田　覚　ジュリスト　臨時増刊　('60-1)

砂川判決と憲法第9条
黒田了一　綜合法学　19 ('60-2)

砂川判決と憲法第9条の法理
大石義雄　綜合法学　19 ('60-2)

砂川判決と憲法の解釈
橋本公亘　思想　428 ('60-2)

砂川判決における「戦力」論
小林孝輔　綜合法学　19 ('60-2)

戦争放棄の限界 —— 砂川判決を中心として
横田喜三郎　外交時報　20 ('60-3)

なぜ9条2項の解釈を避けたか
海野普吉　世界　170 ('60-2)

平和憲法と最高裁の使命
恒藤　恭　世界　170 ('60-2)

（朝日行政訴訟）

朝日行政訴訟について
新井　章　法律時報資料版　15 ('61-12)

憲法第25条に規定された生活権の性質について
茂手木茂夫　山梨大学法経論文集　8 ('60-12)

憲法第25条は絵にかいた餅ではない —— 朝日行政事件判決とその意義
小川政亮　法律のひろば　13-12 ('60-12)

憲法第25条は装飾ではない —— 朝日行政訴訟第一審判決をめぐつて
千葉　稔　社会事業　43-12 ('60-12)

憲法25条の勝利 —— 生活保護法の最低基準額に対する不服申立
朝日　茂　中央公論　75-13 ('60-12)

生活保護基準をめぐる行政訴訟
菅原利男　公法研究　22 ('60-8)

生活保護法と憲法
菊池勇夫　判例評論　34 ('61-2)

（公安条例関係）

基本的人権に対する制約の限界と方法 —— 本年7月の公安条例に関する最高裁判決を読んでの感想
林　修三　自治研究　36-10 ('60-10)

基本的人権の擁護と公共の福祉 —— 言論・集会・集団行進・集団示威運動の制限の基準
芳野　勝　公法研究　22 ('60-8)

憲法を踏みにじる警察権
大野正男　世界　176 ('60-8)

警察の責任
宮沢俊義　世界　184 ('61-4)

現代型治安立法としての公安条例の違憲性 ——
大法廷判決によせて
兼子　仁　法律時報　32-11 ('60-9)

公安条例合憲の判決 —— 自由制限に行きすぎの心配も
朝日ジャーナル　2-31 ('60-7)

公安条例合憲判決と群衆心理の法則
吉川正次　法律のひろば　13-9 ('60-9)

公安条例合憲判決の批判
和田英夫　法律のひろば　13-9 ('60-9)

公安条例合憲判決に対する疑問
佐藤　功　判例時報　229 ('60-8)

公安条例合憲判決批判
伊藤正己　ジュリスト　208 ('60-8)

公安条例合憲判決批判 —— 新潟県条例合憲判決との比較
佐藤　功　ジュリスト　208 ('60-8)

公安条例最高裁判決について
吉川経夫　ジュリスト　208 ('60-8)

公共の福祉と比例原則
田上穣治　ジュリスト　208 ('60-8)

最高裁大法廷の三つの公安条例に関する判決について
吉川由己夫　法律のひろば　13-9 ('60-9)

最高裁の三つの公安条例判決【座談会】
我妻　栄，宮沢俊義，田中二郎，兼子　一，平野竜一　ジュリスト　208 ('60-8)

最高裁判決における理論と現実 —— 三つの公安条例判決をめぐつて
和田英夫　自治研究　36-8 ('60-8)

集団行進，集団示威運動の取締と憲法
杉村敏正　法律時報　32-1 ('60-1)

集団行動の自由の本質 —— 公安条例判決の意味するもの
伊藤正己　中央公論　75-10 ('60-9)

集団示威運動と公共の福祉 —— 東京都公安条例の違憲性
柳瀬良幹　ジュリスト　208 ('60-8)

治安立法説からみた公安条例合憲判決
兼子　仁　ジュリスト　208 ('60-8)

治安立法としての公安条例の違憲性
鈴木房太郎　宮城学院女子大学研究論文集 18 ('61-3)

東京都公安条例は憲法違反か
三井　脩　警察学論集　13-3 ('60-3)

新潟県公安条例事件（判例百選）
橋本公亘　ジュリスト　200 ('60-4)

犯罪の煽動と憲法21条（判例百選）
伊藤正己　ジュリスト　臨時増刊　('60-10)

表現の自由と公安条例の違憲性
横川　博　甲南法学　1-1 ('60-12)

無届集団示威運動処罰の違憲性
荘子邦雄　ジュリスト　208 ('60-8)

「明白にして現在の危険」原則の適用をめぐる問題 ——
破防法38 II 2事件の判例を中心にして
清水　睦　公法研究　22 ('60-8)

皇　室　法

皇室経済会議と皇室会議
時の法令　377 ('61-2)

日本国憲法の一環としての皇室経済法素描
高仲東麿　鹿児島経大論集　2-1 ('61-10)

外　国　憲　法

諸　国

海外人権紙めぐり<1～3>
ジュリスト　203~205 ('60-6,7)

現行世界各国憲法における主権の構造 —— 比較憲法学的考察
今井直重　奈良学芸大学紀要　10-1 ('61-3)

現代における世界各国の君主制度<4～8>
榎原　猛　法学（近大）　8-3/4,9-1,2,10-1,2 ('60-3,6,12,'61-5,11)

東南アジアの民主主義<1，2>
高柳賢三　時の法令　377,381 ('61-2,3)

アメリカ

アメリカ各州憲法の最高裁判所に関する規定
田中和夫　法曹時報　12-9 ('60-9)

アメリカ合衆国憲法修正12条と政党
斉藤　敏　日本大学創立70周年記念論文集 2 ('60-10)

アメリカ合衆国憲法の制定をめぐる二つの見解
三浦　進　文芸と思想　19 ('60-2)

アメリカ憲法制定会議
川西　誠　法学紀要　3 ('61-6)

アメリカ憲法における結社の自由 —— ロバート・ホーンの「集団と憲法」1956の研究<1>
酒井吉栄　国際問題研究所紀要　29 ('60-3)

アメリカ憲法史におけるシェイズの叛乱の研究
酒井吉栄　法経論集（愛知）　33 ('61-1)

アメリカ憲法史における連合規約期の社会的背景
酒井吉栄　法経論集（愛知）　30 ('60-3)

アメリカ初期におけるナショナリズム —— アメリカ憲法における統治原理としてのナショナリズム，ステイツ・ライトおよびフェデラリズム研究ノート<1>
酒井吉栄　法経論集（愛知）　35 ('61-5)

アメリカ人権宣言における自然法と実定法<1>
種谷春洋　法経学会雑誌　11-3 ('61-12)

アメリカ的司法部観の形成過程に関する一研究 —— 1846年のニューヨーク州憲法会議における司法部に関する論議
田中英夫　法学協会雑誌　78-4 ('61-10)

アメリカにおける直接立法の特質
岩崎保俊　九大法学　8 ('60)

アメリカにおける条約修正権の問題
佐藤立夫　ジュリスト　199 ('60-4)

アメリカの破防法と思想の自由 —— アメリカ最高裁判所の共産党および党員の取締に関する判決について
清水　誠　歴史評論　136 ('61-12)

アメリカ法におけるプライヴァシーの保護
小堀憲助　法律のひろば　14-5 ('61-5)

アメリカ連邦憲法の制定における妥協的性格と合意的性格
酒井吉栄　法経論集（愛知）　34 ('61-5)

違憲立法審査の限界
ジュリスト　234 ('61-9)

所謂Full faith and credit条項について
本浪章市　法学論集　9-3/4 ('60-3)

共産党違憲アメリカ最高裁決定要旨<1，2>
石川栄仁郎　法律時報資料版　13,14 ('61-10,11)

共産党取締立法に関する合衆国最高裁判所の最近の三つの判決
田中英夫　ジュリスト　232 ('61-8)

行政上の立入検査と捜査令状 —— フランク事件判決によせて
高柳信一　社会科学研究　11-4 ('60-2)

近代化されたアメリカ大統領
斉藤　敏　日本法学　26-6 ('61-2)

近代憲法における司法審査制の形式<2>
関　誠一　茨城大学文理学部紀要　10 ('59-12)

権利章典
Black,H.L.　法律時報　33-8 ('61-8)

思想・言論の自由 —— アメリカ憲法判例の研究<1，2完>
尾吹善人　法学　24-2,4 ('60-6,11)

司法に関するアメリカ各州憲法の規定
田中和夫　早稲田大学比較法研究所紀要　17 ('61-6)

電波メディアと表現の自由
内川芳美　法律時報　32-1 ('60-1)

ニュース源の秘密と法律
Siebert,F.S.　法律時報　32-1 ('60-1)

プライヴァシーの権利と出版の自由
ジュリスト　222 ('61-3)

プライヴァシーの保護 —— ニューヨーク州法を中心として
小堀憲助　時の法令　386 ('61-5)

プライバシー法理の発展 —— アメリカの場合を中心として
三和一博　東洋法学　5-1 ('61-10)

米国憲法第2条と大統領の緊急措置
畑　博行　政経論叢（広島）　10-4 ('61-4)

米国司法審査権発展史の一齣 —— とくにニュー・ディール期を中心としての覚書
和田英夫，田中館照橘　明治大学法制研究所紀要 3 ('60-6)

米国大統領選挙手続きの研究＜1～3完＞
鎌田与左衛門　外務省調査月報　1-1~3 ('60-4~6)

米国の人種問題——リトル・ロック事件
三輪公忠　ソフィア　7-1 ('58-4)

米国の立法手続＜1，2＞
鎌田与左衛門　外務省調査月報　2-1,3 ('61-1,3)

メンデルソン「憲法と合衆国最高裁判所」【紹介】
中川　剛　法学論叢　68-4 ('61-1)

立法権の制限と議員の組織——アメリカ州憲法ノート＜2＞
大谷正義　明治大学短期大学紀要　5 ('60-11)

立法部構成の問題点——アメリカ州憲法ノート＜1＞
大谷正義　明治大学短期大学紀要　3 ('59-2)

連合規約の法的特質と社会的機能——アメリカ連邦憲法成立史論
酒井吉栄　法経論集（愛知）　31 ('60-6)

ジェイムズ・マディスンの憲法思想——アメリカ連邦憲法の思想的支柱
酒井吉栄　比較法研究　21 ('60-10)

ポーウェル＝シューマン事件——そこには人権と報道の自由が賭けられている
岩崎　昶　法律時報　32-1 ('60-1)

Bernard Schwartz,The Supreme Court Constitutional revolution in retrospect, 1958【紹介】
斉藤文男　法学雑誌　6-3 ('60-1)

E.S.Corwin The "Higher Law" Background of American Constitutional Law
種谷春洋　法経学会雑誌　9-4 ('60-3)

イギリス

イギリス憲法原理研究序説＜2＞
高野真澄　六甲台論集　6-1 ('59-4)

イギリス憲法における議会解散制度＜1，2＞
筒井信定　経済理論　56,58 ('60-7,11)

イギリスのプライバシー権論議——上院通過の法案を中心に
伊藤正己　世界週報　42-15 ('61-4)

英国におけるAct of Stateについて——英国における国際法と国内法の効力関係に関する一問題点として
畝村　繁　甲南法学　1-1 ('60-12)

英国の国会主権について
今井直重　法政論叢　12 ('60-7)

英米法の行政行為司法審査における法律問題と事実問題＜1～3＞
山田準次郎　法律論叢　34-2,3,5 ('60-9,11 '61-1)

国家形態について
今井直重　法政論叢　10 ('59-6)

諸外国における国会と条約——英国における条約の締結と議会の権能
藤田晴子　レファレンス　10-6 ('60-6)

プライヴァシー権の素描
桜井節夫　英米法学　12 ('61-6)

イタリア

イタリア憲法の発展と特質＜1＞
伊藤昭一郎　法学志林　58-2 ('60-11)

現代民主主義の法的側面——イタリア共和国憲法の内容とその特質
堺　慎介　阪大法学　39 ('61-7)

ソビエト

ソ同盟最高会議
市川昌博　法政論叢　9 ('58-11)

ソ連憲法の最近の動向
稲子恒夫　比較法研究　21 ('60-10)

中　国

社会主義的憲法原理としての民主集中制＜1，2＞
浅井　敦　社会科学研究　12-6,13-1 ('61-3,10)

中華人民共和国の組織法——中華人民共和国憲法資料＜1＞
西岡久勲　法経論集（佐賀）　8-2 ('61-3)

中華民国憲法の欺瞞性について
高橋勇治　社会科学研究　12-3 ('61- 1)

ドイツ

基本法第21条と共産党の禁止——その裁判記録を中心に
小山博也　社会科学論集（埼大）　6 ('60-11)

国家緊急状態の憲法法規制に関するボン憲法改正案について
藤田嗣雄　レファレンス　10-10 ('60-10)

三月前期のバーデンの憲法生活における二元主義＜1～3完＞
栗城寿夫　法学雑誌　7-1~3 ('60-7,9,12)

社会的法治国家論序説＜1，2＞
影山日出弥　法経論集（愛知）　34,36 ('61-5,9)

初期自由主義と「身分制国家」——ヴェルテムベルグ憲法の成立をめぐって
成瀬　治　北海道大学文学部紀要　8 ('60-6)

西独における議員の免責特権及び不訴追特権
島川　豊　レファレンス　11-9 ('61-9)

西独における条約及び国際法の国法上の地位
島川　豊　レファレンス　10-4 ('60-4)

西独における政党の憲法上の地位
阿部照哉　法学論叢　68-4 ('61-1)

西独の基本法改正案
市原昌三郎　時の法令　366 ('60-10)

西独非常事態法案
レファレンス　10-4 ('60-4)

ドイツ型議院内閣制序説
林田和博　法政研究　27-2/4 ('61-3)

ドイツ型憲法裁判の系譜と特質＜1～3＞
池田政章　国家学会雑誌　73-6,8 74-1/2 ('60-3,6,11)

ドイツ憲法学の始期——ドイツ憲法思想史研究＜1＞
小林孝輔　青山法学論集　2-2 ('61-3)

ドイツ民主共和国憲法の本質
石川　浩　宮崎大学学芸学部紀要社会科学 8 ('60-2)

西ドイツ憲法裁判所の裁判について
田中精一　公法研究　22 ('60-8)

西ドイツにおける私生活の私法的保護——一般的人格権理論の発展＜1＞

五十嵐清，松田昌士　法学会論集　11-4 ('61-7)

西ドイツの非常事態法案
広瀬正和　世界週報　41-7 ('60-2)

西ドイツ連邦憲法裁判所
清水　望　早稲田政治経済学雑誌　168 ('61-4)

非常事態と緊急立法＜1，2＞
土屋正三　警察研究　32-2,3 ('61-2,3)

ボン基本法における人間の尊厳について
田口精一　法学研究　33-12 ('60-12)

ボン憲法と契約の自由
五十嵐清　法学会論集　10-1/4 ('60-3)

ボン基本法20条1項，28条1項における"Sozialer" Staate＜1＞
高田　敏　政経論叢（広島）　10-4 ('61-4)

ボン基本法の制定過程における占領軍政府の干渉について
小林昭三　早稲田政治経済学雑誌　165 ('60-10)

ボン基本法の制定経過に関する覚書
小林昭三　早稲田政治経済学雑誌　161 ('60-2)

ボン基本法のもとにおける違憲審査制について
清水　望　早稲田政治経済学雑誌　166 ('60-12)

ラウフケ，F．「契約自由と独逸連邦共和国憲法」【紹介】
石外克喜　経済理論　58 ('60-11)

ザールラント憲法概説
宮崎繁樹　法律論叢 34-6 ('61-3)

ティルマン著「政治ストと憲法」【書評】
喜多　実　一橋論叢　45-3 ('61-3)

ワルター・ハーメルの「社会的法治国家における基本権の意義」【紹介】
古林　稔　阪大法学　38 ('61-2)

ワイマール憲法における教育条項に関する一考察
清水俊彦　京都大学教育学部紀要　5 ('59-3)

ワイマール憲法の崩壊
大西芳雄　立命館大学人文科学研究所紀要 6 ('61-3)

ヨセフ・ヴィントリッヒ憲法裁判の任務，本質，限界（訳）
影山日出弥　法経論集（愛知）　30 ('60-3)

フランス

ジロンド憲法訳＜1～3完＞
山本浩三　同志社法学　12-1~3 ('60-4,6,8)

1791年の憲法訳＜1，2完＞
山本浩三　同志社法学　11-4,5 ('60-1,2)

1793年の憲法訳
山本浩三　同志社法学　11-6 ('60-3)

1795年の憲法訳＜1＞
山本桂一　同志社法学　12-6 ('61-3)

フランス司法権についての一試論
山下健次　立命館法学　32 ('60-3)

フランス第五共和制憲法の成立とその基本構造
深瀬忠一　ジュリスト　194 ('60-1)

フランスの議院と条約修正権
深瀬忠一　ジュリスト　199 ('60-4)

フランスの司法高等法院＜1～4完＞
山本桂一　国家学会雑誌　74-2/4~9/10 ('61-4,6,7)

フランスの1946年の憲法と1958年の憲法とにおける国際法に関する規定の比較
畝村　繁　甲南論集　7-3 ('59-9)

フランスの第五共和制憲法に関する研究資料
野田良之　国家学会雑誌　73-7 ('60-5)

モンゴル

モンゴル人民共和国の社会主義の新憲法
坂本是忠　東洋文化　31 ('61-6)

モンゴル人民共和国の新憲法
Tsedenbal,U　法律時報　33-6 ('61-6)

其の他

1831年2月7日のベルギー憲法訳
山本浩三　同志社法学　12-4 ('60-10)

スイス1848年憲法下における国家的緊急法制
小林昭三　早稲田政治経済学雑誌　169 ('61-6)

チェコ共和国の新憲法
浅井　敦　法律時報資料版　2 ('60-12)

南阿憲法と「留保条項」
大山正武　法学研究　33-11 ('60-11)

ベトナム民主共和国憲法について
坂本徳松　国際問題研究所紀要　31 ('61-7)

ポーランド人民共和国憲法
畑　博行　政経論叢　11-2 ('61-9)

国　会　法

いまこそ国会へ——請願のすすめ
清水幾太郎　世界　173 ('60-5)

お手盛り
林　修三　時の法令　378 ('61-2)

議院規則
水木惣太郎　綜合法学　28 ('60-11)

議会の会期
水木惣太郎　法学紀要　3 ('61-6)

議長警察権の本質
長谷川喜博　ジュリスト　210 ('60-9)

強行採決の問題点
鵜飼信成　思想　433 ('60-7)

決算の審査について——報告説と議案税
長谷川喜博　ジュリスト　226 ('61-5)

国会の特別委員会制度
荒井　勇　時の法令　402 ('61-10)

国会末期における国会議員の懲罰事犯の取扱い
時の法令　392 ('61-7)

国会法の制定過程と問題点
黒田　覚　東京都立大学創立10周年記念論文集法経篇　('60-3)

国会の秩序保持に関する法律案と憲法第95条
時の法令　340 ('60-1)

国政上の直接民主制度併用に関する考察——特に衆議院解散請求制について
清水虎雄　東洋法学　4-2 ('61-3)

公正な議事運営とは何か（民主政治を守る講演会）
鵜飼信成　世界　176 ('60-8)

裁判権・検察権と国会の自律権
有倉遼吉　時の法令　388（'61－5）

請願あれこれ
佐藤達夫　警察公論　15－7（'60－7）

請願権を行使せよ
橋本公亘　世界　173（'60－5）

請願権の現代的意義 —— これを補充的参政権として評価する試論
永井憲一　経済学季報　10－2（'60－9）

政治と国会法
田畑　忍，太田雅夫　綜合法学　38（'61－9）

二院制＜1，2＞
水木惣太郎　日本法学　27－3，4（'61－9，11）

法的にも無効である
橋本公亘　中央公論　75－7（'60－7）

選挙・政党法

ある団体の組織を利用した計画的買収事件
小林　朴　捜査研究　90（'59－5）

議席数の再配分をめぐる問題点 —— 選挙制度審議会の登場とその論点から
中村啓一　ジュリスト　238（'61－11）

高級公務員の立候補制限
浦山太郎　自治研究　36－7（'60－7）

公職選挙法改正の争点【座談会】
猪俣浩三，鍛冶良作，高橋英吉，海野普吉，大竹武七郎，水野東太郎，島田武夫，小野清一郎，松井康浩　自由と正義　12－2（'61－2）

公職選挙法等改正意見
選挙時報　9－6（'60－6）

公職選挙法252条と憲法14条（判例百選）
林田和博　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

公職選挙法の問題点
柚　正夫　自由と正義　12－2（'61－2）

公職選挙法罰則の概観
海沼立憲　捜査研究　105（'60－9）

公職選挙法別表の法的性格と問題点
柚　正夫　公法研究　23（'61－10）

戸別訪問
伊藤栄樹　捜査研究　105（'60－9）

最近の事例にみられる選挙執行上の問題点
佐藤順一　選挙　13－7（'60－7）

最近の事例にみられる選挙執行上の問題点
山田芳治　選挙　13－8（'60－8）

事前運動の制限に関する研究
山根　治　捜査研究　105（'60－9）

衆議院議員総選挙における後藤派をめぐる買収事犯の実態
飯野完利　捜査研究　105（'60－9）

主として公判立証の面からみた選挙事犯捜査上の問題点
臼井滋夫　捜査研究　90（'59－5）

自由防害罪の検討
田村秀策　捜査研究　105（'60－9）

諸外国における政治資金の規正の方法とわが国における今後の問題
小島　憲　選挙　13－5（'60－5）

政治献金と会社の目的の範囲
崎田直次　時の法令　388（'61－5）

選挙違反とその取締体制
新井　裕　捜査研究　105（'60－9）

選挙権と学生の住所（判例百選）
神谷　昭　ジュリスト　200（'60－4）

選挙制度改正の諸問題 —— 選挙制度審議会をめぐつて
中村啓一　自治時報　14－11（'61－11）

選挙と警察
新井　裕　警察研究　32－1（'61－1）

選挙犯罪の概況
宮地亨吉　捜査研究　105（'60－9）

選挙犯罪の捜査上の注意点
大石　宏　捜査研究　90（'59－5）

選挙犯罪の捜査上の留意点
小林　朴　捜査研究　105（'60－9）

選挙犯罪の捜査について＜1，2完＞
小林　朴　捜査研究　87，88（'59－2，3）

選挙無効と当選無効
鎌田久仁夫　選挙　13－12（'60－12）

選挙法をどう変えるか
柚　正夫　中央公論　76－1（'61－1）

選挙法改正案の経緯と問題点
皆川迪夫　選挙　13－7（'60－7）

選挙法改正について
唐島基智三　選挙　14－2（'61－2）

選挙法改正に望む
島上善五郎　選挙　14－2（'61－2）

選挙法改正に望む
門司　亮　選挙　14－2（'61－2）

選挙法改正の経緯
松村清之　自治研究　13－6（'60－6）

選挙法改正要綱案について
皆川迪夫　選挙時報　9－3（'60－3）

選挙法改正への指標
柚　正夫　朝日ジャーナル　3－6（'61－2）

選挙法考＜1＞
霜田美樹雄　名城法学　10－4（'61－3）

選挙法雑感
土屋正三　自治研究　37－1（'61－1）

選挙法の改正と選挙管理委員会の強化
松村清之　選挙時報　9－4（'60－4）

選挙法等の改正について
公明選挙連盟　選挙　14－2（'61－2）

選挙法の改正について望む
原　安三郎　選挙　14－2（'61－2）

選挙法の理想像
中村啓一　選挙時報　10－9（'61－9）

地方選挙における違反事件の取締の実際
武田俊春　捜査研究　90（'59－5）

土地改良区の総代の選挙権及び被選挙権について
野村綱明　選挙時報　9－1（'60－1）

買収事犯の捜査
滝川幹雄　捜査研究　105（'60－9）

文書図画の制限規定に関連する若干の問題
畑尻　保　捜査研究　105（'60－9）

法定犯における禁止の錯誤その他 —— 公職選挙法第146条の解釈を中心として
石橋　信　警察研究　32－4（'61－4）

報道の自由を悪用した選挙違反
長田春義　捜査研究　90（'59－5）

まず小選挙区制の採用から
高橋雄豺　自由と正義　12－2（'61－2）

労働組合の機関紙と表現の自由 —— とくに選挙の際における労組の機関紙活動の限界
海沼立憲　警察学論集　13－1（'60－1）

わが国における政治資金規正の沿革
桜沢東兵衛　選挙　13－5（'60－5）

外国国会・選挙法

諸　国

主要国の会期
下田久則，鈴木重武，藤田晴子　レファレンス　11－10（'61－10）

二院制の国の国名，公選非公選の別および両院間の権限の差異について
下田久則　レファレンス　11－5（'61－5）

アメリカ

アメリカにおける議会調査と適性手続原則の適用
ワトキンス対合衆国事件判決の意義
畑　博行　政経論叢（広島）　10－1（'60－4）

アメリカの議会制度＜2＞
水木惣太郎　日本法学　26－2（'60－6）

アメリカ連邦議会における法律制定過程訳
新田隆信　レファレンス　11－9（'61－9）

イギリス

エールの選挙制度＜1，2＞
土屋正三　自治研究　37－7，8（'61－7，8）

議会における質問権 —— イギリスを中心にして
前田英昭　レファレンス　11－7（'61－7）

17世紀イギリス議会法の基礎構造
清水　睦　法学新報　68－12（'61－12）

ドイツ

19世紀初期におけるプロイセン議会制構想＜1，2完＞
水崎節文　法政論集　15（'60－12），16（'61－3）

西独における政党の制度化
中山健男　名城法学　11－1（'61－6）

西独連邦議会における議員年金法案
土屋正三　レファレンス　10－4（'60－4）

西ドイツにおける選挙審査手続＜1＞
小林悦夫　選挙　14－6（'61－6）

西ドイツの政党に関する法制度＜1～4完＞
橋本佑三　選挙　13－6～9（'60－6～9）

西ドイツの政党法案＜1，2＞
土屋正三　自治研究　36－11，12（60－11，12）

其の他

イタリアの新選挙制度訳
柴田敏夫　レファレンス　11－9（'61－9）

スイスのランツゲマインデを見て＜上，中，下＞
村上　謙　時の法令　403～405（'61－10，11）

ソ連最高会議選挙法とその運営
外務省調査月報　1－6（'60－9）

デンマーク国会の新しい機能 —— ハルヴィツ教授との対談を中心に
西　迪雄　法律時報　32－13（'60－11）

行　政　法

行政法一般

鵜飼信成編「行政手続の研究」【書評】
岡部逸夫　法律時報　33－9（'61－9）

学界回顧　1960年 —— 行政法
山田幸男　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年 —— 行政法
綿貫芳源　法律時報　33－13（'61－12）

給付行政の展開と行政法の課題＜1，2＞
成田頼明　時の法令　378，379（'61－2）

行政学と行政法学
堀　堅士　法学論集　10－1（'60－6）

行政書士法の一部改正について
柳　庸夫　地方自治　150（'60－6）

行政上の法律関係と私法規定 —— 基本的な考え方とその実際の適用
成田頼明　法学教室　2（'61－11）

行政と行政法（1960年の法および政治の分析）
杉山逸男　綜合法学　29（'60－12）

行政法（法律学をいかに学ぶか）
和田英夫　綜合法学　22（'60－5）

行政法
金子　宏　法学セミナー　53（'60－8）

行政法 —— 法律学15年の回顧と展望
田中二郎　ジュリスト　217（'61－1）

行政法・あまのじやく
佐藤達夫　時の法令　374（'61－1）

行政法教室＜1～36完＞
和田英夫　時の法令　364～400（'60－9～'61－9）

行政法上の期間の計算方法
川西　誠　日本法学　26－1（'60－5）

行政法上のヒヤリング —— その類型＜1，2＞
大林正平　法経論集（愛知）　35，36（'61－5，9）

行政法と私法
田中二郎　法学セミナー　48（'60－3）

行政法における訓令の法的性格
永井憲一　経済学季報　11－1（'61－9）

行政法における「公法と私法」の問題をめぐる判例の推移
成田頼明　公法研究　22（'60－8）

行政法における信義誠実の原則—— 行政法の解釈の一問題
原竜之助　法学雑誌　6－3（'60－1）

近代行政法理論と美濃部達吉博士（近代法思想をめぐる人々）
川西　誠　綜合法学　28（'60－11）

グッドナウの行政理論
手島　孝　自治研究　37－5（'61－5）

権力分立理論と行政法
水飼幸之助　三重法経　8（'59－3）

公法上の権利と反射的効果—— Otto Bachof の研究を中心として
波多野弘　名城法学　11－1（'61－6）

公法の私法化について
遠藤　誠　判例タイムズ　11－5（'60－5）

公法と私法
柳瀬良幹　法学教室　2（'61－11）

自由裁量
金子芳雄　綜合法学　33（'61－4）

社会的法治国家の行政における計画（Plan）について
田口精一　法学研究　34－11（'61－11）

判例よりみた自由裁量の限界
金子芳雄　法学研究　33－12（'60－12）

法治行政の原則
西尾　昭　綜合法学　33（'61－4）

問題点はらむ委任立法＜1～5＞
成田頼明　時の法令　346～350（'60－3～5）

行　政　機　構

閣議の話
高辻正己　時の法令　376（'61－1）

行政委員会
高橋貞三　綜合法学　24（'60－7）

行政委員会＜1＞
成田頼明　時の法令　395（'61－8）

行政委員会制度とその展望
諸橋　襄　自治研究　36－5（'60－5）

行政委員会の意義と機能
川上勝己　法律時報　32－7（'60－6）

行政機構の改革
高辻正己　時の法令　399（'61－9）

行政調査会設置法の成立に当つて
佐藤喜一郎　経団連月報　9－12（'61－12）

国の行政機関
関　道雄　時の法令　387（'61－5）

合議機関通論＜上，下＞
山内一夫　ジュリスト　218，219（'61－1　2）

公社・公団・公庫・事業団
山内一夫　時の法令　369（'60－11）

公団の性格と機能
岡部史郎　レファレンス　11－1（'61－1）

国務大臣の定数の根拠規定
時の法令　349（'60－4）

指揮監督＜1～5＞
菊井康郎　時の法令　381～385（'61－3，4）

自治省の発足をめぐつて
小林与三次　自治研究　36－7（'60－7）

自治省の発足と課題——内務省解体経緯から自治省設置過程を中心に【座談会】
郡　裕一，林　敬三，荻田　保，鈴木俊一，小林与三次　自治研究　36－8（'60－8）

自治庁設置法の一部を改正する法律について
柴田　譲　自治時報　13－8（'60－8）

中立的行政機関と内閣の責任
林　修三　ジュリスト　216（'60－12）

特別権力関係理論の再検討＜1～3完＞
室井　力　法経学会雑誌　10－1，4　11—2（'60—6，'61－4，9）

附属機関について＜1，2＞
津軽芳三郎　自治研究　36－7，8（'60－7，8）

公　務　員　法

【公務員労働問題については「特殊労働法」をみよ。】

恩給法第9条にいわゆる職務犯・刑の執行猶予と恩給権の復活
青谷和夫　民商法雑誌　45－2（'61－11）

恩給法等の一部を改正する法律
横溝鏈吾　時の法令　395（'61－8）

行政研修の問題点—— 管理者研修について
佐久間彊　自治研究　36－2（'60－2）

公法上の特別権力関係について—— 教育公務員の懲戒に関する若干の考察
後藤米夫　東京学芸大学研究報告　11（'60－2）

公務員法と官僚制＜1，2完＞
永田一郎　法学志林　58－1，2（'60－5，11）

公務員と特別権力関係理論
室井　力　民商法雑誌　43－4（'61－1）

公務員の政治的制限に対する裁判所の解釈
時の法令　385（'61－4）

公務員の不利益処分
有倉遼吉　警察時報　16－11（'61－11）

公務員俸給請求権の時効
長谷川喜博　法律時報　33－4（'61－4）

国家公務員の定員規制について
岡部史郎　レファレンス　10－1（'60－1）

国家公務員共済組合法にいわゆる「損害賠償請求権の代位」について
青谷和夫　共済時報　7－8（'59－8）

国家公務員法第100条第1項にいう「秘密」の意義等について
木村喬行　警察学論集　13－8（'60－8）

国家公務員法102条の合憲性（判例百選）
和田英夫　ジュリスト　200（'60－4）

職の適格性と定員法
永田一郎　法学志林　59－1（'61－9）

人事院制度と公務員給与【座談会】
滝本忠男，今井一男，金子美雄，林田丁介，井上縫三郎　日本労働協会雑誌　32（'61－11）

ILO 87号条約と公務員法の関係
島四男雄　日労研資料　477（'60－6）

行　政　作　用　法

いわゆる開発会社等の法人について
立田清士　地方自治　160（'61－4）

違法判断の基準時（判例百選）
橋本公亘　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

運送順序について—— 鉄道営業法に関する一考察
山口真弘　運輸と経済　20－12（'60－12）

ガス報償契約の実態と理論—— 特殊契約の一研究
南　博方　法学雑誌　7－4（'61－3）

官庁事務の専決と代決
田沢文雄　明治大学法制研究所紀要　3（'60－6）

行政行為における羈束と裁量
金子芳雄　法学研究　33－8（'60－8）

行政行為の公定力
有倉遼吉　法学教室　1（'61－7）

行政行為の公定力の理論＜上，中，下＞
兼子　仁　国家学会雑誌　73－9/10，11/12　74－1/2（'60－7，9，11）

行政行為の執行力の諸問題
広岡　隆　法学論叢　67－3（'60－6）

行政行為の司法審査
山田準次郎　綜合法学　38（'61－9）

行政行為の特質—— 行政行為の法適合性を中心として＜2＞
桜田　誉　法学論集　9－3/4（'60－3）

行政行為の無効原因としての明白性の要件
神谷　昭　判例評論　39（'61－7）

行政行為の無効と取消
宮崎清文　警察公論　15－1（'60－1）

行政行為の無効と取消の区別の基準（判例百選）
山田幸男　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

行政財産の目的使用または利用について
田沢文雄　明治大学法制研究所紀要　4/5（'61－5）

行政作用と憲法的原理
町田　充　警察研究　32－8（'61－8）

行政処分の取消権の制限（判例百選）
杉村章三郎　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

行政代執行の研究＜1～3＞
広岡　隆　自治研究　36－8～10（'60－8～10）

行政庁の不作為の違法性と不当性
田中二郎　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

行政法規執行の保障
山本正太郎　綜合法学　28（'60－8）

国のなす競争入札と契約成立の時期
三渕乾太郎　法律のひろば　13－10（'60－10）

公営企業の拡充整備について
立田清士　自治研究　36－8（'60－8）

公益事業における契約強制
高田桂一　公益事業研究　11－1（'59－8）

公企業の特許
須貝脩一　法学論叢　66－6（'60－3）

公営住宅家賃の私法性＜1，2完＞
遠田新一　民商法雑誌　41－4，42－1（'60－1，4）

公物と時効取得（判例百選）
原竜之助　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

公法上の契約に関する基礎的考察
長尾久衛　名城法学　11－2/3（'61－12）

公法と私法—— 契約を中心にして＜14＞
渡辺洋三　民商法雑誌　41—6（'60—3）

国政調査権と行政作用
山内一夫　時の法令　343（'60－2）

試験答案採点の法理—— 行政法上の確認行為の研究
川西　誠　日本法学　27－1（'61－4）

私人の公法行為の観念と適用原理—— 判例の研究を中心として
南　博方　民商法雑誌　42－4（'60－7）

内部規律行為と行政行為—— 特別権力関係における行為に対する権利救済
小高　剛　立命館法学　33（'60－6）

不確定概念における裁量領域
田村悦一　立命館法学　38（'61－9）

放学処分と自由裁量権（判例百選）
兼子　仁　ジュリスト　200（'60－4）

行政訴訟・訴願法

改善要綱に対する疑問（訴願制度改善要綱批評）
高根義三郎　法律時報　33－3（'61－3）

機関訴訟（判例百選）
南　博方　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

行政救済と司法救済—— 訴願前置に関する問題点
兼子　一　法の支配　3（'60－7）

行政事件訴訟特例法改正案と訴願前置
宅間達彦　税法学　130（'61－10）

行政処分無効確認訴訟について＜1，2＞
白石健三　法曹時報　13－2，3（'61－2，3）

行政審判と法の支配
綿貫芳源　公法研究　23（'61－10）

行政審判の事実認定に対する司法審査＜1，2＞
綿貫芳源　警察研究　32－8，12（'61－8，12）

行政上の強制執行制度の諸類型
広岡　隆　大阪学芸大学紀要人文科学　8（'60－3）

行政上の争訟
宮崎清文　警察公論　15－12（'60－12）

行政訴訟における違法判断の基準時
森　順次　彦根論叢　65/67（'60－6）

行政訴訟の改革
大西芳雄　民商法雑誌　43－5（'61－2）

行政争訟制度改正の問題点
高木右門　自由と正義　12－5（'61－5）

行政争訟制度の改革をめぐる諸問題
田中二郎　国家学会雑誌　73－9/10（'60－7）

行政不服申立の長所と短所（訴願制度改善要綱批評）
杉村章三郎　法律時報　33－3（'61－3）

行政法における判例の意義
有倉遼吉　公法研究　22（'60－8）

教示制度の採用——調査会の存続期間を延長して審議
加藤泰守　時の法令　352（'60－5）

公法上の義務確認訴訟
村上義弘　経済研究（大阪府大）　7（'58－7）

抗告訴訟の訴訟要件について
宮田三郎　専修大学論集　25（'61－1）

国家賠償事件にあらわれた検察職員の違法行為
村重慶一　研修　156（'61－6）

実務家のみた訴願制度【座談会】
小川保男，中村弥三郎，小野清一郎，高木右門，松村光麿，岸永　博　自由と正義　12－5（'61－5）

重要点を見送る（訴願制度改善要綱批評）
柳瀬良幹　法律時報　33－3（'61－3）

職権的権威的色彩の払拭（訴願制度改善要綱批評）
室井　力　法律時報　33－3（'61－3）

砂川職務執行命令訴訟（判例百選）
園部逸夫　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

訴願制度改善案の理論的検討
兼子　仁　自治研究　37－2（'61－2）

訴願制度改善要綱および参考案
法律時報　33－2（'61－2）

訴願制度改善要綱・行政不服審査法要綱案
ジュリスト　221（'61－3）

訴願制度改善要綱及び行政不服審査法（仮称）要綱案
税法学　122（'61－2）

訴願制度改善要綱参考案批判
綿貫芳源　自治研究　37－2（'61－2）

訴願制度改善要綱について
加藤泰守　自治研究　37－2（'61－2）

訴願制度改善要綱について
雄川一郎　自治研究　37－2（'61－2）

訴願制度の改善と訴願前置主義
田中真次　判例評論　38（'61－6）

訴願制度改正について
加藤泰守　公法研究　23（'61－10）

訴願制度の改正をめぐる諸問題【座談会】
雄川一郎，加藤泰守，兼子　一，高辻正己，田中二郎，橋本公亘　ジュリスト　221（'61－3）

訴願制度の改正をめぐる諸問題＜1＞
田中二郎　ジュリスト　222（'61－3）

訴願制度の改正とその問題点
猪俣幸一　自由と正義　12－5（'61－5）

訴願制度の改正に関連して——訴願制度の改正は出入国管理法令にどんな影響を与えるか＜1，2＞
入国管理月報　15，16（'61－5，6）

訴願前置主義と訴訟手続
広瀬時映　税経通信　15－9（'60－9）

訴願前置と抗告訴訟（判例百選）
金子　宏　ジュリスト　200（'60－2）

訴願と訴訟
和田英夫　法学セミナー　47（'60－2）

正しい行政と権利救済＜上，下＞
加藤泰守　時の法令　338，339（'60－1）

聴聞制度の比較法学的考察
中村弥三次　公法研究　23（'61－10）

日本国憲法施行後における行政事件訴訟の概況
最高裁判所行政局　法曹時報　13－2（'61－2）

福祉国家主義と行政争訟制度
山本正太郎　法と政治　11－4（'60－12）

黙秘権の保障と行政手続
杉田憲治　海上保安大学校研究報告第1部（'61）

米内山事件（判例百選）
広岡　隆　ジュリスト　200（'60－4）

理想的な立法は次の段階に（訴願制度改善要綱批評）
園部逸夫　法律時報　33－3（'61－3）

国家賠償法

行政上の損害賠償
宮崎清文　警察公論　15－7（'60－7）

行政上の損害賠償と損失補償
杉山逸男　綜合法学　27（'60－10）

国の不法行為責任
松岡恒憲　北九州大学外国語学部紀要Ⅱ　6（'61－3）

警察活動と損害賠償責任
保良光彦　警察時報　16－9（'61－9）

国家の不法行為責任の本質
新井隆一　早稲田法学会誌　10（'60－7）

国家賠償事件にあらわれた検察職員の違法行為
村重慶一　研修　156（'61－6）

国家賠償法における「公務の執行につき」の意義（判例百選）
下山瑛二　ジュリスト　200（'60－4）

国家賠償の特質
川西　誠　綜合法学　33（'61－4）

国家賠償法第1条「公権の行使」——学説・判例を中心として
城内康光　警察時報　16－8（'61－8）

正当な補償の意味
今村成和　民商法雑誌　42－5（'60－8）

徳島小学校遊動円棒事件（判例百選）
杉村敏正　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

道路の管理の瑕疵による責任——仙台地裁の穴ぼこ判決について
加藤一郎　ジュリスト　214（'60－11）

判例からみた国家賠償法＜1～4＞
菊井康郎　時の法令　345～348（'60－3，4）

都市計画・土地収用関係法

各国における地域制の比較的考察とわが国地域制法上の諸問題
松原正晃　都市問題　51－2，4（'60－2，4）

仮換地の法律関係
亀川　清　法学論叢（福岡）　5－1（'60－4）

軍事基地と土地使用の法的実態
新井　章　法律時報　33－6（'61－6）

計画行政と公共の福祉
田上穣治　時の法令　373（'60－12）

戸籍法と土地区画整理法との関連についての考察
小栗忠七　都市問題　50－12（'59－12）

公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律
吉兼三郎　時の法令　389（'61－6）

公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律案提案理由説明
法律時報資料版　3（'61－1）

公共用地取得制度の改善に関する答申の経緯について
志村清一　行政と経営　3（'61－　）

公共用地取得制度について【座談会】
我妻　栄，田中二郎，雄川一郎，加藤一郎，渡辺洋三，志村清一，川島　博　ジュリスト　226（'61－5）

公共用地取得特別措置法
志村清一　法律時報　33－8（'61－8）

公共用地取得に関する特別措置法を中心として——特に緊急裁決と補償裁決の分離について
大阪谷公雄　都市問題研究　13－10（'61－10）

公共用地取得の円滑化に特別措置
丸山良仁　時の法令　391（'61－6）

公共用地特例法の政策的意義
青木　勇　法律時報　33－6（'61－6）

公共用地の取得に関する特別措置法
田上穣治　行政と経営　3（'61－　）

公共用地の取得に関する特別措置法をめぐつて
川島　博　自治研究　37－8（'61－8）

公共用地の取得に関する特別措置法解説
吉宗俊一　国土開発　10－8（'61－8）

公共用地の取得に関する特別措置法について
丸山良仁　地方自治　165（'61－9）

公共用地の取得に関する特別措置法の成立
川島　博　財政経済弘報　879（'61－6）

市街地改造法案
吉兼三郎　ジュリスト　226（'61－5）

市街地改造法案について
大河内正久　法律時報資料版　3（'61－1）

市街地改造法担保権——担保権者の権利はいかに守られているか
金融法務事情　280（'61－7）

市街地改造法について
広瀬　優　新都市　15－6（'61－6）

市街地改造法案における都市再開発の構想
吉兼三郎　都市問題　52－6（'61－6）

収用委員会運用の実態
志村清一　法律時報　32－7（'60－6）

収用目的・補償措置に具体性を（公共用地取得の特例法アンケート）
中尾英俊　法律時報　33－6（'61－6）

集団住宅をめぐる法律問題——関西を中心として
遠田新一　法律時報　32－13（'60－11）

住宅地区改良法
高橋弘篤　時の法令　351（'60－5）

住宅地区改良法について
高橋弘篤　新都市　14－6（'60－6）

昭和34年改正公営住宅法の問題点＜1～3＞
渡辺洋三　自治研究　37－10～12（'61－10～12）

新工場立地調査法について——工場設置の届出・勧告制度を中心として
三野正博　財経詳報　399（'61－9）

新市町村建設促進法の一部改正について
山本　明　地方自治　163（'61－7）

全国総合開発計画草案について
喜多村治雄　自治研究　37－9（'61－9）

総合開発における問題
佐藤　竺　自治研究　37－9（'61－9）

妥当な提案（公共用地の取得の特例法アンケート）
綿貫芳源　法律時報　33－6（'61－6）

宅地をめぐる立法政策上の課題
三津田松吉　ジュリスト　209（'60－9）

宅地開発関係法案要綱
日本社会党　法律時報資料版　3（'61－1）

宅地開発の法学的課題——契約法理の止揚
篠塚昭次　法律時報資料版　3（'61－1）

宅地造成規制法案をめぐる諸問題
山田幸男　ジュリスト　234（'61－9）

宅地造成等規制法案
福田喜次　都市問題　52－11（'61－11）

宅地造成等規制法について
宇野　均　ジュリスト　240（'61－12）

宅地造成と住宅政策【座談会】
有泉　亨，稗田　治，加藤一郎，山東良文，清水馨八郎　法律時報　32－13（'60－11）

地域開発の法律的課題
金沢良雄　自治研究　37－9（'61－9）

地域制法における従属的用途の理論とその実際上の諸問題＜1～3＞
松原正晃　新都市　14－8～10（'60－8～10）

地域制法における適用除外の法理と運用上の諸問題＜1，2完＞
松原　晃　法学新報　67－7，8（'60－7，8）

地域制法に関する我国の現状とその法律的考察
松原　晃　新都市　14－2（'60－2）

地域制法上の行政救済制度——建築審査会の機能
松原　晃　新都市　15－3（'61－3）

地域制法上の適用除外について＜上，下＞
松原　晃　都市問題　51－8，9（'60－8，9）

町境界変更に関する現行法上の一問題——土地区画整理法第103条第5項の研究
小栗忠七　都市問題　51-7('60-7)

丁目の研究
小栗忠七　都市問題　52－1（'61－1）

町名地番の整理を促進
大塚惟謙　時の法令　364（'60－9）

町名地番制度審議会の答申を繞つて

松方三郎　自治研究　37－12（'61－12）

町名番地の整理について
大塚惟謙　自治研究　36－1（'60－1）

土地区画整理に関する諸問題
亀川　清　法学論叢（福岡）　4－1（'60－1）

土地収用制度について
杉村敏正　法律時報　33－6（'61－6）

土地収用制度の問題点
川島　博　経団連月報　9－3（'61－3）

土地収用と所有権の保護
鈴木禄弥　法律時報　33－6（'61－6）

土地収用と公共の福祉
山本正太郎　法律時報　33－6（'61－6）

土地収用と補償
山本正太郎　ジュリスト　226（'61－5）

土地収用法における事業認定の公益裁量に関する一考察
竹内雄一郎　高崎経済大学論集　5（'61－12）

土地収用法の改悪（公共用地取得の特例法アンケート）
今村成和　法律時報　33－6（'61－6）

土地収用法の特例
田上穣治　綜合法学　30（'61－1）

土地の取得と補償の基準
山本正太郎　法と政治　11－3（'60－9）

都市計画関連諸法についての私見
丹下健三　都市問題　51－11（'60－11）

都市の大気汚染と煙害──福岡県公害防止条例の実態を中心として
石村善治　法律時報　32－3（'60－2）

被収用者保護の視角から（公共用地取得の特例法アンケート）
玉田弘毅　法律時報　33－6（'61－6）

補償の後払と憲法第29条第3項
時の法令　389（'61－6）

わが国の工業立地政策──関係法を中心とする展望
内山脩策　レファレンス　11－9（'61－9）

河川・水質保全・災害関係法

温泉利用の類型と温泉争議における諸問題＜1＞
和座一清　金沢法学　6－1（'60－6）

河川法制定とその社会経済的背景
武井　篤　水利科学　5－2（'61－6）

公共用水域の水質保全に関する法律
古沢長衛　水利科学　3－2（'59－2）

広域大災害と非常法制
田上穣治　時の法令　348（'60－4）

災害対策基本法と警察の任務，権限について
浅見勝也　警察研究　32－12（'61－12）

災害対策基本法について＜1＞
今井　実　自治研究　37－12（'61－12）

災害対策基本法案について
川合　武　地方自治　162（'61－6）

災害対策基本法案の要点
川合　武　自治時報　14－9（'61－9）

災害対策基本法の成立の意義
中原　幌　地方財務　91（'61－12）

水質保全と河川法について
森　文一　水利科学　3－2（'59－2）

水質保全法と下水道
岩井四郎　水利科学　3－2（'59－2）

水質保全法施行についての問題点
藤岡大信　水利科学　3－2（'59－2）

水質二法の制定をめぐつて
山中義一　水利科学　3－2（'59－2）

チリ地震津波災害立法特集
時の法令　358（'60－7）

地下利用の法律関係──特に地上権を中心として
山崎邦彦　エユノミア　18（'61－3）

治山治水対策に二つの立法
樑原利嗣　時の法令　349（'60－4）

防災基本法（仮称）について
井上義光　季刊防災　20（'61－4）

防災建築街区造成法案
高橋弘篤　ジュリスト　226（'61－5）

防災建築街区造成法案
高橋弘篤　時の法令　387（'61－5）

水質源開発二法について
八塚陽介　経団連月報　9－12（'61－12）

水資源の開発利用をどうするか──治水・利水の歴史とその問題点および対策について
井上義光　時の法令　371（'60－12）

原子力関係法

原子力災害補償【シンポジウム】
星野英一，竹内昭夫，他　私法　22（'60－10）

原子力災害補償
金沢　理　綜合法学　26（'60－9）

原子力災害補償をめぐつて【座談会】
我妻　栄，鈴木竹雄，加藤一郎，井上　亮，福田勝治，堀井清章，長崎正造，杉村敬一郎　ジュリスト　236（'61－10）

原子力災害補償問題について
下山俊次　都市問題　51－1（'60－1）

原子力船による原子力損害の賠償責任に関する条約の草案について
十代田勇平　海事研究　42（'60－7）

原子力損害に賠償制度──原子力事業の健全な発達へ
水野　勝　時の法令　357（'60－7）

原子力損害二法の概要
竹内昭夫　ジュリスト　236（'61－10）

原子力損害賠償責任保険の諸問題
吉田照雄　ジュリスト　236（'61－10）

原子力損害賠償に関する二つの条約案
星野英一　ジュリスト　236（'61－10）

原子力損害賠償保障法案要綱と企業責任保険
浦田一晴　ジュリスト　198（'60－3）

原子力都市計画法の構想
中曽根康弘　都市問題　51－1（'60－1）

原子力二法の構想と問題点
我妻　栄　ジュリスト　236（'61－10）

原子力法と経済法
菊池勇夫　経済法　4（'61－10）

原子力保険の概要
山本伊佐久　財経詳報　298（'60－3）

残された諸問題──原子力産業労働者の放射線障害について
一柳勝晤　ジュリスト　236（'61－10）

警　察　行　政

警察法一般

外勤警察の合理化について
田中健一　警察研究　31－9（'60－9）

警察官職務執行法＜1～3＞
宍戸基男　警察公論　16－11～13（'61－10～12）

警察官の武器としての催涙ガスの使用に関する若干の問題
北野筍一郎　警察学論集　13－4（'60－4）

警察機能の法理と実態
和田英夫　都市問題　50－12（'59－12）

警察基本法制定の提唱
土屋正三　警察研究　32－1（'61－1）

警察，公衆及び新聞
土屋正三　警察研究　31－12（'60－12）

警察事務の合理化について
加山文男　警察学論集　13－8（'60－8）

警察の逮捕特権及び留置に関する法制
土屋正三　警察研究　32－6（'61－6）

警察のP.R.
土屋正三　警察研究　31－1（'60－1）

警察法における因果関係論（条件説）
土屋正三　警察研究　31－7（'60－7）

警察力の整備の方法に関する一私案＜1，2＞
武藤　昭　警察研究　32－9，10（'61－9，10）

交通警察の後進性
岩田荘治　捜査研究　96（'59－11）

災害対策基本法と警察の任務，権限について
浅見勝也　警察研究　32－12（'61－12）

最近の主な警備事案とその特徴
降矢時雄　警察研究　31－12（'60－12）

少年保護法制における少年警察の地位
綱井輝夫　警察学論集　14－3（'61－3）

消防法の一部を改正する法律
宮崎清文　時の法令　366（'60－10）

職務質問
小堀　旭　警察学論集　13－4（'60－4）

職務質問の合法性（判例百選）
西原春夫　ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）

職務質問の適法性の限界
山田英雄　警察公論　16－2（'61－2）

人命救助に際しての災害給付
宍戸基男　警察研究　32－5（'61－5）

捜査力の充実について＜1，2＞
村上　健　警察研究　31－7，8（'60－7，8）

文書事務の合理化について
田渕克己　警察研究　31－8（'60－8）

法令上の警察官の権限関係事項
警察学論集　13－4（'60－4）

守られない法律
町田　充　警察時報　16－4（'61－4）

警察的取締（酔っぱらい，火薬類，麻薬，風俗営業等）

いわゆる「酔つぱらい規制法」についての法律上の問題点＜上，下＞
宍戸基男　警察学論集　14－8，9（'61－8，9）

いわゆる酔つぱらい取締法について
長谷川喜博　法律のひろば　14－7（'61－7）

火薬類取締法＜4～7完＞
木宮高彦　研修　139～142（'60－1～4）

火薬類取締法の一部を改正する法律案
河村捷郎　時の法令　355（'60－6）

火薬類取締法の一部を改正する法律と警察の立場
寺尾　繁　警察公論　15－11（'60－11）

火薬類取締法の改正
寺尾　繁　警察時報　16－1（'61－1）

火薬類取締法の改正について
寺尾　繁　警察研究　32－1（'61－1）

火薬類取締法の改正について
寺尾　繁　捜査研究　110（'61－2）

火薬類取締法の主要問題
木宮高彦　ジュリスト　201（'60－5）

軽犯罪の科刑手続に関する問題の提起
町田　充　警察学論集　14－10（'61－10）

交通事犯の捜査にも重点を
片岡清一　捜査研究　118（'61－11）

国際刑事警察機構第28回臨時総会及び麻薬密貿に関する東南アジア地域会議について＜上，下＞
宍戸基男　警察学論集　13－5，6（'60－5，6）

国際犯罪としての麻薬事犯
中島治康　警察学論集　14－1（'61－1）

酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為防止法
西原春夫　ジュリスト　231（'61－8）

酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律の概要
小堀　旭　警察研究　32－7（'61－7）

酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律
長谷川喜博　時の法令　393（'61－7）

酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律
長谷川喜博　法律時報　33－7（'61－7）

酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律について
検察月報　145（'61－6）

酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律について
海治立憲　研修　157（'61－7）

酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律の概要
小堀　旭　捜査研究　115（'61－8）

酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律の概要
小堀　旭　警察時報　16－8（'61－8）

指紋不押なつ罪の成否
前田　宏　警察公論　16－2（'61－2）

質札に関する問題点
寺尾　繁　警察時報　16－5（'61－5）

質屋の質物処分権
西川清次　警察公論　15－5（'60－5）

銃砲刀剣類等所持取締法における「所持の概念」
木宮高彦　警察研究　31－3（'60－3）

少年警察活動要綱の制定について
乗本正名　警察公論　15－5（'60－5）

少年警察の概念
三上顕一郎　警察時報　16－5（'61－5）

少年補導の重点
乗本正名　警察公論　15－6（'60－6）

選挙と警察
新井　裕　警察研究　32－1（'61－1）

戦前におけるわが国の海上保安制度
飯田忠雄　海上保安大学校研究報告第1部（'61）

宅地建物をめぐる犯罪の概況と取締り
丹　広胖　捜査研究　100（'60－3）

宅地建物取引業の登録と取引員について
大津留　温　捜査研究　100（'60－3）

取締権の性質とその海上における行使の限界
飯田忠雄　海上保安大学校研究報告第1部　35年（'61－3）

トルコ風呂の実態と風俗上の問題
防犯警察研究会　警察時報　16－3（'61－3）

売春関係事犯取締り上の問題点
松田一良　警察学論集　13－10（'60－10）

爆発物取締罰則＜1～8完＞
木宮高彦　研修　143～150（'60－5～12）

風俗営業取締法改正後における風俗営業等の実態と取締り面からみた二，三の問題
飯野定吉　警察学論集　13－10（'60－10）

風俗営業等取締法に規定する警察官の立入権
飯野定吉　警察学論集　13－4（'60－4）

風俗営業等取締法の運用をめぐる当面の問題
飯野定吉　警察公論　16－13（'61－12）

風俗営業等取締法の運用に関する問題点
飯野定吉　警察公論　16－9（'61－8）

風俗環境関係営業の規則の現状と展望——旅館等に対する風俗取締り上の問題点
渡辺　宏　警察学論集　13－10（'60－10）

麻薬取締りに関する国際協力——麻薬単一条約の成立に至るまで＜1，2＞
島岡　再　外務省調査月報　2－5，6/7（'61－5，7）

麻薬取締法の記帳義務と黙秘権（判例百選）
田宮　裕　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

酩酊者規則法に規定された警察官の職権職務について
小堀　旭　警察学論集　14－7（'61－7）

酔つばらい対策の第一歩
長谷川喜博　時の法令　393（'61－7）

公安関係

安保改定をめぐる右翼の動向
山寺通雄　警察時報　15－11（'60－11）

維新行動隊事件と石井隊長の発言
原後山　治　法律時報　33－2（'61－2）

学園公安事件の諸問題
夏目文雄　法律時報　33－10（'61－10）

基本的人権に対する制約の限界と方法——本年7月の公安条例に関する最高裁判決を読んでの感想
林　修三　自治研究　36－10（'60－10）

警察官の立入権
宍戸基男　警察研究　32－11（'61－11）

警察権行使の実態
杉村敏正　法律時報　32－11（'60－9）

警察と自衛隊との犯罪捜査に関する協定の成立について
関沢正夫　捜査研究　115（'61－8）

現代型治安立法としての公安条例の違憲性——大法廷判決によせて
兼子　仁　法律時報　32－11（'60－9）

公安条例関係判例一覧表
高橋　修　法律時報資料版　11（'61－8）

公安条例関係文献
法律時報資料版　11（'61－8）

公安条例合憲判決と群衆心理の法則
吉川正次　法律のひろば　13－9（'60－9）

公安条例合憲判決とデモ行進の権利
兼子　仁　教育　10－9（'60－9）

公安条例合憲判決の批判
和田英夫　法律のひろば　13－9（'60－9）

公安条例合憲判決批判
伊藤正己　ジュリスト　208（'60－8）

公安条例合憲判決批判——新潟県条例合憲判決との比較
佐藤　功　ジュリスト　208（'60－8）

公安条例最高裁判決について
吉川経夫　ジュリスト・208（'60－8）

公安条例最高裁判決について
篤　栄一　警察学論集　13－9（'60－9）

公安条例と警察
星野安三郎　都市問題　50－12（'59－12）

公安条例と判例の動向
高橋　修　自由と正義　11－3（'60－3）

公安条例と労働者の権利
窪田隼人　季刊労働法　10－2（'60－6）

公安条例における合憲・違憲
杉山逸男　綜合法学　19（'60－2）

公安条例に関する綜合判例研究
太田雅夫　同志社大学人文科学研究所紀要　4（'60－11）

公安条例に関する大法廷判決について
田原義衛　判例時報　229（'60－8）

公安条例に関する大法廷弁論について
吉河光貞　警察時報　15－7（'60－7）

公安条例の運用の実態その変遷
星野安三郎　ジュリスト　208（'60－8）

公安条例の将来
土屋正三　警察研究　31－9（'60－9）

公安条例の問題点
山田英雄　警察学論集　13－9（'60－9）

公安条例判決と新聞
山田　要　法律時報　32－11（'60－9）

公共の福祉と比例原則（公安条例最高裁判決）
田上穣治　ジュリスト　208（'60－8）

公衆・大衆・群集の考察
石橋　信　警察研究　31－8（'60－8）

公憤は人命を奪えるか——浅沼，嶋中事件
清水　睦　時の法令　379（'61－2）

国民の意志表示を弾圧する国会デモ規制法案【座談会】
沼田稲次郎，松本善明，矢加部勝美　労働経済旬報　14－428（'60－2）

最高裁大法廷の三つの公安条例に関する判決について
吉川由己夫　法律のひろば　13－9（'60－9）

最高裁の三つの公安条例判決【座談会】
我妻　栄，宮沢俊義，田中二郎，兼子　一，平野竜一　ジュリスト　208（'60－8）

最高裁はなぜ公安条例の判決を急ぐか
植木敬夫　労働法律旬報　370（'60－2）

最高裁判決における論理と現実——三つの公安条例判決をめぐつて
和田英夫　自治研究　36－8（'60－8）

静岡県公安条例の論理
河中二講　法学セミナー　69（'61－12）

集団行動に伴う犯罪と取締法令
谷口利明　警察学論集　13－9（'60－9）

集団行動の自由本質——公安条例判決の意味するもの
伊藤正己　中央公論　75－10（'60－9）

集団示威運動等の秩序保持に関する法律案及び国会の審議権の確保のための秩序保持に関する法律案と公安条例
内田文夫　警察学論集　13－9（'60－9）

集団示威運動と公共の福祉——東京都公安条例の違憲性
柳瀬良幹　ジュリスト　208（'60－8）

集団示威運動の自由か治安の維持か——公安条例判決の動向から
池田政章　ジュリスト　208（'60－8）

集団デモの自由とその規則
田中政義　自由と正義　11－3（'60－3）

全学連と日本共産党
警察学論集　13－3（'60－3）

全学連内における派閥問題
警察学論集　13－3（'60－3）

全学連内の派閥の背景について
警察学論集　13－3（'60－3）

全学連の関係した主要公安事件とその背景
警察学論集　13－3（'60－3）

全学連の財政活動
警察学論集　13－3（'60－3）

全国都道府県公安条例総覧——主要市を含む
法律時報資料版　11（'61－8）

大衆運動と治安体制——政防法デモを目撃して【座談会】
吉川経夫，南　博，他　世界　188（'61－8）

炭坑地における暴力団の概況
九州管区警察局　警察学論集　14－8（'61－8）

治安情勢とその見通し
三輪良雄　警察公論　16－1（'61－1）

治安立法説からみた公安条例合憲判決
兼子　仁　ジュリスト　208（'60－8）

治安立法としての公安条例の違憲性
鈴木房太郎　宮城学院女子大学研究論文集　18（'61－3）

デモ規制法に反対する
中田直人　自由と正義　11－3（'60－3）

テロリズムと警察の姿勢
宮内　裕　世界　184（'61－4）

東京都公安条例について
早川一郎　東京都議会月報　117（'60－12）

東京都公安条例の判決中にあらわれたアメリカ法の理論
河原畯一郎　ジュリスト　208（'60－8）

東京都公安条例は憲法違反か
三井　脩　警察学論集　13－3（'60－3）

新潟県公安条例事件（判例百選）
橋本公亘　ジュリスト　200（'60－4）

日本社会主義学生同盟について
警察学論集　13－3（'60－3）

ピケッティングと警察官職務執行法第5条
内田文夫　警察学論集　13－5（'60－5）

法秩序論——観念的な抵抗権論の危険性
町田　充　警察研究　31－10（'60－10）

法秩序の中の実力行使
伊藤正英　捜査研究　106（'60－10）

法令と条例との関係——公安条例を中心として
長谷川喜博　都市問題　52－1（'61－1）

三池争議における「暴力の支配」——警察権の乱用とその実態
田代博之　人権のために　6（'60－8）

民主警察は仮面か——三池にみた警官隊の実情
星野安三郎　世界　177（'60－9）

無届集団示威運動処罰の違憲性
荘子邦雄　ジュリスト　208（'60－8）

六・一五事件と警察官の行為
井戸田　侃，葭　立明　法律時報　32－11（'60－9）

六・一五事件の法律的究明
森川金寿　法学セミナー　54（'60－9）

自　衛　隊

国防と治安と——防衛二法案と自衛隊の二つの機能
安藤　徹　世界　188（'61－8）

自衛隊の国連軍参加と憲法・自衛隊法との関係
時の法令　382（'61－3）

防衛二法改正の背景
畑田重夫　法律時報　33－8（'61－8）

出入国管理

海外渡航の自由と外務大臣の裁量（判例百選）
河原畯一郎　ジュリスト　200（'60－4）

外国人管理の本質と外国人の出入国
外事警察研究会　警察公論　16－3（'61－3）

外国人登録証不携帯罪は過失犯も罰する（判例百選）
中谷瑾子　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

外国人登録法第3条の解釈に関する問題点
池上　努　警察学論集　14－1（'61－1）

外事警察と諜報事件の実態
外事警察研究会　警察学論集　14－1（'61－1）

国際民間航空条約第9条付属書修正4版の実施とこれにともなう入管令施行規則の一部改正について＜1，2＞
入国管理月報　17，18（'61－7，8）

最近の密入国事案
荒木貞一　警察公論　15－5（'60－5）

在日外国人の法的地位
外事警察研究会　警察公論　16－7（'61－7）

出国の権利は侵されている——白山丸事件弁論要旨
池田輝孝　人権のために　6（'60－8）

出入国管理の話
池上　努　法曹　122（'60－12）

出入国管理令第25条の合憲性
太田益男　公法研究　22（'60－8）

特別地域連絡局とは
岩城喜義　時の法令　343（'60－2）

日共8全大会出席を目的として入国しようとする外国人に対する上陸拒否とその執務体制について
入国管理月報　18（'61－8）

不法入国と逃亡と犯罪人の引渡
時の法令　375（'61－1）

密出国事件における訴因の特定——白山丸事件の第一審判決をめぐつて
本田正義　法律のひろば　13－5（'60－5）

密出国事件に関する二つの判決
藤木英雄　ジュリスト　199（'60－4）

密出国事件における二つの問題点
井上正治　判例評論　27（'60－5）

密航者に関する法律と条約
高梨正夫　ジュリスト　209（'60－9）

要注意外国人ならびに上陸拒否者の問題について
入国管理月報　15（'61－5）

財　政　法

決算審査に関する法制上の問題をめぐつて
黒田久太　都市問題　51－7（'60－7）

公共料金の取扱について
鈴木　博　自治研究　37－12（'61－12）

後進地域公共事業の国庫負担割合特例法制度の意義——主としてミユルダール説について
河内　裕　自治研究　37－8（'61－8）

後進地域公共事業の国庫負担率の特例案について
福島　深　自治研究　36－4（'60－4）

交付公債制度について
潮田康夫　自治研究　36－2（'60－2）

財政法第29条
時の法令　381（'61－3）

36年発生風水害についての起債の特例法について
紀埜孝典　自治研究　37－11（'61－11）

純剰余金の計算について——地方財政法第7条をめぐつて
畠山樹郎　地方財務　78（'60－11）

出納職員等の賠償責任について
宮田知郎　地方財務　78（'60－11）

地方財政再建促進特別措置法の一部改正について
長山　巍　地方財務　73（'60－6）

地方行財政について若干の疑問
柴田　護　自治研究　37－11（'61－11）

地方財政法一部改正の大要
村田敬次郎　地方財務　72（'60－5）

地方財政法及び地方財政再建促進特別措置法の改正について
中井猛夏　自治春秋　10－5（'60－5）

地方財政法逐条解説
矢野浩一郎　地方財務　75（'60－8）

地方財政法等の一部改正について
村田敬次郎　自治時報　13－5（'60－5）

地方財政法の改正とその運用をめぐつて
村田敬次郎　地方自治　150（'60－6）

特別会計法のうつりかわり——わが国の財政制度史の一断面
荒井　勇　時の法令　342（'60－2）

補助金制度の運用をめぐつて＜1＞
加藤剛一　地方財務　83（'61－4）

補助金制度論＜1～8＞
窪田　弘　自治研究　37－1，3～5，8，10～12（'61－1，3～5，8，10～12）

税　法

税法一般

間接税改正の問題点＜上，下＞
旦　弘昌　財経詳報　401，404（'61－9，10）

近代における自然法思想と租税の理論——近代的自然法の生成と租税の理論
大渕利男　日本法学　26－5（'60－12）

シュペールラインの「権利保護思想と税法解釈論」＜1，2＞
中川一郎　税法学　120（'60－12）121（'61－1）

実質課税の原則と税法解釈の原則との混同
中川一郎　名城法学　11－2/3（'61－12）

戦後租税救済制度の司法的考察
斉藤　明　税経通信　15－2（'60－2）

税制調査会の課題と税制改正の問題点
泉　美之松　財経詳報　387（'61－6）

税法における規範意識——日米価値体系の比較研究＜1，2＞
長　穣　税法学　117，120（'60－9，12）

税法における継続性の原則
出口敏正　税経通信　15－8（'60－8）

税法における私人の行為序説＜1，2＞
新井隆一　税法学　118，119（'60－10，11）

税法における取得原価主義
出口敏正　税経通信　15－13（'60－12）

税理士の調査立会権について——税理士法改正の問題点
中山治三郎　税経通信　15－9（'60－9）

税理士法の一部改正について
後藤喜一　財経詳報　387（'61－6）

税理士法の一部改正について
後藤喜一　財政経済弘報　876（'61－6）

税理士法の一部改正について
松宮　隆　税務弘報　9－6（'61－6）

税理士法の改正について
松村富之助　税務弘報　9－8（'61－8）

税理士法の一部を改正する法律
後藤喜一　時の法令　392（'61－7）

租税委員会制度について【シンポジゥム】
税法学　112（'60－4）

租税条約について
大原一三　ジュリスト　202（'60－5）

租税法における黙秘権の制限
井上正治　税経通信　16－4（'61－4）

租税法律関係の性質
村上義弘　経済研究（大阪府大）　16（'60－9）

課税・徴収・国税通則

新しい譲渡所得課税について——租税特別措置法の改正
米山釣一　財政経済弘報　870（'61－5）

課税権の行使とその限界＜1，2完＞
斉藤　明　税経通信　15－12，13（'60－11，12）

課税処分における所得の認定と取引の通念——株主相互金融を営む株式会社の支払う株主優待金に関する最高裁判例を契機として
入山　実　法律のひろば　13－12（'60－12）

株主相互金融会社の優待金の税法上の性質について——最高裁判所の判決の批判
田中勝次郎　ジュリスト　222（'61－3）

企業課税問題をめぐつて＜1～5＞
塩崎　潤　自治研究　36－1，2，4～6（'60－1，2，4～6）

記帳義務質問検査権等について——国税通則法の問題点
平尾照夫　財経詳報　351（'60－12）

強制執行と滞納処分の統一的理解——新国税徴収法の評価と強制執行法の再検討＜1，2完＞
三ケ月　章　法学協会雑誌　76－5，6（'60－7，8）

国税通則法制定に関する意見書
税法学　131（'61－11）

国税通則法の制定に関する答申
須貝脩一　税法学　128（'61－8）

国税通則法制定に関する批判
板倉　宏　税法学　132（'61－12）

国税通則法の制定に関する問題点
中川一郎　税法学　127（'61－7）

国税通則法の制定に望む
堀内　仁　金融法務事情　293（'61－12）

国税通則法答申の批判＜1～5＞
中川一郎　税法学　128～132（'61－8～12）

国税通則法の問題点について
志場喜徳郎　税経通信　16－2（'61－2）

国税と私債権との調整について——基本通達を中心にして
唐木田　穣　財経詳報　302（'60－4）

国税による差押と相殺の再検討
浅田久治郎　金融法務事情　264（'61－2）

再調査請求と審査の請求
坂井忠宏　税経通信　15－9（'60－9）

新国税徴収法の体系＜2～14＞
平尾照夫　自治研究　36－1～3，6，7，9，11，12（'60－1～3，6，7，9，11，12）37－8，9（'61－8，9）

譲渡担保権者に物的納税責任を認めた新国税徴収法と憲法違反の問題
井上勝馬　バンキング　145（'60－4）

譲渡担保財産に対する新国税徴収法の取扱
志場喜徳郎　金融法務事情　229（'60－1）

譲渡担保と新国税徴収法との解釈論的調整について
柚木　馨　法曹時報　12－5（'60－5）

譲渡担保物件と償却資産税の納付義務者
上野隆司　金融法務事情　279（'61－7）

借地権の権利金等に関する課税問題をめぐつて
西村民之助　同志社商学　13－3（'61－10）

租税債権の期間制限
須貝脩一　税法学　132（'61－12）

租税債権の時効等について——国税通則法の問題点
平尾照夫　財経詳報　306（'60－4）

租税債権の成立，確定及び時効等＜1，2完＞
中山幸一　財政経済弘報　817，818（'60－6）

租税債務関係説の一意義＜1～8＞
須貝脩一　税法学　117，118，120（'60－9，10，12），121，123～126（'61－1，3～6）

租税特別措置法の改正について＜1～4完＞
泉　美之松　財政経済弘報　860～863（'61－3）

租税特別措置改正の方向＜1，2完＞
泉　美之松　財政経済弘報　844，845（'60－11，12）

租税保証債務論の構成と展開——その試論的研究
北野弘久　税法学　112（'60－4）

滞納処分と強制執行等との手続の調整に関する法律の一部改正等の解説
宮脇幸彦，佐竹新世　法曹時報　12－3（'60－3）

通達の批判＜1～4＞
中川一郎　税法学　126，128～130（'61－6，8～10）

抵当権が国税徴収権に優先すると認められる一事例

（判例百選）
白石健三　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

有価証券にかかる譲渡担保の取扱について
河村尚平　ジュリスト　237（'61－11）

租税犯・訴訟

国税犯則取締法3条1項と憲法35条（判例百選）
小島和司　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

国税犯則取締法にいう調査権について
小暮豊作　警察公論　16－3（'61－3）

租税審判所設置論——併せて税理士の訴訟代理権を論ず
中山治三郎　税経通信　15－10（'60－10）

租税争訟の制度としくみ
広瀬　正　税経通信　15－9（'60－9）

税務訴訟における主張責任及び立証責任＜1～5完＞
吉良　実　税法学　113～117（'60－5～9）

税務訴訟の基礎知識——その理論と実際
並木俊行　税経通信　16－14（'61－12）

直税逋脱犯の諸問題
浅見敏夫　産業経理　19－8，9（'59－8，9），20－1～3（'60－1～3）

法人税法

改正租税特別措置法等の施行に伴う法人税の取扱通達について＜上，下＞
桜井四郎　財経詳報　407，408（'61－10）

改正法人税法取扱通達解説＜上，下＞
市丸吉左衛門　財経詳報　405，406（'61－10）

割賦販売等による損益の法人税の取扱について
坂野常和　商事法務研究　165（'60－2）

割賦販売等の取扱通達解説
市丸吉左衛門　財経詳報　289（'60－2）

更生処分における理由付記の程度，同族会社の役員給与に関する諸問題【シンポジゥム】
税法学　110（'60－2）

法人税関係法令の改正について＜1～3完＞
佐藤東男　財政経済弘報　867，869，871（'61－4，5）

わが国税法の貸倒準備金制度の特色
清水敬次　法学論叢　68－1（'60－10）

所得税法

現行所得税法をめぐりて
西村民之助　同志社商学　12－5（'61－2）

源泉徴収違憲訴訟の問題点
新井隆一　法律時報資料版　12（'61－9）

源泉徴収義務者の法的地位を論ず
中山治三郎　税法学　130（'61－10）

源泉徴収違憲訴訟——訴状及び国の答弁書
ジュリスト　232（'61－8）

源泉徴収制度の違憲問題におもう
西川千春　税法学　128（'61－8）

源泉徴収制度の違憲問題について
田辺　昇　財経詳報　393（'61－7）

所得税法の一部改正について
西原宏一　財政経済弘報　867（'61－4）

所得税の源泉徴収制度と違憲訴訟
菅野文治　財政経済弘報　884（'61－7）

所得税の源泉徴収と憲法
志賀美夫　産業経理　21－8（'61－8）

所得税法整備の問題点とその方向
渡部周治　税経通信　16－2（'61－2）

関税法

関税改正作業の諸問題について＜上，中，下＞
川口嘉一　財経詳報　338～340（'60－10）

関税関係法律の改正
渡辺喜一　財経詳報　302（'60－4）

関税関係法律の改正について
渡辺喜一　財経詳報　357（'61－1）

関税暫定措置法について＜1，2完＞
木谷忠義　財政経済弘報　808，809（'60－4）

関税三法の改正について——関税定率法の一部改正＜1，2完＞
小野　繁　財政経済弘報　863，864（'61－3）

関税同盟と最恵国条項
桑原輝路　商学討究　12－3（'61－11）

関税に暫定的減免措置——関税暫定措置法案
渡辺喜一　時の法令　345（'60－3）

関税逋脱物の没収及び追徴の行政的性格について
隅田勝己　司法研修所報　26（'61－3）

関税法における追徴の性質——追徴を科すべき犯人の範囲
浦辺　衛　判例時報　211（'60－2）

税関検閲と憲法21条——関税定率21条の改正
伊藤正己　ジュリスト　223（'61－4）

第三者没収の問題に関する二つの最高裁大法廷判決
竜岡資久　ジュリスト　215（'60－12）

段階的追徴——追徴を科すべき犯人の範囲＜1，2完＞
谷口正孝　判例評論　39，40（'61－7，9）

地方税法

市町村税関係の改正について
石見隆三　財政経済弘報　873（'61－5）

住民税をめぐる二つの問題
三好重夫　自治研究　36－1（'60－1）

住民税の課税方式統一論をめぐる問題点
土屋佳照　自治研究　36－1（'60－1）

地方交付税法の一部改正
坂井久夫　地方財務　73（'60－6）

地方税制の問題点
森　　清　自治研究　36－7（'60－7）

地方税に関する税制調査会の答申
降矢敬義　自治研究　36－12（'60－12）

地方税犯則取締について＜1～3＞
石見隆三　自治春秋　10－11，12（'60－11，12）　11－1（'61－1）

地方税法の一部改正について
降矢敬義　財政経済弘報　810（'60－5）

地方税法の一部改正について
大村襄治　財政経済弘報　865（'61－4）

道府県税の改正について
森　　清　財政経済弘報　872（'61－5）

諸税法

印紙税通告処分と訴願について
北野弘久　税法学　125（'61－5）

印紙税法における一問題——単価記載のない石油購入券
中川一郎　税法学　121（'61－1）

割賦払約款附売買契約書に対する印紙税の取扱について
谷藤辰雄　商事法務研究　165（'60－2）

揮発油税法及び地方道路税法の一部改正について
旦　弘昌　財政経済弘報　870（'61－5）

酒税法の一部を改正する法律案
吉田富士雄　時の法令　345（'60－3）

政，省令及び計算例を中心とした有価証券に関する課税関係の改正
岡崎一郎　財政経済弘報　869（'61－4）

物品税法の一部改正について
竹下　勉　財政経済弘報　867（'61－4）

地方自治法

ILO第87号条約の批准と地方公務員法の改正
柳沢長治　自治研究　14－5（'61－5）

ILO第87号条約の批准と地方公務員法の改正について
横山俊郎　地方自治　149（'60－5）

営造物職員法制についての疑問
兼子　仁　都市問題　51－5（'60－5）

沖縄の地方自治——その歩みと現状
矢野勝久　名城法学　11－1（'61－6）

北九州五市合併問題についての法社会学的考察
古林祐二　福岡大学研究所報　3（'60－7）

行政事務条例制度の推移と今後の問題点（公安条例に関する資料）
久世公堯　法律時報資料版　11（'61－8）

国の任務の処理に際しての市町村の法律上の地位と法律上の保護
土屋正三　自治研究　37－2（'61－2）

公営企業の自己資本の充実と広域処理
福島直喜　自治研究　37－8（'61－8）

公務員の団結権はどうなるか——地方公務員法改正案の要点
高橋恒三　教育委員会月報　13－2（'61－5）

条例制定事項と規則制定事項
有倉遼吉　自治研修　30（'61－12）

条例は軽微な法律か？
千葉正士　法律時報　33－5（'61－5）

政府の保有米を土のう代りに使つた法律問題
時の法令　399（'61－9）

地方行政機構の拡大と汚職
法貴三郎　都市問題　51－4（'60－3）

地方行政組織における議会と長——基山町紛争の法律問題とその背景
西岡久騎　法経論集（佐賀）　9－1（'61－11）

地方行政の管理＜1，2＞【共同研究】
三宅太郎，小林与三次，山口　酉，河中二講，茨木広，倉橋義長　自治研究　36－4，5（'60－4，5）

地方行政の事務管理と行政機構改革＜2，3＞
河中二講　自治研究　36－5，6（'60－5，6）

地方公営企業の実態とその動向
鈴木　博　自治研究　36－5（'60－5）

地方公営企業法について
立田清士　都市問題研究　12－8（'60－8）

地方公営企業法の改正について
鈴木　博　自治時報　13－5（'60－5）

地方公営企業法の一部を改正する法律案について
福島直喜　自治時報　14－5（'61－5）

地方公営企業法の一部改正について
福島直喜　地方財務　72（'60－5）

地方公営水道事業利用の法律関係——現代給付行政における「公法と私法」の一断面
成田頼明　エコノミア　18（'61－3）

地方公共団体における契約の性能と問題点
綾野芳一　地方財務　78（'60－11）

地方公共団体の行なう契約の諸類型
宮元義雄　時の法令　365（'60－10）

地方公共団体の経済活動＜1，2＞
鈴木　博　自治研究　37－6，8（'61－6，8）

地方公共団体の経済活動とその法的限界
成田頼明　自治研究　37－6（'61－6）

地方公共団体の公社ブーム
成田頼明　ジュリスト　226（'61－5）

地方公共団体の立法権（公安条例に関する資料）
田中二郎　法律時報資料版　11（'61－8）

地方公務員の新退職年金制度
今枝信男　自治春秋　10－2（'60－2）

地方公務員法第55条の協定に関する法律問題
山本吉人　政経学会雑誌　5（'59－6）

地方政治から汚職をなくすために
大久保　猛　都市問題　51－4（'60－3）

地方自治と汚職
星野光男　都市問題　51－4（'60－3）

「地方自治の本旨」について
岡　久男　甲南法学　2－3（'61－12）

地方自治法第146条の規定による職務執行命令訴訟における最高裁判決
白石健三　法律のひろば　13－8（'60－8）

地方自治法の一部改正について
宮元義雄　自治研究　37－12（'61－12）

地方自治法の改正
岸　　昌　地方自治　168（'61－12）

地方自治法142条の法意（判例百選）
川上勝己　ジュリスト　200（'60－4）

地方自治法146条における職務執行命令訴訟の諸問題
金子　宏　ジュリスト　208（'60－8）

町村合併の実態＜2～4＞
行政学研究会　自治研究　36－2～5（'60－2～5）

町村制の前提と制定過程
大島太郎　専修大学論集　26（'61－6）

都市公害行政の実情——東京都の場合＜1，2＞
宮沢　操　時の法令　379，380（'61－2，3）

部落会，町内会＜1，2＞【共同研究】
小林与三次，佐久間彊，岸　昌，渡辺洋三，阿利莫二，成田頼明　自治研究　36－1，2（'60－1，2）

北海道についての特別立法
　小久保欽哉　時の法令　342（'60－2）

法律の条例との関係
　覚道豊治　法学教室　1（'61－7）

立法技術—— 印鑑条例の審査を中心として
　内山鉄男　地方自治　145（'60－1）

わが国地方制度における「公共」観念の発生過程
　千葉正士　東京都立大学創立10周年記念論文集法経篇　（'60－3）

地方議会・議員

解し難い地方議員の退職年金制
　和田英夫　ジュリスト　224（'61－4）

地方議会議員の互助年金が出来上るまで
　丹羽喬四郎　自治春秋　11－7（'61－7）

地方議会議員の互助年金制度について
　佐野政一　自治春秋　11－7（'61－7）

地方議会議員の互助年金法について
　坂下頼光　自治春秋　11－7（'61－7）

地方政治家の実態調査＜1＞
　法学論叢　67－3（'60－6）

町議会議員選挙に関する訴願裁決取消請求事件について＜1＞
　萩原博司　選挙　13－9（'60－9）

都議会議員に対する退職慰労金の支出は違法な公金の支出か
　成田頼明　法律のひろば　14－7（'61－7）

任期満了後の議員は除名処分の取消を求める訴訟利益があるか
　和田英夫　法律のひろば　13－5（'60－5）

交通・運輸・通信法

道路交通法関係

新しい道路交通法についての二，三の附見—— 立案に参画した者の立場から
　内海　倫　ジュリスト　215（'60－12）

新しい道路交通法の罰則について
　前田　宏　警察公論　15－11（'60－11）

新しい道路交通法の問題点
　木宮高彦　警察公論　15－9（'60－9）

違法駐車に対する措置に関する一考察
　手島堅次　警察学論集　13－12（'60－12）

運転機能におよぼすアルコールの影響
　宇留野藤雄　警察研究　32－1（'61－1）

運転免許制度【座談会】
　須貝一二，原　義衛，松尾亦二，岩田荘治　警察学論集　13－12（'60－12）

行政上の取締と不利益供述強要の禁止—— 特に道交法違反を中心として＜1，2＞
　高田卓爾　法学雑誌　6－3，4（'60－1，3）

業務上過失致死傷事件の処理について
　藤　直道　警察学論集　13－12（'60－12）

公共輸送か個人輸送か—— 都政調査会のパンフレットを批判する
　加藤一郎　ジュリスト　221（'61－3）

交通切符による交通規則
　敷田　稔　警察学論集　14－8（'61－8）

交通即決裁判制度
　岩田荘治　警察時報　16－5（'61－5）

自動車事故に関する実態調査—— 少年労働者の雇用関係を中心として
　谷口正孝，川端　浩　ジュリスト　215（'60－12）

自動車損害賠償制度—— その歴史から現況まで
　岩田荘治　警察時報　16－6（'61－6）

自動車損害賠償責任保険の諸問題
　根立昭治　経済集志　30－3（'60－8）

自動車損害賠償責任保障に対する一考察
　木村英世　ジュリスト　215（'60－12）

自動車損害賠償保障法第5条の損害賠償原因
　坂本雄三　法律論叢　34－5（'61－1）

自動車損害賠償保障法第3条の逸責原因
　坂本雄三　法律論叢　34－3（'60－11）

自動車損害賠償法第14条について—— 契約はほかに保険者逸責の事由を定めることはできないか
　中西正明　民商法雑誌　42－4（'60－7）

自動車損害賠償保障法における責任保険性と被害者の地位
　浦田一晴　ジュリスト　219（'61－2）

自動車損害賠償保障法の民法責任
　宗宮信次　日本法学　27－2（'61－5）

自動車と歩行者—— 危険の分配
　岩田荘治　捜査研究　111（'61－3）

12月20日から施行される道路交通法
　関　忠雄　時の法令　369（'60－11）

酒気帯び運転についての一考察
　尼崎禎三　警察学論集　13－12（'60－12）

新道交法にちよつと一言
　小堀憲助　時の法令　378（'61－2）

新道路交通法
　藤岡長敏　警察研究　31－9（'60－9）

新道路交通法における過失犯について
　前田　宏　警察研究　31－11（'60－11）

新道路交通法の審議経過
　崎川謙三　法律時報　32－7（'60－6）

損害賠償請求権の代位—— ある自動車事故についての試論
　山田喜久夫　健康保険　14－9（'60－9）

損害賠償請求の代位
　青谷和夫　健康保険　14－7（'60－7）

道交法違反と過失致死傷
　臼井滋夫　自警　43－1（'61－1）

道交法をめぐる交通警察の諸対策【座談会】
　原　文兵衛，他　自警　42－6（'60－6）

道交法改正と基本的人権
　田上穣治　時の法令　343（'60－2）

道路運送法の一部を改正する法律案
　坂本祐一　時の法令　347（'60－4）

道路交通規制と黙秘権
　鶴見祐策　明治大学法制研究所紀要　4/5（'61－5）

道路交通取締法規は限時法か
　山田弘之助　上智法学論集　5－2（'61－11）

道路交通取締法の事故内容の報告義務と憲法第38条の黙秘権——道路交通取締法違反に関する東京高裁判決に関連して
　沢井　勉　法律のひろば　13－4（'60－4）

道路交通法＜1～11完＞
　伊坂重昭，前田　宏　研修　151～159，161，162（'61-1～9，11，12）

道路交通法案にたいする刑事学的反省
　井上正治　法律時報　32－7（'60－6）

道路交通法案の意図するもの——大衆運動規制のおそれはないか
　矢田部　理　労働法律旬報　376（'60－4）

道路交通法案の問題点【座談会】
　石川吉右衛門，加藤一郎，平野竜一，内海　倫，渋谷　亮，前田　宏　ジュリスト　201（'60－5）

道路交通法規の問題点について——道交法の改正に寄せて
　木宮高彦　ジュリスト　194（'60－1）

道路交通保護事件の処理について
　伊藤政吉　家庭裁判月報　13－10（'61－10）

道路交通法総則規定の問題点＜1，2＞
　須貝一二　警察公論　16－9，11（'61－8，10）

道路交通法にいう道路について
　須貝一二　警察公論　16－4（'61－4）

道路交通法における二，三の問題——道路法からみて
　袴田恒夫　科学警察研究所報告交通編　1－1（'60-12）

道路交通法の概要＜上，下＞
　内海　倫　警察研究　31－11，12（'60－11，12）

道路交通法の概要
　須貝一二　警察公論　15－9（'60－9）

道路交通法の実務上の問題点
　須貝一二　警察学論集　14－9（'61－9）

道路交通法の制定について
　内海　倫　警察学論集　13－12（'60－12）

道路交通法の成立
　内海　倫　警察公論　15－9（'60－9）

道路の占用
　室城庸之　警察公論　15－6（'60－6）

都市交通と新道路交通法
　井口孝文　警察学論集　13－12（'60－12）

同僚労働者の加害行為と自動車損害賠償保障法
　西川達雄　彦根論叢　65/67（'60－6）

ひき逃げに対する法的規整
　谷口正孝　ジュリスト　237（'61－11）

ひき逃げ無罪判決
　谷川　輝　捜査研究　93（'59－8）

不法駐車の排除
　岩田荘治　警察公論　15－3（'60－3）

酩酊運転と交通事故
　原　義衛　捜査研究　85（'58－12）

酩酊運転に関する実務的一考察
　小島伝内　捜査研究　93（'59－8）

酩酊運転による事故責任
　荘子邦雄　判例評論　27（'60－5）

鉄道関係法

世銀借款で国鉄法改正——東海道新幹線の建設体制を
　山口真弘　時の法令　345（'60－3）

踏切事故の実態＜1，2＞
　井上祐司　法律時報　33－2，3（'61－2，3）

海上関係法

海難審判庁の海難原因究明は取消訴訟の対象となるか
　成田頼明　法律のひろば　14－5（'61－5）

海難審判庁の裁決と訴訟の関係
　田中真次　ジュリスト　225（'61－5）

港湾施設の利用者と管理者の法律責任＜上，中，下＞
　住田正二　海運　391～393（'60－4～6）

盟外船問題についての若干の考察
　権田次良　海事研究　38（'59－7）

航空関係法

航空機の上空通過に伴う法律問題＜2＞
　池田文雄　空法　4（'60－2）

航空行政監察結果について
　杉浦　滋　法律時報資料版　10（'61－7）

航空行政監察結果に基づく勧告
　行政管理庁　法律時報資料版　10（'61－7）

航空行政監察結果に基づく勧告に対する回答について
　杉浦　滋　法律時報資料版　15（'61－12）

航空地役権（Avigation Easement）についての一考察
　佐藤梅吉，他　調査時報（調達庁）　34（'61－11）

航空の自由と土地所有権
　伊沢孝平　法学論集　10－1（'60－6）

航空の自由と土地所有権
　伊沢孝平　綜合法学　23（'60－6）

航空法の一部を改正する法律案
　福永正義　時の法令　351（'60－5）

航空法の国際的統一に関する若干の考察
　Riese, O.　空法　5（'60－4）

空の法律問題
　杉山茂顕　東京都立大学創立10周年記念論文集法経篇　（'60－3）

東京条約案に対する日本政府の意見について
　鈴木　登　空法　5（'60－4）

東京条約案の問題点
　菅原菊志　空法　5（'60－4）

郵便電波関係法

改正された国際電気通信条約
　末広　卓　時の法令　370（'60－11）

公衆電気通信法第109条についての一考察
　加藤　宏　民事研修　34（'60－2）

太平洋ケーブル協定をめぐる若干の法律問題
　沢木敬郎　ジュリスト　240（'61－12）

通信の秘密に関する各国法の比較
　郵政調査時報　1－2（'60－7）

電信電話設備拡充法について
　合田淳一　財政経済弘報　814（'60－5）

電信電話設備の拡充のための暫定措置に関する法律案

合田淳一　時の法令　345（'60－3）
日本電信電話公社法の一部改正
西原林之助　財政経済弘報　829（'60－8）

外国行政法

諸　国

欧州諸国における一般行政手続法の立法的傾向＜2，3＞
尾上　実　自治研究　36－2，11（'60－2，11）
各国公務員の労働権
郵政調査時報　2－2（'61－8）
各国における地域制の比較的考察とわが国地域制法上の諸問題
松原正晃　都市問題　51－2，4（'60－2，4）
各国における郵便に関する罰則規定
郵政調査時報　2－2（'61－8）
集会・集団行進等の規制に関する外国（西独，仏，伊）立法例
田原義衛　ジュリスト　208（'60－8）
集会・集団行進等の規制に関する諸外国の立法例
警察学論集　13－9（'60－9）
諸外国における国と地方の財政関係＜1～16＞
大村襄治　自治研究　36－1～3，5，7～12（'60－1～3，5，7～12）　37－3，4，8～10，12（'61-3,4,8～10,12）
諸外国における郵政料金決定の法制と実情——付郵便料金引上げの理由
郵政調査時報　1－5（'61－1）
東ヨーロッパにおける行政手続法
藤田嗣雄　ジュリスト　223（'61－4）

アメリカ

アメリカ行政手続法とその直面する課題
川上勝己　ジュリスト　212（'60－10）
アメリカ行政法における公正な手続
外間　寛　公法研究　23（'61－10）
アメリカ行政法における実質的証拠の法則
川上宏二郎　九大法学　6（'59）
アメリカ行政法における聴聞を受ける権利
橋本公亘　法学新報　68－2（'61－2）
アメリカ行政法の基礎構造
和田英夫　法律論叢　34－4（'60－12）
アメリカ税務訴訟における立証の具体的研究＜7～12完＞
長　穣　税法学　109～115（'60－1～7）
アメリカにおける行政行為の立法部による統制——アメリカ行政法の諸問題＜1＞
園部逸夫，千葉勇夫　法学論叢　69－5（'61-5）
アメリカにおける「警察権能」の理論の展開＜1，2完＞
高原賢治　国家学会雑誌　74－9/10，11/12（'61－7，10）
アメリカにおける交通事犯処理
山田義光　法律のひろば　14－12（'61－12）
アメリカにおける交通事犯対策
敷田　稔　法律時報　32－7（'60－6）
アメリカにおける公務員と政治活動
郵政調査時報　1－5（'61－1）
アメリカにおける Jeopardy Assessment をめぐる問題——カシンスキーの所説を中心として＜1～4＞
北野弘久　税法学　114～116，118（'60－6～8，10）
アメリカの交通規則
塙　克郎　警察学論集　14－9（'61－9）
外人賠償請求法における米国の国家賠償責任の法理
砂川恵伸　琉大法学　3（'61－　）
カリフォルニアの交通取締法規
長島　敦　警察公論　15－3（'60－3）
共産党取締法たるスミス法の新解釈——イエイツ対合衆国事件の考察
畑　博行　政経論叢（広島）　10－2（'60－9）
行政上の立入検査と捜査令状——フランク事件判決によせて
高柳信一　社会科学研究　11－4（'60－2）
行政上の法解釈に関する一考察——アメリカ行政法のある断面
園部逸夫　法学論叢　67－1（'60－4）
行政手続当事者の資料提出強制権——アメリカ行政法の諸問題＜2＞
園部逸夫　法学論叢　70－1（'61－10）
警察官の「道路上における」停止，質問及び身体検査に関する，及び警察の逮捕特権一般に関するアメリカ法の概要
土屋正三　警察研究　32－4（'61－4）
警察の逮捕特権
土屋正三　警察研究　32－5（'61－5）
聴問審理官の機能について——適正手続要請の一側面
小高　剛　立命館法学　35（'60－12）
東京都公安条例の判決中にあらわれたアメリカ法の理論
河原畯一郎　ジュリスト　208（'60－8）
特別区域の性格の実態——ボリンス教授の所説を中心として＜1，2＞
沖田哲也　自治研究　36－10，11（'60－10，11）
米行政法における exhaustion of administrative remedies の法理について
荒　秀　公法研究　23（'61－10）
米国行政法に関する一考察——とくに最高裁判所と行政機関について
田中館照橘　レファレンス　11－7（'61－7）
米国の新内国歳入法邦訳＜43～64＞
加藤　清　税法学　109～132（'60－1～'61－12）
米国の聯合規約に関する研究
川西　誠　日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）
ヘラーシュタイン「財産税査定に対する司法審査」抄訳＜1～3＞
北野弘久，小林賢治　税法学　122,123,128（'61－2，3，8）
ミシシッピー水資源保存開発法
板橋郁夫　法学研究（愛知）　3－1（'61－12）
A bibliography on water law in the U.S.A.
板橋郁夫　法学研究（愛知学院）　2－1/2（'60－3）
J．ランディス「規制機関に関する報告」の概要と問題点
塩野　宏　ジュリスト　240（'61－12）

イギリス

イギリス行政訴訟論序説＜1＞
佐藤立夫　早稲田政治経済学雑誌　173（'61－12）
イギリスにおける行政法の歴史的発展＜1，2＞
佐藤立夫　早稲田政治経済学雑誌　166（'60－12），170（'61－8）
イギリスの審判所及び公聴会法訳
大林正平　法経論集（愛知）　33（'61－1）
イギリス——フランクス・リポート（行政手続法）
山田幸男　ジュリスト　212（'60－10）
イギリス法における街頭行進
末延三次　立教法学　3（'61－6）
英国行政行為法研究序説
真砂泰輔　法文論叢　12（'60－10）
英国収用手続法の理論＜1～3完＞
高田賢造　法学新報　67－11，12（'60－11，12），68－2（'61－2）
英国法における1951年汚水防止法について
佐藤隆夫　政経論叢（国学院）　9－3（'61－1）
英米法の行政行為司法審査における法律問題と事実問題＜1～3＞
山田準次郎　法律論叢　34－2，3，5（'60－9，11，'61－1）
行政解釈と判決と立法——トラック法における現物給与をめぐつて
有泉　亨　社会科学研究　12－1（'60－8）
警察長の独立
土屋正三　警察研究　31－8（'60－8）
警察官による尋問について——若干の実務的考慮＜1～3＞
Williams，G.　警察研究　31－12（'60－12）　32－3，4（'61－3，4）
司法審査制の研究——イギリスにおける形成と特徴＜1～3＞
堤口康博　早稲田政治経済学雑誌　163（'60－6）　167，170（'61－2，8）
大ロンドンの地方行政改革案——勅命委員会報告要旨
中島忠能　レファレンス　11－9（'61－9）
法の支配と行政争訟——イギリスにおける問題点
大西芳雄　立命館法学　33（'60－6）
S.A.ド．スミス著「行政行為の司法審査」【書評】
堤口康博　早稲田政治経済学雑誌　162（'60－4）

イタリア

イタリア航行法の航行員「利用契約」について
窪田　宏　海事研究　38（'59－7）
イタリア・スペイン系行政手続法
中村弥三次　ジュリスト　212（'60－10）

オーストリア

オーストリア行政手続法の輪郭と問題点
尾上　実　ジュリスト　212（'60－10）
オーストリア行政手続論序説＜1＞
尾上　実　商経論叢　9（'60－7）
要件裁量と効果裁量——オーストリアにおける裁量論争の考察
田村悦一　法経学会雑誌　10－2（'60－9）

スイス

最近のスイス税法学——税法の目的と経済的観察法について
中川一郎　税法学　118（'60－10）
瑞面における質屋営業法の概観
佐々木　坦　研究紀要（長崎県短大）　6（'58－11）
スイス連邦郵便法訳
郵政調査時報　1－2（'60－7）

スペイン

スペイン行政手続法＜2～4＞
中村弥三次　時の法令　338～340（'60－1）
スペイン地方制度の一研究＜上，下＞
大橋茂二郎　レファレンス　10－10，11（'60－10，11）

ソビエト

ソビエト連邦通信法訳
郵政調査時報　1－3（'60－9）
ソビエット・ロシアの農村の統治構造（1917～1922）
渓内　謙　法政論集　17（'61－8）
ソ連及び共和国の予算権限法について
東京都議会月報　109（'60－3）
ソ連の現行税制＜上，下＞
長谷川信彦　レファレンス　10－8，9（'60－8，9）

ドイツ

イエンケ「税法における行政規則」——通達の意義＜1～4＞
清水敬次　税法学　126～129（'61－6～9）
行政法における失効の原則——西ドイツにおける若干の学説判例を中心として
波多野　弘　名城法学　11－2/3（'61－12）
公務員の国損弁償責任に関する西ドイツの立法例
石井五郎　レファレンス　125（'61－6）
西独地方公共団体組織法の発展
土屋正三　自治研究　36－1（'60－1）
西独の新しい行政裁判法
市原昌三郎　時の法令　356（'60－7）
西独の規範審査訴訟——行政訴訟の一形式
南　博方　法学雑誌　7－3（'60－12）
西独バイエルン市町村制について＜1～3＞
岡　直遙　八幡大学論集　11－1，2（'60－7，12），12－1（'61－7）
戦後の西ドイツ公法学
市原昌三郎　一橋論叢　44－4（'60－10）

宅地調達法（宅地造成に関する資料）
法律時報資料版　3（'61－1）

ドイツ財産税法の研究＜8＞
新井隆一　税法学　111（'60－3）

ドイツ1959年航空法について
池田文雄　空法　5（'60－4）

ドイツにおける行政手続法の過去と現在
金子　宏　ジュリスト　212（'60－10）

ドイツにおける公用開始理論と公物の成立——Schattenbergの所説を手がかりとして
長尾久衛　名城法学　9－2/4（'60－3）

ドイツにおける伝統的行政運営とその法的規制
三宅太郎　社会科学討究　5－2（'60－8）

ドイツ連邦郵便電気通信事業管理法および逐条解説
郵政調査時報　1－6（'61－3）

西ドイツ警察組織の沿革と現況
土屋正三　警察研究　31－6（'60－6）

西ドイツ税法上の法的救済制度
清水敬次　法学論叢　70－3（'61－12）

西ドイツにおける小秩序維持の一方法——交通事犯及びその他の違警罪に対する手数料支払義務のある警告について
長野　実　警察学論集　14－12（'61－12）

西ドイツの市町村制における「公共施設」の観念とその利用に関する法律関係＜1＞
成田頼明　自治研究　37－1（'61－1）

西ドイツの道路交通行政
山田　晟，村上淳一　法律時報　32－7（'60－7）

西ドイツの連邦刑事警察
土屋正三　警察研究　31－11（'60－11）

西ドイツの連邦政府職務規則訳
石井五郎　レファレンス　10－6（'60－6）

西ドイツ連邦選挙法の概要＜1，2＞
土屋正三　自治研究　37－11，12（'61－11，12）

バイエルン　警察法階梯＜1～5＞
土屋正三　警察研究　32－8～12（'61－8～12）

バーデン・ウィルテムベルグの市町村制＜1～6＞
土屋正三　自治研究　36－3～6，8，9（'60－3～6，8，9）

フォルストホーフ「給付行為の法律問題」
塩野　宏　国家学会雑誌　73－11/12（'60－9）

プロイセン水法の問題点——わが国の水に関する諸規定との関係において
竹山増次郎　大阪府立大学紀要人文・社会科学　8（'60－3）

ベルリンの新警察行政及び秩序行政
土屋正三　警察研究　31－10（'60－10）

法律による行政の範囲——ドイツの場合
高田　敏　政経論叢（広島）　9－3/4（'60－3）

ボン基本法におけるドイツ官吏制度の基調
三宅太郎　社会科学討究　6－1（'61－6）

フランス

コンセイユ・デタ——その訴訟の実態
大西芳雄　立命館法学　34（'60－9）

コンセイユ・デタ　その立法，行政活動
山下健次　立命館法学　34（'60－9）

フランス行政法成立史——行政裁判権の形成・確立をめぐつて
神谷　昭　北大法学論集　12－2（'61－12）

フランス行政法における法の一般原理
神谷　昭　国家学会雑誌　73－6（'60－3）

フランス行政法における l'établissement public の制度について
神谷　昭　行政と経営　3（'61－　）

フランス国務院と権利濫用の法理
近藤昭三　法政研究　27－2/4（'61－3）

フランスにおける警備警察の組織概要
清水新太郎　警察学論集　13－8（'60－8）

フランスに於ける土地制度史関係史料について
遅塚忠躬　社会科学研究　13－1（'61－10）

フランスにおける地方制度の形成＜4，5完＞
内田　新　自治研究　36－6，7（'60－6，7）

フランスの原子力法研究センターと原子力関係法令
菊池勇夫　法政研究　27－2/4（'61－3）

フランスの自治体——大臣兼市長も珍しくない
青山春雄　自治春秋　10－6（'60－6）

其の他

岐路に立つポーランドの行政手続法制
中村弥三次　時の法令　343（'60－2）

南鮮の国家保安法
黒木三郎　国際問題研究所紀要　29（'60－3）

ハンガリー行政手続＜1，2＞
中村弥三次　時の法令　341，342（'60－2）

ベルギー郵便法
郵政調査時報　2－4（'61－11）

司 法 制 度

司法制度一般

家永三郎著「裁判批判」【書評】
戒能通孝　思想　432（'60－6）

家永三郎著「裁判批判」【書評】
毛利与一　法律時報　32－4（'60－3）

沖縄における司法制度管見
吉川大二郎　自由と正義　12－3（'61－3）

沖縄の司法制度の実情
大竹武七郎　自由と正義　12－3（'61－3）

兼子一著「裁判法」【紹介】
三ケ月　章　法学協会雑誌　77－5（'61－4）

誤判に対する反省
田上輝彦　ジュリスト　195（'60－2）

裁判過程と日本社会
川島武宜　法学セミナー　63（'61－6）

裁判のスピード化と審理の充実
岸　盛一　書斉の窓　76（'60－2）

裁判白書——裁判の見方と考え方【座談会】
上田誠吉，吉川経夫，小松茂夫，渡辺洋三　法学セミナー　46（'60－1）

裁判批判
伊達秋雄　世界　171（'60－3）

裁判批判と裁判の威信——私の見た59年の裁判
木村亀二　法学セミナー　46（'60－1）

裁判批判の問題点
大塚喜一郎　綜合法学　18（'60－1）

司法的行動の尺度表分析——司法過程の実証的研究
早川武夫　神戸法学雑誌　9－4（'60－3）

司法と裁判（1960年の法および政治の分析）
中村宗雄　綜合法学　29（'60－12）

司法理論と司法の機能——一つの提言
井上　茂　ジュリスト　199（'60－4）

市民の道徳と裁判
戒能通孝　中央公論　75－11（'60－11）

社会構造と裁判——明治以後の社会構造と裁判制度との関係
川島武宜　思想　432（'60－6）

素人裁判官の比較法的考察
桜田勝義　山形大学紀要　1－2（'61－2）

訴訟促進のはなし
江村高行　綜合法学　18（'60－1）

訴訟促進論
長谷部茂吉　法律のひろば　13－1（'60－1）

訴訟の迅速化についての一考察
渡辺綱吉　法学研究（愛知）　3－2（'61－3）

訴訟費用と弁護士費用
染野義信　法律時報　32－5（'60－4）

訴訟費用の裁判は死んでいる——弁護士費用の訴訟費用化
石井良三　判例時報　212（'60－2）

日本における裁判の思想史的考察——特に戦後の裁判をめぐる思想的葛藤について
家永三郎　思想　432（'60－6）

フランク著「裁かれる裁判所」【書評】
斉藤秀夫　法律時報　33－9（'61－9）

法曹——誇りある道具として
戒能通孝　法学セミナー　51（'60－6）

法曹一元を実現する具体的要綱案について
小林俊三　法曹界　73（'61－7）

法曹一元を実現する具体的要綱について
小林俊三　法の支配　5（'61－8）

法曹一元制度について
松井康浩　綜合法学　20（'60－3）

「法曹」の意識構造とその変革
清水　誠　思想　432（'60－6）

法律扶助協会の現状と将来
岡　弁良　自由と正義　11－11（'60－11）

法律扶助の実態と事件の種々相
池内三郎　自由と正義　11－11（'60－11）

リーガル・エシックスとその基本
戒能通孝　法律時報　32－5（'60－4）

琉球における裁判所の法令審査権＜1＞
金城秀三　琉大法学　3（'61－　）

わが国における法律扶助事業について＜1，2＞
小泉初男　民事研修　34，35（'60－2，3）

司法試験・法曹教育

違法修習の廃止について
法律時報　32－7（'60－6）

司法試験の回数
ジュリスト　235（'61－10）

司法試験問題の検討と解説
綜合法学　25（'60－8）

司法修習生の検察修習の違法性
坂東克彦　自由と正義　11－1（'60－1）

松田二郎著「法曹教育」をよんで
田辺公二　ジュリスト　221（'61－3）

裁判所・裁判官

荒れる法廷
伊達秋雄　法律時報　32－11（'60－11）

荒れる法廷と法廷等の秩序維持法——二つの最高裁決定を中心として
佐伯千仭　判例評論　33（'60－12）

荒れる法廷と法廷秩序維持法に関する諸問題
金末多志雄　自由と正義　11－12（'60－12）

荒れる法廷白書
五者共同調査委員会　法律時報　32－5（'60－4）

該当七裁判官主要意見一覧
小林孝輔　法律時報資料版　1（'60－11）

下級審裁判官
小田成光　中央公論　75－11（'60－11）

家庭裁判所10年を顧みて
溝口喜方　綜合法学　18（'60－1）

家庭裁判所における法律相談の実情
野村　健　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

家庭裁判所の機能について——その現状を中心にして
野田愛子　法社会学　12（'61－8）

忌避試論＜1～3＞
畔上英治　法曹時報　12－11（'60－11），13－1，2（'61－1，2）

国民意識からみた裁判官国民審査の反省
岩崎保俊　九大法学　9（'61）

国民審査の憲法上の意義
伊藤正己　法律時報資料版　1（'60－11）

国民審査の概況
吾妻京一郎　法律時報資料版　1（'60－11）

国民審査の二，三の問題
和田英夫　法律時報資料版　1（'60－11）

最高裁機構改革の構想
小林俊三　自由と正義　12－4（'61－4）

最高裁機構改革の早期実現を望む
毛受信雄　自由と正義　12－4（'61－4）

最高裁機構改革への指標
岡　弁良　自由と正義　12－4（'61－4）

最高裁国民審査と裁判官
小田成光　世界　179（'60－11）

最高裁における理想と現実
小林孝輔　中央公論　75－2（'60－2）
最高裁長官指名に要望する
戒能通孝　朝日ジャーナル　2－42（'60－10）
最高裁長官の思考様式
戒能通孝　思想　434（'60－8）
最高裁は新生の道を歩め
家永三郎　法学セミナー　56（'60－11）
最高裁判官の国民審査
真野　毅　法律のひろば　14－1（'61－1）
最高裁裁判官国民審査についての問題点
篠原幹雄　選挙　13－9（'60－9）
最高裁判所裁判官国民審査制の意義（判例百選）
深瀬忠一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
最高裁判所に望む
我妻　栄　世界　181（'61－1）
最高裁判所の機構【座談会】
江里口清雄，小野清一郎，荻山虎雄，古関敏正，中村宗雄，本田正義，中村　武，木川統一郎
綜合法学　20（'60－3）
最高裁判所の機構改革について
岡　弁良　ジュリスト　219（'61－2）
最高裁判所の機構改革について
田中耕太郎　法の支配　4（'61－1）
最高裁判所の機構改革問題をどう考えるか
石井良三　法曹時報　13－2（'61－2）
最高裁判所論
池田政章　中央公論　75－11（'60－11）
裁判官による法秩序への攻撃——飯守談話の意味するもの
家永三郎　法律時報　33－4（'61－4）
裁判官の在り方
入江俊郎　ジュリスト　239（'61－12）
裁判官の希望と意見
法律時報　33－1（'61－1）
裁判官の災害補償制度を整備
田坂友男　時の法令　355（'60－6）
裁判官の政治的発言（飯守判事の発言をめぐつて）
鈴木忠五　法律時報資料版　6（'61－4）
裁判官の中立性
植松　正　警察時報　16－5（'61－5）
裁判官の任命欠格事由と失官事由
伊藤正己　法曹時報　12－3（'60－3）
裁判官の発言
森長英三郎　法学セミナー　62（'61－5）
裁判官の罷免——高野猛矩のこと
菊地　博　法律時報　33－1（'61－1）
裁判官の分限，監督，懲戒，弾劾
時の法令　383（'61－4）
裁判官の良心——チヤタレイ判決について
津田正良　法律時報資料版　10（'61－7）
裁判官の良心の独立
佐々木哲蔵　世界　169（'60－1）
裁判官は機械か蒸溜水か——いわゆる飯守発言について
植松　正　時の法令　381（'61－3）
裁判所速記制度について
福家辰夫　自由と正義　11－6（'60－6）
裁判所の時間劾行
千種達夫　判例時報　210（'60－1）
裁判所の政治的宣伝
根本孔衛　人権のために　10（'61－6）
裁判所の予算について
庵治川良雄　自由と正義　11－6（'60－6）
裁判所侮辱と言論・出版の自由——間接侮辱立法の違憲性
石井芳光　英米法学　11（'60－5）
裁判における技術と人間——伊達秋雄判事の辞任を惜んで
三宅　陽　法律時報　33－12（'61－11）
裁判における自由と秩序
田中耕太郎　法曹時報　12－1（'60－1）
裁判の民主化を阻むもの
長尾和夫　思想　432（'60－6）
佐々木哲蔵著「裁判官論」【書評】
田畑　忍　同志社法学　12－3（'60－8）
佐々木哲蔵著「裁判官論」【書評】
千葉正士　法律時報　32－9（'60－7）
指導者としての裁判官——正義の理想の具象
Cantrall, A.M.　法曹時報　12－6（'60－6）
商事部裁判官の嘆き
長谷部茂吉　法律のひろば　13－2（'60－2）
破防法と飯守発言
有倉遼吉　警察時報　16－5（'61－5）
東京地方裁判所における新件部（民事第25部）の実態——書記官実務を中心として
川上喬市　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）
当事者から見た裁判所
井上峯亀　司法研修所報　25（'60－7）
当事者から見た裁判所
若林　清　司法研修所報　25（'60－7）
法曹的思惟と人権感覚
佐伯千仞　法学セミナー　59（'61－2）
法廷秩序と裁判官の良識——弁護士制裁事件
佐々木哲蔵　思想　436（'60－10）
法廷秩序と弁護士の責任
小林直人　法律時報　32－5（'60－4）
法廷斗争と法廷秩序維持法
東中光雄　人権のために　10（'61－6）
法廷にあらわれた「法の支配」——根をおろした田中長官の訓辞
安達十郎　人権のために　6（'60－8）
法廷における言論の自由
大野正男　中央公論　75－11（'60－11）
法廷はこれでいいか
有賀正明　法律時報　32－5（'60－4）
横川裁判長の所信表明について（飯守判事の発言をめぐつて）
松尾　翼　法律時報資料版　6（'61－4）
若い裁判官への手紙
横川敏雄　ジュリスト　211（'60－10）
わが国の裁判官の特色
斉藤秀夫　ジュリスト　239（'61－12）

検察庁・検察官

検察庁法逐条解説＜1～4＞
伊藤栄樹　研修　159～162（'61－9～12）
検察の実践的説得機能
出射義夫　ジュリスト　223（'61－4）
検察の諸問題＜1，2＞【座談会】
本田正義，大石　宏，伊藤栄樹，中川　一，天野武一，金吉　聡，青山利男，上田次郎，富田正典
法曹時報　13－7，8（'61－7，8）
執行事務規程解説＜23～37完＞
根本真儀　研修　139～153（'60－1～'61－3）
証拠品事務規程解説＜19～26完＞
河井貫司　研修　139～146（'60－1～8）
私の検察官修業
岩橋　健　法学セミナー　55（'60－10）

弁　護　士

阿保浅次郎弁護士を訪ねて（弁護士会の今昔）
後藤英二　自由と正義　12－9（'61－9）
天野敬一弁護士に聞く（弁護士会の今昔）
馬場東作　自由と正義　12－9（'61－9）
ある顧問弁護士
江上照彦　法律時報　32－5（'60－4）
大内省三郎弁護士に聞く（弁護士会の今昔）
阪埜淳吉　自由と正義　12－9（'61－9）
国選弁護士制度運営に対する疑問
原　秀男　自由と正義　11－11（'60－11）
国選弁護制度の実状【座談会】
小野清一郎，伊東秀郎，岸　盛一，伊達秋雄，横川敏雄，佐藤忠雄，谷川　輝，岡　弁良，江川六兵衛，神谷貞雄，上代琢禅，宮本正美，双川喜文
自由と正義　11－11（'60－11）
国選弁護に関する統計資料について
竹内　誠　自由と正義　11－11（'60－11）
国選弁護についての所感
湯川忠一　自由と正義　11－11（'60－11）
国選弁護人の解任
横山晃一郎　法学研究（愛知）　2－1/2（'60－3）
裁判官，弁護士おかめ対談
畔上英治　法律時報　32－5（'60－4）
在野法曹85年小史
森長英三郎　法律時報　32－5（'60－4）
訴訟費用と弁護士費用
染野義信　法律時報　32－5（'60－4）
訴訟費用の裁判は死んでいる——弁護士費用の訴訟費用化
石井良三　判例時報　212（'60－2）
訴訟促進のため現行国選弁護人選任制度改革の一試案
宇野　孝　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）
社会保障としての国選弁護
野間　繁　自由と正義　11－11（'60－11）
ドイツ人からみた日本の弁護士
Röhl, W.　法律時報　32－5（'60－4）
努力の甲斐があつた国選弁護
秋根久太　自由と正義　11－11（'60－11）
弁護士修習の現況と課題
吉川大二郎　法律時報　32－5（'60－4）
弁護士制度の推移と展望
福原忠男　自由と正義　12－9（'61－9）
弁護士の生活と意識
法律時報　32－5（'60－4）
弁護士の弁護の限界
千種達夫　判例時報　236（'60－10）
弁護士費用を敗訴の当事者に負担させることの可否——訴訟促進の問題に関連して
椎木緑司　自由と正義　11－4（'60－4）
弁護士費用と弁護士強制——歴史的背景と当面の課題について
染野義信　日本法学　27－2（'61－5）
弁護士費用の訴訟費用化に関する諸問題
椎木緑司　ジュリスト　238（'61－11）
弁護士費用問題——論点の整理
菊井維大　ジュリスト　211（'60－10）
弁護士報酬と訴訟費用
島谷六郎　自由と正義　11－4（'60－4）
弁護士報酬と訴訟費用
田中和夫　時の法令　349（'60－4）
弁護士法の成りたちと将来の改正点
福原忠雄　法律時報　32－5（'60－4）
弁護人の固有権と権利濫用
臼井滋夫　警察公論　15－5（'60－5）
弁護の技術
古賀正義　法律時報　33－12（'61－11）
法曹組織要覧
法律時報　32－5（'60－4）
やぶにらみ——弁護士さんたち
平出　禾　法律時報　32－5（'60－4）
レジャーのための弁護料——弁護士費用敗訴者負担をめぐつて
木川統一郎　時の法令　398（'61－9）
わが国民事訴訟における弁護士報酬についての一考察
内田武吉　早稲田法学　37－1/2（'61－12）
私の弁護士修業
前田知克　法学セミナー　54（'60－9）

公　証　人

公証制度について
池川良正　金融法務事情　252（'60－9）
公正証書
高橋勝好　ジュリスト　207（'60－8）

公正証書とその更正について
　枇杷田泰助　金融法務事情　249（'60－8）
嘱託人の同一性及び代理権限の確認について＜1，2完＞
　篠田純一　民事研修　46，47（'61－2，3）

外国司法制度

諸　国

欧米諸国の法廷をみる＜1～5完＞
　塚本重頼　判例時報　218～222，231（'60－4，5，8）
欧州諸国の法廷めぐり＜1～3完＞
　塚本重頼　判例時報　243（'60－12），252，261（'61－3，6）

アメリカ

アメリカ最高裁判所の分裂
　Ives，C.P.　法律時報　33－1（'61－1）
アメリカにおける検察官研修＜1～3＞
　内堀美通彦　法務総合研究所報　6－2，3，5（'61－2，3，5）
アメリカにおける裁判官の選任方法——わが最高裁判所裁判官に対する国民審査制度の歴史的背景＜1，2完＞
　田中英夫　法学協会雑誌　78－2，3（'61－8，9）
アメリカにおける1937年の連邦司法部改革について
　久保田きぬ子　立教法学　1（'60－3）
アメリカの最高裁判所
　服部高顕　法の支配　4（'61－1）
アメリカの最高裁判所機構改革論
　近藤綸二　法曹時報　12－3（'60－3）
合衆国請求裁判所（Court of claims）について
　田中英夫　比較法研究　22（'61－5）
公開裁判と報道の自由
　Douglas，W.O.　法曹時報　12－12（'60－12）
裁判所規則の形式的効力——アメリカにおける最近の動向に関連させて
　伊藤正己　国家学会雑誌　73－8（'60－6）
裁判所の命令の遵守を強制するための過料の増額
　塚本重頼　法律のひろば　13－3（'60－3）
ジェローム・フランクの司法過程——アメリカ裁判官の系譜＜1＞
　桜田勝義　法学　24－4（'60－11）
A.T.メースン著「タフトからウォーレンまでの最高裁判所」
　横川　博　甲南法学　2－1（'61－6）

イギリス

イギリスの最高裁判所
　伊藤正己　法の支配　4（'61－1）
イギリスの弁護士
　新村義広　法律時報　32－5（'60－4）
イギリスの弁護士
　大西芳雄　立命館法学　39/40（'61－12）
英国および北欧諸国における法律扶助制度＜2＞
　西　迪雄　法曹時報　12－2（'60－2）
英国における法律扶助制度——とくにその財政的側面に関連して
　西　迪雄　法の支配　3（'60－7）
英米法における報酬の敗訴者負担制度
　中根　宏　自由と正義　11－4（'60－4）
最高裁判所の行動と人権＜1，2完＞
　Ulmer，S.S.　法律時報資料版　3，4（'61－1，2）
H.G.Hanbury "English Courts of Law" 1953
　池田浩一　民事訴訟雑誌　7（'61－2）

ソビエト

新ロシヤ共和国裁判所構成法解説
　宮崎　昇　法律のひろば　14－1（'61－1）
新ロシヤ共和国同志裁判所規定について
　宮崎　昇　警察研究　32－8（'61－8）
ソビエト最高裁長官に聞く
　長谷川正安　法律時報　33－1（'61－1）

ソヴィエトの弁護士
　大西芳雄　立命館法学　37（'61－6）
ソヴェトの弁護士
　橋本基一　法律時報　32－5（'60－4）
ナロードナヤ・ドウルジーナーと同志裁判所
　藤田　勇　法律時報　32－4（'60－3）
ロシヤ共和国の裁判所の構成についてのロシヤ・ソビエト連邦社会主義共和国の法律
　法律のひろば　14－1（'61－1）

ドイツ

西独における法体制のナチ化と民主的権利——デュセルドルフ裁判事件の証人として
　平野義太郎　法律時報　32－6（'60－5）
ドイツの参審制度
　小野慶二　法曹時報　13－4（'61－4）
西ドイツ弁護士
　清水　誠　法律時報　32－5（'60－4）
西ドイツの労働裁判と労使の裁判官
　石川吉右衛門　法の支配　4（'61－1）
東ドイツの司法制度について
　山田　晟　法学協会雑誌　77－4（'61－2）

フランス

フランス司法研修所に関する法令の飜訳
　野田良之　司法研修所報　25（'60－7）
フランスの司法高等法院＜1～4完＞
　山本桂一　国家学会雑誌　74－2/4～9/10（'61－4，6，7）

民　事　法

民事法一般

学界回顧　1960年——民法
　島津一郎　法律時報　32－14（'60－12）
学界回顧　1961年——民法
　山畠正男　法律時報　33－13（'61－12）
私法学の反省 — わが国の法律学に欠けているもの【座談会】
　我妻　栄，鈴木竹雄，加藤一郎，矢沢　惇，三ケ月章　ジュリスト　209（'60－9）
私法の基本原則
　池川良正　民事月報　15－5（'60－5）
私法における一般条項と条理
　川崎武夫　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60－5）
資本主義の民事法とその修正
　中村宗雄　綜合法学　36（'61－7）
日本民法典の指導原理の変遷について＜1，2＞
　板山幸男　経済学季報　9－1/2，3/4（'59－11，'60－2）
民事法律相談
　望月義昭　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）
民法（今年の判例を顧りみる）
　田中　実　法律時報　32－14（'60－12）
民法（1960年の法および政治の分析）
　河村　貢　綜合法学　29（'60－12）
民法（法律学をいかに学ぶか）
　田中　実　綜合法学　22（'60－5）
民法——法律学15年の回顧と展望
　我妻　栄，加藤一郎，星野英一　ジュリスト　217（'61－1）
民法学方法論上の一つの問題
　牛尾茂夫　法学（近大）　8－2（'59－12）
民法・財産法（1960年代・法の将来と課題）
　星野英一　ジュリスト　193（'60－1）
民法典論争＜1～6完＞
　中村菊男　綜合法学　22～27（'60－5～10）
民法における善意保護の原則
　永田菊四郎　日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）
民法（財産法）の研究案内【対談】
　西村信雄，椿　寿夫　経済セミナー　45（'60－7）
民法の盲点【座談会】
　舟橋諄一，柚木　馨，谷口知平，加藤一郎　法学教室　2（'61－11）
メンガー「民法と無産者階級」，「経済的基本権」
　平野義太郎　法学セミナー　47（'60－2）
渡辺洋三著「民法と特別法」【書評】
　山主政幸　日本法学　26－5（'60－12）

民　法　総　則

池の鯉は庭園の従物か
　千種達夫　判例時報　224（'60－6）
意思表示の錯誤をめぐつて
　谷田貝三郎　法学教室　2（'61－11）
意思表示論
　今泉孝太郎　綜合法学　30（'61－1）
過失による表示
　浜上則雄　阪大法学　39（'61－7）
割賦払債務の懈怠と時効の起算点（判例百選）
　吾妻光俊　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
機関と代理の相違について
　浜上則雄　阪大法学　35（'60－6）
現代法律行為論について＜1＞
　浜上則雄　民商法雑誌　42－4（'60－7）
権利能力と嬰児
　高梨公之　法学紀要　3（'61－6）
権利能力のない社団の法律関係
　於保不二雄　法学教室　1（'61－7）
公益法人論＜7＞
　林　寿二　経済研究　11（'59－12）
個人の尊厳と両性の平等——民法1条の2について
　中川善之助　東北法学会雑誌　10（'60－11）
錯誤に基く意志表示の無効についての一考察
　杉山伸顕　司法研修所報24（'60－2）
従物と附帯施設——続・民法と農地法
　加藤正男　同志社法学　12－6（'61－3）
時効取得と177条（判例百選）
　舟橋諄一　ジュリスト　200（'60－4）
取得時効の時効期間の取得点
　倉田卓次　法律のひろば　13－11（'60－11）
時効の中断（判例百選）
　遠藤　浩　ジュリスト　200（'60－4）
時効の比較法的研究——総論
　川島武宜　比較法研究　22（'61－5）
村長の越権行為と無権代理等（判例百選）
　遠田新一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
村長の借入金受領行為と民法第110条の類推適用
　鈴木　潔　法律のひろば　13－1（'60－1）
代理意思について
　林脇トシ子　法学研究　34－4（'61－4）
代理行為と本人の詐欺——代理行為の瑕疵についての一試論
　遠田新一　政経論叢（広島）　9－3/4（'60－3）
土地の一部と時効取得
　中川善之助　法学セミナー　46（'60－1）
農業協同組合の行為能力
　村橋時郎　彦根論叢　65/67（'60－6）
判例における無効行為の転換理論について
　山本進一　明治大学法制研究所紀要　4/5（'61－5）
表見代理（判例百選）
　川井　健　ジュリスト　200（'60－4）
表見代理
　池川良正　民事月報　15－10（'60－10）
不動産貸借権と時効取得
　杉山　修　判例タイムズ　11－5（'60－5）
法人格の濫用とその対策

大野実雄　綜合法学　37（'61－8）

法人の代理と代表
我妻　栄，川島武宜，鈴木竹雄，兼子　一　私法　23（'61－10）

法定条件
三渕乾太郎　法律のひろば　14－8（'61－8）

法律行為の取消と登記（判例百選）
原島重義　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

民法案内 —— 民法の道しるべ＜総則 10～17完＞
我妻　栄　法学セミナー　46～53（'60－1～8）

民法講座 —— 総則編＜35～41完＞
小出廉二　時の法令　338～344（'60－1～3）

民法総則＜11～26＞
高橋忠雄　民事研修　33～55（'60－1～'61－11）

わが国における権利濫用理論の特質についての一考察
松本暉男　法学論集　9－5/6（'60－3）

物　　権

外観優越の民法的構成と商法的構成 —— いわゆる「善意取得」の法理をめぐつて
喜多了祐　商学討究　12－1/2（'61－　）

階層的区分所有権の系譜
遠藤厚之助　東洋法学　4－2（'61－3）

慣行小作権の生成
島津一郎　私法　22（'60－10）

近代的土地所有権の法的構造
渡辺洋三　社会科学研究　12－1（'60－8）

空域及び航空に関する民法的考察
山名寿三　日本法学　26－3（'60－10）

空間占用に関する法的考察 —— 送電線問題を通して
佐藤隆夫　法学　25－2（'61－5）

空間利用権
玉田弘毅　綜合法学　37（'61－8）

建築請負と建物所有権の帰属（判例百選）
内山尚三　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

権利の移転なき移転登記請求
野田孝明　山崎賢一　綜合法学　20（'60－3）

耕作権序説 —— 民法と農地法
加藤正男　同志社法学　12－5（'61－2）

個人権としての私所有権
戒能通孝　東京都立大学法学会雑誌　1－1（'60－11）

航空の自由と土地所有権
伊沢孝平　綜合法学　23（'60－6）

航空の自由と土地所有権
伊沢孝平　法学論集　10－1（'60－6）

自然力（地震・台風）に基因する隣地の傷害
白羽祐三　時の法令　381（'61－3）

時効取得と177条（判例百選）
舟橋諄一　ジュリスト　200（'60－4）

従物と物概念の拡張
槇　悌次　法学論集　9－5/6（'60－3）

準占有
金山正信　綜合法学　37（'61－8）

所有権の私法的制限に関する一考察 —— 占有すべき権利による制限を中心として
東　孝行　神戸法学雑誌　10－4（'61－3）

所有物返還請求と占有回収請求について
小山　昇　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

侵界建築と妨害排除請求権
玉田弘毅　法学セミナー　68（'61－11）

占有改定と即時取得
鈴木禄弥　民事研修　41（'60－9）

占有権の相続
鈴木禄弥　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

占有と所有のあいだ
末川　博　立命館法学　39/40（'61－12）

戦後沖縄の土地所有権 —— 特に取得時効との関係
仲井間宗成，砂川恵伸　流大法学　3（'61－　）

倉庫営業者の留置権について —— 特に倉荷証券発行の場合
有田喜十郎　商学論究　35（'61－9）

地下利用の法律関係 —— 特に地上権を中心として
山崎邦彦　エコノミア　18（'61－3）

通行権ノオト
入山　実　法律のひろば　14－4（'61－4）

登記欠缺の主張と信義則
入山　実　法律のひろば　14－9（'61－9）

登記請求権の観念
金山正信　同志社法学　13－3（'61－11）

特定物遺贈における物権変動の時期
鈴木禄弥　民事研修　51（'61－7）

特定物売買における所有権移転時期（判例百選）
石田喜久夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

日照権をめぐる話題
時の法令　371（'60－12）

日本民法学史の巨大な転回点 —— 末弘厳太郎「物権法上」に寄せて
川島武宜　法学セミナー　58（'61－1）

農地買収処分と民法177条（判例百選）
有倉遼吉　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

比較法からみた建物の区分所有権 —— その立法化との関連において
柚木　馨　民商法雑誌　44－1（'61－4）

舟橋諄一著「物権法」【書評】
林　良平　法律時報　33－3（'61－3）

法律相談所に現われた近隣の生活妨害
下光軍二　都市問題　51－5（'60－5）

法律相談所に現われた相隣関係の問題点
下光軍二　ジュリスト　225（'61－5）

物権行為と二重譲渡＜1～3完＞
小川幸一　判例タイムズ　11－8，10，12（'60－8，10，12）

物権的支配の方法としての登記と占有＜2＞
山中康雄　法経論集（愛知）　30（'60－3）

物権的請求権の本質
於保不二雄　法学論叢　70－2（'61－11）

物権的賃借権について
篠塚昭次　早稲田法学　36－1/2（'61－2）

物権変動の時期に関する判例の再検討＜1＞
吉原節夫　富大経済論集　7－2（'61－10）

物権法＜10～15＞
川島一郎　民事研修　34，41，43（'60－2，9，11），45，47，52（'61－1，3，8）

物権法におけるいわゆる公示の原則について
舟橋諄一 —— 菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

物上請求権
林　良平　法学セミナー　46（'60－1）

未登記の地盤所有権者の植栽した立木と対抗要件の要否
倉田卓次　ジュリスト　201（'60－5）

民法案内 —— 民法の道しるべ＜物権1～15＞
我妻　栄　法学セミナー　54～69（'60－9～'61－12）

民法177条の第三者（判例百選）
林　良平　ジュリスト　200（'60－4）

明認方法（判例百選）
藪　重夫　ジュリスト　200（'60－4）

立木所有権と対抗要件
高島平蔵　法学セミナー　65（'61－8）

立木に関する物権変動の公示 —— いわゆる明確方法について
玉田弘毅　綜合法学　21（'60－4）

入　会　権

入会権（判例百選）
穂積忠夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

入会権に関する研究ノート＜1＞
中村孝三　国土開発　10－8（'61－8）

入会権理論の再検討
鈴木一郎　東北学院大学論集　35/36（'59－11）

入会の変遷 —— 富士山北麓の西組の場合
菅沼英雄　甲斐史学　12（'60－8）

入会問題と入会紛争
渡辺洋三　世界　39－1（'61－1）

宇奈月温泉事件 —— 権利の濫用（判例百選）
幾代　通　ジュリスト　200（'60－4）

近江木之本地方の山割制度
原田敏丸　彦根論叢　65/67（'60－6）

温泉合資会社の沿革と構造
和座一清　金沢大学法文学部論集法経篇　8（'61－3）

温泉専用権（判例百選）
田中整爾　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

温泉利用の類型と温泉争議における諸問題＜1＞
和座一清　金沢法学　6－1（'60－6）

解体期にある牧野入会権の諸類型
斉藤政夫　島根農科大学研究報告　9（'61－3）

官有地上の入会権 —— 大正4年3月16日大審院第1民事部における官有地上の入会権否認判決にかんする批判
杉本　寿　福井大学学芸学部紀要社会科学　9（'60－2）

基地と入会権
畑　　穣　法学セミナー　68（'61－11）

北富士演習場と入会権
山本徳栄　時の法令　402（'61－10）

北富士演習地の法律問題
畑　　穣　法律時報　33－8（'61－8）

旧慣と入会権について
中尾番一　鳥取大学学芸学部研究報告人文科学　10－2（'59－12）

近代法の体系と旧慣による温泉権
川島武宜　法学協会雑誌　76－4（'60－5）

小繋事件 —— 入会訴訟の法社会学的検討に関する入口まで
戒能通孝　判例評論　25（'60－3）

債権的入会権と農地法上の共同利用権
岩井万亀　民商法雑誌　43－3（'60－12）

潟の埋立と旧慣上の温泉利用権
和座一清　金沢法学　7－1（'61－7）

地下水利用権統制論序説
高田源清，細川　潔　産業労働研究所報　22（'60－10）

播州 —— 山村における入会地の分割 —— 神西郡栗村
原田敏丸　彦根論叢　55（'59－6）

東富士演習場入会協定について＜1～3完＞
岩井万亀　ジュリスト　211～213（'60－10，11）

部落水没と入会の運命 —— 若干の解釈学的試論
谷口知平　民商法雑誌　43－4（'61－1）

村持山林の保護と山割制度
原田敏丸　彦根論叢　68（'60－7）

山割制度とその変遷
原田敏丸　九州文化史研究所紀要　8/9（'61－3）

林野入会権の法的構造＜1～10＞
横尾正之　林野時報　8－7～9，11，12（'60－7～9，11，12），9－1～4，10（'61－1～4，10）

林野入会権の法的構造によせて
佐々木正一　林野時報　9－2（'61－2）

六甲山における入会権解消問題の経過について
若林　泰　兵庫史学　21（'59－9）

担　保　物　権

共同根抵当
香川保一　金融法務事情　285（'61－9）

共同根抵当権の波紋 —— 更正登記ができるようのぞむ
金融法務事情　287（'61－10）

共同抵当における代位の諸問題
鈴木禄弥　金融法務事情　232（'60－2）

共同抵当に関する諸問題＜1～7完＞
香川保一　金融法務事情　257～260（'61－11，12），263，265，266（'61－1，2）

共同根抵当の一考察 —— 主として担保限度額について
吉野　衛　商事法務研究　168（'60－3）

債権とともに根抵当権の一部移転とその登記 —— 昭和35，10，24の通達をめぐつて
吉野　衛　金融法務事情　257（'60－11）

昭和35年度における不動産担保に関する判例＜上，下＞
川島一郎　商事法務研究　205，206（'61－3）

譲渡担保（判例百選）
四宮和夫　ジュリスト　200（'60－4）

譲渡担保
島田信義　綜合法学　39（'61－10）

譲渡担保【シンポジゥム】
三ケ月　章，他　私法　22（'60－10）

譲渡担保をめぐる諸問題 ——主として動産を中心に【座談会】
我妻　栄，加藤一郎，長谷部茂吉，香川保一，岩田準平，堀内　仁，三浦正次　金融法務事情　229（'60－1）

譲渡担保の受戻権について
南谷文一　中京商学論叢　6－3（'59－12）

譲渡担保の法律構成に関する若干の疑問＜1，2完＞
植林　弘　法学雑誌　6－4，7－1（'60－3，7）

譲渡担保法要綱（改訂第二試案）解説＜1，2＞
四宮和夫　立教法学　2，3（'61－2，6）

譲渡担保立法化の方途
柚木　馨　金融法務事情　229（'60－1）

担保物に対する執行と譲渡担保権の効力
鈴木重勝　綜合法学　21（'60－4）

抵当権付債権に対する転付命令による抵当権の移転とその対抗要件
鈴木信次郎　民事研修　50（'61－6）

抵当権と従物（判例百選）
於保不二雄　ジュリスト　200（'60－4）

抵当権と短期賃貸借
宮崎俊行　綜合法学　30（'61－1）

抵当権と賃借権との関係
槇　悌次　法学論集　10－6（'61－9）

抵当権によつて担保される利息・違約金について
宮崎富士美　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

抵当権における被担保債権の追加拡張 —— 約定書試案第4条第2項をめぐつて
枇杷田泰助　手形研究　4－7（'60－7）

抵当権の処分についての考察 ——とくに転抵当と順位の処分に関して
松宮　衛　信託　43（'60－6）

根抵当権取引の一般承継について
有田定一　手形研究　4－8（'60－8）

根抵当権立法化の問題点
香川保一　金融法務事情　228（'60－1）

根抵当と利息に関する登記
香川保一　商事法務研究　216（'61－7）

根抵当の有効性（判例百選）
浜上則雄　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

根抵当物件の競売と被担保債権の範囲 —— 被担保債権の発生時期をめぐつて
香川保一　金融法務事情　288（'61－10）

物権変動における対抗問題
舟橋諄一　法学教室　1（'61－7）

物上代位（判例百選）
柚木　馨　ジュリスト　200（'61－4）

法定地上権（判例百選）
幾代　通　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

法定地上権の成立しない事例
園田　格　経営と経済　41－3（'61－10）

債　　権

総　論

過失相殺における「被害者」の解釈
北村良一　法律のひろば　13－3（'60－3）

過失相殺に関する民法の規定の適用についての考察 —信頼関係としての債権関係およびそれにもとづく当事者の注意義務（協力義務）論証のための一試論
平田春二　法経論集（愛知）　33（'61－1）

詐害行為と詐害の意思
竹屋芳昭　大分大学経済論集　11－3/4（'59－10）

詐害行為の要件 —不動産の売却（判例百選）
磯村　哲　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

債権者取消権に関する一考察＜2＞
下森　定　法学志林　57－3/4（'60－1）

債権者取消権に関する諸学説について
加藤正男　綜合法学　18（'60－1）

債権者代位権（判例百選）
椿　寿夫　ジュリスト　200（'60－4）

債権者取消権（判例百選）
板木郁郎　ジュリスト　200（'60－4）

債権者取消権に関する二，三の問題について —— 判例より問題を提起して
竹屋芳昭　大分大学経済論集　12－4（'61－2）

債権に基く妨害排除請求権 —— その新たなる試論
渋川　満　綜合法学　21（'60－4）

債権の準占有と受取証書
内池慶四郎　法学研究　34－1（'61－1）

債務引受・契約上の地位の移転（判例百選）
高島平蔵　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

自然債務
沢井　裕　綜合法学　40（'61－11）

譲渡禁止債権と転付命令（判例百選）
中村英郎　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

相殺はどう考えたらよいか —— 相殺に関する最近の判例と理論
並木俊守　手形研究　4－8（'60－8）

代位弁済の場合真に代位あるか
岡村玄治　法学新報　67－7（'60－7）

代物弁済の予約と公序良俗違反（判例百選）
山主政幸　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

代物弁済の予約と暴利行為
白羽祐三　法律のひろば　14－3（'61－3）

代償請求（判例百選）
吉村徳重　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

中間最高価格（判例百選）
田中　実　ジュリスト　200（'60－4）

特定物の引渡を目的とする債権についても詐害行為は成立する —— 最高裁大法廷によつて大審院連合部判決を改める
我妻　栄　ジュリスト　234（'61－9）

判例債務引受法＜3＞
椿　寿夫　経済研究（大阪府大）　11（'59－7）

不法行為による債務の相殺禁止制度の当否
宗宮信次　自由と正義　11－10（'60－10）

保証人の求償権をめぐる諸問題＜上，中，下＞
柚木　馨　金融法務事情　261～263（'61－1）

民法第419条の解釈について
山崎邦彦　法学　25－2（'61－5）

民法541条の催告（判例百選）
山中康雄　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

契約・事務管理

請負契約に関する判例研究 —— 建築請負と建物所有権の帰属＜1＞
内山尚三　建設総合研究　10－3/4（'61－12）

牛を売る者の危険負担
末川　博　民事研修　36（'60－4）

売主瑕疵担保責任における賠償範囲 —— 最近の大阪高裁判決をめぐつて
椿　寿夫　判例評論　38（'61－6）

売主の担保責任と錯誤（判例百選）
谷田貝三郎　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

瑕疵担保（判例百選）
五十嵐　清　ジュリスト　200（'60－4）

瑕疵担保責任について＜1，2完＞—— 契約責任の構造＜3＞
北川善太郎　法学論叢　67－6，68－3（'60－9，12）

瑕疵担保と比較法＜2完＞
五十嵐　清　民商法雑誌　41－6（'60－3）

買戻権と賃貸借
広瀬武夫　法律時報　32－10（'60－8）

金銭債権
吉岡幹夫　法経論集（静岡）　12（'61－12）

契約以前の善意義務 —— 公正な契約成立の条件と消費者保護
村井藤十郎　名城法学　10－3（'61－2）

契約譲渡論＜1，2完＞
神田博司　法学新報　68－6，7（'61－6，7）

契約責任の構造とわが民法理論＜1，2完＞—— 契約責任の構造＜5完＞
北川善太郎　法学論叢　69－6，70－1（'61－9，10）

契約締結上の過失論について＜1～3完＞—— 契約責任の構造＜4＞
北川善太郎　法学論叢　69－2～4（'61－5～7）

契約の起源に関する二，三の考察
高梨公之　日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）

契約のフラストレイション法理について＜1，2＞
三和一博　法学新報　67－4，5（'60－4，5）

継続的契約と民法541条
白羽祐三　法学セミナー　67（'61－10）

公法と私法 —契約を中心にして＜14＞
渡辺洋三　民商法雑誌　41－6（'60－3）

債権各論＜5～24＞

鈴木信次郎　民事研修　33，35～38，41～49，51～56（'60－1，3～6，9～12，'61－1～5，7～12）

事情変更（判例百選）
福地俊雄　ジュリスト　200（'60－4）

消費貸借における暴利行為
石神兼文　鹿児島大学社会科報告　6（'59－7）

準事務管理
白羽祐三　綜合法学　39（'61－10）

制度的契約における均衡の意義について
金平幹夫　愛媛大学紀要社会科学　3－2（'59－12）

積極的債権侵害論について —— 契約責任の構造＜2＞
北川善太郎　法学論叢　66－5（'60－2）

拙著「契約総論」について —— 本城武雄氏に答える
加藤正男　同志社法学　13－1（'61－4）

第三者のためにする契約
中馬義直　鹿児島大学教育学部研究紀要　12別冊（'61－　）

代理人の契約締結上の過失責任
遠田新一　政経論叢（広島）　10－4（'61－4）

「只」の法理
沼　正也　時の法令　401（'61－10）

地震売買と権利の濫用
幾代　通　判例評論　34（'61－2）

貸金請求事件
山本進一　法学セミナー　64（'61－7）

賃借権
小出廉二　綜合法学　30（'61－1）

賃借権に基く妨害排除（判例百選）
好美清光　ジュリスト　200（'60－4）

賃借権の妨害排除
高島平蔵　綜合法学　22（'60－5）

賃借権の無断譲渡，転貸 —解除の抑制を中心として
水本　浩　綜合法学　20（'60－3）

賃借権の無断譲渡，無断転貸（判例百選）
広中俊雄　ジュリスト　200（'60－4）

賃貸借における信頼関係の性格
小田島真千枝　法政研究　27－1（'60－7）

賃貸人が賃貸借の存在を否定し提供された賃料の受領を拒絶した場合その後の賃料提供の要否（判例百選）
三宅正男　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

売買における所有権移転の時期
加藤正男　法学セミナー　62（'61－5）

判例に現われた賃貸借における信頼関係＜1＞
小田島真千枝　九大法学　8（'60）

プロ野球の契約関係 —— 特殊契約の一研究＜1，2完＞
本多淳彦，下山瑛二　法学雑誌　7－3，4（'60－12，'61－3）

物権的賃借権について —— 補稿
篠塚昭次　ジュリスト　225（'61－5）

前借金無効（判例百選）
西村信雄　ジュリスト　200（'60－4）

労働契約における原状回復と民法第536条2項但書について —— 最近の一判例を契機として
島田信義　早稲田法学　37－1/2（'61－12）

事故に対する自動車製造業者の損害賠償責任

不当利得

統制違反の給付と不法原因給付の成否 — 昭和35年9月16日最高裁第二小法廷判決を中心として
三渕乾太郎　法律のひろば　14－1（'61－1）

不当利得における利益と損失 — 不当利得原理の法律学的構成をめぐつて
川村泰啓　法学教室　2（'61－11）

不法原因給付（判例百選）
谷口知平　ジュリスト　200（'60－4）

不法原因給付に関する一考察
石外克喜　経済理論　54／55（'60－5）

不法行為

有田氏の権利は侵害されたか
遠田新一　法律時報　33－5（'61－5）

いくつかの法的問題点（プライバシー問題のキイポイント）
遠藤　浩　法律時報　33－5（'61－5）

慰謝料請求の因果関係
千種達夫　法律時報　32－9（'60－7）

「宴のあと」事件の訴状全文
法律時報　33－5（'61－5）

音響震動煤煙その他による生活の妨害と裁判所
川上　泉　法律時報　32－3（'60－2）

解除と塡補賠償額算定の標準時期（判例百選）
高橋康之　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

笠掛松（判例百選）
石本雅男　ジュリスト　200（'60－4）

危険物による災害と損害賠償責任
時の法令　341（'60－2）

犬猫裁判
中川善之助　法律時報　33－3（'61－3）

現代刑法理論（目的的行為論）と民法における違法・責任理論
藪　重夫　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

現代資本主義における公害の問題 — K.W. カップの所説を中心として＜1＞
太田　健　都市問題　51－5（'60－5）

鉱害賠償における因果関係
徳本　鎮　法政研究　27－2／4（'61－3）

工場の騒音と民事上の救済
千種達夫　判例時報　218（'60－4）

誤報の責任と事実証明
三島宗彦　金沢大学法文学部論集法経篇　7（'60－3）

サマセットモームの執筆倫理基準など（プライバシー問題のキイポイント）
道田信一郎　法律時報　33－5（'61－5）

債権侵害と不法行為の成立（判例百選）
高梨公之　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

自動車損害賠償保障法の民法責任
宗宮信次　日本法学　27－2（'61－5）

自動車損害賠償法の民法責任
宗宮信次　法学紀要　3（'61－6）

私生活の裏側
中川善之助　法律時報　33－5（'61－5）

高窪静江　明治大学短期大学紀要　6（'61－12）

失火責任の法律を廃止せよ
宗宮信次　自由と正義　12－2（'61－2）

失火責任法と民法717条（判例百選）
徳本　鎮　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

使用者責任（判例百選）
乾　昭三　ジュリスト　200（'60－4）

使用者責任
乾　昭三　法学セミナー　47（'60－2）

使用者責任と自動車損害賠償補障法
千種達夫　判例時報　263（'61－7）

人格権保護についての一考察 — 主として判例の見地から
岩本軍平　法経論集（新潟）　9－1（'59－11）

人権擁護機関とニューサンス
小泉初男　法律時報　32－3（'60－2）

生活妨害に対する私法上の救済
玉田弘毅　綜合法学　28（'60－11）

精神衝動による慰謝料請求権
千種達夫　判例時報　248（'61－2）

精神衝動による慰謝料請求権
樋口哲夫　民事研修　47（'61－3）

騒音による生活妨害の新判例
法律時報　32－3（'60－2）

即死と損害賠償請求権（判例百選）
山主政幸　ジュリスト　200（'60－4）

損害賠償算定と潜在的・後発的事情斟酌の可否
植林　弘　民商法雑誌　43－1（'60－10）

大学湯事件 — 不法行為と権利侵害（判例百選）
有泉　亨　ジュリスト　200（'60－4）

太陽をめぐる紛争 — 日照妨害と工事中止の仮処分
下光軍二　ジュリスト　227（'61－6）

賃借人と失火の責任（判例百選）
植林　弘　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

ニューサンス法における違法性と過失 — 日本の判例について
四宮和夫　法律時報　32－3（'60－2）

梅毒輸血
千種達夫　判例時報　254（'61－4）

梅毒輸血事件の判決
北村良一　ジュリスト　223（'61－4）

被害者死亡の場合における損害賠償の請求
浜田　稔　法経論集（静岡）　9（'60－3）

不可抗力と民事責任
伊沢孝平　法学論集　9－5／6（'60－3）

富喜丸事件 — 不法行為による損害賠償の範囲（判例百選）
四宮和夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

不法行為における違法と責任に関する試論
園田　格　経営と経済　39－4（'60－6）

不法行為における使用責任
高梨公之　綜合法学　38（'61－9）

プライバシーについて【座談会】
伊藤正己，坂西志保，舟橋聖一，平出　禾，中野次雄，山崎　佐，小林俊三，内藤頼博，津田　実
法の支配　5（'61－8）

プライバシーの侵害と名誉毀損

前田　宏　警察公論　16－6（'61－6）

弁護士費用の賠償（判例百選）
川島武宜　ジュリスト　200（'60－4）

民法における因果関係について
勝本正晃　法律時報　32－9（'60－7）

名誉毀損と真実の証明
宗宮信次　日本法学　26－3（'60－10）

わが国の民事判例における因果関係論
深谷松男　法律時報　32－9（'60－7）

親族・相続

親族・相続一般

「家」制度の構造と機能 —「家」をめぐる財産関係の考察
利谷信義　社会科学研究　13－2／3（'61－12）

家族の法哲学と「家族法」
平野秩夫　法律時報　33－9（'61－9）

家族法（1960年代法の将来と課題）
加藤一郎　ジュリスト　193（'60－1）

家族法再改正解説 — 日本における家族法最近の動向
外岡茂十郎，高野竹三郎，佐々木　宏　早稲田大学比較法研究所紀要　16（'61）

家族法における次善的性格
沼　正也　民商法雑誌　44－3（'61－6）

家族法の問題点はなにか【座談会】
永田菊四郎，高梨公之　綜合法学　27（'60－10）

熊谷開作著「歴史のなかの家族法」【書評】
玉城　肇　法律時報　32－12（'60－10）

財閥家憲と「家」制度
福島正夫　法社会学　12（'61－8）

女性に不利な家族法の規定
田村五郎　時の法令　394（'61－7）

親族法改正の問題点 — 実務を中心として＜4，5完＞
【座談会】
谷口知平，田村千代一，沢井種雄，西村信雄，加納実，中川　淳　民商法雑誌　41－4，5（'60－1，2）

親族法改正の問題点について＜4～10＞
阿川清道　戸籍　135，137，144～148（'60－1，2，8～12）

親族法 — 第7回指定研修における問題解説【ゼミナール】
岩佐節郎　民事研修　36（'60－4）

図説家族法＜6～14＞
加藤一郎　ジュリスト　223，225，227，230～232，235，238，240（'61－4～8，10～12）

転換期の我が国家族の諸問題 — 特に家族の崩壊を中心として
佐藤輝美　三重法経　8（'59－3）

中川善之助「親族法」【紹介】
青山道夫　法学　24－4（'60－11）

法律と孝道

川添清吉　青山法学論集　3－2（'61－12）

身分法の特殊性
中川善之助　法学教室　2（'61－11）

唯物史観と家族理論 — 玉城教授の批判に答えて
青山道夫　法政研究　28－1（'61－9）

我妻　栄「親族法」【書評】
青山道夫　法律時報　33－10（'61－10）

婚　姻

「足入れ」結婚の悲劇
島津一郎　法学セミナー　64（'61－7）

いわゆる婚姻予約有効判決の下級審判決
唄　孝一，佐藤良雄　法律時報資料版　12（'61－9）

夫に無断でした妻の買い物と夫の責任
長谷部茂吉　法律のひろば　13－7（'60－7）

近親婚禁止
上野雅和　九大法学　6（'59）

結婚前の法律問題
今泉孝太郎　綜合法学　25（'60－8）

婚姻と届出に関する研究
久武綾子　愛知学芸大学研究報告社会科学　10（'61－2）

婚姻の解消＜1～5＞（身分法講話）
中川善之助　法学セミナー　53～57（'60－8～12）

婚姻の成立，婚姻の効力（身分法講話）
中川善之助　法学セミナー　49～51（'60－4～6）

婚姻の成立・不成立および無効 — 民法の解釈と戸籍の訂正との関連において
谷田貝三郎　同志社法学　12－5（'61－2）

婚姻の無効および取消
篠原弘志　綜合法学　27（'60－10）

婚姻の無効と戸籍の訂正
来栖三郎　法学協会雑誌　77－1（'60－9）

婚姻法改正の問題点
家崎　宏　中京商学論叢　6－4（'60－2）

婚姻法の立法化に関する問題点
阿川清道　民事研修　44（'60－12）

婚姻予約解消の正当事由
唄　孝一　民商法雑誌　42－3（'60－6）

婚約の法的保護に関する一考察 — ドイツ法との比較考察
田村精一　法学雑誌　6－4（'60－3）

婚約破棄の責任
岩垂　肇　民商法雑誌　42－3（'60－6）

親族法の改正と婚姻の方式 — 内縁関係を中心として
竹ノ内治美　同志社法学　13－2（'61－10）

内縁 — 婚姻予約有効判決（判例百選）
島津一郎　ジュリスト　200（'60－4）

内縁（身分講話）
中川善之助　法学セミナー　52（'60－7）

内縁の法効果について — 特別法との関連で
浪川正己　法学研究（愛知）　2－1／2（'60－3）

内助の功の法的把握
沼　正也　法学セミナー　68（'61－11）

日本及び中国に於ける同姓不婚について
曾我部静雄　芸林　9－4（'58－8）

日本人の結婚観 — 新しい結婚のモラル＜1，2＞
中川善之助　法学セミナー　48，49（'60－3，4）

判例にあらわれた婚約の効力の問題
松本岩男　綜合法学　29（'60－12）

判例における婚姻予約 —— 未発表資料を求める＜1＞
家族法研究会　東京都立大学法学会雑誌　1－1（'60－11）

夫婦間の義務の reciprocity —— 婚姻の身分上の効果の実効性と限界
有地　亨　私法　22（'60－10）

夫婦の平等と夫婦財産制
中尾英俊　法律時報　33－9（'61－9）

夫婦別産制についての再検討＜1＞
人見康子　法学研究　33－7（'60－7）

結納の慣行について
太田武男　人文学報（京大）　11（'59－9）

結納の慣行について＜1，2完＞
太田武男　家庭裁判月報　12－2，3（'60－2，3）

わが民法の届出婚主義に対する批判＜1＞
西村信雄　立命館法学　37（'61－6）

離　婚

キリスト教的婚姻不解消主義の現代的意義 —— 離婚制度の再検討
大原長和　社会科学論集（九大）　1（'59－3）

協議離婚制度に関する序論
山畠正男　法学　25－2（'61－5）

協議離婚における意思と届出
高橋忠次郎　専修大学論集　23（'60－6）

姦通・不貞行為論
岩垂　肇　信州大学文理学部紀要第1部　9（'59－12）

婚姻を継続し難い重大な事由
明山和夫　民商法雑誌　45－1（'61－10）

婚姻の破綻と婚姻の効果
上野雅和　松山商大論集　12－2（'61－7）

財産分与（判例百選）
青山道夫　ジュリスト　200（'60－4）

財産分与制度の方向
中川　淳　法律時報　33－9（'61－9）

財産分与と慰藉料
中川　淳　法学セミナー　66（'61－9）

財産分与について
家崎　宏　中京商学論叢　8－1（'61－9）

私通関係の法理
明山和夫　ケース研究　59（'60－6）

抽象的離婚原因
千種達夫　判例時報　258（'61－5）

不貞の抗弁
人見康子　綜合法学　27（'60－10）

マルチン・ルターの離婚論 —— 近代的婚姻法形成史の一齣
石部雅亮　法制史研究　11（'61－3）

有責配偶者の破綻主義（判例百選）
中川善之助　ジュリスト　200（'60－4）

有責配偶者の離婚権
岩垂　肇　信州大学文理学部紀要第1部　10（'60－　）

有責配偶者の離婚請求について
真船孝充　民事研修　45（'61－1）

有責配偶者の離婚請求について —— わが国における判例・学説の現況
中川　淳　法律のひろば　13－4（'60－4）

離婚訴訟中の扶助料
久貴忠彦　阪大法学　37（'60－12）

離婚における財産分与の性格について
今中武夫　滋賀大学学芸学部紀要　10（'60－12）

離婚による助産分与請求権保全のための仮処分の許否
山主政幸　判例評論　32（'60－11）

離婚の自由
木村健助　綜合法学　37（'61－8）

離婚法をめぐる若干の問題
小池隆一　法学研究　33－12（'60－12）

離婚法改正の問題点について
浪川正己　法学研究（愛知）　2－1/2（'60－3）

親子・親権・後見

子の氏
西村信雄　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

後見監督の現況とその諸問題
代田和一　法社会学　12（'61－8）

後見人および後見監督人の選任と職務 —— 家事審判資料よりみたる後見制度
鈴木ハツヨ　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

後見法の機能とその限界 —— 孤児の救済という立場からみて
鈴木ハツヨ　法社会学　12（'61－8）

婚外子について
岩本軍平　法経論集（新潟）　9－3/4（'60－3）

人工授精子
永田菊四郎　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

親権＜1，2＞（身分法講話）
中川善之助　法学セミナー　63，64（'61－6，7）

親権と子の引渡し請求権
山主政幸　綜合法学　19（'60－2）

親権と子の労働契約
鈴木一郎　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

親権における子の財産管理 —— 後見における場合と関連させつつ
沼　正也　綜合法学　41（'61－12）

親権者の一方に子と利益相反行為のある場合の未成年者の代理行為者
上田啓次　バンキング　149（'60－8）

親権の概念
立石芳枝　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

親子＜1～4完＞（身分法講話）
中川善之助　法学セミナー　58，60～62（'61－1，3～5）

親子関係の戸籍訂正
谷口知平　法学セミナー　69（'61－12）

準正
山崎賢一　綜合法学　38（'61－9）

推定されない嫡出子
外岡茂十郎　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

誰が親権者となるか
小石寿夫　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

嫡出性の否認
高野竹三郎　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

嫡出でない子の地位
木下　明　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

内縁関係と嫡出子（判例百選）
山畠正男　ジュリスト　200（'60－4）

内縁の子の嫡出化
木下　明　政経学会雑誌　8（'60－12）

認知（判例百選）
唄　孝一　ジュリスト　200（'60－4）

認知の訴における父子関係の証明
片山金章　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

認知の遡及効
今泉孝太郎　法学研究　33－3（'60－3）

認知の遡及効
今泉孝太郎　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

認知の無効・取消
川崎秀司　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

母の認知（活きている判例）
中川善之助　法学セミナー　48（'60－3）

母の認知
田村五郎　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

非嫡出子の法律上の地位
人見康子　綜合法学　40（'61－11）

父母の共同親権
松坂佐一　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

民法826条の利益相反行為
後藤　清　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

明治前期における後見制度＜1～3完＞
青木　博　綜合法学　21，25，27（'60－4，8，10）

養育費支払義務をめぐる諸問題
石川恒夫　北大法学論集　12－1（'61－9）

幼児引渡の強制執行法（判例百選）
乾　昭三　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

養　子

外国人との養子縁組
西沢　修　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

神奈川県における渉外的養子縁組に関する若干の考察
神崎恭郎　社会事業　42－11（'59－11）

虚偽の出生届と養子縁組
久留都茂子　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

渉外養子縁組について
高尾一孝　ケース研究　66（'61－11）

事実上の養子と里子
山本正憲　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

他人の子を嫡出子として届け出た者の代諾による養子縁組（判例百選）
福地陽子　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

代諾縁組
川井　健　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

代諾離縁
太田武男　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

代諾離縁における代諾権者 —— 実際の解釈を中心として
中川　淳　立命館法学　39/40（'61－12）

日本の養子法
来栖三郎　比較法研究　20（'60－5）

夫婦養子
利谷信義　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

未成年養子の許可
潮見俊隆　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

未成年養子の許可について
中川良延　東北法学会雑誌　10（'60－11）

養子縁組の実態と性格 —— 特に岡山市における
山本正憲　法経学会雑誌　11－1（'61－6）

養子制度の目的
玉城　肇　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

離縁原因
加藤正男　中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

扶　養

家庭裁判所に現われた扶養の問題
加藤令造，高橋朝子　綜合法学　40（'61－11）

過去の扶養料（請求と求償）
村崎　満　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

公的扶助と私的扶養の限界
沼　正也　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

親権者と親子間の扶養
西原道雄　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

親族間の扶養
高野竹三郎　綜合法学　40（'61－11）

親族扶養の問題点
谷田貝三郎　綜合法学　27（'60－10）

審判による扶養義務
磯野誠一　中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60－6）

但馬山村における親族扶養の実態と意識 —— 村岡町内の大糠地区，高井地区，寺河内地区の場合
法と政治　11－4（'60－12）

夫婦間の扶養
鍛冶良堅　綜合法学　40（'61－11）

扶養と社会保障
　黒木　延　綜合法学　40（'61－11）

扶養と相続との関係
　谷田貝三郎　綜合法学　39（'61－10）

扶養問題の現実【座談会】
　佐藤ふく，湯沢雍彦，小川政亮，鍛冶良堅　綜合法学　40（'61－11）

扶養料の求償
　伊藤利夫　自田と正義　11－8（'60－8）

相　続

おい・めいの相続権
　小石寿夫　民事研修　40（'60－8）

遺産「共有」の法的構成 —— 共有論と合有論の対立をめぐつて
　品川孝次　法学会論集　11－2（'61－3）

遺産「共有」の理論 ——「遺産の分割」の性格を中心として
　玉田弘毅　法律論叢　33－5（'60－3）

遺産分割と登記手続
　原島重義　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

遺産分割と扶養
　沼　正也　法学セミナー　63（'61－6）

遺産分割に関する諸問題＜1，2＞
　山畠正男，品川孝次、藪　重夫，浅見公子　判例タイムズ　12－11，13（'60－10，12）

遺産分割の協議と調停
　星野英一　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

遺産分割の禁止
　上田徹一郎　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

遺産分割の効果について —— 遺産共有説・遺産合有説の再検討をかねて
　森泉　章　商学論集　29－4（'61－2）

遺産分割の調停条項についての問題点
　野田孝明　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

遺留分の減殺請求
　槇　悌次　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

遺留分の算定
　高梨公之　法学セミナー　48（'60－3）

遺留分の算定
　高木多喜男　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

慰藉料の相続性について
　中川　淳　法律のひろば　14－3（'61－3）

共同相続財産の法的性質
　柚木　馨　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

共同相続における遺産の管理
　於保不二雄　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

兄弟姉妹の代襲相続
　土本武司　司法研修所報　25（'60－7）

兄弟姉妹の直系卑属（甥姪）の代襲相続権 —— 近代的相続制への視点からの考察＜1＞
　石川利夫　横浜市立大学論叢　12－1（'60－10）

近代的一子相続と封建的一子相続 —— 農業基本問題と農地相続＜1～3完＞
　渡辺洋三　ジュリスト　214～216（'60－11，12）

限定承認
　山崎邦彦　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

五島の末子相続について
　大原長和　法政研究　27－2/4（'61－3）

債務の相続
　藪　重夫　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

事実上の相続放棄
　石田喜久夫　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

資本の相続と企業財産の相続
　久保欣哉　法律時報　33－9（'61－9）

審判による遺産分割 —— 分割基準を中心として
　徳体　鎮　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

占有権の相続
　鈴木禄弥　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続＜1～4＞（身分法講話）
　中川善之助　法学セミナー　65～68（'61－8～11）

相続回復請求権
　山中康雄　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続回復請求権の性質（判例百選）
　加藤永一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

相続回復と第三取得者の地位
　椿　寿夫　法律時報　33－9（'61－9）

相続欠格
　幾代　通　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続権に関する二，三の考察
　川上房子　法政研究　27－1（'60－1）

相続財産
　加藤正男　綜合法学　27（'60－10）

相続財産の評価
　谷口知平　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続財産の範囲
　遠藤　浩　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続財産の範囲の確定
　打田畯一　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続順位
　来栖三郎　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続と占有権の承継
　高木多喜男　神戸法学雑誌　9－4（'60－3）

相続とその預金実務について＜上，中，下＞
　竹田忠夫　金融法務事情　231，233，234（'60－2，3）

相続と登記
　田中整爾　中川善之助教授還暦記念論文集

6（'60－10）

相続と扶養
　高梨公之　綜合法学　40（'61－11）

相続について
　池川良正　民事月報　15－12（'60－12）

相続における特別受益者の差引計算と寄与者の割増計算
　谷口知平　法学教室　1（'61－7）

相続人の責任の根拠に関する覚書
　泉　久雄　専修大学論集　25（'61－1）

相続人の廃除
　舟橋諄一　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続人の不存在
　四宮和夫　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

相続人不存在に伴う相続財産の管理手続きについて
　成田　章　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

相続人の無限責任
　泉　久雄　法学　25－2（'61－5）

相続の承継について
　伊藤律男　法文論叢　13（'61－10）

相続の放棄
　福島四郎　綜合法学　27（'60－10）

相続分および遺留分の事前放棄
　槇　悌次　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

相続分の算定
　園田　格　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

相続分の指定
　山畠正男　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

財産分与の相続性をめぐる一考察
　中川　淳　立命館法学　34（'60－9）

相続放棄の効果
　金山正信　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

相続法規と相続の実態
　高梨公之　綜合法学　19（'60－2）

相続法の個人法的構成と相続財産の集団的帰属との矛盾
　宮川　澄　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

代襲相続の性格
　高柳真三　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

代襲相続の要件
　市川四郎　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

賃借権の相続
　白羽祐三　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

妻の相続権
　久留都茂子　東京都立商科短期大学論集　6－1（'60－3）

妻の相続権
　久留都茂子　法律時報　33－9（'61－9）

同時死亡の推定
　我妻　栄　ジュリスト　195（'60－2）

特別利益の特戻 ——とくにその特戻義務者について
　風間鶴寿　経済研究（大阪府大）　17（'60－12）

農家の相続形態 —— 実態調査と検討
　宮川　澄　河西太一郎先生在職35周年記念論文集（'60－2）

農家の相続形態 —— 実態調査と検討
　宮川　澄　立教経済学研究　13－4（'60－2）

農地相続
　高梨公之　綜合法学　30（'61－1）

農民家族の財産と相続
　稲子恒夫，稲子宜子　法政論集　13（'59－12）

農民的土地所有と農民家族の相続及び財産分割
　稲子宜子　日本福祉大学研究紀要　3（'59－12）

法定相続分に従わない遺産分割の効力
　甲斐道太郎　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

法定単純承認
　森泉　章　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

包括受遺者の地位
　阿部浩二　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

身元保証責任の相続性（判例百選）
　高木多喜男　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

民法の共同相続規定と相続の現実
　中尾英俊　中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60－10）

連帯債務の共同相続 —— 昭和34年6月19日最高裁判決を機縁として
　甲斐道太郎　甲南論集　7－5（'60－2）

連帯債務の相続（判例百選）
　有地　亨　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

遺　言

危急時遺言
　木村健助　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

遺言
　加藤永一　ジュリスト　221（'61－3）

遺言＜1＞（身分法講話）
　中川善之助　法学セミナー　69（'61－12）

遺言執行者
　田中　実　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

遺言執行者の法律上の地位に関する一考察
　大塚勝美　北九州大学商学部紀要　7（'60－7）

遺言の効力
　加藤永一　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

遺言の取消
　泉　久雄　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

遺言の方式
　佐藤隆夫　中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

民事特別法

借地・借家・住宅関係法

いわゆる移転料について
　山本実一　判例時報　269（'61－9）

改正関係資料について
　我妻　栄　法律時報資料版　4（'61－2）

買戻権と賃貸借
　広瀬武夫　法律時報　32－10（'60－8）

公営住宅家賃の私法性＜1，2完＞
　遠田新一　民商法雑誌　41－4，42－1（'60－1，4）

債務不履行と買取請求権
　広瀬武文　法律時報　32－14（'60－12）

社会的住居法の生成と発展
　篠塚昭次　民商法雑誌　42－6（'60－9）

社宅管理上必要な法律実務
　有泉　亨　日労研資料　14－1（'61－1）

社宅使用と明渡事由
　池田直視　商事法務研究　165（'60－2）

社宅の使用関係（判例百選）
　金山正信　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

社宅の設置とその管理——社宅提供の基礎理念と社宅関係の法的性格を中心として
　渡辺泰次　関西経協　15－6（'61－6）

住宅問題と借地借家法の改廃
　水本　浩　法律時報　33－6（'61－6）

借家法1条の2（判例百選）
　鈴木禄弥　ジュリスト　200（'60－4）

借家法1条の2といわゆる公益的理由
　木村保男，鈴木禄弥　法学雑誌　6－3（'60－1）

借家法・借地法＜1～3＞
　池川良正　民事月報　16－3，4，8（'61－3，4，8）

借家法の改正について——借地借家法改正要綱試案を評す
　柚木　馨　民商法雑誌　42－6（'60－9）

借家法の性格
　水本　浩　民商法雑誌　44－3（'61－3）

借地権をめぐる法律関係
　水田耕一　税務弘報　9－1（'61－1）

借地借家関係において権利濫用の法理が適用された場合における爾後の法律関係
　古山　宏　判例タイムズ　12－10（'61－9）

借地借家事件に関する裁判手続 —改正要綱試案をめぐって
　鈴木重信　法律時報　32－4（'60－3）

借地借家法改正案要綱
　法律時報資料版　4（'61－2）

借地借家法改正案要綱と現行法との対照表
　篠塚昭次　法律時報資料版　4（'61－2）

借地借家法改正準備会のこと
　川島一郎　法律時報資料版　4（'61－2）

借地借家法改正の動向——借地上の抵当権の取扱を中心として
　水田耕一　金融法務事情　228（'60－1）

借地借家法改正の問題点
　法律時報資料版　4（'61－2）

借地借家法改正要綱案
　法律時報　32－10（'60－8）

借地借家法改正要綱案に対する意見
　後藤　清　民商法雑誌　43－2（'60－11）

借地借家法改正要綱案について
　水田耕一　ジュリスト　210（'60－9）

借地借家法改正要綱案について
　水田耕一　金融法務事情　247（'60－7）

借地借家法改正要綱試案（昭和34年10月）
　法務省民事局　自由と正義　11－6（'60－6）

借地借家法改正要綱試案
　借地借家法改正準備会　法曹時報　12－1（'60－1）

借地借家法改正要綱試案をめぐつて【座談会】
　我妻　栄，広瀬武文，長谷部茂吉，川島一郎，有泉亨　法律時報　32－4（'60－3）

借地借家法改正要綱試案をめぐつて＜1，2＞【研究会】
　鈴木重信，環　昌一，平賀健太，古山　宏，星野英一，水田耕一，村上朝一，我妻　栄　ジュリスト　196，197（'60－2，3）

借地借家法改正要綱試案に関する意見書
　自由と正義　11－6（'60－6）

借地借家法改正要綱試案に対する金融界の意見について＜1，2完＞
　水田耕一　金融法務事情　240，242（'60－5，6）

借地借家法改正要綱試案について＜1，2完＞
　川島一郎　登記研究　148，150（'60－3，5）

借地借家法改正要綱試案について
　高島良一　ジュリスト　196（'60－2）

借地借家法改正要綱試案の解説
　長谷川信蔵，川島一郎，水田耕一　商事法務研究　162（'60－1）

借地借家法改正要綱試案の論点
　水田耕一　商事法務研究　171（'60－3）

借地借家法改正要綱の検討【座談会】
　我妻　栄，広瀬武文，川島一郎，長谷部茂吉，鈴木重信　法律時報　32－13，14（'60－11，12）

借地借家法改正案要綱の展望
　長谷部茂吉　法律のひろば　13－4（'60－4）

借地借家の改正と抵当権
　堀内　仁　手形研究　4－12（'60－12）

借地借家法の問題点＜14～20完＞
　高島良一　判例タイムズ　11－2，3，6，9，12（'60－2，3，6，9，12），12－4，5（'61－4，5）

借地制度はどうあるべきか
　山本　登　民商法雑誌　42－6（'60－9）

借地法改正の方向と銀行取引に及ぼす影響
　伊藤茂男　バンキング　146（'60－5）

借地法改正の問題点
　霜山精一　法学研究（愛知）　3－1（'60－12）

借地法第10条の建物の時価
　北村良一　法律のひろば　14－4（'61－4）

借地法と借家法の統一
　篠塚昭次　法律時報　32－13（'60－11）

借地法の改正について——借地借家法改正要綱試案を評す
　柚木　馨　神戸法学雑誌　9－1/2（'59－10）

借地法の見方と解き方と改め方・
　山本　登　自由と正義　11－6（'60－6）

昭和16年の借地借家法改正
　渡辺洋三　法学協会雑誌　77－3（'61－1）

鈴木禄弥著「居住権論」【書評】
　甲斐道太郎　甲南論集　7－6（'60－6）

建物と敷地利用権——他人の土地を利用する場合＜1～9＞
　広瀬武文　法律時報　33－2～10（'61－2～10）

建物の階層的区別所有権とその敷地の賃借権との関係
　後藤　清　経済理論　60（'61－3）

立退料支払を条件として家屋明渡を命ずる判決
　上杉晴一郎　判例タイムズ　12－13（'61－12）

地代家賃統制令撤廃反対の意見書
　五十嵐　清，篠塚昭次，鈴木禄弥，広中俊雄，水本浩，渡辺洋三　法律時報資料版　2（'60－12）

地代家賃統制令と借地借家法の関係——地代家賃統制令廃止に対する疑問＜1，2完＞
　水本　浩，篠塚昭次　法律時報　32－10，11（'60－8，9）

地代家賃統制令の一部を改正する法律案
　鬼沢一郎　時の法令　356（'60－7）

賃借人の著しい不信行為による解除と催告の要否（判例百選）
　白羽祐三　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

賃料増減請求権と供託
　水本　浩，篠塚昭次　ジュリスト　229（'61－7）

土地利用立体化のための民事立法の動向
　水田耕一　商事法務研究　200（'61－1）

比較法からみた建物の区分所有権——その立法化との関連において
　柚木　馨　民商法雑誌　44－1（'61－4）

不動産賃借権と相続権
　広瀬武夫　法律時報　32－13（'60－11）

未登記借地権の対抗力
　広瀬武夫　法律時報　32－11（'60－9）

未登記不動産用益権の保護——借地借家法改正要綱第21を通して
　石神兼文　鹿児島大学社会科学報告　8（'61－8）

無断増改築と賃貸借契約の解除
　広中俊雄　判例評論　26（'60－4）

明治期の借地制度
　渡辺洋三　社会科学研究　11－5/6（'60－3）

罹災都市借地借家臨時処理法15条による借地権設定に関する裁判の合憲性（判例百選）
　山木戸克己　ジュリスト　200（'60－4）

わが国における借地権の発展
　白羽祐三　法学新報　67－9（'60－9）

不動産登記法・台帳法関係

家屋の登記と民刑事責任
　前田　宏　警察公論　16－4（'61－4）

外貨債担保の根抵当——極度額のほかに「担保限度額」を登記する必要があるか
　金融法務事情　290（'61－11）

改正不動産登記法解説＜1～4完＞
　内海　一　財政経済弘報　812，813，818，823（'60－5，7）

改正不動産登記法施行後の諸問題——改正法に関する通達について
　吉野　衛　金融法務事情　245（'60－7）

改正不動産登記法に関する資料
　法務省民事局　金融法務事情　238付録（'60－4）

改正不動産登記法について
　吉野　衛　商事法務研究　185（'60－8）

改正不動産登記法の解説＜1～5＞
　吉野　衛　登記研究　149，150，152，154，156（'60－4，5，7，9，11）

改正不動産登記法の比較法的考察
　伊藤道保　法律時報　32－7（'60－6）

買戻権の登記をめぐる諸問題
　吉野　衛　金融法務事情　243（'60－6）

仮処分の登記＜1，2＞
　吉野　衛　民事研修　55，56（'61－11，12）

仮処分命令による仮登記
　岡垣　学　法学新報　67－2（'60－2）

仮登記した権利の処分とその登記手続
　内海　一　民事研修　50（'61－6）

仮登記に関する一考察
　吉野　衛　金融法務事情　256（'60－11）

仮登記の対抗力
　柚木　馨　民事研修　54（'61－10）

共有土地に対する抵当権設定とその登記手続について
　桜井正三郎　財経詳報　372（'61－3）

権利証
　幾代　通　ジュリスト　203（'60－6）

権利放棄を原因とする仮登記の抹消の可否
　桜井正三郎　民事研修　45（'61－1）

現行仮登記制度のあらまし＜1～5完＞
　内海　一　金融法務事情　280～284（'61－7～9）

現在の不動産登記制度はどうなつているか
　昼間　種　捜査研究　100（'60－3）

実体法と手続法——不動産登記に関連して
　加藤一郎　民事研修　50（'61－6）

処分禁止の仮処分登記の一考察
　吉野　衛　民事研修　48（'61－4）

昭和36年における担保権登記に関する先例の総則
　香川保一　金融法務事情　294（'61－12）

対抗力の存続には登記の存続を要するか
　鈴木信次郎　民事研修　43（'60－11）

地面師と不動産取引事故
　幾代　通　判例評論　26（'60－4）

中間省略登記（判例百選）
　甲斐道太郎　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

中間省略登記の合意について＜上＞
　川島一郎　登記研究　168（'61－11）

中間省略登記の有効性

川島一郎　民事研修　50（'61－6）

抵当権付債権の質入れの場合における登記手続上の問題点
津島一雄　民事研修　43（'60－11）

土地家屋調査士と司法書士について
能仲英雄　捜査研究　100（'60－3）

土地台帳制度沿革資料誌＜5～12＞
村上三男　登記研究　146，148～150（'60－1，3～5）　158，159，162（'61－1，2，5）

土地台帳と家屋台帳について
内海　一　捜査研究　100（'60－3）

登記義務者の権利に関する登記済証について
桜井正三郎　民事研修　55（'61－11）

登記請求権について＜1～4＞
吉野　衛　民事月報　16－5～8（'61－5～8）

登記請求権の発生と行使
金山正信　同志社法学　13－4（'61－12）

登記制度と台帳制度の統合化
内海　一　時の法令　343（'60－2）

登記制度は誰のために存するか ── 不動産登記法改正についての渡辺助教授の意見に対して
金融法務事情　235（'60－3）

登記についての昭和35年度の判例
三渕乾太郎　民事研修　46（'61－2）

登記の推定力と占有の推定力
萩　大輔　鹿児島大学社会科学報告　7（'60－9）

登記の有効要件に関する一考察 ── 最高裁の判例を中心として
三渕乾太郎　民事研修　33（'60－1）

登記法改正と不動産の現況確認
原島重義　法政研究　27－2/4（'61－3）

登記簿・台帳一元化後における不動産の表示に関する登記申請手続＜下1～5完＞
内海　一　金融法務事情　260（'60－12），264，265，267，268（'61－2，3）

登記簿と台帳の一元化について
杉之原舜一　民商法雑誌　43－1（'60－10）

登記簿と台帳の一元化について＜1～3完＞
内海　一　登記研究　149～151（'60－4～6）

判決による登記＜1＞
昼間　種　民事研修　50（'61－6）

ふたたび登記簿と台帳の一元化問題について
渡辺洋三　ジュリスト　198（'60－3）

不動産登記関係主要先例要旨集＜1＞
小倉　馨　財政経済弘報　912（'61－12）

不動産登記制度改正について
民事月報　15－4（'60－4）

不動産登記制度改正について＜2，3＞
内海　一　民事月報　15－5，6（'60－5，6）

不動産登記制度の60年ぶりの大改正 ── 不動産登記法の一部を改正する等の法律
能仲英雄　時の法令　360（'60－8）

不動産取引について知りたいこと
岩瀬徳栄　捜査研究　100（'60－3）

不動産登記法改正による保証書に関する通達・回答要旨総覧
能仲英雄　金融法務事情　278（'61－7）

不動産登記法の一部を改正する等の法律案要綱
商事法務研究　166（'60－2）

不動産登記法の一部を改正する等の法律逐条解説＜1～11＞
香川保一　登記研究　158～165，167～169（'61－1～8，10～12）

不動産登記法の一部を改正する等の法律について＜上，下＞
吉野　衛　ジュリスト　211，213（'60－10，11）

不動産登記法の一部を改正する等の法律の解説＜1，2＞
川島一郎　法曹時報　12－6，7（'60－6，7）

不動産登記法の改正と実務
能仲英雄　登記研究　149（'60－4）

不動産登記法の改正に伴なう仮登記制度の改正点
昼間　種　商事法務研究　198（'60－12）

不動産登記法の改正に伴う実務上の諸問題
吉野　衛　金融法務事情　236（'60－4）

不動産登記法の改正について
堀内　仁　バンキング　146（'60－5）

不動産登記法の改正について＜上，下＞
川島一郎　財経詳報　307，308（'60－5）

附属建物の権利関係とその登記＜上，下＞
川島一郎　登記研究　154，156（'60－9，11）

「弁済期ノ定」の登記の廃止
香川保一　民事月報　16－11（'61－11）

「弁済期ノ定」の登記は廃止できない
金融法務事情　292（'61－12）

保証制度の改正とその実際問題
昼間　種　民事研修　42（'60－10）

根抵当権の終了とその登記 ── 昭和36.5.23の民事局長通達について
金融法務事情　278（'61－7）

根抵当取引の終了とその登記
香川保一　民事研修　50（'61－6）

財団抵当

工場財団抵当制度の問題点
川島茂樹　金融法務事情　230（'60－1）

工場抵当，各種財団抵当，立木，船舶農業用動産及び建設機械の登記手続の改正について
桜井正三郎　登記研究　150（'60－5）

工場抵当登記取扱手続の一部改正について
香川保一　財経詳報　306（'60－4）

工場抵当の意義と効力＜1～3＞
昼間　種　商事法務研究　223，226，228（'61－9，11）

特殊抵当権＜9～24＞
昼間　種　民事研修　33，34，39～41，43（'60－1，2，7～9，11），45，47～49，51～56（'61－1，3～5，7～12）

供　託　法

供託
味村　治　ジュリスト　224（'61－4）

供託物払渡請求の際に提出する印鑑証明書について
村上　愷　民事研修　51（'61－7）

債権の差押又は仮差押があつた場合の第三債務者の供託の可否
中川庫雄　民事研修　41（'60－9）

信　託　法

遺言信託と相続人廃除
大阪谷公雄，他　信託　49（'61－12）

証券投資信託と再信託
大阪谷公雄　民商法雑誌　45－3（'61－12）

退職年金信託における二重受託の問題について
四宮和夫　信託　49（'61－12）

投資信託
渡辺豊樹　ジュリスト　209（'60－9）

動産信託について＜1，2＞
三武正則　商事法務研究　183，184（'60－7）

わが国信託法と信託の現状
植田一弥　バンキング　164（'61－11）

戸　籍　法

沖縄の戸籍と住民登録の断面
池川良正　戸籍　140（'60－5）

協議離婚届出書作成後の一方の翻意
篠　清　戸籍　160（'61－10）

虚偽の出生届に基く親子関係の訂正について
小石寿夫　戸籍　138（'60－3）

権利能力と戸籍 ── 民法史と経済史との交錯の一節
山主政幸　日本法学　27－2（'61－5）

子の氏の変更をめぐる諸問題＜上＞
小石寿夫　戸籍　161（'61－11）

戸籍セミナー ── 離婚・続＜1，2＞
青木義人，市川四郎，岩佐節郎，唄　孝一，平智健太，我妻　栄　ジュリスト　197，198（'60－3）

戸籍訂正原理の概説
谷口知平　民事研修　36（'60－4）

戸籍と家事審判制度
市川四郎　戸籍　150（'61－1）

戸籍法と土地区画整理法との関係についての考察
小栗忠七　都市問題　50－12（'59－12）

戸籍法62条の解釈について
小石寿夫　戸籍　142（'60－7）

高齢者についての死亡の職権記載と失踪宣告
倉持哲夫　民事研修　38（'60－6）

婚姻の無効と戸籍の訂正
来栖三郎　法学協会雑誌　77－1（'60－9）

死体検案書
我妻　栄　ジュリスト　194（'60－1）

住所認定の実務
堤　良彦　民事研修　54（'61－10）

出生証明書
我妻　栄　ジュリスト　193（'60－1）

出生証明書のもう一つの例
我妻　栄　ジュリスト　202（'60－5）

実親子に関する戸籍訂正の法理＜1，2＞
谷田貝三郎　同志社法学　12－2，3（'60－6，8）

相続資格が競合する場合の問題点
足立幸盛　民事研修　48（'61－4）

町村合併に伴う戸籍住民登録行政の問題点
横山　実　民事研修　56（'61－12）

届出期間を経過した後に届け出られた出生届に関する二つの通達をめぐる問題点の考察＜2完＞
村上　愷　民事研修　34（'60－2）

復氏論
山主政幸　法学紀要　3（'61－6）

養子縁組と追完と縁組の追認
小石寿夫　戸籍　152（'61－3）

其の他民事特別法

ある身元保証事件
小出廉二　綜合法学　21（'60－4）

遺失物法の一部改正について
西川清次　捜査研究　82（'58－9）

印鑑証明事務の問題点について
金川　勇　地方自治　164（'61－8）

供託物払渡請求の際に提出する印鑑証明書について
村上　愷　民事研修　51（'61－7）

制限超過の利息支払をめぐる法律問題
石本雅男　判例評論　30（'60－9）

電話質権の実行手続＜上，下＞── 電話質権の登録と実行手続＜6，7完＞
水田耕一　金融法務事情　233，234（'60－3）

任意に支払われた制限超過利息の効力
高橋勝好　財経詳報　333（'60－9）

身元保証
西村信雄　ジュリスト　216（'60－12）

身元保証責任の内容と範囲
浅沼　武　商事法務研究　173（'60－4）

ローマ字印鑑登録禁止と表現の自由
千種達夫　判例時報　227（'60－7）

外　国　民　事　法

諸　　国

独仏米英の私法解釈の比較考察
谷口知平　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　('60-5)

アメリカ

アメリカ合衆国の水利権制度
金沢良雄　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　('60－3)

アメリカにおけるコモン・ロー・マレッジ
不破勝敏夫　法律のひろば　13－3（'60－3）

アメリカにおける自由保有権
前田川怜子　法政論叢　10（'59－6）

アメリカにおけるRylands v. Fletcher 事件の法理の発展＜1～3＞
小堀憲助　法学新報　68－8～10（'61－8～10）

アメリカの離婚法における共謀
村井衡平　立命館法学　35（'60－12）

アメリカの離婚法における宥恕
村井衡平　立命館法学　33（'60－6）

アメリカ法における婚姻の無効及び取消原因の研究＜4完＞

重倉　祐　法学　23－4（'60－1）

アメリカ法に於けるMortgageの消滅について
竹ノ内治美　同志社法学　12－2（'60－6）

営業名称に関するPassingについて —— アメリカのコモン・ローの場合
山崎晴一　東洋法学　4－1（'60－6）

使用者の言論と支配介入
塚本重頼　法律のひろば　13－4（'60－4）

車内の喧嘩とバス会社の責任
塚本重頼　英米法学　12（'61－6）

州外における離婚と婚姻法上の本居
平　良　法学研究　33－9（'60－9）

職業監査人の過失（懈怠）と第三者に対する法律責任
永田忠哉　政経学会雑誌　8（'60－12）

他州離婚判決の効力
平　良　法学研究　33－10（'60－10）

被害者の損害軽減のための努力と損害賠償 —— ワシントン最高裁判所判決の紹介
塚本重頼　英米法学　11（'60－5）

プライバシーに関するアメリカの判例
伊藤正己　編　法の支配　5（'61－8）

米国土地法における英法の継受について＜1＞
佐藤隆夫　政経論叢　10－3（'61－12）

米国不法行為法における誣告
杉浦貫一　大阪経大論叢　24（'59－1）

米国不法行為におけるLast Clear Chance
杉浦貫一　大阪経大論叢　26（'59－11）

米国における養子入国者の法的地位
西沢　修　法と政治　11－1（'60－2）

米国における養子入国者の法的地位＜1，2完＞
西沢　修　家庭裁判月報　12－7，8（'60－7，8）

米国養子法＜1，2完＞
西沢　修　家庭裁判月報　13－2，3（'61－2，3）

名誉毀損の発表と発表者の意図 —アメリカ法の研究
塚本重頼　法学新報　68－1（'61－1）

ルイジアナ民法史序説
土井輝生　早稲田大学比較法研究所紀要　14（'60）

Trespass —— アメリカ不法行為法覚書＜1＞
金原光蔵　同志社法学　11－5（'60－2）

イギリス

イギリス現代不動産賃貸借法の構造＜3完＞
水本　浩　商経法論叢　12－2（'61－8）

イギリスにおける社会化の所有権法的構造＜3完＞
菅原勝伴　学園論集　5（'60－3）

イギリスにおける被害者の承諾の法理について
古賀哲夫　同志社法学　12－2（'60－6）

イギリスの出訴期限法
矢頭敏夫　比較法研究　22（'61－5）

イギリスの配偶者相続権
立石芳枝　綜合法学　30（'61－1）

イギリスの養子制度
田辺幸子　ジュリスト　210（'60－9）

イギリスの養子法
山本正憲　比較法研究　20（'60－5）

イギリス夫婦財産法の諸問題 —— 戦後の判例の発展
浅見公子　法学会論集　10－1/4（'60－3）

イギリス不法行為法上の因果関係
砂田卓士　法律時報　32－9（'60－7）

イギリス不法行為法の系譜 —— コモンローにおける起源と特質について
黒木三郎　法律時報　32－9（'60－7）

英国債権法
末包留三良　法学（近大）　8－3/4，9－1（'60－3，6），10－2（'61－11）

英国土地所有権法史論 —— 序説＜1＞
甲斐道太郎　甲南法学　2－1（'61－6）

英米法講座＜1～8完＞
塚本重頼　綜合法学　22～29（'60－5～12）

英米法上受益者が信託財産を追求する権利について
戸塚　登　信託　41（'59－12）

英米法における減債基金制度
藤井俊雄　法経学会雑誌　10－3（'60－12）

英米法における非嫡出父子関係の認定について
青木勢津' 紀要（愛知県立女子大学女子短大）11（'61－1）

英米法におけるニューサンス
田中和夫　法律時報　32－3（'60－2）

英法における入会権（特にforestにおける）の史的一考察
川田嗣郎　三重大学農学部学術報告　20（'60－　）

英法における売手の保証責任 —— 原理と貿易取引への適用
渡部浩太郎　商大論集　40（'61－1）

慣習的土地保有権の発展過程
畑　穣　社会科学討究　6－1（'61－6）

契約債権の譲渡と移転
守屋善輝　綜合法学　35（'61－6）

契約能力
守屋善輝　綜合法学　31（'61－2）

契約の違反と契約の解除
守屋善輝　綜合法学　38（'61－9）

契約の違反と裁判上の救済
守屋善輝　綜合法学　37（'61－8）

契約の違法性
守屋善輝　綜合法学　34（'61－5）

契約の性質と分類
守屋善輝　綜合法学　30（'61－1）

交通事故とnervous shockの法理
砂田卓士　比較法研究　21（'60－10）

制限速度を超過した警察のオートバイト過失
塚本重頼　法律のひろば　13－8（'60－8）

1958年イギリス養子法の邦訳＜1，2完＞
山本正憲　民商法雑誌　41－4，42－1（'60－1，4）

同意の真実性
守屋善輝　綜合法学　33（'61－4）

ニューサンスの法理＜1，2完＞
矢頭敏也　綜合法学　25（'60－8）

比較婚約法
松下岩雄　法政論叢　12（'60－7）

不聞示による禁反言則 —— 英米法上の権利失効の理論＜1，2＞
本城武雄　民商法雑誌　43－5，44－2（'61－2，5）

ブラックストーンにおけるニューサンスの位置づけと類型＜2完＞
矢頭敏也　早稲田法学　36－1/2（'61－2）

未成年者の福祉 —— イギリス親子法の基本原理＜1，2＞
松下岩雄　三重法経　11（'60－10），12（'61－7）

申込と承諾
守屋善輝　綜合法学　32（'61－3）

履行及び履行不能と契約の消滅
守屋善輝　綜合法学　39（'61－10）

離婚申立に対する期間的制限について
久貴忠彦　阪大法学　34（'60－2）

隷農土地保有の封建的性格
畑　穣　早稲田法学　36－3/4（'61－3）

わが国におけるイギリス土地所有法研究の進展
水本　浩　社会科学研究　11－5/6（'60－3）

Realty と Personalty —— イギリス法における物の分類
長谷川元吉　青山法学論集　2－1（'60－11）

イタリア

イタリア民法典 —— 第3編所有権＜1，2＞
風間鶴寿，石田喜久夫　経済研究（大阪府大）19，20（'61－　）

イタリア民法における相続人＜3＞
風間鶴寿　商大論集　32（'59－10）

インド

インド家族法における近代主義と民族主義
黒木三郎　比較法研究　21（'60－10）

インドの新しい後見・養子・扶養の法律
黒木三郎　国際問題研究所紀要　31（'61－7）

インドの家族関係
園田　格　東南アジア研究年報　1（'60－3），2（'61－3）

1956年ヒンドウ教徒相続法
黒木三郎　国際問題研究所紀要　28（'59－9）

朝鮮・韓国

韓国の養子制度について
池川隆徳　戸籍　149（'61－1）

朝鮮民主主義人民共和国の家族法
金　具培　法律時報　33－10（'61－10）

スイス

スイスにおける相隣法
沢井　裕　法学論集　10－2（'60－9）

スイスの離婚法における財産上の効果＜1～3完＞
内山慶之進　青山法学論集　2－2，3－1，2（'61－3，7，12）

スイス離婚法における若干の問題
加藤永一　東北法学会雑誌　10（'60－11）

スイス民法邦訳＜7～10＞
相原東孝，中川一郎　名城法学　9－2/4（'60－3），10－2～4（'60－10，'61－2，4）

身分法学者ルイ・ブリデルのフェミニズム ——「女性と権利」を中心として
松本嶂男　法学論集　9－2（'60－1）

ソビエト

ソビエト親子法の諸問題＜1～7完＞
宮崎　昇　家庭裁判月報　13－1～4，6～8（'61－1～4，6～8）

ソビエトにおける個人財産と家族
稲子恒夫　法律時報　33－9（'61－9）

ソヴェトにおける損害賠償責任 —— 過失責任と無過失責任
藤田　勇　法律時報　32－3（'60－2）

ソヴェトの養子法
中川高男　比較法研究　20（'60－5）

ソビエト法における事実婚と婚外子の保護
稲子恒夫　法政論集　14（'60－5）

チェコスロバキア

チェコスロバキアの家族法
法律時報　33－4（'61－4）

チェコスロバキアの結婚と離婚
潮見俊隆　法律時報　33－12（'61－11）

中　国

中華人民共和国の婚姻制度の特性について
丹羽友三郎　三重法経　11（'60－10）

中華人民共和国婚姻法にうかがわれる原則について
丹羽友三郎　三重法経　8（'59－3）

中華人民共和国の所有権について
倉田彣士　甲南法学　2－3（'61－12）

中華人民共和国の相続制度について
倉田彣士　甲南法学　1－2（'61－3）

中国における家族の問題 —人民公社を中心として
青山道夫　法律のひろば　13－1（'60－1）

日本及び中国における同姓不婚について
曾我部静雄　芸林　9－4（'58－8）

ドイツ

ヴェスターマン・大気汚染防止と相隣法改正のためいかなる立法措置が必要か
沢井　裕　法学論集　11－2（'61－12）

ゲルマン法における自力救済 —— ドイツ民法の制定まで
明石三郎　法学論集　10－5（'61－7）

強制民事婚主義における婚姻締結の方式 —— 西ドイツの場合を中心として
西村信雄　立命館法学　39/40（'61－12）

契約責任法におけるドイツ民法の位置 —— 契約責任の構造＜1＞
北川善太郎　法学論叢　66－4（'60－1）

19世紀ドイツ普通法学における取得時効理論
三藤邦彦　学習院大学政経学部研究年報　7（'61－2）

西独における住居法の大改正
篠塚昭次　法律時報　33－6（'61－6）

西独シュヴァルッヴァルト地方における農地の末子相続
川井　健　法学会論集　10－1/4（'60－3）

西独ヴュルテンベルクにおける農地の一子相続
川井　健　北大法学論集　12－1（'61－9）

男女同権の原理と夫婦共同関係＜１～３完＞
岩本軍平　法経論集（新潟）　9－2，10－1，2（'60－1，11，'61－1）

ドイツ国際婚姻法における改正要綱について
桑田三郎　法学新報　68－11（'61－11）

ドイツにおける債権者取消権 ── わが民法との比較において
松坂佐一　民商法雑誌　41－4（'60－1）

ドイツにおける相隣法の基礎理論
沢井　裕　法学論集　9－5/6（'60－3）

ドイツにおける夫婦の氏
唄　孝一　東京都立大学創立10周年記念論文集法経篇　（'60－3）

ドイツの消滅時効制度について
岡本　坦　比較法研究　22（'61－5）

ドイツの養子法
川井　健　比較法研究　20（'60－5）

ドイツ普通法学の錯誤論 ── 意思主義表示主義論争の意義について
村上淳一　私法　22（'60－10）

ドイツ普通法学の錯誤論
村上淳一　法学協会雑誌　76－3（'60－3）

ドイツ普通法における無効行為の転換（Konversion）理論の展望 ── ドイツ民法第140条の成立史として
山本進一　法律論叢　34－6（'61－3）

ドイツ文化斗争における強制民事婚立法＜１＞
遠田新一　政経論叢（広島）　10－1（'60－4）

ドイツ法上の因果関係論
植林　弘　法律時報　32－9（'60－7）

ドイツ法における行為基礎論の発展＜１＞── 事情変更の原則に関する比較法研究＜３＞
五十嵐　清　法学会論集　11－4（'61－7）

ドイツ法における離婚後の扶養と財産の清算
宮井忠夫　同志社法学　13－2（'61－10）

ドイツ法における離婚扶養
内山慶之進　青山法学論集　2－1（'60－11）

東独におけるドイツ民法典（1886年成立）の変革
矢ケ崎武勝　法政研究　26－3（'60－2）

独・瑞におけるインミツシオの法理
植林　弘　法律時報　32－3（'60－2）

西ドイツ民法学の現況 ── 附・ドイツ私法学者の経歴と業績
五十嵐　清　法学会論集　11－1（'60－11）

ハイニッシュ「縁組の終了と無効」【書評】
阿部浩二　法律時報　33－4（'61－4）

ファルック「金銭とその物権法における特殊な地位」【紹介】
石田喜久夫　阪大法学　36（'60－10）

マルチン・ルターの婚姻理論その序説的考察 ── 近代的家族法形成史の一断面＜１＞
石部雅亮　経済論叢　33－5（'61－1）

離婚法と婚姻の安定性
Rheinstein, M.　法社会学　12（'61－8）

Jue ad rem とその発展的消滅 ── 特定物債権の保護強化の一断面
好美清光　法学研究（一橋）　3（'61－3）

フランス

ナポレオン民法典（1804年）における家族法 ──その近代法としての論理的可能性について
稲本洋之助　社会科学研究　12－2（'60－11）

フランス氏名制度小史＜１＞
木村健助　法学論集　11－2（'61－12）

フランスにおける近隣妨害の法理＜１＞
高橋康之　立教法学　3（'61－6）

フランスの消滅時効制度
高橋康之　比較法研究　22（'61－5）

フランスの養子法
稲本洋之助　比較法研究　20（'60－5）

フランス法系における不予見理論について ── 事情変更の原則に関する比較法的研究＜２＞
五十嵐　清　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

フランス法人論序説 ──判例を中心として
小西美典　法学雑誌　6－4（'60－3）

フランス法における損害賠償の範囲及び方法について
関口　晃　東京都立大学創立10周年記念論文集法経篇　（'60－3）

フランス法における夫婦財産制の変遷
福地陽子　神戸法学雑誌　9－1/2（'59－10）

フランス法における離婚扶養の保障 ── 判例を中心として
内山慶之進　綜合法学　20（'60－3）

フランス法に見る未成年者の商人資格
大友健児　産業と科学　6（'60－3）

フランス封建制下における平等相続と長子相続
宮崎孝治郎　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

フランス民法典改正草案訳＜３＞
野田良之，稲本洋之助，沢木敬郎，大木雅夫，石崎政一郎　比較法雑誌　5－2/4（'60－3）

フランス民法と内縁
中川良延　商学討究　12－1/2（'61－　）

フランス民法典の改正の其の後
Morandiere, J. de la　比較法雑誌　5－2/4（'60－3）

ポーランド

ポーランド家族法典（1950年6月20日法）
青山道夫，有地　亨　家庭裁判月報　13－6（'61－6）

ポーランド家族法の素描
青山道夫，有地　亨　法政研究　27－2/4（'61－3）

其の他

ベトナム共和国家庭法について＜１＞
黒木義典　大阪外国語大学学報　8（'60－4）

ユーゴースラヴィアの家族法と家族構造 ──その社会変動との関連において
有地　亨　家庭裁判月報　13－5（'61－5）

商　事　法

商事法一般

大野実雄著「企業および経営の法学」【書評】
高田源清　法律時報　32－4（'60－3）

学界回顧　1960年 ── 商法
高鳥正夫　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年 ──商法
古瀬村邦夫　法律時報　33－13（'61－12）

企業の社会的新秩序と労働者の所有権形成
中村　武　法学新報　68－6（'61－6）

禁反言則と法外観説
喜多了祐　一橋論叢　45－3（'61－3）

現代企業における合理性と商法についての一考察
大塚正彦　研究論集（浜松商）　4（'60－11）

資本の相続と企業財産の相続
久保欣哉　法律時報　33－9（'61－9）

商事立法について
平賀健太　商事法務研究　192（'60－10）

商法（今年の判例を顧りみる）
谷川　久　法律時報　32－14（'60－12）

商法（法律学をいかに学ぶか）
島本英夫　綜合法学　22（'60－5）

商法（1960年の法および政治の分析）
並木俊守　綜合法学　29（'60－12）

商法 ── 法律学15年の回顧と展望【座談会】
鈴木竹雄，石井照久，矢沢　惇，鴻　常夫，竹内照夫　ジュリスト　217（'61－1）

商法学における機能主義的社会実利主義的考え方
田中誠二　青山法学論集　3－2（'61－12）

商法制定と当時の簿記普及への影響
小倉栄一郎　産業経理　20－12（'60－12）

商法ゼミナール＜１～55＞
並木俊守　時の法令　347～402（'60－4～'61－10）

商法における二つの私法原則 ── 公共の福止と公序良俗
村井藤十郎　名城法学　11－1（'61－6）

商法の解釈について
西原寛一　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60－5）

第二次世界大戦後の日本インフレーション下における連合国人所有株式の戦争損害補償額測定の会計手続
片野一郎　一橋論叢　45－5（'61－5）

日本商法典成立史序説 ── 商法典論争をめぐる諸問題
松岡正美　立命館法学　35（'60－12）

日本の商法学
鈴木竹雄　経済人　14－10（'60－10）

法人格の濫用に関する一対策
中村真澄　企業法研究　（'61－10）

物と企業
槇　悌次　綜合法学　28（'60－11）

法と実際との交渉
鈴木竹雄　東京株式懇話会会報　100（'60－1）

約款の類型と特徴
岩本　蘩　法律時報　32－6（'60－5）

商法改正問題

株式会社の計算規定の内容に関する商法改正をめぐって【座談会】
黒沢　清，大住達雄，鈴木竹雄，木村重義，吉田昂，味村　治，黒木正憲　税経通信　15－12（'60－11）

株式会社の計算に関する商法改正の要綱について
伊藤正一　税経通信　15－12（'60－11）

株式会社の計算に関する商法改正要綱法務省試案
ジュリスト　211（'60－10）

株式会社の計算の内容に関する商法改正要綱試案
上田明信　商事法務研究　190（'60－9）

株式会社の計算の内容に関する商法改正要綱試案に対する主要意見
商事法務研究　197（'60－12）

株式会社の計算の内容に関する商法改正要綱試案について
味村　治　財経詳報　334（'60－9）

株式会社の計算の内容に関する商法改正要綱法務省民事局試案
税法学　117（'60－7）

株式会社の計算の内容に関する商法改正要綱，法務省民事局試案に対する会計学的吟味＜１＞
高木康雄　経済論叢　33－6（'61－3）

株式会社の計算の内容に関する問題【座談会】
矢沢　惇，上田明信，大住達雄，黒沢　清　法律時報　32－13（'60－11）

株式会社の計算規定の改正要綱
並木俊守　税経通信　15－12（'60－11）

株式会社の計算規定はどう改正すべきか ── 商法改正法務省民事局試案の批判【研究会】
飯野利夫，上田明信，佐土井　滋，鈴木竹雄，矢沢惇，吉田　昂　ジュリスト　214（'60－10）

株式会社法中改正を要する事項に関する意見
東京商工会議所　商事法務研究　164（'60－1）

株式会社法中改正を要する事項に関する意見 ── 昭和35年1月22日
東京商工会議所　東京株式懇話会会報　101（'60－2）

繰延資産と配当制限規定 ── 商法改正試案をめぐつて
日下部与市　会計　79－2（'61－2）

繰延資産の規定とその論拠 ──法務省民事局商法改正要綱試案について＜１，２＞
浅羽二郎　武蔵大学論集　9－1，2（'61－8，11）

原価主義と低価主義 ──商法改正試案に寄せて
渡辺　進　産業経理　20－11（'60－11）

最近の商法改正要望について
三戸岡道夫　財政経済弘報　827，829，831（'60－8，9）

債権者保護の会計思考批判 ──改正商法計算規定試案に関連して
山下勝治　会計　79－1（'61－1）

債権者保護立法の現代的性格
辻　真　産業経理　21－1（'61－1）

試案における資産評価と繰延勘定
矢沢　惇　産業経理　20－10（'60－10）

商法会計規定と会計理論
　木村重義　会計　78－5（'60－11）
商法会計規定改正に関する一考察
　竜家勇一郎　経営と経済　39－3（'60－2）
商法会計規定の改正問題
　矢沢　惇　産業経理　20－2（'60－2）
商法改正試案における財産法
　河合信雄　会計　80－4（'61－10）
商法改正試案における「損益法」の観点
　江村　稔　産業経理　20－10（'60－10）
商法改正試案と税法
　武田昌輔　産業経理　21－1（'61－1）
商法改正審議の動向【座談会】
　鈴木竹雄，他　東京株式懇話会会報　101（'60－2）
商法改正審議の動向
　上田明信　東京株式懇話会会報　103（'60－4）
商法改正と会計学
　黒沢　清　会計　80－3（'61－9）
商法改正に関する意見書
　早稲田法学　36－1/2（'61－2）
商法改正の動勢
　吉田　昂　商事法務研究　200（'61－1）
商法改正の問題点
　伊沢孝平　綜合法学　30（'61－1）
商法改正の問題点 ── 法務省民事局試案をめぐつて
　原　安三郎　経団連月報　8－11（'60－11）
商法改正要綱試案における準備金について
　丹波康太郎　産業経理　21－2（'61－2）
商法改正要綱試案に対する意見
　東京商工会議所　法律時報　3（'61－1）
商法改正要綱試案と税法上の引当金
　渡辺　進　産業経理　21－2（'61－2）
商法改正要綱試案と税法との関係における問題点について＜上，下＞
　塩崎　潤　財経詳報　342，345（'60－10，11）
商法改正要綱試案に対する企業会計制度としての批判
　竹内益五郎　産業経理　21－1（'61－1）
商法改正要綱試案の解説＜上，中，下＞
　吉田　昂　金融法務事情　252～254（'60－9，10）
商法改正要綱試案の批判＜1～3完＞
　黒沢　清　財経詳報　337，339，351（'60－10，12）
商法改正要綱における資産評価条項の吟味
　飯野利夫　産業経理　20－10（'60－10）
商法改正要綱における流動資産評価規定について
　伊藤正一　産業経理　20－11（'60－11）
商法改正要綱についての実務上の見解
　佐土井　滋　税経通信　15－12（'60－11）
商法改正要綱試案についての実務上の問題点 ── 繰延資産と負債たる引当金
　佐土井　滋　産業経理　21－1（'61－1）
商法改正要綱の資産評価規定について
　山村忠平　産業経理　20－12（'60－12）
商法緊急改正問題の審議を促進せよ ──大問題と併行して小範囲の改正要望の検討も
　三戸岡道夫　商事法務研究　166（'60－2）
商法緊急改正要望事項について
　上田明信　東京株式懇話会会報　112（'61－1）
商法再改正の諸問題
　朝山豊三　自由と正義　11－8（'60－8）
商法計算規定改正の動向
　高鳥正夫　財政経済弘報　850（'61－1）
商法計算規定改正試案の問題点
　近山仁郎　産業経理　21－1（'61－1）
商法計算規定改正問題について
　金子佐一郎　経団連月報　9－5（'61－5）
商法計算規定改正要綱法務省民事局試案について
　河合信雄　立命館経済学　9－4（'60－10）
商法計算規定の改正 ──法務省民事局試案成る
　証券月報　146（'60－10）
商法計算規定の問題点【座談会】
　上田明信，飯野利夫，庭田慶一郎，大住達雄，横田正俊　財経詳報　308（'60－5）
商法計算規定の問題点と改正意見
　商法研究会　法学研究　34－2（'61－2）
商法中緊急改正要望（第4次分）について
　小山田正春　東京株式懇話会会報　104（'60－5）
商法の計算規定改正の経過について
　味村　治　金融法務事情　169（'60－3）
税務の立場からの商法改正要綱の若干の問題点
　中村平男　産業経理　21－1（'61－1）
東商の会社法改正意見とその問題点
　矢沢　惇　商事法務研究　168（'60－3）
東商の株式会社法改正意見＜1～4完＞
　伊沢　実　財政経済弘報　798～802（'60－2，3）
東商の株式会社法改正意見について＜上，下＞
　伊沢　実　財経詳報　290，292（'60－2）
法における貸借対照表の性格 ──商法における株式会社計算規定改正に関する基本問題
　池田竜彦　産業経理　20－7（'60－7）
法務省民事局試案商法改正要綱について
　西原寛一　税経セミナー　57（'61－　）
法務省民事局試案に対する各界意見
　財政経済弘報　847（'60－12）
法務省民事局の商法改正要綱試案の批判
　並木俊守　日本法学　27－3（'61－9）
民事局試案の根本問題
　鈴木竹雄　産業経理　20－10（'60－10）

商　法　総　則

営業譲渡と競業避止業務＜1，2完＞
　品川　登　民商法雑誌　43－1，3（'60－10，12）
営業の譲渡
　並木俊守　法学セミナー　56（'60－11）
営業譲受人の責任
　今井　宏　経済研究　18（'61－3）
肩書と登記記載（判例百選）

菅原菊志　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
企業会計原則に対する商法・税法の在り方【座談会】
　太田哲三，他　産業経理　21－4（'61－4）
近代会計と商法規制
　山下勝治　産業経理　21－11（'61－11）
商慣習法
　伊沢孝平　法学セミナー　54（'60－9）
商慣習法について
　島本英夫　綜合法学　40（'61－11）
商業使用人
　島本英夫　法学セミナー　55（'60－10）
商業登記の対抗力 ── 商業登記の対抗力を採用できる法律関係は何か
　小島　孝　法学教室　2（'61－11）
商業登記の未了と手形振出人たる会社の代表者の手形上の責任
　井口牧郎　ジュリスト　202（'60－5）
商業登記未了の間に振り出された手形の責任の帰属 ── 最高裁の新判例を契機に
　河本一郎　金融法務事情　246（'60－7）
商業・法人登記における添付書類の瑕疵について
　津島安秋　民事研修　40（'60－8）
商号制度の再検討 ── 登記制度に関連して
　布村勇二　北九州大学商学部紀要　2（'58－11）
商号専用権（判例百選）
　松尾和子　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
商法第1条の法理
　沢井　澄　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60－5）
商法における資産評価の原則
　高松和男　企業会計　12－15（'60－12）
商法における損益の概念
　大野実雄　税経通信　15－4（'60－4）
商法における評価理論と改正方向
　野津　務　税経通信　16－4（'61－4）
資産評価論における財産概念と費用概念
　久保欣哉　青山法学論集　2－2（'61－3）
支配人制度
　板山幸男　経済学季報　28（'61－9）
白地慣習法と約款
　金平幹夫　愛媛大学紀要社会科学　3－3（'60－12）
名板貸（判例百選）
　松尾和子　ジュリスト　200（'60－4）
名板貸人の責任
　米沢　明　法と政治　11－4（'60－12）
のれん分け
　大住達雄　法律時報　32－10（'60－8）
判例名板貸法
　小川善吉　法律のひろば　14－8（'61－8）
表見支配人
　菱田政宏　綜合法学　31（'61－2）
表見支配人についての再論
　岩本　勲　法学論集　9－5/6（'60－3）

会　社　法

会社法一般（株式会社関係を含む）

いわゆる「所有と経営の分離」観の検討 ── 企業「支配」の所在を中心として
　福岡博之　青山法学論集　2－2（'61－3）
解散後の会社の能力
　清水　新　財政経済弘報　816（'60－6）
会社の権利能力についての一考察
　鈴木　薫　諸学紀要　4（'60－6）
会社の人口調査
　大住達雄　法律時報　33－3（'61－3）
会社の法形態と実体の研究 ── 特に会社法人格の濫用と関連して＜1，2＞
　加美和照　社会科学論集（埼玉）　6（'60－11）8（'61－11）
会社法＜9～19完＞
　水田耕一　民事研修　37～47（'60－5～'61－3）
会社法 ── 補講＜1～7完＞
　水田耕一　民事研修　34～36，38，40，41（'60－2～4，6，8，9），47（'61－3）
会社法上の訴についての訴訟法学的考察
　由比宏忠　山梨大学法経論文集　8（'60－12）
会社法人格の限界の否認
　加美和照　企業法研究　（'61－10）
会社法における理論と実際
　鈴木竹雄　東京株式懇話会会報　119（'61－9）
会社法の問題点
　長谷部茂吉　法律のひろば　13－3（'60－3）
株式会社財団説再論 ── 批判に答えて
　八木　弘　神戸法学雑誌　10－1（'60－6）
株式会社定款の絶対的記載事項
　清水　新　エコノミア　17（'60－7）
株式会社における資本の企業会計法的意義 ──経営経済上の資本との同質性と異質性
　池田竜彦　産業経理　21－4（'61－4）
株式会社における「社会化」の意味
　富山康吉　立命館法学　35（'60－12）
株式会社の繰延資産
　島本英夫　同志社法学　12－5（'61－2）
株式会社法上の訴＜3～5完＞
　早川　登　名城法学　10－3，4　11－1（'61－2，4，6）
株式会社法の理念と現実
　小畑秀男　経済学論究　13－3（'59－10）
合併をめぐる諸問題＜上，下＞【座談会】
　鈴木竹雄，石井照久，矢沢　惇，三戸岡道夫，星野孝，栗野長七郎，山田辰男　ジュリスト　228，229（'61－6，7）
合併手続の概要＜1～3＞
　三東三司　東京株式懇話会会報　102～104（'60－3～5）

合併無効の訴＜１，２＞
小野木　常，小橋一郎　商事法務研究　174，176（'60－4，5）

関係会社の形成と管理の法律問題
並木俊守　日本法学　26－6（'61－2）

企業の所有と経営 — 株式会社を中心として
菱田政宏　綜合法学　41（'61－12）

近代株式会社における経営者職能
中川公一郎　六甲台論集　7－3（'60－10）

現代株式会社法構造の状況的理解によせる覚書
岩崎　稜　経済論叢　33－3（'60－9），34－3（'61－9）

商法違反・更生事件等について
玉置久弥　法律のひろば　14－3（'61－3）

商法第82条は当然の規定であるか — 並びに新入組合員の既存債務に対する責任について
小町谷操三　民商法雑誌　44－6（'61－9）

政治献金と会社の目的の範囲
崎田直次　時の法令　388（'61－5）

増資をめぐる諸問題 — 証券取引審議会の議題を中心に
高橋寿男　財経詳報　295（'60－3）

中小株式会社と商法【座談会】
石井照久，上野　宏，小川善吉，鈴木竹雄，長谷部茂吉，松田二郎，矢沢　惇　ジュリスト　232（'61－8）

中小企業のための有限責任会社形態 — 比較法的研究
高窪静江　明治大学短期大学紀要　5（'60－11）

定款の研究＜１，２＞【座談会】
小山田正春，服部栄三，永倉　勲，三東三司，味村治，三戸岡道夫　商事法務研究　180，182（'60－6，7）

投資の大衆化と株式会社法の課題
矢沢　惇　法律時報　33－2（'61－2）

東洋精糖事件の記録
商事法務研究　175（'60－5）

日本会社法に対する所感
Jennings, R.W.　商事法務研究　211（'61－5）

閉鎖的な会社 — その特徴と法規整
酒巻俊雄　早稲田法学会誌　10（'60－7）

法廷からみた会社法の問題点
長谷部茂吉　商事法務研究　179（'60－6）

法的観点から見た小規模な株式会社＜１～３＞
飯島久雄　商事法務研究　184（'60－7），203，204（'61－2）

法的観点から見た有限会社
石井照久，飯島久雄　商事法務研究　179（'60－6）

松田二郎著「会社更生法」を読む
小川善吉　ジュリスト　206（'60－7）

無限責任社員の相続人は遺産分割によつて単独入社できるか
西坂　隆　民事研修　54（'61－10）

目的範囲（判例百選）
松元　亘　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

「役員派遣契約」の意義
市村勇二　北九州大学商学部紀要　9（'61－3）

有限会社の特色
星川長七　綜合法学　31（'61－2）

会社の設立

開業準備行為（判例百選）
大原栄一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

開業準備行為の効果を会社に帰属させる方法
北沢正啓　法学教室　1（'61－7）

会社の設立に関する問題
長谷部茂吉　法律のひろば　13－12（'60－12）

株式会社設立手続の構造 — 営利財団説の立場から
八木　弘　神戸法学雑誌　10－4（'61－3）

株式会社設立の会計
長島文道　東京経済大学60周年記念論文集（'60－10）

株式会社の設立
鴻　常夫　法学セミナー　47（'60－2）

株式会社不成立の場合における発起人の責任 — 発起人の地位の再検討
平出慶道　北大法学論集　12－2（'61－12）

株式会社法に於ける発起人制度＜１，２＞
鈴木　薫　諸学紀要　6，7（'61－6，12）

会社の設立
北沢正啓　法学セミナー　58（'61－1）

発起人の契約
平出慶道　北大法学論集　12－1（'61－9）

発起人の資格要件 — 定款署名に関連する若干の問題
米沢　明　法と政治　11－1（'60－2）

株　式

違法配当と取締役の責任
竹内敏夫　法律のひろば　14－5（'61－5）

違法配当の効果
保住昭一　綜合法学　40（'61－11）

違法配当の返還義務について — 商法第290条第2項の株主には普意株主が含まれるか否か
佐伯直秀　商経論叢　9（'60－7）

いわゆる見せ金について
鮫島真男　登記研究　158（'61－1）

押印だけでなされた株券裏書の効力
高橋勝好　財経詳報　389（'61－7）

海外公募における国内手続
若林良一　商事法務研究　217（'61－7）

買取引受契約と新株引受権
吉田　昂　商事法務研究　218（'61－7）

株金の払込仮装をめぐる民，刑事責任 — 最近の判決例とその問題点
河井信太郎　財政経済弘報　843（'60－11）

株券の裏書について
河本一郎　東京株式懇話会会報　115（'61－4）

株券の譲渡をめぐる諸問題
鈴木竹雄　商事法務研究　201（'61－1）

株券の除権判決と株式質権者
高鳥正夫　法学研究　34－6（'61－6）

株券の貸借または寄託をめぐる問題
長谷部茂吉　法律のひろば　14－12（'61－12）

株券の発行と再発行
並木俊守　綜合法学　20（'60－3）

株券の振替決済制度について
三戸岡道夫　産業経理　21－11（'61－11）

株券の有価証券としての特色
河本一郎　法学教室　1（'61－7）

株券の流通をめぐる二，三の問題
中野辰二　法律のひろば　14－2（'61－2）

株券発行前の株式譲渡（判例百選）
大塚市助　ジュリスト　200（'60－4）

株券発行前の株式譲渡の効力
上野　宏　法律のひろば　14－1（'61－1）

株券発行前の株式譲渡 — 判例を中心として＜１，２完＞
竜田　節　民商法雑誌　41－6，42－2（'60－3，5）

株券振替決済制度
江村　元　拓殖大学論集　21（'59－7）

株式公募の問題点【研究会】
鈴木竹雄，矢沢　惇，三戸岡道夫，星野　孝，竹中正明　ジュリスト　233（'61－9）

株式質の特異性
境　一郎　商大論集（神戸）　40（'61－1）

株式の自由譲渡性と税法上の問題
大矢息生　税経通信　15－7（'60－7）

株式の譲渡
升本喜兵衛　法学セミナー　62（'61－5）

株式の譲渡担保
長谷部茂吉　法律のひろば　14－10（'61－10）

株式の相互保有（持合）について
大隅健一郎　法学論叢　68－5/6（'61－3）

株式の引受について — 株式純債権説の一
八木　弘　神戸法学雑誌　10－2（'60－9）

株式の物化現象について
服部栄三　東京株式懇話会会報　115（'61－4）

株式買受請求権証書について
馬場克三　産業経理　21－3（'61－3）

株式配当
島本英夫　同志社法学　12－1（'60－4）

株式配当と無償交付 — その本質と立法上ならびに解釈の若干の問題
久保欣哉　私法　22（'60－10）

株式配当（Stock Dividends）の性格
片山伍一　経済学研究（九大）　25－3（'60－1）

株式本質論について
米津昭子　綜合法学　21（'60－4）

株式名義書換の制度的意義と株主の権利
宮川茂夫　南山大学経済学部創設記念論文集（'61－9）

議決権の代理行使と経営者支配
中村一彦　富大経済論集　7－2（'61－10）

偽造の白紙委任状附株式譲渡の改正商法上の取扱い（判例百選）
服部栄三　ジュリスト　200（'60－4）

記名株式質入についての一試論
上田　宏　法学　24－4（'60－11）

記名株式の譲渡と株券の裏書 — 株券の裏書廃止論に関連して
大隅健一郎　法学論叢　67－3（'60－6）

虚偽の払込保管金証明書の記載に基く払戻請求
吉田　昂　金融法務事情　256（'60－11）

経営支配争奪の法的考察 — 株式の買占・自己株の問題と対策
中神太郎　愛知学芸大学研究報告社会科学　9（'60－3）

公募の新形態と「買取引受」契約について【座談会】
矢沢　惇，水田耕一，三戸岡道夫，岸　幸喜，角田敬始，松沢助次郎　商事法務研究　218（'61－7）

公募方法の改善に関する一提案
水田耕一　商事法務研究　195（'60－11）

資格株排除説批判 — 取締役資格と株主資格との関連についての一考察
中村一彦　富大経済論集　6－3/4（'61－3）

事故株をめぐる最近の判例
三戸岡道夫，三東三司　法律のひろば　14－6（'61－6）

自己株式の会計に関する若干の考察
会田義雄　三田学会研究　3－2（'60－6）

失念株をめぐる諸問題
菅原菊志　商事法務研究　192（'60－10）

失念株と増資株の帰属
長谷部茂吉　法律のひろば　14－3（'61－3）

資本取引の自由化と無議決権株
吉田　昂　商事法務研究　169（'60－3）

重役及び従業員の特株に関する実態調査
東北大学商法研究室　商事法務研究　201（'61－1）

償還株式に関する一考察
曾我部　豊　東京経済大学60周年記念論文集（'60－10）

商法230条をめぐる若干の問題について — 株券の除権判決に関連して
守井静雄　商学論集（福島）　29－3（'60－12）

新株の公募と株主の権利
水田耕一　法律時報　33－2（'61－2）

新株の時価発行の経済的・法的意義
竹内敏夫　産業経理　19－7（'59－7）

新株の第三者割当
大住達雄　商事法務研究　167（'60－2）

新株発行について【研究会】
鈴木竹雄，広瀬正次，星野　孝，三戸岡道夫，矢沢惇　ジュリスト　218（'61－1）

新株引受権・権利株の譲渡および株券発行前の株式譲渡
竜田　節　法学教室　2（'61－11）

新株引受権と信託財産
大阪谷公雄　信託　46（'61－3）

新株引受権に関する諸問題
中村　武　綜合法学　31（'61－2）

新株引受権法の展開＜１，２＞
八木　弘　神戸法学雑誌　11－1，2（'61－6，9）

捺印だけの株券の裏書について
三戸岡道夫　ジュリスト　221（'61－3）

配当の不当減殺・抑制とその法的規制 —「違法配当」の再検討
竹内敏夫　産業経理　21－6（'61－6）

払込期日が休日に当る場合
三戸岡道夫　商事法務研究　222（'61－9）

比較無額面株制度論
　中村　武　法学新報　67－3（'60－3）

法定準備金を配当する
　大住達雄　法律時報　32－4（'60－3）

無額面株式研究の一齣
　山本　繁　経済集志　30－6（'61－2）

無議決権株＜1，2＞
　菱田政宏　法学論集　10－2，3（'60－9，12）

名義書換の失念と新株の帰属
　菅原菊志　商事法務研究　208（'61－4）

名義書換の場所
　水田耕一　商事法務研究　163（'60－1）

株　主

株主の権利義務
　平出慶道　法学セミナー　63（'61－6）

株主の権利と義務について
　阿多実秋　鹿児島経大論集　1－1（'60－9）

株主の自益権と共益権 ── 株式純債権説の二
　八木　弘　神戸法学雑誌　10－3（'60－12）

株主の新株引受権の研究
　阪埜光男　法学研究　34－2（'61－2）

株主の地位 ── 現行法制とその立法的考察
　鈴木竹雄　商事法務研究　166（'60－2）

株主の監督権と監査役
　山村忠平　産業経理　21－6（'61－6）

株主の訴提起権＜1＞
　大沢　功　法学志林　58－1（'60－5）

少数株主の保護
　並木俊守　法律のひろば　14－4（'61－4）

少数株主の保護
　伊沢孝平　綜合法学　36（'61－7）

会社の機関

委任状勧誘と議決権代理行使
　菱田政宏　私法　22（'60－10）

株式会社の機関
　高鳥正夫　法学セミナー　60（'61－3）

株式会社の破綻と取締役の責任
　岡野哲二　バンキング　146（'60－5）

株式会社の法定的機関
　佐藤真一　上智経済論集　7－1（'60－11）

監査役制度について
　神馬新七郎　産業経理　20－3（'60－3）

監査役の権限と責任
　板山幸男　経済学季報　10－1（'60－5）

株主総会をめぐる諸問題【研究会】
　吉田　昂，服部栄三，三戸岡道夫　商事法務研究　211（'61－5）

株主総会をめぐる問題＜1～4＞
　長谷部茂吉　法律のひろば　14－5～8（'61－5～8）

株主総会決議取消の訴と裁判所の裁量権
　由比宏忠　山梨大学法経論文集　7（'59－12）

株主総会決議の瑕疵＜1，2完＞
　等々力茂富　財政経済弘報　874，875（'61－5，6）

株主総会決議の取消と追認
　今井　宏　民商法雑誌　42－2（'60－5）

株主総会決議の内容的瑕疵に関する実体法上の処理
　須藤　茂　政経論叢（国学院）　8－4（'60－3）

株主総会決議不存在確認の訴をめぐる疑問
　長谷部茂吉　ジュリスト　206（'60－7）

株主総会における株主の議決権代理行使の勧誘に関する件
　東京株式懇話会会報　103（'60－4）

株主総会に関する会社の実務
　星野　孝　ジュリスト　205（'60－7）

株主総会の権限外の決議
　竜田　節　商事法務研究　211（'61－5）

議決権代理行使 ── 株主の議決権行使と会社支配の問題として＜1，2完＞
　菱田政宏　民商法雑誌　41－5，42－1（'60－2，4）

議決権の帰属 ── 株券振替決済制度に関連して
　江村　元　拓殖大学論集　23（'60－2）

議決権の代理行使
　東京株式懇話会会報　108（'60－9）

議決権の代理行使
　矢沢　惇　東京株式懇話会会報　119（'61－9）

議決権の代理行使 ── 日・米の対比
　東京株式懇話会会報　112（'61－1）

虚偽報告に関する取締役の責任について ── 学説判例の動向を中心に
　布村勇二　北九州大学商学部紀要　7（'60－7）

決議不存在（判例百選）
　奥山恒朗　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

職務執行停止の仮処分に関する二，三の疑問
　河本喜与之　日本法学　26－5（'60－12）

少数株主の総会招集権
　竜田　節　東京株式懇話会会報　113（'60－2）

少数株主の定時総会招集請求権について
　鈴木竹雄　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

商法第252条の訴における権利保護の利益
　須藤　茂　政経論叢（国学院）　9－2（'60－10）

商法第254条の2の法意について
　大阪谷公雄，戸塚　登　民事研修　37（'60－5）

商法265条違反の手形と善意取得者の関係 ──判例の立場を起点として
　小松俊雄　明治大学法制研究所紀要　3（'60－8）

代表取締役の業務執行権限に関する一考察 ── 取締役会の決議によらない代表取締役の業務執行行為の効力と関連して
　池島宏幸　法経論集（静岡）　11（'61－2）

取締役職務代行者制度の問題点
　酒巻俊雄　法律のひろば　14－4（'61－4）

取締役職務代行者について
　星川長七　早稲田法学　36－1／2（'61－2）

取締役と会社との取引（判例百選）
　北沢正啓　ジュリスト　200（'60－4）

取締役の監視義務
　林　善助　商事法務研究　172（'60－4）

取締役の機関性
　崎田直次　綜合法学　22（'60－5）

取締役の業務監査
　山村忠平　産業経理　21－3（'61－3）

取締役の資格について
　中村一彦　信託　44（'60－9）

取締役の第三者に対する責任
　曾我部　豊　東京経大学会誌　26（'60－1）

取締役の第三者に対する責任
　上野　宏　法律のひろば　14－9（'61－9）

取締役の第三者に対する責任＜3完＞
　佐藤　庸　政治経済論叢　10－1（'60－6）

取締役の地位
　定塚英一　経営者　14－1（'60－1）

取締役の報酬の法的規制
　矢沢　惇　商事法務研究　219（'61－8）

判例に見る取締役会の決議の効力
　浅沼　武　商事法務研究　212（'61－5）

会社の計算

会計原則をめぐる商法・税法の基礎課題
　忠　佐市　産業経理　19－8（'59－8）

開発費という名の欠損金
　大住達雄　商事法務研究　196（'60－11）

課税処分における所得の認定と取引の通念 ── 株主相互金融を営む株式会社の支払う株主優待金に関する最高裁判例を契機として
　入山　実　法律のひろば　13－12（'60－12）

監査人の独立性の諸問題
　大野公義　大分大学経済論集　13－5（'61－12）

決算書類の見方
　大住達雄　法律時報　32－11（'60－9）

建設利息の配当に関する諸問題
　渡辺　実　会計　78－4（'60－10）

建設利息の本質に関する吟味 ── 会計主体論的立場より
　中野英男　大阪学芸大学紀要自然科学　8（'60－3）

資本と利益
　福岡博之　綜合法学　38（'61－9）

資本準備金
　上田明信　商事法務研究　174（'60－4）

剰余金の資本組入 ── 株式分割との関連において＜3～5完＞
　竹内昭夫　法学協会雑誌　77－1，2（'60－9，12），77－6（'61－5）

ドイツの新株式法草案における計算規定の特徴とわが商法の改正への示唆
　田中誠二　企業会計　12－10（'60－8）

配当可能利益に対する商法の立場
　池田竜彦　会計　77－5（'60－5）

わが国監査制度の過去と将来
　坂野観司　東京経済大学60周年記念論文集（'60－10）

剰余金概念の変遷について
　中込世雄　産業と科学　6（'60－3）

社　債

社債関係法の改正について
　鴻　常夫　経済人　15－12（'61－12）

社債権者集会に関する基本的研究
　佐々木良吉　日本大学創立70周年記念論文集2（'60－10）

社債法改正の方向
　鴻　常夫　法律時報　33－2（'61－2）

法律体系中における社債法の地位
　鴻　常夫　法学会論集　10－1／4（'60－3）

商法第297条の規定による社債の募集の限度について
　上田明信　商事法務研究　217（'61－7）

利益参加社債
　大住達雄　法律時報　32－9（'60－7）

利益参加社債について＜1＞
　鴻　常夫　法学協会雑誌　78－1（'61－7）

利益参加社債に関する若干の問題
　味村　治　商事法務研究　176（'60－5）

利益参加社債の概念と発行上の疑点
　植村啓治郎　法経論集（佐賀）　8－1（'60－12）

罰　則

横領の態様とその刑事責任 ── 経理不正に伴う刑事責任を中心として
　河井信太郎　産業経理　21－8（'61－8）

河井信太論著「株式会社役職員の刑事責任」【書評】
　居林次雄　一橋論叢　43－1（'60－1）

業務主処罰の理論と判例の態度
　河井信太郎　産業経理　21－5（'61－5）

経理不正をめぐる犯跡隠蔽と損害の帰属について
　河井信太郎　産業経理　21－12（'61－12）

現物出資の脱法行為とその会計処理をめぐる刑事責任
　河井信太郎　産業経理　21－6（'61－6）

商法罰則の研究 ── 犯罪主体としての会社の犯罪能力に就て
　鈴木　薫　諸学紀要　5（'61－1）

見せ金による株式払込金保管証明書の発行と取扱銀行側の民・刑事責任
　井上勝馬　バンキング　154（'61－1）

商　行　為　法

運送取扱人に関する新しい法的概念について
　永谷延夫　運輸と経済　21－12（'61－12）

外観優越の民法的構成と商法的構成 ── いわゆる「善意取得」の法理をめぐつて
　喜多了祐　商学討究　12－1／2（'61－　）

貨物引換証
　谷川　久　法学セミナー　57（'60－12）

貨物引換証
　戸田修三　法学セミナー　46（'60－1）

慣例倉荷証券法について ── 返還，善意取得，罰則，喪失
　有田喜十郎　商学論究　26，28（'59－6，12）

商行為に対する行政干渉及び監督について
　細田弥彦　高崎経済大学論集　3（'60－3）

商事売買契約法史の研究＜1～9＞
　稲脇修一郎　貿易クレームと仲裁　7－8～10（'60－8～10），8－1，8～12（'61－1，8～12）

商事留置権
鴻　常夫　法学セミナー　59（'61－2）

続・二種の運送給付請求権
村田治美　民商法雑誌　43－3（'61－12）

倉庫寄託約款について
塩田澄夫，和田茂雄　港湾　37－9（'60－9）

倉庫営業者の留置権について—— 特に倉荷証券発行の場合
有田喜十郎　商学論究　35（'61－9）

倉庫証券の記載と実際の受寄物とが相違した場合における倉庫営業者の責任（判例百選）
古瀬村邦夫　ジュリスト　200（'60－4）

造船契約とストライキについて
熊谷村作　海事問題研究　62（'60－2）

二種の運送給付請求権ないし損害賠償請求権
村田治美　民商法雑誌　44－6（'61－9）

荷主と倉庫業者間の寄託契約関係からみた荷渡依頼書の性質
有田喜十郎　商事法務研究　196（'60－11）

荷渡依頼書呈示前なされた依頼撤回の効力
川添利起　ジュリスト　206（'60－7）

陸上旅客運送法論序説
田中文信　富大経済論集　7－2（'61－10）

旅客運送の巻（商法漫筆）
戸田修三　時の法令　376（'61－1）

わが国の商法における消滅時効について＜1，2＞
阿多実秋　鹿児島経大論集　1－3，2－1（'61－3，10）

保　険　法

火災保険における残存責任
相馬勝夫　損害保険研究　22－1（'60－2）

火災保険の諸問題
石田祐六　綜合法学　32（'61－3）

火災保険普通保険約款第2条第2項を論ず—— みまき荘事件の考察及び約款改正案の提唱
戸出正夫　損害保険研究　22－4（'60－11）

火災保険普通保険約款第2条第2項の解釈について
大森忠夫　法学論叢　68－5/6（'61－3）

火災保険料の不払を理由とする契約解除の効力—— ある事例を中心として
青谷和夫　損害保険研究　22－3（'60－8）

危険団体論の効用とその限界
西島梅治　損害保険研究　22－4（'61－11）

義務的責任保険法の論理と技術
中西正明　生命保険文化研究所報　7－2（'61－6）

近因原則再論—— 木村栄一氏の批判にこたえて
横尾登米雄　損害保険研究　22－1（'60－2）

再保険契約殊に特約再保険契約最大善意性（uberrimae fidei）の考察＜1，2完＞
松木太郎　法学　24－3，4（'60－3，8）

再保険者と代位権行使に関する商慣習法（判例百選）
西島梅治　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

自動車損害賠償責任保険
海老名惣吉　綜合法学　32（'61－3）

衝突責任保険における社会法的部面について
西島弥太郎　神戸商船大学紀要文科論集　9（'61－2）

商法650条による保険請求権の移転に関する一考察＜1，2完＞
棚田良平　損害保険研究　23－1，2（'61－2，5）

生命保険金請求権と相続
遠藤　浩　学習院大学政経学部研究年報　7（'61－2）

生命保険分野の新種保険
梅岡総治　綜合法学　32（'61－3）

相互保険における剰余金分配に関する法律問題
中川　正　政経論叢（広島）　9－3/4（'60－3）

相互保険会社における保険契約者の地位＜1，2完＞
服部栄三　法学　24－3，4（'60－8，11）

損害賠償責任保険
青木時雄　損害保険研究　22－3（'60－8）

損害保険契約における塡補原則の例外について＜1，2＞
田辺康平　法学論叢（福岡）　5－2（'60－10），6－1/2（'61－12）

損害保険においての損害塡補理論の概説
石田祐六　損害保険研究　23－1（'61－2）

他人のためにする損害保険契約における商法第662条の適用
中西正明　民商法雑誌　44－4（'61－7）

被害者の直接請求権＜3＞
西島梅治　法文論叢　13（'61－10）

被保険利益
大森忠夫　法学セミナー　67（'61－10）

法学生のための保険学序説
園　乾治　綜合法学　32（'61－3）

放火と火災保険
朝川伸夫　時の法令　374（'61－1）

保険金受取人による事故発生事実の知と生命保険契約の効力
青谷和夫　綜合法学　32（'61－3）

保険金支払後における保険者の権利—— 代位・分担その吟味
青木時雄　損害保険研究　21－4（'59－11）

保険金に対する抵当権の物上代位と抵当物についての保険金請求権上の質権との関係
西島梅治　法学教室　2（'61－11）

保険法における prima facie beweis ＜3，4完＞
朝川伸夫　法学新報　67－1，4（'60－1，4）

保険料金不払による火災保険契約解除の効力
細田弥彦　高崎経済大学論集　2（'60－1）

わが国損害保険における新種保険
南出　弘　綜合法学　32（'61－3）

海商法・航空運送法

曳航に関する若干の問題

西島弥太郎　海法会誌　8（'60－10）

曳船船主の航行法上の地位
志津田氏治　海法会誌　8（'60－10）

受取船荷証券
桜井孝一　運輸と経済　20－1（'60－1）

運送人の堪航義務に基く賠償責任規定における挙証責任の分配について
原茂太一　東京商船大学研究報告人文科学　10（'60－3）

運送法の体系
村田治美　海法会誌　8（'60－10）

海運同盟の規制と法律過程
道田信一郎　法学論叢　68－2（'60－11）

海上運送人の積荷に対する責任＜1，2＞
野村市治郎　山口経済学雑誌　11－2，3（'60－7，9）

海上危険論序説・商法第815条と第829条第1号との関係—— 保険事故不誘致「義務」を中心として
瀬戸弥三次　損害保険研究　22－3（'60－8）

海上被保険利益論についての反省
横尾登米雄　綜合法学　32（'61－3）

海上保険戦争危険論＜1＞
笹井忠寿　損害保険研究　23－4（'61－11）

海上保険における衝突概念
久木久一　商学討究　12－1/2（'61－　）

海上保険に於ける担保危険，非担保危険及び免責危険の効果に関する法則
木村治郎　損害保険研究　22－4（'60－11）

海上保険における免責条項の形態
亀井利明　商学論集（関西）　5－4（'60－10）

海上保険発顕地考＜3～5＞
寺田四郎　上智法学論集　3－2（'59－10），4－1，2（'60－5，11）

海上利用行為としての船舶運用
村井藤十郎　名城法学　9－2/4（'60－3）

海商法改正にかんする一考察
小室金之助　富士論叢　4（'59－11）

改正国際航空運送条約に対する批判と根本的改正のための私見＜1，2完＞
池田文雄　法学新報　67－5，7（'60－5，7）

危険包括負担の原則の変遷
亀井利明　商学論集（関西）　5－2（'60－6）

共同海損とヨーク・アントワープ規定
岩本啓治　中京商学論叢　7－1（'60－7）

極東運賃同盟事件の審判手続打切の決定について
蘆野　弘　財政経済弘報　801（'60－3）

空中運送における注意の性格—— ジエット機時代のための試論
村井藤十郎　名城法学　10－1（'60－6）

空中運送法
伊沢孝平　綜合法学　37（'61－8）

航海の変更について
小町谷操三　海法会誌　8（'60－10）

国際海上物品運送人の責任制限と船荷証券の「運送人の本質約款」について
中井省三　神戸外大論叢　10－3/4（'60－3）

国際海上物品運送法における船舶の隠れた欠陥と堪航担保責任の一考察
原茂太一　一橋論叢　43－1（'60－1）

最近の海事法に於ける諸問題
谷川　久　経済人　14－9（'60－9）

自己所有船舶上の先取特権
小島　孝　彦根論叢　59/61（'59－10）

シフ売主の船積に関する義務
山戸嘉一　甲南法学　2－1（'61－6）

シフ売買の法理
浜田一男　法政研究　26－4（'60－4）

1950年ヨーク・アントワープ規則
窪田　宏　神戸法学雑誌　9－3（'59－12）

船内荷役と運送人固有の義務
稲脇修一郎　貿易クレームと仲裁　7－5（'60－5）

船舶所有者の委付権と責任保険法
浦田一晴　商経法論叢　11－2（'60－8）

損害防止費用と共同海損
大野栄三　産業経済研究　17（'59－8）

耐空能力担保義務
伊沢孝平　法学論集　11－2（'61－12）

滞船料の法的性質について—— いわゆる損害賠償説の立場から
佐野　彰　下関商経論集　4－2（'60－8）

第24回万国海法会総会報告—— 原子力船運航者の責任に関する条約案を中心として
谷川　久　海法会誌　8（'60－10）

定期傭船契約の性質（判例百選）
谷川　久　ジュリスト　200（'60－4）

塡補責任範囲の制限について
大野栄三　産業経済研究　21（'60－8）

内水船の法的地位
小島　孝　民事研修　38（'60－6）

二ケ国間商業航空協定をめぐる諸問題【シンポジゥム】
一又正雄，池田文雄，木村　稔，谷田正躬，浜島正金，村上治雄　空法　4（'60－2）

二国間航空運送協定の諸問題
中野直樹　外務省調査月報　2－5（'61－5）

日米海運同盟問題とその焦点
道田信一郎　商事法務研究　194（'60－11）

荷渡指図書に関する判例の綜合研究
小町谷操三　法学志林　58－2（'60－11）

荷渡指図書の呈示前になされた指図の取消の効力（判例百選）
小町谷操三　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

船荷証券の紛失とその処置
浜谷源蔵　貿易クレームと仲裁　6－4（'59－7）

保証渡—— 高田商会ビー・エル事件（判例百選）
小島　孝　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

保険法上の建造中及び発航前の船舶について
西島弥太郎　民商法雑誌　44－5（'61－8）

水先人の性質と責任＜上，下＞
藤崎道好　海事研究　40，41（'60－1，4）

霧中航法
山戸嘉一　甲南法学　1－1（'60－12）

免責委付
山戸嘉一　法学セミナー　68（'61－11）

陸揚地売買の法理

浜田一男　法政研究　27－2/4（'61－3）
離路と海上運送人の責任
中村真澄　早稲田法学　36－3/4（'61－3）
傭船契約の主要問題＜1，2＞
高橋正彦　海事問題研究　79，81（'61－7，9）
ワルソー条約におけるPreposes
菅原菊志　空法　5（'60－4）
Demise charterの性格について
鷹取　稠　経済集志　29－2/6（'59－10）

有価証券法

会社の通称名を用いて手形行為をした者の責任 —— 個人責任は負わない
小橋一郎　金融法務事情　290（'61－11）
隠れたる取立委任裏書（判例百選）
小橋一郎　ジュリスト　200（'60－4）
為替手形
河本一郎　ジュリスト　228（'61－6）
既存債務決済のための約手振出の効果（判例百選）
上柳克郎　ジュリスト　200（'60－4）
組合の手形取引
桝田文雄　法律のひろば　14－11（'61－11）
現金と小切手
大住達雄　法律時報　32－13（'60－11）
小切手
河本一郎　法学セミナー　47（'60－2）
小切手
鴻　常夫　ジュリスト　218（'61－1）
小切手における支払委託の取消
砂田卓士　法学セミナー　66（'61－9）
小切手の盗難による失権と利得償還請求権
上田　宏　東北学院大学論集　35/36（'59－11）
除権判決に対する不服申立の訴からみた除権判決制度の構造 —— 特に除権判決自体の効力について
松岡和生　明治学院論叢　66（'61－10）
除権判決と善意取得の関係
戸田修三　綜合法学　18（'60－1）
除権判決の対象となる証券
河本一郎　民商法雑誌　43－2（'60－11）
白地手形（判例百選）
河本一郎　ジュリスト　200（'60－4）
白地手形
小橋一郎　法学セミナー　65（'61－8）
白地手形補充権の範囲と善意者の保護
菅原菊志　手形研究　31（'60－4）
人的抗弁の個別性（判例百選）
高窪利一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
線引小切手取立銀行の法的地位
曾野和明　法学論集　10－1（'60－6）
手形行為と民法の諸規定
並木俊守　綜合法学　31（'61－2）
手形行為における利害の相反
高窪利一　綜合法学　20（'60－3）
手形交換
佐藤良輔　ジュリスト　213（'60－11）
手形・小切手と時効の中断
大隅健一郎　判例評論　43（'61－12）
手形小切手法の国際的分裂と理論の利益と代償
道田信一郎　法学論叢　66－5（'60－2）
手形交付の欠陥
小橋一郎　金融法務事情　261（'61－1）
手形上における署名の諸問題 —— とくに署名代理を中心として
市原正七　三重法経　9（'59－10）
手形署名の代行と偽造・無権代理との関係
小橋一郎　法学教室　1（'61－7）
手形訴訟法復活の是非について
佐藤良輔　手形研究　5－12（'61－12）
手形の裏書
河本一郎　法学セミナー　64（'61－7）
手形の利得償還請求権に関する若干の考察
村川　登　島根大学論集社会科学10周年記念集（'60－2）
手形法を中心とした善意保護の発展 —— カール・ルックスの所説を基因として
岡島吉昭　法と政治　11－1（'60－2）
手形法上の署名
本間忠彦　経済系　43（'59－9）
手形保証と人的抗弁＜1，2＞
河本一郎　神戸法学雑誌　9－1/2，3（'59－10，12）
白紙委任状附記名株券譲渡の商慣習
並木俊守　法学セミナー　69（'61－12）
払込の仮装をめぐる刑事責任
伊坂重昭　手形研究　4－12（'60－12）
判例を中心とする白地手形の解説
上田啓次　バンキング　144（'60－3）
振出地 —— 信州軽井沢（判例百選）
境　一郎　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
不渡手形の返還理由の研究【座談会】
鴻　常夫，水田耕一，上原　聴，堀内　仁　商事法務研究　174（'60－4）
不渡処分猶予のための異議申立と提供金をめぐる諸問題
水田耕一　金融法務事情　230（'60－1）
不渡届出制度の改正について
上原　聴　ジュリスト　209（'60－9）
約束手形
河本一郎　ジュリスト　202（'60－5）
約束手形
小橋一郎　法学セミナー　48（'60－3）
ヤコビの有因証券論
小島　孝　彦根論叢　65/67（'60－6）
有価証券届出制度の若干の問題
松元　亘　法学研究（一橋）　3（'61－3）
有価証券の善意取得と抗弁の制限 —— いわゆる所有権説の立場から
高窪利一　法律のひろば　14－7（'61－7）
有価証券の評価
久保欣哉　法律時報　33－2（'61－2）

有価証券理論と株券
小橋一郎　法律時報　33－2（'61－2）
利得償還請求権
高窪利一　綜合法学　39（'61－10）

商事特別法

外債発行の一形態 —— 所謂Private Placementについて
藤井俊雄　法経学会雑誌　11－2（'61－9）
計理士による公認会計士法の一部改正に関する反対意見書
木村禎橘　会計　77－4（'60－4）
公認会計士法改悪に反対する
木村禎橘　税経通信　15－5（'60－5）
公認会計士法はこれでよいか
加藤和男　税経通信　15－5（'60－5）
国際（有体）動産売買統一法案における危険負担および瑕疵担保責任について
木村五郎　尾道短期大学研究紀要　9（'60－1）
市中仲間先物取引の法律問題
今野　勉　社会科学論集（高知）　11（'61－　）

証券取引法

証券外務員の使用人的地位と代理人的地位
崎田直次　法律のひろば　14－6（'61－6）
証券外務員の法的地位
高窪利一　判例評論　36（'61－4）
証券取引所
星野　孝　ジュリスト　226（'61－5）
証券取引所におけるいわゆるバイカイについて
大隅健一郎　経済法　4（'61－10）
証券取引所の定款改正の概要について
小田　寛　財経詳報　350（'60－12）
証券取引法の改正＜4～25＞
証券　128～150（'60－1～'61－11）
証券取引法をめぐる諸問題
石津四郎　経理研究　6（'60－11）
証券の発行・流通をめぐる法律問題
野尻孝夫　法律時報　33－2（'61－2）
東京証券取引所定款の改正について
長谷場義久　財政経済弘報　845（'60－12）
呑行為の意義
河本一郎　商事法務研究　209（'61－4）
有価証券外務員の法的地位と証券会社の責任
河野綾雄　ジュリスト　230（'61－7）
有価証券外務員の法律上の地位に関する再論＜1，2＞
松岡和生　財政経済弘報　850，855（'61－1，2）
有価証券外務員論
河野綾雄　上智法学論集　5－1（'61－4）
有価証券届出書の訂正手続
若林良一　商事法務研究　228（'61－11）
有価証券届出制度と監査証明について
森谷　要　財経詳報　325（'60－8）
有価証券振替決済制度について
高橋寿男　経済法　4（'61－10）

信託業法

証券投資信託約款の法的性質
鈴木竹雄　経済法　4（'61－10）
証券投資信託と再信託
大阪谷公雄　民商法雑誌　45－3（'61－12）
証券投資信託の法的構造
竹中正明　綜合法学　35（'61－6）
信託業法施行による信託会社の変質＜上，下＞
麻島昭一　金融経済　68，69（'61－8，9）
投資信託
渡辺豊樹　ジュリスト　209（'60－9）
投資信託と金融構造の変化
県　茂　綜合法学　35（'61－6）
法律面からみた証券投資信託の問題点
渡辺豊樹　法律時報　33－2（'61－2）
我が国投資信託の生成と発展 —— 藤本有価証券投資組合の成立を中心として
永田永寿　綜合法学　35（'61－6）

資本充実・資本組入法

改正された資本充実法
野本　実　財政経済弘報　878（'61－6）
企業会計法の新動向と資本維持原則
竹内敏夫　産業経理　19－8（'59－8）
企業資本充実法の一部改正案について
野本　実　商事法務研究　206（'61－3）
今国会で成立をみた資本充実法改正の要点
野本　実　商事法務研究　213（'61－6）
再評価積立金の資本組入の促進等の措置について
野本　実　財政経済弘報　859（'61－2）
再評価積立金の資本組入の促進について —— 資本充実法の改正
野本　実　税経通信　16－2（'61－2）
再評価積立金の資本組入の促進について —— 資本充実法の一部改正措置案
野本　実　財経詳報　357（'61－1）
資本充実法の一部改正案について
野本　実　財経詳報　368（'61－3）
資本充実法の一部改正案について
前田多良夫　税務弘報　9－6（'61－6）

外国商事法

諸　国

世界各国の投資信託制度
田中正一　綜合法学　35（'61－6）

アメリカ

アメリカを中心とする海運同盟に関する諸問題
谷川　久　商事法務研究　194（'60－11）

アメリカ海運法改正について
谷川　久　商事法務研究　227（'61－11）

アメリカ海法における対物訴訟について
小島　孝　彦根論叢　70/72（'60－10）

アメリカ商取引法概説＜1～9＞
新堀　聡　貿易クレームと仲裁　8－1，3～10（'61－1，3～10）

アメリカ船優先積取制における改正1936年商船法第901条(b)条の意義
高村忠也　国民経済雑誌　101－3（'60－3）

アメリカ統一商法典における割賦販売契約
八木　弘　法律時報資料版　5（'61－3）

アメリカにおける海運同盟問題その後
谷川　久　商事法務研究　221（'61－9）

アメリカにおける証券発行流通に関する文献と資料
矢沢　惇　商事法務研究　196（'60－11）

アメリカの投資会社法の研究＜1～7＞
証券　145～151（'61－6～12）

アメリカの不動産権原保険会社など
幾代　通　民事研修　33（'60－1）

アメリカ法における株式会社の業務執行
戸塚　登　阪大法学　39（'61－7）

アメリカ法における双方過失による船舶の衝突 ──アメリカ海事法研究＜1＞
川又良也　法学論叢　69－5（'61－8）

海運同盟とアメリカの裁判権
入江啓四郎　政治経済論叢　11－2（'61－11）

ケスラーの取締役会任意機関論
山口幸五郎　甲南法学　2－1（'61－6）

荷役中の品損害に対するステベドアの責任二例
佐藤幸夫　六甲台論集　8－2（'61－7）

ノート方式による外貨借入の法律問題 ──とくにアメリカにおけるノートの法律的性質について
鴻　常夫　商事法務研究　210（'61－4）

米国海事法改正と二重運賃制
坂本勁介　法律のひろば　14－12（'61－12）

米国統一商法典信用状編逐条解説＜1～4完＞
新堀　聡　貿易クレームと仲裁　7－9～12（'60－9～12）

米国における航空運送取扱人
喜多川篤典　空法　5（'60－4）

米国の契約挫折理論＜1，2＞
稲脇修一郎　貿易クレームと仲裁　6－8/9（'59－12），7－1（'60－1）

米仏の証券取引所 ── 第1，第2取引所の比較＜上，中，下＞
高橋寿男　財経詳報　369，371，372（'61－3）

米法の合併反対株主の株式買取請求権について（訳）
高窪静江　明治大学短期大学紀要　4（'60－3）

名義書換代理人の第三者に対する責任 ──アメリカの判例を中心として
江口順一　松山商大論集　12－3（'61－10）

連結財務諸表 ── その法的規整のために＜1＞
久保欣哉　青山法学論集　2－1（'60－11）

イギリス

イギリス会社法形成史序説＜1＞
本間輝雄　経済理論　64（'61－11）

イギリス会社法と会計原則 ── 損益計算の作成規定をめぐつて＜1，2完＞
新井清光　早稲田商学　147，148（'60－7，9）

イギリス会社法における会社の会議
武市春男　中京商学論叢　7－3/4（'61－3）

イギリス会社法における株式について
武市春男　名古屋商大論集　4（'60－3）

イギリス会社法における資本の概念
武市春男　中京商学論叢　6－2（'59－9）

イギリス企業会社法の一考察 ── 群少株主の保護を中心として
蓮井良憲　政経論叢（広島）　10－1（'60－4）

イギリス小切手法の系譜
蓮井良憲　政経論叢（広島）　9－3/4（'60－3）

イギリスにおける取締役制度の系譜
山口幸五郎　甲南法学　2－3（'61－12）

イギリスにおける法律上の企業形態＜1，2＞
武市春男　中京商学論叢　7－1，2（'60－7，12）

英国海上保険法にいう海上冒険概念
広海孝一　経営と経済　39－1（'59－10）

英国株式会社法の成立と株主有限責任＜1～3＞
本間輝雄　経済理論　57，58（'60－9，11），59（'61－1）

英国における会社と会計原則
中村　忠　商経法論叢　11－6（'60－6）

英国における割賦販売制度に対する法規制
宮坂富之助　法律時報資料版　5（'61－3）

英米会社法比較考察
高窪静江　明治大学短期大学紀要　3（'59－2）

英米法における取締役の忠実義務
戸塚　登　阪大法学　34（'60－2）

英法における堪航能力
島谷英郎　法学研究　33－2（'60－2）

英法における売買契約の履行とその問題 ── Schmitthoffの所説＜1，2完＞
浜谷源蔵　貿易クレームと仲裁　7－5，6/7（'60－5，7）

ジヤスパー事件と会社法の改正 ── 英国の株式買占め
坂野幹夫　商事法務研究　164（'60－1）

18世紀イギリスにおける会社企業の発達
荒井政治　経済論集　10－4（'60－12）

タイム・チヤーターの判例
松本　博　英米法学　12（'61－6）

イタリア

イタリア株式会社法におけるコンツエルン関係規定と株式相互引受禁止について
福岡博之　青山法学論集　3－1（'61－7）

イタリア株式会社における「被支配会社」（従属会社）について
福岡博之　青山法学論集　3－2（'61－12）

イタリィ海法の概観 ── 特に外国船主への注意事項
海事問題研究　84（'61－12）

インド

インド商事法 ── 1930年インド動産売買法および1932年インド商事組合法訳
内田力蔵　早稲田大学比較法研究所紀要　11（'60）

インドの会社法と経営代理制度
金田近二　神戸外大論叢　10－3/4（'60－3）

インド流通証券法
星川長七，酒巻俊雄　早稲田大学比較法研究所紀要15（'61）

ソビエト

ソ連邦海商法＜1～3＞
平竹伝三　貿易クレームと仲裁　8－4～6（'61－4～6）

ソ連邦海商法補則
平竹伝三　早稲田商学　152（'61－5）

ソ連邦商事仲裁＜1～3＞
平竹伝三　貿易クレーム仲裁　8－7，9，10（'61－7，9，10）

ドイツ

繰延勘定の法的規整 ──ドイツ株式法とその改正草案の検討を加えた研究ノート
久保欣哉　青山法学論集　3－2（'61－12）

計算書類の確定と株主総会 ── 西独株式法草案と関連して
竹内敏夫　産業経理　20－4（'60－4）

固定資産の評価規定をめぐつて ──ドイツ株式法の場合
谷端　長　産業経理　21－6（'61－6）

資本多数決の濫用とドイツ法＜1～3完＞
竜田　節　法学論叢　68－1，2（'60－10，11），69－1（'61－4）

船員の履行補助者についての責任
平田伊和男　海上保安大学校研究報告第1部（'61）

損益計算書の公表規定とドイツ株式法
蓮井良憲　政経論叢（広島）　11－3（'61－12）

第三者の故意・過失と保険者責任（海上危険論序説の2）── Kischにおける独学説の紹介と理解＜1，2＞
瀬戸弥三次　損害保険研究　23－1，2（'61－2，5）

ドイツ株式会社成立過程における法人理論の意義 ── 夜明け前＜2＞
岩崎　稜　経済論叢（香川）　32－6（'60－3）

ドイツ株式法改正草案訳＜1，2＞
正亀慶介，八木　弘　神戸法学雑誌　11－2，3（'61－9，12）

ドイツ株式法改正の動向
喜多了祐　一橋論叢　43－1（'60－1）

ドイツ株式法における資本と利益の区分について ── 出資返還禁止原則における配当可能利益の限界画定を中心とする一考察
福田博之　青山法学論集　2－1（'60－11）

ドイツ株式法における損益計算書
竹内敏夫　産業経理　20－10（'60－10）

ドイツ株式法の小改正
保住昭一　法律論叢　35－1（'61－7）

ドイツ貸借対照表法の発展 ── 1930年の株式法草案を中心として
渡辺陽一　商学論集（福島）　29－2（'60－　）

ドイツにおける貸借対照表論生成の背景 ── その法的規制に関する考察
渡辺陽一　商学論集（福島）　28－3（'59－　）

西ドイツ新株式法草案と取締役制度
竹内敏夫　産業経理　19－12（'59－12）

西ドイツにおける海難審判
森　清　海法会誌　8（'60－10）

西ドイツにおける株式配当，無償交付と課税について
竹内昭夫　商事法務研究　173（'60－4）

秘密準備金とドイツ株式法＜1，2＞
蓮井良憲　政経論叢（広島）　10－4，11－1（'61－4，6）

フランス

海上運送人の責任 ── フランスにおける三段階説を中心として
佐藤幸夫　六甲台論集　6－2（'59－7）

最近のフランス会社法改正事情
商事法務研究　211（'61－6）

フランス航空法典の改正とワルソー条約 ── 航空旅客運送人の責任を中心として
金沢　理　空法　5（'60－4）

フランス商法典改正仮案の保守性
中村　武　綜合法学　21（'60－4）

フランスにおける航空旅客運送人の責任
金沢　理　早稲田法学　36－3/4（'61－3）

フランスにおける1909年の営業の売買および営業質に関する法，ならびにその関係法令
吉田龍夫　法学論叢（福岡）　5－2（'60－10）

フランスにおける多数決濫用理論の一面
竜田　節　私法　22（'60－10）

フランスにおける手形資金理論の展開
梶山　純　民商法雑誌　45－2（'61－11）

フランス法における株式会社の業務施行機関について ── 管理と指揮の分離
山口幸五郎　甲南法学　1－2（'61－3）

フランス陸上物品運送における免責約款
田中　昭　大阪経大論集　33（'61－12）

其の他

カナダの証券取引所について
平田日出夫　国民経済雑誌　103－6（'61－6）

Theodor Wydler著「スイス株式法における議事録作成」
加美和照　一橋論叢　43－1（'60－1）

刑　事　法

刑事法一般

イエシエック比較刑法について
斉藤金作　早稲田大学比較法研究所紀要　19（'61－5）

いわゆる責任主義についての一，二の考察
牧野英一　季刊刑政　8－4（'60－12）

沖縄の集成刑法問題【座談会】
佐藤尚武，他　国連評論　38－11/12（'59－12）

学界回顧　1960年 —— 刑法
滝川春雄　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年 —— 刑法
香川達夫　法律時報　33－13（'61－12）

刑事法（法律学をいかに学ぶか）
日沖憲郎　綜合法学　22（'60－5）

刑事法領域における法律家の使命
久礼田益喜　綜合法学　41（'61－12）

刑法（今年の判例を顧りみる）
金沢正雄　法律時報　32－14（'60－12）

刑法 —— 法律学15年の回顧と展望
内藤　謙　ジュリスト　217（'61－1）

刑法（1960年の法および政治の分析）
下村康正　綜合法学　29（'60－12）

刑法と人権 ——国連アジア地域人権セミナーに出席して
森川金寿　法律時報　32－9（'60－7）

刑法と相互的人権尊重・相互的不侵害の義務
竹田直平　甲南法学　2－2（'61－9）

刑法と道徳 —— 犯人の自己庇護その他をめぐつて
西村克彦　法律のひろば　14－12（'61－12）

刑法における思想，理論及び技術＜1～4＞
牧野英一　季刊刑政　9－1～4（'61－3，6，9，12）

刑法の国際化について＜1，2＞
牧野英一　季刊刑政　8－3，4（'60－9，12）

刑法の将来と課題
平野竜一　ジュリスト　195（'60－2）

刑法はいかに動いているか＜1，2＞
市川秀雄　季刊刑政　8－3，4（'60－9，12）

現代刑法学の課題
竹田直平　甲南法学　1－2（'61－3）

憲法調査会と刑政問題＜1，2完＞
牧野英一　季刊刑政　8－2，3（'60－6，9）

行為刑法と行為者刑法
日沖憲郎　日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）

シカゴにおける刑事法運用に関する国際会議
安倍治夫　法律時報　32－9（'60－7）

ジェロム・ホールの刑法学と法理学
小野清一郎　ジュリスト　198（'60－3）

人権の保護における刑事実体法の役割 —— 国連アジア地区人権セミナーの討議をめぐつて＜1，2＞
長島　敦　ジュリスト　204，205（'60－6，7）

人権の保護における刑事実体法の役割並びに刑事政策の諸目的及びその適正な限界について
保護月報　49（'60－9）

人権擁護における刑法の役割
平野竜一　法学協会雑誌　77－3（'61－1）

ドイツだより —— 二つの刑事会議
平野竜一　ジュリスト　229（'61－7）

道路交通取締法規は限時法か
山田弘之助　上智法学論集　5－2（'61－11）

日本刑法の特色
平野竜一　法学協会雑誌　77－6（'61－5）

比較刑事学を待望する
Glueck，S.　ジュリスト　220（'61－2）

ペッテルスの刑法論について
後藤正弘　鹿児島大学社会科報告　6（'59－7）

マラー「刑事立法のプラン」
平野義太郎　法律時報　32－8（'60－6）

改正刑法準備草案

ある傷害致死事件と準備草案
佐々木　衷　ジュリスト　205（'60－7）

いわゆる刑法と刑事訴訟法との調和理論について —— 改正刑法準備草案に関する一つの問題
井戸田　侃　立命館法学　34（'60－9）

改正刑法準備草案
本田正義　警察公論　15－6，7（'60－6，7）

改正刑法準備草案 —— 総則の部＜上，下＞【研究会】
植松　正，浦辺　衛，吉川経夫，高橋勝好，日沖憲郎，平野竜一　ジュリスト　202，203（'60－5，6）

改正刑法準備草案 —— 各側の部【研究会】
植松　正，浦辺　衛，吉川経夫，高橋勝好，日沖憲郎，平野竜一　ジュリスト　207（'60－8）

改正刑法準備草案 —— 矯正からみる【座談会】
井上弥太郎，倉見慶記，福原弘夫，朝倉京一　刑政　71－8（'60－7）

改正刑法準備草案 —— その解説と批判＜1～4＞
西山富夫　名城法学　10－1～4（'60－6，10，'61－2，3）

改正刑法準備草案各則の規定について —— 主として暴力犯罪関係の規定についての考察
武安将光　ジュリスト　205（'60－7）

改正刑法準備草案各則の問題点【座談会】
宮内　裕，吉川経夫，中山研一，佐伯千仞，毛利与一，佐々木哲蔵，植田重正，平場安治，前堀政幸，伊達秋雄　法律時報　32－10（'60－8）

改正刑法準備草案と戦前の刑法改正作業 —— 総則篇
繁田実造　法学（近大）　9－2（'60－12）

改正刑法準備草案と犯罪論
福田　平　神戸法学雑誌　11－3（'61－12）

改正刑法準備草案と法律の錯誤
福田　平　法律のひろば　13－8（'60－8）

改正刑法準備草案における違法阻却原因
宮内　裕　法律のひろば　13－8（'60－8）

改正刑法準備草案における刑および刑の適用に関する規定
香川達夫　法律のひろば　13－9（'60－9）

改正刑法準備草案における故意，過失の批判
井上祐司　法律のひろば　13－7（'60－7）

改正刑法準備草案における保安処分＜1～4完＞
小川太郎　法律のひろば　14－5～8（'61－5～8）

改正刑法準備草案について —— 責任主義刑法の基本構造
安平政吉　青山法学論集　2－2（'61－3）

改正刑法準備草案について —— その特色，矯正上の問題点，研究のためのしおり
刑政　71－7（'60－7）

改正刑法準備草案（未定稿）について＜1～4完＞
臼井滋夫　捜査研究　105～108（'60－9～12）

改正刑法準備草案について
小野清一郎　警察研究　32－6（'61－6）

改正刑法準備草案について —— 思想と理論との立場から
牧野英一　刑政　71－8（'60－7）

改正刑法準備草案について
牧野英一　法律時報　32－8（'60－6）

改正刑法準備草案の各則について —— とくに新規定に重点をおいて
柏木千秋　警察学論集　13－6（'60－6）

改正刑法準備草案の性格 —— 冷戦と政治反動に奉仕するもの
風早八十二　人権のために　6（'60－8）

改正刑法準備草案の体制的意義
宮内　裕　思想　432（'60－6）

「改正刑法準備草案」の発表にあたつて —— その成立の経過と性格【座談会】
伊達秋雄，八木　胖，中野次雄，本田正義　法律のひろば　13－5（'60－5）

「改正刑法草案（未定稿）」について
法務省刑事局　自由と正義　11－7（'60－7）

改正草案の問題点
正木　亮　自由と正義　11－7（'60－7）

海賊の罪
飯田忠雄　法律のひろば　14－12（'61－12）

過失賍物罪 —— 改正刑法準備草案批判
松尾浩也　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

仮釈放 —— 改正刑法準備草案批判
森下　忠　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

基本法改正の態度として
戒能通孝　法律時報　32－8（'60－6）

競合犯 —— 改正刑法準備草案における
谷口正孝　法律のひろば　13－8（'60－8）

競合犯 —— 改正刑法準備草案批判
井戸田　侃　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

共犯規定について
斉藤金作　法律のひろば　13－7（'60－7）

逆行化する改正刑法草案 —— 市民生活にも大きな影響
朝日ジャーナル　2－20（'60－5）

共謀共同正犯
本田正義　警察学論集　13－6（'60－6）

共謀共同正犯 —— 改正刑法準備草案批判
風早八十二　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

禁錮は廃止すべきか
所　一彦　立教法学　2（'61－2）

刑・刑の適用その他 —— 改正刑法準備草案説明
平野竜一　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

刑法改正準備草案と責任主義
佐伯千仞　法律のひろば　13－8（'60－8）

刑法改正準備草案について
佐伯千仞　立命館法学　34（'60－9）

刑法改正草案と新聞報道
山田年栄　新聞研究　107（'60－6）

刑法改正と死刑廃止
正木　亮　社会改良　3－4（'58－5）

刑法改正と親族関係
佐伯千仞　自由と正義　11－7（'60－7）

刑法改正と社会改良
西村克彦　社会改良　6－1/2（'60－12）

刑法改正と労働組合，労組運動
熊倉　武　労働法律旬報　384（'60－6）

刑法改正の中間的試案
高橋勝好　時の法令　353（'60－6）

刑法典における刑事政策上の諸問題＜1～12＞
正木　亮　法律のひろば　13－11～14－12（'60－11～'61－12）

刑法と憲法 —— 基本的人権の立場からみた改正刑法準備草案
橋本公亘　法律時報　32－8（'60－6）

刑法の改正について
木田純一　法経論集（愛知）　33（'61－1）

結果加重犯 —— 改正刑法準備草案批判
井上正治　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

原因において自由な行為
伊達秋雄　警察学論集　13－6（'60－6）

原因において自由な行為
藤木英雄　法律のひろば　13－7（'60－7）

原因において自由な行為 —— 改正刑法準備草案批判
西原春夫　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

故意と法律の錯誤
木村亀二　法律のひろば　13－9（'60－9）

死刑 —— 改正刑法準備草案批判
竹田直平　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

死刑廃止の一歩前進した —— 改正刑法準備草案について
正木　亮　社会改良　5－4（'60－8）

実体法と手続法の調和
泉　正憲　ジュリスト　205（'60－7）

執行猶予・宣告猶予
滝川春雄　法律のひろば　13－9（'60－9）

執行猶予と宣告猶予
浦辺　衛　警察学論集　13－6（'60－6）

執行猶予と宣告猶予 —— 準備草案と刑事政策＜1，2＞
平野竜一　警察研究　32－1，2（'61－1，2）

傷害 —— 改正刑法準備草案批判
金沢文雄　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

常習累犯に対する不定期刑
中野次雄　警察学論集　13－6（'60－6）

常習犯に対する不定期刑
小川太郎　法律のひろば　13－8（'60－8）

新刑法草案各則の批判的考察
木村亀二　法律時報　32－10（'60－8）

新刑法草案の批判的検討＜1，2＞
木村亀二　法学セミナー　53，54（'60－8，9）

新刑法草案論評 —— 総則編を中心として＜1，2＞
木村亀二　法律のひろば　13－7，8（'60－7，8）

準備草案を読む —— 日本刑法学会の春季総会で説明があつた部分
滝川幸辰　法律時報　32－8（'60－6）

準備草案総則の問題点【座談会】
宮内　祐，平場安治，佐伯千仞，植田重正，佐々木哲蔵，前堀政幸，中山研一，毛利与一，吉川経夫，伊達秋雄　法律時報　32－8（'60－6）

準備草案第11条から第16条について

青柳文雄　綜合法学　24（'60－7）

正犯 — 改正刑法準備草案批判
大野平吉　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

正犯及び共犯
西村克彦　法律時報　32－8（'60－6）

正犯及び共犯
植田重正　綜合法学　24（'60－7）

正犯及び共犯の改正提案
平場安治　法律のひろば　13－7（'60－7）

責任能力（改正刑法準備草案論評）
西村克彦　法律のひろば　13－7（'60－7）

宣告猶予
安平政吉　綜合法学　24（'60－7）

宣告猶予について
横井大三　ジュリスト　205（'60－7）

騒擾予備罪について — 改正刑法準備草案批判
中山研一　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

治療処分・禁断処分（改正刑法準備草案批判）
樋口幸吉　法律のひろば　13－12（'60－12）

中止犯 — 改正刑法準備草案批判
香川達夫　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

中止犯，不能犯
宮原三男　綜合法学　24（'60－7）

懲役と禁錮 — 準備草案と刑事政策上の諸問題＜2＞
平野竜一　ジュリスト　222（'61－3）

背任罪 — 改正刑法準備草案批判
木村静子　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

爆発物に関する罪 — 改正刑法準備草案批判
中山研一　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

罰金刑に関する二，三の問題 — 改正刑法準備草案に対する私の注文
正田満三郎　判例時報　222（'60－5）

犯罪 — 改正刑法準備草案説明
植松　正　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

犯罪規定上の問題点
大塚　仁　警察学論集　13－6（'60－6）

不能犯 — 改正刑法準備草案批判
宮原三男　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

保安処分 — 改正刑法準備草案批判
滝川春雄　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

保護観察その他 — 改正刑法準備草案説明
吉川経夫　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

法律の錯誤，結果的過重犯
斉藤金作　綜合法学　24（'60－7）

法律の錯誤 — 改正刑法準備草案批判
福田　平　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

没収 — 改正刑法準備草案批判
宮崎澄夫　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

没収・執行猶予・宣告猶予その他 — 改正刑法準備草案説明
安平政吉　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

未遂・正犯及び共犯 — 改正刑法準備草案説明
日沖憲郎　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

名誉に対する罪 — 改正刑法準備草案批判
内藤　謙　刑法雑誌　11－1/2（'61－3）

予備草案の処罰とその機能 — 刑法改正準備草案に対する私の注文
正田満三郎　判例時報　230（'60－8）

立法事業と改正刑法準備草案＜1，2＞
市川秀雄　法学新報　67－10，12（'60－10，12）

量刑の基準 — 改正刑法準備草案にちなんで
植松　正　時の法令　352（'60－5）

累犯
下村康正　綜合法学　24（'60－7）

労働運動と改正草案
沼田稲次郎　法律時報　32－8（'60－6）

わが国における刑法改正事業の経過
日沖憲郎　綜合法学　24（'60－7）

刑　法　総　論

刑法総論一般

木村教授の「刑法総論」を読みて
荘子邦雄　法学　24－1（'60－3）

刑法総論入門＜1～18＞
木村亀二　法学セミナー　49～52，55～57（'60－4～7，10～12），58～62，64～69（'61－1～5，7～12）

刑法8条ただし書と行政刑罰法規＜2，3完＞
小島和夫　警察公論　16－3，4（'61－3，4）

構成要件該当社

（因果関係，過失犯，目的的行為論，結果的加重犯を含む）

因果関係（判例百選）
柏木千秋　ジュリスト　200（'60－4）

因果関係の錯誤
竹田直平　法律時報　32－12（'60－10）

因果関係の中断
荘子邦雄　法律時報　32－12（'60－10）

いわゆる桜木町事件について — 過失の競合の事例
田原義衛　ジュリスト　203（'60－6）

ウェルツェルの過失論批判
法学研究　33－7（'60－7）

過失犯における因果関係の役割
井上正治　法律時報　32－12（'60－10）

過失犯論の動向
西原春夫　綜合法学　18（'60－1）

外国人登録証不携帯罪は過失犯も罰する（判例百選）
中谷瑾子　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

規範の存在構造と犯罪論の体系
沢登佳人　中京大学論叢　5－4（'59－2）

義務衝突の法的構造
森下　忠　法経学会雑誌　32（'60－3）

近代日本刑法における過失犯の諸問題
小野清一郎　法曹時報　13－10（'61－10）

具体的危殆犯と抽象的危殆犯
八木　胖　法律のひろば　14－2（'61－2）

刑法における因果関係

滝川幸辰　ジュリスト　217（'61－1）

刑法における因果関係の理論
木村亀二　法律時報　32－12（'60－10）

結果的加重犯
森井　暲　法学論叢　69－2（'61－5）

結果的加重犯
下村康正　法律のひろば　13－10（'60－10）

結果的加重犯
青木清相　綜合法学　39（'61－10）

結果的加重犯と因果関係
福田　平　法律時報　32－12（'60－10）

現代刑法理論（目的的行為論）と民法における違法・責任理論
藪　重夫　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集（'60－3）

原因において自由な行為（判例百選）
西原春夫　ジュリスト　200（'60－4）

原因において自由な行為
伊達秋雄　警察公論　16－9（'61－8）

誤想防衛と構成要件的故意
中　義勝　法学論集　9－3/4（'60－3）

交通事故判例における因果関係の予見可能性
井上祐司　刑法雑誌　10－2（'60－3）

行為の目的性 — 目的行為論序説
平場安治　法学論叢　68－3（'60－12）

構成要件と行為
下村康正　綜合法学　32（'61－3）

事実の欠缺
安平政吉　法学教室　2（'61－11）

主観主義と目的行為論 — 認識説意思説を中心として
後藤正弘　鹿児島大学社会科報告　7（'60－9）

消極的構成要件要素の理論 — その予備的研究＜1～3＞
中　義勝　法学論集　10－6，11－1，2（'61－9，10，12）

新道路交通法における過失犯について
前田　宏　警察研究　31－11（'60－11）

先行行為による作為義務
滝川春雄　法学セミナー　62（'61－5）

賍物罪と本犯との関係＜1，2完＞
中谷瑾子　法学研究　33－4（'60－4），34－8（'61－8）

開かれた構成要件と法義務のメルクマール＜1～4完＞
宮沢浩一　法学研究　33－11（'60－11），34－10～12（'61－10～12）

不作為の因果関係
森下　忠　法律時報　32－12（'60－10）

不真正不作為犯＜1，2＞
西村克彦　警察研究　31－2，3（'60－2，3）

不能犯問題の現状とその解決
西山富夫　名城法学　11－2/3（'61－12）

物品税法の無申告製造罪における故意の内容 — 構成要件的錯誤と禁止の錯誤の区別に関する一考察
田中久智　九大法学　6（'59）

法定的符合説（判例百選）
大野平吉　ジュリスト　200（'60－4）

法の不知＜1＞
原田綱夫　三重法経　10（'60－3）

法律の錯誤と犯意の規範性＜1，2完＞
牧野英一　季刊刑政　8－1，2（'60－3，6）

名誉毀損罪の成立要件
臼井滋夫　自警　43－4（'61－4）

目的行為論について
井上尚文　司法研修所報　25（'60－7）

目的的行為論
西原春夫　綜合法学　30（'61－1）

目的的行為論概説
木村亀二　法律時報　33－7（'61－7）

目的的行為論と過失犯
福田　平　法律時報　33－7（'61－7）

目的的行為論と間接正犯
西原春夫　早稲田法学　36－1/2（'61－2）

目的的行為論と不作為犯
荘子邦雄　法律時報　33－7（'61－7）

目的的行為論の思想的発展
内藤　謙　法律時報　33－7（'61－7）

目的的行為論の問題点
板倉　宏　綜合法学　41（'61－12）

違法性

安楽死の問題
金沢文雄　法学　25－1（'61－3）

一厘事件（判例百選）
宮原三男　ジュリスト　200（'60－4）

違法性の意識と刑事責任＜1～3＞
正田満三郎　法曹時報　13－8～10（'61－8～10）

違法性の意識について
斉藤金作　綜合法学　19（'60－2）

違法性の一考察
木村静子　法学論叢　66－4（'60－1）

違法責任理論の新構成
沢登佳人　中京商学論叢　6－1（'59－6）

違法要素としての故意・過失 — 人的違法観の考察
福田　平　神戸法学雑誌　9－1/2（'59－10）

いわゆるPersonales Unrechtについて
藤尾　彰　東京都立大学創立10周年記念論文集法経篇（'60－3）

過失犯の違法性
井上正治　法学教室　2（'61－11）

過剰避難に当らないとされた事例
森下　忠　判例評論　29（'60－7）

客観的違法と行為の無価値性 — 人的違法論に関連して
木村静子　法学論叢　68－4（'61－1）

緊急避難 — 狩勝トンネル事件（判例百選）
中山研一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

刑法における「義務の衝突」 — 違法性の問題を中心として＜3完＞
阿部純二　法学　24－1（'60－3）

刑法における自救行為
原田清司　横浜市立大学論叢　12－3（'61－3）

自救行為（判例百選）
井上祐司　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

人格的違法行為論について
桜木澄和　法学新報　67－3（'60－3）

正当防衛
伊達秋雄　警察公論　16－2（'61－2）

正当防衛と防衛の意思
大塚　仁　法学セミナー　64（'61－7）

正当防衛の方法論をめぐる問題
鈴木享子　明治大学短期大学紀要　6（'61－12）

正当防衛における違法性と責任 —— 一つの判例を機縁として
小野清一郎　法学研究（愛知）　3－2（'61－3）

むじな・たぬき事件 —— 事実の錯誤か法律の錯誤（判例百選）
福田　平　ジュリスト　200（'60－4）

許された危険に関する若干の考察
伊藤　寧　海上保安大学校研究報告第1部　('61)

責　任

いわゆる責任説について
宮沢浩一　綜合法学　32（'61－3）

違法の認識と禁止の錯誤
大野平吉　法律時報　33－7（'61－7）

ウェルツェルの責任論について
安平政吉　上智法学論集　5－2（'61－11）

過失責任と罰金刑（禁固刑存廃論の一断面）　刑法改正に対する私の注文＜1，2完＞
正田満三郎　判例時報　264，265（'61－7，8）

期待可能性の理論
宮原三男　綜合法学　21（'60－4）

共犯と身分 —— 子が第三者を教唆して父を殺させたときの子の刑事責任
柏木千秋　法学教室　1（'61－7）

行政犯における期待可能性について —— とくに判例を中心として
安田　節　立命館法学　36（'61－3）

禁止の錯誤に関する一考察 —— 木村博士の新説を中心として
大野平吉　法学　25－1（'61－3）

刑法の錯誤理論
中　義勝　綜合法学　38（'61－9）

事実の錯誤について
青柳文雄　法学研究　33－5（'60－5）

人格責任と行為責任
木村亀二　法学教室　1（'61－7）

人格主義の責任論
安平政吉　綜合法学　32（'61－3）

正当化事由の錯誤
福田　平　法学セミナー　66（'61－9）

政令325号事件（判例百選）
井上正治　ジュリスト　200（'60－4）

責任説と故意説
福田　平　法学教室　1（'61－7）

責任と故意
平場安治　刑法雑誌　12－1（'61－1）

錯誤
伊達秋雄　警察公論　16－6（'61－6）

抽象的事実の錯誤
荘子邦雄　法学セミナー　65（'61－8）

背任の態様とその刑事責任 —— 経理不正に伴う刑事責任を中心として＜1，2＞
河井信太郎　産業経理　21－9，10（'61－9，10）

判例と事実の錯誤
斉藤金作　綜合法学　21（'60－4）

包摂の錯誤とはなにか —— 正田判事に答えて
西村克彦　判例時報　255（'61－5）

ボッケルマンの人格責任の理論
大谷　実　同志社法学　12－6（'61－3）

酩酊運転の刑事責任
石橋浩二　ジュリスト　214（'60－11）

酩酊中の犯行についての刑事責任
臼井滋夫　捜査研究　85（'58－12）

未　遂

障礙未遂と中止未遂の区別
西原春夫　法学セミナー　67（'61－10）

中止未遂（判例百選）
吉川経夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

不能犯（判例百選）
香川達夫　ジュリスト　200（'60－4）

未遂犯
伊達秋雄　警察公論　64－4（'61－4）

未遂犯（不能犯・中止犯を含む）
荘子邦雄　法律のひろば　13－10（'60－10）

予備と未遂の限界 —— 特に実行の着手の意義について
大谷　実　同志社法学　13－3（'61－11）

共　犯

再間接教唆について —— 一つの覚書
井上正治　名城法学　11－2/3（'61－12）

承継的共同正犯
青木清相　綜合法学　24（'60－7）

承継的共同正犯
大野平吉　法学セミナー　68（'61－11）

承継的共同正犯成立の範囲
荘子邦雄　判例評論　41（'61－10）

正犯と共犯 —— 目的行為論による共犯論序説＜1＞
村上尚文　司法研究所報　26（'61－3）

正犯と共犯との区別
西原春夫　法律時報　33－7（'61－9）

窃盗罪の間接正犯（判例百選）
香川達夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

組織を媒介とする順次共謀共同正犯＜1～3完＞
安倍治夫　警察研究　32－1，4，5（'61－1，4，5）

パウル・ボッケルマンの共犯論に関する研究
大谷　実　同志社法学　12－4（'60－10）

犯罪共同説と行為共同説
竹田直平　法学教室　2（'61－11）

犯罪の実行と正犯概念
正田満三郎　法律時報　32－12（'60－10）

犯罪の煽動と憲法21条（判例百選）
伊藤正己　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

不作為による共犯　その序説考察
宮沢浩一　法学研究　33－2（'60－11）

身分犯と共同正犯
青木清相　綜合法学　28（'60－11）

身分犯と共犯（判例百選）
大塚　仁　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

予備と教唆と
西村克彦　判例時報　240（'60－11）

過失同時犯の正犯性＜1～4完＞
内田文昭　法学会論集　11－1～4（'60－11，'61－3，7）

過失犯の共同正犯（判例百選）
内田文昭　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

間接正犯における実行行為
西原春夫　綜合法学　22（'60－5）

間接正犯における実行行為
西原春夫　刑法雑誌　12－1（'61－1）

間接正犯論＜上，中，下＞
西村克彦　法律のひろば　13－6，8，11（'60－6，8，11）

共同意思主体説に対する疑問
西村克彦　警察研究　31－10（'60－10）

共同正犯と従犯の区別
伊達秋雄　法律のひろば　13－12（'60－12）

共同正犯の従属性＜1＞
佐々木養二　法学　25－3/4（'61－11）

共同正犯論の十字路に立つて思う
西村克彦　法律のひろば　14－6（'61－6）

共犯と罪数
西村克彦　判例タイムズ　12－8（'61－7）

共犯と錯誤
西村克彦　法経学会雑誌　10－3（'60－12）

共犯と錯誤と
正田満三郎　判例評論　36（'61－4）

共犯と中止犯＜1，2完＞
西村克彦　判例時報　257，259（'61－5，6）

共犯と身分
斉藤金作　綜合法学　32（'61－3）

共犯の基本理論
伊藤秋雄　警察公論　16－11（'61－10）

共犯の類型＜1～3完＞
西村克彦　判例時報　219～221（'60－4，5）

共犯理論と共犯立法
西村克彦　法経学会雑誌　11－2（'61－9）

共犯理論の基本問題 —— 正田判事の共犯論を読んで
西村克彦　法律時報　33－5（'61－5）

共犯理論の反省＜1，2＞
正田満三郎　法律時報　33－2，3（'61－2，3）

共犯論序説
西村克彦　警察研究　31－4（'60－4）

共謀共同正犯（判例百選）
下村康正　ジュリスト　200（'60－4）

共謀共同正犯を認める判例は「ふり出し」にもどるべきである
西村克彦　判例評論　33（'60－12）

共謀共同正犯と摂行（活きている判例）
木村亀二　法学セミナー　47（'60－2）

共謀共同正犯の研究
萩原玉味　法学雑誌　8－1（'61－7）

共謀共同正犯の問題点
中野次雄　法律のひろば　13－1（'60－1）

行政犯と共犯
西村克彦　警察研究　31－7（'60－7）

教唆の成否をめぐる二つの問題＜1，2完＞
西村克彦　判例時報　215，216（'60－3）

教唆の独立罪 —— 政治テロ行為処罰法案に寄せて
西村克彦　ジュリスト　227（'61－6）

競合犯規定の改正
久礼田益喜　上智法学論集　5－2（'61－11）

併合罪

刑法第45条後段の解釈
井上正治，坂口裕英　判例評論　35（'61－3）

罰数論

罪数論について
安平政吉　綜合法学　40（'61－11）

包括一罪（判例百選）
井戸田　侃　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

無謀操縦と業務上過失致死傷罪との罪数関係
木宮高彦　判例評論　33（'60－12）

刑

禁錮の合憲性（判例百選）
所　一彦　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

刑事裁判の原理としての被害賠償
市川秀雄　法学新報　67－5（'60－5）

刑の量定と刑罰の倫理性とについて
横川敏雄　社会改良　7－1（'61－11）

刑罰法規の時間的適用範囲について
村崎精一　法文論叢　13（'61－10）

絞首刑をめぐる諸問題
正木　亮　社会改良　6－4（'61－8）

死刑と憲法第31条
伊藤栄樹　警察研究　32－9（'61－9）

死刑の合憲性（判例百選）
所　一彦　ジュリスト　200（'60－4）

死刑（絞首刑）の宣告は憲法31条に違反するか —— 明治6年太政官布告65号絞罪器機図式の効力
栗田　正　ジュリスト　232（'61－8）

自由刑の単一化問題
臼井滋夫　自警　13－6（'61－6）

執行猶予の再犯防止の効果について
藤木英雄　法務総合研究所研究部紀要　1（'60－4）

第三者所有物の没収
谷口正孝　判例評論　34（'61－2）

第三者没収についての若干の考察＜1～8完＞
臼井滋夫　警察研究　32－1，3，4，6～9，11（'61－1，3，4，6～9，11）

短期自由刑に関する課題と文献について
朝倉京一　法務総合研究所研究部紀要　1（'60－4）

段階的追徴 —— 追徴を科すべき犯人の範囲＜1，2完＞
谷口正孝　判例評論　39，40（'61－7，9）

日数罰金と罰金分納
平野竜一　警察研究　35－5（'61－5）

保安処分と「精神病者，精薄者，変質者の事故」
滝川春雄　阪大法学　38（'61－2）

暴力犯罪の法定刑は軽いか
臼井滋夫　警察公論　16－5（'61－5）

酩酊犯罪者に対する刑罰と保安処分
　鈴木義男　捜査研究　85（'58－12）

蘇つた太政官布告 —— 最高裁の絞首刑合憲判決批判
　正木　亮　法学セミナー　66（'61－9）

立法における死刑 —— 立法上の死刑は廃止すべきでない
　竹田直平　甲南法学　1－1（'60－12）

両罰規定（判例百選）
　木村静子　ジュリスト　200（'60－4）

量刑の問題点
　秋山哲治　綜合法学　26（'60－9）

刑　法　各　論

アメリカ人の尊属殺
　有倉遼吉　警察時報　16－9（'61－9）

斡旋贈収賄罪と暴力取締立法の制定＜1～3完＞
　臼井滋夫　捜査研究　79～81（'58－6～8）

斡旋収賄罪について
　野中光治　経済法律時報　7－1（'60－8）

威力業務妨害罪における「威力」と旧刑法・フランス刑法 —— 立法沿革小史
　荘子邦雄　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

横領罪と背任罪
　吉田常次郎　法学新報　68－4（'61－4）

架空人名義の文書偽造（判例百選）
　村崎精一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

会社を利用する計画的詐欺犯と故意の立証
　丸谷定弘　警察学論集　13－7（'60－7）

株式申込証拠金領収証は刑法上の有価証券か
　寺尾正二　ジュリスト　195（'60－2）

偽証罪の一考察
　青柳文雄　上智法学論集　5－2（'61－11）

偽造罪
　柏木千秋　法律時報　32－8（'60－6）

偽装心中と殺人罪（判例百選）
　鈴木享子　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

刑法各論について（誌上読書指導）
　福田　平　法学セミナー　58（'61－1）

刑法第200条の沿革の大要
　尾崎良康　法政論叢　10（'59－6）

強姦罪における暴行脅迫の程度
　谷口正孝　判例評論　27（'60－5）

強盗殺人罪
　植松　正　法学セミナー　47（'60－2）

強盗殺人罪（判例百選）
　大塚　仁　ジュリスト　200（'60－4）

強盗致傷罪における傷害の意義
　臼井滋夫　警察公論　16－3（'61－3）

強盗致傷罪における二つの問題点＜1，2＞
　沼尻芳孝　判例タイムズ　11－3，12（'60－3，12）

権利行使と恐喝罪 —— 判例の確定したもの＜1～4完＞
　谷口正孝　判例時報　233～236（'60－9，10）

権利実行と恐喝（判例百選）
　森下　忠　ジュリスト　200（'60－4）

権利の行使と恐喝罪＜上，下＞
　高橋勝好　財経詳報　336，341（'60－9，10）

結婚詐欺
　谷口正孝　ジュリスト　201（'60－5）

喧嘩両成敗（判例百選）
　内藤　謙　ジュリスト　200（'60－4）

熊倉武著「刑法各論上」【書評】
　木田純一　法律時報　32－12（'60－10）

公務執行妨害罪における暴行の意義
　伊達秋雄　法律のひろば　13－2（'60－2）

公務執行妨害罪の「暴行」等
　富田康次　捜査研究　101（'60－4）

公務執行妨害と職務執行法の職務の限界
　田中八郎　警察学論集　13－4（'60－4）

公務についての威力業務妨害罪の成否
　神山欣治　法律のひろば　13－4（'60－4）

国鉄の輸送業務に対する業務妨害罪の成否
　谷口正孝　ジュリスト　225（'61－5）

国鉄業務に対する業務妨害罪の成立を肯定した最高判決の意義
　神山欣治　法律のひろば　14－2（'61－2）

国鉄の輸送業務に対する妨害は刑法の業務妨害を成立せしめるか
　藤野英一　ジュリスト　208（'60－8）

作業所閉鎖と建造物侵入罪
　警備判例研究会　警察公論　16－11（'61－10）

財産犯の諸問題 —— 最近の判例を中心として＜1～11完＞
　井上正治　警察研究　31－2，4～11（'60－2，4～11），32－3，10（'61－3，10）

使用窃盗にならない事例（判例百選）
　八木国之　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

賃入年金証書の騙取と詐欺罪（判例百選）
　下村康正　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

住民票は刑法157条1項にいわゆる「権利義務ニ関スル公正証書」に当たるか
　角谷三千夫　ジュリスト　231（'61－8）

集団犯罪における責任
　畔柳桑太郎　判例タイムズ　11－11（'60－11）

職務行為の適法性と公務執行妨害罪
　西原春夫　綜合法学　28（'60－11）

職務と密接な関係のある行為と賄賂（判例百選）
　内藤　謙　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

職権の行使とそれに対する抵抗について
　松本健男　司法研修所報　25（'60－7）

親族相盗例
　森下　忠　法学セミナー　46（'60－1）

水防工事と過失侵害罪
　藤木英雄　法律のひろば　13－1（'60－1）

窃盗罪における保護の対象，特に刑法第242条の占有について
　新井藤作　綜合法学　20（'60－3）

賭物犯＜1～3完＞
　Hall，J.　法学（近大）　8－1　～3/4（'59－7，12，　'60－3）

尊属殺（判例百選）
　滝川春雄　ジュリスト　200（'60－4）

逮捕状の緊急執行と公務執行妨害罪
　青木清相　綜合法学　19（'60－2）

逮捕状の緊急執行公務執行妨害罪
　青木清相　日本法学　27－1（'61－4）

チャタレイ事件（判例百選）
　植松　正　ジュリスト　200（'60－4）

地方行政機構の拡大と汚職
　法貴三郎　都市問題　51－4（'60－3）

地方自治と汚職
　星野光男　都市問題　51－4（'60－3）

地方自治体の汚職
　西島芳二　都市問題　51－4（'60－3）

地方自治体の汚職と公務員
　安養寺俊親　都市問題　51－4（'60－3）

電気は物か（判例百選）
　日沖憲郎　ジュリスト　200（'60－4）

納金スト（判例百選）
　宮内　裕　ジュリスト　200（'60－4）

背任罪の共犯
　海治立憲　手形研究　4－8（'60－8）

背任罪の主体と背信説 —— 財産犯の諸問題＜11＞
　井上正治，羽田野忠文　警察研究　32－10（'61－10）

背任罪の本質 —— 一つの覚書
　井上正治　法政研究　27－2/4（'61－3）

判例からみた戦後15年のわいせつ罪
　佐藤佐治右衛門　警察学論集　13－10（'60－10）

ビラ貼り行為と器物損壊罪
　熊倉　武　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

不作為による放火（判例百選）
　藤木英雄　ジュリスト　200（'60－4）

不動産登記を利用した特異山林詐欺事件
　下元万太郎　捜査研究　100（'60－3）

不法領得の意志（判例百選）
　荘子邦雄　ジュリスト　200（'60－4）

踏切事故の実態 —— その刑法的処理状況の分析
　井上祐司　法政研究　27－2/4（'61－3）

暴力取締立法（昭和33年刑法・刑訴法一部改正）の運用状況
　前田　宏　法律時報資料版　7（'61－5）

松元荘事件と基本的人権 —— 情交のわいろ性
　下村康正　時の法令　380（'61－3）

三鷹事件（判例百選）
　高田卓爾　ジュリスト　200（'60－4）

無効な担保契約に基き交付した国鉄公傷年金証書に対する詐欺罪の成否
　伊達秋雄　法律のひろば　13－4（'60－4）

村八分・職場八分と脅迫罪
　三宅正男　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

予備犯について
　正田満三郎　法曹時報　12－8（'60－8）

歴史の爪痕 —— 大正デモクラシー運動と不敬罪廃止論
　ねづ・まさし　法学セミナー　51（'60－6）

騒擾罪

故意なき故意 —— 騒擾罪における共同意見
　安達十郎　人権のために　7/8（'60－12）

戦後の騒擾事件の概要
　内田文夫　警察学論集　14－2（'61－2）

騒擾罪
　佐々木哲蔵　法律時報　32－11（'60－9）

騒擾罪と一地方の静謐を害する危険
　秋山哲治　法学セミナー　69（'61－12）

騒擾罪における公共の静謐
　松本善明　人権のために　7/8（'60－12）

騒擾罪の一考察
　大野平吉　法文論叢　12（'60－10）

騒擾罪の故意
　下村康正　法律のひろば　14－2（'61－2）

騒擾罪の構造的特質
　荘子邦雄　ジュリスト　219（'61－2）

騒擾罪論 —— それは違憲である
　上田誠吉　人権のために　7/8（'60－12）

騒擾事件等一覧表
　公安調査庁　警察学論集　14－2（'61－2）

騒擾の概念の考察 —— 最高裁の平事件の判決をめぐつて
　青柳文雄　警察学論集　14－2（'61－2）

平事件判決と騒擾罪
　下村康正　法学セミナー　59（'61－2）

名誉毀損罪

誤報の責任と事実証明
　三島宗彦　金沢大学法文学部論集法経篇　7（'60－3）

死者の名誉毀損
　高橋勝好　法学セミナー　48（'60－3）

小説「風流夢譚」と名誉毀損
　塚本重頼　時の法令　375（'61－1）

新聞・雑誌等による名誉毀損に関する判例（要約）
　法律時報資料版　7（'61－5）

天皇・皇族の名誉損傷
　時の法令　373（'60－12）

表現の自由と名誉毀損・侮辱罪
　木村亀二　法律時報　33－5（'61－5）

文芸作品の社会性【座談会】
　植松　正，加藤一郎，阿部知二，奥野健男　法律時報　33－1（'61－1）

名誉毀損罪における事実の証明（判例百選）
　福田　平　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

名誉毀損と真実の証明
　宗宮信次　日本法学　26－3（'60－10）

名誉に対する罪に関する統計
　前田　宏，宇都宮正忠　法律時報資料版　7（'61－5）

有名人の名誉毀損
　高橋敏雄　法律時報　33－5（'61－5）

不動産侵奪罪

刑法の一部を改正する法律について
　臼井滋夫　警察研究　31－6（'60－6）

刑法の一部改正について —— 不動産侵奪罪等の新設
　臼井滋夫　財政経済弘報　813（'60－5）

衆議院法務委員会における不動産窃盗立法に関する論説と質疑応答
　前田信二郎　法学（近大）　9－1（'60－6）

宅地建物をめぐる犯罪の概況と取締り
　丹　広胖　捜査研究　100（'60－3）

地面師詐欺について
　平瀬敏夫　捜査研究　100（'60－3）

地面師事件における民事責任と刑事責任の交錯
　高橋勝好　警察学論集　13－7（'60－7）

土地現場確認の方法と不動産関係詐欺の手口
　駒沢弘明　捜査研究　100（'60－3）

不動産を動かす男と犯罪
　下村康正　時の法令　384（'61－4）

不動産侵奪（境界毀損を含）の事例
　法律時報資料版　12（'61－9）

不動産侵奪規定の運用状況
　臼井滋夫　法律時報資料版　12（'61－9）

不動産侵奪罪
　斉藤金作　綜合法学　36（'61－7）

不動産侵奪罪関係文献
　法律時報資料版　12（'61－9）

不動産侵奪罪と境界毀損罪
　高橋勝好　法曹時報　12－6（'60－6）

不動産侵奪罪と境界毀損罪
　高橋勝好　警察公論　15－7（'60－7）

不動産侵奪罪等の解釈と捜査処理上の留意点
　臼井滋夫　研修　146（'60－8）

不動産侵奪罪等の新設に関する刑法の一部改正について
　臼井滋夫　捜査研究　103（'60－3）

不動産侵奪罪等に関する規定の立法経過と問題点
　臼井滋夫　警察学論集　13－6（'60－6）

不動産侵奪罪等の新設について
　臼井滋夫　ジュリスト　204（'60－6）

不動産侵奪罪に関する国会審議
　山本喜陸編　法律時報資料版　12（'61－9）

不動産侵奪罪等について
　検察月報　134（'60－7）

不動産侵奪罪について
　藤木英雄　法律のひろば　13－4（'60－4）

不動産侵奪罪の背景と機能
　藤木英雄　法律時報資料版　12（'61－9）

不動産窃盗罪について
　前田信二郎　綜合法学　23（'60－6）

不動産二重売買と横領罪 —— 共犯の不成立（判例百選）
　青柳文雄　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

不動産の侵奪罪と境界毀損罪 —— 不動産不法占拠の取締り立法
　高橋勝好　商事法務研究　177（'60－5）

不動産の不法侵害の取締り
　高橋勝好　時の法令　351（'60－5）

不動産犯罪に対する新立法の動き
　高橋勝好　捜査研究　100（'60－3）

不動産不法占拠の取締りについて —— 不動産侵奪罪と境界毀損罪
　高橋勝好　財経詳報　311（'60－5）

刑　事　学

アジアおよび極東犯罪防止研修所の設置について
　吉良慎平　法律のひろば　14－9（'61－9）

アジア極東犯罪防止研修所を日本に設置 —— 国連と締結した2番目の協定
　熊谷直博　時の法令　390（'61－6）

アジア極東犯罪防止研修所について
　鈴木利雄　法律時報資料版　11（'61－8）

ある出来事に関する供述の信頼度 —— 検察事務官を被験者とする実験
　植松　正　日本法学　27－3（'61－9）

逸脱的行動の研究 —— 犯罪者の矯正効果の研究として
　大藪寿一　人文研究（大阪市大）　10－12（'59－12）

応報の論理
　沢登佳人　中京商学論叢　6－3（'60－2）

ガイルス・プレイフェアーの「死刑は必要か」を読んで
　正木　亮　社会改良　3－3（'58－2）

カミュの死刑廃止論
　大浜　甫　社会改良　3－3（'58－2）

かけと犯罪
　遠藤辰雄　刑政　71－3（'60－3）

改正指紋制度規則細則の解説＜1～7完＞
　森島浅吉　警察時報　15－8～11（'60－8～11），16－1，4，5（'61－1，4，5）

科刑行為の憲法的構成＜1，2＞
　篠岡　博　法学論叢　69—1,5（'61—4,8）

学校教育と犯罪＜2＞
　前田俊郎　上智法学論集　3－2（'59－10）

仮出獄者の再犯まで —— 主として社会的期待から
　伊福部舜児　犯罪学年報　1（'60－7）

鑑定誤談＜1～5＞
　南波埜三郎　捜査研究　111，112，114，116，117（'61－3，4，7，9，10）

教育・社会・家庭【座談会】
　森田宗一，大塚雅彦，磯線太郎，菊池和子，比留間一成，荻原辰夫　世界　185（'61－5）

兇器準備集合事件の実態と問題点
　前田　宏　警察学論集　14－6（'61－6）

岐路に立つ教育
　森田宗一　世界　185（'61－5）

近代刑事学における追求統計方式の必要性＜下＞
　安倍治夫　法律のひろば　13－1（'60－1）

グリュツク予測表の検定について —— ニューヨーク実験の正しい理解のために
　安倍治夫　法律のひろば　13－3（'60－3）

経過初犯者の研究 —— 犯罪経過形式からみた
　野口英彦，新井尚賢　犯罪学年報　1（'60－7）

刑事手続面からみた公安犯罪 —— 犯罪白書昭和36年版抜萃
　法務総合研究所　法律時報資料版　13（'61－10）

刑法・犯罪および犯罪原因
　Glueck，S.　法学協会雑誌　77－1（'60－9）

刑法社会学方法論序説
　前田信二郎　法学（近大）　10－2（'61－11）

刑罰なき社会
　小川太郎　社会改良　4－4（'59－5）

刑罰の目的
　吉田常次郎　法学新報　68－1（'61－1）

現行指紋制度の仕組みとその活用
　成子幸夫　捜査研究　113（'61－6）

現代刑事政策の根本問題
　朝倉京一　刑政　72－2（'61－2）

現場指紋採取技術の考察
　恩田憲太郎　捜査研究　113（'61－6）

故意に因らざる（過失に因る）犯罪の増加に原因する最近の刑法上の諸問題
　市川秀雄　季刊刑政　8－1（'60－3）

公務員犯罪の問題点
　山中一郎　哲学（三田）　36（'59－7）

絞首刑
　千種達夫　判例時報　242（'60－12）

拷問の根を探る【座談会】
　正木　亮，大竹武七郎，岸　盛一，中島健蔵，野村正男，本田正義　社会改良　5－1（'59－8）

国際連合第12総会における死刑制限条項案の採択について
　安倍治夫　社会改良　3－3（'58－2）

詐欺累犯
　菅又　淳　犯罪学年報　1（'60－7）

裁判と指紋
　小田島　稔　捜査研究　113（'61－6）

酒の社会病理的諸現象とその対策
　乗本正名　警察研究　32－3（'61－3）

36年度犯罪白書について
　井上弥太郎　警察研究　32－10（'61－10）

ジェローム・ホール「窃盗法の歴史」訳＜1～3完＞
　前田信二郎，川崎恵璋　法学（近大）　9－2（'60－12），10－1，2（'61－5，11）

死因決定に関する諸問題
　国仲寛長　警察学論集　14－7（'61－7）

死刑＜1，2＞
　Prevezer，S.　法律時報　32－12，13（'60－10，11）

死刑執行方法を違法とする行政訴訟について
　朝倉京一　法律のひろば　13－11（'60－11）

死刑廃止法案はどうなるか【座談会】
　赤松常子，海野普吉，高田なほ子，中島健蔵，正木　亮　社会改良　5－2（'59－12）

死刑論拝見
　小林高記　社会改良　6－1/2（'60－12）

自殺の社会学的考察＜2＞
　佐藤輝美　三重法経　12（'61－7）

自他殺の法医学的判定，特に下山国鉄総裁の変死についての批判
　中館久平　綜合法学　20（'60－3）

司法ケースワークの理論と実際
　三野　亮　家庭裁判月報　13－12（'61－12）

指紋法の歴史
　日出菊朗　捜査研究　113（'61－6）

執行猶予と再犯
　藤木英雄　ジュリスト　235（'61－10）

車内犯罪の解剖
　相原光雄　捜査研究　80（'58－7）

社会学の立場からみた再犯問題 —— Rehabilitation Processの観点から
　柏熊岬二　犯罪学年報　1（'60－7）

社会的予後 —— その可能性と必要性＜上，中，下＞
　Middendorff，W.　法律のひろば　13－1～3（'60－1～3）

集団ロールシャッハ・テストによる非行予測
　市村　潤　家庭裁判月報　12－5（'60－5）

女子累犯
　広瀬勝世，武村信義　犯罪学年報　1（'60－7）

証拠資料と法医学
　国仲寛長　警察学論集　13－2（'60－2）

純粋手口割り出し法の問題点
　高見益一　捜査研究　106（'60－10）

スリ・万引物語
　岡崎文規　法律時報　33－9（'61－9）

すり犯罪のすう勢について
　仁藤佐吉　捜査研究　80（'58－7）

掏摸犯送致上留意すべき諸点
　佐藤勝美　捜査研究　80（'58－7）

精神医学的に見た酩酊の問題
　林　　暲　捜査研究　85（'58－12）

精神鑑定例の研究 —— 酩酊犯罪について
　樋口幸吉　法務総合研究所研究部紀要　1（'60－4）

精神障害者に対する保安処分
　森下　忠　ジュリスト　226（'61－6）

精神障害犯罪者の家族をめぐる諸問題
　橋本重三郎　法律のひろば　14－10（'60－10）

精神薄弱者の犯罪とその対策
　小川太郎　社会改良　5－1（'59－8）

制度は人の心をつくる —— 国家の殺人制度
　笠　信太郎　社会改良　5－4（'60－8）

性犯罪者と累犯
　石井　清，栗原徹郎　犯罪学年報　1（'60－7）

性犯罪者の性格と心理
　山岡一信　警察学論集　14－8（'61－8）

性犯罪者の断種手術
　岡崎文規　法律時報　32－10（'60－8）

生命の裁判 —— 生命の尊厳性について【座談会】
　海野普吉，小林俊三，中島健蔵，正木　亮　社会改良　3－4（'58－5）

戦後における累犯再入率の考察
　高橋正己　犯罪学年報　1（'60－7）

続グリュック予測表の検定 —— 本居宣長と安倍検事
　宮崎　昇　法律のひろば　13－4（'60－4）

第4回国際犯罪学会議
　小川太郎　季刊刑政　9－4（'61－12）

罪と罰 —— 刑罰破産論について【座談会】

大津正雄，中島健蔵，松永芳市，正木　亮
社会改良　6－1／2（'60－12）

都市における兇悪犯罪と警察
前田信二郎　都市問題　50－12（'59－12）

都市における暴力犯罪の実態
警視庁刑事部　警察学論集　14－6（'61－6）

盗聴規制に関する一考察＜3完＞
和田英夫，田中館照橘　警察研究　31－1（'60－1）

人間集合体の心理について
遠藤辰雄　警察学論集　14－2（'61－2）

妊娠と分娩
中館久平　綜合法学　18（'60－1）

犯罪以前の危険性判断に関する諸規定
高窪貞人　英米法学　11（'60－5）

犯罪（非行）研究の基本的諸問題に関する若干の展望とその考察
安倍淳吉　心理学研究　30－3（'59－9）

犯罪者人格と犯行時心理の研究＜5～11＞
土井正徳　家庭裁判月報　12－1～3，6～10（'60－1～3，6～10），13－1，2，6，7，10，11（'61－1，2，6，7，10，11）

犯罪集団の構造
佐藤昌彦　季刊刑政　8－1（'60－3）

犯罪生物学より見たる累犯の根本問題
吉益脩夫　犯罪学年報　1（'60－7）

犯罪の防止および犯罪者の処遇に関するアジアおよび極東研修所設置の経緯＜1，2＞
吉良慎平　法務総合研究所報　6－6，7（'61－6，7）

犯罪の防止及び犯罪者の処遇に関するアジア及び極東研修所について
津田　実　法曹時報　13－8（'61－8）

「犯罪の防止および犯罪者の処遇」に関する国連ロンドン会議
浦辺　衛　法曹時報　12－11（'60－11）

「犯罪の防止と犯罪者の処遇」に関する国連会議の報告
浦辺　衛　法律時報資料版　3（'61－1）

犯罪白書の概要
本田正義　法務総合研究所報　5－10（'60－10）

犯罪白書の概要
本田正義　警察研究　31－11（'60－11）

「犯罪白書」の分析と評価【座談会】
正木　亮，馬場義続，野村正男，荻野隆司，平野竜一，天野竜一，本田正義　法律のひろば　13－11（'60－11）

犯罪白書雑記
本田正義　法曹　120（'60－10）

犯罪予防及び犯罪者の処遇に関する国際連合ロンドン会議
市川秀雄　ジュリスト　219（'61－2）

犯罪論思いつくまま —— 最近の三つの学生の質問から
下村康正　ジュリスト　195（'60－2）

犯人の人格調査
西村克彦　法学セミナー　49（'60－4）

非行予測研究上の問題点について
遠藤辰雄　法務総合研究所報　6－9（'61－9）

人を客体とした犯罪の被害者 —— 殺人犯罪に関する被害者学的考察
山岡一信．警察学論集　14－12（'61－12）

一人の命は全地球よりも重し —— 裁判をめぐるうん蓄【対談】
真野　毅，中島健蔵，正木　亮　社会改良　3－3（'58－2）

貧困と犯罪
竹村　寿　家庭裁判月報　12－9（'60－9）

物体の法医学的検査及び血液型
中館久平　綜合法学　19（'60－2）

ベッカリーアの罪刑法定主義は現代に生きている＜1，2＞
風早八十二　人権のために　4，5（'60－1，5）

放火犯罪者と累犯
中田　修　犯罪学年報　1（'60－7）

暴力団相互間の犯罪
桑原東五郎　警察学論集　14－6（'61－6）

暴力組織の現況について
中平和水　警察学論集　14－6（'61－6）

暴力団の組織とそのなわばり争いをめぐる社会・心理学的諸問題
山中一郎　警察学論集　14－6（'61－6）

暴力団犯罪取締り実務上の諸問題
鷲塚正男　警察学論集　14－6（'61－6）

暴力団犯罪取締り上の法的諸問題
仲村規雄　警察学論集　14－6（'61－6）

暴力団犯罪の概要
中平和水　警察公論　15－8（'60－8）

暴力犯罪の社会心理的背景 —— 未成年者の粗暴犯を中心として
橋本重三郎　日本及日本人　12－1（'61－1）

暴力犯罪の社会的基底
岩井弘融　警察学論集　14－6（'61－6）

暴力犯罪 —— その実態と発生原因を中心として
河井信太郎　ジュリスト　230（'61－7）

暴力犯累犯者
坪井孝幸，武村信義　犯罪学年報　1（'60－7）

麻薬施用者たる医師と麻薬犯罪について
丹　広胖　捜査研究　99（'60－2）

麻薬犯罪の特異性とその捜査
小暮豊作　警察時報　16－8（'61－8）

万引の犯罪学
植松　正　一橋論叢　45－3（'61－3）

酩酊者犯罪における自然的故意，過失の意義，過失殺人，過失致死の概念について
鯉渕幸也　英米法学　12（'61－6）

酩酊と犯罪
八木国之　時の法令　397（'61－8）

酩酊犯の心理解剖
南波杢三郎　捜査研究　85（'58－12）

無期徴役囚は語る —— 一審で死刑を言渡された人々【座談会】
正木　亮，他　社会改良　6－3（'61－4）

予後・予測に関する文献の史的展望
樋口幸吉　法務総合研究所研究部紀要　2（'60－10）

量刑における政治性と倫理性
秋山哲治　同志社法学　12－5（'61－2）

量刑の実態（昭和27年～31年）
宮内　裕　法律時報資料版　6（'61－4）

累犯現象の研究の動向 —— 戦後における累犯研究の展望
中田　修　犯罪学年報　1（'60－7）

累犯者処遇の法律上の問題
平野竜一　犯罪学年報　1（'60－7）

累犯受刑者の心理
植松　正，市川定三，遠藤辰雄，奥沢良雄，橋本鍵一　犯罪学年報　1（'60－7）

累犯予測研究の動向 —— 戦後における累犯研究の展望
樋口幸吉　犯罪学年報　1（'60－7）

累犯予測に関する基礎的研究 —— 窃盗罪受刑者の成行に関する考察
中河原通之，山本輝夫　法務総合研究所研究部紀要　2（'60－10）

老年累犯の研究
上出弘之　犯罪学年報　1（'60－7）

六大都市における犯罪現象の考察＜1～4＞
川俣六郎　警察研究　31－3～5，7（'60－3～5，7）

わが国における外国人犯罪の実態
村上　健　警察学論集　14－1（'61－1）

A．ケストラーの死刑廃止運動
平松幹夫　社会改良　4－4（'59－5）

少年問題・犯罪

兇悪少年犯罪と刑罰
宮原三男　時の法令　368（'60－11）

今日の時代の少年問題とその背景 —— 国連の会議とヨーロッパの国々に見る
森田宗一　家庭裁判月報　13－2（'61－2）

虞犯少年の一考察
阿部純二　法学　25－1（'61－3）

虞犯少年の法的考察
阿部純二　家庭裁判月報　13－9（'61－9）

最近における少年犯罪の傾向
小川太郎　綜合法学　31（'61－2）

最近の少年非行の傾向
三上顕一郎　警察時報　16－11（'61－12）

最近の少年非行の問題 —— 家裁からみた10代の実相
森田宗一　警察時報　16－4（'61－4）

少女非行の断層面 —— 東京少年鑑別所における若干の調査
角田洋子　法律のひろば　14－3（'61－3）

少年暗殺者と刑事法
植松　正　ジュリスト　222（'61－3）

少年院出院者の再犯 —— その現状と若干の分析
橋本重三郎　犯罪学年報　1（'60－7）

少年と性犯罪
三上顕一郎　警察学論集　13－10（'60－10）

少年の供述ないし証言に関する一実験
佐伯茂雄，西村春夫　科学警察研究所報告防犯少年編　1－1（'60－8）

少年犯罪と教育＜1＞
原田綱夫　三重法経　12（'61－7）

少年犯罪と行動の心理
村田宏雄　綜合法学　32（'61－3）

少年暴力犯
手塚喜市　世界　185（'61－5）

少年非行早期予測に関する研究
遠藤辰雄，橋本重三郎，安香　宏，樋口幸吉，佐藤寧子，武村信義，坪井孝幸，中村一夫，逸見武光，栗原徹郎，山本輝夫　法務総合研究所研究部紀要　2（'61－10）

少年非行としてみた嶋中事件
樋口幸吉　ジュリスト　222（'61－3）

少年非行と酩酊の関係を示す事例研究
玉生道経　捜査研究　85（'58－12）

「少年非行の解明」10年＜1～5完＞
Glueck，S．　法律のひろば　14－6～10（'61－6～10）

少年の殺人事件
岡崎文規　法律時報　33－4（'61－4）

少年非行における環境の実証的研究について＜1～3完＞
橋野迪夫　家庭裁判月報　12－9～11（'60－9～11）

少年非行のすう勢 —— 司法統計年報にあらわれた少年事件の実体と人口対比計算による少年事件将来数の予測＜1～3＞
奥村博三　家庭裁判月報　12－4～6（'60－4～6）

少年非行の定義をめぐる国際連合の論議
黒川　驀　レファレンス　10－11（'61－11）

少年非行対策の現状等について
佐藤佐治右衛門　警察公論　15－3（'60－3）

少年保護法制における少年警察の地位
綱井輝夫　警察学論集　14－3（'61－3）

少年累犯の特性
樋口幸吉　犯罪学年報　1（'60－7）

首都における少年問題と少年警察の推移＜1，2＞
行木孝雄　科学警察研究所報告防犯少年編　1－1（'60－8），2－1（'61－7）

解法少年の処遇について
三上顕一郎　警察時報　16－11（'61－11）

青少年犯罪とその処理について
検察月報　132（'60－5）

青少年犯罪の実情と少年法制
山本普一　時の法令　388（'61－5）

青少年非行と道徳教育＜1，2＞
定形善次郎　茨城大学教育学部紀要　9（'60－3）10（'61－2）

青少年保護育成条例について —— 愛知県青少年保護育成条例の問題点
夏目文雄　法律時報資料版　8（'61－6）

青少年保護育成条例の理論と実際
町田　充　警察研究　32－1（'61－1）

青少年保護育成条例論
町田　充　警察学論集　14－3（'61－3）

戦後における少年犯罪 —— 実体とその原因
野村与三一　捜査研究　99（'60－2）

年令別にみた非行要因の分析 —— 非行危険性判定法の結果による年令的特性の分析
松本　厳　科学警察研究所報告防犯少年編　1－1（'60－8）

働く母親と少年非行＜上，中，下＞
Glueck, S., Glueck, E.T.　法律のひろば　14－1～3（'61－1～3）

犯罪少女に関する分析
角田洋子　刑政　72－6（'61－6）

犯罪予測と保護観察 —— 少年非行を中心として
菊田幸一　法律のひろば　14－11（'61－11）

非行原因論における家庭の役割
Glueck, E.T.　神戸法学雑誌　9－3（'59－12）

非行少年 —— 人格構造と環境
児玉　省　科学警察研究所報告防犯少年編　1－1（'60－8）

非行少年に関する諸問題
正木　亮　社会改良　6－1/2（'60－12）

非行少年の再犯予測
樋口幸吉　青少年問題　8－4（'61－4）

非行少年の再犯の予測研究
菅　俊夫　ケース研究　58（'60－3）

非行少年の処遇
三上顕一郎　警察公論　16－11（'61－10）

非行少年の親子関係に関する研究 —— 父母との同一視よりみた
土井敏彦　科学警察研究所報告防犯少年編　1－1（'60－8）

非行少年の成行と再犯予測の研究
樋口幸吉，佐藤寧子，土持三郎，橋本重三郎
法務総合研究所研究部紀要　2（'60－10）

非行少年の年令と年長少年の取扱の問題
宮原三男　明治大学法制研究所紀要　4/5（'61－5）

非行の意味とその扱いかた＜1，2＞
Glueck, S.　法律時報　32－10，12（'60－8，10）

非行予防の哲学と原理
Glueck, S.　法学論叢　67－5（'60－8）

保護観察少年の成行と再犯予測の統計的研究
樋口幸吉，伊福部舜児　法務総合研究所研究部紀要　2（'60－10）

暴力少年と保護観察 —— 問題の背景と対策への若干の提案
柏熊岬二　法律のひろば　13－12（'60－12）

暴力集団の生態と青少年
前田信二郎　更生保護　11－4（'60－4）

ポラック著「女性犯罪」【書評】
中田　修　法律時報　33－3（'61－3）

予測技術の本質 —— 少年非行対策における予測技術
Glueck, S.　法律のひろば　13－11（'60－11）

予測技術の有効性 —— 少年非行対策における予測技術
Glueck, E.T.　法律のひろば　13－12（'60－12）

累犯現象の統計的考察 —— 特に少年保護事件を中心として
日野原　昌　家庭裁判月報　13－2（'61－2）

矯正・更生保護

アダルト・プロベーションについて
須々木主一　早稲田法学会誌　10（'60－7）

ある逃走事故について
佐藤藤佐　刑政　72－11（'61－11）

大井上輝前と硫黄山アトサヌプリ —— 北海道集治監獄初代の典獄
細田源吉　刑政　72－9（'61－9）

有馬四郎助＜1，2＞
中尾文策　刑政　72－10，11（'61－10，11）

小河滋次郎博士を回顧する＜1，2＞
正木　亮　刑政　72－5，6（'61－5，6）

仮釈放事案の特別遵守事項について
野中忠夫　保護月報　48（'60－7）

仮釈放と保護観察
佐藤　豁　法律のひろば　13－10（'60－10）

起訴猶予者に対する更生保護について
斉藤三郎　刑政　72－9（'61－9）

行刑の緊急事態性と人権保障
稲田俊秀　刑政　71－4（'60－4）

矯正医学の新しい展開
山田　弘　刑政　71－10（'60－10）

矯正からみた短期自由刑の問題
朝倉京一　刑政　71－4（'60－4）

矯正法講話＜9～32＞
朝倉京一　刑政　71－1～72－12（'60－1～'61－12）

矯正法上の権限の行使について —— とくにその代理行使について＜1～4完＞
朝倉京一　刑政　72－5～8（'61－5～8）

刑政理論最近5年
牧野英一　刑政　71－1（'60－1）

刑務作業
仲里達雄　法学セミナー　52（'60－7）

更生保護制度を中心として
佐藤佐治右衛門　自治時報　13－7（'60－7）

更生保護と犯罪予防
桑名正一　自治時報　14－7（'61－7）

拘禁と矯正
小川太郎　刑政　71－5（'60－5）

50年前の思い出＜1，2＞
蓑田長平　刑政　70－9（'59－9），71－3（'60－3）

最近の分類鑑別の動向
遠藤辰雄　刑政　71－10（'60－10）

死刑確定者の拘置等について
岩松　茂　刑政　72－5（'61－5）

死刑囚の行政訴訟
大塚郁哉　法学セミナー　67（'61－10）

少年矯正施設の発達
菊池省三　刑政　71－10（'60－10）

少年刑務所における夜間教育の試み
玉井策郎　刑政　72－6（'61－6）

少年保護制度に関する若干の考察
市村光一　刑政　72－12（'61－12）

初入刑出所者の再入率と再入期間の関係からみた短期自由刑の問題 —— 無作為抽出指紋原紙による調査研究第一報告

朝倉京一，小池健二，山本輝夫　法務総合研究所研究部紀要　1（'60－4）

受刑者と経済的活動の自由
大芝靖郎　刑政　71－11（'60－11）

受刑者と表現の自由
朝倉京一　刑政　71－2（'60－2）

自由刑の単一化問題
安平政吉　綜合法学　29（'60－12）

人権尊重とその周辺にあるもの
楠下芳輝　刑政　71－2（'60－2）

成人収容保安処分の趨勢
倉見慶記　刑政　71－10（'60－10）

世界の矯正と日本
中尾文策　刑政　71－10（'60－10）

短期自由刑受刑者の成行調査第一報告
中河原通之，西岡正之，伊福部舜児，山本輝夫
法務総合研究所研究部紀要　1（'60－4）

短期自由刑の問題 —— 国連会議に出席して
小川太郎　ジュリスト　214（'60－11）

パロール制度の発達＜1，2完＞
小川太郎　季刊刑政　8－2，3（'60－6，9）

犯罪の防止および犯罪者の処遇に関する第2回国連会議
小川太郎　刑政　72－1（'61－1）

被釈放者の保護
正木　亮　法学セミナー　53（'60－8）

分類制度の前進のために＜1，2＞
松富　哲　刑政　72－6，7（'61－6，7）

保護観察
佐藤昌彦　法学セミナー　50（'60－5）

保護観察制度の将来＜1＞
菊田幸一　刑政　72－12（'61－12）

保護観察のケースワークをめぐつて
前沢雅男　法務総合研究所報　5－11（'60－11）

法務福祉行政と矯正カウンセリング
松富　哲　刑政　71－11（'60－11）

未決勾留についての反省 —— P刑務所未決在監者に面接して
波多野二三彦　刑政　72－1（'61－1）

明治5年の監獄則について
本田清一　刑政　72－4（'61－4）

明治初期における監獄の歩み＜1～3＞
本田清一　刑政　72－5～7（'61－5～7）

横浜地検における更生保護事件について
斉藤欣子　法律のひろば　14－12（'61－12）

累進制と分類制
野原達二　法学セミナー　51（'60－6）

わが行刑および行刑法の近代化と欧米の法制
朝倉京一　刑政　71－10（'60－10）

わが国における短期自由刑の現在の問題点
藤広驥三　刑政　72－11（'61－11）

刑事特別法

行政刑法

行政犯と共犯
西村克彦　警察研究　31－7（'60－7）

税法における質問・検査・経理不正に基づく刑事責任との関連において
河井信太郎　産業経理　21－7（'61－7）

経済刑法

経済濱職と経済罰則整備法
金融法務事情　289（'61－11）

経済関係罰則ノ整備ニ関スル法律第2条についての一考察
平野　利　経済法律時報　7－1（'60－8）

経済罰則整備法とその要点
高橋勝好　ジュリスト　237（'61－11）

特別背任罪と経済濱職罪＜上，下＞
高橋勝好　財経詳報　414，416（'61－12）

詐言による担保品の取戻し等と犯罪
高橋勝好　財経詳報　345（'60－11）

両罰規定による事業主の刑事責任と公訴時効期間
河村澄夫　税法学　122（'61－2）

労働刑法

「社会的相当行為」理論の労働刑法への適用について
藤木英雄　警察研究　31－1（'60－1）

電源ストの合法性 —— ピケットと平和的説得（判例百選）
木村静子　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

平穏な坐り込みストライキと建造物不退去罪 —— 比較法的考察
藤野　豊　警察学論集　13－1（'60－1）

労働刑法犯罪の罪質と犯意 —— 労働基準法63条2項違反罪に関連させて
熊倉　武　河西太一郎先生在職35年記念論文集（'60－2）

治安関係法

息をふき返した破防法
宮内　裕　世界　171（'60－3）

池田内閣の弾圧政策と政治的暴力行為防止法案
大野達三　前衛　184（'61－7）

教唆の独立罪 —— 政治テロ行為処罰法案に寄せて
西村克彦　ジュリスト　227（'61－6）

国会周辺デモ規制法案の意味するもの
清水　睦　綜合法学　20（'60－3）

最近における公安条例の改定について
山田英雄　警察学論集　14－12（'61－12）

殺人の教唆と煽動 —— 刑法と破壊活動防止法と規定の比較
時の法令　384（'61－4）

政治危害防止法案の概要
門司　亮　法律時報資料版　6（'61－4）

政治的暴力行為防止法 —— 自民党，民社党案
中央公論　76－7（'61－7）

政治的暴力行為防止法 —— 弾圧立法の決定版
中田直人　人権のために　10（'61－6）

政治的暴力行為防止法案（自民党，民社党共同提案）
法律時報資料版　8（'61－6）

政治的暴力行為防止法案と新聞報道
高木教典　法律時報　33－7（'61－7）

政治的暴力行為防止法案と政治テロ行為処罰法案
小野清一郎　自由と正義　12－7（'61－7）

政治的暴力行為防止法案について
沼田稲次郎　労働法律旬報　417（'61－5）

政治的暴力行為防止法案等について
大竹武七郎　自由と正義　12－7（'61－7）

政治的暴力行為防止法案並びに政治テロ行為処罰法案
自由と正義　12－7（'61－7）

政治的暴力行為防止法案について
佐伯千仞　自由と正義　12－7（'61－7）

政治的暴力行為防止法案について
吉川経夫　ジュリスト　229（'61－7）

政治的暴力行為防止法案の航跡
桜木澄和　法律時報資料版　9（'61－6）

政治的暴力行為防止法案の審議について思う
毛受信雄　自由と正義　12－7（'61－7）

政治的暴力行為防止法案の法学的検討
関東公法研究会　ジュリスト　237（'61－11）

政治的暴力行為防止法案の本質をつく
志賀義雄　前衛　184（'61－7）

政治テロ行為処罰法 —— 社会党案
中央公論　76－7（'61－7）

政治テロ行為処罰法案について
坪野米男　法律時報資料版　6（'61－4）

政治と治案立法
清水　睦　綜合法学　38（'61－9）

政防法案 —— 問題点の解説と批判
佐伯千仞，宮内　裕，平場安治，杉村敏正，園部逸夫，井戸田　侃，中山研一　法律時報資料版　9（'61－6）

政防法案を廃案に
海野普吉　世界　188（'61－8）

政防法案と共犯の独立罪
西村克彦　法律のひろば　14－8（'61－8）

政防法案の国会における参考人意見等
小野清一郎，団藤重光，毛受信雄，田上穣治，種橋茂，藤原弘達，真野　毅，武藤光朗　法律時報資料版　9（'61－6）

政防法を論ず
真野　毅　中央公論　76－7（'61－7）

政防法・大衆行動への弾圧法
吉川経夫　労働経済旬報　476（'61－6）

政暴法について
田畑　忍　同志社法学　13－2（'61－10）

政防法について
植松　正，小野清一郎，木村亀二，野村平爾，和田英夫　法律時報資料版　9（'61－6）

政防法の考え方と問題点
大島太郎　日本文学　10－6（'61－7）

政防法はなぜ危険か
大野正男　世界　189（'61－9）

政暴法案
吉川経夫　労働法　18（'61－10）

政暴法案を検討する —— 主として労働運動との関連において【座談会】
片岡　昇，黒田了一，杉村敏正，宮内　裕
季刊労働法　11－2（'61－6）

政暴法案の法的性格
上田誠吉　前衛　185（'61－8）

政暴法斗争の意義と今後の課題
山田　昭　労働法律旬報　419（'61－6）

政暴法の思想 —その底にあるもの
宮内　裕　法学セミナー　66（'61－9）

政暴法の性格
千葉正士　月刊社会教育　5－9（'61－9）

政暴法はどうしても阻止しなければならない
松本善明　前衛　186（'61－9）

政暴法反対斗争と公安条例
中田直人　月刊総評　56（'61－12）

政暴法反対斗争と公安条令
青柳孝夫，高橋清一　前衛　185（'61－5）

戦後治安立法の性格と背景 —— 政防法案をめぐって
稲本洋之助　思想　446（'61－8）

団体規制の憲法的意味 —— 政治的暴力行為防止法案に関して
有倉遼吉　法律時報　33－8（'61－8）

弾圧立法に修正はありえない —— 自民，民社党の政暴法修正案批判
中田直人　労働法律旬報　419（'61－6）

弾圧立法の決定版 ——「政治的暴力行為防止法案」
中田直人　労働法律旬報　417（'61－5）

治安維持法と労働運動
秋田成就　社会労働研究　12（'60－12）

治安刑法の研究 —— 戦後治安立法の基本的構造＜1～5＞
夏目文雄　法経論集（愛知）　31～35（'60－6，10，'61－1，5）

治安立法の動向【座談会】
宮沢俊義，田中二郎，兼子　一，団藤重光，高辻正己，宍戸基男　ジュリスト　235（'61－10）

治安立法の歴史的考察 —— 政暴法案に関連して
遠山茂樹　歴史学研究　259（'61－11）

朝鮮戦争と言論集会の弾圧 —— 法社会学的考察
上野裕久　法経論集（佐賀）　8－2（'61－3）

デモは暴力か？
中村　厳　法律時報　33－4（'61－4）

デモンストレーションの権利について —— デモ規制の反民主的性格
沼田稲次郎　労働法律旬報　370（'60－2）

テロ行為に対する刑事立法のディレンマ
西村克彦　法律のひろば　14－5（'61－5）

テロと戦う法律
植松　正　文芸春秋　39－4（'61－4）

テロの助長とテロ防止
戒能通孝　法律時報資料版　9（'61－6）

テロリズムと破防法
宮内　裕　法律時報　33－3（'61－3）

破壊活動防止法の運用状況 —— 同法違反刑事事件判決要旨
法律時報資料版　11（'61－8）

破防法発動に反対する三つの声明 —— 安保批判の会他
世界　171（'60－3）

暴力対策としての軽犯罪法の運用
乗本正名　警察公論　16－13（'61－12）

暴力対策立法の基本態度
杉村敏正　法律時報資料版　6（'61－4）

暴力追放とその対策
早川　崇　法律時報資料版　6（'61－4）

暴力とその取締り【座談会】
星野安三郎，吉川経夫，桜木澄和，小松茂夫
法律時報　33－4（'61－4）

「明日にして現在の危険」原則の適用をめぐる問題 —破防法38 II 2事件の判例を中心にして
清水　睦　公法研究　22（'60－8）

立法における設計と討議の性格 —— 政治的暴力行為防止法案を素材として
川口頼好　ジュリスト　235（'61－10）

売春防止法

国連アジア会議と売春問題
佐藤　豁　捜査研究　76（'58－3）

売春をめぐる婦人問題とその対策
高橋展子　捜査研究　76（'58－3）

売春禁止途上の日本
神田多恵子　捜査研究　76（'58－3）

売春防止と婦人の保護対策
加藤威二　捜査研究　76（'58－3）

売春防止法関係判例考＜1～4完＞
佐藤佐治右衛門　研修　143～146（'60－5～8）

売春防止法の精神
勝尾鐐三　捜査研究　76（'58－3）

売春防止法の特色について
桝谷　広　捜査研究　76（'58－3）

交通犯罪

交通事故判例における因果関係の予見可能性
井上祐司　刑法雑誌　10－2（'60－3）

交通事犯の実態について
内海　倫　刑法雑誌　10－2（'60－3）

過失による交通事犯と危険の分配 —— 判例の動向
大塚　仁　刑法雑誌　10－2（'60－3）

外国刑事法

諸　国

欧米の矯正事情について
渡部善信　刑政　71－1，4（'60－1，4）

霞のなかの死刑史
岡崎文規　法律時報　32－7（'60－6）

諸外国の少年による窃盗の新傾向
黒川　驍　青少年問題　8－8（'61－8）

諸外国の少年の酒と麻薬の犯罪
黒川　驍　青少年問題　8－7（'61－7）

諸外国の少年の性犯罪
黒川　驍　青少年問題　8－5（'61－5）

スェーデンとラテン・アメリカ諸国における非行少年の処遇
宮原三男　明治大学法制研究所紀要　3（'60－6）

世界各国の少年犯罪＜1～4＞
長島　敦　警察公論　15－9～12（'60－9～12）

世界各国の少年犯罪とその対策 —— 第2回国連犯罪防止世界会議に関連して
検察月報　133（'60－6）

南の国の囚人たち＜1～3＞
正木　亮　刑政　72－10～12（'61－10～12）

名誉毀損罪に関する各国の法制
西原春夫　法律時報資料版　7（'61－5）

ヨーロッパの保安処分施設の印象
平野竜一　研修　161（'61－11）

アメリカ

アメリカ刑法における殺人罪について —— 序説
時武英男　法と政治　11－3（'60－9）

アメリカ刑法における「不能犯」
塚本重頼　自由と正義　12－6（'61－6）

アメリカ少年矯正施設を訪ねて —— 吉益教授への通信から抜萃＜1＞
宮沢　修　犯罪学雑誌　26－1（'60－4）

アメリカにおける過失と自動車事故 —— その構成と処罰の実態
敷田　稔　刑法雑誌　10－2（'60－3）

アメリカにおける自動車窃盗犯 —— J．ホール「Theft，Law and Society」よりの抄訳＜1～3完＞
大野真義　阪大法学　35～37（'60－6，10，12）

アメリカの刑法界の印象
藤木英雄　法律のひろば　14－11（'61－11）

グリュック社会予測表の新しい検定について —— コロンビア地区およびオークランド郡における実験例
安倍治夫　法律のひろば　13－10（'60－10）

裁判官の問題としての量刑について
Kaufman，I.R.　法曹時報　13－4（'61－4）

集団不法行為の規制
北野筍一郎　警察研究　32－7（'61－7）

犯人逮捕の協力者を保護すべき義務
塚本重頼　判例時報　210（'60－1）

1人の男の死 —— カリル・チェスマンについて
坂西志保　社会改良　5－4（'60－8）

米国の少年法制の発達と青少年矯正委員会制度について
宮原三男　法律論叢　34－1（'60－8）

米国の青少年矯正委員会制度について —— ユース・オーソリティ
宮原三男　家庭裁判月報　12－11（'60－11）

米国における国際犯罪取締について
古川健次郎　警察学論集　14－1（'61－1）

米国における少年保護の理論と実際＜1，2完＞
山口　透　家庭裁判月報　13－4，5（'61－4，5）

ミネソタ州立男子少年訓練学校職員の服務要領
春口徳雄　刑政　71－3（'60－3）

イギリス

イギリスにおける少年犯罪者の裁判と処遇改革の動向
黒川　驀　青少年問題　8－4（'61－4）

イギリスにおける非行少年の処遇
宮原三男　法律論叢　33－6（'60－3）

イギリスの刑事政策
小川太郎　社会改良　6－1/2（'60－12）

イギリスの児童少年に関する委員会の報告書 — 裁判と処遇を改正する勧告
黒川　驀　レファレンス　11－5（'61－5）

イギリスのチャタレー事件の裁判
長島　敦，本間達三　法律のひろば　14－1（'61－1）

イギリスの不法集会，不穏集会，騒擾罪
黒川　驀　レファレンス　10－4（'60－4）

海の向うのケースワークを聞く —— 米国のグウィン氏を囲んで【座談会】
島田善治，他　更生保護　11－3（'60－3）

英国の青少年保護制度 —非行のある青少年の審判と処遇＜1，2完＞
宮原三男　家庭裁判月報　13－7，8（'61－7，8）

英国の性犯罪
本間達三　警察学論集　13－10（'60－10）

英国の保護観察制度
Gwynne，S.A.　保護月報　47（'60－3）

英国版チャタレー公判ノート
荒瀬　豊　法律時報資料版　3（'61－1）

英米刑法における緊急避難論
森下　忠　刑法雑誌　12－1（'61－1）

英米刑法における主観的要素と推定の問題
鈴木享子　明治大学短期大学紀要　5（'60－11）

英米刑法におけるMENS REAをめぐる問題 —— 殺人罪を中心として
鈴木享子　明治大学短期大学紀要　4（'60－3）

海外の矯正ところどころ
福井　徹　刑政　72－4～7（'61－4～7）

軽減責任について
Williams，G.　警察研究　32－6（'61－6）

訳註・1957年英国殺人罪に関する法律
高窪貞人，堀　　孟，西野哲也　英米法学　12（'61－6）

1957年英国殺人法 — 死刑廃止法案殺人法及び過失殺人法の改正＜1，2＞
社会改良　5－1，2（'59－8，12）

夜の女の法廷
市川房枝　文芸春秋　38－1（'60－1）

イタリア

イタリア刑法学の現況 — 刑法総論の文献解題
宮沢浩一　法学研究　33－10（'60－10）

イタリア刑法における不動産窃盗
森下　忠　ジュリスト　194（'60－1）

韓国・朝鮮

アジア各国の刑事法研究＜1～3＞
刑法読書会　立命館法学　33，35（'60－6，12）36（'61－3）

韓国刑罰論＜1，2＞
夏目文雄　警察研究　32－9，10（'61－9，10）

韓国における治安立法
金　圭昇　法律時報　33－7（'61－7）

韓国犯罪論＜1，2＞
夏目文雄　警察研究　32－11，12（'61－11，12）

ソビエト

刑事責任の基礎について
宮崎　昇　法律のひろば　14－10（'61－10）

社会主義の法「刑事法」
木田純一　綜合法学　36（'61－7）

新ロシヤ共和国刑事法典＜1～5＞
宮崎　昇　警察研究　32－4～7，9（'61－4～7，9）

新ロシア共和国刑事法典について＜1～4＞
宮崎　昇　法律のひろば　14－4～7（'61－4～7）

新ロシア刑事法の諸問題＜1～3＞
宮崎　昇　研修　156，159，161（'61－6，9，11）

新ロシヤ刑法と実証学派
宮崎　昇　ジュリスト　228（'61－6）

ソヴェト刑法＜1～5＞
宮崎　昇　研修　147～150（'60－9～12），152（'61－2）

ソヴェト刑法講座＜20～37＞
宮崎　昇　法律のひろば　13－1～12（'60－1～12），14－2，8～12（'61－2，8～12）

ソヴェト刑法における因果関係＜1～3完＞
中山研一　法学論叢　66－6，67－1，68－3（'60－3，4，12）

ソヴェトにおける少年裁判制度の変遷 —ソヴェト少年犯罪対策＜2＞
宮崎　昇　警察研究　31－1（'60－1）

ソヴェトにおける酩酊責任
中山研一　法律時報　33－2（'61－2）

ソヴェト連邦1958年の刑法基本原則＜1，2＞
牧野英一　季刊刑政　9－1，2（'61－3，6）

ソヴェト連邦の1958年刑法基本原則
季刊刑政　8－1（'60－3）

ソ連における犯罪対策と新らしい法規 —タイムズ・イズベスチャ論争をひきおこした注目のトピックス
法律時報　33－7（'61－7）

ソ連における犯罪との斗いと世論の参加
Gorkin，A.　法律時報　33－3（'61－3）

ソ連の新しい刑事法
Iwanov，B.　法律時報　32－9（'60－7）

1960年ソヴェイト連邦新刑法
季刊刑政　9－3（'61－9）

中　国

中華人民共和国刑法の諸問題＜4＞
夏目文雄　法律のひろば　13－1（'60－1）

中国の刑務所
木田純一　国際問題研究所紀要　29（'60－3）

中国の死刑問題管窺
宮坂　宏　社会改良　3－4（'58－5）

ドイツ

飲酒酩酊犯罪の理論構成 — 独刑法第330条aにおける酩酊犯罪の取扱
鈴木享子　明治大学短期大学紀要　3（'59－2）

エベルハルト・シュミット記念論文集の紹介
刑法読書会　法学論叢　70－3（'61－12）

瀆職罪
山口林之助　社会科学論叢（長崎）　10（'60－8），11（'61－6）

ガラス犯罪論の研究
斉藤金作　早稲田大学比較法研究所紀要　12('60)

西独の犯罪情勢 —特に少年非行とその対策
佐藤佐治右衛門　ジュリスト　211（'60－10）

1959年ドイツ刑法各則草案 — 刑法大委員会第1読会の決議，司法省の修正による
斉藤金作　早稲田大学比較法研究所紀要　13（'60)

1960年ドイツ刑法草案
斉藤金作　早稲田大学比較法研究所紀要　18（'61)

1956年ドイツ刑法総則草案における「共犯規定」について
植田重正　法学論集　9－3/4（'60－3）

ドイツ刑法学の精神的状況＜1，2＞
Würtenberger，T.　司法研修所報　24，25（'60－2，7）

ドイツ刑法の重罪の協定，殺人の陰謀の罪について—多数人の結合を対象とする罪についての考察
宇野栄一郎　レファレンス　10－4（'60－4）

ドイツ森林刑法及び刑事訴訟法の特殊性
Mantel，K.　早稲田法学　36－1/2（'61－2）

西ドイツ刑法1960年草案
季刊刑政　9－3（'61－9）

西ドイツにおける過失交通事犯
西原春夫　刑法雑誌　10－2（'60－3）

西ドイツにおけるストライキのさいの刑事事件についての検察及び裁判の運用＜4，5完＞
武安将光　研修　145，148（'60－7，10）

西ドイツの1956年案とわが仮案
季刊刑政　8－1（'60－3）

東ドイツにおける司法の政治的背景 — 刑法典補充法は刑罰の緩和か＜1，2＞
山田　晟　国家学会雑誌　73－6，7（'60－3，5）

ふたたび東ドイツの刑法補充法について
横山晃一郎　法政論集　16（'61－3）

不真正不作為犯と西独刑法改正草案＜1，2完＞
宮沢浩一　法学研究　33－1，3（'60－1，3）

ワイマール共和国擁護法について
畑田重夫，杉本幹夫　法律時報資料版　6（'61－4）

フランス

威力業務妨害罪における「威力」と旧刑法・フランス刑法 —立法沿革小史
荘子邦雄　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

なぜフランスの少年犯罪は少ないか
武田慎二　法律のひろば　14－12（'61－12）

フランスにおける未遂理論
米田泰邦　司法研究所報　24（'60－2）

フランスの犯罪学・刑事司法・行刑
藤野　豊　法律のひろば　14－10（'61－10）

フランス犯罪学の動向
小木貞孝　犯罪学年報　1（'60－7）

其の他

アジア各国の刑事法研究＜4，5＞— モンゴル人民共和国
刑法読書会　立命館法学　37，38（'61－6，9）

インド刑法について
木田純一　国際問題研究所紀要　31（'61－7）

オランダにおける犯罪学
Derks，W.H.　犯罪学雑誌　27－1（'61－2）

スイス刑法における緊急避難論
森下　忠　法経学会雑誌　10－2（'60－9）

スペインにおける保安処分
森下　忠　ジュリスト　207（'60－8）

ベルギーの新社会防衛法案
森下　忠　ジュリスト　230（'61－7）

民事手続法

民事手続法一般

新しい民事訴訟記録の編成
千種達夫　判例時報　245（'61－1）

学界回顧　1960年 — 民事訴訟法
斉藤秀夫　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年 — 民事訴訟法
中村英郎　法律時報　33－13（'61－12）

裁判官より弁護士への注文
古関敏正　自由と正義　12－8（'61－8）

市民の権利の確保と民事裁判 —民事紛争の処理における裁判機構
広中俊雄　法律時報　32－10（'60－8）

訴訟的法考察方法の妥当領域
渥美東洋　法学新報　68－12（'61－12）

訴訟の促進
石井良三　判例時報　255（'61－4）

手形訴訟法復活の是非について
佐藤良輔　手形研究　5－12（'61－12）

不利益負担による民事裁判の強化 — 論議の素材として
石井良三　ジュリスト　198（'60－3）

弁護士から裁判官への注文
阪埜淳吉　自由と正義　12－8（'61－8）

民事裁判における注文【座談会】
石井良三，近藤完爾，新村義広，江沢義雄，小山隼太，藤林益三，馬場東作　自由と正義　12－8（'61－8）

民事裁判の諸問題【座談会】
新村義広，村松俊夫，畔上英治，毛利野富治郎，石井良三，内藤頼博，梶村敏樹　法曹時報　13－3

（'61－3）

民事裁判の対象
伊東　乾　法学研究　34－12（'61－12）

民事裁判の方向【座談会】
川島武宣，田辺公二，西　迪雄，橋之四郎平，三ケ月章，松村俊夫，染野義信　法律時報　32－10（'60－8）

民事事件と刑事事件の交錯 —— その類型についての若干の考察
忽那　寛　レファレンス　11－4（'61－4）

民事訴訟規則の一部を改正する規則の解説
西　迪雄　法曹時報　12－5（'60－5）

民事訴訟制度の反省とその将来
三ケ月　章　ジュリスト　193（'60－1）

民事訴訟促進のために
鉅鹿義明　ジュリスト　198（'60－3）

民事訴訟の近代化 —— 司法修習生のために
畔上英治　ジュリスト　194（'60－1）

民事訴訟法 —— 法律学15年の回顧と展望
三ケ月　章　ジュリスト　217（'61－1）

民事訴訟法（今年の判例を顧みる）
新堂幸司　法律時報　32－14（'60－12）

民事訴訟法（法律学をいかに学ぶか）
中村宗雄　綜合法学　22（'60－5）

民事訴訟法を如何に学ぶか【対談】
兼子　一，染野義信　綜合法学　26（'60－9）

民事訴訟法改正の諸問題
染野義信　綜合法学　30（'61－1）

民事紛争の解決規範
三野昌治　東洋法学　4－2（'61－3）

民訴法改正の指向するもの
菊井維大　法律時報　32－10（'60－8）

民事法廷の技術
石井良三　法律時報　33－12（'61－11）

山木戸克己「民訴理論の基礎的研究」【書評】
木川統一郎　法律時報　33－10（'61－10）

略式訴訟の概念と本質 —— 手形訴訟・保全訴訟・督促手続の基礎＜1，2＞
松浦　馨　法学協会雑誌　77－5，78－2（'61－4，8）

わが国民事訴訟における弁護士報酬についての一考察
内田武吉　早稲田法学　37－1/2（'61－12）

民事訴訟法

民事訴訟法一般

管轄
高島義郎　法学セミナー　62（'61－5）

事件の構成
石井良三　判例時報　257（'61－5）

支払命令
安倍　武　ジュリスト　222（'61－3）

自由な証明 —— 主として決定手続との関連において
菊井維大　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

訴訟手続等管見
宗宮信次　自由と正義　11－4（'60－4）

訴訟に関する合意とその問題点
染野義信　綜合法学　25（'60－8）

訴訟の審理はいかに進行するか
高島義郎　綜合法学　26（'60－9）

当事者主義と弁論主義の動向
小山　昇　法律時報　32－10（'60－8）

判決以外の訴訟終了原因
中村英郎　法学セミナー　68（'61－11）

民事訴訟における参加の諸形態とその特質
伊東　乾　法学教室　2（'61－11）

民事訴訟における信義誠実の原則
中野貞一郎　民商法雑誌　43－6（'61－3）

民事訴訟における訴訟行為概念について
上村明広　民事訴訟雑誌　7（'61－2）

当事者

共有権の妨害排除を求める訴の当事者（判例百選）
小山　昇　ジュリスト　200（'60－4）

裁判所と当事者
池田浩一　法学セミナー　66（'61－9）

訴訟当事者
小室直人　法学セミナー　63（'61－6）

当事者の変更，訂正に関する判例について
元木　伸　司法研修所報　24（'60－2）

当事者の表示の訂正と限界
田中京助　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

任意的当事者変更
鈴木重勝　民事訴訟雑誌　7（'61－2）

任意的当事者変更
飯塚重男　上智法学論集　5－2（'61－11）

任意的当事者変更の許容根拠
鈴木重勝　早稲田法学　36－3/4（'61－3）

任意的当事者の変更
高島義郎　綜合法学　23（'60－6）

訴・訴訟手続一般

一部請求の訴訟上の取扱
小室直人　法学教室　1（'61－7）

訴
木川統一郎　綜合法学　34（'61－5）

訴を如何に提起するか
野間　繁　綜合法学　26（'60－9）

訴取下契約
竹下守夫　立教法学　2（'61－2）

訴の取下をなすべき契約の効力（判例百選）
上村明広　ジュリスト　200（'60－4）

訴の利益（判例百選）
竹下守夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

訴の利益をめぐる訴訟法上の諸問題
斉藤秀夫　法学教室　1（'61－7）

金額請求について
小山　昇　民事訴訟雑誌　6（'60－3）

口頭弁論終結後の承継人について
小山　昇　法学会論集　10－1/4（'60－3）

裁判上の和解
中村英郎　民事訴訟雑誌　7（'61－2）

裁判の対象と訴訟の対象
伊東　乾　法学研究　33－2（'60－2）

釈明権と釈明義務
石井良二　判例時報　248（'61－2）

釈明権について＜2完＞
安井光雄　法学　24－2（'60－6）

釈明権について
中村英郎　綜合法学　34（'61－5）

釈明権の行使＜1～3＞
石井良三　判例時報　250～252（'61－3）

釈明の機能
石井良三　判例時報　249（'61－2）

実務的主張責任，立証責任の分配
松本重美　判例タイムズ　11－10（'60－10）

請求
伊東　乾　法学セミナー　65（'61－8）

戦後の釈明権に関する判例
斉藤秀夫，安井光雄　民事訴訟雑誌　6（'60－3）

争訟手続の委任代理について
内田　修　法学論集　9－2（'60－1）

訴権
中野貞一郎　法学セミナー　64（'61－7）

訴訟行為をめぐる二，三の問題
中村英郎　綜合法学　19（'60－2）

訴訟上の承継
中村英郎　綜合法学　41（'61－12）

訴訟と執行からみた占有の承継
村松俊夫　法学新報　68－7（'61－7）

訴訟の承継（判例百選）
鈴木正裕　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

「訴訟の目的」をめぐる論争とその史的背景
中村英郎　綜合法学　24（'60－7）

訴訟要件が問題となるのは何故か
白川和雄　綜合法学　26（'60－9）

中間確認の訴について
早川　登　名城法学　11－2/3（'61－12）

特定物引渡訴訟における占有承継人の地位
三ケ月　章　法曹時報　13－6（'61－6）

認諾の法的性質について
白川和雄　東洋法学　4－2（'61－3）

平沢被告の聴取書成立無効確認の訴をめぐる問題
中村宗雄　判例評論　25（'60－3）

民訴201条1項の承継人（判例百選）
江藤价泰　ジュリスト　200（'60－4）

和解無効（判例百選）
谷口安平　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

訴訟物

会社法上の訴についての訴訟法学的考察
由比宏忠　山梨大学法経論文集　8（'60－12）

株主総会決議取消訴訟における訴訟物と既判力 —— Arensの見解について
上村明広　法経学会雑誌　10－2（'60－9）

株主総会決議取消の訴と裁判所の裁量権
由比宏忠　山梨大学法経論文集　7（'59－12）

抗告訴訟の訴訟物
村上義弘　経済研究（大阪府立大）　14（'60－2）

事実関係について —— 訴訟物理論の一断面
小山　昇　法学会論集　11－2（'61－3）

訴訟物理論昨今の動向
伊東　乾　綜合法学　36（'61－7）

訴訟物論
小山　昇　法学会論集　11－3（'61－3）

代償請求（判例百選）
吉村徳重　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

expressa causa について —— 物権訴訟の訴訟物理論のために
木川統一郎　民事訴訟雑誌　6（'60－3）

証　拠

「如何なる目的で証拠調をするか」について
内田武吉　綜合法学　26（'60－9）

挙証責任
木川統一郎　法学セミナー　67（'61－10）

交互尋問の現状と改廃論
石井良三　判例時報　243（'60－12）

交互尋問における当事者と裁判官
石井良三　判例時報　245（'61－1）

交互尋問における問題点の所在
石井良三　判例時報　244（'61－1）

裁判官尋問によせて
石井良三　判例時報　246（'61－1）

裁判上の自白
竹下守夫　民商法雑誌　44－3（'61－3）

裁判上の自白の取消（判例百選）
高島義郎　ジュリスト　200（'60－4）

自白と慣習（判例百選）
萩　大輔　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

実質的証拠に立証されたる「事実」について
川上宏二郎　法政研究　26－4（'60－4）

書証のウエイトとその濫用
石井良三　判例時報　256（'61－5）

証人心理 —— ある民事事件での経験
植松　正　ジュリスト　266（'61－5）

調査証拠の経済とその証拠力 —— 証拠方法の客観化についての一試論
染野義信　法学紀要　3（'61－6）

民事検証調書の簡易化を試みる
豊田圭一　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

民事訴訟における証拠調の結果の援用についての一考察
河副　弘　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

裁判の既判力

外国判決の承認並びにその条件に関する一考察 —— 民訴法第200条の解釈適用について＜1，2完＞
矢ケ崎武勝　国際法外交雑誌　60－1，2（'61－6，8）

既判力

鈴木俊光　綜合法学　34（'61－5）

既判力拡張と執行力拡張 —— 占有承継の法的評価を契機として
吉村徳重　法政研究　27－2/4（'61－3）

既判力拡張における依存関係＜1～3＞
吉村徳重　法政研究　26－4，27－1（'60－4，7）28－1（'61－9）

既判力の拡張と反射的効果＜1，2＞
鈴木正裕　神戸法雑誌　9－4，10－1（'60－3，6）

既判力の対象と裁判所の選択権 ——「請求」論争への一視点＜1，2＞
井上正三　立命館法学　32，33（'60－3，6）

形成判決の効力
鈴木正裕　法学論叢　76－6（'60－9）

差戻判決の拘束力に関する一覚書
嶋田敬介　同志社法学　12－5（'61－2）

氏名詐称と判決の効力（判例百選）
中務俊昌　ジュリスト　200（'60－4）

氏名冒用と既判力の範囲
木川統一郎　綜合法学　21（'60－4）

集中審理
櫛渕　理　法曹時報　13－7（'61－7）

集中審理
石井良三　判例時報　253（'61－4）

所有権に基く登記請求を認容した確定判決と所有権の存否についての既判力（判例百選）
木川統一郎　ジュリスト　200（'60－4）

除権判決に対する不服申立の訴からみた除権判決制度の構造 —— 特に除権判決自体の効力について
松岡和生　明治学院論叢　66（'61－10）

審理経過票取扱要領私案
斉藤基樹　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　('60－11)

審理と判決
石井良三　判例時報　254（'61－4）

判決瑕疵論に関する一覧書
上村明広　法経学会雑誌　11－2（'61－9）

判決の成立及び効力
木川統一郎　綜合法学　26（'60－9）

判決の第三者に及ぼす影響＜3完＞
木川統一郎　法学新報　68－3（'61－3）

分割債務の既判力（判例百選）
井上正三　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

法廷におけるウソ
下光軍二　法律時報　33－12（'61－11）

民事訴訟手続における判決確定の時期
池田鹿雄　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　('60－11)

上　訴

請求の予備的併合と控訴審の審判（判例百選）
小室直人　ジュリスト　200（'60－4）

判決と法令違反との間の因果関係について —— 民事上告審における判決破棄要件に関する一考察
松本時夫　司法研修所報　24（'60－2）

強制執行・保全訴訟法

いわゆる仮差押解放金について
田倉　整　判例タイムズ　12－7（'61－6）

仮処分と強制執行（判例百選）
佐々木吉男　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

仮処分と執行命令
西川美数　警察学論集　13－5（'60－5）

仮処分取消のための特別事情の判断と「金銭補償可能な事情」（判例百選）
松浦　馨　ジュリスト　200（'60－4）

仮の地位を定める仮処分の必要性
沢　栄三　法曹時報　12－12（'60－12）

仮の地位を定める仮処分の法律構成
沢　栄三　民商法雑誌　43－6（'61－3）

仮の地位を定める仮処分の満足的機能
沢　栄三　民事訴訟雑誌　6（'60－3）

共同占有に対する強制執行 —— 夫婦の財産に対する執行を中心として
小室直人　民商法雑誌　43－6（'61－3）

強制執行機関の再編成
三ケ月　章　民事研修　39（'60－7）

強制執行と滞納処分の統一的理解 —— 新国税徴収法の評価と強制執行法の再検討＜1，2完＞
三ケ月　章　法学協会雑誌　76－5，6（'60－7，8）

強制執行における平等主義の一断面＜1，2＞
宮脇幸彦　民事研修　52，53（'61－8，9）

強制執行の実態＜1～5完＞
柳川真佐夫，近藤完爾，山本実一，佐久間仙司，長田公麿，藤林益三，高井常太郎　判例タイムズ　11－1～6（'60－1～6）

工業所有権と仮処分
三宅正雄　商事法務研究　207（'61－3）

財産分与と保全処分
渡辺　薫　上智法学論集　5－2（'61－11）

債権者取消訴訟と強制執行
中野貞一郎　民事訴訟雑誌　6（'60－3）

暫定的確認仮処分の効力
沢　栄三　法曹時報　12－1（'60－1）

収去命令に関する実務上の問題
中尾文男　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　('60－11)

執行異議と即時抗告（判例百選）
白川和雄　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

執行請求権論
石川　明　法学研究　34－6（'61－6）

執行吏保管と点検執行
岡垣　勲　判例タイムズ　12－5（'61－4）

譲渡禁止債権と転付命令（判例百選）
中村英郎　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

請求異議の訴
菊井維大　法学セミナー　46（'60－1）

占有訴権・保全訴訟と緊急自力救済 —— いわゆる権利の実質的保護の制度としての考察
小野村資文　法学（近大）　8－2（'59－12）

滞納処分と強制執行等との手続の調整に関する法律の一部改正等の解説
佐竹新也，宮脇幸彦　法曹時報　12－3（'60－3）

転付命令
村松俊夫　ジュリスト　204（'60－6）

特殊保全処分について
田中正雄　民事訴訟雑誌　7（'61－2）

否認と抗弁
村松俊夫　法学教室　2（'61－11）

被差押債権についての訴訟に対する差押の効力＜1＞
福永有利　六甲台論集　7－1（'60－4）

不当執行論
石川　明　法学研究　34－7（'61－7）

法律行為の取消と請求異議の訴（判例百選）
中野貞一郎　ジュリスト　200（'60－4）

保全訴訟を如何に理解するか
池田浩一　綜合法学　26（'60－9）

民訴セミナー —— 強制執行を中心に＜1～25＞
岩野　徹，岩松三郎，兼子　一，吉川大二郎，三ケ月章，宮脇幸彦，村松俊夫　ジュリスト　213～240（'60－11～'61－12）

無体財産権の差押性
菊井維大　立教法学　1（'60－3）

離婚による財産分与請求権保全のための仮処分の許否
山主政幸　判例評論　32（'60－11）

人事訴訟手続法

（家事審判を含む）

いわゆる玉乃海裁判
中川善之助　法律時報　33－12（'61－11）

家事債務の不履行原因 —— 大都市における履行確保制度の効果
湯沢雍彦　法社会学　12（'61－8）

家事債務の履行確保について
大森純雄　東北学院大学論集　35/36（'59－11）

家事事件の処理 —— 訴訟と非訟
山主政幸　綜合法学　36（'61－7）

家事事件の非公開と調停委員等の証言
村崎　満　家庭裁判月報　12－4（'60－4）

家事審判及び家事調停の効力＜2～7完＞
宮脇幸彦　戸籍　141（'60－6），149，155～158（'61－1，6～9）

家事審判事項としての財産分与請求権の問題点
石川　明　法学研究　33－2（'60－2）

家事審判の告知に関する実務の問題点
友景正二　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　('60－11)

財産分与と保全処分
渡辺　薫　上智法学論集　5－2（'61－11）

財産分与の裁判
有地　亨　判例時報　213（'60－2）

裁判別居の機能 —— その離婚との関連における立法的考慮
三田高三郎　東洋法学　4－2（'61－3）

実務からみた履行確保制度の現状と問題点＜1～4完＞
中山文枝，湯沢雍彦，水越玲子，浅賀健二，渓口富士子，白島敬三　家庭裁判月報　13－3～6（'61－3～6）

渉外家事事件と家庭裁判所
山田鐐一　法社会学　12（'61－8）

親子関係確認の訴と人訴の適用（判例百選）
染野義信　ジュリスト　200（'60－4）

親子関係存在確認の訴における二，三の問題
高島義郎　法学論集　9－5/6（'60－3）

審判による扶養料支払の始期について
石川恒夫　法学会論集　11－2（'61－3）

訴訟と非訟 —— 家事事件をとおして
山主政幸　法社会学　12（'61－8）

相続と審判
高梨公之　自由と正義　12－1（'61－1）

戸籍と家事審判制度
市川四郎　戸籍　150（'61－1）

認知請求訴訟における諸問題 —— 最高裁の判例を機縁として
小山　昇　民商法雑誌　44－1（'61－4）

不貞の抗弁とそのゆくえ
好美清光　時の法令　342（'60－2）

扶養料の求償
伊藤利夫　自由と正義　11－8（'60－8）

有責配偶者の離婚請求権
千種達夫　判例時報　213（'60－2）

離婚をめぐる今日の問題
鍛冶千鶴子　自由と正義　12－1（'61－1）

非訟事件手続法

非訟事件に於ける当事者
鈴木忠一　法曹時報　12－4（'60－4）

非訟事件の裁判と執行の諸問題
鈴木忠一　法曹時報　13－11（'61－11）

行政事件許訟特例法

〔行政訴訟法をも見よ〕

税金訴訟の問題について —— 行政事件訴訟特例法改正要綱試案に対する一考察
広瀬時映　税経通信　15－13（'60－12）

選挙関係争訟の提起状況について
渡瀬正和　選挙　13－4（'60－4）

選挙争訟について＜上，下＞
藤江忠二郎　選挙　13－2，3（'60－2，3）

高橋貞三編著「判例行政事件訴訟特例法」【書評】
山本浩三　同志社法学　12－1（'60－4）

行政処分無効確認訴訟と仮処分（判例百選）
柳瀬良幹　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

行政争訟制度の改正
ジュリスト　228（'61－6）

行政事件訴訟特例法及び訴願法の改正について
池原卓朗　地方自治　161（'61－5）

行政事件訴訟特例法改正要綱試案（小委員会案），同要点説明
ジュリスト　207（'60－8）

行政事件訴訟特例法改正要綱試案（小委員会案）の要点解説
杉本良吉　自治研究　36－9（'60－9）

行政事件訴訟特例法改正要綱試案
法律時報　32－10（'60－8）

行政事件訴訟特例法改正要綱試案（小委員会案）をめぐる諸問題＜上，下＞【研究会】
市原昌三郎，入江俊郎，杉本良吉，田中二郎，田中真次，新村義広，橋本公亘　ジュリスト　209，210（'60－9）

行政事件訴訟特例法改正要綱試案（小委員会）
法曹時報　12－7（'60－7）

行政事件訴訟特例法改正要綱試案について
中川一郎　税法学　116（'60－8）

行政事件訴訟特例法改正要綱の検討と批判
南　博方　民商法雑誌　44－4（'61－7）

行政事件特例法改正の方向
高木右門　判例時報　237（'60－8）

行政事件訴訟特例法の改正案について
杉村章三郎　自治研究　36－11（'60－11）

行政訴訟特例法の改正試案＜上，下＞
時の法令　358，360（'60－7，8）

行政事件訴訟特例法改正の諸問題
田中真次　法律のひろば　13－12（'60－12）

行政事件訴訟特例法の改正について
綿貫芳源　自治研究　36－9（'60－9）

行政事件訴訟特例法の改正要綱
有倉遼吉　警察時報　16－7（'61－7）

行政手続と行政監察の機能
山本正太郎　公法研究　23（'61－10）

行政手続と行政訴訟との関係
市原昌三郎　公法研究　23（'61－10）

行政手続法典の編纂
中村弥三次　上智法学論集　5－2（'61－11）

行政手続法の課題──アメリカにおける展開とわが国における展望
杉村敏正　法学教室　1（'61－7）

行政手続法の諸問題【シンポジウム】
田中二郎，他　公法研究　23（'61－10）

議員の任期満了と除名処分の取消を求める訴の利益（判例百選）
田中真次　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

検察官聴取書成立無効確認の訴についての諸論点
中村宗雄　早稲田法学会誌　10（'60－7）

皇居外苑使用不許可処分取消請求権（判例百選）
南　博方　ジュリスト　200（'60－4）

特別手続法

破産法

取戻権
菊井維大　法学セミナー　53（'60－8）

破産原因
恒田文次　法学セミナー　50（'60－5）

破産債権の行使
小室直人　法学セミナー　49（'60－4）

破産実務ノート
永谷行雄　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

破産宣告が訴訟に及ぼす影響
染野義信　法学セミナー　52（'60－7）

破産手続の実態──東京地方裁判所を中心とした＜1～10完＞【座談会】
柳川真佐夫，石原辰次郎，荻山虎雄，森　昇太郎，藤江忠二郎，藤村益三，松尾　巌，新村義広
判例タイムズ　11－8～12－12（'60－8～'61－11）

破産とその予防制度について
恒田文次　青山法学論集　3－2（'61－12）

破産法メモ＜1＞
藤江忠二郎　判例タイムズ　12－9（'61－8）

否認権
薄根正男　法学セミナー　52（'60－7）

競売法

競売開始の決定後に建物の所有者がした賃借権譲渡の承諾の効力
長塚安幸　自由と正義　12－12（'61－12）

競売と売却条件
山本実一　判例評論　40（'61－9）

競売法による競売と民事訴訟法の準用（判例百選）
斉藤秀夫　ジュリスト　200（'60－4）

斉藤秀夫「競売法」【紹介】
中野貞一郎　法学　24－4（'60－11）

差押登記のある不動産の処分の効果について
小倉　馨　財経詳報　402（'61－9）

任意競売における異議（判例百選）
池田浩一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

不動産競売（強制，任意）事件の競売申立の取下
中瀬二郎　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

不動産に対する強制および任意競売事件の記録閲覧に関する若干の問題について
樫田寅雄　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

不動産に対する強制執行と競売法による不動産競売手続の促進について
巽　仲男　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

不動産の評価について
手嶋貞夫　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

各種調停

いわゆる強制調停は憲法に違反するか
長谷部茂吉　法律のひろば　13－10（'60－10）

憂うべき和解・調停の盛況
遠藤　誠　法律時報　33－4（'61－4）

家事事件の非公開と調停委員会等の証言
村崎　満　家庭裁判月報　12－4（'60－4）

家事調停一般について
阿比留謙吉　自由と正義　12－1（'61－1）

家事調停雑感
加藤　晃　自由と正義　12－1（'61－1）

家事調停について
大山菊治　自由と正義　12－1（'61－1）

家事調停の回顧
野田孝明　自由と正義　12－1（'61－1）

強制調停を違憲とする決定について
新堂幸司　ジュリスト　209（'60－9）

裁判と和解・調停
石井良三　判例時報　258（'61－5）

商事仲裁の法機能──仲裁制度の善用と悪用
喜多川篤典　法社会学　11（'61－5）

地方における民事調停──島根県における実態調査に基づいて
佐々木吉男　法律時報　32－10（'60－8）

民事調停法
池川良正　民事月報　16－2（'61－2）

外国民事手続法

アメリカ

アメリカにおける交互尋問【座談会】
池原季雄，末延三次，谷川　久，中根　宏　ジュリスト　206（'60－7）

アメリカにおける和解判決の効力
谷口安平　法学論叢　67－5（'60－8）

合衆国連邦裁判所において適用すべき法
平　良　法学研究　33－2（'60－2）

精神状態の証明──アメリカ証拠法における
平　良　法学研究　34－10（'61－10）

イギリス

イギリスにおけるwrit（令状）の起源
深瀬　秀　法と政治　11－3（'60－9）

イギリスの出訴期限法
矢頭敏也　比較法研究　22（'61－5）

英米法における推定理論＜2，3＞
楠本英隆　早稲田法学　36－3/4，37－1/2（'61－3，12）

中世イギリスに於ける計算訴訟と衡平法理
海原文雄　金沢大学法文学部論集法経篇　7（'60－3）

Domestic Tribunal におけるNatural gustice の原則
下山瑛二　法学雑誌　7－4（'61－3）

中　国

中国調停法序説
宮崎俊行　法学研究　33－2（'60－2）

ドイツ

A．エンゲルマン著「民事訴訟法概史」訳＜10～15＞
小野木　常，中野貞一郎　阪大法学　34～37（'60－2，6，10，12）　38，39（'61－2，7）

Albercht Zeuner: Die Objektiven Grenzen der Rechtskraft im Rahmen Rechtlicher Sinnzusammenhänge. Zur Lehre über das Verhälthis von Rechtskraft und Entscheidungsgründen im Zivilprozess. Tübingen, 1959, Xll us. 177 mit Literaturverzeichnis【書評】
伊東　乾　民事訴訟雑誌　6（'60－3）

所謂真正訴訟事件について
飯倉一郎　法学志林　58－2（'60－11）

訴訟行為に関する最近のドイツの学説について──機能的関連の問題を中心として
白川和雄　民事訴訟雑誌　7（'61－2）

ツォイネル著「既判力の客観的限界」【紹介】
霜島甲一　法学協会雑誌　76－6（'60－8）

ドイツの民事訴訟
近藤完爾　司法研修所報　26（'61－3）

西ドイツにおける近年の訴訟物理論の分析
小山　昇　法学会論集　11－1（'60－11）

発問権の内容および訴訟指揮についての留意事項──L．レヴィン「裁判官の訴訟指揮と法廷警察の理論と実際」より
武藤春光　司法研修所報25（'60－7）

ハンブルグ地方裁判所の民事訴訟
近藤完爾　法曹時報　12－10（'60－10）

東ドイツの家事裁判をみる
潮見俊隆　法律時報　32－7（'60－6）

プロイセンにおけるMachtspruch ── 司法に対する国王の干渉
村上淳一　法学協会雑誌　77－5（'61－4）

法規範的「訴訟の目的」とそれをめぐる諸問題＜1＞
中村宗雄　早稲田法学　37－1/2（'61－12）

フランス

フランス民訴制度の動向
江藤价泰　法律時報　32－10（'60－8）

フランス民事訴訟法研究の意義──比較民事訴訟法研究の課題と方法についての一つの試論
三ケ月　章　法学協会雑誌　78－3（'61－9）

フランス民事訴訟法典の翻訳＜1～3＞
法学協会雑誌　78－1～3（'61－7～9）

刑事手続法

刑事手続法一般

新しい予審制度の検討
青柳文雄　ジュリスト　199（'60－4）

暗黒裁判は許せない —— 証拠開示をめぐって
藤本　正　人権のために　5（'60－5）

外国人犯罪の処理手続
古川健次郎　警察公論　15－3（'60－3）

学界回顧　1960年 — 刑事訴訟法
鴨　良弼　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年 —— 刑事訴訟法
中武靖夫　法律時報　33－13（'61－12）

起訴状公開可否の問題についての私見
山本吾作　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

起訴便宜主義
河井信太郎　法学新報　68－5（'61－5）

刑事裁判の原理としての被害賠償
市川秀雄　法学新報　67－5（'60－5）

刑事司法の機能についての一つのメモ —— 法律家としての出発にあたつて＜1＞
三宅　陽　司法研修所報　26（'61－3）

刑事訴訟規則改正の内容と狙い
横井大三　警察学論集　14－8（'61－8）

刑事訴訟規則の一部を改正する規則について
千葉和郎　法曹時報　13－5（'61－5）

刑事訴訟規則の一部を改正する規則について
西村　法　法曹時報　12－5（'60－5）

刑事訴訟規則の一部を改正する規則についての経過説明
竹内　誠　自由と正義　12－7（'61－7）

刑事訴訟と人権
平野竜一　国家学会雑誌　73－5（'60－2）

刑事訴訟における二重機能的訴訟行為
駒沢貞志　法経論集（新潟）　9－3/4（'60－3）

刑事訴訟の促進の二つの方法
平野竜一　ジュリスト　227（'61－6）

刑事訴訟法（今年の判例を顧りみる）
光藤景皎　法律時報　32－14（'60－12）

刑事訴訟法（1960年代・法の将来と課題）
高田卓爾　ジュリスト　193（'60－1）

刑事訴訟法の基礎理論＜1～5完＞
平野竜一　法学セミナー　54～58（'60－9～'61－1）

刑事訴訟法 —— 法律学15年の回顧と展望
平野竜一，松尾浩也　ジュリスト　217（'61－1）

刑事第一審の事前準備に関する書記官事務の実態
小神野利夫　法曹時報　13－11（'61－11）

刑事手続における人権の保護
土屋正三　警察研究　32－7（'61－7）

刑訴法改正の歴史的背景
家永三郎　法律時報　33－13（'61－12）

検察官調書の事前閲覧をめぐる実務上の諸問題
西村　法　法律のひろば　13－3（'60－3）

検察官手持証拠の開示
平場安治　ジュリスト　240（'61－12）

検察官の法廷技術【座談会】
横井大三，金吉　聡，平田胤明，石山　陽，吉田淳一，藤本一孝　法律時報　33－12（'61－11）

誤判とジャーナリズム —— 新聞記者の責任と悩み【座談会】
大塚郁哉，滝沢国夫，中島健蔵，杉原素明，宮沢康郎，正木　亮　社会改良　5－3（'60－4）

誤判の原因
大竹武七郎　社会改良　5－3（'60－4）

公判中心主義の課題
青柳文雄　法曹時報　12－4（'60－4）

公判斗争の意義
後藤昌次郎　法律時報　33－12（'61－11）

国選弁護人問題の経緯
金末多志雄　ジュリスト　213（'60－11）

再審における人権感覚 —— 刑事再審制度の比較法的反省
安倍治夫　自由と正義　12－6（'61－6）

裁判官は法廷技術をどうみるか【座談会】
横川敏雄，千葉和郎，新関勝芳，佐々木史朗，江里口清雄，桑江常善　法律時報　33－12（'61－11）

裁判所は検察官所持の証拠を予め被告人または弁護人に閲覧させるよう命令することができるか
竜岡資久　法律のひろば　13－3（'60－3）

死刑事件と国選弁護人
団藤重光　ジュリスト　213（'60－11）

事前準備等に関する刑事訴訟規則の改正
金　隆史　警察研究　32－10（'61－10）

事前準備等に関する刑事訴訟法規則の改正について
西村　法　ジュリスト　227（'61－7）

司法の科学について
平出　禾　ジュリスト　201（'60－5）

集中審理の体験記録
原　清　法曹時報　13－12（'61－12）

上告論旨の傑作集＜1～5完＞
田原義衛　判例時報　273，274，276～278（'61－10～12）

新安保条約等の発効と刑特法
前田　宏　法律時報　32－13（'60－11）

新刑事訴訟法施行10年の運用実績＜1，2完＞
高橋正己　法律時報　32－9，10（'60－7，8）

人権の保護における刑事実体法の役割並びに刑事政策の諸目的及びその適正な限界について
保護月報　49（'60－9）

新法施行10年の実績から見た各審級の刑事裁判の概況
最高裁判所刑事局　法曹時報　12－2（'60－2）

東京地裁刑事部への疑問 —— 最近における勾留理由開示公判の諸問題
吉川経夫　法学セミナー　55（'60－10）

判決前調査制度の真意義
正田満三郎　判例時報　256（'61－5）

判決前調査制度はどうあるべきか
安倍治夫　刑政　72－3（'61－3）

法廷技術と法廷斗争
滝内礼作　法律時報　33－12（'61－11）

法廷速記等に関する刑訴規定の改正
浦辺　衛　ジュリスト　201（'60－5）

民事事件と刑事事件の交錯＜1，2＞
忽那　寛　捜査研究　116，117（'61－9，10）

無罪事件の検討
関沢正夫　警察学論集　14－11（'61－11）

鞭の下の訴訟進行
野田宗典　法律時報　33－6（'61－6）

琉球の刑事裁判法制上の長所
田中政義　自由と正義　12－3（'61－3）

琉球列島の新旧刑法並びに訴訟手続法典に関する論評
アメリカ人権協会　自由と正義　11－3（'60－3）

刑事裁判事件

松川事件

青柳文雄氏の「広津評決の検討」について
岡林辰雄　人権のために　3（'59－　）

基本的人権と「裁判の威信」—— 松川差戻し公判に望む
後藤昌次郎　世界　172（'60－4）

公平な裁判所の理念
青柳文雄　法学研究　34－8（'61－8）

最後の法廷に期待する
宮内　裕　中央公論　75－1（'60－1）

裁判と真実
広津和郎　中央公論　76－10（'61－10）

裁判批判と民主主義
渡辺洋三　世界　190（'61－10）

差戻審弁護人としての所感
佐々木哲蔵　法律時報　33－9（'61－9）

死刑被告としての12年
佐藤　一　中央公論　76－10（'61－10）

事件と裁判のあいだ【対談】
伊達秋雄，臼井吉見　文芸春秋　39－10（'61－10）

自白の評価と新証拠
鴨　良弼　ジュリスト　239（'61－12）

下飯坂裁判官の少数意見
中田直人　人権のために　3（'59－　）

証拠法からみた松川無罪判決
本田正義　警察公論　16－11（'61－10）

勝利の判決をみんなのものに —— 松川差戻判決で確認されたもの
中田直人　労働法律旬報　427（'61－9）

真実は勝つた
岡林辰雄　法律時報　33－9（'61－9）

新証拠の問題点
伊藤秋雄　ジュリスト　239（'61－12）

信頼できる裁判官
広津和郎　世界　190（'61－10）

すべての証拠は権力犯罪を証明する —— 松川事件差戻審証拠法論
上田誠吉　人権のために　10（'61－6）

それでもいわなければならない —— 最後に訴える
佐藤　一　世界　187（'61－7）

垂水意見を駁す
後藤昌次郎　人権のために　3（'59－　）

垂水裁判官の意見に対する私見
池田輝孝　人権のために　3（'59－　）

破棄差戻判決の行方
谷口正孝　ジュリスト　234（'61－9）

判決に現われた供述批判の検討 —— 特に赤間自白について
植松　正　ジュリスト　239（'61－12）

判決の概観と当面の問題
岡林辰雄　人権のために　3（'59－　）

判決の問題点と拘束力
大塚一男　人権のために　3（'59－　）

広津和郎著「松川裁判」の意義
大塚一男　人権のために　3（'59－　）

松川裁判を見つめて【座談会】
広津和郎，松本清張，北条秀司　婦人公論　46－9（'61－9）

松川裁判と現代文学
西田　勝　思想　448（'61－10）

松川裁判と12年
岡林辰雄　歴史評論　132（'61－8）

松川裁判に思う
千種達夫　判例時報　267（'61－8）

松川裁判の判決要旨を読んで
尾崎幸一　捜査研究　118（'61－11）

松川裁判のみかた
青柳文雄　法律のひろば　14－9（'61－9）

松川裁判の問題点と自由心証主義
大塚一男　ジュリスト　239（'61－12）

松川裁判の歴史的意義
家永三郎　中央公論　76－10（'61－10）

松川裁判の論理 ——「外から自白を見る」ことの思想史的意義
小松茂夫　思想　441（'61－3）

松川差戻し裁判
広津和郎　中央公論　75－7（'60－7）

松川差戻審の論告を糾弾する
大塚一男　前衛　180（'61－4）

松川差戻判決の意味するもの
岡林辰雄　労働法律旬報　427（'61－9）

松川事件
青柳文雄　警察公論　16－13（'61－12）

松川事件差戻後第2審判決について
田所二郎　判例時報　275（'61－11）

松川事件差戻審 —— 証拠の捏造を隠滅と
後藤昌次郎　法学セミナー　59（'61－2）

松川事件（差戻し第2審）判決要旨
ジュリスト　233（'61－9）

松川事件と12年 —— 差戻し裁判傍聴記＜1～4＞
広津和郎　世界　185～188（'61－5～8）

松川事件と新聞報道
井倉大雄　歴史評論　132（'61－8）

松川事件と一つの感想
真野　毅　判例時報　275（'61－11）

松川事件の教えるもの＜1～3完＞
山崎　薫　判例時報　269～271（'61－9，10）

松川事件の差戻判決について
安平政吉　判例時報　275（'61－11）

松川事件の捜査
青柳文雄　警察学論集　14－11（'61－11）
松川事件の判決
滝川春雄　判例時報　275（'61－11）
松川事件の見かた ── 広津評決と青柳論文をめぐつて＜3＞【討論】
広津和郎，青柳文雄，戒能通孝，平野竜一，野村正男　法律時報　32－1（'60－1）
松川事件の問題点 ── 仙台高裁判決を中心として
青柳文雄　自由と正義　12－10（'61－10）
松川事件 ── 破棄差戻判決の拘束力（判例百選）
井上正治　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
松川事件判決をきいて
戒能通孝　法学セミナー　67（'61－10）
松川事件判決をめぐつて
大塚一男　判例時報　275（'61－11）
松川事件判決公判傍聴記
植松　正　時の法令　398（'61－9）
松川事件判決とその周辺
杉原峰夫　判例評論　40（'61－9）
松川事件判決の問題点
鴨　良弼　法学セミナー　67（'61－10）
松川事件無罪判決に接して
中武靖夫　判例時報　275（'61－11）
松川判決の語るもの【座談会】
広津和郎，松本清張，戒能通孝　朝日ジャーナル　3－34（'61－8）
松川判決と新聞論調
山田　要　法律時報　33－9（'61－9）
松川判決の教訓
吉川経夫　自由と正義　12－10（'61－10）
松川無罪判決の教えるもの
木村亀二　法律時報　33－9（'61－9）
無罪と有罪との間
鵜飼信成　世界　190（'61－10）
無罪判決とその周辺
寿里　浩　ジュリスト　239（'61－12）
無罪判決に接して【座談会】
西村克彦，吉田常次郎，能倉　武　法律時報　33－9（'61－9）
無罪判決の教えるもの
伊達秋雄　中央公論　76－10（'61－10）
門田判決の法的究明【座談会】
鴨　良弼，青柳文雄，日沖憲郎，伊達秋雄　法律時報　33－9（'61－9）
門田判決の検討 ── 門田判決は真実を衝いているか
青柳文雄　ジュリスト　239（'61－12）

砂川事件

安保改定と砂川判決
長谷川正安　新日本文学　14－10（'59－10）
憂うべき断層
宮崎繁樹　法律時報　32－2（'60－1）
刑事特別法2条の意味について
藤木英雄　法律時報　32－2（'60－1）
刑事法の視点から
植松　正　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
憲法解釈の本質からの逃避
荘子邦雄　法律時報　32－2（'60－1）
憲法の番人のあり方
斉藤秀夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
護憲か護権か
黒田了一　法律時報　32－2（'60－1）
国際法的問題点は正当
経塚作太郎　法律時報　32－2（'60－1）
国際法の視野より
入江啓四郎　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
最後の法廷はこれから始まる
真野　毅　法律時報　32－2（'60－1）
最高裁砂川事件判決について
杉村敏正　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
最高裁「砂川判決」批判
伊藤正己　法学セミナー　47（'60－2）
最高裁の砂川判決 ──その意義とおもな論点
高辻正己　時の法令　339（'60－1）
最高裁は日本の裁判所である
熊倉　武　法律時報　32－2（'60－1）
最高裁メカニズム論
和田英夫　法律時報　32－2（'60－1）
最高裁判決における憲法 ── 安保条約の二側面
高野雄一　法律時報　32－2（'60－1）
最高裁判決の欠陥と矛盾
恒藤　恭　法律時報　32－2（'60－1）
最高裁判所の砂川判決に想う ── 主権国家の確立を望む
菅原　裕　自由と正義　11－2（'60－2）
最高裁判所の砂川判決について ── 安保条約第3条に基く行政協定に伴う刑事特別法違反事件に於ける最高裁判所判決の違憲性について
田畑　忍　同志社法学　11－5（'60－2）
司法権の消極性
井上正治　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
司法権の範囲を出てはならない
栗山　茂　法律時報　32－2（'60－1）
15対0への疑問 ── 砂川事件最高裁判決をめぐつて【討議】
鵜飼信成，橋本公亘，渡辺洋三，大野正男　中央公論　75－2（'60－2）
条約の合憲性 ── 砂川判決と関連して
藤田嗣雄　上智法学論集　4－2（'61－11）
審査権の放棄を悲しむ
一円一億　法律時報　32－2（'60－1）
新聞はどう論じたか
山田　要　法律時報　32－2（'60－1）
続・砂川判決と法の解釈
渡辺洋三　法律時報　32－2（'60－1）
砂川公判の経過
佐伯静治，内藤　功　法律時報　32－2（'60－1）
砂川判決を追つて【座談会】
荒川　豊，大塚郁哉，木村哲也，田島良雄，宮沢康朗　法律時報　32－2（'60－1）
砂川裁判における憲法法理の諸論点
盛　秀雄　経済研究（大阪府大）　12（'59－9）
砂川最高裁判決の批判
高柳賢三　時の法令　340（'60－1）

砂川最高裁判決はなにを確定したか
長谷川正安　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川事件最高裁判決をめぐつて【座談会】
我妻　栄，横田喜三郎，宮沢俊義，鈴木竹雄，田中二郎，兼子　一，石井照久　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川事件最高裁判決の本質
風早八十二　前衛　164（'60－2）
砂川事件差戻審 ── 憲法と安保体制
芦田浩志　法学セミナー　59（'61－2）
砂川事件差戻審の判決
佐藤　功，鴨　良弼，伊達秋雄，池田政章，中村哲　法律時報　33－5（'61－5）
砂川事件差戻審判決批評
大西芳雄　法学セミナー　63（'61－6）
砂川事件上告審判決の理論とその批判
祖川武夫　判例時報　211（'60－2）
砂川事件第2次第1審判決について ──上告審判決の拘束力など
松尾浩也　ジュリスト　226（'61－5）
砂川事件の最高裁判決と統治行為論 ──司法的思考の成熟度について
安倍治夫　法律のひろば　13－2（'60－2）
砂川事件の最高裁判決について ── 附・資料，判決全文
白石健三　法律のひろば　13－2（'60－2）
砂川事件の最高裁判決を読んで
林　修三　財政経済弘報　790（'60－1）
砂川事件の上告審判決と伊達判決
尾後貫荘太郎　法律のひろば　13－2（'60－2）
砂川事件破棄判決と憲法
木村亀二　法律時報　32－2（'60－1）
砂川事件判決に対する問題点 ── 評決の仕方を誤つたため棄却すべき破棄したのではないか
毛利与一　自由と正義　11－2（'60－2）
砂川上告審判決について
有倉遼吉　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川上告審判決について
高野雄一　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川第3判決の法理的所見
小林直樹　ジュリスト　227（'61－6）
砂川判決をめぐる若干の問答＜上，下＞
林　修三　時の法令　343，344（'60－2，3）
砂川判決をめぐる世評と批判
黒田了一　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川判決を読む
小林一郎　自由と正義　11－2（'60－2）
砂川判決小見 ── 憲法議会の論議と対照して
佐藤達夫　法律のひろば　13－2（'60－2）
砂川判決 ── 条約の違憲審査権を中心に
経塚作太郎　法律のひろば　13－2（'60－2）
砂川判決と刑事法
下村康正　綜合法学　19（'60－2）
砂川判決と憲法第9条
黒田了一　綜合法学　19（'60－2）
砂川判決と憲法第9条の法理
大石義雄　綜合法学　19（'60－2）
砂川判決と憲法の解釈
橋本公亘　思想　428（'60－2）
砂川判決と統治行為論など
今村成和　法律時報　32－2（'60－1）
砂川判決と歴史の教訓
辻　清明　法律時報　32－1（'60－1）
砂川判決に於ける憲法上の問題について
鈴木房太郎　宮城学院女子大学研究論文集　16（'60－3）
砂川判決における「戦力」論
小林孝輔　綜合法学　19（'60－2）
砂川判決における法と政治
長谷川正安　法律時報　32－2（'60－1）
砂川判決における法の解釈【座談会】
和田英夫，入江啓四郎，佐藤　功，橋本公亘，寺沢一，平野竜一　法律時報　32－2（'60－1）
砂川判決について
千種達夫　判例時報　209（'60－1）
砂川判決について
林田和博　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川判決の意義
田畑　忍　部落　11－7（'59－7）
砂川判決の批判的感想
渡辺洋三　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川判決の法律的問題【共同研究】
伊藤正己，小林直樹，寺沢　一，橋本公亘，和田英夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川判決の問題点総評
佐藤　功　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
砂川判決は終着点ではない
我妻　栄　世界　171（'60－3）
全員一致は歓迎できない
有倉遼吉　法律時報　32－2（'60－1）
伊達判事に聞く【インタヴュー】
法律時報　32－2（'60－1）
統治行為論の混乱
大西芳雄　法律時報　32－2（'60－1）
なぜ9条2項の解釈を避けたか
海野普吉　世界　170（'60－2）
日本の危機を表象する裁判
浅井清信　法律時報　32－2（'60－1）
判決と安保条約ならびに自衛隊
戒能通孝　法律時報　32－2（'60－1）
判決と「世界法」の立場
天野和夫　法律時報　32－2（'60－1）
判決に思うこと
新名丈夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
平和憲法と最高裁の使命
恒藤　恭　世界　170（'60－2）
不信感を裏書した判決
吉川経夫　法律時報　32－2（'60－1）
法の支配の範囲を拡げよ
斉藤秀夫　法律時報　32－2（'60－1）

平事件

いわゆる平事件と騒擾罪 ──最高裁判決をめぐつて
大塚　仁　判例評論　34（'61－2）
いわゆる平事件について

田原義衛　判例時報　244（'61－1）

平事件最高裁判所判決
ジュリスト　218（'61－1）

平事件最高裁判決をきいて
伊藤正己　ジュリスト　218（'61－1）

平事件の概要と2審判決の不正
竹沢哲夫　人権のために　7/8（'60－12）

平事件の最高裁判決を契機としてその審理状況を見る
——多数被告人を対象とする場合の審理方式
山浦重三　警察学論集　14－2（'61－2）

弁護士制裁事件

寺本，福島弁護士制裁事件資料
人権のために　6（'60－8）

退廷，拘束，過料
寺本　勤　法学セミナー　54（'60－9）

三池事件法廷斗争における弁護士制裁事件の問題点
諫山　博　労働法律旬報　418（'61－6）

其の他の事件

「消えた警察官」と国家権力
家永三郎　世界　182（'61－2）

偽証 —— アリバイ崩し
樫原一郎　文芸春秋　38－3（'60－3）

検察官の眼，国民の眼 —— 徳島事件の再審却下に思う
神近市子　世界　182（'61－2）

公安条例違反事件最高裁判決について
大林勝臣　地方自治　154（'60－10）

サド「悪徳の栄え」事件弁護側意見 —— 附・起訴状，検察側冒頭陳述等
法律時報資料版　13（'61－10）

サド裁判について
新井　章　法律時報資料版　13（'61－10）

シーメンス事件を聞く【座談会】
小原　直，和田良平，小林俊三，内藤頼博，津田実
法の支配　3（'60－7）

静岡県言論弾圧史の一断片 —— 前島・荒川「舌禍」事件関係史料
原口　清　法経論集（静岡）　12（'61－12）

鳴中事件と飯守発言をめぐつて
福田　平　思想　442（'61－4）

大逆事件を聞く —— 小原　直，和田良平両氏をかこんで【座談会】
小原　直，和田良平，小林俊三，内藤頼博，津田実
法の支配　3（'60－7）

鳥居は知つている —— 竜門殺人事件の場合
森長英三郎　法学セミナー　56（'60－11）

布施辰治の懲戒裁判
森長英三郎　人権のために　10（'61－6）

安保裁判の1年 —— 経過，争点，そして法律問題は何か
吉川経夫　警察研究　32－7（'61－7）

刑事訴訟法

刑事訴訟法一般

アメリカ合衆国軍人に対する刑事事件の起訴より公判開廷までの手続
赤木幸吉　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

違憲判断
伊達秋雄　綜合法学　34（'61－5）

供述拒否権の告知
原田綱夫　三重法経　8（'59－3）

共犯者の訴訟法上の取扱について
宮崎澄夫　綜合法学　37（'61－8）

刑訴法の実際問題 —— 逮捕状の有効期間
石川芳雄　警察時報　16－4（'61－4）

刑の廃止の性質 —— 判例に現われた意見の対立をめぐつて
宮崎澄夫　法学研究　33－12（'60－12）

刑の量定と犯行の否認
武安将光　ジュリスト　233（'61－9）

検証（実況見分）調書の作成＜1～3＞
石井春水　捜査研究　98，101，102（'60－1，4，5）

公判廷の自由（判例百選）
鴨　良弼　ジュリスト　200（'60－4）

差戻後の裁判
植松　正　時の法令　350（'60－5）

主任弁護人制について
鈴木　勇　法曹界　70（'60－1）

蹂躙された刑訴法
吉川経夫　世界　176（'60－8）

新旧刑特法と第2砂川事件
藤尾　彰　法律時報　32－11（'60－9）

真実発見と法技術
鴨　良弼　法学　25－1（'61－3）

訴訟手続の瑕庇の治癒
横井大三　法学セミナー　46（'60－1）

総合手配と世論
小山田正義　警察公論　16－3（'61－3）

捜査令状を発する司法官憲の法令審査権の有無 ——昭和35年5月2日東京地裁刑事13部の決定について
青柳文雄　法律のひろば　13－7（'60－7）

逮捕状の請求＜1～3＞
野瀬高生　警察公論　16－9～11（'61－8～10）

知能犯事件における弁護の方向
笹内純一　警察学論集　13－7（'60－7）

徴収事務規程解説＜1～14＞
河井貫司　研修　148～162（'60－10～'61－12）

盗品，遺失物の回復請求権と司法警察員の行う押収物の還付，仮還付との関係について
北野筍一郎　捜査研究　78（'58－5）

道路交通規則と黙秘権
鶴見裕策　明治大学法制研究所紀要　4/5（'61－5）

破棄判決の拘束力 —— その根拠と範囲
平場安治　法学教室　2（'61－11）

平野竜一著「刑事訴訟法」【紹介】
高田卓爾　法学協会雑誌　76－3（'60－3）

プラカード事件 —— 免訴の性質（判例百選）
田宮　裕　ジュリスト　200（'60－4）

不利益供述拒否権（黙秘権）
原田清司　横浜市立大学論叢　11－3（'60－4）

二つの余罪の間に執行猶予期間を経過した前科がある場合も主文は二つにすべきか
熊谷　弘　ジュリスト　210（'60－9）

保釈保証金の還付等について
杉田直作　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

保釈
中　利太郎　ジュリスト　215（'60－12）

麻薬取締法の記帳義務と黙秘権（判例百選）
田宮　裕　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

未決勾留日数の本刑算入と刑事補償について
大塚喜一　司法研修所報　26（'61－3）

黙秘権 —— セルフ・インクリミネーションに関する特権と関連して
長島　敦　綜合法学　34（'61－5）

勾　留

「意見の陳述」は何のためか（勾留理由開示をめぐつて）
井上正治　法律時報　32－11（'60－9）

解決の道はどこにあるか（勾留理由開示をめぐつて）
松尾浩也　法律時報　32－11（'60－9）

刑訴第60条論
寺尾正二　法曹時報　13－9（'61－9）

勾留手続のありかたと裁量権（勾留理由開示をめぐつて）
鴨　良弼　法律時報　32－11（'60－9）

勾留理由開示期日と裁判所
寺本　勤　法律時報　32－11（'60－9）

勾留理由開示制度について
青柳盛雄　人権のために　10（'61－6）

勾留理由の開示と法廷侮辱
森長英三郎　世界　178（'60－11）

司法の権威を傷つける（勾留理由開示をめぐつて）
中武靖夫　法律時報　32－11（'60－9）

制度自体の再検討を（勾留理由開示をめぐつて）
平野竜一　法律時報　32－11（'60－9）

逮捕・勾留
松尾浩也　法学セミナー　56（'60－11）

法令違反の訴訟指揮（勾留理由開示をめぐつて）
光藤景皎　法律時報　32－11（'60－9）

法廷秩序と勾留理由開示
上田誠吉　人権のために　9（'61－2）

弁護人の立場から（勾留理由開示をめぐつて）
松本善明　法律時報　32－11　（'60－9）

捜　査

違法な犯罪捜査に対する人権の保護についての若干の考察＜1～4完＞
安倍治夫　警察研究　31－6～9（'60－6～9）

おとり捜査
前田　宏　ジュリスト　220（'61－2）

おとり捜査（判例百選）
吉川経夫　ジュリスト　200（'60－4）

囮捜査について —— 判例を中心として
萩原玉味　法学雑誌　6－4（'60－3）

押収・捜索
横井大三　法学セミナー　57（'60－12）

押収，捜索について
光藤景皎　甲南法学　1－1（'60－12）

会社犯の捜査と証拠の蒐集
河井信太郎　警察学論集　13－7（'60－7）

解剖結果と捜査方針の樹立
田中　平　捜査研究　78（'58－5）

教育大を襲つた不法捜査
穂積重行　世界　176（'60－8）

緊急逮捕前の捜索差押に関する最高裁判決について
伊藤秋雄　ジュリスト　231（'61－8）

緊急逮捕の合憲性（判例百選）
中武靖夫　ジュリスト　200（'60－4）

刑訴法323条3号の書面
鴨　良弼　法学セミナー　48（'60－3）

誤認逮捕
千種達夫　判例時報　260（'61－6）

勾留状
横井大三　ジュリスト　205（'60－7）

事件発生から送致まで —— 傷害罪の捜査
吉岡　明　捜査研究　106（'60－10）

初動捜査と証拠
尾崎幸一　警察学論集　14－11（'61－11）

捜査 —— 公訴の公正を確保するための一案
広中俊雄　ジュリスト　235（'61－10）

捜査機関と名誉毀損
宇佐美初男　警察学論集　14－11（'61－11）

捜査における事実の認定
宮城盛持　警察学論集　14－11（'61－11）

捜査の構造序説
井戸田　侃　立命館法学　39/40（'61－12）

捜査の端緒
海治立憲　警察公論　16－3（'61－3）

知能犯罪の現況とその捜査
小林　朴　警察学論集　13－7（'60－7）

知能犯捜査実務＜1，2＞
浅井孝作　捜査研究　77，78（'58－4，5）

日教組差押捜索事件（判例百選）
平野竜一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

犯罪捜査から判決まで —— 共謀共同正犯を中心として【研究会】
鬼塚賢太郎，藤木英雄，前田　宏，松尾浩也，宮崎啓一，宮原守男　ジュリスト　234（'61－9）

犯罪捜査における写真の利用
小田島　稔　警察時報　16－4（'61－4）

被疑者の緊急逮捕に先立ちその不在中になされた捜査差押は違法か
栗田　正　法律のひろば　14－8（'61－8）

不動産をめぐる犯罪の捜査について
小林　朴　捜査研究　100（'60－3）

不動産犯罪捜査に必要な判例要旨とその解剖
黒田重雄　捜査研究　100（'60－3）

不動産犯罪の捜査上の着眼
大石　宏　捜査研究　100（'60－3）

文書の押収・捜索について
青柳文雄　ジュリスト　228（'61－6）

酩酊犯罪の捜査と証拠の蒐集
大石　宏　捜査研究　85（'58－12）

令状によらない捜索差押についての新判例
臼井滋夫　警察時報　16－8（'61－8）

証人尋問・鑑定・証拠

飲酒酩酊による精神障害の認定とその証拠
真野英一　警察学論集　14－7（'61－7）

改正刑事訴訟規則と速記による証人尋問調書の証拠能力等
大久保太郎　判例タイムズ　11－7（'60－7）

鑑定に対する法的評価 —— 精神鑑定についての若干の考察
臼井滋夫　警察学論集　14－7（'61－7）

鑑定の活用
横井大三　警察学論集　13－2（'60－2）

鑑定留置
伊藤栄樹　警察学論集　14－7（'61－7）

供述の任意性（判例百選）
青柳文雄　ジュリスト　200（'60－4）

刑事訴訟における証拠の開示
日野正晴　司法研修所報　25（'60－7）

検察官手持資料の事前閲覧問題
臼井滋夫　警察公論　15－3（'60－3）

検察官手持証拠の開示を命じた大阪地裁の命令＜2完＞
平場安治　判例時報　208（'60－1）

現場録音テープの証拠能力
臼井滋夫　自警　43－2（'61－2）

交互尋問制度
鴨　良弼　法律時報　33－12（'61－11）

交互尋問と弁論技術
中武靖夫　法律時報　32－5（'60－4）

最高裁判所と証拠開示
佐伯千仞　立命館法学　39/40（'61－12）

自由心証主義
青柳文雄　法学セミナー　63（'61－6）

写真の証拠能力
松尾浩也　上智法学論集　5－2（'61－11）

証拠書類等の閲覧（判例百選）
松尾浩也　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

証拠書類等の閲覧について
柳沼八郎　ジュリスト　197（'60－3）

証拠の湮滅
安田道夫　警察公論　16－6（'61－6）

証拠のとりかた，見分けかた ——弁護士の証拠に対する心がまえなど【鼎談】
正木ひろし，後藤昌次郎，上田誠吉　法律時報　32－5（'60－4）

証拠保全手続覚書
田倉　整　判例タイムズ　12－9（'61－8）

証人尋問
高田卓爾　法学セミナー　60（'61－3）

職権による証拠調の限界について
高井吉夫　綜合法学　27（'60－10）

捜査過程における鑑定
渋谷　亮　警察学論集　14－7（'61－7）

捜査の公正と証拠法
田上輝彦　ジュリスト　235（'61－10）

伝聞証拠
青柳文雄　綜合法学　34（'61－5）

伝聞証拠と憲法37条（判例百選）
平場安治　ジュリスト　200（'60－4）

伝聞証拠について
木田純一　法経論集（愛知）　34（'61－5）

伝聞証拠の許容性に関する論議
田村　豊　法学論叢　5－1（'60－4）

電話盗聴の法的規制 —— Wiretapping と interception of telephone の問題
桜田勝義　東北法学会雑誌　10（'60－11）

ニュース・ソースと新聞記者の証言義務（判例百選）
鴨　良弼　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

録音テープに関する証拠能力 —— 附・映画フイルムの証拠能力
松尾　翼　法律時報資料版　8（'61－6）

録音テープの証拠能力
栗本一夫　警察公論　16－4（'61－4）

自　白

供述調書の任意性＜1，2＞
野瀬高生　警察公論　16－6，7（'61－6，7）

共犯者の自白（判例百選）
平野竜一　ジュリスト　200（'60－4）

供述の任意性＜1～4完＞
小堀　旭　捜査研究　91，92，95，96（'59－6，7，10，11）

刑事裁判における自白について
海治立憲　警察公論　16－12，13（'61－11，12）

自白
鴨　良弼　法学セミナー　62（'61－5）

自白
佐々波与佐次郎　綜合法学　41（'61－12）

自白と捜査についての随想
横井大三　警察学論集　14－11（'61－11）

自白の補強証拠の範囲（判例百選）
高田卓爾　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

任意性よりみたる供述調書の在り方
野瀬高生　警察学論集　14－11（'61－11）

否認と自白に関する問題＜1，2完＞
玉生道経　捜査研究　81，82（'58－8，9）

不当に長い抑留・拘禁後の自白（判例百選）
松尾浩也　ジュリスト　200（'60－4）

公訴・告訴・公判

起訴状
井上正治　法学セミナー　59（'61－1）

岸盛　一，横川敏雄著「事実審理」【書評】
中野次雄　法律時報　32－6（'60－5）

刑事訴訟法第335条第2項の主張
太田雍也　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

継母と電話と告訴
植松　正　時の法令　344（'60－2）

決定および命令の告知について
佐沢利雄　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

公訴権と訴訟条件の関係
高田卓爾　法学教室　2（'61－11）

公訴時効について —— 混合説の批判
坂口裕英　法政研究　26－4（'60－4）

公訴時効についての二，三の問題 —— 桐生のロックアウト事件から
田宮　裕　ジュリスト　206（'60－7）

公訴事実の同一性 —— 窃盗と賍物運搬
鴨　良弼　法学教室　1（'61－7）

公訴事実の同一性に関する最近の判例
高田卓爾　判例評論　29（'60－7）

公判調書
井戸田　侃　法学セミナー　64（'61－7）

告訴告発の取扱について＜1～5完＞
石井春水　捜査研究　91，92，94～96（'59－6，7，9～11）

事実認定の機徴＜1～5完＞
岡部行男　判例時報　224～228（'60－6，7）

「集中審理」についての回顧と展望＜1～6＞【座談会】
横川敏雄，岸　盛一，他　判例タイムズ　12－1，2，4，7，10，12（'61－1～3，6，9，11）

集中審理の諸問題＜11～13＞
刑事裁判実務研究会　判例タイムズ　11－2，4，9（'60－2，4，9）

電話による告訴は許されるか
臼井滋夫　自警　42－12（'60－12）

判決書
中野次雄　法学セミナー　65（'61－8）

判決と求刑
本田正義　警察公論　15－1（'60－1）

両罰規定における法人の公訴時効
田中永司　ジュリスト　219（'61－2）

訴　因

訴因の変更
中武靖夫　法学セミナー　59（'61－2）

訴因変更の必要性（判例百選）
光藤景皎　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

密出国事件における訴因の特定 —— 白山丸事件の第1審判決をめぐって
本田正義　法律のひろば　13－5（'60－5）

上　訴

控訴審
伊達秋雄　法学セミナー　66（'61－9）

控訴審における事実の取調 —— 諏訪メモをめぐつて
青柳文雄　法学教室　1（'61－7）

上告審
宮崎澄夫　法学セミナー　67（'61－10）

「上訴」の利益について
安村和雄　判例タイムズ　11－7（'60－7）

破棄判決の拘束力 —— 砂川事件上告審判決を中心として
鴨　良弼　法律時報　32－5（'60－4）

再審・非常上告

刑事再審開始決定について
藤野英一　判例タイムズ　12－7（'61－6）

刑事再審事件の運用状況について
西村　法　警察研究　32－2（'61－2）

刑事再審手続における事実取調の具体的方法について
藤野英一　判例タイムズ　11－5（'60－5）

50年目の大逆事件 —— 再審請求の意味
塩田庄兵衛　労働問題　37（'61－6）

再審について
藤野英一　警察研究　32－2（'61－2）

再審理由としての証拠の新規性と明白性＜1，2＞
安倍治夫　警察研究　32－2，3（'61－2，3）

吉田石松再審請求事件 —— 附・再審請求開始決定書
円山田作　自由と正義　12－6（'61－6）

陪　審　法

陪審制・参審制についての一考察
青柳文雄　上智法学論集　4－1（'60－5）

陪審制度について【座談会】
島　　保，他　法の支配　4（'61－1）

少　年　法

〔刑事法中「少年問題・犯罪」をも見よ〕

検察官送致の一考察
平井哲雄　家庭裁判月報　12－1（'60－1）

現行少年法についてなされたある立法意見に対する批判
石黒善一　法律のひろば　13－3（'60－3）

旧少年法における保護処分について
坂田　仁　法学研究　33－4（'60－4）

家庭裁判所における少年保護事件の審判と附添人制度について
溝口喜方　自由と正義　12－5（'61－5）

最近の少年犯罪と少年法
森田宗一　警察時報　16－11（'61－12）

準少年保護事件の特質
伊藤政吉　家庭裁判月報　12－8（'60－8）

準少年保護事件の本質
伊藤政吉　ジュリスト　198（'60－3）

少年院送致処分に関連して —— 家庭裁判所への願い
樋口忠吉　刑政　71－6（'60－6）

少年院送致をめぐる諸問題 ——家庭裁判所側よりみた
市村光一　刑政　71－6（'60－6）

少年警察と児童福祉
三宅守一　警察研究　32－5（'61－5）

少年事件について── 家庭裁判所からみた少年非行【シンポジゥム】
菊池信男，他　東北法学会雑誌　10（'60－11）

少年審判調書の記載について
中村良昭　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

少年審判の対象と科学的調査の位置
坂田　仁　法学研究　34－5（'61－5）

少年のテロ犯罪と少年法の改正
宮崎　昇　警察公論　16－4（'61－4）

少年犯罪とその処理について＜1＞
検察月報　130（'60－3）

少年保護事件調査の方法論的検討── 規範学と経験科学との接点
瓜生　武　家庭裁判月報　13－12（'61－12）

少年保護事件における家庭裁判所での決定執行について
執行指揮印の押印の要否
熊倉平治　裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

少年保護処分手続における家庭裁判所の審判
長谷川　武　綜合法学　31（'61－2）

少年法運用の問題点とその背景
森田宗一　綜合法学　31（'61－2）

少年法改正の問題
内藤文質　綜合法学　31（'61－2）

少年法改正の問題点
菊谷倭太郎　家庭裁判月報　13－6（'61－6）

少年法改正論に関する一考察
吉田　渉　ケース研究　66（'61－11）

少年法雑考＜1～6＞
佐藤佐治右衛門　研修　149～155（'60－11～'61－5）

少年法と新聞── 浅沼・嶋中事件に関連して【座談会】
新聞研究　118（'61－5）

少年法に関する諸問題＜1～5完＞
佐藤佐治右衛門　警察研究　32－4，5，7～9（'61－4，5，7～9）

少年法の改正について
宮原三男　家庭裁判月報　12－1（'60－1）

少年法の改正論議と問題点＜1～3完＞
臼井滋夫　捜査研究　99，101，102（'60－2，4，5）

少年法の比較法的考察
宮原三男　綜合法学　31（'61－2）

続少年法に関する諸問題＜1，2＞
佐藤佐治右衛門　警察研究　32－11，12（'61－11，12）

年長の非行少年の処分について
宮原三男　刑政　72－4（'61－4）

非行少年の審判に関する諸問題
宮原三男　法律論叢　34－3（'60－11）

非行少年の性格
土井敏彦　捜査研究　107（'60－11）

保護観察と少年審判立会
鈴木昭一郎　保護月報　48（'60－7）

宮原教授著「少年法」をめぐつて
森田宗一　法律時報　33－12（'61－11）

人身保護法

憲法第34条と人身保護法
小林一郎　自由と正義　11－12（'60－12）

勾留理由開示と人身保護法
河原畯一郎　自由と正義　11－12（'60－12）

人身保護法とその判例
河原畯一郎　公法研究　22（'60－8）

判例人身保護法
山本浩三　同志社法学　12－4（'60－10）

外国刑事手続法

アメリカ

アパラチン事件 ── 刑事事件におけるプリトライアルについての再考察
Kaufman，I.R.　法曹時報　13－1（'61－1）

アメリカにおける準被告の審査手続に関する問題点
大野盛直　愛媛大学紀要社会科学　3－2（'59－12）

アメリカに於けるトライヤル・コートの刑事裁判実務について＜1～4＞【研究会】
樋口　勝，佐藤千速，山崎　茂，横川敏雄，加藤一芳，向井哲次郎，東　　徹　判例タイムズ　12－6，8，11，13（'61－5，7，10，12）

アメリカの刑事公判陪審
長島　敦　法の支配　4（'61－1）

アメリカの少年法制＜1，2完＞
沼辺愛一　家庭裁判月報　12－6，7（'60－6，7）

刑事事件におけるプリトライアル
Kaufman，I.R.　法曹時報　12－7（'60－7）

交通裁判所 ── 裁判官の責任
Levin，G.S.　法曹時報　13－10（'61－10）

自白によつて発見された事実と自白の証拠能力
吉野辰雄　英米法学　11（'60－5）

上訴審における国選弁護人の指定
塚本重頼　法律のひろば　13－7（'60－7）

正義のための11年の斗い ── 7回死刑宣告を受けた男の物語
Marine，G.　法学セミナー　47（'60－2）

ソベル事件はどこへ行く
荻野芳夫　ジュリスト　225（'61－5）

追加された証人 ──10年前のヒス・スパイ事件の誤判を追及する生ける法廷技術＜1，2＞
Altman，G.T.　法律時報　33－12，13（'61－11，12）

米国刑事手続法＜1～3＞
藤島　昭　研修　160～162（'61－10～12）

米国における青年非行者の審判制度 ── 青年裁判所について＜1，2＞
宮原三男　家庭裁判月報　12－4，5（'60－4，5）

米国の少年裁判所制度について＜1，2＞
宮原三男　法律論叢　34－4，5（'60－12，'61－1）

イギリス

イギリスにおける刑事訴追＜1～4＞
土屋正三　警察研究　31－2～5（'60－2～5）

英米法における予備審問の手続について
光藤景皎　甲南法学　2－2（'61－9）

チャタレイ公判証言要旨訳
松本伸子　法律時報資料版　13（'61－10）

ラムベス少年裁判所視察の記
羽山忠弘　警察学論集　14－3（'61－3）

ソビエト

新しいロシヤの少年法
宮崎　昇　警察学論集　14－11（'61－11）

新ロシア共和国刑事訴訟法典＜1～4完＞
中山研一　法律時報資料版　5～8（'61－3～6）

新ロシア共和国刑訴法について
宮崎　昇　法律のひろば　14－3（'61－3）

ソビェト刑事訴訟法と再審制度＜1～4完＞
宮崎　昇　警察研究　32－2～4，6（'61－2～4，6）

ロシア共和国刑事訴訟法典訳＜1～8＞
宮崎　昇　警察学論集　14－2～5，7，8，10，12（'61－2～5，7，8，10，12）

ドイツ

ドイツ国会放火事件の裁判
花田政道　法律時報　33－1（'61－1）

東西ドイツおよびオーストリヤの少年裁判所法
宮原三男　法律論叢　34－2（'60－9）

西ドイツにおけるストライキの際の刑事事件についての検察及び裁判の運用＜4，5完＞
武安将光　研修　145，148（'60－7，10）

其の他

新中国の刑事裁判
木田純一　ジュリスト　197（'60－3）

フランスにおける非行少年の処遇
宮原三男　法律論叢　33－5（'60－3）

南ヴェトナムの少年裁判所
青少年問題　7－4（'60－4）

経済産業法

経済産業法一般

アジア経済研究所法案
斉藤成雄　時の法令　347（'60－4）

沖縄産業法の構造と実体
高田源清　法律時報　32－6（'60－5）

海外経済協力基金法案
久米田秀夫　時の法令　348（'60－4）

企業の市民社会的構造 ── 経済法的分析
吉永栄助　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

経済法概念の規定問題と環境衛生適正化について
大友　徹　拓殖大学論集　27（'61－6）

経済法の将来とその課題（1960年代，法の将来と課題）
金沢良雄　ジュリスト　193（'60－1）

経済法の成立
北村五良　桃山学院大学経済学論集　1－1（'59－11）

経済法の目的に就いて
豊田悌助　拓殖大学論集　25（'60－11）

経済法 ── 法律学15年の回顧と展望
金沢良雄　ジュリスト　217（'61－1）

財産権の経済法的制限態様
高田源清　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

財閥家憲と「家」制度
福島正夫　法社会学　12（'61－8）

市法売買法の特色について
武野要子　商経論叢（九州商大）　1（'60－11）

文書提出令状の領域的限界（国際不正競争）
入江啓四郎　ジュリスト　203（'60－6）

Merchantebility について
村井藤十郎　名城法学　11－2/3（'61－12）

割賦販売法

割賦販売に関する取引秩序法の作成
今井祐之介　財政経済弘報　799（'60－2）

割賦販売に対する法政策的態度
加藤一郎　法律時報資料版　5（'61－3）

割賦販売の二重的性格
品川誠平　税務弘報　9－6（'61－6）

割賦販売の法律問題 ── 仙台に於ける実情を中心にして
稲村良平　東北法学会雑誌　11（'61－12）

割賦販売の流通秩序を確立
藤田正次　時の法令　353（'60－3）

割賦販売法
野村正幸　時の法令　400（'61－9）

割賦販売法案
藤田正次　時の法令　353（'60－6）

割賦販売法案について
小松国男　法律時報資料版　5（'61－3）

割賦販売法案について
藤田正次　ジュリスト　202（'60－5）

割賦販売法案の意義とその内容
小松国男　商事法務研究　205（'61－3）

割賦販売法案のねらいどころ
松尾金蔵　東商　153（'60－3）

割賦販売法とその問題点
小西清治　ジュリスト　231（'61－8）

割賦販売法とはどんな法律か【座談会】

加藤一郎，小松国男，佐藤治郎，真木延幸　法律時報　33－8（'61－8）

割賦販売法について
斉藤太一　財経詳報　386（'61－6）

割賦販売法の施行と割賦販売をめぐる諸問題＜上，下＞
野村正幸　財経詳報　409，410（'61－11）

割賦販売法の施行について
新倉　隆　月刊中小企業　13－12（'61－12）

割賦販売法の逐条的解説
小松国男　法律時報資料版　10（'61－7）

割賦販売法の大要
大内　剛　財政経済弘報　876（'61－6）

日本の割賦販売について
中神太郎　愛知学芸大学研究報告社会科学　10（'61－2）

わが国割賦販売に関する立法のあり方 ── 西ドイツ割賦販売法その他と比較して
三津田松吉　レファレンス　10－3（'60－3）

商工会法

小規模事業者のため商工会を法制化 ── 既存の商工会に法人格を与え，国が助成措置
杉山和男　時の法令　349（'60－4）

商工会の組織等に関する法律案
杉山和男　時の法令　349（'60－4）

商工会組織等に関する法律制定の趣旨とその概要について
月刊中小企業　12－5（'60－5）

商工会の組織等に関する法律とその運営について
熊谷典文　地方自治　151（'60－7）

商工会の組織等に関する法律案について
佐々木三千秋　ジュリスト　202（'60－5）

商工会法について＜1，2完＞
熊谷典文　財政経済弘報　813，814（'60－5）

商工会法の制定にあたつて
小山雄二　月刊中小企業　12－5（'60－5）

独占禁止法

会社乗つ取りと独占禁止法
金子　実　財政経済弘報　805（'60－4）

カルテル法制の現状
斉藤芳治　財経詳報　303（'60－4）

かん詰の不正表示を規制
伊従　寛　時の法令　380（'61－3）

懸賞・景品付販売について
後藤英輔　ジュリスト　238（'61－11）

現代資本主義の法の再検討 ── 経済法としての独禁法の矛盾性
馬川千里　法学セミナー　60（'61－3）

公正取引委員会の準司法的機能
入江一郎　法律時報　32－7（'60－6）

国際カルテルに対する国内法的規制
金沢良雄　公正取引　126（'61－3）

最近におけるトラスト化の動向＜上，下＞
斉藤芳治　財経詳報　313，314（'60－6）

再販売価格維持政策の法的限界に関する一考察
久保村隆祐　エコノミア　17（'60－7）

再販売価格維持と独禁法
細川　潔　九大法学　6（'59）

消費者運動と独禁法制
三代川敏三郎　公正取引　119（'60－8）

消費者行政に占める独禁法の役割
坂根哲夫　財経詳報　368（'61－3）

提訴人の立場からみた独禁法違反処理手続＜1，2＞
入江一郎　公正取引　134，135（'61－11，12）

東宝スバル事件（判例百選）
今村成和　ジュリスト　200（'60－4）

独禁法における不公正な取引方法としての低価格販売
笹井昭夫　甲南法学　2－1（'61－6）

独禁法における不公正な取引方法としての低価格販売
笹井昭夫　経済法　4（'61－10）

独禁法改正の問題点
神野正雄　経営者　14－5（'60－5）

独禁法制の今後の問題
吉田仁風　公正取引　112（'60－1）

独禁政策と協同組合の法的本質との問題点
村橋時郎　公正取引　130（'61－7）

独禁法2条5項，6項にいう「公共の利益」について ── 違法阻却事由としての「公共の利益」
丹宗昭信　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

独禁法によるぎまん的取引方法の規制について ── 畜肉鯨肉等のかん詰等の場合を中心として
吉田仁風　財経詳報　353（'60－12）

独占禁止法をめぐる消費者の動き
厚谷襄児　公正取引　119（'60－8）

独占禁止法と価格維持
阿久津　実　中央経済　9－5（'60－5）

独占禁止法の基本問題＜1，2完＞
石井幸一　財政経済弘報　902，904（'61－11）

独占禁止法の国際的適用について
伊従　寛　財経詳報　297（'60－3）

独占禁止法の曲り角
今村成和　公正取引　112（'60－1）

トラスト法制の現状
斉藤芳治　財経詳報　310（'60－5）

トラスト規制はどうあるべきか ── 自由化問題に関連して
坂根哲夫　財経詳報　313（'60－6）

不公正な取引方法規制の現状＜上，下＞
斉藤芳治　財経詳報　325，330（'60－8）

不公正な取引方法について
笹井昭夫　甲南法学　1－1（'60－12）

貿易自由化と独禁法および輸出入取引法 ── 鉄鋼業の立場から
服部俊男　公正取引　115（'60－4）

貿易の自由化とカルテル政策
金沢良雄　公正取引　115（'60－4）

産業法

鉱業関係法

現行鉱業法は如何に改正さるべきか
長谷川　毅　自由と正義　12－12（'61－12）

鉱害の賠償と予防
石村善助　法律時報　32－3（'60－2）

鉱業権と他事業，他権益との調整
山田秋良　鉱山　12－9（'59－9）

鉱業条例と炭坑労働者
隅谷三喜男　藤林敬三博士還暦記念論文集（'60－11）

鉱業法の基本問題
山本幸助　時の法令　367（'61－10）

鉱業法の法制史的背景と問題点 ── 改正の在り方に関連して
塩見昌達　鉱山　12－9（'59－9）

石炭鉱業合理化臨時措置法の一部を改正する法律
鷲巣英策　時の法令　355（'60－6）

石炭四法の成立と石炭鉱業の問題点
竹谷源氏　財経詳報　411（'61－11）

全面的な改正気運の鉱業法
石井秀平　時の法令　341（'60－2）

工業関係法

機械工業振興臨時措置法の改正
宮沢俊義　財経詳報　383（'61－5）

企業者の技術水準維持義務
高田源清　法政研究　27－2/4（'61－3）

技術免許制度の法律問題
高田源清　産業労働研究所報　24（'61－3）

協同研究の推進について ── 鉱工業技術研究組合法の施行
山崎　衛　財経詳報　384（'61－4）

コンビナートとその法的意義
竹内敏夫　公正取引　128（'61－5）

低開発地域工業開発促進法の解説
大塩洋一郎　財経詳報　411（'61－11）

中小企業関係法

中小企業業種別振興臨時措置法案
琴坂重幸　時の法令　350（'60－5）

中小企業団体組織法をめぐる諸問題
吉野秀雄　公正取引　130（'61－7）

中小企業協同組合法による調整事業について
厚谷襄児　公正取引　122（'60－11）

貿易関係法

社会主義国との貿易と日本
森田堯丸　法律時報　32－6（'60－5）

自由化に伴う法的問題とクレーム問題
倉田寛吉　法律時報　32－6（'60－5）

代理人による貿易契約に関する問題
笹森四郎　商学論究　32（'60－12）

売買契約違反に対する損害賠償の請求
新堀　聡　貿易クレームと仲裁　7－6/7（'60－7）

貿易・為替主要用語解説
三井銀行外国部　法律時報　32－6（'60－5）

貿易自由化をめぐる法律問題【座談会】
金沢良雄，木村禧八郎，峯村光郎，高島節男　法律時報　32－6（'60－5）

貿易自由化と統制法規
福良俊之　公正取引　113（'60－2）

貿易自由化の法体制
矢野俊比古　法律時報　32－6（'60－5）

貿易取引における代理権 ── 本人と代理人との関係
笹森四郎　商学論究　31（'60－9）

貿易における銀行の役割
舟木　凌　法律時報　32－6（'60－5）

マーチン・ドムク編「国際貿易仲裁裁判」【紹介】
山本敬三　政経論叢（広島）　10－3（'61－1）

輸出入取引法改正覚書
宮野素行　通商産業研究　8－2（'60－2）

輸出入取引法の一部を改正する法律案
児玉幸治　時の法令　356（'60－7）

輸出入取引法の一部改正
馬郡　巌　財政経済弘報　906（'61－12）

輸出入取引法の一部改正をめぐつて
中井富男　財経詳報　368（'61－3）

輸出入取引法の改正
諸口昭一　貿易と関税　8－4（'60－4）

輸出入取引法の改正について
野村正幸　商事法務研究　207（'61－3）

輸出入取引法の改正について
塚田公太　経団連月報　8－2（'60－2）

輸出入取引法の改正について
馬郡　巌　財経詳報　410（'61－11）

輸入荷物の引取保証（L／G）と荷物貸渡（T／R）の法的考察
早川智夫　金融法務事情　266（'61－2）

金融関係法

医療金融公庫法案
黒木　延　時の法令　347（'60－4）

お買物預金の問題点について
徳田博美　ジュリスト　220（'61－2）

架空名義の預金
大住達雄　法律時報　32－14（'60－12）

為替予約の法律的性質
川口敏郎　金融法務事情　270（'61－4）

基本約定書のあり方
西原寛一　金融法務事情　241（'60－5）

基本約定書の性格と主要問題点
水田耕一　金融法務事情　241（'60－5）

銀行経営の近代化に伴なう法律問題【座談会】
高橋勝好，他　金融法務事情　261（'61－1）

銀行取引における譲渡担保の実務 ── 機械器具，流動動産，有価証券等【共同研究】
栗島　浩，上代博紀，林　裕　金融法務事情　229（'60－1）

銀行取引セミナー ── 当座預金＜7～11完＞

鈴木竹雄，加藤一郎，竹内昭夫，堀内　仁　ジュリスト　194～198（'60－1～3）

銀行取引セミナー —— 普通預金＜1～5完＞
鈴木竹雄，加藤一郎，竹内昭夫，堀内　仁　ジュリスト　214～219（'60－11，12）

銀行取引セミナー —— 定期預金＜1～4完＞
鈴木竹雄，加藤一郎，竹内昭夫，堀内　仁　ジュリスト　220～223（'61－2～4）

銀行取引セミナー —— 預金の差押＜1，2完＞
鈴木竹雄，加藤一郎，竹内昭夫，堀内　仁　ジュリスト　224，225（'61－4，5）

銀行取引約定書の検討【研究会】
我妻　栄，鈴木竹雄，加藤一郎，矢沢　惇，堀内仁　ジュリスト　213（'60－11）

金融機関の債権保全行為と独占禁止法＜上，中，下＞
日高　勲　財経詳報　391，393，395（'61－7，8）

詐害行為取消権と銀行取引＜6完＞
岡野哲二　バンキング　144（'60－3）

自行預金担保の法的性格 ——「担保差入証」作成作業への一助言
水田耕一　金融法務事情　294（'61－12）

消費者信用制度の新しい動き —— 銀行・百貨店の提携による延払信用販売について
坂倉芳明　ジュリスト　220（'61－2）

信用金庫の構造改革
水田耕一　金融法務事情　262（'61－1）

相続とその預金実務について＜上，中，下＞
竹田忠夫　金融法務事情　231，233，234（'60－2，3）

兌換銀行券条例の制定過程
吉野俊彦　バンキング　158（'61－5）

担保手形の取立金
堀内　仁　ジュリスト　203（'60－6）

中央銀行法の史的展開＜2，3＞
飯田正義　産業経済研究　17（'59－8），20（'60－5）

当座預金の差押をめぐつて —— 手形交換の決済終了時と差押の効力
西原寛一，加藤一郎，並木俊守，村松俊夫，水田耕一，島谷六郎　金融法務事情　273（'61－5）

日本銀行法改正問題の論点
小寺武四郎　経済学論究　13－1（'59－4）

日本銀行法改正論議を顧みて
酒井杏之助　経団連月報　8－11（'60－11）

日本銀行法の改正について
西村光夫　金融経済　52（'58－10）

保証委託契約と根抵当権の成立 —— 保証協会の求償権担保をめぐつて
吉野　衛　金融法務事情　248（'60－8）

預金契約の預入手続をなすものと真実の預金者
田辺　明　民事研修　49（'61－5）

約定書に関する覚書 —— 金融機関における約定書，改正作業への二，三の助言＜2＞
水田耕一　金融法務事情　231（'60－2）

琉球の金融制度＜1～3完＞
吉野俊彦　財政経済弘報　791～793（'60－1）

国際経済関係法

外資法の改正への新方向
木上兵衛　外交時報　24（'60－7）

ガットの規定とその運用 —— 貿易自由化との関連において
横井正美　法律時報　32－6（'60－5）

為替相場の変動と外国通貨金銭債権者の保護
土井輝生　綜合法学　21（'60－4）

為替・貿易の自由化と為替管理の法理
渡辺　誠　経済法　3（'60－10）

国際経済法と自由化
金沢良雄　経済法　3（'60－10）

資本取引の自由化 —— ADRの法律問題
矢沢　惇　経済法　3（'60－10）

ADR（米国予託証券）と外資法
清水　汪　時の法令　373（'60－12）

ADRの法律問題
矢沢　惇　東京株式懇話会会報　111（'60－12）

IMF（国際通貨基金協定）の8条国と14条国
時の法令　387（'61－5）

外国経済産業法

諸　国

原子力損害賠償責任法に関する欧州経済協力機構（OEEC）条約
武田孝雄　損害保険研究　23－2（'61－5）

東欧諸国の貿易機構とその法規
平竹伝三　貿易クレームと仲裁　7－12（'60－12）

東南アジアの企業形態概観
岡本善八　同志社法学　12－3（'60－8）

東南アジアの産業立法
志津田氏治　東南アジア研究年報　2（'61－3）

独占禁止条項の面からみた欧州共同市場の性格
丹宗昭信，柏木　駿　法政研究　26－4（'60－4）

西欧における独占禁止政策の基礎と実際＜1，2＞
外務省調査月報　1－7，8（'60－10，11）

アメリカ

ウィルソン反トラスト立法をめぐつて —— その資本主義観の一側面
関　正一　静岡大学教育学部研究年報　10（'60－3）

持許と反トラスト法
細川　潔　九大法学　7（'60）

ニューヨーク州銀行法改正について —— 外国銀行に関する規制改訂をめぐつて
荒谷泰宏　財経詳報　295（'60－3）

米国反トラスト法の所謂域外適用について
有賀美智子　公正取引　124，126（'61－1，3）

Louis Loss and Edward M. Cowett, Blue Sky Law 1958【書評】
矢沢　惇　法学協会雑誌　77－4（'61－2）

イギリス

イギリスとフランスにおける銀行秘密と金融金利の取締
高橋勝好　金融法務事情　273（'61－5）

英国の制限的取引慣行法の運用について —— 登録官の講演を中心として
萱嶋太郎　公正取引　122（'60－11）

1797年の銀行制限条例の背景
依光良馨　貿易研究　5（'60－1）

20世紀におけるイギリス企業法の変遷とその背景＜1＞
池島宏幸　法経論集（静岡）　12（'61－11）

ピール条約をめぐるイギリス信用制度の展開 —— W. Bagehatの金融政策と関連して
小笠原　誠　八幡大学論集　11－2（'60－12）

マーケッティングの英米法学的研究に関する若干の基礎的考察
河原茂太郎　日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）

ソビエト

ソ連外国貿易における輸入業務の法的解明
平竹伝三　早稲田商学　146（'60－5）

ソ連東欧貿易の鉄道運輸とその法規
平竹伝三　貿易クレームと仲裁　8－1（'61－1）

ソ連の国際貿易契約
平竹伝三　貿易クレームと仲裁　8－11（'61－11）

ソ連貿易における海運の法的諸問題
平竹伝三　貿易クレームと仲裁　7－11（'60－11）

ソ連輸出貿易の法的実務
平竹伝三　貿易クレームと仲裁　7－8（'60－8）

ソ連輸入貿易の法的実務
平竹伝三　貿易クレームと仲裁　7－6/7（'60－7）

ドイツ

対外経済法の成立
尾崎英二　財経詳報　393（'61－8）

西ドイツ「競争制限禁止法」におけるカルテル規制
深見芳文　大分大学経済論集　11－3/4（'59－10）

西ドイツ対外経済法案の素描 —— わが国貿易自由化の一つの参考として
三津田松吉　レファレンス　10－4（'60－4）

西ドイツにおける経済的民主主義と1951年の共同決定法
島田進吾　東京外大論集　7（'60－3）

西ドイツにおける独占禁止法令の運営状態について
小松勇五郎　経団連月報　8－9（'60－9）

西ドイツの信用組織に関する法律について
調査月報（大蔵）　50－11（'61－11）

フランス

フランスにおける企業・経営の法的側面
田村茂夫　富大経済論集　7－1（'61－7）

フランスの競争制限規則について【鼎談】
有賀美智子，他　公正取引　122（'60－11）

其の他

スイスにおける銀行秘密と金融金利の取締
高橋勝好　金融法務事情　276（'61－6）

東南アジアの独占禁止法 —— とくにオーストラリア法の研究
志律田氏治　東南アジア研究年報　1（'60－3）

無体財産権

無体財産権一般

新しい弁理士法に対する管見 —— 特許弁護士制度の提案
古賀規矩之　パテント　13－1（'60－1）

今年の弁理士試験
杉林信義　日本法学　27－5（'61－12）

発明・考案・意匠における創作性・新規性および進歩性について
内田　修　法学論集　10－4（'61－6）

不正競争における周知表示
馬瀬文夫　判例タイムズ　12－12（'61－11）

不正競争の違法性阻却事由
馬瀬文夫　判例タイムズ　12－1（'61－1）

不正競争防止法と商号権の侵害
池田耕三　島根大学論集人文科学　10（'61－3）

弁理士法一部改正案の国会質疑応答から
パテント　13－4，5（'60－4，5）

弁理士法の一部を改正する法律
松尾邦彦　時の法令　351（'60－5）

弁理士法の一部改正について
渡辺金佗　財政経済弘報　810（'60－5）

無体財産権の差押性
菊井維大　立教法学　1（'60－3）

工業所有権法

工業所有権法一般

権利侵害に対する損害賠償請求権 —— 所有権と工業所有権との比較
古賀規矩之　パテント　14－9（'61－9）

工業所有権関係諸法の改正について＜2完＞
検察月報　129（'60－2）

工業所有権と仮処分
三宅正雄　商事法務研究　207（'61－3）

工業所有権における差止請求権 —— 所有権の物上請求権との比較

古賀規矩之　パテント　14－8（'61－8）

工業所有権法における「判定」の考察
古賀規矩之　パテント　14－11（'61－11）

工業所有権法の国際性
豊崎光衛　学習院大学政経学部年報　7（'61－2）

工業所有権の抵触に関する問題点について
内田　修　法学論集　9－3/4（'60－3）

工業所有権法 —— 民事訴訟と民法との関連において
染野義信　綜合法学　39（'61－10）

最近工業所有権裁判例概観 —— 昭和35年度
原　増司　パテント　14－1（'61－1）

4月1日から施行される新工業所有権法関係の政令省令について
織田季明　財経詳報　298（'60－3）

新法運用上の諸問題について —— 要旨変更とその関連事項
パテント　13－4（'60－4）

特許法

政正特許法（外三法）の国会審議に思う＜1～3完＞
中島信一　パテント　13－2～4（'60－2～4）

新法運用上の諸問題について＜1～3＞
小林正雄　パテント　13－2～4（'60－2～4）

製法特許並びに商標に関する若干の問題
谷口知平　法学雑誌　7－2（'60－9）

「特許を受ける権利」の性質に対する考察
古賀規矩之　判例タイムズ　11－11（'60－11）

「特許を受ける権利」の性質に対する考察
古賀規矩之　パテント　13－3（'60－3）

特許権
染野義信　ジュリスト　210（'60－9）

特許審査制度における異議申立の課題
古賀規矩之　パテント　14－6（'61－6）

特許審判制度の意義と本質
古賀規矩之　判例タイムズ　12－1（'61－1）

特許審判における参加 —— 民事訴訟との比較
古賀規矩之　パテント　14－5（'61－5）

特許審判に於ける証拠保全に就いて
且　良弘　パテント　13－3（'60－3）

特許審判の二当事者訴訟構造
古賀規矩之　パテント　14－7（'61－7）

特許登録令逐条解説＜1～5＞
田原　昭　パテント　13－9～14－1（'60－9～'61－1）

特許法における二つの均等概念
馬瀬文夫　自由と正義　11－3（'60－3）

特許ライセンス研究序説 —— アメリカの反トラスト法との関連において
崎村茂樹　拓殖大学論集　25（'60－11）

明細書はいかに記載すべきか —— 特許法施行規則の解説
吉藤幸朔　パテント　13－7（'60－7）

意匠・商標法

意匠権と著作権の関係についての考察
高田　忠　パテント　13－10（'60－10）

意匠の先後願関係についての諸問題
高田　忠　パテント　13－11（'60－11）

商号と商標とが競する場合
古賀規矩之　パテント　14－12（'61－12）

新商標法の反動性と崩潰した商標（権）の実体＜1～14＞
仁木立也　パテント　13－9～14－12（'60－9～'61－12）

著作権法

いわゆる隣接権の保護 ——国際会議をめぐつて
阿部浩二　法学　25－2（'61－5）

出版権論
東　季彦　日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）

新聞と著作権
浅野　修　新聞研究　105（'60－4）

全面的改正気運の著作権法
渋谷敬三　時の法令　405（'61－11）

著作権をめぐる一，二の問題
東　季彦　日本法学　26－6（'61－2）

著作権法の研究＜1～3＞
夢　優美　パテント　14－5～7（'61－5～7）

隣接権と外国法制
阿部浩二　法経学会雑誌　11－3（'61－12）

外国無体財産権

諸外国における特許制度の運用
伊藤繁樹　経団連月報　9－12（'61－12）

被用者発明権の確立とその展開 ——ドイツ法を中心に＜1，2完＞
滝野文三　法学新報　67－9，10（'60－9，10）

欧州における工業所有権事情について
伊藤繁樹　パテント　14－12（'61－12）

欧州における工業所有権事情について
吉藤幸朔　パテント　14－12（'61－12）

農林業・漁業法

農業法一般

果樹農業振興特別措置法案
新井昭一　時の法令　346（'60－3）

今後の農業行政のあり方
中西一郎　自治研究　37－3（'61－3）

大正期における小作立法事業の推移＜3，4完＞
広中俊雄　法学　23－4（'60－1），25－3/4（'61－11）

農業近代化資金制度に三立法 —— 農業近代化助成資金の設置と農業信用基金協会の設立
石川　弘　時の法令　389（'61－6）

農業法の構造
橋川　渡　日本大学創立70年記念論文集　2（60－10）

農業法人

勝浦における農業法人 ——徳島県勝浦町における農業法人実態調査報告
上田耕生　法律論叢　35－1（'61－7）

協同化法人と農民階層の分化
細貝大次郎　拓殖大学論集　25（'60－11）

現下農業法人の一問題
亀井秀夫　経済研究（大阪府大）　14（'60－2）

生産組合法制の採用（農業法人問題に即応する二つの措置）
角道謙一　時の法令　354（'60－3）

東北・北海道地方の農業法人について＜1，2＞
亀井秀夫　経済研究（大阪府大）　20，21（'61－9，12）

鳥取・愛媛県下の農業法人について
亀井秀夫　経済研究（大阪府大）　15（'60－6）

立間における農業法人 —— 愛媛県吉田町立間における農業法人実態調査報告
小松俊雄　法律論叢　35－1（'61－7）

農業共同化法人論 —— 愛媛県の立間地区の場合を中心として
戸田京次　商経学叢　7－3（'60－3）

農業法人をめぐる諸問題
岡田憲樹　東京学芸大学研究報告　12（'61－2）

農業法人化（共同化）における若干の問題点 —— 反独占的農民運動の立場からみて
南　清彦　経済理論　57（'60－9）

農業法人化問題と農地政策
秦　玄竜　農業協同組合　5－6（'59－6）

農業法人と企業形態
裏　得郎　法律時報　32－6（'60－5）

農業法人にふくまれる課題
近藤康男　農業信州　（'59－10）

農業法人の実態と農地法 —— 徳島県勝浦町の農業法人を中心として
宮崎俊行　綜合法学　29（'60－12）

農業法人の法制化について＜1，2＞
亀井秀夫　経済研究（大阪府大）　16（'60－9），18（'61－3）

農業法人法制化の基本的諸問題について
宮崎俊行　法学研究　33－11（'60－11）

農業法人法問題をめぐつて
宮川清一　農業協同組合　5－12（'59－12）

農業法人問題の経過と展望
銀治良堅　法律論叢　35－1（'61－7）

農業法人論
村橋時郎　彦根論叢　59／61（'59－10）

法人の農業経営を適正化（農業法人問題に即応する二つの措置）
増満二郎　時の法令　354（'60－3）

農業基本法

各党の農業基本法を批判する
石川英夫　社会思想研究　13－4（'61－4）

漁業基本問題
奥原日出男　レファレンス　120（'61－1）

社会党の農業基本法について
大塚俊雄　ジュリスト　224（'61－4）

新農業法制の性格と問題
稲本洋之助　法律時報　33－8（'61－8）

政治と農業立法 —— 農業基本法を中心として
宮崎俊行　綜合法学　38（'61－9）

誰のための農業基本法か
近藤康男　世界　184（'61－4）

転機にたつ農業と農業基本法【座談会】
大内　力，阪本楠彦，川田信一郎，堀越久甫，的場徳造　経済評論　10－6（'61－6）

農家戸数変動と将来戸数 —— 農業基本法の影響の考察
畑井義隆　農業総合研究　15－4（'61－10）

農業基本対策と科学技術
千束巽一　自治研究　37－3（'61－3）

農基法にまつわる諸問題
大槻正男　農業と経済　26－11（'60－11）

農基法の経済的側面
近藤康男　法律時報　33－8（'61－8）

農業基本法案を論評する —— その背景とねらいと問題点
寺山義雄　日本及日本人　12－4（'61－4）

農業基本法案（政府，社会党，民社党）対照表
ジュリスト　224（'61－4）

農業基本法案と日本農業の曲り角
石川英夫　法律時報資料版　3（'61－1）

農業基本法案についての論義をめぐつて
中西一郎　財経詳報　372（'61－3）

農業基本法（案）の概要とその問題点
松元威雄　ジュリスト　224（'61－4）

農業基本法をめぐる動き
石川英夫　農業協同組合　5－3（'59－3）

農業基本法（仮案）及び関連法律要綱 —— 農業基本法案起草委員会試案
法律時報資料版　3（'61－1）

農業基本法（仮案）のあらまし
松元威雄　法律時報資料版　3（'61－1）

農業基本法制定の動き
松元威雄　時の法令　370（'60－11）

農業基本法 —— その問題点と方向【座談会】
大島　清，大内　力，竹内　猛　社会主義　116（'61－5）

農業基本法と地方行政
岸　昌　自治研究　37－7（'61－7）

農業基本法と土地問題
大内　力　自治研究　37－7（'61－7）

農業基本法と農業協同組合法
角道謙一　ジュリスト　224（'61－4）

農業基本法と農業相続
渡辺洋三　自治研究　37－7（'61－7）

農業基本法と農地法
増満二郎　ジュリスト　224（'61－4）

農業基本法と農民斗争
紺野与次郎　前衛　178（'61－2）

農業基本法についての声明
全日本農業組合連合会　法律時報資料版　3（'61－1）

農業基本法の課題と現実
西口直治　経済評論　10－13（'61－12）

農業基本法の解説
中西一郎　自治研究　37－7（'61－7）

農業基本法の社会学
神谷慶二　農林統計調査　10－11（'60－11）

農業基本法の狙い
森　有義　自治春秋　11－5（'61－5）

農業基本法論議
石川英夫　協同組合経営研究月報　90（'61－3）

農業基本問題の基礎理論と農業基本法
野口平吉　経済集志　31－3（'61－8）

農業近代化をめぐる二つの問題
佐藤二郎　自治研究　37－7（'61－7）

農業の動向と農業基本法
川野重任　ジュリスト　224（'61－4）

農林省の農業基本法案 ── 基本法とこれに伴う法律
調査月報　10－3（'61－1）

二つの農業基本法案
法律のひろば　14－4（'61－4）

三つの農業基本法案
大谷省三　月刊社会教育　5－5（'61－5）

農業関係団体法

系統農会組織の成立 ── 政治史の視角から
増田　毅　神戸法学雑誌　9－3（'59－12）

最近の農業問題と農業委員会
中村広次　法律時報　32－7（'60－6）

農業協同組合合併助成法
田中宏尚　時の法令　399（'61－9）

農業協同組合の行為能力
村橋時郎　彦根論叢　65/67（'60－6）

農業協同組合法第99条 ── ○信用連合会事件と関連して
村橋時郎　彦根論叢　70/72（'60－10）

農協法の改正案について
田中宏尚　自治研究　37－11（'61－11）

農地法

旧地主の補償
我妻　栄　ジュリスト　238（'61－11）

耕作権序説 ── 民法と農地法
加藤正男　同志社法学　12－5（'61－2）

債権的入会権と農地法上の共同利用権
岩井万亀　民商法雑誌　43－3（'60－12）

従物と附帯施設 ── 続民法と農地法
加藤正男　同志社法学　12－6（'61－3）

農地改革のさいの農地買収対価の増額請求事件の判決について
大内　力　社会科学研究　12－6（'61－3）

農地法の諸問題
小倉武一　農業経済研究　31－3（'60－1）

森林法

共用林野制度に関する一考察
須永　醇　法文論叢　12（'60－10）

共用林野制度の法社会学的考察
松原邦明　林業経済　12－9（'59－9）

近代林業の法制的前提
宇治順一郎　三田商学研究　2－4（'59－10）

国有林野における共用林野制度の法的構造
中村孝三　国土開発　10－4（'61－4）

分収造林制度の法律的性格
中尾英俊　法経論集（佐賀）　8－2（'61－3）

法社会学的にみたる国有林野所有＜1，2＞
佐野宏哉　林野時報　8－5，6（'60－5，6）

林野入会権の法的構造＜1～10＞
横尾正之　林野時報　8－7～9，11，12（'60－7～9，11，12），9－1～4，10（'61－1～4，10）

林野入会権の法的構造によせて
佐々木正一　林野時報　9－2（'61－2）

漁業法

漁業協同組合整備促進法案
渡辺文雄　時の法令　348（'60－4）

漁業生産調整組合法案
大坪敏男　時の法令　390（'61－6）

漁船損害補償法の一部を改正する法律
佐々木富二　時の法令　346（'60－3）

昭和恐慌期における漁業権制度とその機能
高山隆三　漁業経済研究　8－1（'59－7）

明治漁業法の制定過程
秋山博一　漁業経済研究　8－3（'60－1）

外国農業法

アラブ連合共和国の農地改革をめぐる理論的諸問題
中岡三益　東洋文化　29（'60－3）

各国農業基本法の概要
国際食糧農業　9－8（'60－8）

カララ教授の農業法典論
小林己智次　菊池勇夫教授60年記念論文集（'60－11）

西欧諸国の農業基本法 ── 施行状況と内容
調査月報　10－3（'61－1）

ドイツの二つの土地改革
清水　誠　世界　182（'61－2）

土地基本法の制定にみるインドネシア農政の動向
長田秋雄　アジア経済　2－2（'61－3）

西ドイツ・フランス等農業基本法
法律時報資料版　3（'61－1）

東ドイツのコルホーズについて＜1，2完＞
山田　晟　法学協会雑誌　76－5，6（'60－7，8）

労働法

労働法一般

いわゆる刑事免責，民事免責は憲法第28条の当然の効果か
吾妻光俊　法学教室　1（'61－7）

運動の中の労働法＜1～3＞
沼田稲次郎　労働法律旬報　421，423，426（'61－7，8）

学界回顧　1960年 ── 労働法
片岡　昇　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年 ── 労働法
窪田隼人　法律時報　33－13（'61－12）

家内労働法制定をめざして
山中篤太郎　日本労働協会雑誌　16（'60－7）

慣行，協約，立法 ── 労使関係法改正に関する問題の所在
藤田若雄　労働問題　23（'60－4）

企業の移転と労働関係
上田耕生　法律論叢　33－5（'60－3）

近代的労使関係の理念
林　信雄　横浜市立大学論叢　12－2（'60－12）

経営権と仲裁
奥田幸助　六甲台論集　7－3（'60－10）

経営権と労働権
高島良一　関西経協　15－4（'61－4）

経営参加をめぐる法律問題
片岡　昇　労働法律旬報　411（'61－3）

現行の労使関係法規には運用上こんな処に問題がある ── 東京商工会議所の見解と意見
東商　161（'60－11）

憲法における労働法の理想像
浅井清信　法律時報　33－3（'61－3）

公安条例と労働者の権利
窪田隼人　季刊労働法　10－2（'60－6）

合理化と人事権をめぐる法律問題
本多淳亮　中央労働時報　371（'61－10）

最近の労使関係について
早川　勝　法律時報　33－3（'61－3）

最近の労使関係の動向的特質
林　信雄　横浜市立大学論叢　11－3（'60－4）

指揮命令権の構造とその限界
青木宗也　季刊労働法　11－2（'61－6）

社会主義と労働の権利
柳　春生　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

従業員の株式保有と会社の経営・支配
菱田政宏　法学論集　10－4（'61－6）

1960年代の労働法の課題と展望
石川吉右衛門　ジュリスト　195（'60－2）

1960年の労働政策と労働法【座談会】
石井照久，大河内一男，沼田稲次郎，野村平爾
季刊労働法　10－1（'60－3）

戦後日本における失業労働法の展開
角田　豊　労働法　16（'60－10）

戦後労働法と法理論
吾妻光俊　労働法　16（'60－10）

組織活動に必要な労働法の基礎知識＜上，下＞
松本善明　労働経済旬報　457，462（'60－12，'61－2）

団結権と労働立法 ── 最近の労働法改正の動向について【座談会】
磯田　進，野村平爾，松岡三郎，峯村光郎　労働問題　23（'60－4）

団体労働法を理解するために
木村清司　日労研資料　13－19（'60－7）

弾圧立法と斗かう態勢【座談会】
野村平爾，沼田稲次郎，宝樹文彦，吉村博行，古山忠行，大井今朝治　労働経済旬報　439（'60－6）

手堅い地方運動資料 ── 愛媛県商工労働部労政課「資料愛媛労働運動史」【書評】
福島正夫　労働問題　25（'60－6）

20年法体制から24年法体制への転換 ── 労資関係法の生成の背景からみた進歩性と保守性
松岡三郎　労働法　16（'60－10）

日本資本主義における従属労働関係の法的構造＜2＞
宇田昭郎　高知大学教育学部研究報告　13（'61－4）

日本の労働法の特色について
菊池勇夫　労働法学研究会報　11－25（'60－8）

沼田稲次郎「労働法論上」【書評】
蓼沼謙一　法律時報　33－1（'61－1）

法秩序と労働運動について
富樫総一　関西経協　14－12（'60－12）

法と政策との関係 ── 社会政策と労働法の関連において
稲垣正明　日本法学　27－5（'61－12）

民法の指導原則と労働法の指導原則
津曲蔵之丞　東北法学会雑誌　11（'61－12）

我が国工場法成立の社会的背景 ── 企業別組合の生成要因に関する若干の考察
矢島悦太郎　井藤半弥博士退官記念論文集　（'60

－11）
労使関係に基本ルールを
慶谷淑夫　時の法令　342（'60－2）
労使関係法研究会の発足
吾妻光俊　時の法令　338（'60－1）
労働基本権奪回の方向と課題
野村平爾　労働法律旬報　408（'61－2）
労働基本権の奪還をめぐる諸問題
沼田稲次郎　労働法律旬報　408（'61－2）
労働者経営参加の意義 ── 経営協議会における経営参加の限界とその作用を中心として
池田直視　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）
労働者と使用者の判定 ── 労働関係の近代化過程
片野健吉　秋田大学学芸学部研究紀要社会科学10（'60－3）
労働者の権利と労働法
沼田稲次郎　労働問題　38付録（'61－7）
労働保護立法の経済理論
田辺照子　明治大学短期大学紀要　5（'60－11）
労働法学における若干の問題点
峯村光郎　中央労働時報　351（'60－3）
労働法学の回顧と展望 ── 労働運動との関連で
中山和久　労働法律旬報　367（'60－1）
労働法教室＜17～27完＞
野村平爾　労働問題　21，22，24～28（'60－2，3，5～9），32～34，40（'61－1～3，9）
労働法（今年の判例を顧りみる）
横井芳弘　法律時報　32－14（'60－12）
労働法制の指向と労働組合の力
沼田稲次郎　労働問題　20（'60－1）
労働法と政治斗争
近藤富士雄　関西経協　15－4（'61－4）
労働法の改正を望む ── バランスを失つている現行法
青木均一　経営者　14－6（'60－6）
労働法の変動と基調 ── 今日の問題点にふれて
沼田稲次郎　労働法律旬報　376（'60－4）
労働法 ── 法律15年の回顧と展望
石川吉右衛門　ジュリスト　217（'61－1）
労働法理論と労働慣行
吾妻光俊　一橋論叢　45－3（'61－3）

国際労働条約（ＩＬＯ条約）

ILO 結社自由委員会勧告の問題点 ── とくに第32次，第41次，第54次報告を中心として
佐藤　進　労働法　18（'61－10）
ILO 結社の自由委員会第54次報告の意義について
慶谷淑夫　ジュリスト　231（'61－8）
ILO 結社の自由委員会の勧告＜1～3＞
松井達郎　時の法令　397～399（'61－8，9）
ILO 条約をめぐつて ── ILO の目的，組織運営と条約＜1，2＞
高橋恒三　教育委員会月報　12－10，11（'61－1，2）
ILO 条約第87号条約の批准に当つて
大坪保雄　官公労働　14－7（'60－7）
ILO 条約（第87号）と職員団体
今枝信雄　自治時報　13－7（'60－7）
ILO 条約第100号の採択過程と問題点
高崎愛子　季刊労働法　10－3（'60－9）
ILO 条約と官公労働法
中山和久　労働法律旬報　373（'60－3）
ILO 条約と公務員問題
有倉遼吉　警察時報　16－6（'61－6）
ILO 条約と今後の労働運動
松岡三郎　労働経済旬報　429（'60－2）
ILO 条約に表われた労働時間
高橋　武　労働法　17（'61－5）
ILO 条約の批准と国内法
有泉　亨　官公労働　14－7（'60－7）
ILO 条約の批准と国内法
間宮重一郎　全労　23（'60－5）
ILO 条約87号の批准をめぐつて
有泉　亨　労務管理研究　14（'60－7）
ILO 条約87号の批准と国内法の改正
窪田隼人　労働法　17（'61－5）
ILO 条約批准にともなう関係法律の改正をめぐつて【座談会】
石井照久，今井一男，田中二郎，辻　英雄，増子正宏，峯村光郎　ジュリスト　203（'60－6）
ILO 条約批准に伴う諸問題【座談会】
石川吉衛門，江幡　清，飼手真吾，松崎芳伸，渡辺年之助　官公労働　14－5（'60－5）
ILO 条約批准の底にひそむもの
大河内一男　官公労働　14－7（'60－7）
ILO 条約批准の波紋
野沢　浰　法律のひろば　14－4（'61－4）
ILO 第87号条約と公労法＜1，2＞
中村　正　工業経営　9－2（'59－10），10－1（'60－11）
ILO 第87号条約の批准と公務員制度の改正について
長橋　進　共済新報　1－4（'60－7）
ILO 第87号条約の批准と国内法の整備
慶谷淑夫　官公労働　14－6（'60－6）
ILO 第87号条約の批准と地方公務員法の改正について
柳沢長治　自治時報　14－5（'61－5）
ILO 第87号条約の批准と地方公務員法の改正について
横山俊郎　地方自治　149（'60－5）
ILO 第87号条約の批准問題
星野辰生　林野時報　8－5（'60－5）
ILO と結社の自由
高橋　武　法律のひろば　14－9（'61－9）
ILO と就業規則の再検討
瀬元美知男　日労研資料　13－21（'60－8）
ILO と争議権
中山和久　労働経済旬報　443（'60－7）
ILO の現状とその活動
根岸　博　時の法令　380（'61－3）
ILO の社会保障条約102号
高橋　武　健康保険　14－5（'60－5）
ILO 87号条約と公務員法の関係
島　四男雄　日労研資料　477（'60－6）

ILO 87号条約と国内法
三島宗彦　季刊労働法　10－1（'60－3）
ILO87号条約と国内法整備をめぐる諸問題
林　信雄　横浜市立大学論叢　13－1（'61－11）
ILO 87号条約の批准と国内法の整備
三島宗彦，佐藤　進　労働問題　23（'60－4）
ILO 87号条約批准と国内法
多賀谷真稔　月刊社会党　37（'60－6）
ILO 87号条約批准と団結権擁護のための斗い
野村平爾　労働法律旬報　373（'60－3）
ILO 87号条約批准に伴なう国内法の改正
本多淳亮　季刊労働法　11－1（'61－3）
ILO 87号条約批准と国内法整備の問題
斉藤邦吉　官公労働　15－4（'61－4）
ILO 105号条約の法構造
中山和久　労働問題　29（'60－10）
ILO 労使関係条約 ── 87号（未批准），98号（批准）と労働関係法改正の問題点
佐藤　進　労働経済旬報　429（'60－2）
国際労働条約と国内法対照表
山本喜陸，倉田雅広　法律時報資料版　10（'61－7）
国際労働法と国内労働法
三島宗彦，佐藤　進　法律時報　33－3（'61－3）
国際労働法における労働組合権
高橋　武　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）
国内法整備法案と団結する権利
中山和久　労働法律旬報　412（'61－4）
国内法整備法案の問題点とこれに対する斗い
野村平爾　労働法律旬報　412（'61－4）
今後の労組運動と労使関係の方向（特集ILO第87号条約批准と関係法案）
中宮勇一　時の法令　359（'60－8）
条約批准と今後の労使関係
五十嵐昭夫　官公労働　14－7（'60－7）
条約批准と労働運動 ── 在籍専従問題を中心に
細谷松太　官公労働　14－7（'60－7）
団結権の保障とILO条約
三島宗彦　労働法　15（'60－4）
日教組の専従者制限とILO条約
田沼　肇　教育　10－4（'60－4）
日本にかんするILO結社の自由委員会の報告について＜上，下＞
中山和久　労働法律旬報　423，424（'61－7，8）
日本に関するILO 54次報告の正しい評価と労働基本権奪回の斗い
野村平爾　労働法律旬報　434（'61－11）
105号条約と刑事弾圧をめぐつて【座談会】
野村平爾，大野正男，熊倉　武，池田光利，木脇久蔵，坪井　冽，富士泰明，新藤　昭　労働経済旬報443（'60－7）
フランシス・ウォルフ「国際労働機関行政裁判所」
渡辺幸生　法学論叢（福岡）　6－1/2（'61－12）
立法意思を動かすもの
沼田稲次郎　労働経済旬報　470（'61－4）
労働時間条約と労働基準法との関係 ── 特にILO条約第1号と第30号を中心として
松岡三郎　世界の労働　10－8（'60－8）
労働立法の国際的性格
菊池勇夫　世界の労働　11－2（'61－2）

労働基準法

労働基準法一般

寄宿舎の自治と管理権
野村平爾　法律時報　32－4（'60－3）
勤労母性の保護立法
大友　徹　拓殖大学論集　20（'59－3）
結婚定年制と労働基準法
山本吉人　茨城大学文理学部紀要　10（'59－12）
雇傭および労働契約における労働義務について ── 賃金債権との関係において
蓼沼謙一　一橋論叢　43－1（'60－1）
雇用契約と労働契約と労働協約 ── 労務契約における市民法原理の団体法原理への転回
林　信雄　法律のひろば　14－11（'61－11）
採用をめぐる法律問題
安田郁子　労働法律旬報　375（'60－3）
採用をめぐる法律問題
藤本　正　労働法律旬報　411（'61－3）
社宅・寮における使用者の管理権と私生活の自由
後藤　清　季刊労働法　11－4（'61－12）
女子・年少者従業員をめぐる法律問題
上原誠之輔　労働法学研究会報　12－33（'61－12）
団体行動権確立の歴史
片岡　昇　労働経済旬報　443（'60－7）
婦人の労働条件と雇傭 ── 保護法に関連して
田辺繁子　季刊労働法　10－3（'60－9）
労基法118条の罪と職安法63条2号の罪とが想像的競合となる事例（判例百選）
色川幸太郎　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
労働基準法第7条の「公民としての権利」及び「公の職務」の範囲
井手成三　法学研究（愛知）　3－2（'61－3）
労働基準法の解説＜1～3＞
松岡三郎　労働法律旬報　419，422，429（'61－6，7，9）
労働基準法の13年
有泉　亨　労働法　16（'60－10）
労働刑法犯罪の罪質と犯意 ── 労働基準法63条2項違反罪に関連させて
熊倉　武　立教経済研究　13－4（'60－2）
労働契約と委任契約 ── ヘップサンダル工事件にふれて
萩沢清彦　日労研資料　14－12（'61－5）
労働契約における原状回復と民法第536条2項但書について ── 最近の一判例を契機として
島田信義　早稲田法学　37－1/2（'61－12）
労働法における雇用の安定の問題

石崎政一郎　立教法学　2（'61－2）

懲戒・解雇

解雇
吾妻光俊　法学セミナー　48（'60－3）

解雇をめぐる法律上の諸問題
林　信雄　横浜市立大学論叢　11－4（'60－4）

解雇をめぐる法律問題【座談会】
高橋　武，他　世界の労働　11－9（'61－9）

解雇をめぐる問題点
馬場東作　関西経協　15－4（'61－4）

解雇権の濫用 ── 判例を中心として
笹井昭夫　甲南論集　7－2（'59－7）

解雇にかんする若干の問題
後藤　清　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

解雇に関する法律上の諸問題
三宅正男　日労研資料　14－16（'61－6）

解雇の法理 ── 就業規則の効力と関連して
川口　実　季刊労働法　11－2（'61－6）

懲戒権について
窪田隼人　関西経協　15－5（'61－5）

懲戒権の根拠と限界
片岡　昇　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

懲戒権の根拠と懲戒解雇
清水兼男　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

懲戒権の法的根拠
鈴木光録　法経論集（新潟）　9－3/4（'60－3）

レッド・パージの前歴秘匿を内容とする経歴詐称と懲戒解雇
中島　正　社会労働研究　11（'59－12）

労働基準法第20条と解雇の効力（判例百選）
林　迪広　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

労働基準法第20条の労働基準監督署長の認定の効力
岸井貞男　法学論集　9－3/4（'60－3）

労基法20条違反と解雇
青木宗也　労働問題　33（'61－2）

わが国の解雇理論と解雇制限制度
三浦恵司　世界の労働　11－9（'61－9）

賃　金

過払賃金を理由とする賃金控除と労基法24条 ── 勤評斗争による欠勤事件についての二判例
久保敬治　判例評論　38（'61－6）

工場閉鎖と賃金，休業手当請求権
窪田隼人　労働法律旬報　371（'60－2）

最賃制の効果とその問題点
中島道治　季刊労働法　11－2（'61－6）

最賃法運用の実績と問題点
三浦恵司　法律時報　33－3（'61－3）

最低賃金と社会保障
近藤文二　藤林敬三博士還暦記念論文集　（'60－11）

最低賃金制の現状と今後の問題
阿部　弘　レファレンス　123（'61－4）

最低賃金法施行1年の回顧と展望【討論】
磯部喜一，東村金之助，間宮重一郎，小口賢三，山本義夫，林　武一，野口英司，飼手真吾　日本労働協会雑誌　18（'60－9）

最低賃金法実施後の問題点
角田　豊　経営技術　34（'60－4）

最低賃金法第11条について
秋田成就　社会労働研究　14（'61－12）

最低賃金法の運用をめぐつて
角田　豊　季刊労働法　10－2（'60－6）

時間外労働と割増賃金
青木宗也　労働問題　32（'61－1）

宿日直勤務と賃金
青木宗也　労働問題　34（'61－3）

順調な出足示す最低賃金制度 ── 法施行後1年間の実情を見る
東村金之助　時の法令　362（'60－9）

スト中賃金控除の時期 ── 東京地裁の判決について
吾妻光俊　ジュリスト　202（'60－5）

賃金債権と不法行為による債権との相殺の許否
高橋勝好　財経詳報　409（'61－11）

賃金主要解釈例規の解説
東村金之助　日労研資料　13－23（'60－　）

わが国最低賃金法について
坂寄俊雄　立命館法学　10－3（'61－8）

労働時間・休暇

休憩の法理と実務
松岡三郎　労働法律旬報　433（'61－11）

日本における時間短縮の法的諸問題 ── 労働の質と量の長さの問題
松岡三郎　労働法学研究会報　12－25（'61－9）

日本における労働時間短縮の前提条件をめぐる法的諸問題 ── 労働の質と量の長さの法的評価
松岡三郎　季刊労働法　11－2（'61－6）

母性保護の休暇について ── 制度とその法的解明
青木宗也　季刊労働法　10－3（'60－9）

三越の年次休暇買上制度
吾妻光俊　ジュリスト　228（'61－6）

労働時間，休憩，休日，休暇
後藤　清　労働法　16（'60－10）

労働時間短縮の法的背景
松岡三郎　労働問題　25（'60－6）

労働時間短縮問題の動向
内海義夫　季刊労働法　10－3（'60－9）

わが国における労働時間短縮問題の法的検討
蓼沼謙一　季刊労働法　10－3（'60－9）

就業規則

勤務時間外の行動と懲戒
岸井貞男　法と政治　12－3（'61－11）

就業規則の作成・変更・内容をめぐる法律紛争
松岡三郎　労働法学研究会報　10－24（'59－7）

就業規則の実証的並びに理論的研究＜1＞
片岡　昇，安屋和人，久保敬治，雑賀芳三　法と政治　12－2（'61－7）

就業規則の法的性格
門間　進　司法研修所報　24（'60－2）

就業規則論
中脇　晃　九大法学　9（'61）

争議中における就業規則の効力
青木宗也　労働法　18（'61－10）

労働契約と就業規則と労働協約
松岡三郎　綜合法学　20（'60－3）

臨時工

臨時工と解雇予告
青木宗也　労働問題　35（'61－4）

臨時工の法的地位
峯村光郎　日本労働協会雑誌　19（'60－10）

臨時工の法的保護とその問題点
大島　靖　日本労働協会雑誌　19（'60－10）

労働関係団体法

労働委員会

救済申立を棄却する地労委の命令と行政訴訟 ── 東北電力秋田支店事件（判例百選）
塚本重頼　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

「少数労働者の保護」からみた仲裁裁定と労組法第17条
倉沢岩雄　官公労働　14－4（'60－4）

争議と労働委員会
松岡三郎　法律時報　32－7（'60－6）

中労委論 ── 三池あつせん案と調停制
野村平爾　中央公論　75－11（'60－11）

労使関係における中央労働委員会の役割 ── あつせん，調停を中心に【座談会】
浅井清信，小林直人，林田丁介，松岡三郎，三藤正　季刊労働法　10－4（'60－12）

労働委員会の課題
吾妻光俊　法律時報　32－7（'60－6）

労働組合

違法行為指令拒否と組合の制裁権 ── 大日本鉱業事件にふれて
沼田稲次郎　季刊労働法　11－1（'61－3）

組合規律の限界
吾妻光俊　法学研究（一橋大）　3（'61－3）

組合の分裂と財産の帰属
芦川豊彦　法学研究（愛知）　2－1/2（'60－3）

組合への支配介入の成否（判例百選）
田辺公二　ジュリスト　200（'60－4）

権利能力のない労働組合に対する脱退組合員の財産分割請求権（判例百選）
津曲蔵之丞　ジュリスト　200（'60－4）

合同労組に関する法律上の諸問題
大倉　馨　警察公論　16－13（'61－12）

合同労組と労働法上の問題点
山本　博　労働問題　23（'60－4）

合同労組の組織形態と法的問題
青木宗也　法律時報　33－3（'61－3）

合同労組の法的側面
和田良一　日本労働協会雑誌　16（'60－7）

在籍専従制度について
中山和久　労働法　17（'61－5）

在籍専従制問題をめぐつて
落合英一　官公労働　14－5（'60－5）

組織強制と団体自治の法理＜1，2＞
大脇雅子　法政論集　15，16（'60－12，'61－3）

第二組合をめぐる法律問題 ── ストライキ中の分裂を契機とする場合
沼田稲次郎　季刊労働法　10－2（'60－6）

第二組合をめぐる法律問題 ── とくに争議中の分裂を契機とする場合
沼田稲次郎　労働法学研究会報　11－15（'60－5）

第二組合と争議行為との関係 ── あわせていわゆる抵抗権について
鎌田英次　労働経済判例速報　12－14（'61－5）

日本における組合専従の取扱いとその法的性格
松岡三郎　季刊労働法　10－3（'60－9）

労使関係をめぐる若干の問題 ── 労働組合の組織と機能
石井照久　中央労働時報　364（'61－3）

労働組合基金と財産の保護 ── 世界各国の立法，慣行の国際比較を中心として
佐藤　進　世界の労働　10－10（'60－10）

労働組合の幹部の機関責任と行為責任について
慶谷淑夫　官公労働　15－12（'61－12）

労働組合の性格
津曲蔵之丞　民商法雑誌　45－1（'61－10）

労働組合の政治活動をめぐる法律問題
吾妻光俊　労働法学研究会報　10－34（'59－9）

労働組合の統制権力とその限界
神山欣治　警察研究　31－5（'60－5）

労働組合の内部統制
安屋和人　綜合法学　29（'60－12）

労働組合の分裂
吾妻光俊　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

労働組合の法的性格
山中康雄　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

労働組合法第7条第1号と同第3号との関係 ──「労働組合の正当な行為」の意味に関連して
石川吉右衛門　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

労働組合法第2条但書第1号には「監督的地位にある労働者」という概念がある。「監督的地位にある労働者」のみの結成した労働組合の法律上の取扱を論ず
後藤　清　法学教室　1（'61－7）

労働組合論
西川達雄　彦根論叢　57（'59－　）

わが国における在職専従制度について
慶谷淑夫　労働経済判例速報　12－27/28（'61－10）

団結権・団体交渉権・職場斗争

いわゆる「暴力行使」について
浅井清信　立命館法学　34（'60－9）

紙パ労連春季統一斗争におけるいわゆる集団交渉の諸問題
河村貞二　労働経済判例速報　11－27（'60－9）

交渉方式をめぐる若干の問題点
近藤富士雄　経営者　14－6（'60－6）

合同労組と団体交渉
荒木誠之　季刊労働法　11－4（'61－12）

合同労組と団体交渉
三藤　正　関西経協　13－7（'59－7）

合同労組における団結権の保障の課題——合同労働組合の法理＜１＞
林　信雄　日本法学　26－1（'60－5）

合同労組の組織と団体交渉 —— 実態と法理
本多淳亮　民商法雑誌　42－3（'60－6）

職場活動と職場斗争の法理——経営秩序との関連において
萩沢清彦　労働法学研究会報　11－29（'60－9）

職場活動の具体例と法的検討
片岡　昇　季刊労働法　10－4（'60－12）

事前協議制をめぐる法律問題
片岡　昇　労働法律旬報　415（'61－5）

集団交渉をめぐる問題
松崎芳伸　関西経協　13－7（'59－7）

職場交渉と職場斗争の正当性
佐伯静治　労働法学研究会報　10－40（'59－11）

職場占拠の正当性
横井芳弘　季刊労働法　10－4（'60－12）

職場斗争をめぐる法律問題
青木宗也，島田信義　労働法律旬報　400（'60－12）

団結権の性質について
高橋長蔵　秋田大学学芸学部研究紀要社会科学 10（'60－3）

団結権の保障に伴う使用者の受忍の範囲
沼田稲次郎　日労研資料　14－33（'61－12）

団結権保障と専従役員問題
野村平爾　教育評論　93（'60－3）

団結する権利の保障——在籍専従制度の検討
沼田稲次郎　菊池勇夫教授 60 年祝賀記念論文集（'60－11）

団体交渉をめぐる法律問題
青木宗也，島田信義，重松　蕃　労働法律旬報 406（'61－2）

団体交渉義務の存在意義
三島宗彦　菊池勇夫教授 60 年祝賀記念論文集（'60－11）

団体交渉拒否の正当理由について
山中康雄　関西経協　13－7（'59－7）

団体交渉と経営権
萩沢清彦　労働法学研究会報　10－27（'59－7）

団体交渉と賃金決定
角田　豊　労働法学研究会報　12－35（'61－12）

団体交渉における当事者と交渉権限者
中村　正　工業経営　11－1（'61－12）

団体交渉における連合体の地位
石井照久　菊池勇夫教授 60 年祝賀記念論文集（'60－11）

団体交渉における労働組合の管理処分権とその限界
渡辺伊都雄　林業経済　13－7（'60－7）

団体交渉の意義
高島良一　関西経協　13－7（'59－7）

団体交渉の諸形態と問題点
片岡　昇　関西経協　13－7（'59－7）

団体交渉方式をめぐる諸問題
林　信雄　関西経協　15－4（'61－4）

団体交渉方法について
野村平爾　中央労働時報　361（'61－1）

不当労働行為

違法な組合活動を理由とする懲戒処分と不当労働行為
中島　正　社会労働研究　12（'60－12）

企業廃止と不当労働行為
岩垂　肇　菊池勇夫教授 60 年祝賀記念論文集（'60－11）

緊急命令に関する諸問題——不当労働行為救済手続における
岡垣　学　中央労働時報　359（'60－11）

組合活動における軽微な逸脱を理由とする解雇と不当労働行為
磯田　進　中央労働時報　358（'60－10）

資格審査の瑕疵と救済命令の取消——日通会津若松事件（判例百選）
片岡　昇　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

施設と管理権と組合活動——施設利用の拒否と不当労働行為の成否
秋井常喜　労働法律旬報　396（'60－10）

昇格人事と不当労働行為協約の同意条項・組合員の範囲——日本信託銀行不当解雇事件をめぐつて
野村平爾　労働法律旬報　425（'61－8）

争議中における不当労働行為制度
秋井常喜　労働法　18（'61－10）

対角線交渉拒否と不当労働行為
成富信夫　日労研資料　494（'60－12）

どのような場合に不当労働行為になるか
和田良一　経営者　14－4（'60－4）

転勤，配転と不当労働行為——その成否をめぐる判例の傾向と問題点
秋井常喜　判例評論　36（'61－4）

不当労働行為 —— 最近の支配介入事件の特徴と問題点
三藤　正　中央労働時報　365（'61－4）

不当労働行為制度
沼田稲次郎　労働法　16（'60－10）

不当労働行為制度と組合運動——不当労働行為制度を活用するために
秋井常喜　労働法律旬報　380（'60－5）

不当労働行為制度と労使自治
大石三郎　法学論叢（福岡）　4－1（'60－1）

不当労働行為制度の検討
浅井清信　労働問題　23（'60－4）

不当労働行為制度の実績
秋井常喜　法律時報　33－3（'61－3）

不当労働行為制度の実効化
吾妻光俊　一橋論叢　43－1（'60－1）

不当労働行為事件審査をめぐる問題
清水金二郎　法政研究　27－2/4（'61－3）

不当労働行為序説＜１，２＞
片岡　昇　法学論叢　68－3，4（'60－12，'61－1）

不当労働行為と解雇
銀冶利秀　労働法律旬報　429（'61－9）

不当労働行為と中小企業の労使関係
山口　武　関西経協　14－1（'60－1）

不当労働行為との斗い ——使用者の反組合戦術の諸相と違法性
沼田稲次郎　労働法律旬報　431（'61－10）

不当労働行為の不服申立制度の諸問題
古西信夫　労働法　15（'60－4）

不利益取扱意見をめぐる若干の問題について
岸井貞男　法学論集　11－1（'61－10）

労働関係調整法

法制上の概念としての公益事業
林　信雄　公益事業研究　10－1（'58－7）

労　働　協　約

朝日新聞「若年停年制」事件
片岡　昇　ジュリスト　233（'61－9）

企業整備と人員の整理
千種達夫　判例時報　220（'60－5）

共同決定と労働協約の制定交錯について
門田信男　東洋法学　4－2（'61－3）

業務命令の法的性質 —— 最近の判例を中心として
峯村光郎　日労研資料　473（'60－4）

組合の分裂と労働協約との関係について
松本正一　労働経済判例速報　12－11（'61－4）

合同労組と労働協約
佐藤　進，三島宗彦　季刊労働法　11－4（'61－12）

若干の協約制における平和義務の実態
清水一行　労働法　17（'61－5）

スキャップ禁止協定と事情変更原則
野村平爾　法律時報　33－10（'61－10）

戦後の日本の労働協約および協約紛争の特質
蓼沼謙一　労務研究　13－7（'60－7）

単一組合の消滅と支部の協約の効力など（判例百選）
後藤　清　ジュリスト　200（'60－4）

中小企業のための労働協約——労働省通牒の解説
中宮勇一　日労研資料　13－31（'60－11）

賃金協定と権利意識
藤田若雄　菊池勇夫教授 60 年祝賀記念論文集（'60－11）

配置転換・転動をめぐる法律問題
青木宗也　労働法学研究会報　10－28（'59－8）

配置転換・転動をめぐる法律問題
本多淳亮　菊池勇夫教授 60 年祝賀記念論文集（'60－11）

平和義務と争議権の制限
林田丁介　日労研資料　500（'61－2）

平和条項の法的効力
三藤　正　菊池勇夫教授 60 年祝賀記念論文集（'60－11）

平和的説得の対象と限界＜１＞
有岡義夫　判例時報　215（'60－3）

ユニオン・ショップについて
渡辺　修　労働経済判例速報　11－1（'60－1）

ユニオン・ショップは合憲か
有泉　亨　法学教室　2（'61－11）

労働協約と就業規則の効力——いづれが優先するか
雉賀芳二　法と政治　12－3（'61－11）

労働協約とはどんなものか——労働協約の理論と実際＜１＞
野村平爾　労働法律旬報　424（'61－8）

労働協約の若干の問題——企業内協約と産業別統一協約の問題
峯村光郎　中央労働時報　374（'61－12）

労働協約の自動的拡張
小椋利夫　綜合法学　20（'60－3）

労働協約締結上の問題点——特に疑義解釈に関連して
渡辺泰次　関西経協　14－10（'60－10）

労働協約の締結実態と各主要条項の検討
佐藤　進　季刊労働法　11－1（'61－3）

労働協約の締結における各主要条項の検討
佐藤　進　労働法学研究会報　11－35（'60－11）

労働協約の平和義務について
矢野範二　労働経済判例速報　12－9（'61－3）

労働協約の内容，機能，法的性格
野村平爾　労働法律旬報　432（'61－10）

労　働　争　議

違法争議行為と幹部の責任
沼田稲次郎　労働法学研究会報　12－10（'61－4）

違法労働争議と解雇
西川美数　労働法学研究会報　10－37（'59－10）

いわゆる政治ストをめぐる法律問題について
辻　英雄　官公労働　14－8（'60－8）

各種の争議行為＜１～３＞
松尾清一郎　警察公論　16－1～3（'61－1～3）

義務命令権の法構造とその限界
青木宗也　労働法学研究会報　12－31（'61－11）

組合の分裂とピケット・ライン
沼田稲次郎　日労研資料　13－22（'60－8）

経営補助者たる非組合員の解雇の撤回を目的とする争議行為は適法か
白石健三　ジュリスト　204（'60－6）

裁判例を通してみた中小企業の労働争議とその問題
　恒藤武二　判例評論　26（'60－4）

佐藤昭夫「ピケット権の研究」【書評】
　本多淳亮　法律時報　33－7（'61－7）

市民法と労働法との接ぎ目——争議行為のいわゆる民事免責についての法意識
　沼田稲次郎　東京都立大学法学会雑誌　1－1（'60－11）

シットダウン・ストライキの合法性
　本田尊正　東洋法学　4－2（'61－3）

順法斗争の法構造
　林　迪広　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

順法斗争の法的構造について
　林　迪広　月刊労働　130（'59－11）

職場斗争
　本多淳亮　労働法律旬報　388（'60－8）

職場における組合活動と争議の正当性
　吾妻光俊　季刊労働法　11－2（'61－6）

職場における組合活動と争議の正当性
　吾妻光俊　労働法学研究会報　12－11（'61－4）

職場放棄をめぐる法律問題
　神山欣治　警察学論集　13－5（'60－5）

スト権奪還斗争とはどんなことか
　野村平爾　労働問題　36（'61－5）

ストライキの本質とピケット——争議行為における実力行使の法理的考察
　伊藤正英　警察学論集　13－5（'60－5）

坐り込みについて
　三原道也　労働経済判例速報　11－8（'60－3）

生産管理と正当な争議行為（判例百選）
　園部秀信　ジュリスト　200（'60－4）

政治スト
　片岡　昇　法律時報　32－11（'60－9）

政治ストの合法性について
　浅井清信　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

正当な争議行為の限界とその判断の法的根拠について＜1＞
　河村貞二　司法研修所　26（'61－3）

設備管理権と争議行為
　三藤　正　経営者　14－8（'60－8）

ゼネ・ストと公共の福祉
　西川達雄　彦根論叢　70／72（'60－10）

争議をめぐる法律問題
　吾妻光俊　中央労働時報　371（'61－10）

争議行為における積極的行動の限界
　吾妻光俊　法の支配　3（'60－7）

争議行為と業務妨害
　神山欣治　労働法学研究会報　10－45（'59－12）

争議行為の限界 —— 使用者の経営権・管理権と労働者の争議行為
　片岡　昇　関西経協　15－4（'61－4）

争議行為の制限，禁止の規定に違反した場合の刑事免責
　小林直人　労働経済旬報　443（'60－7）

争議行為の正当性の限界
　松尾清一郎　警察公論　15－12（'60－12）

争議体制と業務体制の法的関連
　吾妻光俊　法曹時報　13－4（'61－4）

争議中の組合脱退と脱退組合員の就労権・ピケッティングについて
　片岡　昇　労働法律旬報　388（'60－8）

争議中の操業について
　本多淳亮　労働法律旬報　388（'60－8）

争議中の操業について——三池争議に関連して
　片岡　昇　ジュリスト　208（'60－8）

争議中の脱退組合員に対する就労阻止とユニオン・ショップなど
　後藤　清　判例評論　42（'61－11）

争議中の労働関係 ——スト参加労働者の賃金請求権を中心として
　窪田隼人　労働法　18（'61－10）

争議中の労働関係——スト不参加労働者の個別的労働関係について
　近藤正三　労働法　18（'61－10）

争議中の労働協約・協定
　本多淳亮　労働法　18（'61－10）

争議における賃金カットの時期と方法について
　慶谷淑夫　法律のひろば　14－6（'61－6）

争議法——政治スト，同情スト
　片岡　昇　労働法　16（'60－10）

争議法——争議中の操業について
　本多淳亮　労働法　16（'60－10）

造船契約とストライキについて
　熊谷村作　海事問題研究　62（'60－2）

団体行動としての争議行為
　浅井清信　労働法　15（'60－4）

デモストレイションと政治ストをめぐつて【座談会】
　吾妻光俊，上田誠吉，上原専禄，野村平爾，沼田稲次郎　季刊労働法　10－3（'60－9）

年休斗争の法理
　中村　武　綜合法学　20　（'60－3）

ピケッティング
　佐藤昭夫　綜合法学　38（'61－9）

ピケッティングと威力業務妨害（判例百選）
　久保敬治　ジュリスト　200（'60－4）

ピケッティングと警察官職務執行法第5条
　内田文夫　警察学論集　13－5（'60－5）

ピケッティングと言論の自由
　中川　剛　法学論叢　69－4（'61－7）

ピケッティングと職場の攻防
　沼田稲次郎　労働法律旬報　437／438（'61－12）

ピケッティングの一考察——新聞印刷事件の判決によせて
　鈴木光録　法経論集（新潟）　8－2（'59－3）

ピケッティングの限界——嘉穂鉱業事件（判例百選）
　藤木英雄　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

ピケッティングの限界について
　和田良一　労働経済判例速報　11－16（'60－6）

部分ストをめぐる諸問題
　慶谷淑夫　中央労働時報　368（'61－7）

部分ストと賃金の関係
　西川美数　労働経済判例速報　12－22（'61－8）

部分ストと部分的ストにおける賃金カットについて
　稲垣正明　法学紀要　3（'61－6）

部分ストの法律解釈と扱い方——パインミシン事件にふれて
　吾妻光俊　日労研資料　14－8（'61－3）

部分ストの法律問題
　片岡　昇　関西経協　14－3（'60－3）

三池争議における刑事弾圧
　東中光雄　労働法律旬報　388（'60－8）

三池争議のある問題点
　蓼沼謙一　時の法令　351（'60－5）

三池争議の調整と労働法
　峯村光郎　世界　179（'60－11）

民間労組の争議をめぐる法律問題
　山本　博，鍛冶利秀，藤本　正　労働法律旬報　409（'61－3）

労使関係とピケの問題
　吾妻光俊　官公労働　14－6（'60－6）

労働争議をめぐる法的諸問題——三池争議を中心として【座談会】
　谷口知平，窪田隼人，片岡　昇，浅井清信，本多淳亮，高田卓爾，金田宇佐夫，山木戸克己　民商法雑誌　42－5（'60－8）

労働争議とピケット——ピケット法談
　伊藤正英　警察時報　15－7（'60－7）

労働争議における暴力と威力について
　藤木英雄　警察学論集　13－5（'60－5）

労働争議の調整と国際労働基準
　中山和久　早稲田法学　37－1／2（'61－12）

労働争議の法理と労使関係
　吾妻光俊　労働法学研究会報　11－28（'60－9）

ロック・アウト
　山中康雄　法経論集（愛知）　31（'60－6），33（'61－1）

ロック・アウト
　山中康雄　関西経協　14－3（'60－3）

ロック・アウトと立入禁止仮処分
　林　迪広　法政研究　27－2／4（'61－3）

ロック・アウトに関する一考察
　外尾健一　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

ロック・アウトについて
　窪田隼人　労働法律旬報　388（'60－8）

ロック・アウトの限界
　後藤　清　労働法　15（'60－4）

ロック・アウトの正体 —— 理論と実際＜1，2完＞
　伊藤正英　捜査研究　98，99（'60－1，2）

ロック・アウトの正当性と賃金
　森山滋雄　労働研究　153（'60－11）

ロック・アウトの要件および効果について
　蓼沼謙一　法学教室　2（'61－11）

わが国労働法の解釈について——組合の争議行為と使用者の争議対抗について
　浅井清信　労働法学研究会報　11－33（'60－10）

病院スト

病院ストをめぐる諸問題【座談会】
　石川吉右衛門，磯部喜一，井上縫三郎，塚本重頼，所沢道夫，三藤　正　ジュリスト　220（'61－2）

病院ストをめぐる法律問題【座談会】
　沼田稲次郎，吉田秀夫，粟井常喜，岩村滝夫，岩田茂，橋本静子，青木宗也　労働法律旬報　416（'61－5）

病院ストの正当性
　青木宗也　法律のひろば　14－11（'61－11）

病院ストの背景とその法律問題
　労働法学研究会報　12－3（'61－1）

病院争議
　川口　実　労働法　18（'61－10）

病院争議と法律上の諸問題——法的根拠にもとずく客観的解明
　松尾清一郎　警察時報　16－3（'61－3）

病院争議の特殊性【討論】
　山田　譲，他　日労研資料　13－24（'60－9）

病院における争議行為と労調法第36条の関係
　山田　譲　日労研資料　13－24（'60－9）

労働者災害補償

林業労働安全基準の制定に関連して——現行の労働安全衛生規則の一部改正＜1＞
　坂巻俊彦　林野時報　9－3（'61－3）

労災保険法の一部改正法律の施行について
　労政時報　1562（'60－4）

労災補償
　田中清定　ジュリスト　223（'61－4）

労働災害の補償における法の動向
　石崎政一郎　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

失　業　補　償

失業保険法及び職業安定法の一部を改正する法律
　鈴木健二　時の法令　354（'60－6）

失対行政における法と対象との背反——監査委員による「違法の判定」も無意味か
　達林正吉　地方財務　75（'60－8）

身体障害者雇用促進法案
　市倉　誠　時の法令　346（'60－3）

炭鉱離職者臨時措置法——その成立経過と主要内容
　住　栄作　時の法令　341（'60－2）

中小企業退職金共済法について
　亀井　光　関西経協　13－7（'59－7）

中小企業退職金共済法の利点
　奥原盛雄　経営者　13－9（'59－9）

特　殊　労　働　法

公労法関係

ILO87号条約と全通団交再開の意義
矢加部勝美　労働法律旬報　368（'60－1）

官公の団結権，団交権，争議権——ILO 条約と関連して【座談会】
松岡三郎，峯村光郎，青木宗也　労働法律旬報　369（'60－1）

官公労働者と労働基準法 —— 時間外労働，年次有給休暇，宿日直の実態と法理＜上，中，下＞
山本吉人　（上）茨城大学文理学部紀要　11（'60－12），（中，下）政経学会雑誌　8，9（'60－12 '61－6）

官公労働者のスト権
野村平爾　労働問題　29（'60－10）

官公労働者の労働基本権をめぐる問題点
高田　章　明治学院論叢　66（'61－10）

官公労働者の団体行動をめぐる法律問題
重松　蕃，六川常夫　労働法律旬報　409（'61－3）

官公労働と不当労働行為——その運用と実態
籾井常喜　労働問題　29（'60－10）

官公労における不当労働行為
西田公一　労働法律旬報　380（'60－5）

教育労働者の組合運動と法制論について
重松　蕃　労働法律旬報　405（'61－1）

教育労働者の人事斗争の法律問題【共同討議】
青木宗也，他　労働法律旬報　405（'61－1）

教育労働者の８時間労働論——条例・通達・特別権力関係論の正当な理解のために
松岡三郎　労働法律旬報　436（'61－12）

教師の人事斗争をめぐる法律問題
新井　章　労働法律旬報　372（'60－2）

公企体等労働者の争議行為と公労法17，18条——最近の二判例に関連して
島田信義　労働問題　29（'60－10）

公共企業体の理論と公労法の法理——公共企業体等労働関係法の理論と実際
峯村光郎　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

公共企業体の職員の団結権も規制——地方公営企業体職員も歩調をそろえて
岩崎隆造　時の法令　359（'60－8）

公務員の人事管理政策
松岡三郎　労働経済旬報　470（'61－4）

公務員の人事管理政策とその意味するもの——人事管理機構の分割政策を中心として
松岡三郎　労働経済旬報　439（'60－6）

公務員の人事管理——国家公務員法改正案の要旨
倉石忠雄　官公労働　15－5（'61－5）

公務員の団結権の規制——国家公務員法及び地方公務員法の改正案
島　四男雄　時の法令　359（'60－8）

公務員の団結権はどうなるか——地方公務員法改正案の要点
高橋恒三　教育委員会月報　13－2（'61－5）

公務員と特別権力関係理論
室井　力　民商法雑誌　43－4（'61－4）

公務員と労働基準法
井手成三　法学研究（愛知）　2－1/2（'60－3）

公務員の罷免権
時岡　弘　拓殖大学論集　18（'58－10）

公務員法，公労法
浅井清信　労働法　16（'60－10）

公務員法と労働法の交錯
岡部史郎　行政と経営　4（'61－　）

公務員労働者の賃金，権利の斗争と方向
今村　彰　労働問題　29（'60－10）

公労法生成に関するメモ——調査意見当局者の一人の立場から
松岡三郎　法律時報資料版　8（'61－6）

公労法制定に関する国会の審議
山本喜陸　法律時報資料版　8（'61－6）

公労法における争議行為の禁止と実力行使——公労協の実力行使は争議行為か
峯村光郎　法学研究　33－12（'60－12）

公労法における不当労働行為——その理論と実際
峯村光郎　藤林敬三博士還暦記念論文集　（'60－11）

公労法批判——その問題をめぐつて
三島宗彦　社会主義　116（'61－5）

国家公務員法，地方公務員法改正法案をめぐる問題【座談会】
松岡三郎，他　労働法律旬報　414（'61－4）

在籍専従問題の検討
青木宗也，古西信夫　労働経済旬報　439（'60－6）

事業法による争議行為の処罰
小林直人　労働経済旬報　439（'60－6）

自治体労働者のスト権禁止代償措置——人事・公平委員会の実態と役割
梁田政方　労働法律旬報　419（'61－6）

自治体労働者の法律相談について
梁田政方　労働経済旬報　446（'60－8）

戦後公務員政策と官公労働運動【座談会】
辻　清明，松岡三郎，沼田稲次郎　労働問題　29（'60－10）

地方公務員団体に於ける専従制限の問題点
橋本　敦　労働法　17（'61－5）

鉄道営業法改定について
大野正男　労働経済旬報　470（'61－4）

鉄道事業の正常な運営を——鉄道営業法の一部改正案
永光洋一　時の法令　359（'60－8）

労働争議と事業法適用の問題
熊倉　武　労働法　17（'61－5）

和歌山教組専従不承認処分の効力
花見　忠　法律のひろば　14－10（'61－10）

船員法

船員法における争議行為の制限について
関谷義男　海事研究　40（'60－1）

船員法の構造と特異性
住田正二　海事研究　38（'59－7）

家内労働・中小企業労働問題

家内労働と労働組合——ヘップサンダル職の労働組合結成について
磯部喜一　ジュリスト　212（'60－10）

家内労働法案に関する一試案——最低賃金制斗争をより具体的により体系的に発展させるために
小口賢三　賃金と社会保障　206/207（'61－　）

中小企業と労働運動
西川達雄　彦根論叢　59/61（'59－10）

中小企業の労使関係——会社解散と従業員の解雇
大友健児　静岡大学文理学部研究報告社会科学　9（'61－　）

労働裁判問題

「荒れる法廷」の実態報告
根本孔衛　労働法律旬報　369（'60－1）

王子製紙争議に関する仮処分決定に対する批評
西川美数　経済法律時報　7－1（'60－8）

業務妨害排除・立入禁止等仮処分執行をめぐる諸問題
和田良一　労働経済判例速報　11－7（'60－3）

緊急命令について
瀬元美知男　政治経済論叢　10－4（'61－3）

公訴時効についての二，三の問題——桐生のロックアウト事件から
田宮　裕　ジュリスト　206（'60－7）

最近の最高裁判例とその特色
石川吉右衛門　日労研資料　475（'60－5）

最近の労働仮処分
森長英三郎　法律時報　33－3（'61－3）

失業保険料の納付に関する事業主代理人の責任
津田　実　経済法律時報　7－1（'60－8）

職場占拠，ロック・アウトと占有解除ないし立入禁止の仮処分
蓼沼謙一　季刊労働法　11－2（'61－6）

納金ストに関する最高裁判所の判例について
神山欣治　経済法律時報　7－1（'60－8）

ピケッティングと仮処分
矢野範二　日本及日本人　11－6（'60－8）

不当労働行為事件における和解＜１，２＞
河野　広　産業労働研究所報　21，24（'60－3，'61－3）

三池争議における仮処分
浅井清信　労働法律旬報　388（'60－8）

三池争議における仮処分
吉川大二郎　立命館法学　34（'60－9）

三池争議におけるロック・アウトと仮処分
林　迪広　季刊労働法　10－3（'60－9）

三池争議と仮処分＜上，中，下＞
諫山　博　労働法律旬報　389～391（'60－8，9）

目黒製作所事件をめぐる仮処分
花見　忠　ジュリスト　229（'61－7）

目黒製作所立入禁止仮処分事件について
山本　博　労働法律旬報　425（'61－8）

労働仮処分と自主的交渉
和田良一　法律時報　33－3（'61－3）

労働刑事事件における市民法的思考と労働法的思考
熊倉　武　労働法学研究会報　10－30（'59－8）

労働事件仮処分について——争議対策を中心として
馬場東作　関西経協　14－3（'60－3）

労働者の権利に関する判例の動向
横川　博　公法研究　22（'60－8）

労働争議と仮処分
色川幸太郎　日本労働協会雑誌　21（'60－12）

外国労働法

諸　国

各国公務員の労働権＜１，２＞
郵政調査時報　2－1，2（'61－5，8）

各国における団結の自由——国際労働機関（ILO）理事会「労使団体の自由にかんする委員会」報告訳
中山和久　早稲田大学比較法研究所紀要　10（'60）

各国労働協約の比較法的研究＜１＞
有泉　亨　労働問題　24（'60－5）

企業活動の短期的障害と労働関係——ヨーロッパ近代労働法における新しい契約危険負担理論，いわゆる企業危険負担の問題
山口俊夫　立教法学　3（'61－6）

女子労働者の産前産後の休養
山口俊夫　立教法学　1（'60－3）

アメリカ

アメリカ合衆国における鉄鋼ストとタフト・ハートレイー法
塚本重頼　綜合法学　19（'60－2）

アメリカ合衆国における鉄鋼ストの解決
塚本重頼　綜合法学　21（'60－4）

アメリカにおける苦情処理手続と任意仲裁手続について
慶谷淑夫　官公労働　14－11（'60－11）

アメリカにおけるショップ制の機能と法理
本多淳亮　法学雑誌　6－3（'60－1）

アメリカにおけるピケティング法理＜１，２完＞
中島陽子　法学新報　67－3，4（'61－3，4）

アメリカの家内労働
西岡孝男　労働問題　26（'60－7）

アメリカの企業における雇用慣行＜１，２完＞
徳重善之　労働問題　24，25（'60－5，6）

アメリカの病院スト
塚本重頼　時の法令　392（'61－7）

アメリカの労働組合と交渉して
松田正雄　中央労働時報　355（'60－7）

アメリカ不当労働行為制度の仕組みと運用の実績
籾井常喜　季刊労働法　11－2（'61－6）

戦後外国労働法の展開——アメリカ
三島宗彦　労働法　16（'60－10）

タフト・ハートレー法による第２次ボイコットの禁止といわゆるHot cargo条項
塚本重頼　法律のひろば　13－1（'60－1）

二次的ボイコットとタフト・ハートレー法——アメリカ争議理論の一側面
本田尊正　東洋法学　5－1（'61－10）

反差止命令法以後のレーバー・インジャンクション
中島陽子　法学新報　68－1（'61－1）

米国改正労働法の訳文と解説
有泉　亨，加藤俊平　季刊労働法　10－1（'60－3）

米国憲法とピケッティング
畑　博行　政経論叢（広島）　11－1（'61－6）

米国災害補償法の形成——コモンローの法理と補償の法理
荒木誠之　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

米国1915年海員法
山本泰督　国際経済研究　10（'60－1）

米国労働運動と改正法
川田　寿　季刊労働法　10－1（'60－3）

ボイコット法理論管見
増本一彦　英米法学　11（'60－5）

ワグナー法成立の由来
中島陽子　英米法学　11（'60－5）

イギリス

イギリス初期工場法成立史論——労働保護法の経済理論序説＜1～3＞
戸塚秀夫　政経論叢（明大）　28－1（'59－6），29－3（'60－9），30－1（'61－6）

イギリスにおける最低賃金法の改正
季刊労働法　22（'60－3）

イギリスにおけるショップ・スチュアードの研究メモ
松岡三郎　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

イギリスの労働者保護法史＜1～3完＞
清水金二郎　産業労働研究所報　22（'60－10），23，24（'61－1，3）

イギリス労働組合の共済手当制度——主として19世紀末にみるその機能と問題について＜1，2＞
関谷嵐子　社会科学研究　13－1，2/3（'60－10，12）

英国における1912年炭鉱最低賃金法の成立
相沢与一　経済学　21－4（'60－3）

傷病と労働契約——イギリス法の場合
有泉　亨　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

戦後外国労働法の展開——イギリス
佐藤　進　労働法　16（'60－10）

20世紀英国における労働法と世論＜上，下＞
海外労働経済月報　11－1，2（'61－1，2）

行政解釈と判決と立法——トラック法における現物給与をめぐつて
有泉　亨　社会科学研究　12－1（'60－8）

オーストリア

オーストリヤ労働法典草案と使用人発明権の問題
滝野文三　法学新報　68－8（'61－8）

各国労働協約の比較法的研究——オーストリア
檜崎二郎　労働問題　29（'60－10）

ソビエト

各国労働協約の比較法的研究——ソビエト連邦＜1，2完＞
藤田　勇　労働問題　35，36（'61－4，5）

ソヴェト社会主義法における労働権の問題
柳　春生　産業労働研究所報　20（'60-2）

ソヴェト社会主義労働法の基礎
柳　春生　産業労働研究所報　23（'61－1）

ソビエト連邦労働立法基礎草案について
胡麻本篤一　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

ソヴェト労働法における労働時間短縮の問題について
柳　春生　産業労働研究所報　21（'60－3），25（'61－10）

ソヴェト労働法の発展とその法典化の新段階——「ソ同盟ならびに加盟共和国の労働立法の基礎」草案の発表に際して
福島正夫　法律時報　32－3（'60－2）

ソ連邦における労働時間短縮問題——最近の動向について
内海義夫　労働問題　25（'60－6）

ロシヤにおける婦女子労働制限に関する法律の制定要因
倉崎　繁　西洋史学論集　7（'59－12）

中　国

中華人民共和国最近の労働法制
向山寛夫　中央経済　10－11（'61－11）

中国における労働者の変革と労働の新組織——発展する中国労働法のルポルタージュ
福島正夫　東洋文化研究所紀要　21（'60－3）

ドイツ

各国労働協約の比較法的研究——ドイツ
横井芳弘　労働問題　39（'61－8）

自主法としての労働協約——ドイツ協約理論史研究
下井隆史　熊本商大論集　10（'60－1）

西独の婦人労働とその保護立法の動向
浅井清信　立命館法学　39/40（'61－12）

西独労働裁判所訴訟過程上の諸現象
久保敬治　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

戦後外国労働法の展開——西ドイツ
久保敬治　労働法　16（'60－10）

ドイツにおける組織強化の機能と法理＜1，2＞
本多淳亮　民商法雑誌　44－2，5（'61－5，8）

ドイツ労働法における労働協約の「一般的拘束力宣言」制度
田中祥子　法学研究　34－7（'61－7）

西ドイツにおける団体交渉
石黒拓爾　季刊労働法　11－1（'61－3）

西ドイツにおける労使関係——団体交渉と労働争議について
石黒拓爾　労働経済判例速報　12－6（'61－2）

西ドイツにおける労働争議の実態
花見　忠　季刊労働法　11－2（'61－6）

西ドイツ年少者労働保護法の改正

海外労働経済月報　11－2（'61－2）

西ドイツの婦人労働
花見　忠　労働問題　26（'60－7）

西ドイツの労働裁判所
石川吉右衛門　官公労働　14－9（'60－9）

被用者発明権の確立とその展開——ドイツ法を中心に＜1，2完＞
滝野文三　法学新報　67－9，10（'60－9，10）

フリッツ・ブレッハー「契約の移転，営業の譲渡と労働関係」の視角【紹介】
上田耕生　明治大学法制研究所紀要　3（'60－8）

プロイセン初期工場法成立史論
大陽寺順一　井藤半弥博士退官記念論文集（'60－11）

フランス

港湾荷役業者に対する直接訴訟——フランスの判例を中心として
佐藤幸夫　六甲台論集　7－4（'60－12）

戦後外国労働法の展開——フランス
恒藤武二　労働法　16（'60－10）

フランスにおける家族手当立法——法の変遷と手当の性格について
上村政彦　九大法学　6（'59）

フランスにおける組織強制の機能と法理
本多淳亮　法学雑誌　8－2（'61－9）

フランスにおける同盟罷業と労働契約
菊谷達弥　九大法学　7（'60）

フランスにおける労使協議制について
阿久津亀夫　法学研究　33－6（'60－6）

フランスにおける解雇権濫用の法理
石橋主税　九大法学　4（'58）

労働争議調整制度よりみた争議権の構造——フランスの場合
深山喜一郎　法経論集（佐賀）　8－1（'60－12）

其の他

各国労働協約の比較法的研究——イタリア
山口浩一郎　労働問題　37（'61－6）

各国労働協約の比較法的研究——オランダ
加藤俊平　労働問題　30（'60－11）

各国労働協約の比較法的研究——カナダ
秋田成就　労働問題　25（'60－6）

各国労働協約の比較法的研究——スウェーデン
佐藤　進　労働問題　31（'60－12）

各国労働協約の比較法的研究——ユーゴースラビア
藤田　勇　労働問題　27（'60－8）

労働協約の一般的拘束力制度——スイス1957年法の成立過程を中心として
常盤忠允　綜合法学　21（'60－4）

社会厚生法

社会厚生法一般

異教徒の埋葬
大塚都哉　法学セミナー　64（'61－7）

菊池勇夫編「社会法綜説」【書評】
沼田稲次郎　法律時報　32－4（'60－3）

国民年金と身体障害者雇用法
国井国長　月刊社会保障　14－160（'60－4）

社会立法に関する覚書
松尾　均　国民経済　50（'60－4）

社会法の構造と理念＜2，3完＞
宮川　澄　立教経済学研究　14－1，3（'60－6，12）

墓場までおよぶ福祉
小林珍雄　ソフィア　9－3（'60－10）

墓地，埋葬等に関する法律第13条の解釈
菊井康郎　時の法令　351（'60－5）

社会福祉法

朝日事件控訴審——「健康的で文化的な生活」をめぐつて
新井　章　法学セミナー　59（'61－2）

朝日訴訟——社会保障の観点から
小川政亮　法律時報資料版　15（'61－12）

朝日訴訟の問題点
有倉遼吉　法律時報資料版　15（'61－12）

憲法25条の勝利——生活保護法の最低基準額に対する不服申立
朝日　茂　中央公論　75－13（'60－12）

憲法第25条は絵にかいた餅ではない——朝日行政事件判決とその意義
小川政亮　法律のひろば　13－12（'60－12）

高裁にうつつた朝日訴訟
おさ，ひろし　前衛　190（'61－11）

今日の政治と社会保障
小川政亮　綜合法学　38（'61－9）

里親の権利義務——その法律構成
加藤永一　法学　25－2（'61－5）

社会保障条約と国内法
世界の労働　10－6（'60－6）

社会保障法——社会保障法の体系と構成
黒木利克　綜合法学　38（'61－9）

順調に発展する社会福祉法人
斉藤治美　時の法令　402（'61－10）

じん肺全般に保護対象を拡張——じん肺法案
加藤光徳　時の法令　343（'60－2）

じん肺法と労災保険法改正法案の概要
労政時報　1548（'60－1）

じん肺法の制定と労災保険法の一部改正
村上茂利　日労研資料　474（'60－5）

生活保護基準をめぐる行政訴訟
菅原利男　公法研究　22（'60－8）

生活保護行政の実態と問題点＜1，2＞【座談会】
渡辺洋三，小川政亮，黒田正男，宮崎栄子　自治研究　36－12（'60－12），37－1（'61－1）

生活保護請求権に関する若干の問題

明山和夫　都市問題研究　12－12（'60－12）

生活保護法と憲法
菊池勇夫　判例評論　34（'61－2）

生活保護法における自立助長の問題
秋場　正　社会事業　43－2（'60－2）

生活保護法の運用をめぐる諸問題
坂本重雄　賃金と社会保障　179（'60－8）

精神薄弱者福祉法
石野清治　時の法令　348（'60－4）

日本社会保障の当面の機能＜１＞
天達忠雄　明治学院論叢　56－1（'60－2）

プログラム規定における消極性と積極性 ──いわゆる朝日訴訟判決に関連して＜１＞
池田政章　立教法学　3（'61－6）

放射線障害防止法の改正
佐々木茂行　時の法令　349（'60－4）

わが国の身体障害者福祉制度
清水金二郎　産業労働研究所報　21（'60－3）

公衆衛生法

経済法概念の規定問題と環境衛生適正化法について
大友　徹　拓殖大学論集　27（'61－6）

この裁判にも光りを ── ある「きゆう師」の違憲訴訟
大塚郁哉　法学セミナー　59（'61－2）

公害防止条例の運用をめぐる諸問題
神岡浪子　都市問題　51－5（'60－5）

公衆浴場法２条２項と職業選択の自由（判例百選）
成田頼明　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

諸種の「医する行為」── 判例による
高木　武　東洋法学　5－1（'61－10）

ソ連製小児まひ用生ワクチンと薬事法
時の法令　371（'61－12）

法の禁止する医業類似行為
田原義衛　ジュリスト　197（'60－3）

薬事法から薬剤師法を分離
山下真臣　時の法令　363（'60－9）

社会保険法

共済組合法にいわゆる「給付の制限」について
青谷和夫　共済時報　7－11（'59－11）

健康保険法第55条の解釈をめぐる二つの問題について
鬼頭史郎　健康保険　14－2（'60－2）

健康保険法第67条（損害賠償請求権）について ── 立法趣旨と解釈をめぐる一つの試論として
鬼頭史郎　健康保険　14－5（'60－5）

健康保険法の罰則 ── 健康保険法にはこんな罰則があります
黒川　弘　健康保険　14－9（'60－9）

公共企業体職員等共済組合法の一部改正について
池沢登起夫　共済新報　1－4（'60－7）

国民健康保険法の一部改正について
正木　馨　地方自治　164（'61－8）

国税徴収法の改正と保険料の徴収＜１～６完＞
渡辺信也　健康保険　14－5～10（'60－5～10）

国民年金法の内容と問題点
清水金二郎　産業労働研究所報　19（'59－12）

社会保険四法の改正をめぐつて
佐口　卓　共済時報　7－9（'59－9）

社会保障制度からみた国民年金法
桑木敏男　共済新報　1－2（'60－5）

退職積立金及退職手当法成立史論 ── 日本労働保護立法の一研究＜２＞
内藤則邦　立教経済学研究　14－3（'60－12）

退職積立金及退職手当法の成立と変転 ── 日本社会保険史ノート
佐口　卓　早稲田商学　148（'60－9）

法を知らなかつたということ ── 法の不知は健保法第20条２項にいわゆる「正当の事由」に該当するかを中心として
青谷和夫　健康保険　15－6（'61－6）

問題の多い健康保険法
佐藤　良　健康保険　13－11（'59－11）

外国社会厚生法

各国の家庭福祉員制度
原　徹郎　レファレンス　10－11（'60－11）

諸外国における大気汚染問題
田中　寿　レファレンス　11－9（'61－9）

西ドイツの疾病保険改正法案
中島　正　社会労働研究　13（'61－12）

ノルウェー社会保障制度に関する一研究 ── 主として年金制度を中心として
平田富太郎　社会科学討究　7－1（'61－12）

フィンランドの社会保障制度に関する一研究
平田富太郎　早稲田政治経済学雑誌　172（'61－12）

イギリス

英国救貧法史における労役場論争について
小山路男　井藤半弥博士退官記念論文集（'60－11）

英国救貧法における労役場問題
小山路男　横浜市立大学論叢　11－3（'60－4）

英国救貧法の展開と変容
小山路男　横浜市立大学論叢　11－2（'60－1）

英国国民保険制度の改正問題
清水金二郎　菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

教区徒弟と工場法 ── 1802年法の救貧法的性格について
小山路男　横浜市立大学論叢　12－3（'61－3）

居住地制限と貧民救済
小山路男　横浜市立大学論叢　11－4（'60－4）

新救貧法の成立過程
小山路男　横浜市立大学論叢　12－4（'61－3）

貧民救済と賃金補助制度
小山路男　横浜市立大学論叢　12－1（'60－10）

文化法

文化法一般

宗教法人の現状と動向
河和田唯賢　時の法令　400（'61－9）

文化行政法の本質に関する論点の展開
三輪要人　中京商学論叢　7－3/4（'61－3）

放送法における自主規制
千葉次郎　新聞学評論　10（'60－3）

教育関係法

学区の設定による村落共同体の解体再編成
千葉正士　東京都立大学法学会雑誌　1－1（'60－11）

学校処置に対する裁判所の救済 ── 保障の範囲と強度
山本重太　立命館法学　37（'61－6）

学問の自由 ── 名城大学事件を手がかりとして
中山健男　名城法学　9－2/4（'60－3）

学力調査阻止斗争をめぐる法律問題
尾山　宏　労働法律旬報　428（'61－9）

教育基本法の改悪をたくらむ思想
長田　新　教育評論　102（'60－11）

教育公務員の地位をめぐる諸問題
和田鶴蔵　法政論叢　2－1（'60－11）

教育公務員の地位をめぐる諸問題 ── 中学校を中心として
長谷川銕治　法政論叢　2－1（'60－11）

教育行政法の現代的課題 ──「営造物管理権」および「教育の自由」の法制史的検討
兼子　仁　思想　427（'60－1）

教育政策における福祉行政の理念と現実 ── いわゆる教員養成大学に対する国家規準設定への批判
山崎真秀　東京学芸大学研究報告　12（'60－1）

勤務評定をめぐる法的諸問題
田辺勝二　法政論叢　12（'60－7）

現下教育行政の基本問題 ── 現行教基法体制の分析＜１＞
持田栄一　都市問題　52－4（'61－4）

現場教師と教育基本法改正問題【座談会】
持田栄一，他　労働法律旬報　398（'60－11）

憲法と国民教育 ── 憲法からみた日本の政治と教育
小林直樹　思想　442（'61－4）

公務上の特別権力関係について ── 教育公務員の懲戒に関する若干の考察
後藤米夫　東京学芸大学研究報告　11（'60－2）

高校教育における「教育の自由」の侵害について
井上成章　法政論叢　2－1（'60－11）

社会教育法の一部改正
宮地　茂　都市問題　50－10（'59－10）

田中耕太郎著「教育基本法の理論」【書評】
相良惟一　文部時報　1006（'61－6）

日本学校安全会法の概要
渋谷敬三　文部時報　990（'60－2）

民主主義教育の理念 ── 教育基本法の成立について
務台理作　世界　186（'61－6）

外国文化法

中共の文化財保護法令
小原正治　レファレンス　11－8（'61－8）

西ドイツにおける学制改革について
清水芳一　レファレンス　10－4（'60－4）

東ドイツの新教育法
児玉嘉之　レファレンス　10－8（'60－8）

フランスの放送事業について
山戸利生　レファレンス　10－11（'60－11）

無視されたプレスの自由 ── 問題の中華民国新出版法
小野秀雄　新聞研究　98（'59－9）

連邦司法による教育の自由の保障 ── 私立学校存続の問題をめぐつて
上原貞雄　広島大学教育学部紀要第１部　9（'61－1）

国際法

国際公法一般

ウィーン外交関係会議及びウィーン外交関係条約
高野雄一　国際問題　19（'61－10）

ヴィクトリアの国際法理論における totus orbis の観念について
伊藤不二男　法政研究　27－2/4（'61－3）

ヴィクトリアの正当戦争論 ── 国際法学説史の研究＜１，２完＞
伊藤不二男　国際法外交雑誌　60－1，2（'61－6，8）

英国における「国際法は国内法の一部を構成する」という原則の起源
畝村　繁　甲南法学　2－2（'61－9）

英国における実定法としての一般国際法と国内法との関係＜１＞
畝村　繁　甲南法学　2－3（'61－12）

外交関係および外交特権に関する制度の法典化
堂ノ脇光明　外務省調査月報　2－2（'61－2）

学界回顧　1960年——国際公法
山手治之　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年——国際公法
山手治之　法律時報　33－13（'61－12）

京都府の世界連邦宣言
吉原正八郎　ジュリスト　202（'60－5）

元首の国際法上の地位
田村幸策　法律時報　67－1（'60－1）

現代国際法における過失の本質＜1～3完＞
波多野里望　国際法外交雑誌　59－3，6（'60－9，'61－3），6－1（'61－6）

港湾における管轄権の諸問題——わが国における国際法先例の研究＜1＞
高林秀雄　法学（近大）　10－1（'61－5）

国家承認に関するケルゼンの創設的効果説
山口五郎　法経論集（新潟）　9－3/4（'60－3）

国際社会の法構造
深津栄一　法学紀要　3（'61－6）

国際情勢をめぐる法と政治【座談会】
宮地健次郎，寺沢　一，田畑茂二郎，福田欽一，蠟山芳郎　法律時報　33－10（'61－10）

国際法——法律学15年の回顧と展望
高野雄一，寺沢　一，広瀬善男　ジュリスト　217（'61－1）

国際法（1960年の法および政治の分析）
経塚作太郎　綜合法学　29（'60－12）

国際法と国際政治
寺沢　一　法学セミナー　68（'61－11）

国際法と国内法との関係——国家意思を媒介とする統一
安井　郁　法学志林　58－1（'60－5）

国際法学と弁証法
安井　郁　法律時報　33－10（'61－10）

国際法学の反省と進路
小谷鶴次　政経論叢（広島）　10－2（'60－9）

国際法における権利濫用の一考察＜1，2完＞
名島　芳　国際法外交雑誌　58－6，59－4（'60－1，12）

国際法における国家の裁判権免除
大寿堂　鼎　法学論叢　68－5/6（'61－3）

国際法における「国内事項」
一又正雄　綜合法学　35（'61－6）

実定法と国際法＜1＞
Ago，R.　法政論集　14（'60－5）

承認および現代における国際協力の諸方式
Lacks，M.　法律時報　33－10（'61－10）

植民地体制の崩壊と国際性——民族自決権を中心として
山手治之　立命館法学　34（'60－9）

ソビェト国際法・国際私法の新段階
長尾賢三，岩渕節雄　法律時報　33－10（'61－10）

ソビェト国際法の一般概念について
亀倉四郎　綜合法学　36（'61－7）

トマス・アクイナスの正戦論と近世自然法の伝説
沢田和夫　国際法外交雑誌　59－4（'60－12）

人間の権利と国際法＜4＞
大沢　章　学習院大学政経学部研究年報　6（'59－3）

平和を強めるための国際法の役割
Tunkin，G.I.　法律時報　33－10（'61－10）

ホッブス・プーフェンドルフと近代国際法
都築英二　法学研究　33－5（'60－5）

領域取得の法理
深津栄一　国際法外交雑誌　60－3（'61－11）

条約問題

違憲条約の効力に関する覚書
杉江栄一　三重法経　9（'59－10）

違憲条約の国際法上の効力
大平善梧　時の法令　358（'60－7）

憲法と条約——その関係をめぐる問題点
経塚作太郎　綜合法学　35（'61－6）

条約と憲法
大沢　章　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

条約の解釈原理をめぐる問題点
経塚作太郎　法学新報　68－9（'61－9）

条約の定義及び形式的実効性
経塚作太郎　法学新報　67－8（'60－8）

条約の批准
皆川　洸　法律時報　32－4（'60－3）

条約の法的安定と法的変化——条約の適用不能にあらわれた
川上敬逸　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60－5）

署名のすんだ条約の批准は義務的か
経塚作太郎　ジュリスト　197（'60－3）

田畑茂二郎，高林秀雄「国際条約，資料集」【書評】
田岡良一　法学論叢　68－4（'61－1）

多辺条約における留保＜2完＞
小川芳彦　法学論叢　66－4（'60－1）

無期限条約の一方的廃棄
田岡良一　恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60－5）

Triska教授とSoviet条約の研究
小谷鶴次　政経論叢（広島）　10－1（'60－4）

平時国際法

原子力損害賠償に関する二つの条約案
星野英一　ジュリスト　236（'61－10）

国際法上の自衛権＜1，2＞
田岡良一　法と政治　11－3（'60－9），12－1（'61－1）

国際法における自衛権概念について
城戸正彦　愛媛大学紀要社会科学　3－2（'59－12）

自衛権
一又正雄　綜合法学　18（'60－1）

自衛権の陥穽
田畑茂二郎　世界　171（'60－3）

自衛権の法史
伊藤不二男　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7），

太平洋ケーブル協定をめぐる若干の法律問題
沢木敬郎　ジュリスト　240（'61－12）

対立する極東の軍事体制——国際法の見地から
入江啓四郎　世界　189（'61－9）

第三国による利益保護制度
加藤二郎　外務省調査月報　1－9（'60－12）

天然の富と資源に対する永続的主権の現状
安藤仁介　国際法外交雑誌　60－3（'61－11）

西欧統合の現実と矛盾
川崎一郎　法律時報　33－10（'61－10）

20世紀における国内干渉の特質
高橋　悠　法律時報　32－4（'60－3）

20世紀における主権の地位
宮崎繁樹　法律時報　32－4（'60－3）

ベルリン危機と国際法——力の論理の悪循環と交通管理権と駐留権，国際地役権の法理について
大平善梧　日本及日本人　12－8（'61－10）

ボウェット「国際法上の自衛」【紹介】
綿川二郎　法学論叢　66－6（'60－3）

法律的に見た中共の国連加盟と承認問題
田畑茂二郎　国際問題　13（'61－4）

麻薬取締りに関する国際協力——麻薬単一条約の成立に至るまで＜1，2＞
島岡　再　外務省調査月報　2－5，6/7（'61－5，7）

密入国と政治亡命
一又正雄　ジュリスト　218（'61－1）

ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の特権
川崎一郎　法経論集（愛知）　32（'60－10）

両極化における内乱の法理
大平善梧　国防　9－10（'61－6）

領域主権の法構造
深津栄一　日本法学　26－4（'60－11）

I．フォイゲル著「国有化」——国際法における外国人財産の保護に関する研究【書評】
桑原輝路　一橋論叢　43－1（'60－1）

領　空

宇宙法と領空主権
池田文雄　綜合法学　37（'61－8）

宇宙法の課題
池田文雄　法律のひろば　14－7（'61－7）

宇宙法（大気圏外の法）の課題
高野雄一　国際問題　5（'60－8）

宇宙法の発展
池田文雄　外交時報　32（'61－3）

宇宙法の問題
一又正雄　綜合法学　37（'61－8）

空中衝突に関する統一法の形成——1961年ICAO法律委員会パリ小委員会報告
矢沢　惇　ジュリスト　230（'61－7）

国際公法における空法の基礎的研究＜2～5完＞
名島　芳　経営と経済　39－1，2（'59－10，12）40－1，4（'60－7，'61－1）

大気圏外の法的地位
城戸正彦　愛媛大学紀要社会科学　3－3（'60－12）

U2型機事件と国際法
池田文雄　外交季刊　5－3（'60－　）

利用可能な空間の法的地位
Cooper，J.C.　空法　4（'60－2）

領空の限界
前原光雄　法学研究　33－2（'60－2）

公海・海洋法

小田　滋「海の国際法」下巻【紹介】
高林秀雄　法学　24－2（'60－6）

海洋国際法の新発展＜6＞——公海漁業
寺沢　一　外交時報　19（'60－2）

海洋に関する国際法
山名寿三　総合海洋科学　3（'61－3）

海洋法会議の死亡診断書
大塚博比古　世界週報　41－21（'60－5）

ジュネーブ海洋法条約に対する諸学者の見解について
小田　滋　法学　24－3（'60－8）

第2次国際海洋法会議
小田　滋　ジュリスト　204（'60－6）

特殊海事損害の賠償請求に国が援助——地位協定により改正された対米民事請求にあつせん・訴訟援助
高島　正　時の法令　390（'61－6）

李ラインの不法性と日本人漁夫の不当逮捕について再び訴える
日本弁護士連合会　自由と正義　11－2（'60－2）

領海と幅員とその決定＜1，2＞
大塚博比古　外務省調査月報　1－4，6（'60－7，9）

南極条約

新しい国際法の諸問題——南極の国際法＜1＞
横田喜三郎　外交時報　22（'60－5）

成立した南極条約とその問題点
岡崎久彦　時の法令　338（'60－1）

南極条約
一又正雄　ジュリスト　204（'60－6）

南極条約
下田武三　外務省調査月報　1－2（'60－5）

南極条約をめぐつて
池田文雄　外交時報　19（'60－2）

南極条約の問題点
秋保一郎　金沢法学　6－2（'60－11）

南極の国際制度
前原光雄　綜合法学　26（'60－9）

平和利用（新しい国際法の諸問題）——南極の国際法＜2＞
入江啓四郎　外交時報　24（'60－7）

日米間条約

安全保障条約承認をめぐる各国の論調
レファレンス　10－8（'60－8）

安全保障体制の変遷
入江啓四郎　法律時報　32－4（'60－3）

安保改定をどうしたらよいか
笠　信太郎　文芸春秋　38－6（'60－6）

安保改定をめぐる国会の論戦＜1，2＞
関　道雄　時の法令　362，363（'60－9）

安保改定と自由化——政策転換への展望

小野義彦　中央公論　75－5（'60－5）

安保改定と法律家
法律時報　32－3（'60－2）

安保条約をめぐる国会論争
一又正雄　綜合法学　20（'60－3）

安保条約改訂をめぐる民主政治への反省
中山政夫　綜合法学　25（'60－8）

安保条約改定と憲法第9条
島田武夫　自由と正義　11－1（'60－1）

安保条約改定と世論の動向
畑田重夫　教育　9－10（'59－9）

安保条約改定の問題点
田畑茂二郎　自由と正義　11－1（'60－1）

安保条約改定の歴史
西村熊雄　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

安保条約存続の必要性
佐藤尚武　国連評論　38－10（'59－10）

安保条約と安政条約
篠原　一　世界　171（'60－3）

安保条約と賃貸借契約——北富士演習場の一法律問題
渡辺洋三　法律時報　32－11（'60－9）

安保条約の期限と適用区域
大平善梧　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

安保批准と中国承認
入江啓四郎　中央公論—75－3（'60－3）

安保問題について声明する
大内兵衛　世界　175（'60－7）

ガリオア・エロアの法律問題
時の法令　386（'61－5）

北富士演習地の法律問題
畑　穣　法律時報　33－8（'61－8）

行政協定の改定
井川克一　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

行政協定白書
三上正良　中央公論　75－6（'60－6）

極東で忘れられていること
藤島宇内　中央公論　75－5（'60－5）

極東の範囲とソ連覚書
入江啓四郎　世界　172（'60－4）

憲法と安保改定の問題点
佐藤　功　自由と正義　11－1（'60－1）

憲法の戦争放棄の限界——砂川判決に照して
横田喜三郎　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

国会の安保審議はどう行なわれたか
ジュリスト　204（'60－6）

国会論争から——極東，事前協議，憲法
星野安三郎　世界　172（'60－4）

国際信義と国内信義——条約の調印と批准
斉藤　真　世界　171（'60－3）

国際法より見た安保改定問題
大平善梧　自由と正義　11－1（'60－1）

国際連合憲章との関係
高野雄一　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

国民，国会，そして選挙——安保改定の最終段階に
堀　堅士　法律時報　32－7（'60－6）

事前協議——国会の論議にみる新安保条約の問題点＜上，下＞
関　道雄　時の法令　364，365（'60－9，10）

事前協議について
皆川　洸　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

施設及び区域——いわゆる地位協定の問題点＜1～3＞
山内一夫　時の法令　360～362（'60－8，9）

条約修正権問題——憲法解釈上の論点と政治的意義
佐藤　功　法律時報　32－11（'60－9）

新安保条約及び関連諸取極の概観
西村熊雄　ジュリスト　196（'60－2）

新安保条約関係文書の検討
田中直吉　外交時報　21（'60－4）

新安保条約逐条解説
寺沢　一　法律時報　32－11（'60－9）

新安保条約と自衛権
田畑茂二郎　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

新安保条約と日本の国際環境——グロムイコ覚書をめぐつて
岡倉古志郎　法律時報　32－4（'60－3）

新安保条約等の発効と刑特法
前田　宏　法律時報　32－11（'60－11）

新安保条約の一見明白な違憲性——国会解散，国民の違憲審査による批准阻止のために
芦田浩志　前衛　167（'60－4）

新安保条約の検討
祖川武夫　法律時報　32－4（'60－3）

新安保条約の検討
田畑茂二郎　ジュリスト　196（'60－2）

新安保条約の逐条的検討——批准国会で慎重に討議すべき点について【座談会】
戒能通孝，寺沢　一，西　春彦，田尻愛義，吉井晃
法律時報　32－4（'60－4）

新安保条約の承認と議会政党の立場
蠟山政道　世界　171（'60－3）

新安保条約は国連憲章に違反する
上田誠吉　前衛　167（'60－4）

新安保条約発効と今後の問題
田畑茂二郎　外交時報　25（'60－8）

新行政協定関係資料の誤りについて
法律時報　32－9（'60－7）

新条約の解釈をめぐつて——安保改訂にたいする私の立場
田岡良一　外交時報　20（'60－3）

新条約の改廃問題と国際法
入江啓四郎　法律時報　32－11（'60－9）

新条約への新たな疑惑——行政協定と日米合意書
津田達夫　世界　174（'60－6）

新地位協定の問題点——国会で審議されなかつた疑問を衝く【座談会】
戒能通孝，飛鳥田一雄，星野安三郎，杉山茂雄，六川常夫　法律時報　32－11（'60－9）

新日米安保条約と国際法
津田幸雄　社会科学論集（高知）　10（'60－　）

新日米安全保障条約の法律的検討
林　道雄　法律のひろば　13－3（'60－3）

中共の承認と中国の国連代表権問題——国際法上の法理観
田村幸策　国防　9－11（'61－7）

通商航海条約とその動向
吉野文六　法律時報　32－6（'60－5）

日米安全保障条約改正問題重要日誌
杉山茂雄　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

日米安全条約・同行政協定関係文献——昭和35年1月現在
杉山茂雄　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

日米安保体制の再検討＜1，2＞
堀　堅士　法学論集　10－5，11－1（'61－7，10）

日米新安保条約の波紋——海外新聞論調から
世界　171（'60－3）

米国での安保審議——上院外交委聴聞会証言全文
世界週報　41－26（'60－6）

国際紛争処理法

アルヴァレス裁判官の反対意見＜1＞
桑原輝路　商学討究　10－4（'60－3）

外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約について＜上，下＞
阿川清道　ジュリスト　231，232（'61－8）

外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約について＜上，下＞
阿川清道　貿易クレームと仲裁　8－10，11（'61－10，11）

外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約
熊谷真博　時の法令　399（'61－9）

国際司法裁判所
平賀慶暉　時の法令　374（'61－1）

国際司法裁判所裁判官の選挙手続き
鈴木康之　外務省調査月報　1－5（'60－8）

国際法の決定要因について
佐藤由須計　綜合法学　21（'60－4）

通商航海条約における仲裁判断条項について
村上　謙　外務省調査月報　2－9（'61－9）

日本と国際司法裁判所
入江啓四郎　法律時報　33－1（'61－1）

ペイホー号事件
国際法先例研究会　法学論叢　69－2（'61－5）

戦時国際法

休戦の法的性質——パレスチナ，朝鮮，インドシナの休戦協定を中心として
香西　茂　法学論叢　67－2（'60－5）

国際刑事裁判所について
白井　正　法政研究　27－2/4（'61－3）

戦時封鎖に就いて
山名寿三　日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）

戦争（武力紛争）と国際法
宮崎繁樹　綜合法学　35（'61－6）

中立主義の意義と限界
大平善梧　時の法令　369（'60－11）

ハーグ陸戦規則と原油の押収——シンガポール控訴院判決を中心に
竹本正幸　国際法外交雑誌　59－5（'61－1）

捕獲権行使の主体
前原光雄　法学研究　33－12（'60－12）

第二次大戦関係

アイヒマン裁判——その根底にながれるもの
中島健蔵　社会改良　6－3（'61－4）

アイヒマン裁判と国際刑法
桜木澄和　法学セミナー　63（'61－6）

アイヒマン裁判の背景と問題点
中島　博　国際問題　15（'61－6）

アイヒマン裁判の問題点
時の法令　388（'61－5）

アイヒマン裁判はどうなるか【座談会】
中島健蔵，野村正男，村松　剛，正木　亮　社会改良　7－1（'61－11）

アイヒマン事件と裁判権
Robinson，J.　法律時報　32－11（'60－9）

沖縄帰属に関する若干の問題
笠原正明　神戸外大論叢　12－2（'61－6）

神に誓う真実と裁かれる真実——アイヒマン裁判の結審によせて
桜木澄和　時の法令　399（'61－9）

奇妙な台湾の法的地位
西村熊雄　世界週報　42－9（'61－2）

サンフラシスコ条約第14条成立史
斉藤栄三郎　経済学季報　9－1/2（'59－11）

1949年のジュネーブ諸条約の実施
榎木重治　国際法外交雑誌　60－3（'61－11）

綜合判例研究「日本占領法の効力」＜2，3＞
山手治之　立命館法学　32，33（'60－3，6）

台湾の法的地位——対日平和条約第2条の役割
杉山茂雄　世界週報　42－28（'61－7）

台湾問題についての基本的考察
家田重蔵　国際問題　15（'61－6）

ベルリン問題の国際法的検討
入江啓四郎　法律時報　33－10（'61－10）

平和条約にもとづく財産委員会の総括＜1，2完＞
関根達夫　ジュリスト　224，225（'61－4，5）

法的定義における「琉球人」
松本正義　沖縄と小笠原　15（'60－12）

北方領土の国際法観——クナシリ，エトロフは日本固有の領土
田村幸策　世界週報　42－42（'61－10）

国　際　連　合

安全保障理事会の表決方法
神谷竜男　政経論叢（国学院）　9－3（'61－1）

国際警察軍
杉山茂雄　国際法外交雑誌　60－3（'61－11）

国際社会における基本的人権の保障
宮崎繁樹　法律時報　33－10（'61－10）

国際平和と国連事務総長の役割——国際文官制度の危機
一又正雄　国際問題　21（'61－12）

国際連合総会とは
西田誠哉　時の法令　369（'60－11）

国際連合と中国代表権の問題
神谷竜男　綜合法学　35（'61－6）

国際連合に関する若干の研究——国際連合とアメリカ
神谷竜男　政経論叢（国学院）　9－2（'60－10）

国際連合に於ける侵略の定義
土屋茂樹　国際法外交雑誌　58－6（'60－1）

国際連合に於ける中国代表権承認の法的効果と「二つの中国」論
松隈　清　八幡大学論集　12－1（'61－7）

国際連合への加入と国家承認——中国代表権問題をも含めて
田畑茂二郎　法学論叢　68－5/6（'61－3）

国連軍をめぐる「関係国の同意」の問題——スエズとコンゴの場合
香西　茂　法学論叢　68－5/6（'61－3）

国連軍形成の諸例とその先例的意義
関野昭一　綜合法学　29（'60－12）

国連憲章51条と自衛権
田畑茂二郎　法学論叢　67－1（'60－4）

国連憲章と自衛権
田畑茂二郎　法律時報　32－4（'60－3）

国連憲章における人権保障
今井　威　阪大法学　39（'61－7）

国連主要機関および専門機関理事会等の構成国一覧表
外務省調査月報　2－6/7（'61－7）

当事者の紛争付記の義務及び権利に関する問題
北条俊郎　政経論叢（国学院）　9－3（'61－1）

バンデンバーグ決議の成立と背景
宮地健次郎　法律時報　32－1（'60－1）

法律的に見た中共の国連加盟と承認問題
田畑茂二郎　国際問題　13（'61－4）

わが国が加入している国際機関＜上，下＞
村上　謙　時の法令　380，381（'61－3）

国際私法・国際商事仲裁

アメリカ合衆国における外人の権利
越川純吉　法経論集（愛知）　34（'61－5）

アメリカ合衆国の市民権・帰化・移民
斉藤　敏　日本法学　27－5（'61－12）

アメリカにおける「他州扶養料判決」の執行
平　良　法学研究　33－12（'60－12）

イギリスにおける「ドミサイル」の変貌＜1，2完＞
折茂　豊　法学協会雑誌　78－3，4（'61－9，10）

ウェリントン事件再考——外国国際私法判例の紹介と研究
本浪章市　法学論集　10－2（'60－9）

折茂　豊「国際私法（各論）」【紹介】
山田鐐一　法学　23－4（'60－1）

外国養子の相続権に関する英国国際私法判例
本浪章市　法学論集　9－5/6（'60－3）

外国離婚判決の承認
江川英文　立教法学　1（'60－3）

海運同盟とアメリカの裁判権
入江啓四郎　政治経済論叢　11－2（'61－11）

学界回顧　1960年——国際私法
溜池良夫　法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年——国際私法
沢木敬郎　法律時報　33－13（'61－12）

関係資料の作成・整理を終えて
山田鐐一　法律時報資料版　14（'61－11）

川上太郎教授「国際私法の法典化に関する史的研究」【書評】
岡本善八　同志社法学　13－4（'61－12）

行為能力および禁治産
桑田三郎　法学セミナー　53（'60－8）

現行法例の成立について（財産の部）——法典調査会議事速記録を中心として
久保岩太郎　青山法学論集　3－2（'61－12）

公序
山田鐐一　法学セミナー　50（'60－5）

航空私法統一条約の進展とパリ小委員会
矢沢　惇　ジュリスト　205（'60－7）

国営貿易と商事仲裁——東西両世界の平和的共存の一つの条件
喜多川篤典　東京都立大学法学会雑誌　1－1（'60－11）

国際婚姻法
関根万之助　明治大学短期大学紀要　6（'61－12）

国際私法——法律学15年の回顧と展望
江川英文，池原秀雄，山田鐐一，沢木敬郎　ジュリスト　217（'61－1）

国際私法50年
Gutzuwiller，M.　神戸法学雑誌　9－4（'60－3）

国際私法上の担保物権の準拠法（判例百選）
溜池良夫　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

国際私法上の連結点のあり方について
沢木敬郎　立教法学　1（'60－3）

国際私法上の離婚
関根万之助　明治大学短期大学紀要　3（'59－2）

国際私法における外国為替管理法
岡本善八　同志社法学　12－5（'61－2）

国際私法における外債発行——国債発行を中心として
岡本善八　同志社法学　12－2（'60－6）

国際私法における代理権
西　賢　神戸法学雑誌　9－1/2（'59－10）

国際私法の概念について——私法秩序の構造と国際私法
溜池良夫　法学論叢　70－2（'61－11）

国際私法の現代的課題——反致主義の理論的基礎づけへの一試論

焼場準一　一橋論叢　44－4（'60－10）

国際私法の上位性格について
焼場準一　一橋論叢　43－1（'60－1）

国際私法の将来と課題（1960年代・法の将来と課題）
山田鐐一　ジュリスト　193（'60－1）

国際私法部会における審議経過
村岡二郎　法律時報資料版　14（'61－11）

国際商事仲裁の将来——特に立法化の問題
川上太郎　貿易クレームと仲裁　7－3（'60－3）

国際通貨基金と国際私法問題
西　賢　神戸法学雑誌　10－3（'60－12）

州外における婚姻の効力
平　良　法学研究　33－4（'60－4）

ストーリーとアメリカ国際私法
川上太郎　神戸法学雑誌　9－1/2（'59－10）

先決問題に関する訴訟地法説
焼場準一　一橋論叢　44－5（'60－11）

ソ連邦における外国貿易仲裁と国際私法
川上太郎　貿易クレームと仲裁　7－10（'60－10）

日本渉外民事訴訟法の樹立＜2＞
越川純吉　法経論集（愛知）　30（'60－3）

反致
溜池良夫　法学セミナー　49（'60－4）

フランス国際私法における夫婦財産制の準拠法＜1，2完＞
丸岡松雄　国際法外交雑誌　59－5，6（'61－1，3）

部分離婚の理論と外国離婚判決の承認
本浪章市　国際法外交雑誌　59－3（'60－9）

ヘーグ国際私法会議のはなし
野木新一　時の法令　377（'61－2）

米国における渉外的関係
佐藤哲夫　法律のひろば　14－12（'61－12）

米国における養子入国者の法的地位＜1，2完＞
西沢　修　家庭裁判月報　12－7，8（'60－7，8）

米国における養子入国者の法的地位
西沢　修　法と政治　11－1（'60－2）

法性決定論議の大半は法政策的調和の問題に還元するべきの論——抵触法方法論私見
矢ケ崎武勝　法政研究　27－2/4（'61－3）

法律関係の性質決定
江川英文　法学セミナー　51（'60－6）

法律行為の成立及び効力の準拠法——消滅時効の準拠法と公序（判例百選）
沢木敬郎　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

法例——制定から今日まで
久保岩太郎　法律時報資料版　14（'61－11）

法例改正（婚姻の部）関係外国立法例
法律時報資料版　15（'61－12）

法例改正要綱試案解説
山田鐐一，村岡二郎　法律時報資料版　14（'61－11）

養子縁組と相続準拠法——外国国際私法判例の紹介と研究
本浪章市　法学論集　10－1（'60－6）

ラテンアメリカと国際私法の法典化
川上太郎　国際経済研究　10（'60－1）

わが国が加入している国際機関＜上，下＞
村上　謙　時の法令　380，381（'61－3）

国籍法

大韓民国民法施行後における帰化，戸籍及び登記事件処理上の問題点
横山　実　民事月報　15－1，2（'60－1，2）

大韓民国民法施行後における戸籍上の取扱について
横山　実　戸籍　139（'60－4）

帰化事件処理上の問題点＜1～3完＞
横山　実　民事研修　33，35，37（'60－1，3，5）

帰化事件処理についての考え方と実務で問題となる若干の事例
横山　実　民事研究　52（'61－8）

国籍法の適用に関する若干の問題
溜池良夫　法学論叢　67－6（'60－9）

戦争と国籍
桑田三郎　時の法令　396（'61－8）

台湾に居住する台湾人が終戦後中華民国の国民として取扱われるに至つた法的根拠について
徳永秀雄　民事月報　16－3（'61－3）

中国人の本国法（判例百選）
山田鐐一　ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

平和条約の発効と国籍
沢木敬郎　ジュリスト　228（'61－6）

政　治

政　治　学

永遠平和について——フリートリヒ・ケンツを中心として
今井仙一　同志社法学　12－2（'60－6）

エリートの循環＜3完＞
小松春雄　法学新報　67－1（'60－1）

経済的同志集団と政治的同志集団
伊藤　迪　政経論叢（広島）　9－3/4（'60－3）

ゲルバーの国家観
栗城寿夫　法学雑誌　8－2（'61－9）

現代社会集団の概念の設定と構成に関する一考察——圧力現象の本質と意義についての一試論として
喜多靖郎　法と政治　11－1（'60－2）

現代政治過程論——政治学の新しい発展のために＜1～4完＞
中村義和　政経論叢（広島）　10－4，11－1～3（'61－4，6，9，12）

現代における国家形成の諸問題
Herrfahrdt，H.　法律論叢　34－1（'60－8）

現代日本における「体制」と「組織」
石田　進　思想　434（'60－8）

国家批判の三型について
岩崎卯一　法学論集　9－5/6（'60－3）

国家批判の党派性について
岩崎卯一　法学論集　9－3/4（'60－3）

シァツトシュナイダー「人民による政治の反省」【紹介】
岩永健吉郎　国家学会雑誌　74－11/12（'61－10）

ジェイムズ・マディスンの統治原理と特質——その共和主義的均衡理論の価値体系と限界
酒井吉栄　法経論集（愛知）　32（'60－10）

社会的法治国家論序説＜1，2＞
影山日出弥　法経論集（愛知）　34，36（'61－5，9）

社会変動の原因に関する理論的研究——技術的基礎について
竹原良文　法政研究　27－1（'60－7）

シュトルムの政治的姿勢
五木田　浩　日本法学　27－2（'61－5）

政治一般論——政治学批判序説第2部＜1＞
柴田高好　法経論集（静岡）　9（'60－3）

政治学体系＜1＞——政治学の性格
原田　鋼　法学セミナー　55（'60－10）

政治学体系＜2＞——政治権力
京極純一　法学セミナー　56（'60－11）

政治学体系＜3＞——国家
横越英一　法学セミナー　57（'60－12）

政治学体系＜6＞——政治機構
半田輝雄，稲子恒夫　法学セミナー　59（'61－2）

政治学体系＜7＞——政治権力の変動
福島徳寿郎　法学セミナー　62（'61－5）

政治学の基礎概念——現代政治学の方法論的基礎
永井陽之助　北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60－3）

政治学の分類及びその構成——その学問的考察
村西義一　法と政治　11－2（'60－6）

政治学（法律学をいかに学ぶか）
秋永　肇　綜合法学　22（'60－5）

政治責任について
小松茂夫　中央公論　75－12（'60－11）

政治体系，政治イデオロギー，政治制度——それらの伝播の問題
Loewenstein, K.　法学論叢　70－3（'61-12）

政治的自由と「国家の拡大」——モンテスキューにおける政治理論の一問題
佐竹　寛　法学新報　67－6（'60－6）

政治的服従に関する一考察
渋谷　武　法経論集（新潟）　9－3/4（'60－3）

政治における決定要因——フランス革命を手掛りとする数学的一試論
樋口謹一　同志社法学　11－4（'60－1）

生の哲学と政治観——今井先生の思想と業績
片山寿昭　同志社法学　12－5（'61－2）

勢力均衡政策の理論と実際
松江栄一　同志社法学　12－5（'61－2）

組織の生成から消滅まで
石田　雄　社会科学研究　12－1（'60－8）

体制集団としての国家
伊藤　迪　政経論叢（広島）　10－4（'61－4）

図式政治学への試み——政治学における図式＜1，2＞
小野　哲　同志社法学　11－6（'60－3），13－2（'61－10）

比較政治研究の方向
岩永健吉郎　国家学会雑誌　74－5/6（'61－4）

「福祉国家」の観念とその実体
竹原良文　法政研究　27－2/4（'61－3）

ヤスパースの政治哲学
小倉志祥　思想　429（'60－3）

わが議会的民主制の危機とその再建
藤田嗣雄　上智法学論集　5－1（'61－4）

D．イーストンの政治体系論
鈴木　寛　金沢大学法学部論集法経篇　7（'60-3）

政　治　思　想

イギリス議会制民主主義の基礎にあるもの＜上，下＞
神川信彦　思想　435，436（'60－9，10）

イギリス保守主義の特質
小松春雄　法学新報　67－9（'60－9）

革新ナショナリズム試論
坂本義和　中央公論　75－11（'60－10）

近世初頭における社会契約観念の形成
原田　鋼　法学新報　67－6（'60－6）

憲法における「公共の福祉」の新トマス主義的解釈試論——中世法思想および新トマス主義法理論に関する小研究＜7＞
高坂直之　北海道学芸大学紀要　10－2（'60－2）

権力とカリスマ——ガンディにおけるカリスマの研究序論
古瀬恒介　法学論叢　67－2，3（'60－5，6）

現代ナショナリズムの条件
江口朴郎　思想　483（'60－12）

現代における民主主義＜上，下＞
津田道夫　思想　438，439（'60－12，'61－1）

社会主義と大衆行動——直接民主制と間接民主制の相補的結合の制度をつくろう
小松茂夫　法学セミナー　52（'60－7）

スピノザの政治哲学＜上＞
今井仙一　同志社法学　13－4（'61－12）

政治権力に就ての欧州学者の諸説＜1～3＞
伊手健一　政経論叢（国学院）　9－3，4　10－3（'61－1，3，10）

政治権力の形態——ラピエールをてがかりとして＜1，2完＞
霜田美樹雄　名城法学　10－1，2（'60－6，10）

政治と宗教——信教自由の一考察＜2，3＞
相沢　久　上智法学論集　3－2（'59－10），4－1（'60－5）

戦後における天皇制の問題
太田雅夫　同志社法学　12－6（'61－3）

大正デモクラシーの基底——松本剛吉「政治日法」に関連して
岡　義武　世界　171（'60－3）

チェルヌイシェフスキーの政治思想と社会思想＜1＞
大平康直　法政論集　15（'60－12）

帝国主義論と現代資本主義——経済学におけるその研究について
長坂　聡，戸原四郎　思想　438（'60－12）

ディズレーリの帝国主義とその史的背景——帝国と民衆＜2＞
坂井秀夫　国際法外交雑誌　58－6（'60－1）

天皇制国家形成途上における「天皇親政」の思想と運動——日本的「立憲主義」との関連において
渡辺昭夫　歴史学研究　254（'61－4）

ドイツ理想主義と現代政治哲学の問題——南原繁著「フィヒテの政治哲学」を読む
福田歓一　国家学会雑誌　73－5（'60－2）

東西比較政治思想上の若干問題——墨子の思想を例とする一試論
島田久吉　法学研究　33－2，（'60－2）

ナショナリズムと低開発国
矢内原　勝　思想　438（'60－12）

日本における議会制民主主義
蠟山政道　思想　437（'60－11）

西アジアにおけるナショナリズム——アフガーニーの「パン・イスラニズム」を中心に
加賀谷　寛　思想　438（'60－12）

西ドイツの政治と経済思想に関する一試論
多田真鋤　法学研究　33－2（'60－2）

反動思想の一類型——K．レオンチェフの政治哲学
勝田吉太郎　法学論叢　68－1（'60－10）

ヘバーレにおける政治社会学の企図
上林良一　法学論集　9－3/4（'60－3）

変革思想としての無政府主義——ゴドウィン「政治的正義」における人間変革の問題
水田珠枝　法政論集　13（'59－12）

フランス革命期のイギリス急進主義政治思想＜上，下＞
半沢孝麿　国家学会雑誌　74－3/4，7/8（'61－2，6）

プラントの政治家観
戸沢鉄彦　法学研究（愛知）　4－1（'61－12）

マルクス，エンゲルスにおける「上部構造」と「イデオロギー」について
徳本正彦　法政研究　27－2/4（'61－3）

マルシリウスの人民主権論について
原　英治　法学論集　9－3/4（'60－3）

民主主義の形成と経済構造——とくに議会制民主主義の形成期のばあい
大塚久雄　思想　437（'60－11）

「民族自決」のスローガン——レーニン主義の一断面
中沢精次郎　法学研究　33－2（'60－2）

明治社会主義政党綱領のイデオロギー
伊藤　勲　上智法学論集　5－1（'61－4）

ルッター政治思想研究序論
阪本仁作　法と政治　11－2（'60－6）

レーニン主義と毛沢東思想＜2＞
猪木正道　法学論叢　67－5（'60－8）

A．N．ゲルツェンの政治思想
池庄司敬信　法学新報　67－11（'60－11）

La Régence におけるモンテスキューの政治理念＜1，2完＞
佐竹　寛　法学新報　68－4，5（'61－4，5）

日本政治史・政治事情

政治史

系統農会組織の成立——政治史の視角から
増田　毅　神戸法学雑誌　9－3（'59－12）

近代日本における政治指導の問題
神島二郎　立教法学　1（'60－3）

近代日本の社会科学的研究——1960年箱根会議の感想
川島武宜　思想　442（'61－4）

山東問題の解決に関する日華交渉
英　修道　法学研究　33－2（'60－2）

自由党福島事件に関する二，三の資料
手塚　豊　法学研究　33－1（'60－1）

初期議会における自由党の構造と機能
鳥海　靖　歴史学研究　255（'61－7）

条約改正と外人法官
大山　梓　国際法外交雑誌　59－4（'60－12）

政界の黒幕とその役割　大正政治史におけるその変貌をめぐつて
今井清一　思想　442（'61－4）

政社の活動とその発展＜1＞
兼近輝雄　早稲田政治経済学雑誌　170（'61－8）

第一次西園寺内閣の毒殺
前島省三　立命館法学　39/40（'61－12）

大正時代に於ける無産政党運動＜1，2＞
伊藤　勲　上智法学論集　4－1，2（'60－5，'61－11）

竹越三叉の史論と政論
中村　哲　法学志林　59－1（'61－9）

「21条要求」とアメリカの対応
細谷千博　一橋論叢　43－1（'60－1）

日本暗殺史論
鵜沢義行　日本法学　27－2（'61－5）

日本社会党（明治39年）の組織と運動
中村勝範　法学研究　33－10（'61－10）

日本政党史における地方政治の諸問題＜2，3＞
弁味準之輔　国家学会雑誌　73－5（'60－2），74－5/6（'61－4）

日本における政党の成立についての一研究——自由党の場合，明治7年から明治10年まで
松岡八郎　東洋法学　4－2（'61－3）

日華事変における拡大派と不拡大派＜1，2＞
秦　郁彦　国際法外交雑誌　59－4，5（'60－12，'61－1）

日華事変の原因と発展の由来
中村菊男　法学研究　33－1（'60－1）

日独戦争と山東問題
内山正熊　法学研究　33－2（'60－2）

日露戦争と独逸皇帝ヴィルヘルム2世
松本　肇　早稲田政治経済学雑誌　171（'61－10）

「光」総目次と解説
中村勝範　法学研究　33－6（'60－6）

平民社の解散と弾圧
中村勝範　法学研究　33－2（'60－2）

明治時代に於ける社会主義政党運動＜2＞
伊藤　勲　上智法学論集　3－2（'59－10）

明治14年の政治情勢 —— 静岡県を中心にして＜2＞
原口　清　法経論集（静岡）　9（'60－3）

明治政府の成立とその性格＜1，2完＞
兼近輝雄　早稲田政治経済学雑誌　161，165（'60－2，10）

蘆溝橋事件の勃発と発展
中村菊男　法学研究　33－2（'60－3）

政治事情

アメリカ人のみた日本，日本人のみた日本
飯塚浩二　思想　435（'60－9）

安保改定反対斗争の成果と展望 —— 国内国際問題との連関において【シンポジゥム】
篠原　一，日高六郎，斉藤　真，竹内　好　思想　434（'60－8）

安保斗争の「総括」と問題点
南　　博　思想　439（'61－1）

右翼資料
警視庁　法律時報資料版　2（'60－12）

右翼団体の現勢
公安調査庁　法律時報資料版　2（'60－12）

右翼と暴力
萩野芳夫　法律時報資料版　2（'60－12）

右翼の実態
木下半治　法律時報資料版　2（'60－12）

沖縄の政情
鵜沢義行　法学紀要　3（'61－6）

鹿児島県農村調査覚書——地域社会における政治と行政＜1＞
石田　雄，井出嘉憲　社会科学研究　12－5（'61－3）

議会主義再建の方途
蠟山政道　中央公論　75－11（'60－11）

疑惑をました既成事実——新安保の内容と残された道
石本泰雄　世界　176（'60－8）

疑似合法主義と不敬罪意識
戒能通孝　世界　177（'60－9）

北富士基地と農民たち
渡辺洋三　世界　178（'60－10）

近郊農村における住民の政治意識 —— 三重県鳥羽市松尾町における実態調査
中村菊男，堀江　湛　法学研究　34－4（'61－4）

警察官の思想 —— 六・一五事件をめぐつて
福島新吾　思想　434（'60－8）

現在の政治状況——何を為すべきか【共同討議】
石田　雄，坂本義和，篠原　一，隅谷三喜男，田口富久治，日高六郎，藤田省三，丸山真男　世界　176（'60－8）

現代日本政治における（特殊日本的）構造——非同時的なものの同時性
半田輝雄　法経学会雑誌　10－4（'61－4）

権力と新聞の自由
小椋広勝　思想　434（'60－8）

言論の自由と右翼の暴力——嶋中事件におもう
渡辺洋三　思想　441（'61－3）

五・一九以後の大衆運動——人民主権の思想を自らのものに
日高六郎　法学セミナー　55（'60－10）

五・一九から六・二三まで —— 新安保をめぐる混乱をどうみるか【座談会】
池松文雄，伊藤正己，井上　茂，小林直樹，西島芳二，橋本公亘，宮沢俊義，和田英夫　ジュリスト　206（'60－7）

5月20日から6月19日まで —— 民主主義擁護斗争の問題点
日高六郎　思想　433（'60－7）

国際信用は果たして下つたか
飯塚浩二　中央公論　75－9（'60－8）

国内政治（1960年の法および政治の分析）
吉村　正　綜合法学　29（'60－12）

これからの政治的論点【討議】
阪本楠彦，田口富久治，日高六郎，福田歓一，前野良　中央公論　75－9（'60－8）

条約10年——アメリカが狙うもの
隅谷三喜男　文芸春秋　38－8（'60－8）

新安保体制下の言論操作と反体制勢力
稲葉三千男　思想　441（'61－3）

政権の周辺【座談会】
唐島基知三，細川隆元，御手洗辰雄，藤原弘道　中央公論　75－9（'60－8）

政治的危機の底にあるもの
猪木正道　中央公論　75－9（'60－8）

組織と国民運動——五・一九以後の運動を中心に【討論】
篠原　一，清水慎三，鶴見俊輔，南　　博，福田歓一　世界　178（'60－10）

炭鉱失業者の政治意識
嶋崎　譲　法政研究　27－2/4（'61－3）

内閣調査室を調査する
吉原公一郎　中央公論　75－13（'60－12）

なぜ政治は国民のものにならないか——院内主義の基盤とそれを克服する途
石田　雄　中央公論　75－9（'60－8）

日本人の国家意識
荒瀬　豊　思想　434（'60－8）

日本の中立は可能か？——民衆のムード・中立主義
猪木正道　文芸春秋　38－8（'60－8）

日本民主主義の可能性 —— 責任政治の確立を
福田歓一　世界　176（'60－8）

日米交渉の経過と問題点 —— とくに日本側から見た場合＜1～4＞
中村菊男　法学研究　34－9～12（'61－9～12）

農村における公的意志決定の方式（共有林分割をめぐる事例研究）—— 三重県鳥羽市松尾町における実態調査
中村菊男，中村勝範，堀江　湛　法学研究　34－1（'61－1）

果して言論は自由であるか —— 研究者のノートから
荒瀬　豊　世界　176（'60－8）

八・一五と五・一九 —— 日本民主主義の歴史的意味
丸山真男　中央公論　75－9（'60－8）

二つに割れた政治の中で【座談会】

伊藤正己，田上穣治，宮沢俊義，野田良之，福田歓一，家永三郎　法律時報　32－11（'60－9）

マス・デモクラシーにおける大衆の非政治化
中山政夫　法学紀要　3（'61－6）

外国政治史・政治事情

アフリカ・アラブ

アジア・アフリカの思考様式——コナクリで学んだこと，考えたこと
岡倉古志郎　思想　435（'60－9）

アラブ世界の政治的断面
西野照太郎　東洋文化　29（'60－3）

現代のアフリカ ——「アフリカ問題」の焦点とその動向＜1，2＞
百々己之助　日本法学　26－1，2（'60－5、6）

ドゴールのアフリカ政策 ——フランス共同体の成立と変貌
西野照太郎　レファレンス　10－6（'60－6）

ベルギーのコンゴ政策
西野照太郎　レファレンス　10－10（'60－10）

アメリカ

アメリカ政治史における革新主義の発生
太田俊太郎　法学研究　34－9（'61－9）

アメリカ民主主義の病理 —— マシン・ポリティックスの役割
中島照三　法学新報　67－6（'60－6）

大統領と院内政党
小林丈児　法学新報　68－3（'61－3）

奴隷制論争と共和党の勃興（1851－1860）
藤原守胤　法学研究　33－2（'60－2）

J．C．カルフーンにおけるナショナリズムとセクショナリズム
斉藤　真　国家学会雑誌　74－11/12（'61－10）

イギリス

イギリス本国対アメリカ植民地関係の一考察
津田　隆　政経学会雑誌　8（'60－12）

英国における内閣政治の発展とウォルポール
福田三郎　早稲田政治経済学雑誌　170（'61－8）

ケア・ハーディの独立労働主義＜1～3＞
池田　清　法学雑誌　7－1，3（'60－7，12），8－1（'61－7）

ジョージ五世の治世と貴族院改革問題
伊藤政寛　法学研究　33－2（'60－2）

政治家スタンリー・ボールドウィン——その政治指導の本質と責任
小松春雄　法学新報　67－6（'60－6）

1938，9年の仏伊紛争と英国の外交
河崎平一郎　法学論叢　9－3/4（'60－3）

ソビエト

最近のプリズィーヴィについて
中沢精次郎　法学研究　34－3（'61－3）

1939年8月19日のスターリンの秘密演説について
義井　博　法学研究（愛知）　3－1（'60－12）

ソヴェト国家と民主主義中央集権主義1917年～1924年＜1，2＞
阪野　亘　阪大法学　36（'60－10），39（'61－7）

デカブリストの思想と行動——その試論的考察＜1，2完＞
池庄司敬信　法学新報　67－2，3（'60－2，3）

マルク・ラエフのスペランスキー研究
池庄司敬信　法学新報　67－6（'60－6）

中　国

階級的視点と人類的視点——いわゆる「中ソ・イデオロギー論争」について
前芝確三　立命館法学　34（'60－9）

広東護法政府の成立と軍閥反動——国民党改組の一前提＜1＞
池田　誠　立命館法学　32（'60－3）

呉佩孚と京漢鉄道罷業
Soter，R.P.　法学研究　33－6（'60－6）

興中会から同盟会の成立に至る政治過程——辛亥革命への序曲
大隅逸郎　同志社法学　12－5（'61－2）

抗日民族統一戦線形成過程における中国共産党とコミンテルン
石川忠雄　法学研究　34－2（'61－2）

第2次国内革命戦争——毛沢東の権力への登場＜1，2完＞
藤井高美　法学論叢　66－4，5（'60－1，2）

中国共産党指導部に関する一考察 ——八期中央委員を中心として
石川忠雄　法学研究　34－7（'61－7）

内藤湖南の辛亥革命論
池田　誠　立命館法学　39/40（'61－12）

中山鑑事件，「党務整理案」問題に関する中国共産党関係資料
石川忠雄　法学研究　33－10（'60－10）

福建人民革命政府事件と中国共産党
石川忠雄　法学研究　33－2（'60－2）

毛沢東の「論持久戦」について—政治における能動性の問題
池田　誠　立命館法学　34（'60－9）

ドイツ

3月前期のバーデンの憲法生活における二元主義＜1～3完＞
栗城寿夫　法学雑誌　7－1～3（'60－7，9，12）

戦後東独人民革命と国家装置の問題
石川　滋　社会科学研究　12－5（'61－3）

第2次世界戦争下のドイツ抵抗運動とその歴史的意義 —— 非合法抵抗グループを中心に
菊井礼次　法経学会雑誌　10－4（'61－4）

ドイツ社会主義組織運動の挫折
西尾孝明　法学新報　67－6（'60－6）

ドイツ政治史と学問の自由
池田　栄　法学論集　9－3/4（'60－3）

西独社会民主党の現状

山口　定　立命館法学　34（'60－9）

ヒトラー主義の形成過程＜2＞
村瀬興雄　思想　430（'60－4）

利益団体としてのドイツ労働組合の政治的地位について
間　登志夫　法学論集　9－3/4（'60－3）

其の他

スパルタクス反乱の政治史的意義についての覚え書
土井正興　法学志林　58－3/4（'61－3）

タイ国政治近代化の一局面——1932年立憲クーデターを中心に
矢野　暢　法学論叢　70－3（'61－12）

フィヤン三頭派と革命戦争＜3＞
野口名隆　法学論叢　69－6（'61－9）

南朝鮮のデモ・蜂起——その抗争意識について
金　達寿　思想　433（'60－7）

ユダヤ人問題と近代反ユダヤ主義
村瀬興雄　政治経済論叢　10－3（'61－1）

ラテン・アメリカにおける軍隊の政治的役割
賀川俊彦　法学研究　34－3（'61－3）

ラテン・アメリカにおける民族主義運動
佐々木専三郎　政経学会雑誌　7（'60－10）

政党・選挙

政　党

階級と政党＜5＞
小松堅太郎　同志社法学　11－4（'60－1）

現打議会における少数党
鈴木安蔵　法律時報　33－8（'61－8）

自由党の創立＜1，2完＞
松岡八郎　法学新報　68－9，11（'61－9，11）

政党の発生——自由党成立史序説
中島昭三　政経論叢（国学院）　10－3（'61－12）

日本政党の起源
伊藤　勲　法学新報　67－6（'60－6）

日本における政党の萌芽についての一研究——愛国公党の場合
松岡八郎　法学新報　67－6（'60－6）

選　挙

居住地組織の展開過程
大原光憲　法学新報　67－6（'60－6）

現行選挙制度の機能的特質
西川知一　神戸法学雑誌　10－2（'60－9）

現代政治における選挙の機能
吉村　正　社会科学討究　5－3（'61－6）

政治資金と政治責任——選挙腐敗の根因，その具体的対策
辻　清明　朝日ジャーナル　3－19（'61－5）

政党本位の比例代表制
岡田住雄　朝日ジャーナル　3－47（'61－11）

選挙運動と世論の形成
内田　満　社会科学討究　5－3（'61－6）

選挙，政党，派閥
樋口謹一　同志社法学　12－5（'61－2）

選挙に於ける不平等について
西川知一　法政論叢　2－2（'61－5）

選挙の方法とその問題点
吉村健蔵　社会科学討究　5－3（'61－6）

戦後総選挙における投票行動＜上，下＞
京極純一，イケ　ノブタカ　思想　434，435（'60－8，9）

総選挙を顧みて
桜沢東兵衛　自治研究　37－1（'61－1）

総選挙と金——11月総選挙に見る資金の流れ
市川房枝　朝日ジャーナル　3－19（'61－5）

都市有権者婦人層におけるマス・コミュニケーション行動——単純集計に関する報告
生田正輝，宇野善康　法学研究　33－3（'60－3）

得票状況よりみた投票行為——新潟県における衆議員選挙の結果について
渋谷　武　法経論集（新潟）　8－1（'58－12）

外国政党・選挙

アメリカ政党とセクショナリズムについて
間　登志夫　法学論集　10－6（'61－9）

アメリカ政党とボスについて——ボスの意味と勃興を中心として
間　登志夫　法学論集　11－2（'61－12）

アメリカ地方政党組織に選挙民
三宅一郎　法学論叢　70－2（'61－11）

アメリカにおける選挙民の投票行動
勝村　茂　社会科学討究　5－3（'61－6）

イギリス議会政治と労働党＜3完＞
十亀昭雄　北大法学論集　12－2（'61－12）

イギリス労働党における防衛論争と議会党の地位＜2＞
藤城和美　法政論集　18（'61－11）

イタリア人民党の形成過程＜1＞
伊藤昭一郎　法学志林　57－3/4（'60－1）

各国社会主義政党の発展とその思想の変遷
北岡寿逸　政経論叢（国学院）　9－2（'60－10）

最近のアメリカ政党組織にみられるネィヴァフッド・ポリティカル・クラブ運動＜1＞
後藤一郎　早稲田政治経済学雑誌　170（'61－8）

労働党初期の組織過程におけるILPの機能＜1，2完＞
横山桂次　法学新報　68－7，9（'61－7，9）

議　会

合衆国圧力団体の無党派性とその変貌
内田　満　早稲田政治経済学雑誌　172（'61－12）

議会制と圧力団体
升味準之輔　中央公論　75－1（'60－1）

政治と国会運営
鵜沢義行　綜合法学　38（'61－9）

ドイツの議会制度
水木惣太郎　日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）

二院制＜1，2＞
水木惣太郎　日本法学　27－3，4（'61－9，11）

列国議会同盟会議について
小沢俊郎　ジュリスト　214（'60－11）

ロシアの議会制度
水木惣太郎　日本法学　26－4（'60－11）

行　政

新しい行政の方向
小林与三次　自治研究　37－1（'61－1）

合併と大島の自治
小倉庫次　東京都立大学創立10周年記念論文集法経篇　（'60－3）

合併紛争をめぐる自治体行政の構造と問題——千葉県小櫃村の実態調査から
和田英夫，他　明治大学法制研究所紀要　4/5（'61－5）

企画課長に与える書
小林与三次　自治研究　37－10（'61－10）

北九州五市行政における協力方式——部事務組合を中心として
石村善治　福岡大学研究所報　3（'60－7）

行政広報はどうあるべきか
松田慶文　自治研究　37－4（'61－4）

行政広報への一つの接近＜1，2＞
井出嘉憲　自治研究　37－4，5（'61－4，5）

現代行政における管理の役割＜2＞
浜地　馨　三重法経　9（'59－10）

自治体政治の構造
大島太郎　思想　443（'61－5）

市町村の事務処理の合理化
山本壮一郎　自治研究　36－10（'60－10）

職務権限について＜1，2＞【座談会】
小林与三次，山本壮一郎，岸　昌，河中二講，川上勝己　自治研究　36－10，11（'60－10，11）

新合併町の総務課長職
松田慶文　自治研究　36－10（'60－10）

新町村の建設＜1～4＞
西岡久躬　自治研究　37－8～11（'61－8～11）

大都市地域の行政問題——その素描と若干の問題
岡崎長一郎　立命館法学　36（'61－3）

地域開発と地方自治体
高木鉦作　思想　443（'61－5）

地域開発と地方自治体の政策
河中二講　自治研究　37－9（'61－9）

地域の行政組織と支配構造
河中二講　思想　443（'60－5）

地域民主主義の課題と展望
松下圭一　思想　443（'61－5）

地方行政雑見
柴田　護　自治研究　37－1（'61－1）

地方自治体広報と地区住民組織＜上，下＞
高木鉦作　自治研究　37－4，11（'61－4，11）

「地方自治の本旨」とその機能
赤木須留喜　思想　443（'61－5）

地方団体の協力方式について
本庄幸人　自治研究　37－17（'61－12）

町村合併の実態＜2～10完＞
行政学研究会　自治研究　36－2～11（'60－2～11）

町村合併実施調査——合併の一事例研究
加藤一明，兵頭泰三，福島徳寿郎　法と政治　11－2（'60－6）

町村合併の理論と実態——千葉県西街道町における分町運動
赤木須留喜　東京都立大学法学会雑誌　1－1（'60－11）

都市の土地，住宅問題と都市制度について
清水馨八郎　自治研究　37－1（'61－1）

農政課長に与える書
小林与三次　自治研究　37－7（'61－7）

広報課長に与える書
小林与三次　自治研究　37－4（'61－4）

広報行政の実際と問題点＜1，2＞【座談会】
小山栄三，他　自治研究　37－4，5（'61－4，5）

広域行政の地方自治
佐久間　彊　自治研究　37－9（'61－9）

広域経済行政と地方自治
西川清治　自治研究　37－6（'61－6）

外国行政

イギリス公務員制におけるホイットリイ協議会
吉村　正　社会科学討究　5－1（'60－1）

ウィルソンの行政理論——アメリカ行政学の濫觴
手島　孝　法政研究　27－2/4（'61－3）

現代アメリカ行政学に関する方法論的考察
手島　孝　法政研究　28－1（'61－9）

高級公務員の養成と大学教育——アメリカにおける三つの主張
君村　昌　同志社法学　11－4（'60－1）

米国大統領スタッフの組織機能
小林丈児　法学新報　67－6（'60－6）

アメリカ合衆国の閣僚
斉藤　敏　法学紀要　3（'61－6）

アメリカ行政学序説＜1＞
堀　堅士　法学論集　10－6（'61－9）

アメリカにおける民主的行政理論の展開
君村　昌　同志社法学　12－5（'61－2）

国際政治・外交史

アメリカと中立主義
宮地健次郎　思想　447（'61－9）

イギリスとウィーン体制——パックス・ブリタニカの

外交的側面
高坂正堯　国際法外交雑誌　59－3（'60－9）

イギリスの統治構造と軍事協定
横越英一　思想　441（'61－3）

いわゆる正戦について——グロチゥスを中心として
今井仙一　同志社法学　12－3（'60－8）

ヴァティカンと国際問題
小谷鶴次　政経論叢（広島）　9－3/4（'60－3）

科学技術の進歩と国際政治
具島兼三郎　法政研究　26－3（'60－2）

基地協定と主権
神谷不二　思想　441（'61－3）

キャフタ条約——特に満文条約文を中心とする明文批判的研究＜1，2＞
野見山　温　法学論叢（福岡）　4－1，5－1（'60－1，4）

極東国際軍事裁判所の予備的法律問題と侵略戦争についての梗概
川上敬逸　法学論集　9－3/4（'60－3）

近代中国史における戦争と中立
植田捷雄　国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

グラッドストーンの外交政策とその崩壊＜1，2＞
坂井秀夫　国家学会雑誌　73－11/12，74－1/2（'60－9，11）

軍事協定と主権
長谷川正安　思想　441（'61－3）

軍縮の現代的意義
内山正熊　法学研究　34－5（'61－5）

現代における中立——日本における独立と中立との関係
平野義太郎　思想　447（'61－9）

現代の中立をめぐる思想的問題
花田圭介　思想　447（'61－9）

国家の安全と中立
佐藤重雄　思想　447（'61－9）

国際政治
入江啓四郎　綜合法学　29（'60－12）

国際政治学の現代的位相
百々己之助　法学紀要　3（'61－6）

国際政治における国家の政治的経済的組織＜2＞
芳川俊憲　法経学会雑誌　10－2（'60－9）

国際連合とコンゴー問題——コンゴー紛争の経緯とその国際化をめぐつて＜1，2＞
百々己之助　日本法学　27－3，5（'61－9，12）

国際連合におけるブロック政治
内山正熊　国際法外交雑誌　60－2（'61－8）

国連加盟問題——中国代表権を繞つて
松葉秀文　甲南法学　2－3（'61－12）

国連における中国代表権問題の審議経過
高島益郎　外務省調査月報　2－6/7（'61－7）

国連の中国代表権問題
具島兼三郎　世界経済評論　5－10（'61－10）

ザールに関する「ヨーロッパ的解決」案——いわゆるvan Naters プランについて
宮崎繁樹　法律論叢　34－4（'60－12）

参戦前のアメリカの戦略構想の発展——陸軍参謀本部を中心として＜1，2＞
福田茂夫　金沢法学　6－1，2（'60－6，11）

参戦直前のアメリカの戦略構想——陸軍参謀本部を中心として
福田茂夫　金沢大学法学部論集法経篇　8（'61-3）

社会主義と中立
畑中和夫　立命館法学　34（'60－9）

19世紀から第1次世界大戦までの国際政治民主化のための運動
松隈徳仁　法政研究　26－3（'60－2）

新疆をめぐる中ソ関係——盛世才の時期を中心として
小田英郎　法学研究　34－6（'61－6）

世界政治におけるA.A中立主義
柳沢英二郎　法経論集（愛知）　34（'61－5）

1939年6月の英ソ交渉
尾上正男　神戸法学雑誌　9－1/2（'59－10）

1904年日露開戦とドイツの外交
松本　馨　早稲田政治経済学雑誌　165（'60－10）

戦時下における中国人強制連行の記録
世界　173（'60－5）

戦前の満洲経営論と日本移民
安藤彦太郎　早稲田政治経済学雑誌　171（'61－10）

戦争と政治——クラウセヴィッツの「戦争論」を中心として
今井仙一　同志社法学　11－4（'60－1）

戦争の論理
今井仙一　同志社法学　12－6（'61－3）

続，戦争と政治——トライチュケの「政治学」を中心として
今井仙一　同志社法学　11－6（'60－3）

ソヴェートの平和政策
田中荊三　法学研究　33－2（'60－2）

ソ連外交と東欧ロカルノをめぐる歴史的覚え書
平井友義　法学志林　58－3/4（'61－3）

第1次世界大戦前のヴェトナムの民族主義
谷川栄彦　法政研究　27－2/4（'61－3）

第2次大戦中のソ連（ユーゴースラヴィア関係）——ソ連外交の一側面
木戸　蓊　法政論集　14（'60－5）

中立日本の構想
山手治之　法学セミナー　62（'61－5）

東西関係の新段階
前芝確三　立命館法学　39/40（'61－12）

独仏提携の経済的背景
具島兼三郎　法政研究　27－2/4（'61－3）

日本の中立とプロレタリア国際主義
不破哲三　思想　447（'61－9）

日本ワシントン会議参加
大畑篤四郎　早稲田法学会誌　10（'60－7）

西ドイツにおける主権と軍事協定
斉藤　孝　思想　441（'61－3）

日中関係の構造と性質
立川文彦　法学論叢　68－5/6（'61－3）

日露戦後における満洲善後措置問題
栗原　健　国際法外交雑誌　59－6（'61－3）

バンデンバーグ決議について
神谷竜男　政経論叢（国学院）　8－3（'60－1）

汎米制度の沿革

嘉納　孔　神戸法学雑誌　9－3（'59－12）

非武装中立
日高六郎　思想　447（'61－9）

フランスの統治構造における軍の地位＜上，中＞
横田地　弘　思想　441，447（'61－3，9）

米州における不干渉の原則——A．J．トーマス教授夫妻著「不干渉」を中心として
高橋　悠　同志社法学　11－5（'60－2）

平和共存と中立主義
坂本義和　思想　447（'61－9）

平和世界の基礎理論
内田繁隆　早稲田政治経済学雑誌　167（'61－2）

ホワイトヘッドの戦争，平和思想
市井三郎　思想　429（'60－3）

民族の独立と中立
蠟山芳郎　思想　447（'61－9）

ヤルタ会議における中国問題——ソ同盟の対戦条件を繞って
松葉秀文　甲南法学　1－1（'60－12）

ラッセルの戦争と平和の思想
碧海純一　思想　429（'60－3）

露清密約と加藤外交
前島省三　立命館法学　34（'60－9）

ロバート・ランシングの対日政策　石井・ランシング協定を中心として
岡　俊孝　法と政治　12－2（'61－7）

執筆者別索引

執筆者別索引目次

【ア】

安達十郎……171
安倍淳吉……171
安倍治夫……171
安倍武……171
足立幸盛……171
吾妻京一郎……171
吾妻光俊……171
阿川清道……171
阿久津亀夫……171
阿久津実……171
阿多実秋……171
阿南成一……171
阿比留謙吉……171
阿部浩二……171
阿部純二……172
阿部猛……172
阿部照哉……172
阿部弘……172
会田範治……172
会田義雄……172
相沢久……172
相沢与一……172
相原東孝……172
相原光雄……172
青木勇……172
青木清相……172
青木均一……172
青木茂……172
青木勢津……172
青木宗也……172
青木時雄……172
青木博夫……172
青谷和夫……172
青柳孝夫……172
青柳文雄……172
青山盛雄……173
青山春雄……173
青山道夫……173
碧海純一……173
赤井節……173
赤木幸吉……173
赤木須留喜……173
赤塔政夫……173
明石三郎……173
明山和夫……173
県茂……173
焜場準一……173
秋田成就……173
秋永肇……173
秋根久太……173
秋場正……173
秋保一郎……173
秋山哲治……173
秋山博一……173
浅井清信……174
浅井敦……174
浅井孝作……174
浅賀健二……174
浅田久治郎……174
浅沼武……174
浅野修……174
浅羽二郎……174
浅見勝也……174
浅見公子……174
浅見敏夫……174
朝川伸夫……174
朝倉京一……174
朝日茂……174
朝山豊三……174
麻島昭一……174
葛立明……174
芦川豊彦……174
芦田浩志……174
芦部信喜……174
蘆野弘……174
東季彦……174
東孝行……174
畔上英治……174
厚谷襄児……175
渥美東洋……175
尼崎禎三……175
天達忠雄……175
天野和夫……175
綾野芳一……175
荒秀……175
荒井勇……175
荒井貢次郎……175
荒井政治……175
荒木誠之……175
荒木貞一……175
荒瀬豊……175
荒谷泰宏……175
新井章……175
新井清光……175
新井昭一……175
新井尚賢……175
新井藤作……175
新井正男……175
新井裕……175
新井隆一……175
有泉亨……175
有岡義夫……176
有賀正明……176
有賀美智子……176
有倉遼吉……176
有田喜十郎……176
有田定一……176
有地亨……176
安藤徹……176
安藤仁介……176
安藤彦太郎……176
安養寺俊親……176
庵治川良雄……176

【イ】

イケ・ノブタカ……176
五十嵐昭夫……176
五十嵐清……176
井手成三……176
井川克一……177
井倉大雄……177
井口孝文……177
井口牧郎……177
井ケ田良治……177
井戸田侃……177
井上勝馬……177
井上茂……177
井上尚文……177
井上成章……177
井上正三……177
井上正治……177
井上峯亀……177
井上祐司……177
井上弥太郎……177
井上義光……177
井出嘉憲……177
伊坂重昭……177
伊沢孝平……177
伊沢実……178
伊手健一……178
伊東乾……178
伊藤秋雄……178
伊藤昭一郎……178
伊藤勲……178
伊藤栄……178
伊藤茂男……178
伊藤栄樹……178
伊藤繁樹……178
伊藤迪……178
伊藤利夫……178
伊藤不二男……178
伊藤正一……178
伊藤正英……178
伊藤正己……178
伊藤政寛……179
伊藤政吉……179
伊藤道保……179
伊藤満……179
伊藤律男……179
伊藤寧……179
伊福部舜児……179
伊従寛……179
居林次雄……179
飯倉一郎……179
飯島久雄……179
飯田忠雄……179
飯田正義……179
飯塚浩二……179
飯塚重男……179
飯野完利……179
飯野定吉……179
飯野利夫……179
家崎宏……179
家田重蔵……179
家永三郎……179
生田正輝……179
幾代通……179
池内三郎……180
池上努……180
池川隆徳……180
池川良正……180
池沢登起夫……180
池主司敬信……180
池島宏幸……180
池田清……180
池田浩一……180
池田耕三……180
池田栄……180
池田鹿雄……180
池田末利……180
池田竜彦……180
池田輝孝……180
池田直視……180
池田文雄……180
池田誠……180
池田政章……180
池原卓朗……180
池原秀雄……180
諫山博……181
石尾芳久……181
石井清……181
石井五郎……181
石井幸一……181
石井秀平……181
石井春水……181
石井照久……181
石井芳光……181
石井良助……181
石井良三……181
石外克喜……181
石神兼文……181
石川明……181
石川栄仁郎……181
石川滋……181

石川 武 …… 181
石川 忠雄 …… 182
石川 恒夫 …… 182
石川 利夫 …… 182
石川 英夫 …… 182
石川 弘 …… 182
石川 浩 …… 182
石川 芳雄 …… 182
石黒 善一 …… 182
石黒 拓爾 …… 182
石崎 政一郎 …… 182
石田 和外 …… 182
石田 喜久夫 …… 182
石田 祐六 …… 182
石田 雄 …… 182
石津 四郎 …… 182
石塚 英夫 …… 182
石戸谷 重郎 …… 182
石野 清治 …… 182
石橋 浩二 …… 182
石橋 主税 …… 182
石橋 信 …… 182
石部 雅亮 …… 182
石見 隆三 …… 183
石村 善治 …… 183
石村 善助 …… 183
石本 雅男 …… 183
石本 泰雄 …… 183
泉 久雄 …… 183
泉 正憲 …… 183
泉 美之松 …… 183
泉谷 康夫 …… 183
磯崎 辰五郎 …… 183
磯田 進 …… 183
磯野 誠一 …… 183
磯部 喜一 …… 183
磯村 哲 …… 183
板木 郁郎 …… 183
板倉 宏 …… 183
板橋 郁夫 …… 183
板山 幸男 …… 183
一円 一億 …… 183
一又 正雄 …… 183
一柳 勝晤 …… 183
市川 三郎 …… 183
市川 四郎 …… 183
市川 定三 …… 183
市川 秀雄 …… 184
市川 房枝 …… 184
市川 昌博 …… 184
市倉 誠 …… 184
市原 昌三郎 …… 184
市原 正七 …… 184
市丸 吉左衛門 …… 184
市村 光一 …… 184
市村 潤 …… 184
出射 義夫 …… 184
稲垣 富士男 …… 184
稲垣 正明 …… 184
稲垣 良典 …… 184
稲子 恒夫 …… 184
稲子 宜子 …… 184
稲田 俊秀 …… 184
稲村 良平 …… 184
稲葉 三千男 …… 184
稲本 洋之助 …… 184
稲脇 修一郎 …… 184
乾 昭三 …… 184
猪木 正道 …… 184
猪熊 兼繁 …… 184
猪俣 幸一 …… 185
今井 清一 …… 185
今井 仙一 …… 185
今井 威 …… 185
今井 直重 …… 185
今井 宏 …… 185
今井 実 …… 185
今井 祐之介 …… 185
今泉 孝太郎 …… 185
今枝 信男 …… 185
今中 武夫 …… 185
今村 彰 …… 185
今村 成和 …… 185
入江 一郎 …… 185
入江 啓四郎 …… 185
入江 俊郎 …… 185
入山 実 …… 185
色川 幸太郎 …… 185
岩井 四郎 …… 185
岩井 弘融 …… 186
岩井 万亀 …… 186
岩城 喜義 …… 186
岩佐 節郎 …… 186
岩崎 卯一 …… 186
岩崎 昶 …… 186
岩崎 保俊 …… 186
岩崎 稜 …… 186
岩崎 隆造 …… 186
岩瀬 徳栄 …… 186
岩田 健次 …… 186
岩田 荘治 …… 186
岩垂 肇 …… 186
岩永 健吉郎 …… 186
岩橋 健 …… 186
岩淵 節雄 …… 186
岩松 茂 …… 186
岩本 軍平 …… 186
岩本 啓治 …… 186
岩本 慧 …… 186

【ウ】

宇佐見 初男 …… 186
宇治 順一郎 …… 186
宇田 咱郎 …… 186
宇都宮 正忠 …… 186
宇野 栄一郎 …… 187
宇野 孝 …… 187
宇野 均 …… 187
宇野 善康 …… 187
宇留野 藤雄 …… 187
瓜生 武 …… 187
鵜飼 信成 …… 187
鵜沢 義行 …… 187
上杉 晴一郎 …… 187
上田 明信 …… 187
上田 啓次 …… 187
上田 耕生 …… 187
上田 誠吉 …… 187
上田 徹一郎 …… 187
上田 宏 …… 187
上野 宏 …… 187
上野 雅和 …… 187
上野 裕久 …… 187
上野 隆司 …… 187
上原 聰 …… 187
上原 貞雄 …… 187
上原 誠之輔 …… 187
上村 明広 …… 187
上村 政彦 …… 188
上柳 克郎 …… 188
上山 安敏 …… 188
上山 義昭 …… 188
植木 敬夫 …… 188
植田 一弥 …… 188
植田 重正 …… 188
植田 捷雄 …… 188
植林 弘 …… 188
植村 正 …… 188
植村 啓治郎 …… 188
牛尾 茂夫 …… 188
潮田 康夫 …… 188
潮見 俊隆 …… 188
臼井 滋夫 …… 188
薄根 正男 …… 189
内池 慶四郎 …… 189
内川 芳美 …… 189
内田 修 …… 189
内田 繁隆 …… 189
内田 新 …… 189
内田 武吉 …… 189
内田 智雄 …… 189
内田 文昭 …… 189
内田 文夫 …… 189
内田 満 …… 189
内田 力蔵 …… 189
内堀 美通彦 …… 189
内山 慶之進 …… 189
内山 尚三 …… 189
内山 鉄男 …… 189
内山 正熊 …… 189
内山 脩策 …… 189
内海 一 …… 189
内海 義夫 …… 190
内海 偏 …… 190
打田 畯一 …… 190
海原 文雄 …… 190
海原 裕昭 …… 190
畝村 繁 …… 190
馬川 千里 …… 190
馬瀬 文夫 …… 190
梅岡 総治 …… 190
梅田 義彦 …… 190
浦田 一晴 …… 190
浦辺 衛 …… 190
浦山 太郎 …… 190
裏 得郎 …… 190
海野 普吉 …… 190

【エ】

江上 照彦 …… 190
江川 英文 …… 190
江口 順一 …… 190
江口 朴郎 …… 190
江藤 价泰 …… 190
江村 高行 …… 190
江村 稔 …… 190
江村 元 …… 191
江守 五夫 …… 191
海老名 惣吉 …… 191
榎木 重治 …… 191
榎原 猛 …… 191
遠藤 厚之助 …… 191
遠藤 辰雄 …… 191
遠藤 浩 …… 191
遠藤 誠 …… 191

【オ】

おさ・ひろし …… 191
小笠原 誠 …… 191
小神野 利夫 …… 191
小川 幸一 …… 191
小川 善吉 …… 191
小川 太郎 …… 191
小川 政亮 …… 191
小川 芳彦 …… 191
小木 貞孝 …… 191
小木 惣太郎 …… 191
小口 賢三 …… 191
小倉 栄一郎 …… 191
小倉 馨 …… 191
小倉 庫次 …… 191
小倉 志祥 …… 192
小倉 武一 …… 192
小椋 利夫 …… 192
小椋 広勝 …… 192
小栗 忠七 …… 192
小沢 俊郎 …… 192
小田 成光 …… 192

小田 滋 …… 192
小田 英郎 …… 192
小田 寛 …… 192
小田島 真千枝 …… 192
小田島 稔 …… 192
小野 慶二 …… 192
小野 清一郎 …… 192
小野 哲 …… 192
小野 秀雄 …… 192
小野 義彦 …… 192
小野木 常 …… 192
小野村 資文 …… 192
小畑 秀男 …… 192
小原 正治 …… 192
小原 喜雄 …… 192
小山田 正春 …… 192
小山田 正義 …… 192
尾形 典男 …… 192
尾形 裕康 …… 192
尾崎 英二 …… 192
尾崎 幸一 …… 192
尾崎 良康 …… 192
尾上 正男 …… 192
尾上 実 …… 193
尾吹 善人 …… 193
尾山 宏 …… 193
尾後貫 荘太郎 …… 193
於保 不二雄 …… 193
雄川 一郎 …… 193
織田 季明 …… 193
及川 伸 …… 193
大饗 亮 …… 193
大石 宏 …… 193
大石 三郎 …… 193
大石 義雄 …… 193
大内 剛 …… 193
大内 力 …… 193
大内 兵衛 …… 193
大木 雅夫 …… 193
大久保 猛 …… 193
大久保 太郎 …… 193
大倉 馨 …… 193
大河内 一男 …… 193
大河内 正久 …… 193
大阪谷 公雄 …… 193
大里 坦 …… 193
大沢 章 …… 193
大沢 功 …… 193
大塩 洋一郎 …… 193
大芝 靖郎 …… 193
大島 三郎 …… 194
大島 太郎 …… 194
大島 靖 …… 194
大隅 逸郎 …… 194
大隅 健一郎 …… 194
大住 達雄 …… 194
大竹 秀男 …… 194
大竹 武七郎 …… 194
大谷 恵教 …… 194
大谷 省三 …… 194
大谷 正義 …… 194
大谷 実 …… 194
大塚 郁哉 …… 194
大塚 惟謙 …… 194
大塚 市助 …… 194
大塚 一男 …… 194
大塚 勝美 …… 194
大塚 喜一 …… 194
大塚 喜一郎 …… 194
大塚 俊雄 …… 194
大塚 久雄 …… 194
大塚 仁 …… 194
大塚 博比古 …… 195
大塚 正彦 …… 195
大槻 正男 …… 195
大坪 敏男 …… 195
大坪 保雄 …… 195
大津留 温 …… 195
大出 由紀子 …… 195
大友 健児 …… 195
大友 徹 …… 195
大西 芳雄 …… 195
大野 栄三 …… 195
大野 公義 …… 195
大野 実雄 …… 195
大野 真義 …… 195
大野 達三 …… 195
大野 平吉 …… 195
大野 正男 …… 195
大野 盛直 …… 195
大橋 茂二郎 …… 195
大畑 篤四郎 …… 195
大浜 甫 …… 195
大林 勝臣 …… 195
大林 正平 …… 195
大原 一三 …… 195
大原 栄一 …… 195
大原 長和 …… 195
大原 光憲 …… 195
大平 善梧 …… 196
大平 康直 …… 196
大淵 利男 …… 196
大前 朔郎 …… 196
大宮 武郎 …… 196
大村 襄治 …… 196
大森 純雄 …… 196
大森 誠二 …… 196
大森 忠夫 …… 196
大矢 息生 …… 196
大藪 寿一 …… 196
大山 梓 …… 196
大山 菊治 …… 196
大山 正武 …… 196
大脇 雅子 …… 196
太田 健 …… 196
太田 武男 …… 196
太田 俊太郎 …… 196
太田 雅夫 …… 196
太田 益男 …… 196
太田 雍也 …… 196
鉅鹿 義明 …… 196
追矢 正巳 …… 196
鴻 常夫 …… 196
岡 俊孝 …… 196
岡 直遙 …… 197
岡 久男 …… 197
岡 弁良 …… 197
岡 義武 …… 197
岡垣 勲 …… 197
岡垣 学 …… 197
岡倉 古志郎 …… 197
岡崎 一郎 …… 197
岡崎 長一郎 …… 197
岡崎 久彦 …… 197
岡崎 文規 …… 197
岡島 吉昭 …… 197
岡田 憲樹 …… 197
岡田 与好 …… 197
岡田 住雄 …… 197
岡野 哲二 …… 197
岡林 辰雄 …… 197
岡部 逸夫 …… 197
岡部 史郎 …… 197
岡部 行男 …… 197
岡村 玄治 …… 197
岡本 善八 …… 197
岡本 坦 …… 197
沖田 哲也 …… 197
荻野 芳夫 …… 197
奥沢 良雄 …… 197
奥田 幸助 …… 197
奥田 昌道 …… 197
奥平 康弘 …… 198
奥原 日出男 …… 198
奥原 盛雄 …… 198
奥村 郁三 …… 198
奥村 博三 …… 198
奥山 恒朗 …… 198
落合 勇 …… 198
落合 英一 …… 198
鬼沢 一郎 …… 198
折茂 豊 …… 198
恩田 憲太郎 …… 198

【カ】

加藤 晃 …… 198
加藤 永一 …… 198
加藤 一郎 …… 198
加藤 一明 …… 198
加藤 和男 …… 198
加藤 清 …… 198
加藤 剛一 …… 198
加藤 子明 …… 198
加藤 俊平 …… 198
加藤 二郎 …… 198
加藤 威二 …… 198
加藤 宏 …… 198
加藤 正男 …… 198
加藤 光徳 …… 198
加藤 泰守 …… 199
加藤 令造 …… 199
加美 和照 …… 199
加山 文男 …… 199
加賀谷 寛 …… 199
甲斐 道太郎 …… 199
香川 達夫 …… 199
香川 保一 …… 199
香西 茂 …… 199
賀川 俊彦 …… 199
嘉納 孔 …… 199
鍛冶 千鶴子 …… 199
鍛冶 利秀 …… 199
鍛冶 良堅 …… 199
戒能 通孝 …… 199
海治 立憲 …… 200
柿沼 末太 …… 200
角道 謙一 …… 200
覚道 豊治 …… 200
影山 日出弥 …… 200
寛 栄一 …… 200
風早 八十二 …… 200
風間 鶴寿 …… 200
笠原 正明 …… 200
笠松 宏至 …… 200
樫田 寅雄 …… 200
樫原 一郎 …… 200
梶山 純 …… 200
柏木 駿 …… 200
柏木 千秋 …… 200
柏熊 岬二 …… 200
片岡 清一 …… 200
片岡 輝夫 …… 200
片岡 昇 …… 200
片野 一郎 …… 201
片野 健吉 …… 201
片山 金章 …… 201
片山 伍一 …… 201
片山 寿昭 …… 201
勝尾 鐐三 …… 201
勝田 吉太郎 …… 201
勝村 茂 …… 201
勝本 正晃 …… 201
金沢 文雄 …… 201
金沢 理 …… 201
金沢 正雄 …… 201
金沢 良雄 …… 201
金山 正信 …… 201
金指 正三 …… 201

金川勇 ………201
金子佐一郎 ………201
金子宏 ………201
金子実 ………201
金子芳雄 ………201
金末多志雄 ………201
金田近二 ………201
金原光蔵 ………201
金平幹夫 ………201
兼子一 ………201
兼子仁 ………202
兼近輝雄 ………202
鎌田英次 ………202
鎌田久仁夫 ………202
鎌田重雄 ………202
鎌田浩 ………202
鎌田与左衛門 ………202
上出弘之 ………202
上林良一 ………202
神岡浪子 ………202
神川信彦 ………202
神島二郎 ………202
神近市子 ………202
神野正雄 ………202
神谷昭 ………202
神谷慶二 ………202
神谷竜男 ………202
神谷力 ………202
神谷不二 ………202
神崎恭郎 ………202
神田多恵子 ………202
神田博司 ………202
神成嘉光 ………202
亀井利明 ………202
亀井光 ………202
亀井秀夫 ………202
亀川清 ………203
亀倉四郎 ………203
鴨良弼 ………203
萱嶋太郎 ………203
唐木田穰 ………203
唐島基智三 ………203
川合武 ………203
川井健 ………203
川上泉 ………203
川上勝己 ………203
川上喬市 ………203
川上敬逸 ………203
川上宏二郎 ………203
川上太郎 ………203
川上房子 ………203
川北洋太郎 ………203
川口嘉一 ………203
川口敏郎 ………203
川口実 ………203
川口頼好 ………203
川崎一郎 ………203
川崎恵璋 ………203
川崎武夫 ………204
川崎秀司 ………204
川崎房五郎 ………204
川島一郎 ………204
川島茂樹 ………204
川島武宜 ………204
川島博 ………204
川添清吉 ………204
川添利起 ………204
川添利幸 ………204
川田嗣郎 ………204
川田寿 ………204
川西誠 ………204
川野重任 ………204
川端浩 ………204
川又良也 ………204
川俣六郎 ………204
川村泰啓 ………204
河和田唯賢 ………204
河合伸一 ………204
河合信雄 ………204
河井貫司 ………204
河井信太郎 ………205
河内裕 ………205
河崎平一郎 ………205
河副弘 ………205
河津恭雄 ………205
河中二講 ………205
河野広 ………205
河原茂太郎 ………205
河原畯一郎 ………205
河村捷郎 ………205
河村尚平 ………205
河村澄夫 ………205
河村貞二 ………205
河村貢 ………205
河本一郎 ………205
河本喜与之 ………205
菅野喜八郎 ………205
菅野文治 ………205

【キ】

木川統一郎 ………206
木口広志 ………206
木田純一 ………206
木谷忠義 ………206
木戸蓊 ………206
木村英世 ………206
木村亀二 ………206
木村清司 ………206
木村健助 ………206
木村五郎 ………206
木村静子 ………206
木村慎造 ………206
木村治郎 ………206
木村喬行 ………206
木村常信 ………206
木村禎橘 ………206
木村哲也 ………206
木村保男 ………206
木宮高彦 ………206
木上兵衛 ………207
木下明 ………207
木下半治 ………207
吉良慎平 ………207
吉良実 ………207
紀埜孝典 ………207
城戸毅 ………207
城戸正彦 ………207
鬼頭史郎 ………207
喜田新六 ………207
喜多実 ………207
喜多了祐 ………207
喜多靖郎 ………207
喜多川篤典 ………207
喜多村治雄 ………207
菊井維大 ………207
菊井康郎 ………207
菊井礼次 ………207
菊田幸一 ………207
菊谷達弥 ………207
菊谷俵太郎 ………207
菊池勇夫 ………207
菊池省三 ………207
菊池信男 ………207
菊地博 ………208
岸昌 ………208
岸盛一 ………208
岸井貞男 ………208
北岡寿逸 ………208
北川善太郎 ………208
北沢正啓 ………208
北野荀一郎 ………208
北野弘久 ………208
北村五良 ………208
北村良一 ………208
北山茂夫 ………208
吉川大二郎 ………208
吉川経夫 ………208
絹川二郎 ………208
君村昌 ………208
清岡雅雄 ………208
清宮四郎 ………208
京極純一 ………208
経塚作太郎 ………209
金具培 ………209
金圭昇 ………209
金達寿 ………209
金城秀三 ………209

【ク】

久木久一 ………209
久貴忠彦 ………209
久世公堯 ………209
久保岩太郎 ………209
久保欣哉 ………209
久保敬治 ………209
久保正幡 ………209
久保田きぬ子 ………209
久保村隆祐 ………209
久米愛 ………209
久米田秀夫 ………209
久留都茂子 ………209
久礼田益喜 ………209
具島兼三郎 ………209
日下部与市 ………210
櫛渕理 ………210
楠下芳輝 ………210
楠本英隆 ………210
忽那寛 ………210
国井国長 ………210
国仲寛長 ………210
窪田隼人 ………210
窪田弘 ………210
窪田宏 ………210
隈崎渡 ………210
熊谷開作 ………210
熊谷直博 ………210
熊谷典文 ………210
熊谷弘 ………210
熊谷村作 ………210
熊倉武 ………210
熊倉平治 ………210
倉石忠雄 ………210
倉崎繁 ………210
倉沢岩雄 ………210
倉田寛吉 ………210
倉田卓次 ………210
倉田雅広 ………210
倉田彣士 ………211
倉見慶記 ………211
倉持哲夫 ………211
栗城寿夫 ………211
栗田正 ………211
栗原健 ………211
栗原徹郎 ………211
栗本一夫 ………211
栗山茂 ………211
来栖三郎 ………211
黒川慧 ………211
黒川弘 ………211
黒木三郎 ………211
黒木利克 ………211
黒木延 ………211
黒木義典 ………211
黒崎八洲次良 ………211
黒沢清 ………211
黒田久太 ………211
黒田覚 ………211
黒田重雄 ………211

黒田展之 ………211
黒田了一 ………211
畔柳桑太郎 ………212
桑木敏男 ………212
桑田三郎 ………212
桑名正一 ………212
桑原輝路 ………212

【ケ】

慶谷淑夫 ………212

【コ】

小池隆一 ………212
小石寿夫 ………212
小出廉二 ………212
小久保欽哉 ………212
小暮豊作 ………212
小島和夫 ………212
小島和司 ………212
小島憲 ………212
小島孝 ………212
小島伝内 ………212
小高剛 ………213
小谷鶴次 ………213
小寺武四郎 ………213
小寺幸正 ………213
小西清治 ………213
小西美典 ………213
小橋一郎 ………213
小林一郎 ………213
小林悦夫 ………213
小林珍雄 ………213
小林賢治 ………213
小林高記 ………213
小林孝輔 ………213
小林俊三 ………213
小林昭三 ………213
小林丈児 ………213
小林直樹 ………213
小林直人 ………214
小林宏 ………214
小林朴 ………214
小林正雄 ………214
小林巳智次 ………214
小林与三次 ………214
小堀旭 ………214
小堀憲助 ………214
小町谷操三 ………214
小松堅太郎 ………214
小松茂夫 ………214
小松俊雄 ………214
小松春雄 ………214
小松国男 ………214
小松勇五郎 ………214
小森義峰 ………214
小室金之助 ………214
小室直人 ………214
小山昇 ………215
小山博也 ………215
小山路男 ………215
小山雄二 ………215
五木田浩 ………215
古賀規矩之 ………215
古賀哲夫 ………215
古賀正義 ………215
古瀬村邦夫 ………215
古関敏正 ………215
児玉幸治 ………215
児玉省 ………215
児玉嘉之 ………215
胡麻本蔦一 ………215
後藤一郎 ………215
後藤英輔 ………215
後藤英三 ………215
後藤喜一 ………215
後藤清 ………216
後藤昌次郎 ………216
後藤正弘 ………216
後藤米夫 ………216
鯉渕幸也 ………216
河野綾雄 ………216
高坂正堯 ………216
高坂直之 ………216
神山欣治 ………216
合田淳一 ………216
越川純吉 ………216
琴坂重幸 ………216
駒沢貞志 ………216
駒沢弘明 ………216
今野勉 ………216
近藤金広 ………216
近藤完爾 ………216
近藤正三 ………216
近藤昭三 ………216
近藤常夫 ………216
近藤哲生 ………216
近藤富士雄 ………216
近藤文二 ………217
近藤康男 ………217
近藤綸二 ………217
金隆史 ………217
紺野与次郎 ………217
権田次良 ………217

【サ】

佐伯茂雄 ………217
佐伯静治 ………217
佐伯千仭 ………217
佐伯直秀 ………217
佐久間彊 ………217
佐口卓 ………217
佐々木坦 ………217
佐々木茂行 ………217
佐々木正一 ………217
佐々木専三郎 ………217
佐々木哲蔵 ………217
佐々木富二 ………217
佐々木宏 ………217
佐々木衷 ………217
佐々木三千秋 ………217
佐々木養二 ………217
佐々木吉男 ………217
佐々木良吉 ………217
佐々波与佐次郎 ………217
佐沢利雄 ………217
佐竹新也 ………217
佐竹寛 ………218
佐土井滋 ………218
佐藤昭夫 ………218
佐藤功 ………218
佐藤梅吉 ………218
佐藤勝美 ………218
佐藤喜一郎 ………218
佐藤佐治右衛門 ………218
佐藤二郎 ………218
佐藤重雄 ………218
佐藤真一 ………218
佐藤順一 ………218
佐藤進 ………218
佐藤節子 ………218
佐藤隆夫 ………218
佐藤立夫 ………219
佐藤達夫 ………219
佐藤哲夫 ………219
佐藤輝美 ………219
佐藤藤佐 ………219
佐藤竺 ………219
佐藤尚武 ………219
佐藤一 ………219
佐藤豁 ………219
佐藤昌彦 ………219
佐藤東男 ………219
佐藤由須計 ………219
佐藤幸夫 ………219
佐藤庸 ………219
佐藤良雄 ………219
佐藤良輔 ………219
佐藤良 ………219
佐野彰 ………219
佐野宏哉 ………219
佐野政一 ………219
斉藤明 ………219
斉藤栄三郎 ………219
斉藤欣子 ………219
斉藤金作 ………219
斉藤邦吉 ………220
斉藤朔郎 ………220
斉藤三郎 ………220
斉藤真 ………220
斉藤太一 ………220
斉藤孝 ………220
斉藤敏 ………220
斉藤直一 ………220
斉藤成雄 ………220
斉藤治美 ………220
斉藤秀夫 ………220
斉藤文男 ………220
斉藤政夫 ………220
斉藤基樹 ………220
斉藤芳治 ………220
雑賀芳三 ………220
阪野亘 ………220
阪本仁作 ………220
坂井忠宏 ………220
坂井久夫 ………220
坂井秀夫 ………220
坂口裕英 ………220
坂倉芳明 ………220
坂田仁 ………221
坂西志保 ………221
坂根哲夫 ………221
坂野観司 ………221
坂野常和 ………221
坂野幹夫 ………221
坂巻俊彦 ………221
坂本勁介 ………221
坂本是忠 ………221
坂本重雄 ………221
坂本徳松 ………221
坂本祐一 ………221
坂本雄三 ………221
坂本義和 ………221
坂下頼光 ………221
坂寄俊雄 ………221
相良惟一 ………221
酒井杏之助 ………221
酒井吉栄 ………221
酒巻俊雄 ………221
堺慎介 ………221
境一郎 ………221
崎川謙三 ………221
崎村茂樹 ………221
崎田直次 ………221
作間忠雄 ………221
桜井孝一 ………222
桜井四郎 ………222
桜井正三郎 ………222
桜井節夫 ………222
桜井丸雄 ………222
桜木澄和 ………222
桜沢東兵衛 ………222
桜田勝義 ………222
桜田誉 ………222
笹井昭夫 ………222
笹井忠寿 ………222
笹内純一 ………222
笹森四郎 ………222
定形善次郎 ………222

鮫島真男……222
沢栄三……222
沢井澄……222
沢井裕……222
沢井勉……222
沢木敬郎……222
沢田和夫……223
沢登佳人……223
三野亮……223

【シ】

四宮和夫……223
志賀義雄……223
志賀美夫……223
志津田氏治……223
志場喜徳郎……223
志村静男……223
志村清一……223
清水一行……223
清水幾太郎……223
清水汪……223
清水兼男……223
清水金二郎……223
清水敬次……223
清水新……223
清水新太郎……223
清水誠……223
清水馨八郎……223
清水俊彦……223
清水虎雄……224
清水望……224
清水芳一……224
清水睦……224
滋賀秀三……224
椎木緑司……224
塩崎潤……224
塩田庄兵衛……224
塩田澄夫……224
塩野宏……224
塩見昌達……224
鹿野政道……224
敷田稔……224
重倉珉祐……224
重松蕃……224
繁田実造……224
宍戸基男……224
下元万太郎……224
下森定……224
品川孝次……224
品川誠平……224
品川登……224
篠清……224
篠岡博……225
篠田純一……225
篠塚昭次……225
篠原一……225
篠原弘志……225
篠原幹雄……225
柴田高好……225
柴田敏夫……225
柴田護……225
柴田光蔵……225
柴山昇……225
渋川満……225
渋谷敬三……225
渋谷武……225
渋谷亮……225
島四男雄……225
島岡再……225
島上善五郎……225
島川豊……225
島田進吾……225
島田武夫……225
島田信義……225
島田久吉……225
島田英男……225
島田正郎……225
島津一郎……226
島本英夫……226
島谷英郎……226
嶋崎譲……226
嶋田敬介……226
下井隆史……226
下光軍二……226
下田武三……226
下田久則……226
下村康正……226
下山瑛二……226
下山俊次……226
霜島甲一……226
霜田美樹雄……226
霜山精一……226
周新民……226
正田満三郎……226
定塚英一……226
荘子邦雄……226
白羽祐三……227
白井正……227
白石健三……227
白川和雄……227
白島敬三……227
代田和一……227
城内康光……227
新堂幸司……227
新名丈夫……227
神馬新七郎……227

【ス】

須貝一二……227
須貝脩一……227
須々木主一……227
須藤茂……227
須永醇……227
諏訪正人……227
寿里浩……227
末川博……227
末包留三良……228
末延三次……228
末広卓……228
菅俊夫……228
菅原勝伴……228
菅原菊志……228
菅原利男……228
菅原裕……228
菅沼英雄……228
菅又淳……228
杉浦貫一……228
杉浦滋……228
杉江栄一……228
杉田憲治……228
杉田直作……228
杉谷昭……228
杉之原舜一……228
杉林信義……228
杉原峰夫……228
杉原泰雄……228
杉村章三郎……228
杉村敏正……228
杉本寿……228
杉本幹夫……228
杉本良吉……229
杉山逸男……229
杉山修……229
杉山和男……229
杉山茂雄……229
杉山茂顕……229
杉山伸顕……229
鈴木勇……229
鈴木一郎……229
鈴木薫……229
鈴木享子……229
鈴木潔……229
鈴木健二……229
鈴木光録……229
鈴木才蔵……229
鈴木重勝……229
鈴木重武……229
鈴木重信……229
鈴木昭一郎……229
鈴木信次郎……229
鈴木竹雄……229
鈴木忠一……230
鈴木忠五……230
鈴木利雄……230
鈴木敏和……230
鈴木俊光……230
鈴木登……230
鈴木ハツヨ……230
鈴木寛……230
鈴木博……230
鈴木房太郎……230
鈴木正裕……230
鈴木安蔵……230
鈴木康之……230
鈴木義男……230
鈴木隆一……230
鈴木禄弥……230
砂川恵伸……230
砂田卓士……230
住栄作……230
住田正二……230
角田豊……230
角田洋子……230
角谷三千夫……231
隅田勝己……231
隅田哲司……231
隅谷三喜男……231

【セ】

瀬戸弥三次……231
瀬戸山登一……231
瀬元美知男……231
関誠一……231
関正一……231
関忠雄……231
関道雄……231
関口晃……231
関沢正夫……231
関根達夫……231
関根万之助……231
関野昭一……231
関谷嵐子……231
関谷義男……231

【ソ】

十亀昭雄……231
十代田勇平……232
祖川武夫……232
曾我部静雄……232
曾我部豊……232
曾野和明……232
相馬勝夫……232
宗宮信次……232
園乾治……232
園田格……232
園部逸夫……232
園部敏……232
園部秀信……232
薗田香融……232
杣正夫……232
染野義信……232

【タ】

田岡良一……233
田上穣治……233
田上輝彦……233
田口精一……233
田倉整……233

田坂友男……233
田沢文雄……233
田所二郎……233
田代博之……233
田中昭……233
田中永司……233
田中和夫……233
田中勝次郎……233
田中京助……233
田中清定……233
田中健一……233
田中荊三……233
田中耕太郎……233
田中二郎……233
田中周友……233
田中正一……234
田中真次……234
田中祥子……234
田中精一……234
田中誠二……234
田中整爾……234
田中平……234
田中卓……234
田中寿……234
田中直吉……234
田中八郎……234
田中久智……234
田中英夫……234
田中宏尚……234
田中文信……234
田中正信……234
田中政義……234
田中満洲男……234
田中実……234
田中館照橘……234
田辺明……234
田辺勝二……234
田辺公二……234
田辺康平……235
田辺繁子……235
田辺照子……235
田辺昇……235
田辺幸子……235
田沼肇……235
田畑忍……235
田畑茂二郎……235
田原昭……235
田原義衛……235
田淵克己……235
田宮裕……235
田村悦一……235
田村五郎……235
田村幸策……235
田村茂夫……235
田村精一……236
田村秀策……236
田村豊……236
多賀谷真稔……236
多田真鋤……236
伊達秋雄……236
太寿堂鼎……236
太陽寺順一……236
平良……236
高井吉夫……236
高尾一孝……236
高木教典……236
高木鉦作……236
高木多喜男……236
高木武……236
高木右門……236
高木康雄……236
高窪貞人……236
高窪静江……236
高窪利一……236
高崎愛子……236
高島益郎……237
高島正……237
高島平蔵……237
高島義郎……237
高島良一……237
高田章……237
高田桂一……237
高田源清……237
高田賢造……237
高田忠……237
高田卓爾……237
高田敏……237
高辻正己……237
高鳥正夫……237
高仲東麿……237
高梨公之……237
高梨正夫……237
高根義三郎……238
高野竹三郎……238
高野真澄……238
高野雄一……238
高橋修……238
高橋勝好……238
高橋恒三……238
高橋清一……238
高橋武……238
高橋忠雄……238
高橋忠次郎……238
高橋貞三……238
高橋寿男……238
高橋敏雄……238
高橋朝子……238
高橋長蔵……238
高橋弘篤……238
高橋慶子……238
高橋正彦……238
高橋正己……239
高橋康之……239
高橋悠……239
高橋勇治……239
高橋雄豺……239
高林秀雄……239
高原賢治……239
高松和男……293
高見益一……293
高村晋……293
高村忠也……239
高山次嘉……239
高山隆三……239
高柳賢三……239
高柳信一……239
高柳真三……239
鷹取稠……239
滝内礼作……239
滝川春雄……239
滝川政次郎……239
滝川幹雄……240
滝川幸辰……240
滝野文三……240
宅間達彦……240
竹内昭夫……240
竹内誠……240
竹内敏夫……240
竹内益五郎……240
竹内雄一郎……240
竹内好……240
竹内理三……240
竹沢哲夫……240
竹下勉……240
竹下守夫……240
竹田忠夫……240
竹田直平……240
竹中正明……240
竹ノ中治美……240
竹原良文……240
竹村寿……240
竹本正幸……240
竹谷源氏……240
竹屋芳昭……241
竹山増次郎……241
武井篤……241
武市春男……241
武岡憲一……241
武田慎二……241
武田孝雄……241
武田俊春……241
武田昌輔……241
武野要子……241
武村信義……241
武安将光……241
立田清士……241
立川文彦……241
竜家勇一郎……241
竜岡資久……241
竜田節……241
巽仲男……241
達林正吉……241
立石芳枝……241
蓼沼謙一……241
棚田良平……241
谷川栄彦……241
谷川徹三……242
谷川輝……242
谷川久……242
谷口利明……242
谷口知平……242
谷口正孝……242
谷口安平……242
谷藤辰雄……242
溪内謙……242
溪口富士子……242
種谷春洋……242
玉井策郎……242
玉置久弥……242
玉城肇……242
玉田弘毅……242
玉生道経……242
溜池良夫……242
俵静夫……243
旦弘昌……243
旦良弘……243
丹広胖……243
丹下健三……243
丹宗昭信……243
丹波康太郎……243
団藤重光……243

【チ】

千種達夫……243
千葉勇夫……243
千葉和郎……243
千葉次郎……243
千葉正士……243
千葉稔……243
遅塚忠躬……243
近山仁郎……243
忠佐市……243
長穣……243

【ツ】

津軽芳三郎……244
津島一雄……244
津島安秋……244
津田隆……244
津田達夫……244
津田正良……244
津田道夫……244
津田実……244
津田幸雄……244
津曲蔵之丞……244
都築英二……244
塚田公太……244
塚本重頼……244

辻　　真 ……… 244
辻清明 ……… 244
辻英雄 ……… 244
土屋佳照 ……… 244
土屋茂樹 ……… 244
土屋正三 ……… 244
土本武司 ……… 245
堤良彦 ……… 245
堤口康博 ……… 245
筒井信定 ……… 245
綱井輝夫 ……… 245
恒藤恭 ……… 245
恒藤武二 ……… 245
恒田文次 ……… 245
坪井孝幸 ……… 245
坪野米男 ……… 245
椿寿夫 ……… 245
鶴見裕策 ……… 245

【テ】

手島堅次 ……… 245
手島孝 ……… 245
手嶋貞夫 ……… 245
手束羔一 ……… 245
手塚喜市 ……… 245
手塚豊 ……… 245
出口敏正 ……… 246
出口英夫 ……… 246
寺尾繁 ……… 246
寺尾正二 ……… 246
寺沢一 ……… 246
寺田四郎 ……… 246
寺本勤 ……… 246
寺山義雄 ……… 246

【ト】

土井多賀子 ……… 246
土井輝生 ……… 246
土井敏彦 ……… 246
土井正興 ……… 246
土拼正徳 ……… 246
戸沢鉄彦 ……… 246
戸田京次 ……… 246
戸田修三 ……… 246
戸塚登 ……… 247
戸塚季夫 ……… 247
戸出正夫 ……… 247
戸原四郎 ……… 247
外岡茂十郎 ……… 247
等々力茂富 ……… 247
当津武彦 ……… 247
堂ノ脇光朗 ……… 247
遠田新一 ……… 247
遠峰四郎 ……… 247
藤間生大 ……… 247
時岡弘 ……… 247
時武英男 ……… 247
時野谷滋 ……… 247
常盤忠允 ……… 247
常盤敏太 ……… 247
徳重善之 ……… 247
徳田博美 ……… 247
徳永秀雄 ……… 247
徳本鎮 ……… 247
徳本正彦 ……… 247
所一彦 ……… 247
利谷信義 ……… 247
富樫総一 ……… 247
富沢操 ……… 247
富田康次 ……… 247
富山康吉 ……… 247
飛沢謙一 ……… 248
友景正二 ……… 248
豊田悦夫 ……… 248
豊田圭一 ……… 248
豊田悌助 ……… 248
豊崎光衛 ……… 248

【ナ】

名島芳 ……… 248
内藤功 ……… 248
内藤謙 ……… 248
内藤則邦 ……… 248
内藤文質 ……… 248
中利太郎 ……… 248
中義勝 ……… 248
中井省三 ……… 248
中井猛夏 ……… 248
中井富男 ……… 248
中馬義直 ……… 248
中尾文男 ……… 248
中尾喬一 ……… 248
中尾文策 ……… 248
中尾英俊 ……… 248
中岡三益 ……… 248
中川一郎 ……… 248
中川庫雄 ……… 249
中川剛 ……… 249
中川公一郎 ……… 249
中川淳 ……… 249
中川善之助 ……… 249
中川高男 ……… 249
中川正 ……… 249
中川良延 ……… 249
中河原通之 ……… 249
中神太郎 ……… 249
中込世雄 ……… 249
中沢巷一 ……… 249
中沢精次郎 ……… 249
中塩谷九一郎 ……… 249
中条博 ……… 249
中島健蔵 ……… 249
中島昭三 ……… 249
中島信一 ……… 249
中島忠能 ……… 249
中島正 ……… 249
中島治康 ……… 249
中島博 ……… 250
中島道治 ……… 250
中島陽子 ……… 250
中瀬二郎 ……… 250
中曾根康弘 ……… 250
中田修 ……… 250
中田直人 ……… 250
中武靖夫 ……… 250
中館久平 ……… 250
中谷敬寿 ……… 250
中務俊昌 ……… 250
中西一郎 ……… 250
中西正明 ……… 250
中根宏 ……… 250
中埜喜雄 ……… 250
中野辰二 ……… 250
中野貞一郎 ……… 250
中野次雄 ……… 250
中野直樹 ……… 250
中野英男 ……… 250
中野好夫 ……… 250
中原幌 ……… 251
中平和水 ……… 251
中宮勇一 ……… 251
中村巌 ……… 251
中村一彦 ……… 251
中村勝範 ……… 251
中村菊男 ……… 251
中村啓一 ……… 251
中村孝三 ……… 251
中村隆英 ……… 251
中村武 ……… 251
中村正 ……… 251
中村忠 ……… 251
中村哲 ……… 251
中村英郎 ……… 251
中村平男 ……… 251
中村広次 ……… 251
中村真澄 ……… 251
中村宗雄 ……… 251
中村弥三次 ……… 252
中村雄三郎 ……… 252
中村良昭 ……… 252
中村義和 ……… 252
中村吉三郎 ……… 252
中谷瑾子 ……… 252
中山和久 ……… 252
中山研一 ……… 252
中山幸一 ……… 252
中山治三郎 ……… 252
中山文枝 ……… 252
中山政夫 ……… 252
中山健男 ……… 252
中脇晃 ……… 252
仲井間宗成 ……… 252
仲里達雄 ……… 252
仲田光 ……… 252
仲村規雄 ……… 252
永井憲一 ……… 252
永井陽之助 ……… 252
永田一郎 ……… 252
永田菊四郎 ……… 253
永田忠哉 ……… 253
永田永寿 ……… 253
永谷延夫 ……… 253
永谷行雄 ……… 253
永光洋一 ……… 253
長尾和夫 ……… 253
長尾賢三 ……… 253
長尾久衛 ……… 253
長坂聡 ……… 253
長島敦 ……… 253
長島文道 ……… 253
長田秋雄 ……… 253
長田新 ……… 253
長田春義 ……… 253
長塚安幸 ……… 253
長野実 ……… 253
長橋進 ……… 253
長浜政寿 ……… 253
長山魏 ……… 253
夏目文雄 ……… 253
鍋田一 ……… 253
並木俊守 ……… 253
浪川正己 ……… 254
行木孝雄 ……… 254
楢崎二郎 ……… 254
成田章 ……… 254
成田頼明 ……… 254
成子幸夫 ……… 254
成瀬治 ……… 254
成富信夫 ……… 254
成宮嘉造 ……… 254
南波杢三郎 ……… 254
難波田春夫 ……… 254

【ニ】

仁井田陞 ……… 254
仁木立也 ……… 254
仁藤佐吉 ……… 254
丹羽喬四郎 ……… 254
丹羽友三郎 ……… 254
新倉隆 ……… 254
新堀聡 ……… 254
新村義広 ……… 254
西賢 ……… 255
西迪雄 ……… 255
西尾昭 ……… 255
西尾孝明 ……… 255
西岡孝男 ……… 255
西岡久鞆 ……… 255
西川清次 ……… 255
西川清治 ……… 255
西川達雄 ……… 255
西川千春 ……… 255
西川知一 ……… 255
西川美数 ……… 255
西口直治 ……… 255
西坂隆 ……… 255
西沢修 ……… 255
西島梅治 ……… 255
西島弥太郎 ……… 255
西島芳二 ……… 255
西田勝 ……… 255
西田公一 ……… 255
西田誠哉 ……… 255
西野照太郎 ……… 255
西原寛一 ……… 255
西原春夫 ……… 255
西原宏一 ……… 256
西原道雄 ……… 256
西原林之助 ……… 256
西村克彦 ……… 256
西村熊雄 ……… 256
西村信雄 ……… 256
西村法 ……… 256
西村春夫 ……… 256
西村光夫 ……… 256
西村民之助 ……… 256
西本穎 ……… 256
西山富夫 ……… 256
新田隆信 ……… 256

【ヌ】

布村勇二 ……… 257
沼正也 ……… 257
沼尻芳孝 ……… 257
沼田稲次郎 ……… 257
沼辺愛一 ……… 257

【ネ】

ねづまさし ……… 257
根峰博 ……… 257
根立昭治 ……… 257
根本孔衛 ……… 257
根本誠 ……… 257
根本真儀 ……… 257

【ノ】

野木新一 ……… 257
野口名隆 ……… 257
野口英彦 ……… 258
野口平吉 ……… 258
野口寛 ……… 258
野沢涓 ……… 258
野尻孝夫 ……… 258
野瀬高生 ……… 258
野田愛子 ……… 258
野田孝明 ……… 258
野田宗典 ……… 258
野田良之 ……… 258
野地洋行 ……… 258
野津務 ……… 258
野中光治 ……… 258
野中忠夫 ……… 258
野原達二 ……… 258
野間繁 ……… 258
野見山温 ……… 258
野本実 ……… 258
野村市治郎 ……… 258
野村健 ……… 258
野村忠夫 ……… 258
野村綱明 ……… 258
野村平爾 ……… 258
野村正幸 ……… 259
野村与三一 ……… 259
能仲英雄 ……… 259
乗本正名 ……… 259

【ハ】

羽田野忠文 ……… 259
羽山忠弘 ……… 259
波多野里望 ……… 259
波多野弘 ……… 259
波多野二三彦 ……… 259
長谷川武 ……… 259
長谷川毅 ……… 259
長谷川銹治 ……… 259
長谷川信蔵 ……… 259
長谷川信彦 ……… 259
長谷川正安 ……… 259
長谷川元吉 ……… 259
長谷川喜博 ……… 259
長谷場義久 ……… 260
長谷部茂吉 ……… 260
馬場克三 ……… 260
馬場東作 ……… 260
唄孝一 ……… 260
袴田恒夫 ……… 260
萩大輔 ……… 260
萩沢清彦 ……… 260
萩野芳夫 ……… 260
萩原玉味 ……… 260
萩原博司 ……… 260
間登志夫 ……… 260
橋川渡 ……… 260
橋野迪夫 ……… 260
橋本敦 ……… 260
橋本鍵一 ……… 260
橋本基一 ……… 260
橋本公亘 ……… 260
橋本重三郎 ……… 260
橋本佑三 ……… 261
蓮井良憲 ……… 261
畑穰 ……… 261
畑博行 ……… 261
畑井義隆 ……… 261
畑尻保 ……… 261
畑田重夫 ……… 261
畑中和夫 ……… 261
秦郁彦 ……… 261
秦玄竜 ……… 261
旗田巍 ……… 261
畠山樹郎 ……… 261
服部栄三 ……… 261
服部高顕 ……… 261
服部俊男 ……… 261
服部秀一 ……… 261
服藤弘司 ……… 261
花田圭介 ……… 261
花田政道 ……… 261
花見忠 ……… 261
花谷実 ……… 261
英修道 ……… 261
蓴優美 ……… 261
塙克郎 ……… 261
塙浩 ……… 261
浜上則雄 ……… 262
浜田一男 ……… 262
浜田稔 ……… 262
浜地馨 ……… 262
浜谷源蔵 ……… 262
早川一郎 ……… 262
早川勝 ……… 262
早川崇 ……… 262
早川武夫 ……… 262
早川智夫 ……… 262
早川登 ……… 262
林瞳 ……… 262
林董一 ……… 262
林修三 ……… 262
林深山 ……… 262
林善助 ……… 262
林寿二 ……… 262
林信雄 ……… 262
林迪広 ……… 262
林道雄 ……… 262
林良平 ……… 262
林田丁介 ……… 263
林田和博 ……… 263
林脇トシ子 ……… 263
原秀男 ……… 263
原英次 ……… 263
原清 ……… 263
原徹郎 ……… 263
原増司 ……… 263
原安三郎 ……… 263
原義衛 ……… 263
原竜之助 ……… 263
原口清 ……… 263
原後山治 ……… 263
原茂太一 ……… 263
原島重義 ……… 263
原田清司 ……… 263
原田鋼 ……… 263
原田綱夫 ……… 263
原田敏丸 ……… 263
春口徳雄 ……… 263
春原源太郎 ……… 263
半沢孝麿 ……… 263
半田輝雄 ……… 263
阪埜淳吉 ……… 263
阪埜光男 ……… 263
坂東克彦 ……… 263

【ヒ】

日沖憲郎 ……… 264
日高勲 ……… 264
日高六郎 ……… 264
日出菊朗 ……… 264
日野開三郎 ……… 264
日野正晴 ……… 264
日野原昌 ……… 264
枇杷田泰助 ……… 264
樋口謹一 ……… 264
樋口幸吉 ……… 264
樋口忠吉 ……… 264
樋口哲夫 ……… 264
東中光雄 ……… 264
東村金之助 ……… 264
久武綾子 ……… 264
菱田政宏 ……… 264
人見康子 ……… 264
兵頭泰三 ……… 264
平井哲雄 ……… 264
平井俊彦 ……… 264
平井友義 ……… 264
平出慶道 ……… 264
平出禾 ……… 265
平尾照夫 ……… 265
平賀慶暉 ……… 265
平賀健太 ……… 265
平瀬敏夫 ……… 265
平田伊知男 ……… 265
平田富太郎 ……… 265
平田春二 ……… 265
平田日出夫 ……… 265
平竹伝三 ……… 265
平野克明 ……… 265
平野三郎 ……… 265
平野秋夫 ……… 265
平野利 ……… 265
平野義太郎 ……… 265
平野竜一 ……… 265
平場安治 ……… 266
平松義郎 ……… 266
平松幹夫 ……… 266
櫟原利嗣 ……… 266
昼間種 ……… 266

広海孝一………266
広岡隆………266
広瀬勝世………266
広瀬武夫………266
広瀬正………266
広瀬時映………266
広瀬正和………266
広瀬優………266
広瀬善男………266
広津和郎………266
広中俊雄………266

【フ】

不破哲三………266
不破勝敏夫………266
布施弥平治………266
深瀬忠一………267
深瀬秀………267
深津栄一………267
深見芳文………267
深谷松男………267
深山喜一郎………267
福井徹………267
福家辰夫………267
福岡博之………267
福島四郎………267
福島深………267
福島新吾………267
福島徳寿郎………267
福島正夫………267
福島直喜………267
福田歓一………267
福田三郎………267
福田茂夫………267
福田平………267
福田博之………267
福田喜次………268
福地俊雄………268
福地陽子………268
福永正義………268
福永有利………268
福永与一郎………268
福原忠男………268
福良俊之………268
藤直道………268
藤井高美………268
藤井俊雄………268
藤江忠二郎………268
藤尾彰………268
藤岡大信………268
藤岡長敏………268
藤本英雄………268
藤崎道好………268
藤島昭………268
藤島宇内………268
藤城利美………268
藤田勇………268
藤田和海………268
藤田正次………268
藤田嗣雄………269
藤田晴子………269
藤田八郎………269
藤田若雄………269
藤野英一………269
藤野豊………269
藤原守胤………269
藤広曠三………269
藤村通………269
藤本正………269
舟木凌………269
舟橋諄一………269
古川健次郎………269
古沢長衛………269
古瀬恒介………269
古西信夫………269
古林稔………269
古林祐二………269
古山宏………269
降矢時雄………269
降矢敬義………269

【ホ】

北条俊郎………269
法貴三郎………269
保住昭一………270
穂積重行………270
穂積忠夫………270
外尾健一………270
外間寛………270
星川長七………270
星野英一………270
星野孝………270
星野辰生………270
星野光男………270
星野安三郎………270
細貝大次郎………270
細川亀市………270
細川潔………270
細田源吉………270
細田弥彦………270
細谷千博………270
細谷松太………270
洞富雄………270
堀堅士………270
堀晋作………270
堀内仁………270
堀江湛………270
本庄幸人………270
本城武雄………271
本田清一………271
本田尊正………271
本田正義………271
本多淳亮………271
本汲章市………271
本間忠彦………271
本間達三………271
本間輝雄………271

【マ】

真砂泰輔………271
真野英一………271
真野毅………271
真船孝充………271
馬郡巌………271
間宮重一郎………271
前沢雅男………271
前芝確三………271
前島省三………271
前田信二郎………272
前田卓………272
前田多良夫………272
前田俊郎………272
前田知克………272
前田英昭………272
前田宏………272
前田正治………272
前田川怜子………272
前原光雄………272
牧健二………272
牧英正………272
牧野英一………272
槇悌次………272
正亀慶介………272
正木馨………272
正木亮………272
升味準之輔………273
升本喜兵衛………273
桝田文雄………273
桝谷広………273
増田毅………273
増田富寿………273
増田福太郎………273
増満二郎………273
増本一彦………273
町田充………273
松井達郎………273
松井康浩………273
松浦馨………273
松江栄一………273
松尾和子………273
松尾金蔵………273
松尾邦彦………273
松尾敬一………273
松尾浩也………273
松尾清一郎………273
松尾翼………273
松尾均………273
松岡三郎………273
松岡恒憲………274
松岡八郎………274
松岡正美………274
松岡和生………274
松方三郎………274
松木太郎………274
松隈清………274
松隈徳仁………274
松坂佐一………274
松崎芳伸………274
松下岩雄………274
松下圭一………274
松下胤信………274
松下輝雄………274
松下史生………274
松田一良………274
松田正雄………274
松田昌士………274
松田慶文………274
松富哲………274
松葉秀文………274
松原正晃………274
松原邦朝………275
松宮隆………275
松宮衛………275
松村清之………275
松村富之助………275
松元威雄………275
松元亘………275
松本岩男………275
松本巌………275
松本馨………275
松本健男………275
松本暉男………275
松本重夫………275
松本正一………275
松本時夫………275
松本伸子………275
松本博………275
松本正義………275
松本善明………275
松本米治………275
丸岡松雄………275
丸谷定弘………275
丸山真男………275
丸山忠綱………275
丸山良仁………275
円山田作………275

【ミ】

三井脩………275
三浦恵司………276
三浦進………276
三浦澄雄………276
三浦つとむ………276
三上顕一郎………276
三上正良………276
三ケ月章………276
三島宗彦………276
三島淑臣………276

三田高三郎………276
三武正則………276
三津田松吉………276
三潴信吾………276
三戸岡道夫………276
三東三司………276
三野昌治………276
三野正博………276
三原道也………276
三淵乾太郎………276
三藤邦彦………276
三藤正………277
三宅一郎………277
三宅太郎………277
三宅正男………277
三宅正雄………277
三宅守一………277
三宅優………277
三宅陽………277
三代川潤四郎………277
三代川敏三郎………277
三好重夫………277
三和一博………277
三輪公忠………277
三輪要人………277
三輪良雄………277
味村治………277
水飼幸之助………277
水木惣太郎………277
水越玲子………277
水崎節文………277
水田耕一………277
水田珠枝………278
水波朗………278
水野勝………278
水本浩………278
溝口喜方………278
道田信一郎………278
光藤景皎………278
皆川洸………278
皆川迪夫………278
南清彦………278
南博………278
南博方………278
南谷文一………278
南出弘………278
峯村光郎………278
簑田長平………278
宮井忠夫………279
宮内裕………279
宮川茂夫………279
宮川清一………279
宮川澄………279
宮城栄昌………279
宮城盛持………279
宮坂富之助………279
宮坂宏………279
宮崎清文………279
宮崎孝治郎………279
宮崎繁樹………279
宮崎澄夫………279
宮崎俊行………279
宮崎昇………279
宮崎富士美………280
宮崎竜介………280
宮沢修………280
宮沢浩一………280
宮沢俊義………280
宮田三郎………280
宮田知郎………280
宮田豊………280
宮地健次郎………280
宮地亨吉………280
宮地茂………280
宮野素行………280
宮原三男………280
宮元義雄………280
宮脇幸彦………280

【ム】

務台理作………280
武藤昭………280
武藤和夫………281
武藤春光………281
向山寛夫………281
村井衡法………281
村井藤十郎………281
村岡二郎………281
村上健………281
村上謙………281
村上惺………281
村上茂利………281
村上淳一………281
村上尚文………281
村上三男………281
村上義弘………281
村川澄………281
村崎精一………281
村崎満………281
村重慶一………281
村瀬興雄………281
村田敬次郎………281
村田治美………281
村田宏雄………281
村長利根朗………281
村西義一………282
村橋時郎………282
村松俊夫………282
室井力………282
室城庸之………282

【メ】

毛受信雄………282

【モ】

百々己之助………282
茂手木茂夫………282
門司亮………282
毛利与一………282
持田栄一………282
望月義昭………282
元木伸………282
籾井常喜………282
守井静雄………282
守本順一郎………282
守屋美都雄………282
守屋善輝………282
森有義………283
森清………283
森順次………283
森省三………283
森文一………283
森井暲………283
森泉章………283
森川金寿………283
森下忠………283
森島浅吉………283
森長英三郎………283
森田宗一………283
森田堯丸………283
森田雄一………283
森谷要………283
森山滋雄………283
盛秀雄………283
諸口昭一………283
諸橋襄………283
門田信男………283
門間進………283

【ヤ】

八木格治………284
八木国之………284
八木鉄男………284
八木弘………284
八木充………284
八木胖………284
八塚陽介………284
矢ケ崎武勝………284
矢加部勝美………284
矢崎光圀………284
矢沢惇………284
矢島悦太郎………284
矢田一男………284
矢田部理………284
矢頭敏也………284
矢内原忠雄………284
矢内原勝………284
矢野勝久………284
矢野浩一郎………284
矢野俊比古………284
矢野範二………284
矢野暢………285
谷田貝三郎………285
谷中実………285
谷端長………285
安井郁………285
安井光雄………285
安沢喜一郎………285
安沢秀一………285
安田郁子………285
安田節………285
安田道夫………285
安村和雄………285
安平政吉………285
安屋和人………285
保良光彦………285
柳春生………285
柳庸夫………285
柳瀬良幹………285
柳沢英二郎………285
柳沢長治………285
柳沼八郎………285
梁田政方………285
薮重夫………285
山内一夫………286
山浦重三………286
山岡一信………286
山木戸克己………286
山岸長嘯………286
山口浩一郎………286
山口幸五郎………286
山口五郎………286
山口定………286
山口武………286
山口透………286
山口俊夫………286
山口真弘………286
山口林之助………286
山崎英二………286
山崎薫………286
山崎邦彦………286
山崎賢一………286
山崎真秀………286
山崎晴一………286
山崎時彦………286
山崎衛………286
山下勝治………286
山下健次………286
山下末人………286
山下武………286
山下博久………286
山下真臣………286
山田秋良………287
山田昭………287
山田晟………287
山田要………287
山田喜久夫………287

山田準次郎……287
山田徹彦……287
山田年栄……287
山田英雄……287
山田弘……287
山田弘之助……287
山田幸男……287
山田譲……287
山田芳治……287
山田義光……287
山田鐐一……287
山手治之……287
山寺通雄……287
山戸嘉一……287
山戸利生……287
山名寿三……287
山中一郎……287
山中永之佑……287
山中義一……288
山中篤太郎……288
山中康雄……288
山主政幸……288
山根治……288
山畠正男……288
山村忠平……288
山本明……288
山本伊佐久……288
山本喜陸……288
山本桂一……288
山本敬三……288
山本吾作……288
山本幸助……288
山本浩三……288
山本重太……288
山本繁……288
山本実一……288
山本正太郎……288
山本普一……289
山本進一……289
山本正憲……289
山本壮一郎……289
山本泰督……289
山本輝夫……289
山本徳栄……289
山本登……289
山本秀夫……289
山本博……289
山本吉人……289

【ユ】

由比宏忠……289
柚木馨……289
湯川忠一……289
湯沢雍彦……289

【ヨ】

横井大三……289
横井正美……289
横井芳弘……290
横尾登米雄……290
横尾正之……290
横越英一……290
横川敏雄……290
横川博……290
横田喜三郎……290
横田正俊……290
横田地弘……290
横溝鏸吾……290
横山桂次……290
横山晃一郎……290
横山俊郎……290
横山実……290
吉岡明……290
吉岡紹直……290
吉岡幹夫……290
吉兼三郎……290
吉川正次……290
吉川由己夫……290
吉河光貞……290
吉田一枝……290
吉田仁風……290
吉田太二郎……290
吉田昂……290
吉田龍夫……291
吉田常次郎……291
吉田照雄……291
吉田徳三郎……291
吉田富士雄……291
吉田道也……291
吉田渉……291
吉富重夫……291
吉永栄助……291
吉野悟……291
吉野辰雄……291
吉野俊彦……291
吉野秀雄……291
吉野文六……291
吉野衛……291
吉原公一郎……291
吉原正八郎……291
吉原節夫……291
吉藤幸朔……291
吉益脩夫……291
吉宗俊一……291
吉村健蔵……291
吉村正……291
吉村徳重……291
好並隆司……292
好美清光……292
芳川俊憲……292
芳野勝……292
善家幸敏……292
義井博……292
米沢明……292
米沢秀夫……292
米田泰邦……292
米津昭子……292
米山釣一……292
依光良馨……292

【リ】

利光三津夫……292
笠信太郎……292

【ロ】

蠟山政道……292
蠟山芳郎……292

【ワ】

和座一清……292
和田英二……292
和田茂雄……292
和田鶴蔵……292
和田英夫……292
和田良一……293
我妻栄……293
若原清……293
若林泰……293
若林良一……293
鷲巣英策……293
鷲塚正男……293
渡瀬正和……293
渡辺昭夫……293
渡辺伊都雄……293
渡辺修……293
渡辺金侃……293
渡辺喜一……293
渡辺金一……293
渡辺葆……293
渡辺信也……293
渡辺進……294
渡辺綱吉……294
渡辺豊樹……294
渡辺宏……294
渡辺文雄……294
渡辺誠……294
渡辺実……294
渡辺泰次……294
渡辺幸生……294
渡辺陽一……294
渡辺洋三……294
渡辺良夫……294
渡辺龍策……294
渡部浩太郎……294
渡部周治……294
渡部善信……294
綿貫芳源……294

【外国人】

Ago, Robrto……294
Altman, G. T.……294
Black, H. L.……295
Cantrall, A. M.……295
Civisca, Luigi……295
Cooper, J. C.……295
Derks, W. H.……295
Douglas, W. O.……295
Glueck, Eleanor T.……295
Glueck, Sheldon……295
Gorkin, A.……295
Gutzwiller, M.……295
Gwynne, S. A.……295
Hall, J.……295
Herrfahrdt, H.……295
Hurlbut, S. B.……295
Ives, C. P.……295
Iwanov, B.……295
Jennings, Richard W.……295
Kaufman, I. R.……295
Kleiyer, Hermann……295
Lacks, Manfred……295
Landman, J. Henry……295
Lavrovski, V. M.……295
Levin, Gerald S.……295
Loewenstein, K.……295
Mantel, Kurt……295
Marine, Gene……295
Middendorff, W.……295
Morandiere, J. de la……295
Newell, W. H.……295
Prevezer, Sidney……295
Radbruch, G.……295
Radbruch, Ridia……296
Rheinstein, Max……296
Riese, O.……296
Robinson, J.……296
Röhl, W.……296
Saleilles, Raymond……296
Siebert, Frederiek S.……296
Siemens, J.……296
Soter, R. P.……296
Tsedenbal, U.……296
Tunkin, G. I.……296
Ulmer, S. S.……296
Vecdo, G. del……296
Williams, G.……296
Würtenberger, T.……296

【ア】

安達十郎

故意なき故意——騒擾罪における共同意見：人権のために　7/8（'60－12）
法廷にあらわれた「法の支配」——根をおろした田中長官の訓辞：人権のために　6（'60－8）

安倍淳吉

犯罪（非行）研究の基本的諸問題に関する若干の展望とその考察：心理学研究　30－3（'59－9）

安倍治夫

違法な犯罪捜査に対する人権の保護についての若干の考察＜1～4完＞：警察研究　31－6～9（'60－6～9）
近代刑事学における追求統計方式の必要性＜下＞：法律のひろば　13－1（'60－1）
グリュック社会予測表の新しい検定について——コロンビア地区およびオークランド郡における実験例：法律のひろば　13－10（'60－10）
グリュック予測表の検定について——ニューヨーク実験の正しい理解のために：法律のひろば　13－3（'60－3）
国際連合第12総会における死刑制限条項案の採択について：社会改良　3－3（'58－2）
再審における人権感覚——刑事再審制度の比較法的反省：自由と正義　12－6（'61－6）
再審理由としての証拠の新規性と明白性＜1，2＞：警察研究　32－2,3（'61－2,3）
シカゴにおける刑事法運用に関する国際会議：法律時報　32－9（'60－7）
砂川事件の最高裁判決と統治行為論——司法的思考の成熟度について：法律のひろば　13－2（'60－2）
組織を媒介とする順次共謀と共謀共同正犯＜1～3完＞：警察研究　32－1,4,5（'61－1,4,5）
判決前調査制度はどうあるべきか：刑政　72－3（'61－3）

安倍　武

支払命令：ジュリスト　222（'61－3）

足立幸盛

相続資格が競合する場合の問題点：民事研修　48（'61－4）

吾妻京一郎

国民審査の概況：法律時報資料版　1（'60－11）

吾妻光俊

いわゆる刑事免責，民事免責は憲法第28条の当然の効果か：法学教室　1（'61－7）
解雇：法学セミナー　48（'60－3）
割賦払債務の懈怠と時効の起算点（判例百選）：ジュリスト　臨時増刊　（'60－10）
組合規律の限界：法学研究（愛知）　3（'61－3）
職場における組合活動と争議の正当性：季刊労働法　11－2（'61－6）
職場における組合活働と争議の正当性：労働法学研究会報　12－11（'61－4）
スト中賃金控除の時期——東京地裁の判決について：ジュリスト　202（'60－5）
戦後労働法と法理論：労働法　16（'60－10）
争議をめぐる法律問題：中央労働時報　371（'61－10）
争議行為における積極的行動の限界：法の支配　3（'60－7）
争議体制と業務体制の法的関連：法曹時報　13－4（'61－4）
不当労働行為制度の実効化：一橋論叢　43－1（'60－1）
部分ストの法律解釈と扱い方——パインミシン事件にふれて：日労研資料　14－8（'61－3）
三越の年次休暇買上制度：ジュリスト　228（'61－6）
労使関係とピケの問題：官公労働　14－6（'60－6）
労使関係法研究会の発足：時の法令　338（'60－1）
労働委員会の課題：法律時報　32－7（'60－6）
労働組合の政治活働をめぐる法律問題：労働法学研究会報　10－34（'59－9）
労働組合の分裂：菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集　（'60－11）
労働争議の法理と労使関係：労働法学研究会報　11－28（'60－9）
労働法理論と労働慣行：一橋論叢　45－3（'61－3）

阿川清道

外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約について＜上，下＞：ジュリスト　231,232（'61－8）
外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約について＜上，下＞：貿易クレームと仲裁　8－10,11（'61－10，11）
婚姻法の立法化に関する問題点：民事研修　44（'60－12）
親族法改正の問題点について：戸籍　135,137，144～148（'60－1，2，8～12）

阿久津亀夫

フランスにおける労使協議制について：法学研究　33－6（'60－6）

阿久津　実

独占禁止法と価格維持：中央経済　9－5（'60－5）

阿多実秋

株主の権利と義務について：鹿児島経大論集　1－1（'60－9）
わが国の商法における消滅時効について＜1，2＞：鹿児島経大論集　1－3（'61－3），2－1（'61－10）

阿南成一

教会法における法的思惟：法哲学年報　1960年（'61－8）
小林直樹著「法哲学　上」【書評】：法律時報　32－7（'60－6）
自然法研究の問題点：法学雑誌　7－3（'60－12）
「事物の本性」と法の解釈：恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60－5）

阿比留謙吉

家事調停一般について：自由と正義　12－1（'61－1）

阿部浩二

いわゆる隣接権の保護——国際会議をめぐって：法学　25－2（'61－5）
ハイニッシュ「縁組の了と無効」【書評】：法律時

報　33－4（'61－4）
包括受遺者の地位：中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）
隣接権と外国法制：法経学会雑誌　11－3（'61－12）

阿部純二
虞犯少年の法的考察：家庭裁判月報　13－9（'61－9）
虞犯少年の一考察：法学　25－1（'61－3）
刑法における「義務の衝突」＜3完＞：法学　24－1（'60－3）

阿部　猛
日本中世法成立の前提——平安時代の相続法を中心として：日本史研究　45（'59－11）

阿部照哉
西独における政党の憲法上の地位：法学論叢　68－4（'61－1）

阿部　弘
最低賃金制の現状と今後の問題：レファレンス　123（'61－4）

会田範治
養老令の由来と令議解の撰修：日本法学　26－5（'60－12）

会田義雄
自己株式の会計に関する若干の考察：三田学会研究　3－2（'60－6）

相沢　久
政治と宗教——信教自由の一考察＜2,3＞：上智法学論集　3－2（'59－10），4－1（'60－5）

相沢与一
英国における1912年炭鉱最低賃金法の成立：経済学　21－4（'60－3）

相原東孝
スイス民法邦訳＜7～10＞：名城法学　9－2/4（'60－3），10－2（'60－10），10－3,4（'61－2,4）

相原光雄
車内犯罪の解剖：捜査研究　80（'58－7）

青木　勇
公共用地特例法の政策的意義：法律時報　33－6（'61－6）

青木清相
結果的加重犯：綜合法学　39（'61－10）
承継的共同正犯：綜合法学　24（'60－7）
逮捕状の緊急執行と公務執行妨害罪：綜合法学　19（'60－2）
逮捕状の緊急執行と公務執行妨害罪：日本法学　27－1（'61－4）
身分犯と共同正犯：綜合法学　28（'60－11）

青木均一
労働法の改正を望む——バランスを失っている現行法：経営者　14－6（'60－6）

青木　茂
広島藩の「六会法」について：史学研究　77/79（'60－10）

青木勢津
英米法における非嫡出父子関係の認定について：紀要（愛知県立女子大学女子短大）　11（'61－1）

青木宗也
業務命令権の法構造とその限界：労働法学研究会報　12－31（'61－11）
合同労組の組織形態と法的問題：法律時報　33－3（'61－3）
在籍専従問題の検討：労働経済旬報　439（'60－6）
時間外労働と割増賃金：労働問題　32（'61－1）
指揮命令権の構造とその限界：季刊労働法　11－2（'61－6）
宿日直勤務と賃金：労働問題　34（'61－3）
職場斗争をめぐる法律問題：労働法律旬報　400（'60－12）
争議中における就業規則の効力：労働法　18（'61－10）
団体交渉をめぐる法律問題：労働法律旬報　406（'61－2）
配置転換・転勤をめぐる法律問題：労働法学研究会報　10－28（'59－8）
病院のストの正当性：法律のひろば　14－11（'61－11）
母性保護の休暇について——制度とその法的解明：季刊労働法　10－3（'60－9）
臨時工と解雇予告：労働問題　35（'61－4）
労基法20条違反と解雇：労働問題　33（'61－2）

青木時雄
損害賠償責任保険：損害保険研究22－3（'60－8）
保険金支払後における保険者の権利——代位　分担その吟味：損害保険研究　21－4（'59－11）

青木　博
明治前期における後見制度＜1～3完＞：綜合法学　21,25,27（'60－4,8,10）

青谷和夫
恩給法第9条にいわゆる職務犯・刑の執行猶予と恩給権の復活：民商法雑誌　45－2（'61－11）
火災保険料の不払を理由とする契約解除の効力——ある事例を中心として：損害保険研究　22－3（'60－8）
共済組合法にいわゆる「給付の制限」について：共済時報　7－11（'59－11）
国家公務員共済組合法にいわゆる「損害賠償請求権の代位」について：共済時報　7－8（'59－8）
損害賠償請求の代位：健康保険　14－7（'60－7）
法を知らなかったということ——法の不知は健保法第20条2項にいわゆる「正当の事由」に該当するかを中心として：健康保険　15－6（'61－6）
保険金受取人による事故発生事実の知と生命保険契約の効力：綜合法学　32（'61－3）

青柳孝夫
政暴法反対斗争と公安条令：前衛　185（'61－5）

青柳文雄
新しい予審制度の検討：ジュリスト　199（'60－4）
偽証罪の一考察：上智法学論集　5－2（'61－11）
供述の任意性（判例百選）：ジュリスト　200（'60－4）
控訴審における事実の取調——諏訪メモをめぐって：法学教室　1（'61－7）
公判中心主義の課題：法曹時報　12－4（'60－4）
公平な裁判所の理念：法学研究　34－8（'61－8）
事実の錯誤について：法学研究　33－5（'60－5）
自由心証主義：法学セミナー　63（'61－6）

準備草案第11条から第16条について：綜合法学　24（'60－7）
捜査令状を発する司法官憲の法令審査権の有無——昭和35年5月2日東京地裁刑事13部の決定について：法律のひろば　13－7（'60－7）
蝟擾の概念の考察——最高裁の平事件の判決をめぐって：警察学論集　14－2（'61－2）
伝聞証拠：綜合法学　34（'61－5）
陪審制　参審制についての一考察：上智法学論集　4－1（'60－5）
不動産二重売買と横領罪——共犯の不成立（判例百選）：ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
文書の押収・捜索について：ジュリスト　228（'61－6）
松川裁判のみかた：法律のひろば　14－9（'61－9）
松川事件：警察公論　16－13（'61－12）
松川事件の捜査：警察学論集　14－11（'61－11）
松川事件の問題点——仙台高裁判決を中心として：自由と正義　12－10（'61－10）
門田判決の検討——門田判決は真実を衝いているか：ジュリスト　239（'61－12）

青柳盛雄
勾留理由開示制度について：人権のために　10（'61－6）

青山春雄
フランスの自治体——大臣兼市長も珍しくない：自治春秋　10－6（'60－6）

青山道雄
財産分与：ジュリスト　200（'60－4）
中国における家族の問題——人民公社を中心として法律のひろば　13－1（'60－1）
中川善之助「親族法」【紹介】：法学　24－4（'60－11）
ポーランド家族法典（1950年6月20日法）：家庭裁判月報　13－6（'61－6）
ポーランド家族法の素描：法政研究　27－2/4（'61－3）
唯物史観と家族理論——玉城教授の批判に答えて：法政研究　28－1（'61－9）
我妻栄「親族法」【書評】：法律時報　33－10（'61－10）

碧海純一（あおみ・じゅんいち）
ウルリヒ・クルーク著「法理論」第2版【紹介】：法学協会雑誌　76－4（'60－5）
海外法学界における分析哲学の影響——特にスカルペリ著「分析哲学と法学」の紹介を中心として：法学協会雑誌　78－4（'61－10）
戦後日本における法解釈論の検討：恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60－5）
哲学および法学における因果関係：法律時報　32－12（'60－10）
法哲学——1960年代・法の将来と課題：ジュリスト　193（'60－1）
法哲学——法律学15年の回顧と展望：ジュリスト　217（'61－1）
ラッセルの戦争と平和の思想：思想　429（'60－3）

赤井　節
ベブライズム法思想史の研究序説＜1,2＞・法と政治　12－2,3（'61－7,11）

赤木幸吉
アメリカ合衆国軍人に対する刑事々件の起訴より公判開廷までの手続：裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

赤木須留喜
「地方自治の本旨」とその機能：思想　443（'61－5）
町村合併の理論と実態——千葉県西街道町における分町運動：東京都立大学法学会雑誌　1－1（'60－11）

赤塔政夫
法学入門＜22～24＞：民事研修　33,36,39（'60－1,4,7）

明石三郎
ゲルマン法における自力救済——ドイツ民法の制定まで：法学論集　10－5（'61－7）
ローマ法後期における自力救済：法学論集　9－5/6（'60－3）

明山和夫
婚姻を継続し難い重大な事由：民商法雑誌　45－1（'61－10）
生活保護請求権に関する若干の問題：都市問題研究　12－12（'60－12）
私通関係の法理：ケース研究　59（'60－6）

県　茂（あがた・しげる）
投資信託と金融構造の変化：綜合法学　35（'61－6）

烊場準一（あきば・じゅんいち）
国際私法の現代的課題——反致主義の理論的基礎づけへの一試論：一橋論叢　44－4（'60－10）
国際私法の上位性格について：一橋論叢　43－1（'60－1）
先決問題に関する訴訟地法説と準拠法説：一橋論叢　44－5（'60－6）

秋田成就
各国労働協約の比較法的研究——カナダ：労働問題　25（'60－6）
最低賃金法第11条について：社会労働研究　14（'61－12）
治安維持法と労働運動：社会労働研究　12（'60－12）

秋永　肇
政治学（法律学をいかに学ぶか）：綜合法学　22（'60－5）
R.M.マッキーヴァー（近代法思想をめぐる人々）：綜合法学　28（'60－11）

秋根久太
努力の甲斐があった国選弁護：自由と正義　11－11（'60－11）

秋場　正
生活保護法における自立助長の問題：社会事業　43－2（'60－2）

秋保一郎
南極条約の問題点：金沢法学　6－2（'60－11）

秋山哲治
騒擾罪と一地方の静謐を害する危険：法学セミナー　69（'61－12）
量刑における政治性と倫理性：同志社法学　12－5（'61－2）
量刑の問題点：綜合法学　26（'60－9）

秋山博一
明治漁業法の制定過程：漁業経済研究　8－3（'60－1）

浅井清信
いわゆる「暴力行使」について：立命館法学　34（'60－9）
公務員法，公労法：労働法　16（'60－10）
憲法における労働法の理想像：法律時報　33－3（'61－3）
政治ストの合法性について：菊地勇夫教授60年祝賀記念論文集　（'60－11）
西独の婦人労働とその保護立法の動向：立命館法学　39/40（'61－12）
団体行動としての争議行為：労働法　15（'60－4）
日本の危機を表象する裁判：法律時報　32－2（'60－1）
不当労働行為制度の検討：労働問題　23（'60－4）
三池争議における仮処方：労働法律旬報　388（'60－8）
わが国労働法の解釈について——組合の争議行為と使用者の争議対抗について：労働法学研究会報　11－33（'60－10）

浅井　敦
社会主義的憲法原理としての民主集中制＜1,2＞：社会科学研究　12－6（'61－3），13－1（'61－10）
チェコ共和国の新憲法：法律時報資料版　2（'60-12）
法の本質と社会主義的適法性：社会科学研究　12－3（'61－1）

浅井孝作
知能犯捜査実務＜1,2＞：捜査研究　77,78（'58－4,5）

浅賀健二
実務からみた履行確保制度の現状と問題点＜1~4完＞：家庭裁判月報　13－3~6（'61－3~6）

浅田久治郎
国税による差押と相殺の再検討：金融法務事情　264（'61－2）

浅沼　武
判例に見る取締役会の決議の効力：商事法務研究　212（'61－5）
身元保証責任の内容と範囲：商事法務研究　173（'60－4）

浅野　修
新聞と著作権：新聞研究　105（'60－4）

浅羽二郎
繰延資産の規定とその論拠——法務省民事局商法改正要綱試案について＜1＞：武蔵大学論集　9－1（'61－8）
負債たる引当金と準備金——法務省民事局商法改正要綱試案について＜2＞：武蔵大学論集　9－2（'61－11）

浅見勝也
災害対策基本法と警察の任務，権限について：警察研究　32－12（'61－12）

浅見公子
イギリス夫婦財産法の諸問題——戦後の判例の発展：法学会論集　10－1/4（'60－3）
遺産分割に関する諸問題＜2＞：判例タイムズ　12－13（'61－12）

浅見敏夫
直税逋脱犯の諸問題：産業経理　19－8,9（'59－8,9），20－1~3（'60－1~3）

朝川伸夫
放火と火災保険：時の法令　374（'61－1）
保険法におけるPrima facie beweis＜3,4完＞：法学新報　67－1,4（'60－1,4）

朝倉京一
矯正からみた短期自由刑の問題：刑政　71－4（'60－4）
矯正法講話＜9~32＞：刑政　71－1~72－12（'60－1~'61－12）
矯正法上の権限の行使について——とくにその代理行使について＜1~4完＞：刑政　72－5~8（'61－5~8）
現代刑事政策の根本問題：刑政　72－2（'61－2）
死刑執行方法を違法とする行政訴訟について：法律のひろば　13－11（'60－11）
受刑者と表現の自由：刑政　71－2（'60－2）
短期自由刑に関する課題と文献について：法務綜合研究所研究部紀要　1（'60－4）
わが行刑および行刑法の近代化と欧米の法制：刑政　71－10（'60－10）

朝日　茂
憲法25条の勝利——生活保護法の最低基準額に対する不服申立：中央公論　75－13（'60－12）

朝山豊三
商法再改正の諸問題：自由と正義　11－8（'60-8）

麻島昭一
信託業法施行による信託会社の変質＜上，下＞：金融経済　68,69（'61－8）

蔭　立明（あざみ・たてあき）
六・一五事件と警察官の行為：法律時報　32－11（'60－9）

芦川豊彦
組合の分裂と財産の帰属：法学研究（愛知）　2－2/1（'60－3）

芦田浩志
新安保条約の一見明白な違憲性——国会解散，国民の違憲審査による批准阻止のために：前衛　167（'60－4）
砂川事件差戻審——憲法と安保体制：法学セミナー　59（'61－2）

芦部信喜
憲法制定権力：宮沢俊義先生還暦記念論文集　1（'61－1）

蘆野　弘
極東運賃同盟事件の審判手続打切の決定について：財政経済弘報　801（'60－3）

東　季彦
出版権論：日本大学創立70年記念論文集　2（'60－10）
著作権をめぐる一，二の問題：日本法学　26－6（'61－2）
法と歌・法律家の歌：綜合法学　25（'60－8）

東　孝行
所有権の私法的制限に関する一考察——占有すべき権利による制限を中心として：神戸法学雑誌　10－4（'61－3）

畔上英治
裁判官，弁護士おかめ対談：法律時報　32－5（'60－4）

忌避試論＜1~3＞：法曹時報　12－11（'60-11）
民事訴訟の近代化——司法修習生のために：ジュリスト　194（'60－1）

厚谷襄児
中小企業等協同組合法による調整事業について：公正取引　122（'60－11）
独占禁止法をめぐる消費者の動き：公正取引　119（'60－8）

渥美東洋
訴訟的法考察方法の妥当領域：法学新報　68－12（'61－12）

尼崎禎三
酒気帯び運転についての一考察：警察学論集　13－12（'60－12）

天達忠雄（あまだつ・ただお）
日本社会保障の当面の機能＜1＞：明治学院論叢　56－1（'60－2）

天野和夫
学界回顧　1961年——法哲学：法律時報　33-13（'61－12）
現代における抵抗権：法律時報　32－1（'60-1）
判決と「世界法」の立場：法律時報　32－2（'60－1）

綾野芳一
地方公共団体における契約の性能と問題点：地方財務　78（'60－11）

荒　秀
米行政法におけるexhaustion of administrative remediesの法理：公法研究　23（'61－10）

荒井　勇
国会の特別委員会制度：時の法令　402（'61-10）
特別会計法のうつりかわり——わが国の財政制度史の一断面：時の法令　342（'60－2）

荒井貢次郎
都市行政上における賤民集落の存在形態——江戸・弾左衛門囲内の近代町制化するまでの場合：東洋法学　4－2（'61－3）

荒井政治
18世紀イギリスにおける会社企業の発達：経済論集　10－4（'60－12）

荒木誠之
合同労組と団体交渉：季刊労働法　11－4（'61－12）
米国災害補償法の形成　コモンローの法理と補償の法理：菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集（'60－11）

荒木貞一
最近の密入国事案：警察公論　15－5（'60－5）

荒瀬　豊
英国版チャタレー公判ノート：法律時報資料版　3（'61－1）
さまよえる憲法第9条：婦人公論　46-6（'60-6）
日本人の国家意識：思想　434（'60－8）
果して言論は自由であるか——研究者のノートから：世界　176（'60－8）

荒谷泰宏
ニューヨーク州銀行法改正について——外国銀行に関する規制改訂をめぐって：財経詳報　295（'60－3）

新井　章
朝日行政訴訟について：法律時報資料版　15（'61－12）
朝日事件控訴審——健康的で文化的な生活をめぐって：法学セミナー　59（'61－2）
教師の人事斗争をめぐる法律問題：労働法律旬報　372（'60－2）
軍事基地と土地使用の法的実態：法律時報　33－6（'61－6）
サド裁判について：法律時報資料版　13（'61-10）

新井清光
イギリス会社法と会計原則——損益計算書の作成規定をめぐって＜1，2完＞：早稲田商学　147,148（'60－7,9）

新井昭一
果樹農業振興特別措置法案：時の法令　346（'60-3）

新井尚賢
経過初犯者の研究——犯罪経過形式からみた：犯罪学年報　1（'60－7）

新井藤作
窃盗罪における保護の対象，特に刑法第242条の占有について：綜合法学　20（'60－3）

新井正男
先例拘束性とDistinguishingの機能＜2，3完＞：法学新報　67－10，11（'60－10，11）
判例法主義の課題：綜合法学　27（'60－10）

新井　裕
選挙違反とその取締体制：捜査研究　105（'60-9）
選挙と警察：警察研究　32－1（'61－1）

新井隆一
源泉徴収違憲訴訟の問題点：法律時報資料版　12（'61－9）
国家の不法行為責任の本質：早稲田法学会誌　10（'60－7）
税法における私人の行為序説＜1，2＞：税法学　118,119（'60－10,11）
ドイツ財産税法の研究＜8＞：税法学　111（'60-3）
日本国憲法第89条の理念：税法学　120（'60-12）

有泉　亨
ILO条約の批准と国内法：官公労働　14－7（'60－7）
ILO条約87号の批准をめぐって：労務管理研究　14（'60－7）
各国労働協約の比較法的研究＜1＞：労働問題　24（'60－5）
行政解釈と判決と立法——トラック法における現物給与をめぐって：社会科学研究　12－1（'60-8）
社宅管理上必要な法律実務：日労研資料　14－1（'61－1）
傷病と労働契約——イギリス法の場合：菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集　（'60－11）
大学湯事件——不法行為と権利侵害（判例百選）：ジュリスト　200（'60－4）
米国改正労働法の訳文と解説：季刊労働法　10－1（'60－3）

ユニオン・ショップは合憲か：法学教室　2(′61−11)
労働基準法の13年：労働法　16(′60−10)

有岡義夫
平和的説得の対象と限界＜1＞：判例時報　215(′60−3)

有賀正明
法廷はこれでいいか：法律時報　32−5(′60−4)

有賀美智子
米国反トラスト法の所謂域外適用について：公正取引　124,126(′61−1,3)

有倉遼吉
ILO条約と公務員問題：警察時報　16−6(′61−6)
アメリカ人の尊属殺：警察時報　16−9(′61−9)
朝日訴訟の問題点：法律時報資料版　15(′61−12)
行政行為の公定力：法学教室　1(′61−7)
行政事件訴訟特例法の改正要綱：警察時報　16−7(′61−7)
行政法における判例の意義：公法研究　22(′60−8)
区長公選をめぐる憲法問題：法律のひろば　14−11(′61−11)
公共の福祉：法学セミナー　53(′60−8)
公務員の不利益処分：警察時報　16−11(′61−11)
最高裁判所の違憲立法審査権：法学セミナー　46(′60−1)
裁判権　検察権と国会の自律権：時の法令　388(′61−5)
条例制定事項と規則制定の項：自治研修　30(′61−12)
砂川上告審判決について：ジュリスト　臨時増刊(′60−1)
全員一致は歓迎できない：法律時報　32−2(′60−1)
団体規制の憲法的意味——政治的暴力行為防止法案に関して：法律時報　33−8(′61−8)
農地買収処分と民法177年(判例百選)：ジュリスト臨時増刊　(′60−10)
破防法と飯守発言：警察時報　16−5(′61−5)
表現の自由について：綜合法学　40(′61−11)

有田喜十郎
慣例倉荷証券法について　返還，善意取得，罪則，喪失：商学論究　26,28(′59−6,12)
倉庫営業者の留置権について——特に倉荷証券発行の場合：商学論究　35(′61−9)
荷主と倉庫業者間の寄託契約関係からみた荷渡依頼書の性質：商事法務研究　196(′60−11)

有田定一
根抵当権取引の一般承継について：手形研究　4−8(′60−8)

有地　亨
財産分与の裁判：判例時報　213(′60−2)
夫婦間の義務のreciprocity——婚姻の身分上の効果の実効性と限界：私法　22(′60−10)
ポーランド家族法典(1950年6月20日法)：家庭裁判月報　13−6(′61−6)
ポーランド家族法の素描：法政研究　27−2/4(′61−3)
ユーゴースラヴィアの家族法と家族構造——その社会変動との関連において：家庭裁判月報　13−5(′61−5)
連帯債務の相続(判例百選)：ジュリスト臨時増刊(′60−10)

安藤　徹
国防と治安と——防衛二法案と自衛隊の二つの機能：世界　188(′61−8)

安藤仁介
天然の富と資源に対する永続的主権の現状：国際法外交雑誌　60−3(′61−11)

安藤彦太郎
戦前の満州経営論と日本移民：早稲田政治経済学雑誌　171(′61−10)

安養寺俊親
地方自治体の汚職と公務員：都市問題　51−4(′60−3)

庵治川良雄
裁判所の予算について：自由と正義　11−6(′60−6)

【イ】

イケ・ノブタカ
戦後総選挙における投票行動＜上，下＞：思想　434,435(′60−8,9)

五十嵐昭夫
条約批准と今後の労使関係：官公労働　14−7(′60−7)

五十嵐　清
学界回顧　1960年——外国法：法律時報　32−14(′60−12)
学界回顧　1961年——外国法：法律時報　33−13(′61−12)
瑕疵担保(判例百選)：ジュリスト　200(′60−4)
瑕疵担保と比較法＜2完＞：民商法雑誌　41−6(′60−3)
ドイツ法における行為基礎論の発展＜1＞——事情変更の原則に関する比較法的研究その三：法学会論集　11−4(′61−7)
西ドイツにおける私生活の私法的保護——一般的人格権理論の発展＜1＞：法学会論集　11−4(′61−7)
西ドイツ民法学の現況——附・ドイツ私法学者の経歴と業績：法学会論集　11−1(′60−11)
フランス法系における不予見理論について——事情変更の原則に関する比較法的研究その二：北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　(′60−3)
ボン憲法と契約の自由：法学会論集　10−1/4(′60−3

井手成三
公務員と労働基準法：法学研究(愛知)　2−1/2(′60−3)
労働基準法第7条の「公民としての権利」及び「公の職務」の範囲：法学研究(愛知)　3−2(′61−3)

井川克一
行政協定の改定：国際法外交雑誌　59−1/2(′60−7)

井倉大雄
松川事件と新聞報道：歴史評論　132(′61−8)

井口孝文
都市交通と新道路交通法：警察学論集　13−12(′60−12)

井口牧郎
商業登記の未了と手形振出人たる会社の代表者の手形上の責任：ジュリスト　202(′60−5)

井ケ田良治
封建社会における村落共有林と村落構造——役山・名主山・年寄山に関する資料：同志社法学　12−5(′61−2)
封建的村落共同体と村掟——丹波国保津村五苗集団の村落支配＜1〜4＞：同志社法学　13−1(′61−4)

井戸田　侃
いわゆる刑法と刑事訴訟法との調和理論について——改正刑法準備草案に関する一つの問題：立命館法学　34(′60−9)
競合犯——改正刑法準備草案批判：刑法雑誌　11−1/2(′61−3)
公判調書：法学セミナー　64(′61−7)
政防法案——問題点の解説と批判：法律時報資料版9(′61−6)
捜査の構造序説：立命館法学　39/40(′61−12)
包括一罪(判例百選)：ジュリスト　臨時増刊(′60−10)
六・一五事件と警察官の行為：法律時報　32−11(′60−9)

井上勝馬
譲渡担保権者に物的納税責任を認めた新国税徴収法と憲法違反の問題：バンキング　145(′60−4)
見せ金による株式払込金保管証明書の発行と取扱銀行側の民，刑事責任：バンキング　154(′61−1)

井上　茂
基本権の位置：法学教室　1(′61−7)
憲法の知識と意識：法学セミナー　62(′61−5)
小林直樹「法理学上」【紹介】：国家学会雑誌　74−11/12(′61−10)
司法理論と司法の機能——一つの提言：ジュリスト　199(′60−4)
法哲学(誌上読書指導)：法学セミナー　50(′60−5)

井上尚文
目的行為論について：司法研修所報　25(′60−7)

井上成章
高校教育における「教育の自由」の侵害について：法政論叢　2−1(′60−11)

井上正三
既判力の対象と裁判所の選択権——「請求」論争への一視点＜1，2＞：立命館法学　32,33(′60−3,6)
分割債務の既判力(判例百選)：ジュリスト　臨時増刊(′60−10)

井上正治
「意見の陳述」は何のためか(勾留理由開示をめぐって)：法律時報　32−11(′60−9)
過失犯における因果関係の役割：法律時報　32−12(′60−10)
過失犯の違法性：法学教室2(′61−11)
起訴状：法学セミナー　59(′61−1)
刑法第45条後段の解釈：判例評論　35(′61−3)
結果加重犯——改正刑法準備草案批判：刑法雑誌　11−1/2(′61−3)
再間接教唆について——一つの覚書：名城法学　11−2/3(′61−12)
財産犯の諸問題——最近の判例を中心として＜1〜11＞：警察研究　31−2,4〜11(′60−2;4〜11),32−3,10(′61−3,10)
司法権の消極性：ジュリスト　臨時増刊(′60−1)
政令325号事件(判例百選)：ジュリスト　200(′60−4)
租税法における黙秘権の制限：税経通信　16−4(′61−4)
道路交通法案にたいする刑事学的反省：法律時報　32−7(′60−6)
背任罪の本質——一つの覚書：法政研究　27−2/4(′61−3)
松川事件——破棄差戻判決の拘束力(判例百選)：ジュリスト　臨時増刊(′60−10)
密出国事件における二つの問題点：判例評論　27(′60−5)

井上峯亀
当事者から見た裁判所：司法研修所報　25(′60−7)

井上祐司
改正刑法準備草案における故意，過失の批判：法律のひろば　13−7(′60−7)
交通事故判例における因果関係の予見可能性：刑法雑誌　10−2(′60−3)
自救行為(判例百選)：ジュリスト　臨時増刊(′60−10)
路切事故の実態＜1,2＞：法律時報　33−2,3(′61−2,3)
路切事故の実態——その刑法的処理状況の分析：法政研究　27−2/4(′61−3)

井上弥太郎
36年度犯罪白書について：警察研究　32−10(′61−10)

井上義光
水資源の開発利用をどうするか——治水・利水の歴史とその問題点および対策について：時の法令　371(′60−12)
防災基本法(仮称)について：季刊防災　20(′61−4)

井出嘉憲
鹿児島県農村調査覚書——地域社会における政治と行政＜1＞：社会科学研究　12−5(′61−3)
行政広報への一つの接近＜1,2＞：自治研究　37−4,5(′61−4,5)

伊坂重昭
道路交通法＜1〜11完＞：研修　151〜159,161,162(′61−1〜9,11,12)
払込の仮装をめぐる刑事責任：手形研究　4−12(′60−12)

伊沢孝平
空中運送法：綜合法学　37(′61−8)

航空の自由と土地所有権：綜合法学　23(′60－6)
航空の自由と土地所有権：法学論集　10－1(′60－6)
少数株主の保護：綜合法学　36(′61－7)
商慣習法：法学セミナー　54(′60－9)
商法改正の問題点：綜合法学　30(′61－1)
耐空能力担保義務：法学論集　11－2(′61-12)
不可抗力と民事責任：法学論集　9－5/6(′60-3)

伊沢　実
東商の株式会社法改正意見＜1～4完＞：財政経済弘報　798～802(′60－2,3)
東商の株式会社法改正意見について＜上，下＞：財経詳報　290,292(′60－2)

伊手健一
政治権力に就ての欧州学者の諸説＜1～3＞：政経論叢(国学院)　9-3,4,10-3(′61-1,3,10)

伊東　乾
裁判の対象と訴訟の対象：法学研究　33－2(′60－2)
請求：法学セミナー　65(′61－8)
訴訟物理論昨今の動向：綜合法学　36(′61－7)
民事裁判の対象：法学研究　34-12(′61－12)
民事訴訟における参加の諸形態とその特質：法学教室　2(′61-11)
Albrecht Zeuner: Die Obiektiven der Rechtskraft im Rahmen Rechtlicher Sinnzusammenhange. Zur Lehre über das Verhältnis von Rechtskraft und Entscheidungsgründen im Zivilprozess. Tübingen, 1959, XII u S. 177 mit Literaturverzeichnis【書評】：民事訴訟雑誌　6(′60－3)

伊藤秋雄
共犯の基本理論：警察公論　16－11(′61－10)
新証拠の問題点：ジュリスト　239(′61－12)

伊藤昭一郎
イタリア憲法の発展と特質＜1＞：法学志林　58-2(′60－11)
イタリア人民党の形成過程＜1＞：法学志林　57-3/4(′60－1)

伊藤　勲
大正時代に於ける無産政党運動＜1，2＞：上智法学論集　4－1(′60－5)，4－2(′61－11)
日本政党の起源：法学新報　67－6(′60－6)
明治時代に於ける社会主義政党運動＜2＞：上智法学論集　3－2(′59－10)
明治社会主義政党綱領のイデオロギー：上智法学論集　5－1(′61－4)

伊藤　栄
パッサウ司教聖堂(バイエルン)所領の研究＜4＞：政経論叢(国学院)　9-3(′61－1)

伊藤茂男
借地法改正の方向と銀行取引に及ぼす影響：バンキング　146(′60－5)

伊藤栄樹
鑑定留置：警察学論集　14－7(′61－7)
検察庁法逐条解説＜1～4＞：研修　159～162(′61－9～12)
戸別訪問：捜査研究　105(′60－9)
死刑と憲法第31条：警察研究　32－9(′61－9)

伊藤繁樹
欧州における工業所有権事情について：パテント　14-12(′61-12)
諸外国における特許制度の運用：経団連月報　9－12(′61-12)

伊藤　迪
経済的同志集団と政治的同志集団：政経論叢(広島)　9－3/4(′60－3)
体制集団としての国家：政経論叢(広島)　10－4(′61－4)

伊藤利夫
扶養料の求償：自由と正義　11－8(′60－8)

伊藤不二男
ヴィクトリアの国際法理論における totus orbis の観念について：法政研究　27-2/4(′61－3)
ヴィクトリアの正当戦争論——国際法学説史の研究＜1，2完＞：国際法外交雑誌　60-1,2(′61－6,8)
自衛権の法史：国際法外交雑誌　59-1/2(′60-7)

伊藤正一
株式会社の計算に関する商法改正の要綱について：税経通信　15-12(′60－11)
商法改正要綱における流動資産評価規定について：産業経理　20－11(′60－11)

伊藤正英
ストライキの本質とピケット——争議行為における実力行使の法理的考察：警察学論集　13－5(′60－5)
法秩序の中の実力行使：捜査研究　106(′60－10)
ロックアウトの正体——理論と実際＜1，2完＞：捜査研究　98,99(′60－12)
労働争議とピケット——ピケット法談：警察時報　15－7(′60－7)

伊藤正己
アメリカ法入門＜1～12完＞：法学セミナー　49～60(′60－4～′61－3)
イギリスの最高裁判所：法の支配　4(′61－1)
イギリスのプライバシー権論議——上院通過の法案を中心に：世界週報　42－15(′61－4)
強行採決と憲法：朝日ジャーナル　2－24(′60－6)
憲法判例の変更：公法研究　22(′60－8)
公安条例合憲判決批判：ジュリスト　208(′60-8)
国民審査の憲法上の意義：法律時報資料版　1(′60－11)
裁判官の任命欠格事由と失官事由：法曹時報　12－3(′60－3)
裁判所規則の形式的効力——アメリカにおける最近の動向に関連させて：国家学会雑誌　73－8(′60－6)
裁判批判と言論の自由：新聞研究　100(′59-11)
最高裁「砂川判決」批判：法学セミナー　47(′60－2)
自由な言論の責任：世界　184(′61－4)
集団行動の自由の本質——公安条例判決の意味するもの：中央公論　75-10(′60－9)
砂川判決の法律的問題【共同研究】：ジュリスト臨時増刊(′60－1)
税関検閲と憲法21条——関税定率法21条の改正：ジュリスト　223(′61－4)
平事件最高裁判決をきいて：ジュリスト　218(′61－1)
犯罪の煽動と憲法21条(判例百選)：ジュリスト臨時増刊(′60－10)
表現の自由と公共の福祉：新聞研究　111(′60-10)
プライバシーに関するアメリカの判例：法の支配　5(′61－8)
法の支配と自由な言論：思想　438(′60－12)

伊藤政寛
ジョージ五世の治世と貴族院改革問題：法学研究　33－2(′60－2)

伊藤政吉
準少年保護事件の本質：ジュリスト　198(′61-3)
準少年保護事件の特質：家庭裁判月報　12-8(′60－8)
道路交通保護事件の処理：家庭裁判月報　13－10(′61-10)

伊藤道保
改正不動産登記法の比較法的考察：法律時報　32-7(′60－6)
渡辺洋三「法というものの考え方」【書評】：法社会学　11(′61－5)

伊藤　満
地方自治法から見た日本国憲法：政経論叢(広島)　10－4(′61－4)

伊藤律男
相続の承継について：法文論叢　13(′61-10)

伊藤　寧
許された危険に関する若干の考察：海上保安大学校研究報告第1部　(′61)

伊福部舜児
仮出獄者の再犯まで——主として社会的期待から：犯罪学年報　1(′60－7)
保護観察少年の成行と再犯予測の統計的研究：法務総合研究所研究部紀要　2(′60－2)

伊従　寛(いより・ひろし)
かん詰の不正表示を規制：時の法令　380(′60-3)
独占禁止法の国際的適用について：財経詳報　297(′60－3)

居林次雄(いばやし・つぎお)
河井信太郎著「株式会社役職員の刑事責任」【書評】：一橋論叢　43－1(′60－1)

飯倉一郎
所謂真正訴訟事件について：法学志林　58-2(′60－11)

飯島久雄
法的観点から見た小規模な株式会社＜1～3＞：商事法務研究　184(′60－7)，203,204(′61-2)
法的観点から見た有限会社：商事法務研究　179(′60－6)

飯田忠雄
海賊の罪：法律のひろば　14-12(′61-12)
戦前におけるわが国の海上保安制度：海上保安大学校研究報告第1部　(′61)
取締権の性質とその海上における行使の限界：海上保安大学校研究報告第1部　35年(′61-3)

飯田正義
中央銀行法の史的展開＜2，3＞：産業経済研究　17(′59-8),20(′60－5)

飯塚浩二
アメリカ人のみた日本，日本人のみた日本：思想　435(′60－9)
国際信用は果たして下ったか：中央公論　75－9(′60－8)

飯塚重男
任意的当事者変更：上智法学論集　5－2(′61-11)

飯野完利
衆議院議員総選挙における後藤派をめぐる買収事犯の実態：捜査研究　105(′60－9)

飯野定吉
風俗営業等取締法に規定する警察官の立入権：警察学論集　13－4(′60－4)
風俗営業等取締法の運用をめぐる当面の問題：警察公論　16-13(′61－12)
風俗営業等取締法の運用に関する問題点：警察公論　16－9(′61－8)
風俗営業取締法改正後における風俗営業等の実態と取締の面からみた二，三の問題：警察学論集　13－10(′60－10)

飯野利夫
商法改正要綱における資産評価条項の吟味：産業経理　20－10(′60－10)

家崎　宏
婚姻法改正の問題点：中京商学論叢　6－4(′60-2)
財産分与について：中京商学論叢　8－1(′61－9)

家田重蔵
台湾問題についての基本的考察：国際問題　15(′61－6)

家永三郎
「消えた警察官」と国家権力：世界　182(′61-2)
刑訴法改正の歴史的背景：法律時報　33-13(′61－12)
裁判官による法秩序への攻撃——飯守談話の意味するもの：法律時報　33－4(′61－4)
最高裁は新生の道を歩め：法学セミナー　56(′60－11)
日本における裁判の思想史的考察——特に戦後の裁判をめぐる思想的葛藤について：思想　432(′60－6)
松川裁判の歴史的意義：中央公論　76-10(′61-10)
歴史の教訓：世界　188(′61－8)

生田正輝(いくた・まさてる)
都市有権者婦人層におけるマス・コミュニケーション行動——単純集計に関する報告：法学研究　33－3(′60－3)

幾代　通
アメリカの不動産権原保険会社など：民事研修　33(′60－1)
宇奈月温泉事件——権利の濫用(判例百選)：ジュリスト　200(′60－4)
権利証：ジュリスト　203(′60－6)
地震売買と権利の濫用：判例評論　34(′61－2)
地面師と不動産取引事故：判例評論　26(′60-4)
相続欠格：中川善之助教授還暦記念論文集　6(′60－10)
法定地上権(判例百選)：ジュリスト　臨時増刊(′60－10)

モデル小説とプライバシー問題：法律時報　33－5（'61－5）

池内三郎
法律扶助の実態と事件の種々相：自由と正義　11－11（'60－11）

池上　努
外国人登録法第3条の解釈に関する問題点：警察学論集　14－1（'61－1）
出入国管理の話：法曹　122（'60－12）

池川隆徳
韓国の養子制度について：戸籍　149（'61－1）

池川良正
沖縄の戸籍と住民登録の断面：戸籍　140（'60－5）
公証制度について：金融法務事情　252（'60－9）
私法の基本原則：民事月報　15－5（'60－5）
借家法・借地法＜1～3＞：民事月報　16－3,4,8（'61－3,4,8）
相続について：民事月報　15－12（'60－12）
表見代理：民事月報　15－10（'60－10）
民事調停法：民事月報　16－2（'61－2）

池沢登起夫
公共企業体職員等共済組合法の一部改正について：共済新報　1－4（'60－7）

池庄司敬信
デカブリストの思想と行動——その試論的考察＜1，2完＞：法学新報　67－2,3（'60－2,3）
マルク・ラエフのスペランスキー研究：法学新報　67－6（'60－6）
A. N. ゲルツェンの政治思想：法学新報　67－11（'60－11）

池島宏幸
代表取締役の業務執行権限に関する一考察——取締役会の決議によらない代表取締役の業務執行行為の効力と関連して：法経論集（静岡）　11（'61－2）
20世紀におけるイギリス企業法の変遷とその背景＜1＞：法経論集　12（'61－11）

池田　清
ケア・ハーディの独立労働主義＜1～3＞：法学雑誌　7－1，3（'60－7,12），8－1（'61－7）

池田浩一
裁判所と当事者：法学セミナー　66（'61－9）
任意競売における異議（判例百選）：ジュリスト臨時増刊（'60－10）
保全訴訟を如何に理解するか：綜合法学　26（'60－9）
H. G. Hanbury；English Courts of Law. 1953：民事訴訟雑誌　7（'61－2）

池田耕三
不正競争防止法と商号権の侵害：島根大学論集人文科学　10（'61－3）

池田　栄
新自然法学の暗しょう：法学論集　10－3（'60－12）
ドイツ政治史と学問の自由：法学論集　9－3/4（'60－3）

池田鹿雄
民事訴訟手続における判決確定の時期：裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集　（'60－11）

池田末利
廟制続考——祧の本質と文・武二祧説：広島大学文学部紀要　16（'59－9）

池田竜彦
株式会社における資本の企業会計法的意義——経営経済上の資本との同質性と異質性：産業経理　21－4（'61－4）
配当可能利益に対する商法の立場：会計　77－5（'60－5）
法における貸借対照表の性格——商法における株式会社計算規定改正に関する基本問題：産業経理　20－7（'60－7）

池田輝孝
出国の権利は侵されている——白山丸事件弁論要旨：人権のために　6（'60－8）
垂水裁判官の意見に対する私見：人権のために　3（'59－　）

池田直視
社宅使用と明渡事由：商事法務研究　165（'60－2）
労働者経営参加の意義——経営協議会における経営参加の限界とその作用を中心として：菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集　（'60－11）

池田文雄
宇宙法と領空主権：綜合法学　37（'61－8）
宇宙法の課題：法律のひろば　14－7（'61－7）
宇宙法の発展：外交時報　32（'61－3）
改正国際航空運送条約に対する批判と根本的改正のため私見＜1，2完＞：法学新報　67－5,7（'60－5,7）
航空機の上空通過に伴う法律問題＜2＞：空法　4（'60－2）
ドイツ1959年航空法について：空法　5（'60－4）
南極条約をめぐって：外交時報　19（'60－2）
U2型機事件と国際法：外交季刊　5－3（'60－　）

池田　誠
広東護法政府の成立と軍閥反動——国民党改組の一前提＜1＞：立命館法学　32（'60－3）
内藤湖南の辛亥革命論：立命館法学　39/40（'61－12）
毛沢東の「論持久戦」について——政治における能動性の問題：立命館法学　34（'60－9）

池田政章
憲法＜1，2完＞：法学セミナー　51,52（'60－6,7）
警察予備隊違憲訴訟（判例百選）：ジュリスト　200（'60－4）
最高裁判所論：中央公論　75－11（'60－11）
集団示威運動の自由か治安の維持か——公安条例判決の動向から：ジュリスト　208（'60－8）
ドイツ型憲法裁判の系譜と特質＜1～3＞：国家学会雑誌　73－6,8（'60－3，6），74－1/2（'60－11）
プログラム規定における消極性と積極性——いわゆる朝日訴訟判決に関連して＜1＞：立教法学　3（'61－6）

池原卓朗
行政事件訴訟特例法及び訴願法の改正について：地方自治　161（'61－5）

池原秀雄
国際私法——法律学15年の回顧と展望：ジュリスト　217（'61－1）

諫山　博
三池事件法廷斗争における弁護士制裁事件の問題点：労働法律旬報　418（'61－6）
三池争議と仮処分＜上，中，下＞：労働法律旬報　389～391（'60－8，9）

石尾芳久
契沖阿闍梨校合本「令義解」——岩崎美隆手写＜1＞：法学論集　10－6（'61－9）
谷垣守手写本「残律」：法学論集　10－4（'61－6）
谷垣守自筆稿本「残律抄」：法学論集　10－5（'61－7）
太政官と唐の三省：法学論集　9－3/4（'60－3）
日本古代の刑罪体系：法制史学会創立10周年記念論文集　（'60－4）
封建制度の成立：法学論集　9－5/6（'60－3）

石井　清
性犯罪者と累犯：犯罪学年報　1（'60－7）

石井五郎
公務員の国損弁償責任に関する西ドイツの立法例：レファレンス　125（'61－6）
西ドイツの連邦政府職務規則訳：レファレンス　10－6（'60－6）

石井幸一
独占禁示法の基本問題＜1，2完＞：財政経済弘報　902,904（'61－11）

石井秀平
全面的な改正気運の鉱業法：時の法令　341（'60－2）

石井春水
検証（実況見分）調書の作成＜1～3＞：捜査研究　98,101,102（'60－1,4,5）
告訴告発の取扱について＜1～5完＞：捜査研究　91,92,94～96（'59－6,7,9～11）

石井照久
団体交渉における連合体の地位：菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集　（'60－11）
法的観点から見た有限会社：商事法務研究　179（'60－6）
労使関係をめぐる若干の問題——労働組合の組織と機能：中央労働時報　364（'61－3）

石井芳光
裁判所侮辱と言論・出版の自由——間接侮辱立法の違憲性：英米法学　11（'60－5）

石井良助
縁切寺——東慶寺の場合＜1～3完＞：法学協会雑誌　76－4（'60－5），77－2（'60－12），77－4（'61－2）
古法漫筆——続江戸時代＜1～25完＞：時の法令　350～376（'60－5～'61－1）
続古法制雑考＜2＞：国家学会雑誌　73－9/10（'60－7）
平松義郎「近世刑事訴訟法の研究」【紹介】：国家学会雑誌　74－9/10（'61－7）
法の公示方法の沿革：法学教室　2（'61－11）

石井良三
交互尋問における当事者と裁判官：判例時報　245（'61－1）
交互尋問における問題点の所在：判例時報　244（'61－1）
交互尋問の現状と改廃論：判例時報　243（'60－12）
裁判官尋問によせて：判例時報　246（'61－1）
裁判と和解・調停：判例時報　258（'61－5）
最高裁判所の機構改革問題をどう考えるか：法曹時報　13－2（'61－2）
事件の構成：判例時報　257（'61－5）
集中審理：判例時報　253（'61－4）
書証のウエイトとその濫用：判例時報　256（'61－5）
釈明権と釈明義務：判例時報　248（'61－2）
釈明権の行使＜1～3＞：判例時報　250～252（'61－3）
釈明の機能：判例時報　249（'61－2）
審理と判決：判例時報　254（'61－4）
訴訟費用の裁判は死んでいる——弁護士費用の訴訟費用化：判例時報　212（'60－2）
訴訟の促進：判例時報　255（'61－4）
判例における社会通念＜1，2完＞：判例評論　31，32（'60－10，11）
不利益負担による民事裁判の強化——論議の素材として：ジュリスト　198（'60－3）
民事法廷の技術：法律時報　33－12（'61－11）

石外克喜（いしがい・かつき）
不法原因給付に関する一考察：経済理論　54/55（'60－5）
ラウフケ，F.「契約自由と独逸連邦共和国憲法」【紹介】：経済理論　58（'60－11）

石神兼文
消費貸借における暴利行為：鹿児島大学社会科報告　6（'59－7）
未登記不動産用益権の保護——借地借家法改正要綱第21を通して：鹿児島大学社会科報告　8（'61－8）

石川　明
家事審判事項としての財産分与請求権の問題点：法学研究　33－2（'60－2）
執行請求権論：法学研究　34－6（'61－6）
不当執行論：法学研究　34－7（'61－7）

石川栄仁郎
共産党違憲アメリカ最高裁決定要旨＜1，2＞：法律時報資料版　13,14（'61－10,11）

石川吉右衛門
最近の最高裁判例とその特色：日労研資料　475（'60－5）
西ドイツの労働裁判所：官公労働　14－9（'60－9）
西ドイツの労働裁判と労使の裁判官：法の支配　4（'61－1）
労働組合法第7条第1号と同第3号との関係——「労働組合の正当な行為」の意味に関連して：菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集　（'60－11）
労働法——法律15年の回顧と展望：ジュリスト　217（'61－1）
1960年代の労働法の課題と展望：ジュリスト　195（'60－2）

石川　滋
戦後東独人民革命と国家装置の問題：社会科学研究　12－5（'61－3）

石川　武
学界回顧　1960年——法制史：法律時報　32－14（'60－12）

学界回顧　1961年——法制史：法律時報　33−13（'61−12）
クレッシェル「ゲルマン法におけるジッペ」【紹介】：法学会論集　11−4（'61−7）
国王自由人学説とその問題点——中世初期ヨーロッパ国制史研究への一つのアプローチ＜1＞：北大法学論集　12−2（'61−12）

石川忠雄

抗日民族統一戦線形成過程における中国共産党とコミンテルン：法学研究　34−2（'61−2）
中国共産党指導部に関する一考察——八期中央委員を中心として：法学研究　34−7（'61−7）
中山鑑事件，「党務整理案」問題に関する中国共産党関係資料：法学研究　33−10（'60−10）
福建人民革命政府事件と中国共産党：法学研究　33−2（'60−2）

石川恒夫

審判による扶養料支払の始期について：法学会論集　11−2（'61−3）
養育費支払義務をめぐる諸問題：北大法学論集　12−1（'61−9）

石川利夫

兄弟姉妹の直系卑属（甥姪）の代襲相続権——近代的相続制への視点からの考察＜1＞：横浜市立大学論叢　12−1（'60−10）

石川英夫

各党の農業基本法を批判する：社会思想研究　13−4（'61−4）
農業基本法案と日本農業の曲り角：法律時報資料版3（'61−1）
農業基本法をめぐる動き：農業協同組合　5−3（'59−3）
農業基本法論議：協同組合経営研究月報　90（'61−3）

石川　弘

農業近代化資金制度に三立法——農業近代化助成資金の設置と農業信用基金協会の設立：時の法令　389（'61−6）

石川　浩

ドイツ民主共和国憲法の本質：宮崎大学学芸学部紀要社会科学　8（'60−2）

石川芳雄

刑訴法の実際問題——逮捕状の有効期間：警察時報　16−4（'61−4）

石黒善一

現行少年法についてなされたある立法意見に対する批判：法律のひろば　13−3（'60−3）

石黒拓爾

西ドイツにおける団体交渉：季刊労働法　11−1（'61−3）
西ドイツにおける労使関係——団体交渉と労働争議について：労働経済判例速報　12−6（'61−2）

石崎政一郎

労働災害の補償における法の動向：菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集　（'60−11）
労働法における雇用の安定の問題：立教法学　2（'61−2）

石田和外

法の支配：自由と正義　11−10（'60−10）

石田喜久夫

イタリア民法典——第3編所有権＜1，2＞：経済研究（大阪府大）　19,20（'61−7，9）
事実上の相続放棄：中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60−8）
特定物売買における所有権移転時期（判例百選）：ジュリスト　臨時増刊（'60−10）
ファルック「金銭とその物権法における特殊な地位」【紹介】：阪大法学　36（'60−10）

石田祐六

火災保険の諸問題：綜合法学　3/2（'61−3）
損害保険においての損害塡補理論の概説：損害保険研究　23−1（'61−2）

石田　雄

鹿児島県農村調査覚書——地域社会における政治と行政＜1＞：社会科学研究　12−5（'61−3）
現代日本における「体制」と「組織」：思想　434（'60−8）
組織の生成から消滅まで：社会科学研究　12−1（'60−8）
なぜ政治は国民のものにならないか——院内主義の基盤とそれを克服する途：中央公論　75−9（'60−8）

石津四郎

証券取引法をめぐる諸問題：経理研究　6（'60−11）

石塚英夫

徳川幕府刑法における過失犯：法政研究　27−2/4（'61−3）
徳川幕府刑法における共犯＜3＞：法政研究　27−1（'60−7）

石戸谷重郎

ホープ所有についての法史的一考察：奈良学芸大学紀要人文社会科学　10−1（'61−3）

石野清治

精神薄弱者福祉法：時の法令　348（'60−4）

石橋浩二

酩酊運転の刑事責任：ジュリスト　214（'60−11）

石橋主税

フランスにおける解雇権濫用の法理：九大法学　4（'58）

石橋　信

現代自然法の性格——砂川事件の最高裁判所の判決に関連させて：警察研究　31−2（'60−2）
公衆・大衆・群集の考察：警察研究　31−8（'60−8）
古代自然法の変容過程の研究＜1〜4完＞：自由と正義　12−7〜10（'61−7〜10）
法定犯における禁止の錯誤その他——公職選挙法第146条の解釈を中心として：警察研究　32−4（'61−4）
法の支配と司法の本質——田中博士の「法の支配と自然法」に対する疑義：ジュリスト　195（'60−2）

石部雅亮

プロイセン普通国法の精神的基礎——C. G. スアレツの講義：経済論叢　33−3（'60−9）
マルチン・ルターの婚姻理論その序説的考察——近代的家族法形成史の一断面＜1＞：経済論叢　33−5（'61−11）
マルチン・ルターの離婚論——近代的婚姻法形成史の一齣：法制史研究　11（'61−3）

石見隆三

市町村税関係の改正について：財政経済弘報　873（'61−5）
地方税犯則取締について＜1〜3＞：自治春秋　10−11，12（'60−11，12），11−1（'61−1）

石村善治

北九州五市行政における協力方式——一部事務組合を中心として：福岡大学研究所報　3（'60−7）
都市の大気汚染と煙害——福岡県公害防止条例の実態を中心として：法律時報　32−3（'60−2）

石村善助

鉱害の賠償と予防：法律時報　32−3（'60−2）

石木雅男

市民社会の発展と法の解釈：恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60−5）
制限超過の利息支払をめぐる法律問題：判例評論　30（'60−9）
法社会学の課題——法解釈学との関連において：法社会学　11（'61−5）
笠掛松（判例百選）：ジュリスト　200（'60−4）

石本泰雄

疑惑をました既成事実——新安保の内容と残された道：世界　176（'60−8）
明治期における仲裁裁判の先例＜1，2＞：法学雑誌　7−4（'61−3），8−1（'61−7）

泉　久雄

相続人の責任の根拠に関する覚書：専修大学論集　25（'61−1）
相続人の無限責任：法学　25−2（'61−5）
遺言の取消：中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60−8）

泉　正憲

実体法と手続法の調和：ジュリスト　205（'60−7）

泉美之松

税制調査会の課題と税制改正の問題点：財経詳報　387（'61−6）
租税特別措置改正の方向＜1，2完＞：財政経済弘報　844,845（'60−11，12）
租税特別措置法の改正について＜1，4完＞：財政経済弘報　860〜863（'61−3）

泉谷康夫

現存平安時代戸籍の考察：日本史研究　39（'58−11）

磯崎辰五郎

会議の公開と裁判の公開：甲南法学　2−3（'61−12）
特別権力関係の理論と日本国憲法：恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60−5）

磯田　進

鹿児島県農村調査覚書＜3＞——旧郷士制村落の社会構造＜上＞：社会科学研究　13−2/3（'61−12）
組合活動における軽微な逸脱を理由とする解雇と不当労働行為：中央労働時報　358（'60−10）

磯野誠一

審判による扶養義務：中川善之助教授還暦記念論文集　5（'60−6）

磯部喜一

家内労働と労働組合——ヘップサンダル職の労働組合結成について：ジュリスト　212（'60−10）

磯村　哲

詐害行為の要件——不動産の売却（判例百選）：ジュリスト　臨時増刊（'60−10）
ホイエル「プロイセン一般国法と階級斗争」【書評】：法学論叢　69−4（'61−7）

板木郁郎

債権者取消権（判例百選）：ジュリスト　200（'60−4）

板倉　宏

国税通則法制定に関する批判：税法学　132（'61−12）
目的的行為論の問題点：綜合法学　41（'61−12）

板橋郁夫

ミシシッピー水資源保存開発法：法学研究（愛知）　3−1（'61−12）
A bibliography on water law in the U.S.A.：法学研究（愛知）　2−1/2（'60−3）

板山幸男

監査役の権限と責任：経済学季報　10−1（'60−5）
支配人制度：経済学季報　28（'61−9）
日本民法典の指導原理の変遷について＜1，2＞：経済学季報　9−1/2（'59−11），9−3/4（'60−2）

一円一億（いちえん・かずお）

三権分立：綜合法学　37（'61−8）
審査権の放棄を悲しむ：法律時報　32−2（'60−1）
天皇：法学セミナー　50（'60−5）
法の適用：恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60−5）

一又正雄（いちまた・まさお）

安保条約をめぐる国会論争：綜合法学　20（'60−3）
宇宙法の問題点：綜合法学　37（'61−8）
国際平和と国連事務総長の役割——国際文官制度の危機：国際問題　21（'61−12）
国際法における「国内事項」：綜合法学　35（'61−6）
自衛権：綜合法学　18（'60−1）
南極条約：ジュリスト　204（'60−6）
密入国と政治亡命：ジュリスト　218（'61−1）

一柳勝晤

残された諸問題——原子力産業労働者の放射線障害について：ジュリスト　236（'61−10）

市川三郎

ホワイトヘッドの戦争，平和思想：思想 429（'60−3）

市川四郎

戸籍と家事審判制度：戸籍　150（'61−1）
代襲相続の要件：中川善之助教授還暦記念論文集　6（'60−10）

市川定三

累犯受刑者の心理：犯罪学年報　1（'60−7）

市川秀雄
刑事裁判の原理としての被害賠償：法学新報　67−5（'60−5）
刑法はいかに動いているか＜1，2＞：季刊刑政　8−3，4（'60−9，12）
子どもたちの人権：時の法令　387（'61−5）
故意に因らざる（過失に因る）犯罪の増加に原因する最近の刑法上の諸問題：季刊刑政　8−1（'60−3）
犯罪予防及び犯罪者の処遇に関する国際連合ロンドン会議：ジュリスト　219（'61−2）
立法事業と改正刑法準備草案＜1，2＞：法学新報　67−10，12（'60−10，12）

市川房枝
総選挙と金 ——11月総選挙に見る資金の流れ：朝日ジャーナル　3−19（'61−5）
夜の女の法廷：文芸春秋　38−1（'60−1）

市川昌博
ソ同盟最高会議：法政論叢　9（'58−11）

市倉　誠
身体障害者雇用促進法案：時の法令　346（'60−3）

市原昌三郎
行政手続と行政訴訟との関係：公法研究　23−（'61−10）
西独の新しい行政裁判法：時の法令　356（'60−7）
西独の基本法改正案：時の法令　366（'60−10）
西独法制こぼれ話：時の法令　340（'60−1）
戦争の西ドイツ公法学：一橋論叢　44−4（'60−10）

市原正七
手形上における署名の諸問題 ——とくに署名代理を中心として：三重法経　9（'59−10）

市丸吉左衛門
改正法人税法取扱通達解説＜上，下＞：財経詳報　405，406（'61−10）
割賦販売等の取扱通達解説 ——法人税：財経詳報　289（'60−2）

市村光一
少年院送致をめぐる諸問題 ——家庭裁判所側よりみた：刑政　71−6（'60−6）
少年保護制度に関する若干の考察：刑政　72−12（'61−12）

市村　潤
集団ロールシャッハ・テストによる非行予測：家庭裁判月報　12−5（'60−5）

出射義夫（いでい・よしお）
検察の実践的説得機能：ジュリスト　223（'61−4）
法の支配について：警察時報　16−1（'61−1）

稲垣富士男
19世紀における英国会社法の会計規定：商学論纂　1−3（'61−1）

稲垣正明
社会政策と法律学：綜合法学　39（'61−10）
部分ストと部分的ストにおける賃金カットについて：法学紀要　3（'61−6）
法と政策との関係 ——社会政策と労働法の関連において：日本法学　27−5（'61−12）

稲垣良典
自然法の論理：法哲学年報　1960年（'61−8）
プロテスタント神学と自然法：世紀　132（'61−5）
B．F．ブラウン編「自然法入門」：法哲学年報　1960年（'61−8）

稲子恒夫
政治学体系Ⅵ ——政治機構：法学セミナー　59（'61−2）
ソビエトにおける個人財産と家族：法律時報　33−9（'61−9）
ソビエト法における事実婚と婚外子の保護：法政論叢　14（'60−5）
ソ連憲法の最近の動向：比較法研究　21（'60−10）
農民家族の財産と相続：法政論集　13（'59−12）

稲子宜子
農民家族の財産と相続：法政論集　13（'59−12）
農民的土地所有と農民家族の相続及び財産分割：日本福祉大学研究紀要　3（'59−12）

稲田俊秀
行刑の緊急事態性と人権保障：刑政　71−4（'60−4）

稲村良平
割賦販売の法律問題 —— 仙台に於ける実情を中心にして：東北法学会雑誌　11（'61−12）

稲葉三千男
新安保体制下の言論操作と反体制勢力：思想　441（'61−3）

稲本洋之助
新農業法制の性格と問題：法律時報　33−8（'61−8）
戦後治安立法の性格と背景 —— 政妨法案をめぐって：思想　446（'61−8）
ナポレオン民法典（1804年）における家族法 —— その近代法としての論理的可能性について：社会科学研究　12−2（'60−11）
フランスの養子法：比較法研究　20（'60−5）

稲脇修一郎
商事売買契約法史の研究＜1〜9＞：貿易クレームと仲裁　7−8〜10（'60−8〜10），8−1，8〜12（'61−1，8〜12）
船内荷役と運送人固有の義務：貿易クレームと仲裁　7−5（'60−5）
米国の契約挫折理論＜1，2＞：貿易クレームと仲裁　6−12（'59−12），7−1（'60−1）

乾　昭三（いぬい・しょうぞう）
使用者責任：法学セミナー　47（'60−2）
使用者責任（判例百選）：ジュリスト　200（'60−4）
幼児引渡の強制執行法（判例百選）：ジュリスト臨時増刊（'60−10）

猪木正道
政治的危機の底にあるもの：中央公論　75−9（'60−8）
日本の中立は可能か？ —— 民衆のムード・中立主義：文芸春秋　38−8（'60−8）
レーニン主義と毛沢東思想＜2＞：法学論叢　67−5（'60−8）

猪熊兼繁
板倉簏屋証文＜1，2完＞：法学論叢　67−2，3（'60−5，6）
謹賀新年（法史夜話）：法学セミナー　46（'60−1）

猪俣幸一
訴願制度の改正とその問題点：自由と正義　12−5（'61−5）

今井清一
政界の黒幕とその役割 ——大正政治史におけるその変貌をめぐって：思想　442（'61−4）

今井仙一
いわゆる正戦について ——グロチウスを中心として：同志社法学　12−3（'60−8）
永遠平和について ——フリートリヒ・ケンツを中心として：同志社法学　12−2（'60−6）
スピノザの政治哲学＜上＞：同志社法学　13−4（'61−12）
戦争の論理：同志社法学　12−6（'61−3）
戦争と政治 —— クラウセヴィッツの「戦争論」を中心として：同志社法学　11−4（'60−1）
続・戦争と政治 ——トライチュケの「政治学」を中心として：同志社法学　11−6（'60−3）
法と政治：恒藤先生古稀祝賀記念論文集　（'60−5）

今井　威
国連憲章における人権保障：阪大法学　39（'61−7）
日本国憲法98条2項：法政論叢　12（'60−7）

今井直重
英国の国会主権について：法政論叢　12（'60−7）
憲法断片：法政論叢　8（'58−6）
現代世界各国憲法における主権の構造 ——比較憲法学的考察：奈良学芸大学紀要　10−1（'61−3）
国家形態について：法政論叢　10（'59−6）
国権の最高機関の意味：法政論叢　9（'58−11）
天皇機関説について：奈良学芸大学紀要　9−1（'60−2）

今井　宏
営業譲受人の責任：経済研究（大阪府大）　18（'61−3）
株主総会決議の取消と追認：民商法雑誌　42−2（'60−5）

今井　実
憲法第95条の特別法 ——「一つの地方公共団体のみに適用される特別法」についての考察：時の法令　338（'60−1）
災害対策基本法について＜1＞：自治研究　37−12（'61−12）

今井祐之介
割賦販売に関する取引秩序法の作成：財政経済弘報　799（'60−2）

今泉孝太郎
意思表示論：綜合法学　30（'61−1）
結婚前の法律問題：綜合法学　25（'60−8）
認知の遡及効：法学研究　33−3（'60−3）
認知の遡及効：中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60−3）

今枝信男
地方公務員の新退職年金制度：自治春秋　10−2（'60−2）
ILO条約（第87号）と職員団体：自治時報　13−7（'60−7）

今中武夫
離婚における財産分与の性格について：滋賀大学学芸学部紀要　10（'60−12）

今村　彰
公務員労働者の賃金，権利の斗争と方向：労働問題　29（'60−10）

今村成和
砂川判決と統治行為論など：法律時報　32−2（'60−1）
正当な補償の意味：民商法雑誌　42−5（'60−8）
多数決の白票：法学会論集　10−1/4（'60−3）
土地収用法の改悪（公共用地取得の特例法アンケート）：法律時報　33−6（'61−6）
東宝スバル事件（判例百選）：ジュリスト　200（'60−4）
統制価格と正当な補償 —— 農地買収対価の合憲性に関する判例を契機として：北海道大学法学部10周年記念法学政治学論集　（'60−3）
独占禁止法の曲り角：公正取引　112（'60−1）

入江一郎
公正取引委員会の準司法的機能：法律時報　32−7（'60−6）
提訴人の立場からみた独禁法違反処理手続＜1，2＞：公正取引　134，135（'61−11，12）

入江啓四郎
安保批准と中国承認：中央公論　75−3（'60−3）
安全保障体制の変遷：法律時報　32−4（'60−3）
海運同盟とアメリカの裁判権：政治経済論叢　11−2（'61−11）
極東の範囲とソ連覚書：世界　172（'60−4）
国際政治：綜合法学　29（'60−12）
国際法の視野より：ジュリスト　臨時増刊（'60−1）
新条約の改廃問題と国際法：法律時報　32−11（'60−9）
対立する極東の軍事体制 —— 国際法の見地から：世界　189（'61−9）
南極の国際法＜2＞ —— 平和利用（新しい国際法の諸問題）：外交時報　24（'60−7）
日本と国際司法裁判所：法律時報　33−1（'61−1）
文書提出令状の領域的限界（国際不正競争）：ジュリスト　203（'60−6）
ベルリン問題の国際法的検討：法律時報　33−10（'61−10）

入江俊郎
裁判官の在り方：ジュリスト　239（'61−12）

入山　実
課税処分における所得の認定と取引の通念 —— 株主相互金融を営む株式会社の支払う株主優待金に関する最高裁判例を契機として：法律のひろば　13−12（'60−12）
通行権ノオト：法律のひろば　14−4（'61−4）
登記欠缺の主張と信義則：法律のひろば　14−9（'61−9）

色川幸太郎
労働争議と仮処分：日本労働協会雑誌　21（'60−12）
労基法118条の罪と職安法63条2号の罪とが想像的競合となる事例（判例百選）：ジュリスト　臨時増刊（'60−10）

岩井四郎

水質保全法と下水道：水利科学　6－2（'59-2）

岩井弘融

暴力犯罪の社会的基底：警察学論集　14－6（'61－6）

岩井万亀

債権的入会権と農地法上の共同利用権：民商法雑誌　43－3（'60－12）
東富士演習場入会協定について＜1～3完＞：ジュリスト　211～213（'60－10，11）

岩城喜義

特別地域連絡局とは：時の法令　343（'60－2）

岩佐節郎

親族法── 第7回指定研修における問題解説【ゼミナール】：民事研修　36（'60－4）

岩崎卯一

国家批判の三型について：法学論集　9－5/6（'60－3）
国家批判の党派性について：法学論集　9－3/4（'60－3）

岩崎　昶

ポーウェル＝シューマン事件── そこには人権と報道の道の自由が睹けられている：法律時報　32－1（'60－1）

岩崎保俊

アメリカにおける直接立法の特質：九大法学　8（'60）
国民意識からみた裁判官国民審査の反省：九大法学　9（'61）

岩崎　稜

現代株式会社法構造の状況的理解によせる覚書：経済論叢（香川）　33－3（'60－9），34－3('61－9）
ドイツ株式会社法成立過程における法人理論の意義── 夜明け前＜2＞：経済論叢（香川）　32－6（'60－3）

岩崎隆造

公共企業体の職員の団結権も規制──地方公営企業体職員も歩調をそろえて（特集ILO 87号条約批准と関係法案）：時の法令　359（'60－8）

岩瀬徳栄

不動産取引について知りたいこと：捜査研究　100（'60－3）

岩田健次

ローマ遺言相続法：法学論集　10-2（'60－9）
Bona vacantiaについて：法学論集　9－5/6（'60－3）

岩田荘治

交通警察の後進性：捜査研究　96（'59－11）
交通即決裁判制度：警察時報　16－5（'61－5）
自動車損害賠償制度── その歴史から現況まで：警察時報　16－6（'61－6）
自動車と歩行者 ── 危険の分配：捜査研究　111（'61－3）
不法駐車の排除：警察公論　15－3（'60－3）

岩垂　肇

姦通・不貞行為論：信州大学文理学部紀要第1部　9（'59－12）
企業廃止と不当労働行為：菊池勇夫教授60年祝賀記念論文集　（'60－11）
婚約破棄の責任：民商法雑誌　42－3（'60－6）
有責配偶者の離婚権：信州大学文理学部紀要第1部　10（'60－　）

岩永健吉郎

シャットシュナイダー「人民による政治の反省」【紹介】：国家学会雑誌　74－11/12（'61-10）
比較政治研究の方向：国家学会雑誌　74－5/6('61－4）

岩橋　健

私の検察官修業：法学セミナー　55（'60－10）

岩淵節雄

ソビエト国際法・国際私法の新段階：法律時報　33－10（'61－10）

岩松　茂

死刑確定者の拘置等について：刑政　72－5（'61－5）

岩本軍平

婚外子について：法経論集（新潟）　9－3/4（'60－3）
人格権保護についての一考察 ──主として判例の見地から：法経論集（新潟）　9－1（'59－11）
男女同権の原理と夫婦共同関係＜1～3完＞：法経論集（新潟）　9－2（'60－1），10－1（'60－11），10－2（'61－1）

岩本啓治

共同海損とヨーク・アントワープ規定：中京商学論叢　7－1（'60－7）

岩本　懿

表見支配人についての再論：法学論集　9－5/6（'60－3）
約款の類型と特徴：法律時報　32－6（'60－5）

【ウ】

宇佐美初男

捜査機関と名誉毀損：警察学論集　14－11（'61-11）

宇治順一郎

近代林業の法制的前提：三田商学研究　2－4（'59－10）

宇田哺郎

日本資本主義における従属労働関係の法的構造＜2＞：高知大学教育学部研究報告　13（'61－4）

宇都宮正忠

名誉に対する罪に関する統計：法律時報資料版　7（'61－5）

宇野栄一郎

ドイツ刑法の重罪の協定，殺人の陰謀の罪について ──多数人の結合を対象とする罪についての考察：レファレンス　10－4（'60－4）

宇野　孝

訴訟促進のため現行国選弁護人選任制度改革の一試案：裁判所書記官研修所創立10周年記念論文集（'60－11）

宇野　均

宅地造成等規制法について：ジュリスト　240（'61－12）

宇野善康

都市有権者婦人層におけるマス・コミュニケーション行動── 単純集計に関する報告：法学研究　33－3（'60－3）

宇留野藤雄

運転機能におよぼすアルコールの影響：警察研究　32－1（'61－1）

瓜生　武（うりゅう・たけし）

少年保護事件調査の方法論的検討 ── 規範学と経験科学との接点：家庭裁判月報　13－12（'61-12）

鵜飼信成

外交・条約・政治性：法律時報　32－4（'60－3）
強行採決の問題点：思想　433（'60－7）
憲法秩序の変遷：宮沢俊義先生還暦記念論文集　1（'61－1）
公正な議事運営とは何か（民主政治を守る講演会）：世界　176（'60－8）
ジェローム・フランクの追憶：法学セミナー　66（'61－9）
人権の条件：社会改良　4－3（'59－2）
無罪と有罪との間：世界　190（'61－10）

鵜沢義行

沖縄の政情：法学紀要　3（'61－6）
加藤弘之の立憲思想（近代法思想をめぐる人々）：綜合法学　28（'60－11）
政治と国会運営：綜合法学　38（'61－9）
日本暗殺史論：日本法学　27－2（'61－5）

上杉晴一郎

立退料支払を条件として家屋明渡を命ずる判決：判例タイムズ　12－13（'61－12）

上田明信

株式会社の計算の内容に関する商法改正要綱試案：商事法務研究　190（'60－9）
商法改正審議の動向：東京株式懇話会会報　103（'60－4）
商法緊急改正要望事項について：東京株式懇話会会報　112（'61－1）
商法第297条の規定による社債の募集の限度について：商事法務研究　217（'61－7）
資本準備金：商事法務研究　174（'60－4）

上田啓次

親権者の一方に子と利益相反行為のある場合の未成年者の代理行為者：バンキング　149（'60－8）
判例を中心とする白地手形の解説：バンキング　144（'60－3）

上田耕生

勝浦における農業法人── 徳島県勝浦町における農業法人実態調査報告：法律論叢　35－1（'61－7）
企業の移転と労働関係：法律論叢　33－5（'60-3）
フリッツ・ブレッハー「契約の移転，営業の譲渡と労働関係」の視角【紹介】：明治大学法制研究所紀要　3（'60－8）

上田誠吉

新安保条約は国連憲章に違反する：前衛　167（'60－4）
すべての証拠は権力犯罪を証明する── 松川事件差戻審証拠法論：人権のために　10（'61－6）
政暴法案の法的性格：前衛　185（'61－8）
騒擾罪論 ── それは違憲である：人権のために　7/8（'60－12）
法廷秩序と勾留理由開示：人権のために　9（'61-2）

上田徹一郎

遺産分割の禁止：中川善之助教授還暦記念論文集　7（'60－8）

上田　宏

記名株式質入についての一試論：法学　24－4（'60－11）
小切手の盗難による失権と利得償還請求権：東北学院大学論集　35/36（'59－11）

上野　宏

株券発行前の株式譲渡の効力：法律のひろば　14－1（'61－6）
取締役の第三者に対する責任：法律のひろば　14－9（'61－9）

上野雅和

近親婚禁止：九大法学　6（'59）
婚姻の破綻と婚姻の効果：松山商大論集　12－2（'61－7）

上野裕久

朝鮮戦争と言論集会の弾圧 ── 法社会学的考察：法経論集（佐賀）　8－2（'61－3）

上野隆司

譲渡担保物件と償却資産税の納付義務者：金融法務事情　279（'61－7）

上原　聰

不渡届出制度の改正について：ジュリスト　209（'60－9）

上原貞雄

連邦司法による教育の自由の保障 ──私立学校存続の問題をめぐって：広島大学教育学部紀要第1部　9（'61－1）

上原誠之輔

女子・年少者従業員をめぐる法律問題：労働法学研究会報　12－33（'61－12）

上村明広

株主総会決議取消訴訟における訴訟物と既判力── Arensの見解について：法経学会雑誌　10－2（'60－9）
訴の取下をなすべき契約の効力（判例百選）：ジュリスト　200（'60－4）
判決瑕庇論に関する一覚書：法経学会雑誌　11-2

（'61－9）
民事訴訟における訴訟行為概念について：民事訴訟雑誌　7（'61－2）

上村政彦
フランスにおける家族手当立法 —— 法の変遷と手当の性格について：九大法学　6（'59）

上柳克郎
既存債務決済のための約手振出の効果（判例百選）：ジュリスト　200（'60－4）

上山安敏
シュワーベンシュピーゲル邦訳＜7＞：法と政治　11－2（'60－6）
ドイツにおける法律家層の形成過程 —— 教授法成立の序説として＜1～3完＞：法学論叢　69－3、5,6（'61－6,8,9）

上山義昭
法の基盤：駒沢大学商経学部研究紀要　19（'61－3）

植木敬夫
最高裁はなぜ公安条例の判決を急ぐか：労働法律旬報　370（'60－2）

植田一弥
わが国信託法と信託の現状：バンキング　164（'61－11）

植田重正
正犯及び共犯：綜合法学　24（'60－7）
1956年ドイツ刑法総則草案における「共犯規定」について：法学論集　9－3/4（'60－3）

植田捷雄
近代中国史における戦争と中立：国際法外交雑誌　59－1/2（'60－7）

植林　弘
譲渡担保の法律構成に関する若干の疑問＜1，2完＞：法学雑誌　6－4（'60－3），7－1（'60－7）
損害賠償算定と潜在的・後発的事情斟酌の可否：民商法雑誌　43－1（'60－10）
賃借人と失火の責任（判例百選）：ジュリスト　臨時増刊（'60－10）
ドイツ法上の因果関係論：法律時報　32－9（'60－7）
独・瑞におけるインミツシオの法理：法律時報　32－3（'60－2）

植松　正
ある出来事に関する供述の信頼度 —— 検察事務官を被験者とする実験：日本法学　27－3（'61－9）
刑事法の視点から：ジュリスト　臨時増刊（'60－1）
継母と電話と告訴（法令昨今）：時の法令　344（'60－2）
強盗殺人罪：法学セミナー　47（'60－2）
裁判官の中立性：警察時報　16－5（'61－5）
裁判官は機械か蒸溜水か —— いわゆる飯守発言について：時の法令　381（'61－3）
差戻後の裁判（法令昨今）：時の法令　350（'60－5）
司法上の人権 ——「憲法運用の実際」解説：法律時報　33－14（'61－12）
少年暗殺者と刑事法：ジュリスト　222（'61－3）
証人心理 —— ある民事事件での経験：ジュリスト　266（'61－5）
チャタレイ事件（判例百選）：ジュリスト　200（'60－4）
テロと戦う法律：文芸春秋　39－4（'61－4）
犯罪 —— 改正刑法準備草案説明：刑法雑誌　11－1/2（'61－3）
判決に現われた供述批判の検討 —— 特に赤間自由について：ジュリスト　239（'61－12）
法というものは —— 林修三「法令解釈の常識」と、渡辺洋三「法というものの考え方」を読んで想うこと：法学セミナー　48（'60－3）
万引の犯罪学：一橋論叢　45－3（'61－3）
松川事件判決公判傍聴記：時の法令　398（'61－9）
量刑の基準 —— 改正刑法準備草案にちなんで：時の法令　352（'60－5）
累犯受刑者の心理：犯罪学年報　1（'60－7）

植村啓次郎
利益参加社債の概念と発行上の疑点：法経論集（佐賀）　8－1（'60－12）

牛尾茂夫
日本民法史研究における一つの問題：法学（近大）　10－2（'61－11）
改法学方法論上の一つの問題：法学（近大）　8－2（'59－12）

潮田康夫
交付公債制度について：自治研究　36－2（'60－2）

潮見俊隆
チェコスロバキアの結婚と離婚：法律時報　33－12（'61－11）
東ドイツの家事裁判をみる：法律時報　32－7（'60－6）
未成年養子の許可：中川善之助教授還暦記念論文集　4（'60－3）

臼井滋夫
斡旋贈収賄罪と暴力取締立法の制定＜1～3完＞：捜査研究　79～81（'58－6～8）
改正刑法準備草案（未定稿）について＜1～4完＞：捜査研究　105～108（'60－9～12）
鑑定に対する法的評価 —— 精神鑑定についての若干の考察：警察学論集　14－7（'61－7）
刑法の一部改正について —— 不動産侵奪罪等の新設：財政経済弘報　813（'60－5）
刑法の一部を改正する法律について：警察研究　31－6（'60－6）
検察官手持資料の事前閲覧問題：警察公論　15－3（'60－3）
現場録音テープの証拠能力：自警　43－2（'61－2）
強盗致傷罪における傷害の意義：警察公論　16－3（'61－3）
主として公判立証の面からみた選挙事犯捜査上の問題点：捜査研究　90（'59－5）
少年法の改正論議と問題点＜1～3完＞：捜査研究　99,101,102（'60－2，4，5）
自由刑の単一化問題：自警　13－6（'61－6）
第三者没収についての若干の考察＜1～8完＞：警察研究　32－1，3，4，6～9，11（'61－1，3，4，6～9，11）
電話による告訴は許されるか：自警　42－12（'60－12）
道交法違反と過失致死傷：自警　43－1（'61－12）
不動産侵奪規定の運用状況：法律時報資料版　12（'61－9）
不動産侵奪罪等に関する規定の立法経過と問題点：警察学論集　13－6（'60－6）
不動産侵奪罪等の解釈と捜査処理上の留意点：研修146（'60－8）
不動産侵奪罪等の新設に関する刑法の一部改正について：捜査研究　103（'60－3）
不動産侵奪罪等の新設について：ジュリスト　204（'60－6）
弁護人の固有権と権利濫用：警察公論　15－5（'60－5）
暴力犯罪の法定刑は軽いか：警察公論　16－5（'61－5）
名誉毀損罪の成立要件：自警　43－4（'61－4）
酩酊中の犯行についての刑事責任：捜査研究　85（'58－12）
令状によらない捜索差押についての新判例：警察時報　16－8（'61－8）

薄根正男
否認権：法学セミナー　52（'60－7）

内池慶四郎
債権の準占有と受取証書：法学研究　34－1（'61－1）

内川芳美
電波メディアと表現の自由：法律時報　32－1（'60－1）

内田　修
工業所有権の牴触に関する問題点について：法学論集　9－3/4（'60－3）
争訟手続の委任代理について：法学論集　9－2（'60－1）
発明・考案・意匠における創作性・新規性および進歩性について：法学論集　10－4（'61－6）

内田繁隆
平和世界の基礎理論：早稲田政治経済学雑誌　167（'61－2）

内田　新
フランスにおける地方制度の形成＜4，5完＞：自治研究　36－6,7（'60－6，7）

内田武吉
わが国民事訴訟における弁護士報酬についての一考察：早稲田法学　37－1/2（'61－12）
「如何なる目的で証拠調をするか」について：綜合法学　26（'60－9）

内田智雄
訳注魏書刑罪志（未定稿）＜1＞：同志社法学　13－3（'61－11）
訳注・晉書刑法志＜5～11＞：同志社法学　11－5，12－2～4，6，13－1，2（'60－2，6，8，10，'61－3，4，10）
魏律「序略」についての二、三の問題＜下＞：同志社法学　11－5（'60－2）
再び魏律「序略」について —— 滋賀教授の私信に答えて：同志社法学　12－4（'60－10）

内田文昭
過失同時犯の正犯性＜1～4完＞：法学会論集　11－1～4（'60－11，'61－3，7）
過失犯の共同正犯（判例百選）：ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

内田文夫
集団示威運動等の秩序保持に関する法律案及び国会の審議権の確保のための秩序保持に関する法律案と公安条例：警察学論集　13－9（'60－9）
戦後の騒擾事件の概要：警察学論集　14－2（'61－2）
ピケッティングと警察官職執行法第5条：警察学論集　13－5（'60－5）

内田　満
合衆国圧力団体の無党派性とその変貌：早稲田政治経済学雑誌　172（'61－12）
選挙運動と世論の形成：社会科学討究　5－3（'61－6）

内田力蔵
インド商事法 —— 1930年インド動産売買法および1932年インド商事組合法訳：早稲田大学比較法研究所紀要　11（'60）
外国書講読 —— イギリス法＜6～8完＞：法学セミナー　46～48（'60－1～3）

内堀美通彦
アメリカにおける検察官研修＜1～3＞：法務総合研究所報　6－2，3，5（'61－2，3，5）

内山慶之進
スイスの離婚法における財産上の効果＜1～3完＞：青山法学論集　2－2（'61－3），3－1，2（'61－7，12）
ドイツ法における離婚扶養：青山法学論集　2－1（'60－11）
フランス法における離婚扶養の保障 —— 判例を中心として：綜合法学　20（'60－3）

内山尚三
家父長制労働関係の法社会学的考察＜4＞：法学志林　57－3/4（'60－1）
請負契約に関する判例研究 —— 建築請負と建物所有権の帰属＜1＞：建設総合研究　10－3/4（'61－12）
建築請負と建物所有権の帰属（判例百選）：ジュリスト　臨時増刊（'60－10）

内山鉄男
立法技術 —— 印鑑条例の審査を中心として：地方自治　145（'60－1）

内山正熊
軍縮の現代的意義：法学研究　34－5（'61－5）
国際連合におけるブロック政治：国際法外交雑誌　60－2（'61－8）
日独戦争と山東問題：法学研究　33－2（'60－2）

内山脩策
わが国の工業立地政策 —— 関係法を中心とする展望：レファレンス　11－9（'61－9）

内海　一
改正不動産登記法解説＜1～4完＞：財政経済弘報　812,813,818,823（'60－5，7）
仮登記した権利の処分とその登記手続：民事研修　50（'61－6）
現行仮登記制度のあらまし＜1～5完＞：金融法務事情　280～284（'61－7～9）
土地台帳と家屋台帳について：捜査研究　100（'60－3）
登記簿・台帳一元化後における不動産の表示に関する登記申請手続＜下1～5完＞：金融法務事情　260（'60－12），264,265,267,268（'61－2，3）
登記簿と台帳の一元化について＜1～3完＞：登記